

現 場 説 明 書（技術的事項）

工事名 _____（仮称）福山地区消防組合消防局訓練場整備工事

1. 現場の状況

工事場所は、福山市北本庄五丁目地内に位置し、南側には住宅が隣接しています。

北東出入口については、出原浄水場用地への出入りのため、福山市上下水道局発注工事の車両も利用しますので、十分な注意を払ってください。

2. 別途工事

- ・電気設備工事
- ・給排水衛生設備工事
- ・空気調和設備工事
- ・ガス設備工事
- ・植栽工事
- ・カーテン取付工事

3. 留意事項

- (1) 工事に当たっては、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。また、工事工程表・工事内容の説明書を作成し、近隣住民等へ配布し周知に努めてください。
- (2) 工事車両等の進入・退出・停車等に当たっては、交通の妨げにならないよう十分な対策を講じてください。また、通行者等第三者の安全を第一に図ってください。なお、東側道路は樹徳小学校の児童通学路となっているため、工事車両等は登下校時間帯を避けて出入りしてください。
- (3) 資材の搬入、搬出時にはシート等でカバーするなど、飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等ないように注意してください。
- (4) 道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路にかかる維持管理（舗装・構造物等の保護養生及び補修等）は、受注者で行ってください。
- (5) 工事場所外においても、駐車違反、速度制限、積載制限等交通法規を遵守し、事故防止に万全を期してください。
- (6) 工事に係る留意事項は、協力業者、資材納入業者等にも指導を徹底してください。

- (7) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。工事排水についても管理を徹底し、周辺排水路等に土砂等を流した場合は、速やかに清掃を行ってください。
- (8) 重機や産業廃棄物の搬出入、出入口付近の仮囲い設置・撤去に際しては、必要に応じて交通誘導員を適切に配置した上で徐行運転及び一旦停止を行ってください。なお、交通誘導員の配置については、100人を見込んでいます。
- (9) 重機作業等については、十分な振動・騒音・粉塵対策を講じてください。
- (10) 騒音・振動計の設置・測定（1台）が含まれています。
- (11) 高所作業に当たっては、適切な安全対策を講じ、事故の防止に努めてください。
- (12) 実施工程表は、契約後14日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工関係書についても速やかに提出してください。
- (13) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)の対象工事に該当するため、特定建設資材の再資源化に努め、産業廃棄物は関係法令に従い適切に処理してください。
- (14) 工事施工上必要な官公署への手続は、受注者の責任において速やかに行い、手続を行った場合は、速やかに報告してください。
- (15) 受注者は、地元企業及び地場製品の活用に努めてください。
- (16) 受注者は、各種工事の職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。

(仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事

2025年12月

福山市建設局建築部営繕課				発注 2026年 2月	
主務	課員	次長	課長補佐	営繕課長	建築部長

全 体		訓練棟B		車庫棟		外 構		訓練設備		構 造	
A - 001	建築工事特記仕様書 No.1	A - 201	訓練棟B 仕上表・面積算定表	A - 401	車庫棟 仕上表・面積算定表	A - 601	外構図	T - 001	訓練棟1階 金物配置図	S - 001	鉄筋工事仕様書No.1
A - 002	建築工事特記仕様書 No.2	A - 202	訓練棟B 1階平面図	A - 402	車庫棟 平面図	A - 602	雨水排水図	T - 002	訓練棟2階 金物配置図	S - 002	鉄筋工事仕様書No.2
A - 003	建築工事特記仕様書 No.3	A - 203	訓練棟B 2階平面図	A - 403	車庫棟 屋根伏図	A - 603	外構平面詳細図1	T - 003	訓練棟3・4・5・R階 金物配置図	S - 003	鉄骨工事仕様書No.1
A - 004	建築工事特記仕様書 No.4	A - 204	訓練棟B 3階平面図	A - 404	車庫棟 天井伏図	A - 604	外構平面詳細図2	T - 004	訓練金物参考図1	S - 004	鉄骨工事仕様書No.2
A - 005	建築工事特記仕様書 No.5	A - 205	訓練棟B 屋根伏図	A - 405	車庫棟 立面図1	A - 605	外構詳細図1	T - 005	訓練金物参考図2	S - 005	その他標準図
A - 006	建築工事特記仕様書 No.6	A - 206	訓練棟B 立面図1	A - 406	車庫棟 立面図2	A - 606	外構詳細図2	T - 006	訓練金物参考図3	S - 006	地盤調査図
A - 007	建築工事特記仕様書 No.7	A - 207	訓練棟B 立面図2	A - 407	車庫棟 断面図	A - 607	外構詳細図3	T - 007	訓練金物参考図4	S - 007	テノコラム工法標準図
A - 008	建築工事特記仕様書 No.8	A - 208	訓練棟B 立面図3	A - 408	車庫棟 平面詳細図	-		T - 008	訓練金物参考図5	S - 008	ベースバック柱脚工法標準図
A - 009	建築工事特記仕様書 No.9	A - 209	訓練棟B 断面図	A - 409	車庫棟 断面詳細図1	-		T - 009	訓練金物参考図6	S - 009	Q L デッキ標準図
A - 010	工事区分表	A - 210	訓練棟B 1階天井伏図	A - 410	車庫棟 断面詳細図2	-		T - 010	訓練金物参考図7	S - 010	NDコア設計・施工標準仕様書(1)
A - 011	敷地案内図・敷地求積図・面積表	A - 211	訓練棟B 2階天井伏図	A - 411	車庫棟 建具表	-		T - 011	訓練金物参考図8	S - 011	NDコア設計・施工標準仕様書(2)
A - 012	配置図	A - 212	訓練棟B 3階天井伏図	A - 412	車庫棟 オーバースライダー参考図1	-		T - 012	訓練金物参考図9	S - 012	NDコア設計・施工標準仕様書(3)
A - 013	仮設計画図	A - 213	訓練棟B 1階平面詳細図	A - 413	車庫棟 オーバースライダー参考図2	-		T - 013	訓練金物参考図10	S - 013	MA Xウエブレン標準仕様書
-		A - 214	訓練棟B 2階平面詳細図	-		-		T - 014	訓練金物参考図11	S - 101	訓練棟A 基礎伏図、基礎関係リスト
-		A - 215	訓練棟B 3階平面詳細図	-		-		T - 015	訓練金物参考図12	S - 102	訓練棟A 伏図
-		A - 216	訓練棟B 断面詳細図1	-		-		T - 016	訓練金物参考図13	S - 103	訓練棟A 軸組図
-		A - 217	訓練棟B 断面詳細図2	-		-		T - 017	訓練金物参考図14	S - 104	訓練棟A 鉄骨部材リスト
-		A - 218	訓練棟B 展開図1	-		-		T - 018	訓練金物参考図15	S - 105	訓練棟A 鉄骨詳細図
-		A - 219	訓練棟B 展開図2	-		-		T - 019	訓練金物参考図16	S - 201	訓練棟B 基礎伏図
-		A - 220	訓練棟B 展開図3	-		-		T - 020	訓練金物参考図17	S - 202	訓練棟B 基礎関係リスト
-		A - 221	訓練棟B 建具表	-		-		T - 021	訓練金物参考図18	S - 203	訓練棟B 伏図、鉄骨部材リスト
-		-		-		-		T - 022	A・B・C棟 共通訓練金物詳細図	S - 204	訓練棟B 軸組図
-		-		-		-		T - 023	訓練棟A 1・2・3階金物位置図	S - 205	訓練棟B 柱・梁・スラブ・壁リスト
訓練棟A		訓練棟C		管理棟				T - 024	訓練棟B 2階金物位置図	S - 206	訓練棟B 架構配筋詳細図
A - 101	訓練棟A 仕上表・面積算定表	A - 301	訓練棟C 仕上表・面積算定表	A - 501	管理棟 仕上表	-		T - 025	訓練棟B 屋上金物位置図	S - 301	訓練棟C 基礎伏図、基礎関係リスト
A - 102	訓練棟A 平面図	A - 302	訓練棟C 1・2階平面図	A - 502	管理棟 1階平面図	-		T - 026	訓練棟C 金物位置図	S - 302	訓練棟C 伏図、鉄骨部材リスト
A - 103	訓練棟A 立面図1	A - 303	訓練棟C 3階平面図	A - 503	管理棟 2階平面図	-		T - 027	模擬ハウス参考図(専用住宅風切妻タイプ)1	S - 303	訓練棟C 軸組図
A - 104	訓練棟A 立面図2	A - 304	訓練棟C 屋根伏図	A - 504	管理棟 屋根伏図	-		T - 028	模擬ハウス参考図(専用住宅風切妻タイプ)2	S - 304	訓練棟C 柱・梁・スラブ・壁リスト
A - 105	訓練棟A 天井伏図	A - 305	訓練棟C 立面図1	A - 505	管理棟 1階天井伏図	-		T - 029	模擬ハウス参考図(集合住宅風屋上タイプ)1	S - 305	訓練棟C 架構配筋詳細図
A - 106	訓練棟A 1階平面詳細図	A - 306	訓練棟C 立面図2	A - 506	管理棟 2階天井伏図	-		T - 030	模擬ハウス参考図(集合住宅風屋上タイプ)2	S - 401	車庫棟 基礎伏図、基礎関係リスト
A - 107	訓練棟A 2階平面詳細図	A - 307	訓練棟C 断面図	A - 507	管理棟 立面図1	-		-		S - 402	車庫棟 伏図、鉄骨部材リスト
A - 108	訓練棟A 3階平面詳細図	A - 308	訓練棟C 1・2階天井伏図	A - 508	管理棟 立面図2	-		-		S - 403	車庫棟 軸組図
A - 109	訓練棟A 4階平面詳細図	A - 309	訓練棟C 3階天井伏図	A - 509	管理棟 断面図	-		-		S - 404	車庫棟 鉄骨詳細図
A - 110	訓練棟A 5階平面詳細図	A - 310	訓練棟C 1・2階平面詳細図	A - 510	管理棟 1階平面詳細図	-		-		S - 501	管理棟 基礎伏図、基礎関係リスト
A - 111	訓練棟A R階平面詳細図	A - 311	訓練棟C 3階平面詳細図 部分詳細図	A - 511	管理棟 2階平面詳細図	-		-		S - 502	管理棟 伏図
A - 112	訓練棟A 部分詳細図	A - 312	訓練棟C 断面詳細図1	A - 512	管理棟 断面詳細図1	-		-		S - 503	管理棟 軸組図
A - 113	訓練棟A 断面詳細図1	A - 313	訓練棟C 断面詳細図2	A - 513	管理棟 断面詳細図2	-		-		S - 504	管理棟 鉄骨部材リスト
A - 114	訓練棟A 断面詳細図2	A - 314	訓練棟C 展開図1	A - 514	管理棟 展開図1	-		-		S - 505	管理棟 鉄骨詳細図
A - 115	訓練棟A 断面詳細図3	A - 315	訓練棟C 展開図2	A - 515	管理棟 展開図2	-		-		-	
A - 116	訓練棟A 展開図1	A - 316	訓練棟C 建具表	A - 516	管理棟 展開図3	-		-		-	
A - 117	訓練棟A 展開図2	-		A - 517	管理棟 展開図4	-		-		-	
A - 118	訓練棟A 建具表	-		A - 518	管理棟 建具表1	-		-		-	
-		-		A - 519	管理棟 建具表2	-		-		-	
-		-		A - 520	管理棟 部分詳細図	-		-		-	
-		-		A - 521	管理棟 面積表	-		-		-	
-		-		-		-		-		-	
-		-		-		-		-		-	

福山市建築工事特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所	福山市北本庄五丁目地内		
2. 敷地面積	13. 3 3.9 1.3㎡		
3. 工事項目	(1) (訓練棟A) 鉄骨造	5階建	床面積: 245.00㎡
	(2) (訓練棟B) 鉄筋コンクリート造	3階建	床面積: 469.98㎡
	(3) (訓練棟C) 鉄筋コンクリート造	3階建	床面積: 332.27㎡
	(4) (車庫棟) 鉄骨造	平家建	床面積: 330.00㎡
	(5) (管理棟) 鉄骨造	2階建	床面積: 561.00㎡
	(6) (外構)		
	(7)		

4. 工事範囲
- ※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。
- ・「3. 工事種目」のうち _____ の全てを工事範囲とする。
- ・「3. 工事種目」のうち _____ の工事範囲は次表のとおりとする。
- ただし、その他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

工事種目	工事範囲
2 仮設工事	
3 土工	
4 地盤工事	
5 鉄筋工事	
6 コンクリート工事	
7 鉄骨工事	
8 コンクリートブロック・ALCパネル 及び押出成形セメント板工事	
9 防水工事	
10 石工事	
11 タイル工事	
12 木工事	
13 屋根及びとい工事	
14 金属工事	
15 左官工事	
16 建具工事	
17 カーテンウォール工事	
18 塗装工事	
19 内装工事	
20 ユニット及びその他の工事	
21 排水工事	
22 舗装工事	
23 植栽及び屋上緑化工事	

II 工事仕様

1. 図面及び特記仕様書に記載されている事項は、国土交通省大臣官庁官庁庁舎部制度の「公共施設工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「標準仕様書」という。）による。
2. 電気設備工事及び機械設備工事の本工事にもなる場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を用いる。
- なお、電気設備工事の特記仕様書は（ ） 図、機械設備工事の特記仕様書は（ ） 図による。
3. 特記仕様書の適用は次に示す。
- （1）項目は、○印の付いたものを適用する。
- （2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。
- 印の付かないものは、※印の付いたものを適用する。
- 印と※印の付いた場合は、共に適用する。
- （3）特記事項に記載の（ ） 内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

III 福山市建築工事仕様

本特記仕様書において、「監督職員」と記載があるものは「監督員」と読み替えるものとする。
本工事の工期は、設備工事の工期及び工事検査期間として14日を含んでいる。
本工事は、法定外の労災保険を含んでいる。

1. 官公署の手続き
受注者は、発注者が行うとされている関係官公署への必要な手続きを代行する。(官公署手続きは監督職員の承諾後とする。)
2. 施工中の安全確保
本工事は、交通誘導員として 人を見込んでいます。
交通誘導員の配置については、実施依頼（原本）及び配置状況の分かる立会写真の撮影を行い監督職員に提出する。
3. 監理（主任）技術者
現場代理人及び監理（主任）技術者は、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用
4. 別契約の関連工事との調整等
 - 施工範囲は「工事区分表」による。
 - 別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。
 - 別契約の関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行う。

5. 施工管理
※ 施工体制台帳の写しを提出する。
6. 施工図及び施工計画書
提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

- ## 7. 保証書

[illegible]

8. 引渡し後点検
引渡し後、次の点検を行う。(○印のついたものを適用する。)
- | | |
|------------------|------------|
| ○ 引渡し後点検 (第1次点検) | 引渡しの際概ね1年後 |
| ○ 引渡し後点検 (第2次点検) | 引渡しの際概ね2年後 |

①
各章共通事項

○ 一般事項

適用基準等
図面、本特記仕様書、標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。
○ 建築物解体工事共通仕様書（令和４年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部
○ 営繕工事写真撮影要領（令和５版）国土交通省大臣官房官庁営繕部
○ 建築工事標準詳細図（令和４年版）（以下「標準詳細図」という）国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課

○ 工事実績情報システム（コリンズ）への登録

登録
○ する

(1.1.4)

○ 書面の書式及び取扱い

情報共有システムの適用及び機能要件
○ 適用する
機能要件（ ○ 現場説明書による ）

(1.1.5)

○ 関連法令等の遵守

法令等の適用区分
建築基準法に基づき風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
○ 風圧力
風速（ $V_0=32\text{ m/s}$ ）
地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）
○ 積雪荷重
平成12年５月31日建設省告示第1455号における区域別表（34）

(1.1.13)

・ 遮陽臨隔の実施

遮陽臨隔の適用及び実施内容
・ 適用する
実施内容（ ○ 現場説明書による ）

(1.1.14)

○ 実施工程表

概成工期
・ 有り（ ○ 現場説明書による ） ○ 無し

(1.2.1)

○ 工事の記録等

報告に用いる書式等
○ 現場説明書による
○ 標準仕様書1.2.4（4）により整備する工事写真については次による
「営繕工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編 令和５年版」
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
○ 着手前・工事中写真
撮影仕様（ ※ ｬ 判程度（カラー） ）
提出仕様（ ※ ｬ ４判印刷、若しくは ｬ ４判写真 ）
提出部数（ ※ １部 ）

(1.2.4)

○ 電気保安技術者

配置
○ する

(1.3.3)

○ 施工条件

標準仕様書1.3.5（1）以外の施工条件
○ 現場説明書による
○ 作業時間は、原則午前８時から午後５時までとし、通学時間帯を考慮する。
○ 日曜日及び祝日に作業を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。

(1.3.5)

○ 発生材の処理等

処理等
・ 発注者に引渡しを要するもの
・ 現場説明書による
・ 特別管理型産業廃棄物の種類及び処理方法
・ 現場説明書による
○ 工事現場において再利用及び再資源化を図るもの
○ 現場説明書による
※ 建設副産物情報交換システム（COBRIS）（財）日本建設情報総合センター
本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は、速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。
また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入（搬出）する場合は、次表により計画書（実施書）を提出する。なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議する。

(1.3.11)

○ 材料の品質等

品質等
(1) 本工事に使用する材料は、設計図面に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
(2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
(3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
(4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関〔（一社）公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質評価事業」の評価書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③ 安定的な供給が可能であること。
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。
(5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料
○ （一社）公共建築協会の「建築材料・設備機材等品質評価事業」において評価書が発行されている材料
成型用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下敷収縮モルタル、無収縮グラウト材、押出成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材、セラミックタイル、既設合モルタル、既設合目地材、ルーフトレン、吸水調整材、防水材、アルミニウム製建具（コンクリート系下地及び鉄骨下地）、樹脂製建具（コンクリート系下地及び鉄骨下地）、鋼製建具、鋼製軽重建具、ステンレス製建具、錠前類、クローザ類、自動ドア機構、閉閉式上吊り引戸機構、重畳シャッター、軽重シャッター、オーバーヘッドドア、ガラス、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切り、移動間仕切り、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル、鉄製鉄るた

(1.4.2)

項目	特記事項																																																																																										
○ 技能士	適用 適用する技能検定の職種及び作業の種別は次表による。(1.5.2) <table><thead><tr><th>適用工事種類</th><th>職 種</th><th>技能検定の作業の種別</th></tr></thead><tbody><tr><td>仮設工事</td><td>とび</td><td>○ とび作業</td></tr><tr><td>鉄筋工事</td><td>鉄筋施工</td><td>○ 鉄筋組立て作業</td></tr><tr><td>コンクリート工事</td><td>型枠施工</td><td>○ 型枠工事作業</td></tr><tr><td></td><td>コンクリート圧送施工</td><td>○ コンクリート圧送工事作業</td></tr><tr><td>鉄骨工事</td><td>鉄工</td><td>○ 構造物鉄工作業</td></tr><tr><td>コンクリートブロック・MLCパネル及び押出成形セメント板工事</td><td>ブロック建築</td><td>・ コンクリートブロック工事作業</td></tr><tr><td></td><td>エーエルシーパネル施工</td><td>○ エーエルシーパネル工事作業</td></tr><tr><td>防水工事</td><td>防水施工</td><td>○ アスファルト防水工事作業 ○ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ○ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 ・ FRP防水工事作業</td></tr><tr><td>石工事</td><td>石材施工</td><td>・ 石張り作業</td></tr><tr><td>タイル工事</td><td>タイル張り</td><td>○ タイル張り作業</td></tr><tr><td>木工工事</td><td>建築大工</td><td>○ 大工工事作業</td></tr><tr><td>屋根及びとい工事</td><td>建築板金</td><td>○ 内外装板金作業</td></tr><tr><td>金属工事</td><td>内装仕上げ施工</td><td>○ 鋼製下地工事作業</td></tr><tr><td></td><td>建築板金</td><td>○ 内外装板金作業</td></tr><tr><td>左官工事</td><td>左官</td><td>○ 左官作業</td></tr><tr><td>建具工事</td><td>サッシ施工</td><td>○ ビル用サッシ施工作業</td></tr><tr><td></td><td>ガラス施工</td><td>○ ガラス工事作業</td></tr><tr><td></td><td>自動ドア施工</td><td>・ 自動ドア施工作業</td></tr><tr><td>カーテンウォール工事</td><td>カーテンウォール施工</td><td>・ 金属製カーテンウォール工事作業</td></tr><tr><td></td><td>サッシ施工</td><td>・ ビル用サッシ施工作業</td></tr><tr><td></td><td>ガラス施工</td><td>・ ガラス工事作業</td></tr><tr><td>塗装工事</td><td>塗装</td><td>○ 建築塗装作業</td></tr><tr><td></td><td></td><td>○ プラスチック系床仕上げ工事作業</td></tr><tr><td>内装工事</td><td>内装仕上げ施工</td><td>・ カーペット系床仕上げ工事作業 ・ 木質系床仕上げ工事作業</td></tr><tr><td></td><td></td><td>○ ボード仕上げ工事作業</td></tr><tr><td></td><td>表装</td><td>○ 壁装作業</td></tr><tr><td>排水工事</td><td>配管</td><td>○ 建築配管作業</td></tr><tr><td>舗装工事</td><td>路面標示施工</td><td>○ 溶融ペイントハンドマーカール工事作業 ・ 加熱ペイントマシンマーカール工事作業</td></tr><tr><td>植栽工事</td><td>造園</td><td>・ 造園工事作業</td></tr></tbody></table>	適用工事種類	職 種	技能検定の作業の種別	仮設工事	とび	○ とび作業	鉄筋工事	鉄筋施工	○ 鉄筋組立て作業	コンクリート工事	型枠施工	○ 型枠工事作業		コンクリート圧送施工	○ コンクリート圧送工事作業	鉄骨工事	鉄工	○ 構造物鉄工作業	コンクリートブロック・MLCパネル及び押出成形セメント板工事	ブロック建築	・ コンクリートブロック工事作業		エーエルシーパネル施工	○ エーエルシーパネル工事作業	防水工事	防水施工	○ アスファルト防水工事作業 ○ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ○ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 ・ FRP防水工事作業	石工事	石材施工	・ 石張り作業	タイル工事	タイル張り	○ タイル張り作業	木工工事	建築大工	○ 大工工事作業	屋根及びとい工事	建築板金	○ 内外装板金作業	金属工事	内装仕上げ施工	○ 鋼製下地工事作業		建築板金	○ 内外装板金作業	左官工事	左官	○ 左官作業	建具工事	サッシ施工	○ ビル用サッシ施工作業		ガラス施工	○ ガラス工事作業		自動ドア施工	・ 自動ドア施工作業	カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・ 金属製カーテンウォール工事作業		サッシ施工	・ ビル用サッシ施工作業		ガラス施工	・ ガラス工事作業	塗装工事	塗装	○ 建築塗装作業			○ プラスチック系床仕上げ工事作業	内装工事	内装仕上げ施工	・ カーペット系床仕上げ工事作業 ・ 木質系床仕上げ工事作業			○ ボード仕上げ工事作業		表装	○ 壁装作業	排水工事	配管	○ 建築配管作業	舗装工事	路面標示施工	○ 溶融ペイントハンドマーカール工事作業 ・ 加熱ペイントマシンマーカール工事作業	植栽工事	造園	・ 造園工事作業
適用工事種類	職 種	技能検定の作業の種別																																																																																									
仮設工事	とび	○ とび作業																																																																																									
鉄筋工事	鉄筋施工	○ 鉄筋組立て作業																																																																																									
コンクリート工事	型枠施工	○ 型枠工事作業																																																																																									
	コンクリート圧送施工	○ コンクリート圧送工事作業																																																																																									
鉄骨工事	鉄工	○ 構造物鉄工作業																																																																																									
コンクリートブロック・MLCパネル及び押出成形セメント板工事	ブロック建築	・ コンクリートブロック工事作業																																																																																									
	エーエルシーパネル施工	○ エーエルシーパネル工事作業																																																																																									
防水工事	防水施工	○ アスファルト防水工事作業 ○ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ○ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 ・ FRP防水工事作業																																																																																									
石工事	石材施工	・ 石張り作業																																																																																									
タイル工事	タイル張り	○ タイル張り作業																																																																																									
木工工事	建築大工	○ 大工工事作業																																																																																									
屋根及びとい工事	建築板金	○ 内外装板金作業																																																																																									
金属工事	内装仕上げ施工	○ 鋼製下地工事作業																																																																																									
	建築板金	○ 内外装板金作業																																																																																									
左官工事	左官	○ 左官作業																																																																																									
建具工事	サッシ施工	○ ビル用サッシ施工作業																																																																																									
	ガラス施工	○ ガラス工事作業																																																																																									
	自動ドア施工	・ 自動ドア施工作業																																																																																									
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・ 金属製カーテンウォール工事作業																																																																																									
	サッシ施工	・ ビル用サッシ施工作業																																																																																									
	ガラス施工	・ ガラス工事作業																																																																																									
塗装工事	塗装	○ 建築塗装作業																																																																																									
		○ プラスチック系床仕上げ工事作業																																																																																									
内装工事	内装仕上げ施工	・ カーペット系床仕上げ工事作業 ・ 木質系床仕上げ工事作業																																																																																									
		○ ボード仕上げ工事作業																																																																																									
	表装	○ 壁装作業																																																																																									
排水工事	配管	○ 建築配管作業																																																																																									
舗装工事	路面標示施工	○ 溶融ペイントハンドマーカール工事作業 ・ 加熱ペイントマシンマーカール工事作業																																																																																									
植栽工事	造園	・ 造園工事作業																																																																																									
○ 施工の検査等	見本施工の実施 ・ する (適用箇所: ・ 現場説明書による ・) (1.5.5) ○ しない																																																																																										
・ 総合試運転調整	関連工事等との総合試運転調整 ・ 行う (適用箇所: ・ 現場説明書による ・) (1.5.7)																																																																																										
○ 化学物質の濃度測定	濃度測定の実施 ○ 適用する 測定時期 ○ 現場説明書による ・ 測定対象化学物質 ○ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン ・ 測定方法 ○ バックプ型採取機器による ・ 測定対象室及び測定箇所 ・ 現場説明書による ○ 研修室(1か所) 事務室(1か所) 仮眠室(1か所) 合計 3か所																																																																																										
○ 技術検査	中間技術検査 (1.6.2) ・ 実施回数()回 ・ 実施する段階() ※ 工事請負契約締結後、監督職員から通知																																																																																										
○ 完成時の提出図書	提出図書 ※ 標準仕様書 1.7.2及び1.7.3による ・																																																																																										
○ 完成図	種類、記入内容等 (1.7.2)(表1.7.1) ※ 標準仕様書 表 1.7.1による 提出部数(2)部 提出仕様(○ 紙ベース ○ 電子データ ・) ※ 竣工図 速やかに次の図書を提出する (※ 完成図 ・ 施工図) ○ A3判を2つ折りにして製本 2部 ・ 部 ※ 電子データ提出 一式 (福山市竣工図電子データ作成要領による。) ○ CADデータ (媒体 (CD-R等)、データ形式等は監督職員の指示による。)																																																																																										
○ 保全に関する資料	作成等 (1.7.3) 提出部数(1)部 提出仕様(○ 紙ベース ・ 電子データ ・)																																																																																										
○ 完成写真	工事完成時に次の完成写真を撮影し、監督職員に提出する。 撮影箇所(外景4面 ・ 各室4面) 撮影仕様(形 式: ※ 電子データ JPEG フルカラー ・ 画質等: ○ 外景 4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの ○ 各室 1280×960ピクセル以上かつデジタルカメラの設定のうち最高の画質) 提出仕様(○ 電子データ ○ アルバム (A4程度) 2部 ・ 写真帳 1部) 検査後14日以内に提出する。 電子データ形式等は、監督職員の指示による。																																																																																										
○ 設計G L	○ 図示による ・																																																																																										

項 目		特記事項	
○ 監督職員事務所等	監督職員事務所等 (2.3.1) 建物 ・ 設置する ○ 設置しない 規模、仕上げの程度 ・ 現場説明書による ・ 設備 ※ 監督職員との協議による ・ 現場説明書による ・ 備品等の種類及び数量 ・ 現場説明書による ・		
○ 工事用水	構内既存の施設 ○ 利用できない ・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償)		
○ 工事用電力	構内既存の施設 ○ 利用できない ・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償)		
事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事 図名称 建築工事特記仕様書 No-1			
 福山市建設局建築部営繕課 設計 2025年 12月		 原 設 計 株 式 会 社 一級建築士事務所所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第 293830号 甲斐 宣行	
		縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50%	図面No A 001

章	項 目	特記事項	章	項 目	特記事項	章	項 目	特記事項																																																																																
③ 土木工事	○ 埋戻し及び盛土	材料及び工法 ※ 標準仕様書 表 3. 2. 1 による ・ A 種 施工箇所 () ○ B 種 施工箇所 (全て) ・ C 種 施工箇所 () 土質 () ・ 受渡場所 () ・ D 種 施工箇所 () 建設発生土の処理 処理 ○ 構外搬出 (搬出先:) ・ 構内指定場所に増積 ・ 構内指定場所に数均し ・	(3. 2. 3)(表 3. 2. 1)	4	継手 杭の継手の工法 ・ 溶接継手 溶接材料 ・ 標準仕様書 7. 2. 5 (1) (2) による ・ 機械式継手 杭頭の処理等 ・ 処理する ・ 処理しない (4. 3. 8)(4. 4. 6) 処理方法 (切断に伴う補強方法含む) ・ 図示による ・ 材料その他 (4. 5. 4) 鉄筋の種類 (4. 5. 4)(5. 2. 1) <table><tr><th>種類の記号</th><th>呼び径 (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ SD295</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ SD345</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 帯筋の加工及び組立 (4. 5. 4) ・ 図示による 鉄筋の最小かぶり厚さ (4. 5. 4) ・ 100mm 鉄筋かごの補強 (4. 5. 4) ・ 図示による 組み立てた鉄筋の節ごとの継手 (4. 5. 4)(5. 3. 4) ※ 重ね継手 重ね継手の長さ ※ 標準仕様書 表 5. 3. 2 による ・ 主筋の基礎底盤への定着長さ (4. 5. 4)(5. 3. 4) ・ 図示による セメントの種類 (4. 5. 4) ※ 高炉セメント B 種 コンクリートの設計基準強度 (F _c) (4. 5. 4) ・ 図示による コンクリートの種類の (4. 5. 4)(表 4. 5. 1) ・ A 種 ・ B 種 ・ 評定等の内容による スランプ (4. 5. 4) ※ 21cm ・ 18cm ・ () cm 構造体強度補正値 (S) (4. 5. 4) ※ 3 N/mm2 ・ 図示による ・ 評定等の内容による 鋼材部分の材料 ・ 図示による 工法 (4. 5. 1) (4. 5. 4 ～4. 5. 6) ・ アースドリル工法 ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管の種類 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ 拡張杭工法 ・ 杭の支持層への根入れ長さ ・ 図示による 杭の水平方向の位置ずれ精度 ・ 杭径の 1/4 かつ 100mm 以下 孔壁の確認 (超音波測定器による) ・ 行う 測定箇所 ・ 試験杭 () 箇所、本杭 () 箇所 ・ ○ 砂利地業 (4. 6. 2) 材料 ○ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 砂利地業の厚さ (4. 6. 3) ※ 60mm ○ 図示 範囲 ・ 基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下、土間コンクリート下 ○ 図示による ・ ・ 砂地業 (4. 6. 2) 材料 ・ シルト ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 砂地業の厚さ (4. 6. 3) ※ 60mm 範囲 ・ 図示による ・ ○ 捨コンクリート地業 (4. 6. 4) 捨コンクリートの厚さ (4. 6. 4) ※ 50mm 範囲 ・ 基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下 ○ 図示による コンクリートの種類 (4. 6. 4)(6. 14. 1) ※ 普通コンクリート 標準仕様書 表 6. 2. 1 以外のコンクリートを用いる場合 (4. 6. 4)(6. 14. 1) ・ 図示による 設計基準強度 (4. 6. 4)(6. 14. 1) ※ 18N/mm2 スランプ (4. 6. 4)(6. 14. 1) ※ 15cm又は 18cm ○ 床下防湿層 (4. 6. 5) 防湿層 ○ 適用する 材料 (4. 6. 2) ※ ポリエチレンフィルム厚さ 0.15mm 以上 範囲 (4. 6. 5) ・ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピット下を除く) ○ 図示による ○ 地盤改良 (深層混合処理工法) (4. 7. 2) 材料 固化材の種類 ○ セメント固化材 (4. 7. 3) 工法 方式 ※ 機械攪拌方式 改良体の設計基準強度 (F _c)、改良体長さ、改良率、改良体幅 ○ 図示による	種類の記号	呼び径 (mm)	備考	・ SD295			・ SD345			・			材料 (4. 8. 2) 固化材の種類 ・ セメント固化材 工法 (4. 8. 3) 方式 ※ 原位置混合方式 改良体の設計基準強度 (F _c)、改良対象土、改良範囲、改良厚さ ・ 図示による 固化材の配合量を決定するための対象とする地層 ・ 図示による 室内配合試験における一軸圧縮試験の供試体数 ・ 図示による 改良工事後の試験 一軸圧縮試験の検査対象、コア採取方法、供試体数、検査方法 ・ 図示による 六価クロム溶出試験 ○ 適用する ・ 適用しない 鉄筋の種類 (5. 2. 1) <table><tr><th>種類の記号</th><th>呼び径 (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>○ SD295</td><td>○ D16 以下</td><td></td></tr><tr><td>○ SD345</td><td>○ D19 以上</td><td></td></tr><tr><td>○ SD390</td><td>D29 以上</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 鉄線の形状等 (5. 2. 2) <table><tr><th>種類</th><th>種類の記号</th><th>鉄線の形状、綱目寸法、鉄線の径 (mm)</th><th>使用部位</th></tr><tr><td>○ 溶接金網</td><td></td><td>図示</td><td>図示</td></tr></table> 鉄筋の折曲げ形状及び寸法 (5. 3. 2) ○ 鉄筋の折曲げ角度が 90°未満の折曲げ内法直径 (D) (3 d) 以上 鉄筋の継手の方法等 (5. 3. 4) <table><tr><th>部位</th><th>継手の方法</th><th>呼び径 (mm)</th></tr><tr><td>柱及び梁主筋</td><td>○ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 ・ 重ね継手</td><td>・</td></tr><tr><td>耐力壁の鉄筋</td><td>○ 重ね継手 ・</td><td>・</td></tr><tr><td>基礎、耐圧スラブ、土圧壁</td><td>○ 重ね継手 ○ ガス圧接</td><td>・</td></tr><tr><td>上記以外 (図示)</td><td>○ 重ね継手 ・</td><td>・</td></tr></table> 継手位置 (5. 3. 4) ○ 図示による 柱及び梁主筋の重ね継手の長さ (5. 3. 4) ○ 図示による 耐力壁の重ね継手の長さ (5. 3. 4) ※ 標準仕様書 5. 3. 4 (3) (ア) による ・ 図示による ・ 先組み工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同箇所に設ける場合 ・ 図示による 鉄筋の定着長さ (5. 3. 4) ※ 標準仕様書 表 5. 3. 4 による ・ 図示による 標準仕様書 5. 3. 4 (5) (イ) の場合の折り曲げ定着の方法 ※ 標準仕様書 図 5. 3. 3 により 5. 3. 4 (5) (イ) を全て満足する ・ 機械式定着工法 (5. 3. 4) ・ 適用する ○ 適用しない 適用箇所 ・ 図示による 種類 ・ 図示による ○ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む) (5. 3. 5) 最小かぶり厚さ (目地底から算出を行う) ※ 標準仕様書 表 5. 3. 6 による 柱及び梁の主筋に D29 以上の使用の有無 ・ 有り 使用箇所 () 主筋のかぶり厚さを径の 1.5 倍以上確保する 軽量コンクリートの適用の有無 ・ 有り 適用箇所 () ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ () mm ・ 耐久性上不利な箇所の有無 (塩害等を受けるおそれのある部分等) ・ 有り 適用箇所 () ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ () mm ・ ・ 図示による ○ 各部配筋 (5. 3. 7) 各部配筋 ○ 図示による ○ 圧縮完了後の圧接部の試験 (5. 4. 10)(5. 4. 11) 抜取試験 ※ 超音波探傷試験 標準仕様書 5. 4. 10 (イ) (a) による ・ 引張試験 試験方法等 ・ 図示による ・ 機械式継手 (5. 5. 3) 適用箇所 ・ 図示による 平成 12 年建設省告示第 1463 号に適合する性能 (5. 5. 3) ・ A 級 機械式継手の種類 (5. 5. 3) ・ 図示による 鉄筋相互のあき (5. 5. 3) ・ 評定等の内容による ・ 図示による	種類の記号	呼び径 (mm)	備考	○ SD295	○ D16 以下		○ SD345	○ D19 以上		○ SD390	D29 以上		・			種類	種類の記号	鉄線の形状、綱目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	○ 溶接金網		図示	図示	部位	継手の方法	呼び径 (mm)	柱及び梁主筋	○ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 ・ 重ね継手	・	耐力壁の鉄筋	○ 重ね継手 ・	・	基礎、耐圧スラブ、土圧壁	○ 重ね継手 ○ ガス圧接	・	上記以外 (図示)	○ 重ね継手 ・	・	・ 溶接継手 ○ コンクリートの種類 種類 コンクリートの類別 (6. 2. 1)(表 6. 2. 1) ※ I 類 (J I S A 5 3 0 8 への適合を認証されたコンクリート) ・ II 類 (J I S A 5 3 0 8 に適合したコンクリート) ○ 普通コンクリート (6. 2. 1 ～6. 2. 4)(表 6. 2. 2) <table><tr><th>設計基準強度 (N/mm2)</th><th>スランプ (cm)</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>○ 24</td><td>※ 15又は 18</td><td>基礎、基礎梁、土間スラブ</td></tr><tr><td>○ 24</td><td>※ 18</td><td>柱、梁、スラブ、壁</td></tr><tr><td>○ 21</td><td>○ 15</td><td>土間</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td></tr></table> ・ 軽量コンクリート (6. 2. 1)(6. 10. 2) ・ 建築基準法第 37 条第二号の規定に基づき認定を受けたコンクリート (6. 2. 1) 適用箇所 () ○ 構造体コンクリートの 4 週強度は、公的機関により確認すること。 (6. 9. 3) 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6. 2. 5)(表 6. 2. 4) <table><tr><th>種別</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>○ A 種</td><td>○ 図示による</td></tr><tr><td>○ B 種</td><td>○ 図示による</td></tr><tr><td>○ C 種</td><td>○ 図示による</td></tr></table> コンクリートの仕上げの平たんさ (6. 2. 5)(表 6. 2. 5) <table><tr><th>種別</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>○ a 種</td><td>○ 図示による</td></tr><tr><td>○ b 種</td><td>・ 図示による ○ 見え掛り</td></tr><tr><td>○ c 種</td><td>・ 図示による ○ 基礎、地中梁</td></tr></table> ○ セメント 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント A 種、シリカセメント A 種又はフライアッシュセメント A 種 適用箇所 (※ 下記以外全て) ・ 高炉セメント B 種 適用箇所 () ・ フライアッシュセメント B 種 適用箇所 () ・ 普通エコセメント 適用箇所 () ○ 骨材 (6. 3. 1) フェロニッケルスラグ骨材、鋼スラグ細骨材及び電気炉酸化スラグ骨材 ・ 適用する 適用箇所 () ○ 適用しない 再生骨材 H (普通エコセメントを使用するコンクリート) (6. 3. 1) ・ 適用する 適用箇所 () ○ 適用しない アルカリシリカ反応性による区分 (6. 3. 1) ※ A ・ B ○ 混和材料 (6. 3. 1) 混和材料の適用及び種類 (6. 3. 1) ○ 混和剤 混和剤の種類 ※ 標準仕様書 6. 3. 1 (4) (a) による ・ 混和材 (6. 3. 1) 混和材の種類 ※ 標準仕様書 6. 3. 1 (4) (b) による 標準仕様書 6. 3. 2 (イ) (イ) の①～③以外の混和材料 使用方法及び使用量 ※ 監督職員の承諾による (6. 3. 2) ○ コンクリートの調合 (6. 3. 2) 調合管理強度 構造体強度補正値 (S) ※ 標準仕様書 表 6. 3. 2 による ・ 水セメント比 構造体コンクリートは 5 5 % 以下、それ以外は 6 5 % 以下とする ○ 打継ぎの位置、梁及びスラブ、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6. 6. 4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※ スパンの中央又は端から 1/4 の付近 ・ 図示による 柱及び壁 ※ スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・ 図示による 目地の寸法 (6. 6. 4)(6. 8. 1)(9. 7. 3) ※ 標準仕様書 9. 7. 3 (1) (ア) による ・ 図示による ひび割れ誘発目地の位置、形状 ○ 図示による	設計基準強度 (N/mm2)	スランプ (cm)	適用箇所	○ 24	※ 15又は 18	基礎、基礎梁、土間スラブ	○ 24	※ 18	柱、梁、スラブ、壁	○ 21	○ 15	土間	・	・		種別	適用箇所	○ A 種	○ 図示による	○ B 種	○ 図示による	○ C 種	○ 図示による	種別	適用箇所	○ a 種	○ 図示による	○ b 種	・ 図示による ○ 見え掛り	○ c 種	・ 図示による ○ 基礎、地中梁
	種類の記号	呼び径 (mm)	備考																																																																																					
・ SD295																																																																																								
・ SD345																																																																																								
・																																																																																								
種類の記号	呼び径 (mm)	備考																																																																																						
○ SD295	○ D16 以下																																																																																							
○ SD345	○ D19 以上																																																																																							
○ SD390	D29 以上																																																																																							
・																																																																																								
種類	種類の記号	鉄線の形状、綱目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																																																																																					
○ 溶接金網		図示	図示																																																																																					
部位	継手の方法	呼び径 (mm)																																																																																						
柱及び梁主筋	○ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 ・ 重ね継手	・																																																																																						
耐力壁の鉄筋	○ 重ね継手 ・	・																																																																																						
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	○ 重ね継手 ○ ガス圧接	・																																																																																						
上記以外 (図示)	○ 重ね継手 ・	・																																																																																						
設計基準強度 (N/mm2)	スランプ (cm)	適用箇所																																																																																						
○ 24	※ 15又は 18	基礎、基礎梁、土間スラブ																																																																																						
○ 24	※ 18	柱、梁、スラブ、壁																																																																																						
○ 21	○ 15	土間																																																																																						
・	・																																																																																							
種別	適用箇所																																																																																							
○ A 種	○ 図示による																																																																																							
○ B 種	○ 図示による																																																																																							
○ C 種	○ 図示による																																																																																							
種別	適用箇所																																																																																							
○ a 種	○ 図示による																																																																																							
○ b 種	・ 図示による ○ 見え掛り																																																																																							
○ c 種	・ 図示による ○ 基礎、地中梁																																																																																							
④ 地盤工事	○ 試験及び報告書等 ○ 直接基礎 (4. 2. 1) 支持地盤の位置及び土質 (基礎底部の位置含む) ○ 図示による 試験掘り (根切り底の状態の確認等) ・ 行う ・ 行わない 位置等 ・ 図示による ・ ・ 杭基礎 (4. 2. 2)(4. 3. 4)(4. 3. 5)(4. 5. 5)(4. 5. 6) 支持層の位置及び土質 (杭先端の位置含む) ・ 図示による 試験杭の位置、本数及び寸法 ・ 図示による ・ 杭の載荷試験 (4. 2. 3) ・ 適用する ・ 適用しない 載荷試験の方法 ・ 鉛直載荷試験 ・ 地盤工学会基準 JGS () による ・ ・ 水平載荷試験 ・ 地盤工学会基準 JGS1831I による ・ ・ 載荷試験の試験杭の位置、本数及び載荷荷重 ・ 図示による 報告書の記載事項 ・ ・ 地盤の載荷試験 (4. 2. 4) ・ 適用する ・ 適用しない 載荷試験の方法 平板載荷試験 ・ 地盤工学会基準 JGS1521I による ・ ・ 載荷試験の位置、載荷荷重 ・ 図示による 報告書の記載事項 ・ ・ 既製コンクリート杭地業 (4. 3. 3) 材料 杭の種類 ・ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC 杭) ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭 (PRC 杭) ・ 外殻鋼管付きコンクリート杭 (SC 杭) SC 杭の鋼管材料 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ 杭の性能及び曲げ強度等による区分等 ・ 図示による 杭の寸法、継手の箇所数等 ・ 図示による 杭先端部形状 (4. 3. 3) ・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉そく形 ・ 工法 ・ セメントミルク工法 (4. 3. 1) (4. 3. 4) 掘削深さ ・ 図示による ・ 図示による 杭の支持層への根入れ長さ ・ 図示による 杭の水平方向の位置ずれ精度 ・ 杭径の 1/4 かつ 100mm 以下 掘削め洩及び杭周囲定液の管理試験 ※ 標準仕様書 4. 3. 4 (6) (コ) による ・ ・ 特定埋込杭工法 (4. 3. 1)(4. 3. 5) ・ プレポーリング拡大掘削工法 ・ 中掘り拡大掘削工法 ・ ・ 平成 13 年国土交通省告示第 1113 号第 6 による地盤の許容支持力式で α=250 を採用できる工法 ・ 平成 13 年国土交通省告示第 1113 号第 6 による地盤の許容支持力式のうち、α、β、γ が以下の値を採用できる工法 α= ()、β= ()、γ= () 継手 (4. 3. 3)(4. 3. 6)(7. 2. 5) 杭の継手の工法 ・ 溶接継手 溶接材料 ・ 標準仕様書 7. 2. 5 (1) (2) による ・ ・ 機械式継手 杭頭の処理 (4. 3. 8) ・ 処理する ・ 処理しない 処理方法 (切断に伴う補強方法含む) ・ 図示による ・ ・ 鋼杭地業 (4. 4. 3) 材料 鋼杭の材料 ・ 図示による ・ 工法 特定埋込杭工法 (4. 3. 5)(4. 4. 4) ・ 中掘り拡大掘削工法 ・ ・ 平成 13 年国土交通省告示第 1113 号第 6 による地盤の許容支持力式で α=250 を採用できる工法 ・ 平成 13 年国土交通省告示第 1113 号第 6 による地盤の許容支持力式の うち α、β、γ が以下の値を採用できる工法 α= ()、β= ()、γ= ()	・ 場所打ちコンクリート杭地業 (4. 5. 4) 鉄筋の種類 (4. 5. 4)(5. 2. 1) <table><tr><th>種類の記号</th><th>呼び径 (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ SD295</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ SD345</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 帯筋の加工及び組立 (4. 5. 4) ・ 図示による 鉄筋の最小かぶり厚さ (4. 5. 4) ・ 100mm 鉄筋かごの補強 (4. 5. 4) ・ 図示による 組み立てた鉄筋の節ごとの継手 (4. 5. 4)(5. 3. 4) ※ 重ね継手 重ね継手の長さ ※ 標準仕様書 表 5. 3. 2 による ・ 主筋の基礎底盤への定着長さ (4. 5. 4)(5. 3. 4) ・ 図示による セメントの種類 (4. 5. 4) ※ 高炉セメント B 種 コンクリートの設計基準強度 (F _c) (4. 5. 4) ・ 図示による コンクリートの種類の (4. 5. 4)(表 4. 5. 1) ・ A 種 ・ B 種 ・ 評定等の内容による スランプ (4. 5. 4) ※ 21cm ・ 18cm ・ () cm 構造体強度補正値 (S) (4. 5. 4) ※ 3 N/mm2 ・ 図示による ・ 評定等の内容による 鋼材部分の材料 ・ 図示による 工法 (4. 5. 1) (4. 5. 4 ～4. 5. 6) ・ アースドリル工法 ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管の種類 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ 拡張杭工法 ・ 杭の支持層への根入れ長さ ・ 図示による 杭の水平方向の位置ずれ精度 ・ 杭径の 1/4 かつ 100mm 以下 孔壁の確認 (超音波測定器による) ・ 行う 測定箇所 ・ 試験杭 () 箇所、本杭 () 箇所 ・ ○ 砂利地業 (4. 6. 2) 材料 ○ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 砂利地業の厚さ (4. 6. 3) ※ 60mm ○ 図示 範囲 ・ 基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下、土間コンクリート下 ○ 図示による ・ ・ 砂地業 (4. 6. 2) 材料 ・ シルト ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 砂地業の厚さ (4. 6. 3) ※ 60mm 範囲 ・ 図示による ・ ○ 捨コンクリート地業 (4. 6. 4) 捨コンクリートの厚さ (4. 6. 4) ※ 50mm 範囲 ・ 基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下 ○ 図示による コンクリートの種類 (4. 6. 4)(6. 14. 1) ※ 普通コンクリート 標準仕様書 表 6. 2. 1 以外のコンクリートを用いる場合 (4. 6. 4)(6. 14. 1) ・ 図示による 設計基準強度 (4. 6. 4)(6. 14. 1) ※ 18N/mm2 スランプ (4. 6. 4)(6. 14. 1) ※ 15cm又は 18cm ○ 床下防湿層 (4. 6. 5) 防湿層 ○ 適用する 材料 (4. 6. 2) ※ ポリエチレンフィルム厚さ 0.15mm 以上 範囲 (4. 6. 5) ・ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピット下を除く) ○ 図示による ○ 地盤改良 (深層混合処理工法) (4. 7. 2) 材料 固化材の種類 ○ セメント固化材 (4. 7. 3) 工法 方式 ※ 機械攪拌方式 改良体の設計基準強度 (F _c)、改良体長さ、改良率、改良体幅 ○ 図示による	種類の記号	呼び径 (mm)	備考	・ SD295			・ SD345			・			材料 (4. 8. 2) 固化材の種類 ・ セメント固化材 工法 (4. 8. 3) 方式 ※ 原位置混合方式 改良体の設計基準強度 (F _c)、改良対象土、改良範囲、改良厚さ ・ 図示による 固化材の配合量を決定するための対象とする地層 ・ 図示による 室内配合試験における一軸圧縮試験の供試体数 ・ 図示による 改良工事後の試験 一軸圧縮試験の検査対象、コア採取方法、供試体数、検査方法 ・ 図示による 六価クロム溶出試験 ○ 適用する ・ 適用しない 鉄筋の種類 (5. 2. 1) <table><tr><th>種類の記号</th><th>呼び径 (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>○ SD295</td><td>○ D16 以下</td><td></td></tr><tr><td>○ SD345</td><td>○ D19 以上</td><td></td></tr><tr><td>○ SD390</td><td>D29 以上</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 鉄線の形状等 (5. 2. 2) <table><tr><th>種類</th><th>種類の記号</th><th>鉄線の形状、綱目寸法、鉄線の径 (mm)</th><th>使用部位</th></tr><tr><td>○ 溶接金網</td><td></td><td>図示</td><td>図示</td></tr></table> 鉄筋の折曲げ形状及び寸法 (5. 3. 2) ○ 鉄筋の折曲げ角度が 90°未満の折曲げ内法直径 (D) (3 d) 以上 鉄筋の継手の方法等 (5. 3. 4) <table><tr><th>部位</th><th>継手の方法</th><th>呼び径 (mm)</th></tr><tr><td>柱及び梁主筋</td><td>○ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 ・ 重ね継手</td><td>・</td></tr><tr><td>耐力壁の鉄筋</td><td>○ 重ね継手 ・</td><td>・</td></tr><tr><td>基礎、耐圧スラブ、土圧壁</td><td>○ 重ね継手 ○ ガス圧接</td><td>・</td></tr><tr><td>上記以外 (図示)</td><td>○ 重ね継手 ・</td><td>・</td></tr></table> 継手位置 (5. 3. 4) ○ 図示による 柱及び梁主筋の重ね継手の長さ (5. 3. 4) ○ 図示による 耐力壁の重ね継手の長さ (5. 3. 4) ※ 標準仕様書 5. 3. 4 (3) (ア) による ・ 図示による ・ 先組み工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同箇所に設ける場合 ・ 図示による 鉄筋の定着長さ (5. 3. 4) ※ 標準仕様書 表 5. 3. 4 による ・ 図示による 標準仕様書 5. 3. 4 (5) (イ) の場合の折り曲げ定着の方法 ※ 標準仕様書 図 5. 3. 3 により 5. 3. 4 (5) (イ) を全て満足する ・ 機械式定着工法 (5. 3. 4) ・ 適用する ○ 適用しない 適用箇所 ・ 図示による 種類 ・ 図示による ○ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む) (5. 3. 5) 最小かぶり厚さ (目地底から算出を行う) ※ 標準仕様書 表 5. 3. 6 による 柱及び梁の主筋に D29 以上の使用の有無 ・ 有り 使用箇所 () 主筋のかぶり厚さを径の 1.5 倍以上確保する 軽量コンクリートの適用の有無 ・ 有り 適用箇所 () ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ () mm ・ 耐久性上不利な箇所の有無 (塩害等を受けるおそれのある部分等) ・ 有り 適用箇所 () ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ () mm ・ ・ 図示による ○ 各部配筋 (5. 3. 7) 各部配筋 ○ 図示による ○ 圧縮完了後の圧接部の試験 (5. 4. 10)(5. 4. 11) 抜取試験 ※ 超音波探傷試験 標準仕様書 5. 4. 10 (イ) (a) による ・ 引張試験 試験方法等 ・ 図示による ・ 機械式継手 (5. 5. 3) 適用箇所 ・ 図示による 平成 12 年建設省告示第 1463 号に適合する性能 (5. 5. 3) ・ A 級 機械式継手の種類 (5. 5. 3) ・ 図示による 鉄筋相互のあき (5. 5. 3) ・ 評定等の内容による ・ 図示による	種類の記号	呼び径 (mm)	備考	○ SD295	○ D16 以下		○ SD345	○ D19 以上		○ SD390	D29 以上		・			種類	種類の記号	鉄線の形状、綱目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	○ 溶接金網		図示	図示	部位	継手の方法	呼び径 (mm)	柱及び梁主筋	○ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 ・ 重ね継手	・	耐力壁の鉄筋	○ 重ね継手 ・	・	基礎、耐圧スラブ、土圧壁	○ 重ね継手 ○ ガス圧接	・	上記以外 (図示)	○ 重ね継手 ・	・																																			
種類の記号	呼び径 (mm)	備考																																																																																						
・ SD295																																																																																								
・ SD345																																																																																								
・																																																																																								
種類の記号	呼び径 (mm)	備考																																																																																						
○ SD295	○ D16 以下																																																																																							
○ SD345	○ D19 以上																																																																																							
○ SD390	D29 以上																																																																																							
・																																																																																								
種類	種類の記号	鉄線の形状、綱目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																																																																																					
○ 溶接金網		図示	図示																																																																																					
部位	継手の方法	呼び径 (mm)																																																																																						
柱及び梁主筋	○ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 ・ 重ね継手	・																																																																																						
耐力壁の鉄筋	○ 重ね継手 ・	・																																																																																						
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	○ 重ね継手 ○ ガス圧接	・																																																																																						
上記以外 (図示)	○ 重ね継手 ・	・																																																																																						
工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事						縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50%		図面No A 002																																																																																
図面名称 建築工事特記仕様書 No=2						福山市建設局建築部営繕課 設計 2 0 2 5 年 1 2 月		原 設 計 株 式 会 社 一級建築士事務所 広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一般建築士 第 293830 号 甲斐 宣行																																																																																

⑥

コンクリート工事

○ 打増し厚さ
(打増し仕上げ部)

打増し厚さ (6.8.1)
○ 打増し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る)
○ 20mm
・ 打増し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る)
・ 10mm 20mm
打増し範囲
○ 図示による

○ 型枠

せき板の材料 (6.8.2)
※ 標準仕様書 6.8.2 (1) (ア)、(イ)による
・ 合板 (厚さ ※ 12mm)
・ 断熱材を兼用した型枠
使用箇所
・ 図示による
・ MCR工法用シート (6.8.2)
適用箇所
・ 図示による
スリーブの材質・規格等 (6.8.2)
・ 図示による
型枠の最小存置期間 (6.8.4)
・ セメントの種類が普通エコセメントの場合 ()

・ 軽重コンクリート

適用箇所
・ 図示による (6.10.1)
種類
・ 1種 2種 (6.10.2)(表6.10.1)
気乾単位容積重量
・ () t/m3
スランプ
※ 21cm

○ 寒中コンクリート

適用期間 (6.11.1)
・ 図示による ○ 11月下旬～3月上旬
構造体強度補正值 (S) (6.11.2)
○ 標準仕様書 6.11.2 (3) (ア)による
・ 積算温度を基に定める ()

○ 暑中コンクリート

スランプ
※ 21cm
構造体強度補正值 (S)
※ 標準仕様書 表 6.12.1 による
・

・ マスコンクリート

適用箇所 (6.13.1)
・ 図示による
セメントの種類 (6.13.2)
・ 普通ポルトランドセメント
・ 中熱ポルトランドセメント
・ 低熱ポルトランドセメント
・ 高炉セメント B種
・ フライアッシュセメント B種
・ シリカセメント
混和材料 (6.13.2)
・ 混和剤
混和剤の種類
※ 標準仕様書 6.13.2 (2) (ア)による
・ 混和材
混和材の種類
※ 標準仕様書 6.13.2 (2) (イ)による
・

スランプ (6.13.2)
※ 15cm
構造体強度補正值 (S) (6.13.2)
※ 標準仕様書 6.13.1 による

・ 無筋コンクリート

コンクリートの種類 (6.14.1)
※ 普通コンクリート
設計基準強度 (6.14.1)
※ 18 (N/mm2)
スランプ (6.14.1)
※ 15cm又は18cm
適用箇所 (6.14.1)
※ 標準仕様書 6.14.1 (4) による
・ 図示による
・ 標準仕様書表 6.2.1 以外のコンクリートを用いる場合 ()

・ 流動化コンクリート

適用箇所 (6.15.1)
・ 図示による
空気量
※ 4.5%
・

・ 高流動コンクリート

適用箇所 (部位、部材) (6.16.1)
・ 図示による
材料及び割合
スランプフロー
・ 図示による
空気量
※ 4.5%
単位粗骨材かさ容積
※ 0.50m3/m3以上

○ 鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力 (7.1.3)
○ 国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 (M) グレード以上
・ 監督職員の承認する工場

○ 施工管理技術者

鉄骨製作工場における施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)
○ 適用する

○ 鋼材

種類等 (7.2.1)
種類の記号 適用箇所 (主要な部分) 規格
S S 4 0 0 大梁、小梁、間柱、その他 ○ JISによる
S S 4 0 0 つなぎ材、胴縁、その他 ○ JISによる
B C R 2 9 5 柱 ○ JISによる
・ JISによる
・ JISによる
・ JISによる

○ 高力ボルト

形状および寸法 (7.2.1)
○ 適用する
板厚方向に引張力を受ける鋼材の試験 (7.2.10)
・ 行う (適用箇所:) ○ 行わない
(7.2.2)
高力ボルトの種類
○ トルシア形高力ボルト
○ JIS形高力ボルト
○ 溶融亜鉛めっき高力ボルト
・ 建築基準法に基づき認定を受けた高力ボルト
ボルトの寸法 (7.2.2)
ねじの呼び ○ 図示による
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)
○ 図示による
摩擦面の性能及び処理 (7.4.2)
・ すべり試験
試験の方法等
・ 図示による
・ 溶融亜鉛めっき面の摩擦面の処理方法 (7.12.5)
※ 標準仕様書 7.12.5 (1) (ア)、(イ)による

○ 普通ボルト

ボルト及びナットの材料 (7.2.3)
※ 標準仕様書表 7.2.3による
ボルトの形状及び寸法 (7.2.3)
ねじの呼び ○ 図示による
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)
○ 図示による
母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径 (7.3.8)
※ ねじの呼び径+1.0mm

○ アンカーボルト

種類 (7.2.4)
○ 構造用アンカーボルト
○ ABR400 ABR490
○ 建方用アンカーボルト
○ SS400
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※ 標準仕様書表 7.2.3による
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)
○ 図示による

○ 溶接材料

溶接材料 (7.2.5)
※ 標準仕様書 7.2.5 (1)、(2)による
・ 図示による

○ ターンバックル

種類 (7.2.6)
建築用ターンバックルボルト
※ 羽子板ボルト
建築用ターンバックル胴
※ 割棒式
ねじの呼び等 (7.2.6)
○ 図示による

○ 床構造用デッキプレート

材質、形状及び寸法 (7.2.7)
・ デッキプレート単独の構法
○ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法
・

○ スタッド

種類等 (7.2.8)
呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所
○ 16 90 図示
・ 19
・ 22

○ 柱底部モルタル

割合等 (7.2.9)(表7.2.5)
・ 標準仕様書 7.2.9 (1) によるモルタル
○ 無収縮モルタル
無収縮モルタルの材料、割合等
※ 標準仕様書 7.2.9 (2) による

・ 鉄骨の仮組

仮組の実施 (7.3.10)
・ する
仮組を行う範囲
・ 図示による

○ 溶接作業を行う技能資格者

技能付加試験 (7.6.3)
・ 行う ○ 行わない
試験の要領 図示による

○ 溶接接合

開先の形状 (7.6.4)
○ 図示による
鋼製エンドタブを切断する箇所及び切断範囲 (7.6.7)
・ 図示による
切断面の仕上げ
※ 標準仕様書 7.6.7 (1) (力) (b) ②による
低応力高サイクル疲労を受ける部位 (7.6.7)
図示による
スカラップの形状 (7.6.7)
○ 図示による

○ 溶接部の試験

溶接部の外観試験 (7.6.12)
平成12年建設省告示第1464号第二号に関する試験
試験の方法等
○ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル (鉄骨製作管理技術者登録機構)」
3.5.2 受人検査による。
※ 抜き取り検査② 抜き取り検査①

○ 錆止め塗装

○ 完全溶込み部の超音波探傷試験 (7.6.12)
・ 適用する
・ 適用しない
工場溶接の場合
AQL (%) ※ レベルⅡ レベルⅠ
節 ・ 全て
検査水準 ※ 第6水準

建築の範囲 (7.8.2)
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲
・ 図示による
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
※ 標準仕様書 7.8.2 (1) による
・ 図示による
下記以外の塗料の種類は、18章による
・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブに鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類
※ A s種 B s種 (7.8.4) (表18.3.1)
・ 耐火被覆が接着する面の塗料の種類
種類、材料、工法等 (7.9.2～7.9.8)

○ 耐火被覆

種類、材料、工法等 (7.9.2～7.9.8)
種 類 材料・工法 耐火性能 (時間) 適用箇所 (部位・部分)
・ 乾式収付けロックウール
・ 半乾式収付けロックウール
・ 湿式ロックウール
・ 耐火材吹付け
・ 耐火板張り
・ 耐火材巻付け
・ ラス張り
モルタル塗り
○ 耐火塗料

○ アンカーボルトの設置等

構造用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3)
○ 図示による
構造用アンカーボルトの保持及び埋込み (7.10.3)
※適切な鋼製アンカーフレーム等を設置して固定する方法
○ 図示による
建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.10.3)(表7.10.1)
種類 ○ A種 ○ B種
柱底部モルタルの厚さ及び工法の種類 (7.10.3)(表7.10.2)
厚さ ・ 30 mm
種類 ※ A種
ボルト接合方法 (7.11.2)
・ 普通ボルト接合

○ 補強コンクリートブロック造

材料 (8.2.2)
適用箇所 ブロックの種類 (断面形状及び圧縮強さによる区分) 正味厚さ (mm) モジュール呼び寸法 (mm) 備考
・ 1
・ 2
・ 3
・ 4
・ 5
・ 6
・ 7
・ 8
・ 9
・ 10
・ 11
・ 12
・ 13
・ 14
・ 15
・ 16
・ 17
・ 18
・ 19
・ 20
・ 21
・ 22
・ 23
・ 24
・ 25
・ 26
・ 27
・ 28
・ 29
・ 30
・ 31
・ 32
・ 33
・ 34
・ 35
・ 36
・ 37
・ 38
・ 39
・ 40
・ 41
・ 42
・ 43
・ 44
・ 45
・ 46
・ 47
・ 48
・ 49
・ 50
・ 51
・ 52
・ 53
・ 54
・ 55
・ 56
・ 57
・ 58
・ 59
・ 60
・ 61
・ 62
・ 63
・ 64
・ 65
・ 66
・ 67
・ 68
・ 69
・ 70
・ 71
・ 72
・ 73
・ 74
・ 75
・ 76
・ 77
・ 78
・ 79
・ 80
・ 81
・ 82
・ 83
・ 84
・ 85
・ 86
・ 87
・ 88
・ 89
・ 90
・ 91
・ 92
・ 93
・ 94
・ 95
・ 96
・ 97
・ 98
・ 99
・ 100
・ 101
・ 102
・ 103
・ 104
・ 105
・ 106
・ 107
・ 108
・ 109
・ 110
・ 111
・ 112
・ 113
・ 114
・ 115
・ 116
・ 117
・ 118
・ 119
・ 120
・ 121
・ 122
・ 123
・ 124
・ 125
・ 126
・ 127
・ 128
・ 129
・ 130
・ 131
・ 132
・ 133
・ 134
・ 135
・ 136
・ 137
・ 138
・ 139
・ 140
・ 141
・ 142
・ 143
・ 144
・ 145
・ 146
・ 147
・ 148
・ 149
・ 150
・ 151
・ 152
・ 153
・ 154
・ 155
・ 156
・ 157
・ 158
・ 159
・ 160
・ 161
・ 162
・ 163
・ 164
・ 165
・ 166
・ 167
・ 168
・ 169
・ 170
・ 171
・ 172
・ 173
・ 174
・ 175
・ 176
・ 177
・ 178
・ 179
・ 180
・ 181
・ 182
・ 183
・ 184
・ 185
・ 186
・ 187
・ 188
・ 189
・ 190
・ 191
・ 192
・ 193
・ 194
・ 195
・ 196
・ 197
・ 198
・ 199
・ 200
・ 201
・ 202
・ 203
・ 204
・ 205
・ 206
・ 207
・ 208
・ 209
・ 210
・ 211
・ 212
・ 213
・ 214
・ 215
・ 216
・ 217
・ 218
・ 219
・ 220
・ 221
・ 222
・ 223
・ 224
・ 225
・ 226
・ 227
・ 228
・ 229
・ 230
・ 231
・ 232
・ 233
・ 234
・ 235
・ 236
・ 237
・ 238
・ 239
・ 240
・ 241
・ 242
・ 243
・ 244
・ 245
・ 246
・ 247
・ 248
・ 249
・ 250
・ 251
・ 252
・ 253
・ 254
・ 255
・ 256
・ 257
・ 258
・ 259
・ 260
・ 261
・ 262
・ 263
・ 264
・ 265
・ 266
・ 267
・ 268
・ 269
・ 270
・ 271
・ 272
・ 273
・ 274
・ 275
・ 276
・ 277
・ 278
・ 279
・ 280
・ 281
・ 282
・ 283
・ 284
・ 285
・ 286
・ 287
・ 288
・ 289
・ 290
・ 291
・ 292
・ 293
・ 294
・ 295
・ 296
・ 297
・ 298
・ 299
・ 300
・ 301
・ 302
・ 303
・ 304
・ 305
・ 306
・ 307
・ 308
・ 309
・ 310
・ 311
・ 312
・ 313
・ 314
・ 315
・ 316
・ 317
・ 318
・ 319
・ 320
・ 321
・ 322
・ 323
・ 324
・ 325
・ 326
・ 327
・ 328
・ 329
・ 330
・ 331
・ 332
・ 333
・ 334
・ 335
・ 336
・ 337
・ 338
・ 339
・ 340
・ 341
・ 342
・ 343
・ 344
・ 345
・ 346
・ 347
・ 348
・ 349
・ 350
・ 351
・ 352
・ 353
・ 354
・ 355
・ 356
・ 357
・ 358
・ 359
・ 360
・ 361
・ 362
・ 363
・ 364
・ 365
・ 366
・ 367
・ 368
・ 369
・ 370
・ 371
・ 372
・ 373
・ 374
・ 375
・ 376
・ 377
・ 378
・ 379
・ 380
・ 381
・ 382
・ 383
・ 384
・ 385
・ 386
・ 387
・ 388
・ 389
・ 390
・ 391
・ 392
・ 393
・ 394
・ 395
・ 396
・ 397
・ 398
・ 399
・ 400
・ 401
・ 402
・ 403
・ 404
・ 405
・ 406
・ 407
・ 408
・ 409
・ 410
・ 411
・ 412
・ 413
・ 414
・ 415
・ 416
・ 417
・ 418
・ 419
・ 420
・ 421
・ 422
・ 423
・ 424
・ 425
・ 426
・ 427
・ 428
・ 429
・ 430
・ 431
・ 432
・ 433
・ 434
・ 435
・ 436
・ 437
・ 438
・ 439
・ 440
・ 441
・ 442
・ 443
・ 444
・ 445
・ 446
・ 447
・ 448
・ 449
・ 450
・ 451
・ 452
・ 453
・ 454
・ 455
・ 456
・ 457
・ 458
・ 459
・ 460
・ 461
・ 462
・ 463
・ 464
・ 465
・ 466
・ 467
・ 468
・ 469
・ 470
・ 471
・ 472
・ 473
・ 474
・ 475
・ 476
・ 477
・ 478
・ 479
・ 480
・ 481
・ 482
・ 483
・ 484
・ 485
・ 486
・ 487
・ 488
・ 489
・ 490
・ 491
・ 492
・ 493
・ 494
・ 495
・ 496
・ 497
・ 498
・ 499
・ 500
・ 501
・ 502
・ 503
・ 504
・ 505
・ 506
・ 507
・ 508
・ 509
・ 510
・ 511
・ 512
・ 513
・ 514
・ 515
・ 516
・ 517
・ 518
・ 519
・ 520
・ 521
・ 522
・ 523
・ 524
・ 525
・ 526
・ 527
・ 528
・ 529
・ 530
・ 531
・ 532
・ 533
・ 534
・ 535
・ 536
・ 537
・ 538
・ 539
・ 540
・ 541
・ 542
・ 543
・ 544
・ 545
・ 546
・ 547
・ 548
・ 549
・ 550
・ 551
・ 552
・ 553
・ 554
・ 555
・ 556
・ 557
・ 558
・ 559
・ 560
・ 561
・ 562
・ 563
・ 564
・ 565
・ 566
・ 567
・ 568
・ 569
・ 570
・ 571
・ 572
・ 573
・ 574
・ 575
・ 576
・ 577
・ 578
・ 579
・ 580
・ 581
・ 582
・ 583
・ 584
・ 585
・ 586
・ 587
・ 588
・ 589
・ 590
・ 591
・ 592
・ 593
・ 594
・ 595
・ 596
・ 597
・ 598
・ 599
・ 600
・ 601
・ 602
・ 603
・ 604
・ 605
・ 606
・ 607
・ 608
・ 609
・ 610
・ 611
・ 612
・ 613
・ 614
・ 615
・ 616
・ 617
・ 618
・ 619
・ 620
・ 621
・ 622
・ 623
・ 624
・ 625
・ 626
・ 627
・ 628
・ 629
・ 630
・ 631
・ 632
・ 633
・ 634
・ 635
・ 636
・ 637
・ 638
・ 639
・ 640
・ 641
・ 642
・ 643
・ 644
・ 645
・ 646
・ 647
・ 648
・ 649
・ 650
・ 651
・ 652
・ 653
・ 654
・ 655
・ 656
・ 657
・ 658
・ 659
・ 660
・ 661
・ 662
・ 663
・ 664
・ 665
・ 666
・ 667
・ 668
・ 669
・ 670
・ 671
・ 672
・ 673
・ 674
・ 675
・ 676
・ 677
・ 678
・ 679
・ 680
・ 681
・ 682
・ 683
・ 684
・ 685
・ 686
・ 687
・ 688
・ 689
・ 690
・ 691
・ 692
・ 693
・ 694
・ 695
・ 696
・ 697
・ 698
・ 699
・ 700
・ 701
・ 702
・ 703
・ 704
・ 705
・ 706
・ 707
・ 708
・ 709
・ 710
・ 711
・ 712
・ 713
・ 714
・ 715
・ 716
・ 717
・ 718
・ 719
・ 720
・ 721
・ 722
・ 723
・ 724
・ 725
・ 726
・ 727
・ 728
・ 729
・ 730
・ 731
・ 732
・ 733
・ 734
・ 735
・ 736
・ 737
・ 738
・ 739
・ 740
・ 741
・ 742
・ 743
・ 744
・ 745
・ 746
・ 747
・ 748
・ 749
・ 750
・ 751
・ 752
・ 753
・ 754
・ 755
・ 756
・ 757
・ 758
・ 759
・ 760
・ 761
・ 762
・ 763
・ 764
・ 765
・ 766
・ 767
・ 768
・ 769
・ 770
・ 771
・ 772
・ 773
・ 774
・ 775
・ 776
・ 777
・ 778
・ 779
・ 780
・ 781
・ 782
・ 783
・ 784
・ 785
・ 786
・ 787
・ 788
・ 789
・ 790
・ 791
・ 792
・ 793
・ 794
・ 795
・ 796
・ 797
・ 798
・ 799
・ 800
・ 801
・ 802
・ 803
・ 804
・ 805
・ 806
・ 807
・ 808
・ 809
・ 810
・ 811
・ 812
・ 813
・ 814
・ 815
・ 816
・ 817
・ 818
・ 819
・ 820
・ 821
・ 822
・ 823
・ 824
・ 825
・ 826
・ 827
・ 828
・ 829
・ 830
・ 831
・ 832
・ 833
・ 834
・ 835
・ 836
・ 837
・ 838
・ 839
・ 840
・ 841
・ 842
・ 843
・ 844
・ 845
・ 846
・ 847
・ 848
・ 849
・ 850
・ 851
・ 852
・ 853
・ 854
・ 855
・ 856
・ 857
・ 858
・ 859
・ 860
・ 861
・ 862
・ 863
・ 864
・ 865
・ 866
・ 867
・ 868
・ 869
・ 870
・ 871
・ 872
・ 873
・ 874
・ 875
・ 876
・ 877
・ 878
・ 879
・ 880
・ 881
・ 882
・ 883
・ 884
・ 885
・ 886
・ 887
・ 888
・ 889
・ 890
・ 891
・ 892
・ 893
・ 894
・ 895
・ 896
・ 897
・ 898
・ 899
・ 900
・ 901
・ 902
・ 903
・ 904
・ 905
・ 906
・ 907
・ 908
・ 909
・ 910
・ 911
・ 912
・ 913
・ 914
・ 915
・ 916
・ 917
・ 918
・ 919
・ 920
・ 921
・ 922
・ 923
・ 924
・ 925
・ 926
・ 927
・ 928
・ 929
・ 930
・ 931
・ 932
・ 933
・ 934
・ 935
・ 936
・ 937
・ 938
・ 939
・ 940
・ 941
・ 942
・ 943
・ 944
・ 945
・ 946
・ 947
・ 948
・ 949
・ 950
・ 951
・ 952
・ 953
・ 954
・ 955
・ 956
・ 957
・ 958
・ 959
・ 960
・ 961
・ 962
・ 963
・ 964
・ 965
・ 966
・ 967
・ 968
・ 969
・ 970
・ 971
・ 972
・ 973
・ 974
・ 975
・ 976
・ 977
・ 978
・ 979
・ 980
・ 981
・ 982
・ 983
・ 984
・ 985
・ 986
・ 987
・ 988
・ 989
・ 990
・ 991
・ 992
・ 993
・ 994
・ 995
・ 996
・ 997
・ 998
・ 999
・ 1000
・ 1001
・ 1002
・ 1003
・ 1004
・ 1005
・ 1006
・ 1007
・ 1008
・ 1009
・ 1010
・ 1011
・ 1012
・ 1013
・ 1014
・ 1015
・ 1016
・ 1017
・ 1018
・ 1019
・ 1020
・ 1021
・ 1022
・ 1023
・ 1024
・ 1025
・ 1026
・ 1027
・ 1028
・ 1029
・ 1030
・ 1031
・ 1032
・ 1033
・ 1034
・ 1035
・ 1036
・ 1037
・ 1038
・ 1039
・ 1040
・ 1041
・ 1042
・ 1043
・ 1044
・ 1045
・ 1046
・ 1047
・ 1048
・ 1049
・ 1050
・ 1051
・ 1052
・ 1053
・ 1054
・ 1055
・ 1056
・ 1057
・ 1058
・ 1059
・ 1060
・ 1061
・ 1062
・ 1063
・ 1064
・ 1065
・ 1066
・ 1067
・ 1068
・ 1069
・ 1070
・ 1071
・ 1072
・ 1073
・ 1074
・ 1075
・ 1076
・ 1077
・ 1078
・ 1079
・ 1080
・ 1081
・ 1082
・ 1083
・ 1084
・ 1085
・ 1086
・ 1087
・ 1088
・ 1089
・ 1090
・ 1091
・ 1092
・ 1093
・ 1094
・ 1095
・ 1096
・ 1097
・ 1098
・ 1099
・ 1100
・ 1101
・ 1102
・ 1103
・ 1104
・ 1105
・ 1106
・ 1107
・ 1108
・ 1109
・ 1110
・ 1111
・ 1112
・ 1113
・ 1114
・ 1115
・ 1116
・ 1117
・ 1118
・ 1119
・ 1120
・ 1121
・ 1122
・ 1123
・ 1124
・ 1125
・ 1126
・ 1127
・ 1128
・ 1129
・ 1130
・ 1131
・ 1132
・ 1133
・ 1134
・ 1135
・ 1136
・ 1137
・ 1138
・ 1139
・ 1140
・ 1141
・ 1142
・ 1143
・ 1144
・ 1145
・ 1146
・ 1147
・ 1148
・ 1149
・ 1150
・ 1151
・ 1152
・ 1153
・ 1154
・ 1155
・ 1156
・ 1157
・ 1158
・ 1159
・ 1160
・ 1161
・ 1162
・ 1163
・ 1164
・ 1165
・ 1166
・ 1167
・ 1168
・ 1169
・ 1170
・ 1171
・ 1172
・ 1173
・ 1174
・ 1175
・ 1176
・ 1177
・ 1178
・ 1179
・ 1180
・ 1181
・ 1182
・ 1183
・ 1184
・ 1185
・ 1186
・ 1187
・ 1188
・ 1189
・ 1190
・ 1191
・ 1192
・ 1193
・ 1194
・ 1195
・ 1196
・ 1197
・ 1198
・ 1199
・ 1200
・ 1201
・ 1202
・ 1203
・ 1204
・ 1205
・ 1206
・ 1207
・ 1208
・ 1209
・ 1210
・ 1211
・ 1212
・ 1213
・ 1214
・ 1215
・ 1216
・ 1217
・ 1218
・ 1219
・ 1220
・ 1221
・ 1222
・ 1223
・ 1224
・ 1225
・ 1226
・ 1227
・ 1228
・ 1229
・ 1230
・ 1231
・ 1232
・ 1233
・ 1234
・ 1235
・ 1236
・ 1237
・ 1238
・ 1239
・ 1240
・ 1241
・ 1242
・ 1243
・ 1244
・ 1245
・ 1246
・ 1247
・ 1248
・ 1249
・ 1250
・ 1251
・ 1252
・ 1253
・ 1254
・ 1255
・ 1256
・ 1257
・ 1258
・ 1259
・ 1260
・ 1261
・ 1262
・ 1263
・ 1264
・ 1265
・ 1266
・ 1267
・ 1268
・ 1269
・ 1270
・ 1271
・ 1272
・ 1273
・ 1274
・ 1275
・ 1276
・ 1277
・ 1278
・ 1279
・ 1280
・ 1281
・ 1282
・ 1283
・ 1284
・ 1285
・ 1286

[illegible]

[illegible]

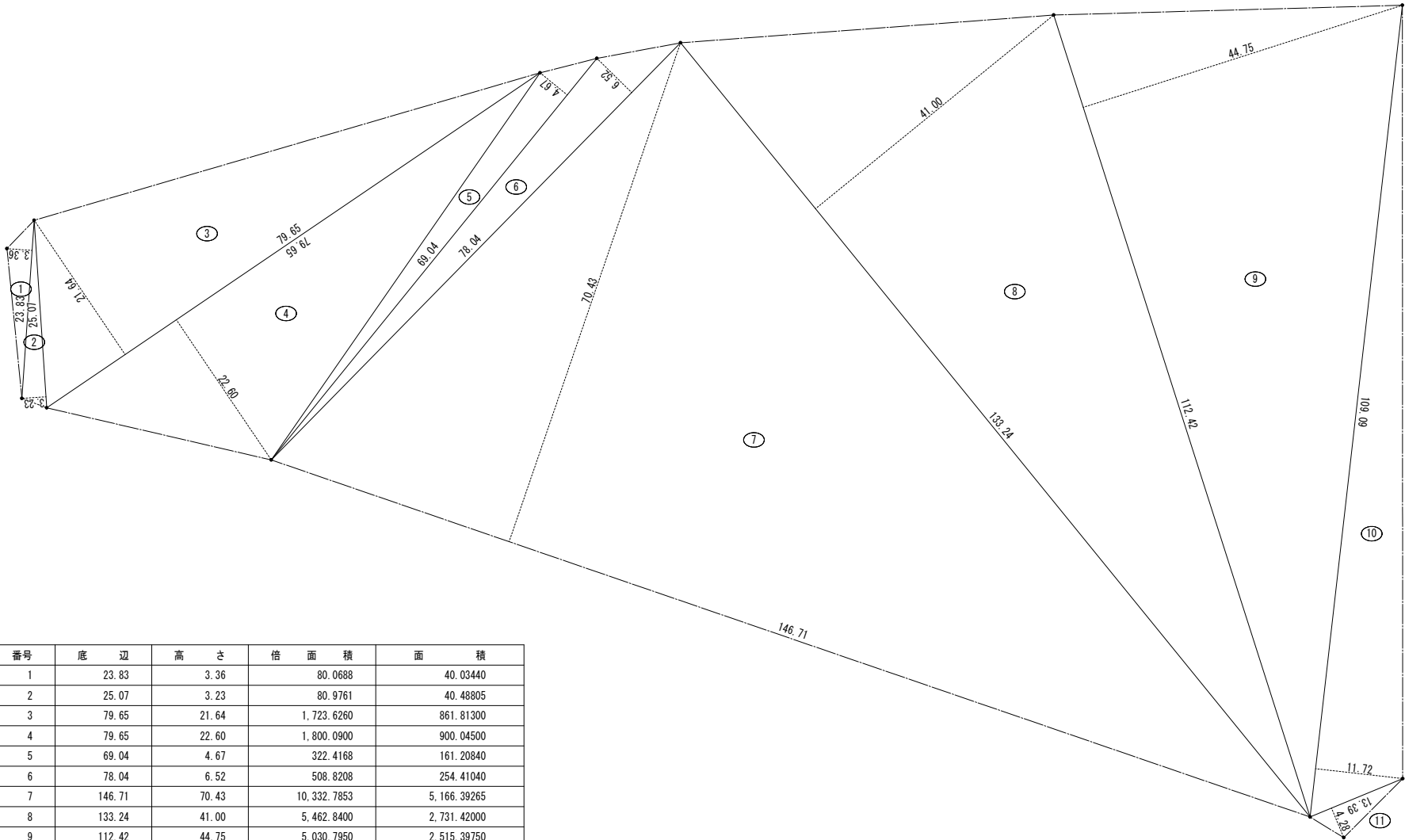
[illegible]

[illegible]

敷地案内図



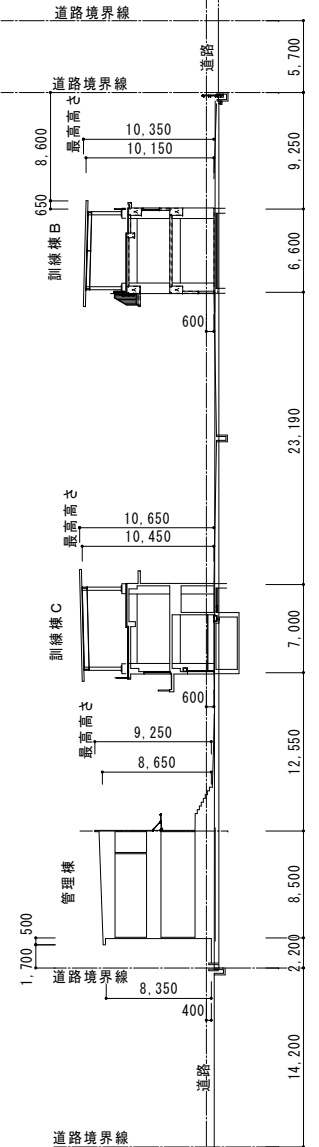
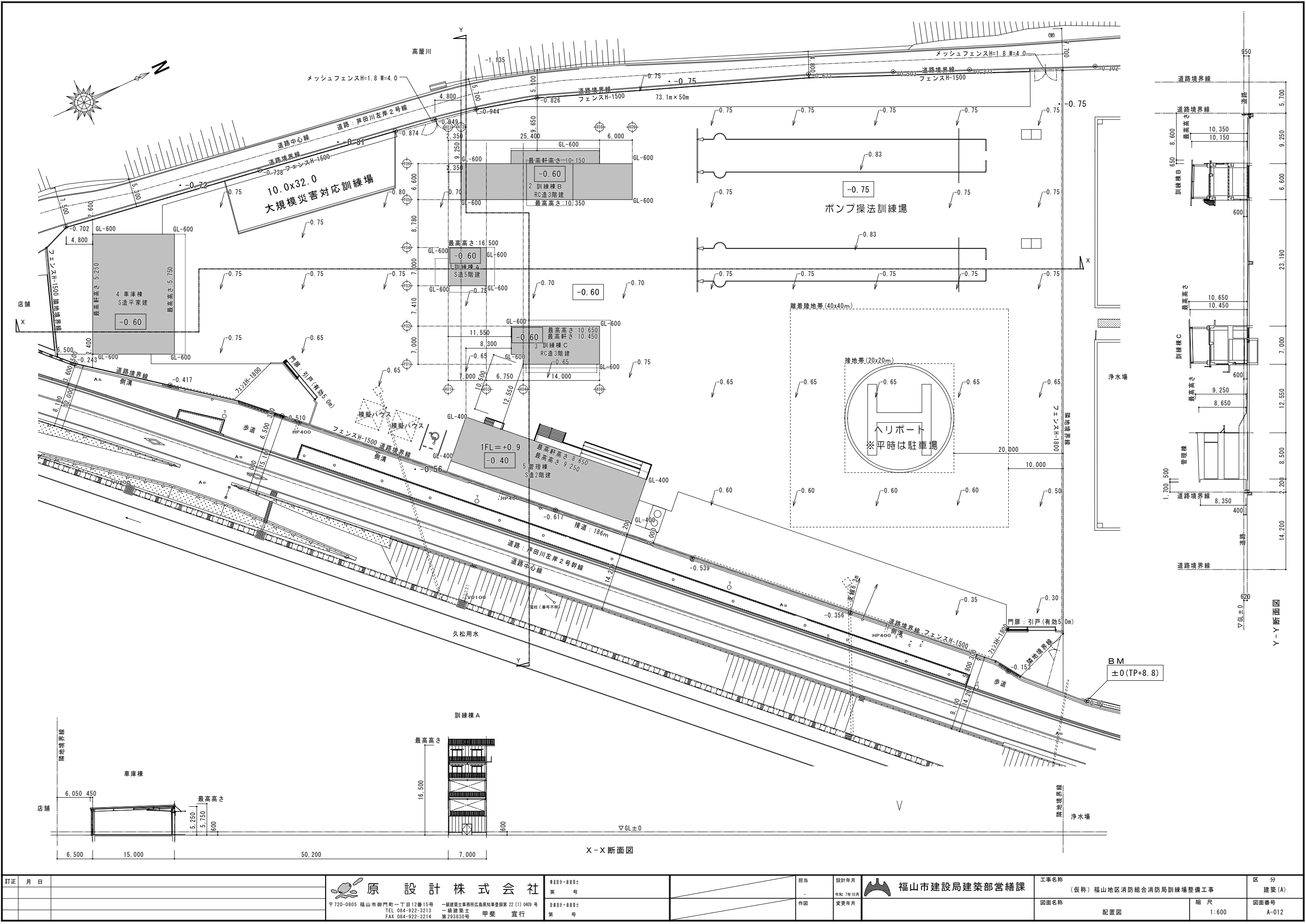
計画地 福山市北本庄町五丁目2001番3の一部



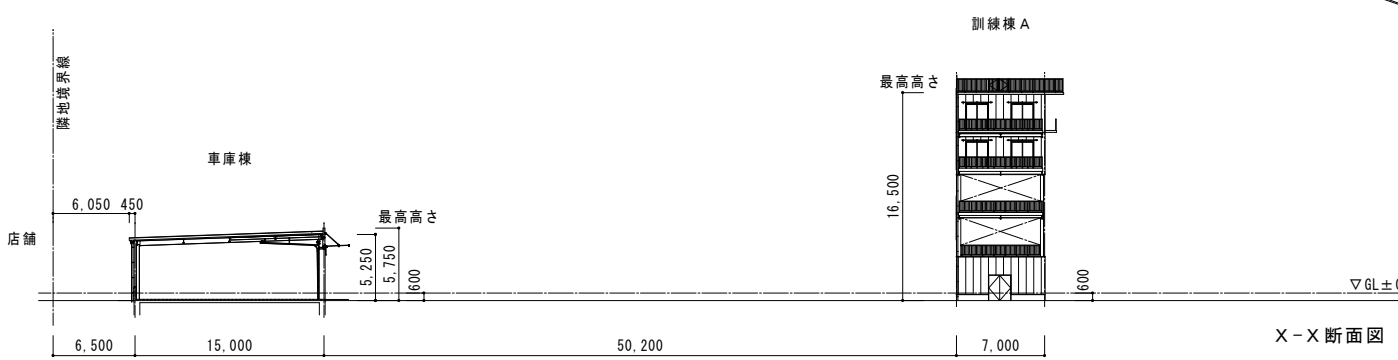
番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	23.83	3.36	80.0688	40.03440
2	25.07	3.23	80.9761	40.48805
3	79.65	21.64	1,723.6260	861.81300
4	79.65	22.60	1,800.0900	900.04500
5	69.04	4.67	322.4168	161.20840
6	78.04	6.52	508.8208	254.41040
7	146.71	70.43	10,332.7853	5,166.39265
8	133.24	41.00	5,462.8400	2,731.42000
9	112.42	44.75	5,030.7950	2,515.39750
10	109.09	11.72	1,278.5348	639.26740
11	13.39	4.28	57.3092	28.65460
合 計				13,339.13140
敷 地 面 積				13,339.13 m ²

面積表

番号	1	2	3	4	5				合計
建物名称	訓練棟A	訓練棟B	訓練棟C	車庫棟	管理棟				合計(m ²)
建築面積	59.67	255.04	124.45	352.00	303.92				1,095.08
床面積	245.00	469.98	332.27	330.00	561.00				1,938.25
敷地面積									13,339.13

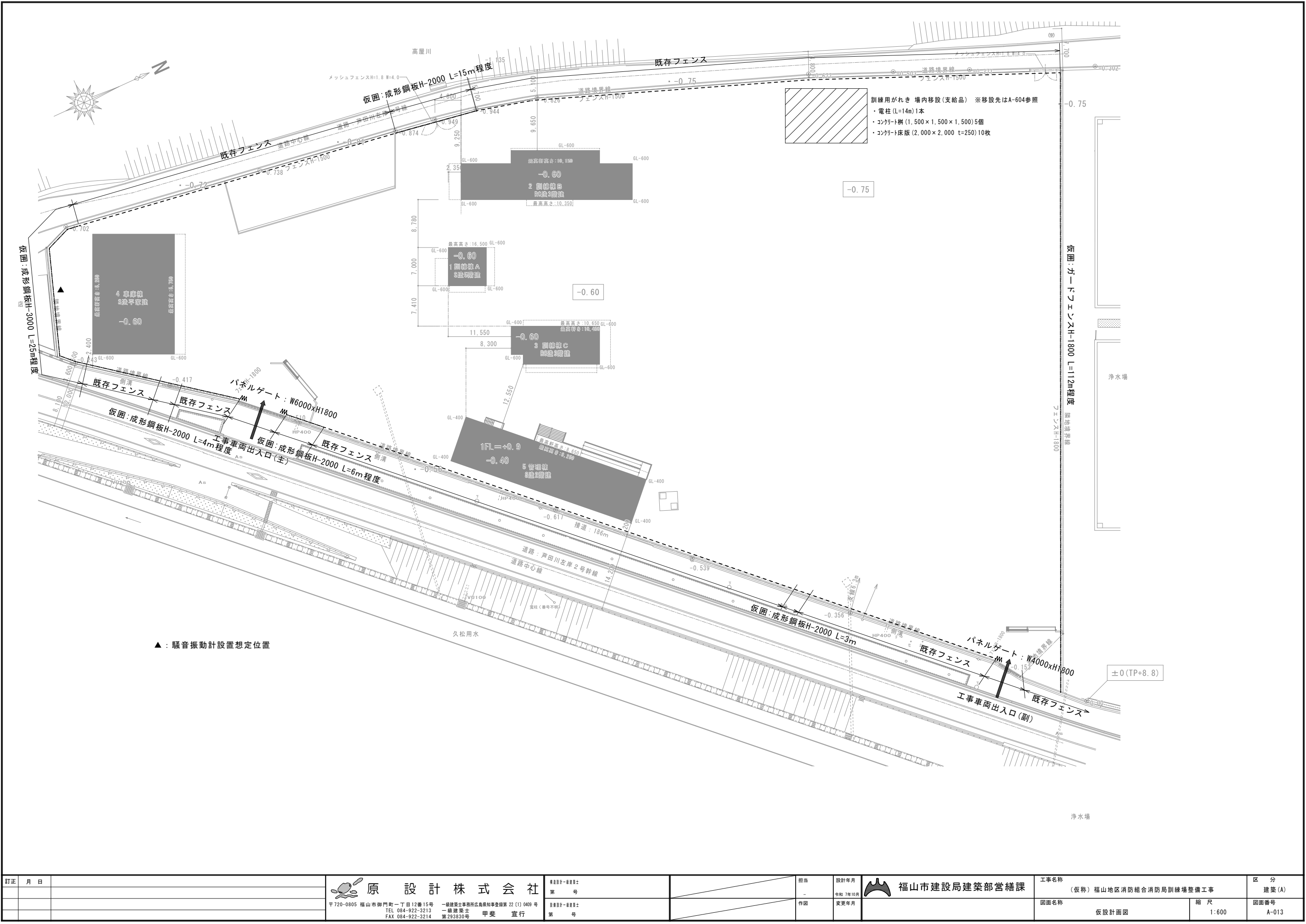


Y-Y断面図



X-X断面図

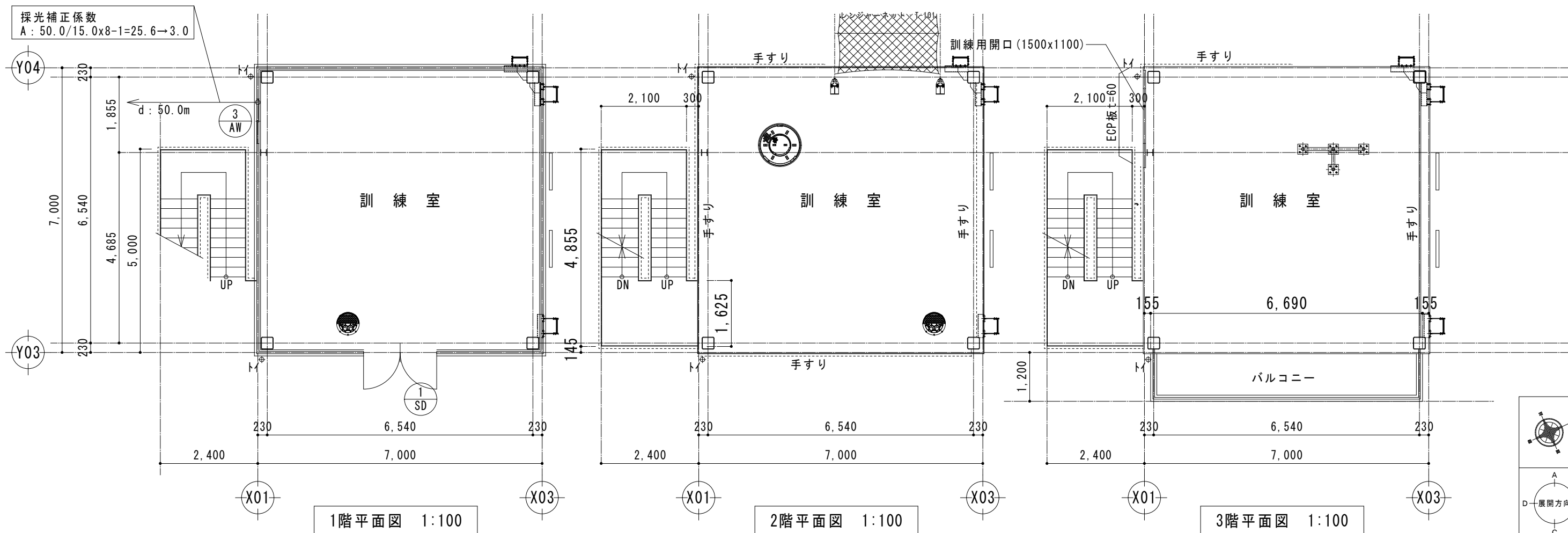
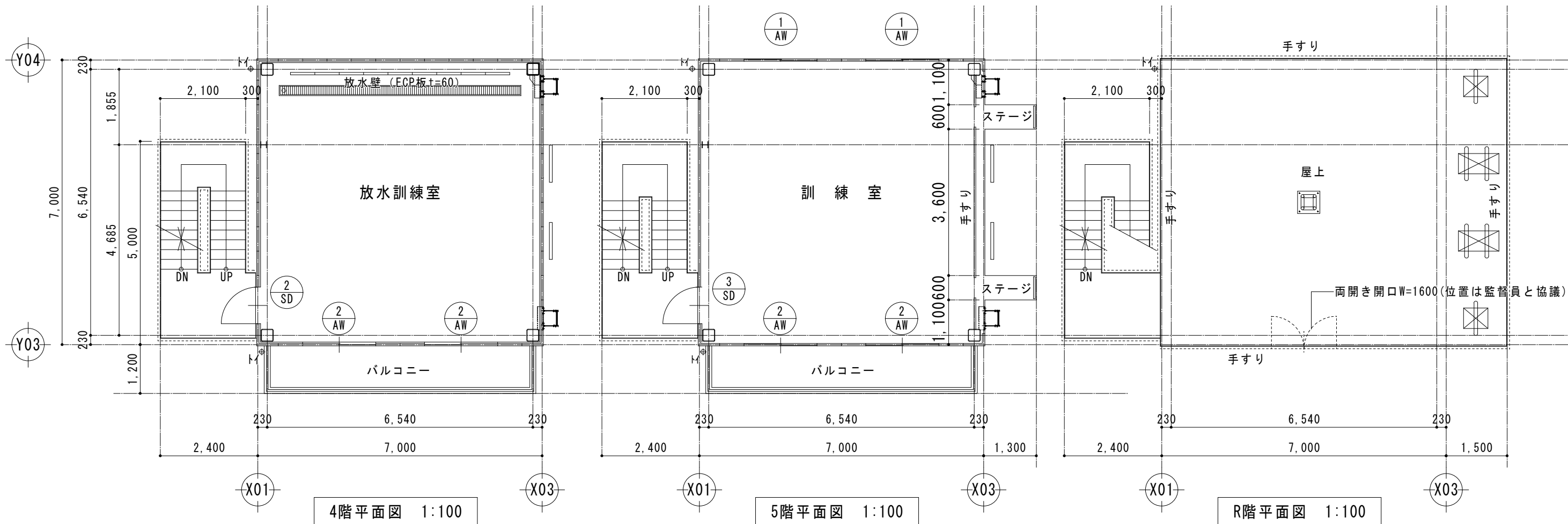
訂 正 月 日			 原 設 計 株 式 有 限 公 司 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214	構造設計一級建築士 第 号		担当	設計年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称			区 分	
						-	令和 7年10月		(仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事				建築 (A)
						作図	変更年月		図面名称		縮 尺		図面番号
									配置図		1:600		A-012
			〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214		一般建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第 293830号 甲斐 宣行								



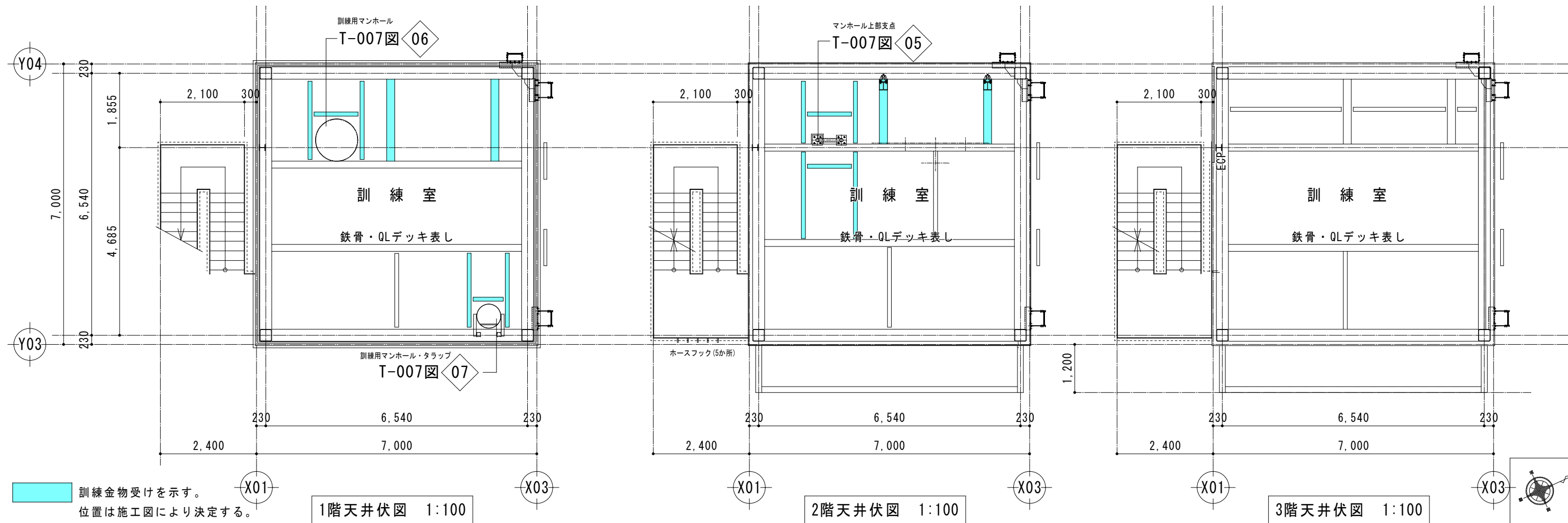
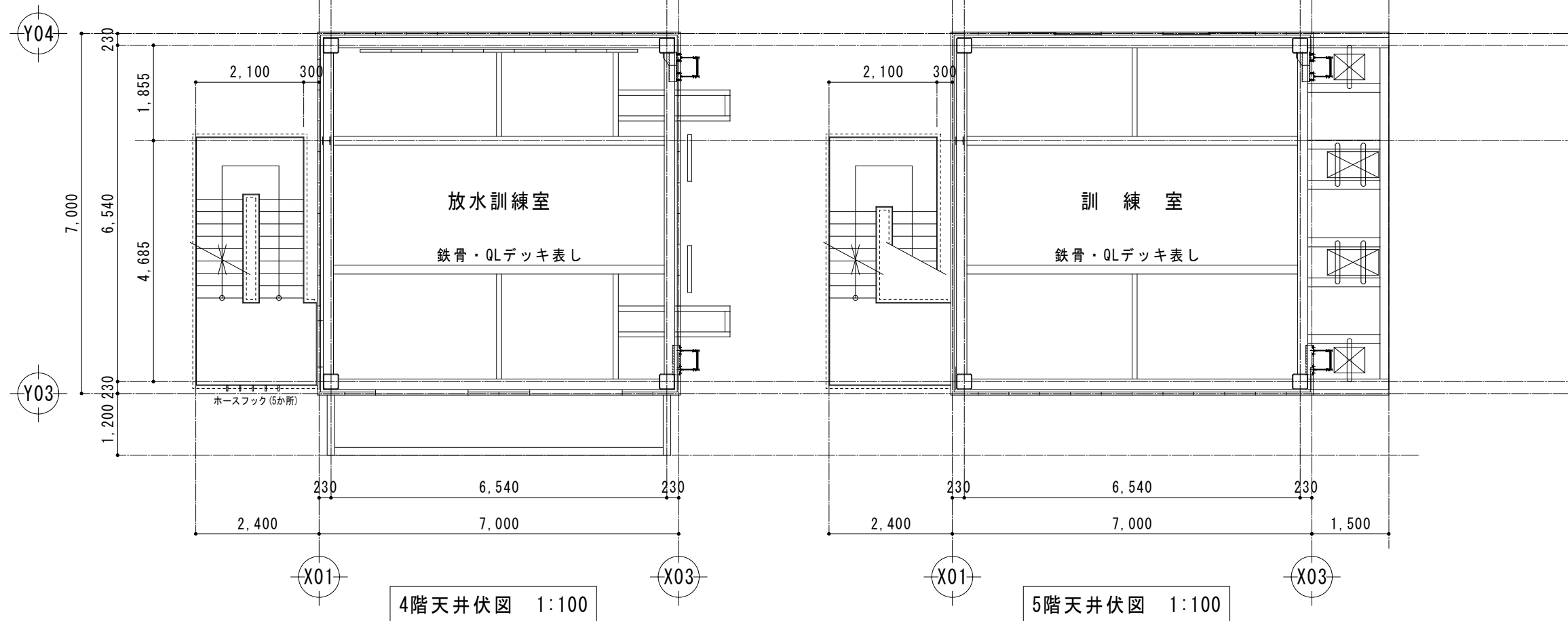
▲：騒音振動計設置想定位置

訂正		月	日	原設計株式会社		担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課		工事名称		区分
				〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号		-	令和7年10月	(仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		図面名称		建築(A)
				TEL 084-922-3213		作図	変更年月	仮設計画図		縮尺		図面番号
				FAX 084-922-3214				1:600		A-013		

□外部 仕上表									
屋上	駐車場用ウレタン樹脂系防水耐久仕上材 (ABC：カラートップSRB工法同等) ルーフトレン100φ 手すり (DT-04) 訓練面：様表示ﾊﾞﾙｺﾆｰ900x900(ﾙｰﾌﾞﾈｯﾄt=4、ｶｯﾁﾝｸﾞｼｰﾄ貼	バルコニー (3・4・5F)	駐車場用ウレタン樹脂系防水耐久仕上材 (ABC：カラートップSRB工法同等) バルコニー手すり (DT-02) (垂鉛めっき) ルーフトレイン50φ	消防訓練設備	・ロープ応用登はん板 ・登はん訓練用アルミ梯子 ・障害突破訓練用アルミ梯子 ・障害突破訓練用レンジャーネット装置 ・訓練用マンホール ・訓練用マンホール・タラップ ・応急ブリッジ係留支点 ・登はん用屋上支点 ・地上金物+ライン ・				
外壁	ECPパネル縦張 t=60 アクリルウレタン塗装品 階数表示切り文字 (階段前 2・3・4・5F) -	樋	堅 縦樋：カラーVP100 呼樋VP50 養生管：SGP管 S0P塗(養生管は樋の1サイズUP) SUS製支持金物 @1200内外						
巾木	コンクリート打放し仕上 (RC-A)+撥水材塗	屋外階段	鉄骨階段：床CPL-4.5 (垂鉛めっき) 手すり (垂鉛めっき)						
□建物概要 主要用途：消防署 (訓練塔) 消防法：15項 工事種別：新築 構造種別：鉄骨造5階建 その他の建築物 その他：		用途地域：準工業地域 防火地域：指定無し その他地域：法22条区域、宅地造成規制区域、下水処理区域、景観計画区域 浸水想定区域、立地適正化区域、住居誘導区域	特記事項	※建築材料等は、全てF☆☆☆☆を使用する。 ※建築設備の耐震設計は「建築設備耐震設計指針」に従い施工する。 ※鉄部は柱を除く全て垂鉛めっき仕上とする。	□耐火認定番号				
鉄骨柱					耐火塗料	CC0001(30分)SKタイカコート同等	-		
外壁					-		-		

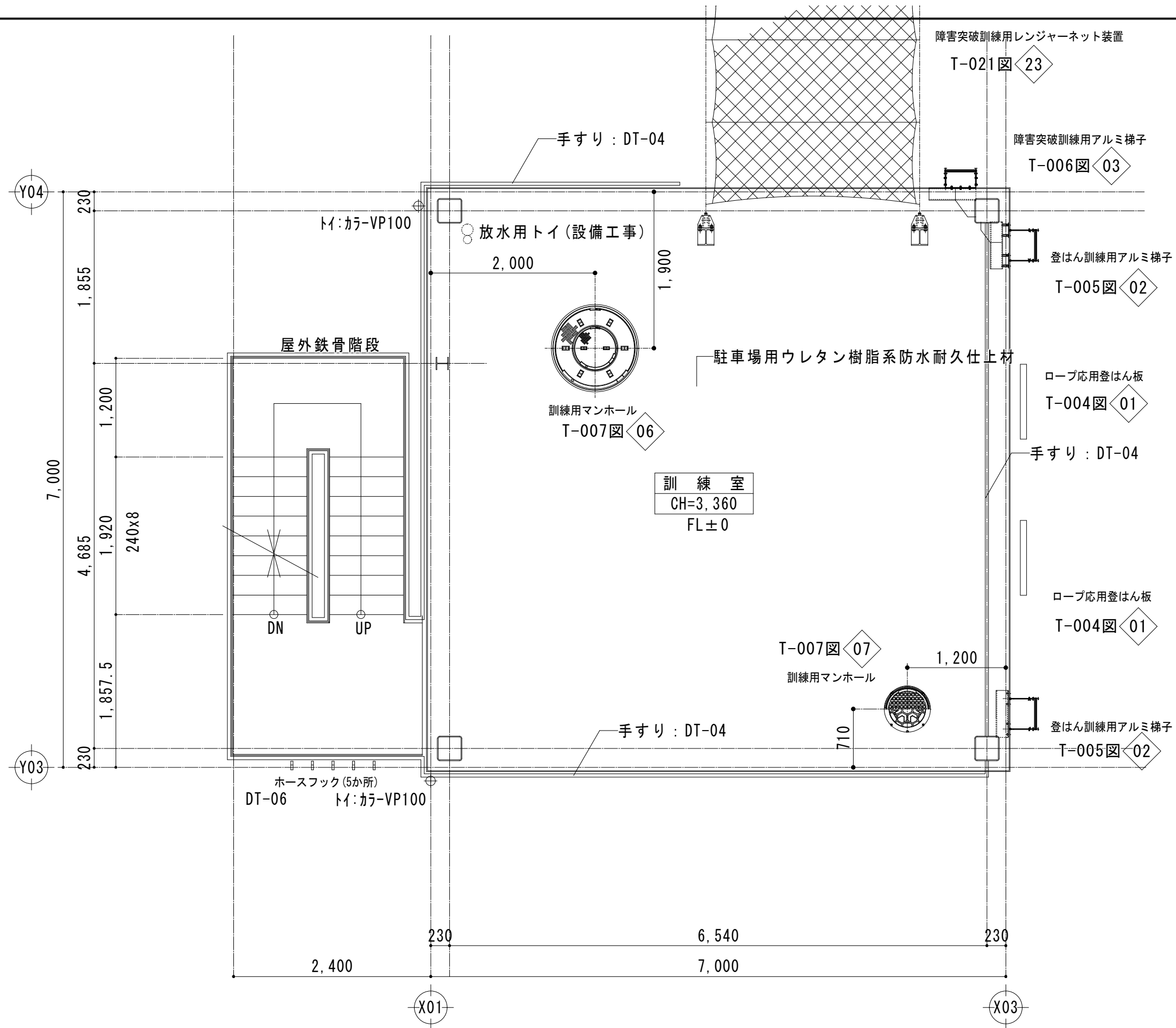


訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)	
				図面設計一級建築士 第 号		作図	変更年月			図面名称 訓練棟 A 平面図	縮 尺 1:100	図面番号 A-102

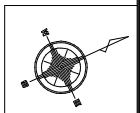


訓練金物受けを示す。
位置は施工図により決定する。

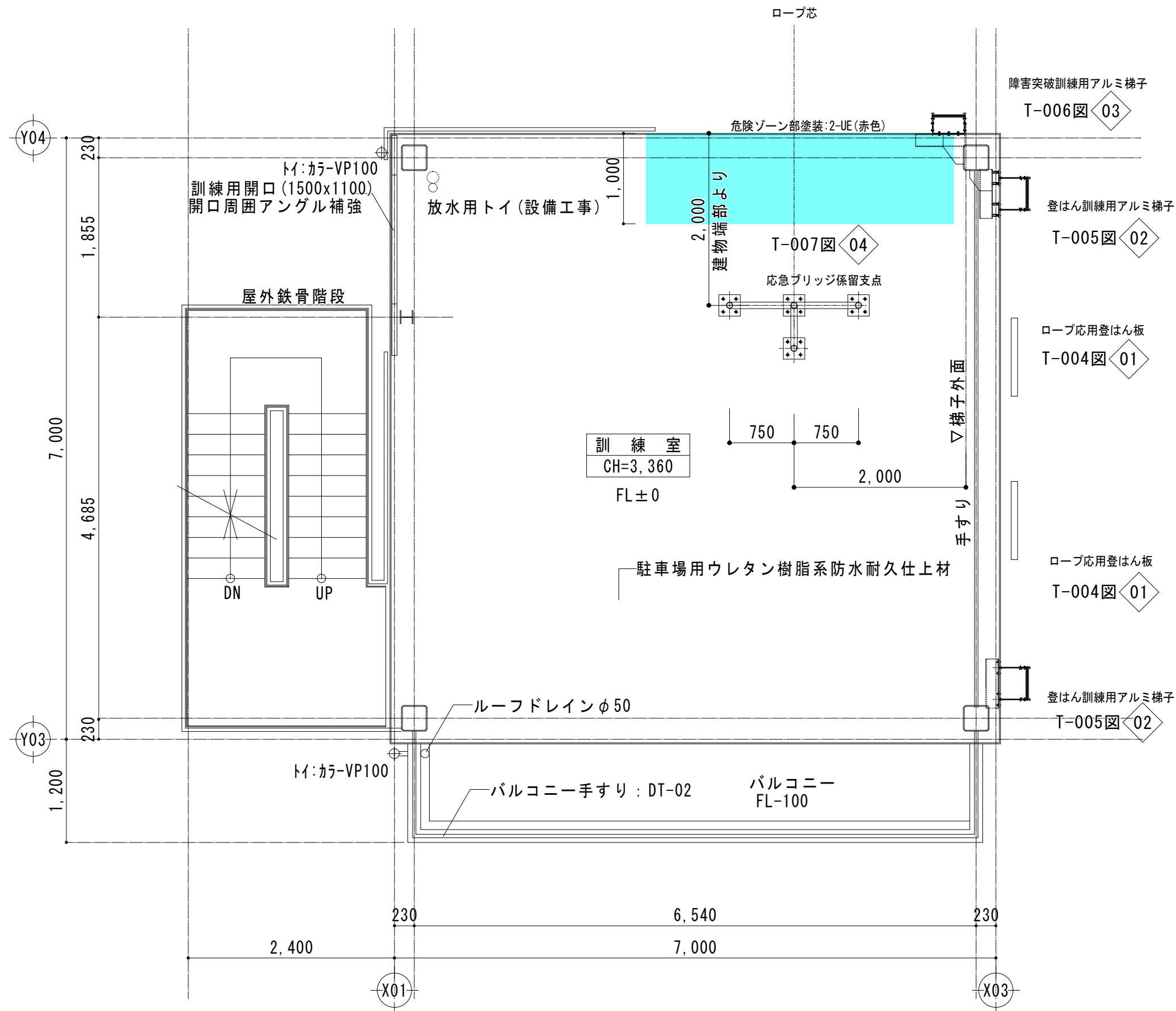
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 TEL 084-922-3213 一級建築士 FAX 084-922-3214 第293830号 甲斐 宣行	構造設計-一般建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
				設備設計-一般建築士 第 号		作図	変更年月		図面名称 訓練棟 A 天井伏図	縮 尺 1:100	図面番号 A-105



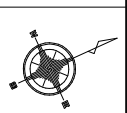
2階平面詳細図 1:50



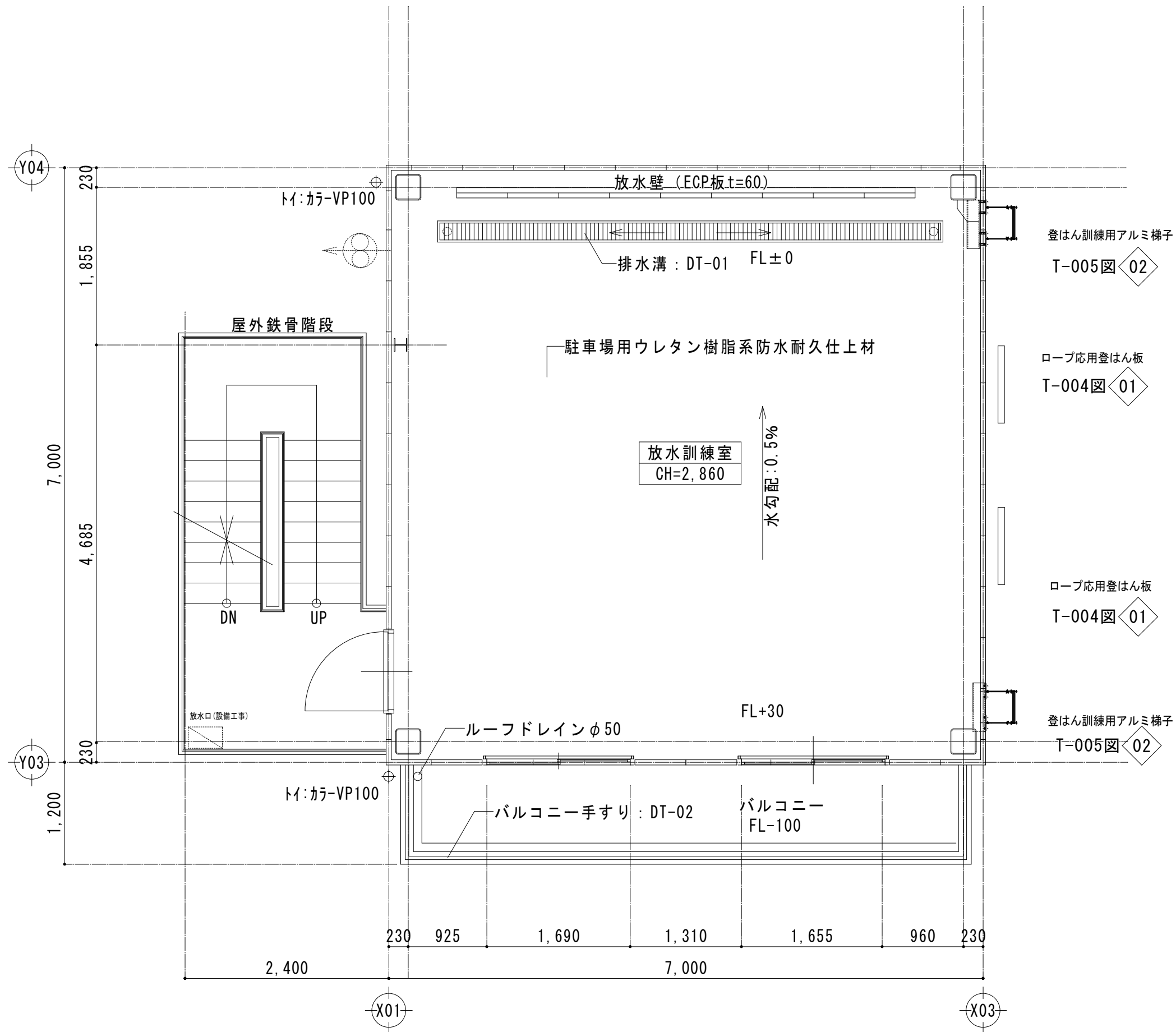
訂正	月	日	原 設 計 株 式 有 限 公 司 〒720-0805 福山市 御 門 町 一 丁 目 12 番 15 号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級 建 築 士 第 293830 号 甲 斐 宣 行	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7 年 12 月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
				設備設計一級建築士 第 号		作図	変更年月		図面名称 訓練棟 A 2階平面詳細図	縮 尺 1:50	図面番号 A-107



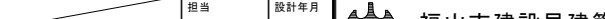
3階平面詳細図 1:50

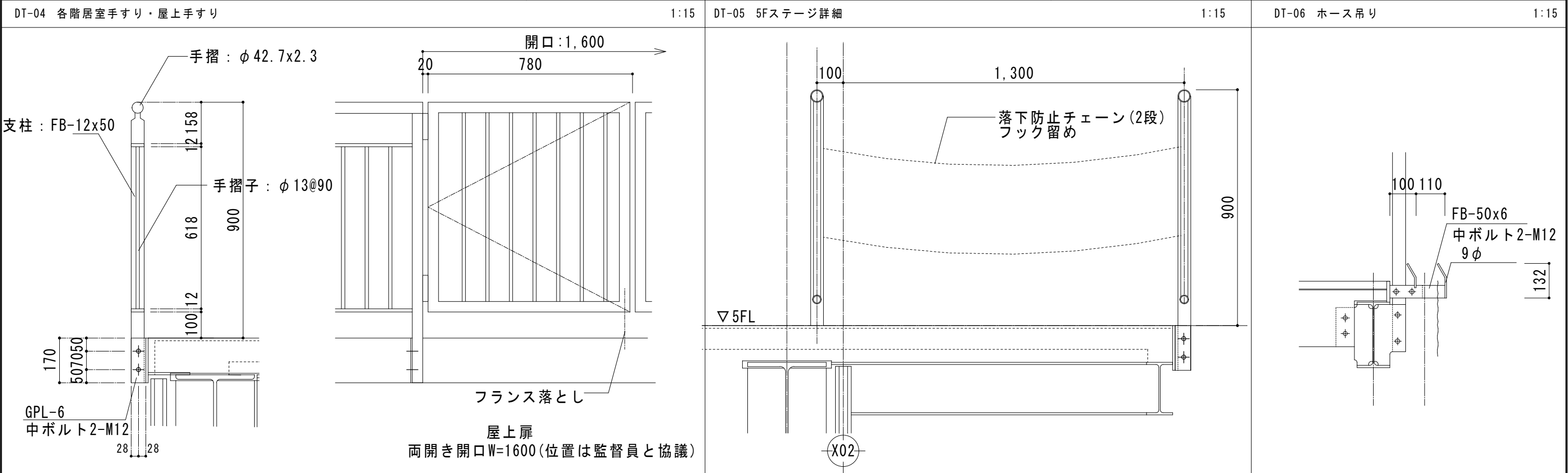
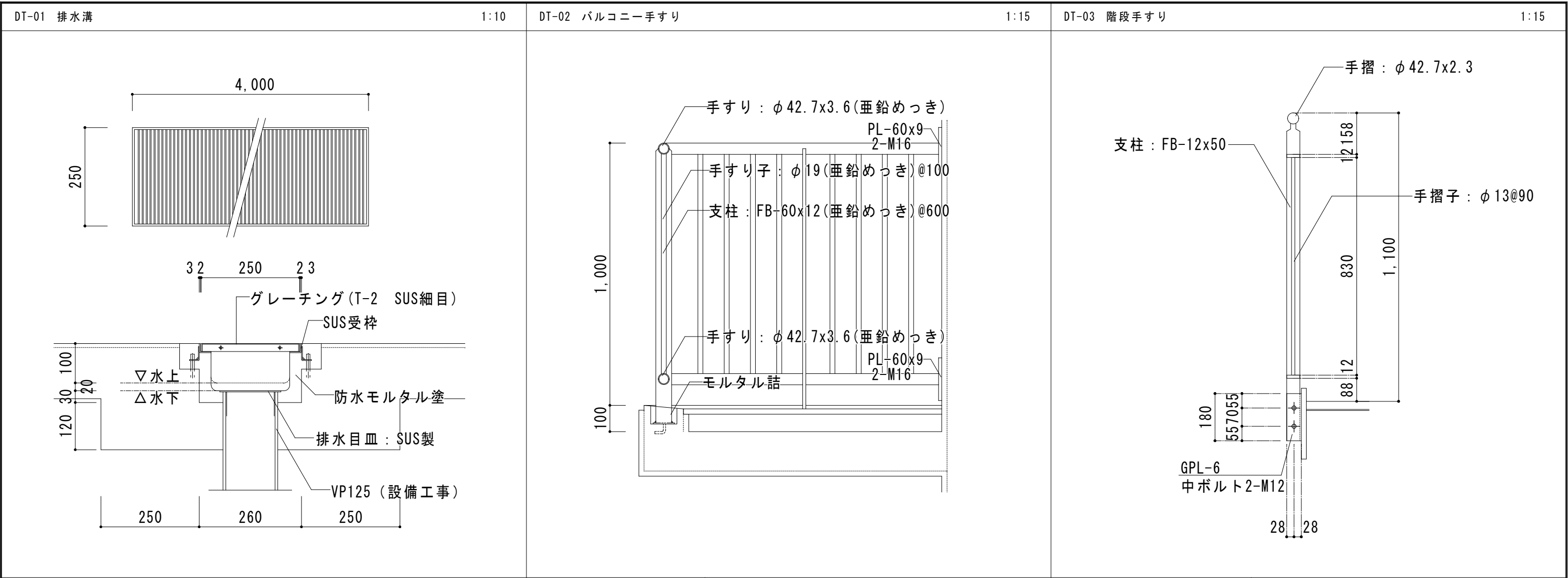


訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市 御門町一丁目12番15号 一級建築士事務所広島県知事登録第22〔1〕0409号 TEL 084-922-3213 一級建築士 FAX 084-922-3214 第293830号 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
				監理設計一級建築士 第 号		作図 変更年月	図面名称 訓練棟 A 3階平面詳細図		縮 尺 1:50	図面番号 A-108	



4階平面詳細図 1:50

訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第 293830号 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当	設計年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
				-		令和 7年12月					
									設備設計一級建築士 第 号	作図	変更年月
								訓練棟 A 4階平面詳細図	1:50	A-109	



訂正	月	日	原 設 計 株 式 有 限 公 司	構造設計 - 建築士 第 号	担当 -	設計年月 令和 7 年 12 月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事	区 分 建築 (A)
			〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214	一般建築士事務所所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第 293830 号	監修設計 - 建築士 第 号	変更年月		図面名称 訓練棟 A 部分詳細図	縮 尺 1:10 1:15
			甲斐 宣行					図面番号 A-112	


原 設 計 株 式 会 社
 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号
 TEL 084-922-3213 一級建築士事務所所長島知事登録第 22 (1) 0409 号
 FAX 084-922-3214 一級建築士 甲斐 宣行
 第293830号

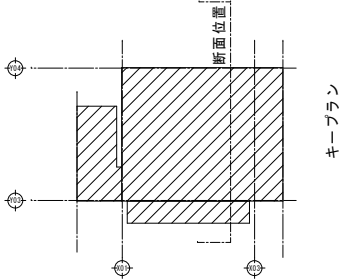
 福山市建設局建築部営繕課

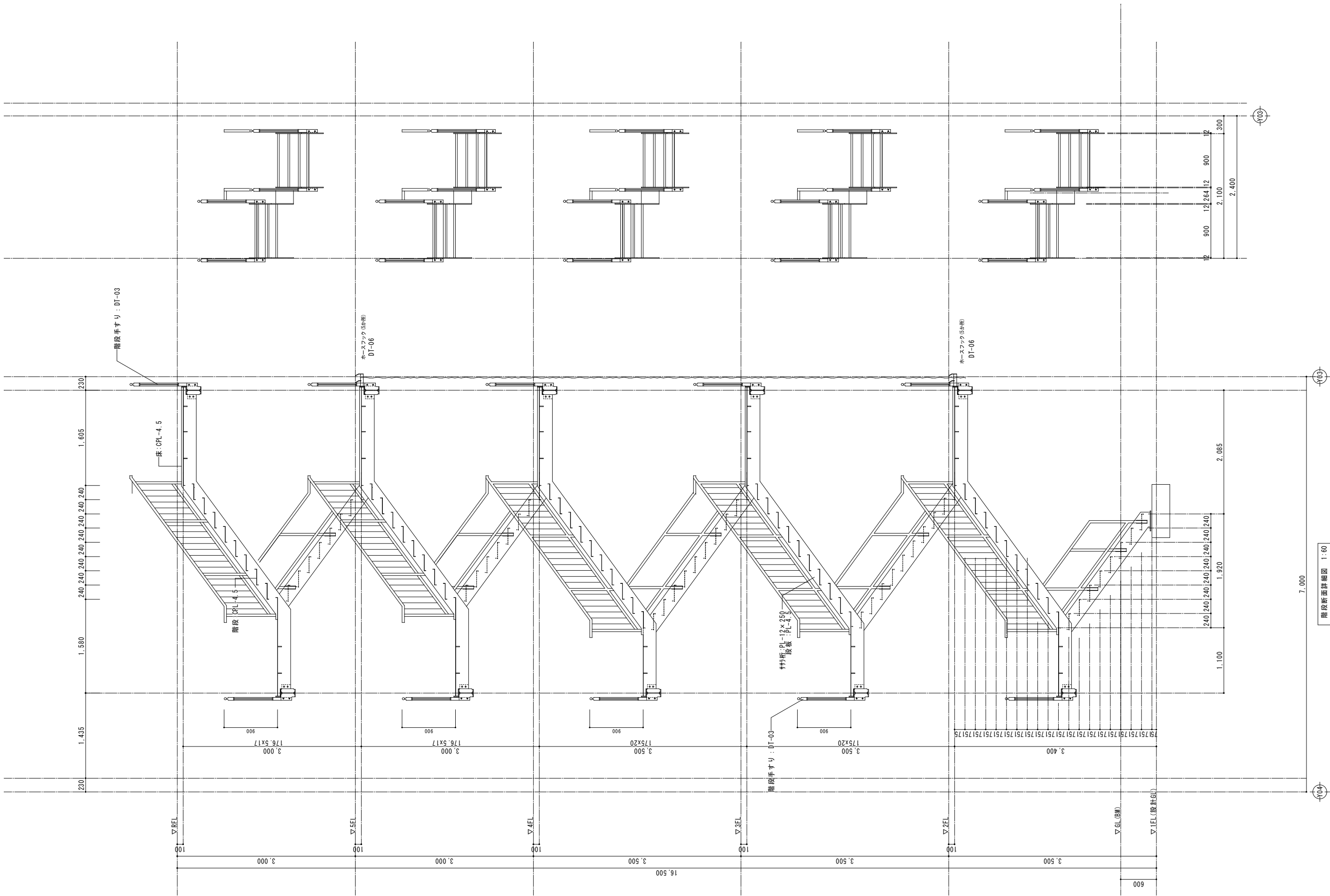
工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練棟整備工事		区 分 建築 (A)
図面名称 訓練棟 A 断面詳細図 1	縮 尺 1 : 60	図面番号 A-113


原 設 計 株 式 会 社
 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一級建築士事務所所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
 TEL 084-922-3213 甲斐 宣行
 FAX 084-922-3214 第二級建築士
 第293830号

担当	設計年月
-	令和 7年12月
作図	変更年月

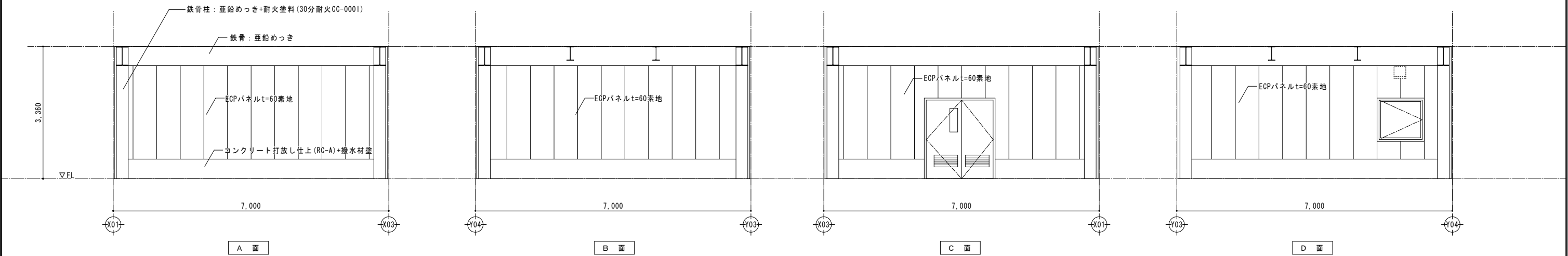
工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事	
図面名称 訓練棟 A 断面詳細図2	縮 尺 1: 60



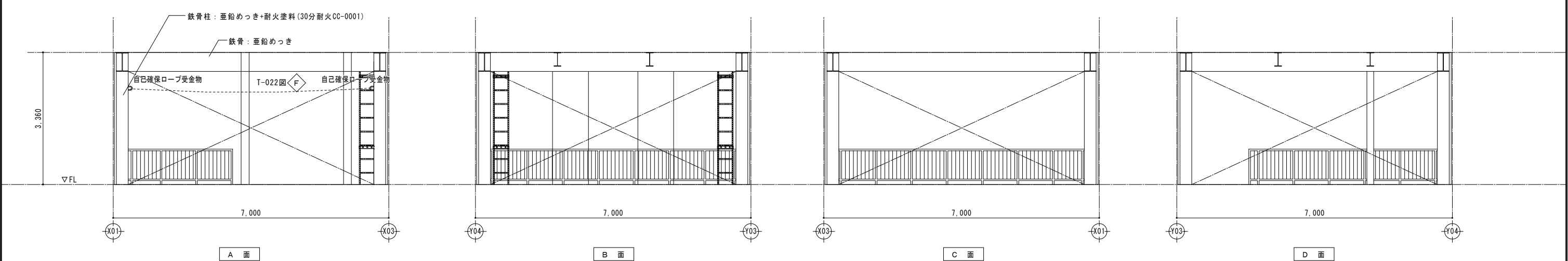


訂正	月	日	原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一般建築士事務所所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 TEL 084-922-3213 一級建築士 甲斐 宣行 FAX 084-922-3214 第293830号	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
				図面設計一級建築士 第 号	作図	変更年月	図面名称 訓練棟 A 断面詳細図3		縮 尺 1: 60	図面番号 A-115	

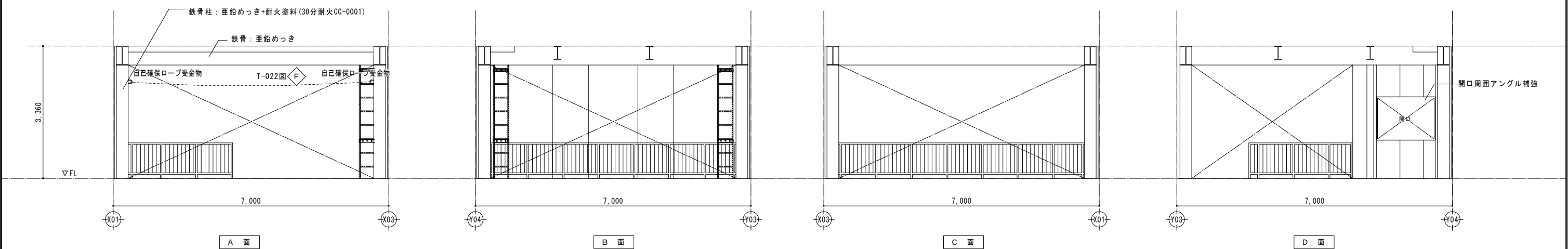
1階 訓練室



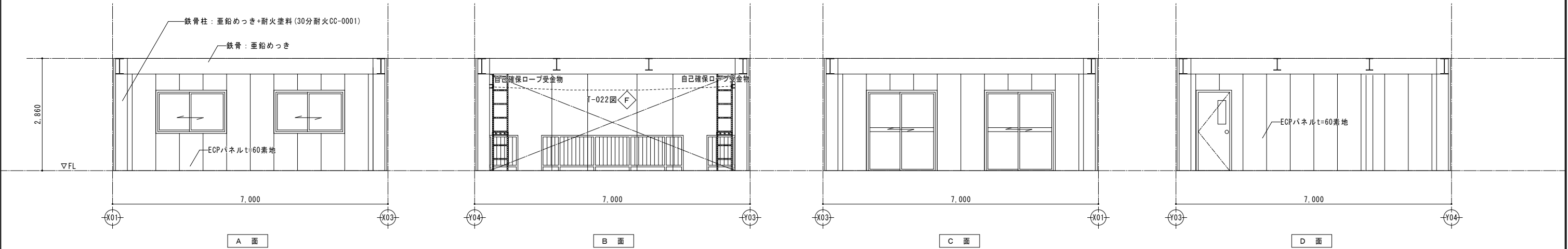
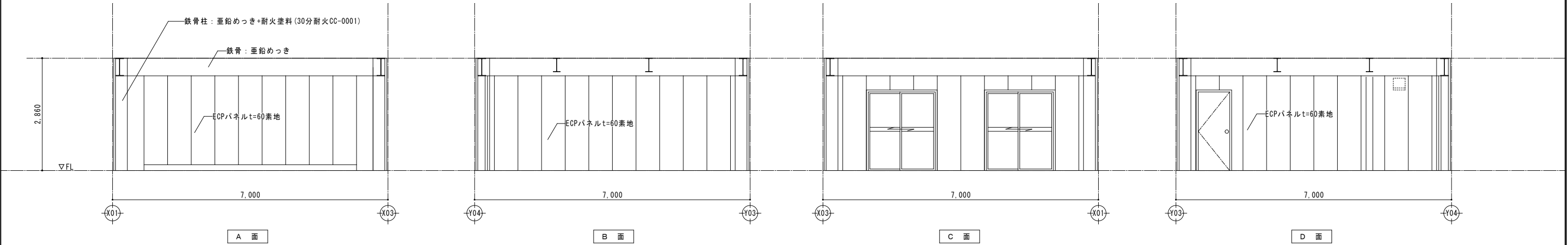
2階 訓練室



3階 訓練室

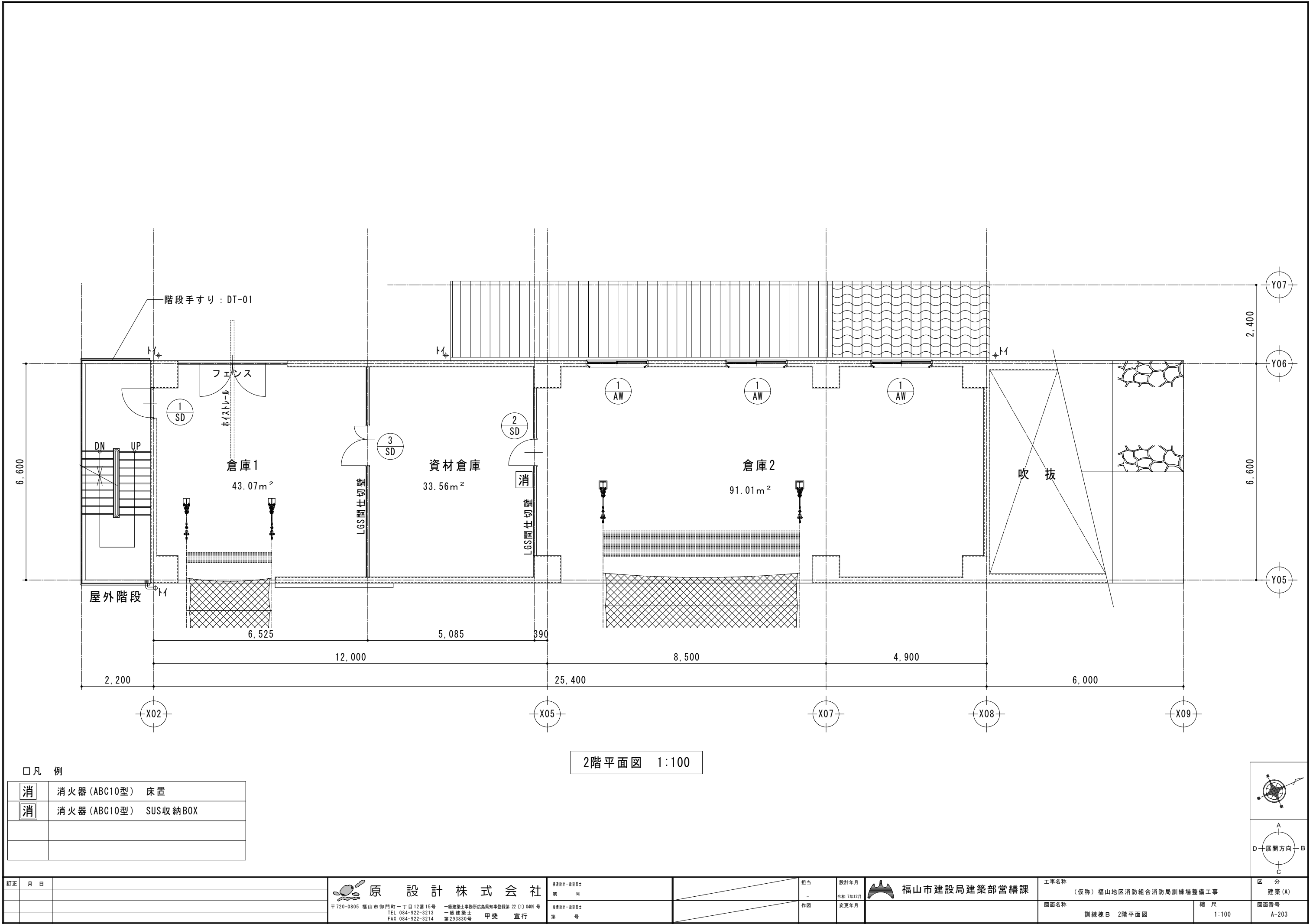


訂正	月	日	原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市 御門町 一丁目12番15号 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 TEL 084-922-3213 一級建築士 甲斐 宣行 FAX 084-922-3214 第293830号	構造設計一級建築士 第 号	担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)			
											図面名称 訓練棟 A 展開図1	縮 尺 1:100	図面番号 A-116



記 号 ・ 数 量		① AW		× 02		② AW		× 04		③ AW		× 01							
形 状																			
▽FL																			
場 所		訓練室				訓練室				訓練室									
形 式		引違い窓				引違い窓				引き窓									
見 込		70				70				70									
扉仕上		アルミシルバー		アルミシルバー		アルミシルバー		アルミシルバー		アルミシルバー		アルミシルバー							
硝 子		ポリカーボネート板 t=4		アルミ額縁 クレセントH-1500		ポリカーボネート板 t=4 一部FWG6.8		アルミ額縁 クレセントH-1500		FWG6.8		アルミ額縁		付属金物一式					
金 物		アルミ額縁 クレセントH-1500		付属金物一式		アルミ額縁 クレセントH-1500		付属金物一式		アルミ額縁		付属金物一式							
備 考																			
記 号 ・ 数 量		① SD		× 01		② SD		× 01		③ SD		× 01							
形 状																			
▽FL																			
場 所		1F				4F				5F									
形 式		両開き扉				片開き戸				片開き戸									
見 込		扉: 40 枠: 180				扉: 40 枠: 110				扉: 40 枠: 110									
扉仕上		鋼板t=1.6 DP塗		鋼製 DP塗		鋼板t=1.6 DP塗		鋼製 DP塗		鋼板t=0.8 DP塗		鋼製 DP塗							
硝 子		FWG6.8				-				FWG6.8									
金 物		戸当り(床付) DC (ストップ付) シリンダー錠 SUS沓摺り		レバーハンドル 付属金物一式		戸当り(床付) DC (ストップ付) シリンダー錠 SUS沓摺り		ハンドル 付属金物一式		戸当り(床付) DC (ストップ付) シリンダー錠 SUS沓摺り		ハンドル 付属金物一式							
備 考		ガラリ(開口率30%)				ガラリ(開口率30%)													
記 号 ・ 数 量																			
形 状																			
場 所																			
形 式																			
見 込																			
扉仕上																			
硝 子																			
金 物																			
備 考																			
■材料凡例		SS : 鋼製シャッター OS : オーバースライダー SD : 鋼製ガラリ SG : 鋼製ガラリ STD : ステンレス製扉 STW : ステンレス製窓 LSD : 軽量鋼製扉 LSW : 軽量鋼製窓 AD : アルミ製扉 ADW : アルミ製扉窓付 AG : アルミ製ガラリ WD : 木製扉 AW : アルミ製窓 AG : アルミ製ガラリ TB : トイレブース GB : ガラスブロック F : ふすま DC : ドアチェック(ストップ付) 電 : 電気錠		FL : フロートガラス FG : 型板ガラス PWG : 網入磨き板ガラス FWG : 網入型板ガラス HAG : 熱線吸収板ガラス HAPWG : 熱線吸収網入り板ガラス TG : 強化ガラス FTG : 型板強化ガラス		■法規制略号 ※ 一般建具 ※ 防火設備 ※ 特定防火設備 アルミ製建具の防火設備認定番号:EB-9101~9108		■共通事項 【シーリング】 ・建具通り : MS-2 (変成シリコン系) ・ガラス突付 : SR-1 (シリコン系) 【鋼製防錆処理】 ・鉛丹カルシウムペイント 2回塗		【一般共通事項】 ・サッシのトリコ詰めモルタルは、無塩砂を使用する。 ・建具類の補強金物は、施工図により決定する。 ・引手等の形状は図面による他、承認図にて決定する。 ・乾摺りはステンレス製とする。 ・建具金物は原則としステンレス製とする。 ・外部建具は全て結露受を設置する。 ・ハンガードアは全て指詰防止付とする。 ・レバーハンドル、親玉等の高さはFL+900程度とする。 ・衝突防止シールはSUS製30φハーフ仕上@300両面H=1300とする。 ・アルミパネルはt=3.0以上とする。 ・網戸はガラス繊維入とする。 ・クレセント位置はFL+1,500以内とする。 ・排煙ハレター位置はFL+1,500以内とする。 ・木製引戸は指詰防止ゴム付とする。 ・アルミサッシ色はメーカー標準色とする。 ・鋼製建具枠、建具高2,400、有効開口幅950を超えるものは板厚2.5mmとする。		沓摺の形状 外部建具 ステンレス ⑦ 2.0 枠見込と同寸 内部建具 ステンレス ⑦ 2.0 建具厚と同寸 引戸建具 ステンレス ⑦ 2.0 枠見込と同寸 枠の形状 壁仕上 25 15 壁厚 見込み W 壁仕上 40 壁厚 見込み W 壁仕上 25 15 壁厚 見込み W 壁仕上 25 15 壁厚 見込み W ネオプレン 25 15 スポンジゴム 15X15							
訂正 月 日		原 設 計 株 式 会 社		構造設計一級建築士 第 号		担当		設計年月 令和 7年12月		福山市建設局建築部営繕課		工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築(A)					
		〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214		一級建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行		図面設計一級建築士 第 号		作図		変更年月		図面名称 訓練棟A 建具表		縮 尺 1: 100		図面番号 A-118			

[illegible]



消		消火器(ABC10型) 床置
消		消火器(ABC10型) SUS収納BOX

訂正			 原 設 計 株 式 会 社	構造設計 - 建築士 第 号	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称		区 分 建築 (A)	
月	日					(仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事			
						図面名称	縮 尺		図面番号
						訓練棟 B 2階平面図	1:100		A-203
			〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214	一般建築士事務所所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第 293830 号 甲斐 宣行	担当 - 作図	設計年月 令和 7 年 12 月 変更年月			

階	室名	床面積	換気				
			必要面積 1/20	建具符号	有効面積	判定	
1	検索訓練室	146.25m ²	7.31m ²	SS1 SD-3	2.10x2.70x1=5.67 1.20x2.00x1=2.40	8.07	OK
3	屋上訓練場	56.10m ²	2.81m ²		※全面開口		OK

階	室名	床面積	排煙				
			必要面積 1/50	建具符号	有効面積	判定	
1	検索訓練室	146.25m ²	2.925m ²			NG	令126条の2第1項4号
3	屋上訓練場	56.10m ²	1.12m ²		8.3x0.55=4.565	OK	

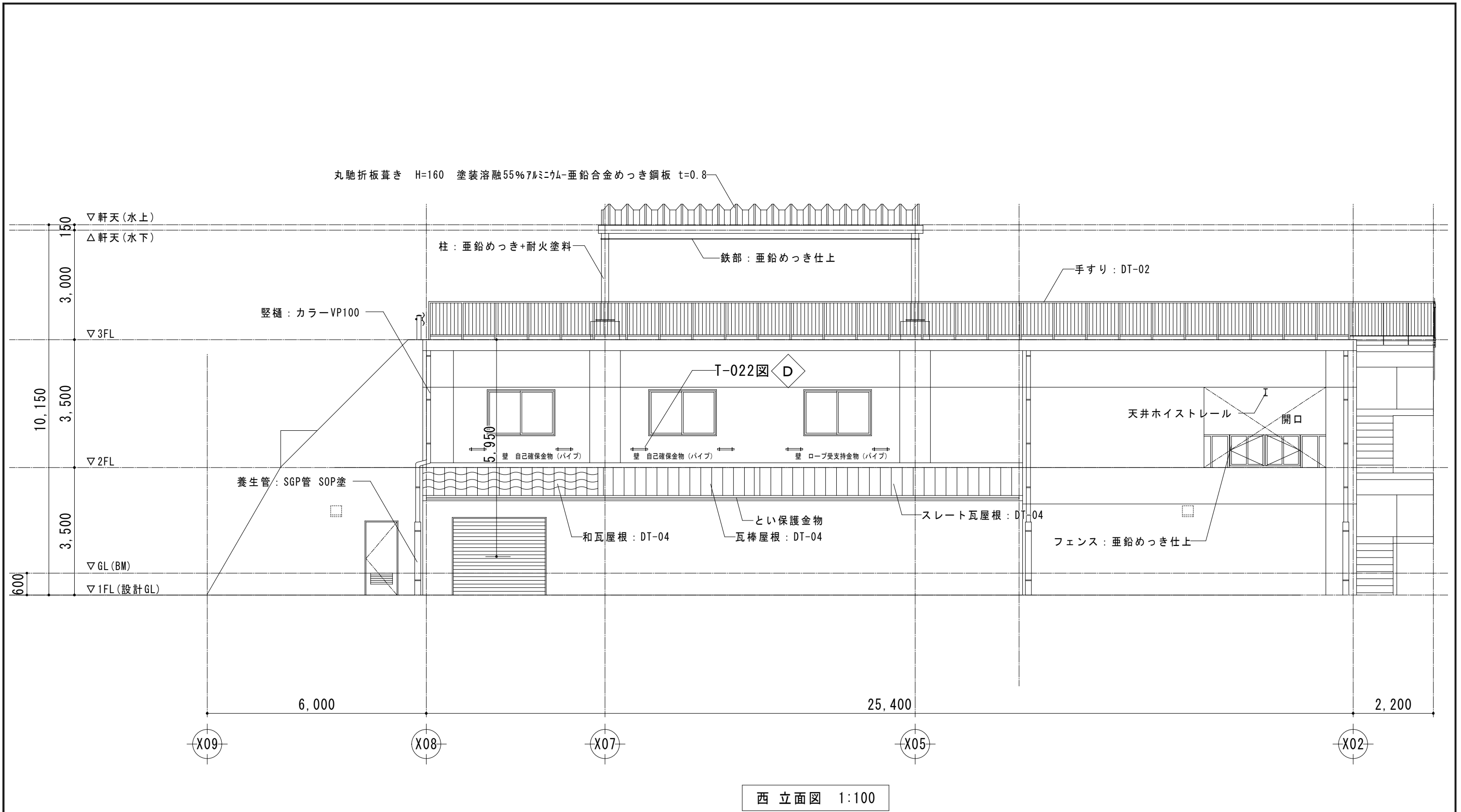
階	室名	床面積	採光					
			必要面積 1/20	建具符号	開口面積 (W)	採光補正係数 (A)	有効採光面積	判定
1	検索訓練室	146.25m ²	7.31m ²	SS-1	2.10x2.70x1=5.67	∴A=3	5.67x3.0=17.01	OK
					(使用時にシャッターを開放して使用する)			
3	屋上訓練場	56.10m ²	2.81m ²		※全面開口			OK

幅員	950	
踏面	240	
蹴上	173.5	1～2F
	175	2～RF

階	床面積	必要面積 1/30			判定
1	246.24m ²	8.208m ²	SS-1	2.70×2.1×2=11.34	有窓階
			合計	11.34>8.21	
2	167.64m ²	5.588m ²	開口	7.70×2.30×1=17.71	有窓階
			開口	3.00×2.60×1=7.80	
			合計	25.51>5.59	

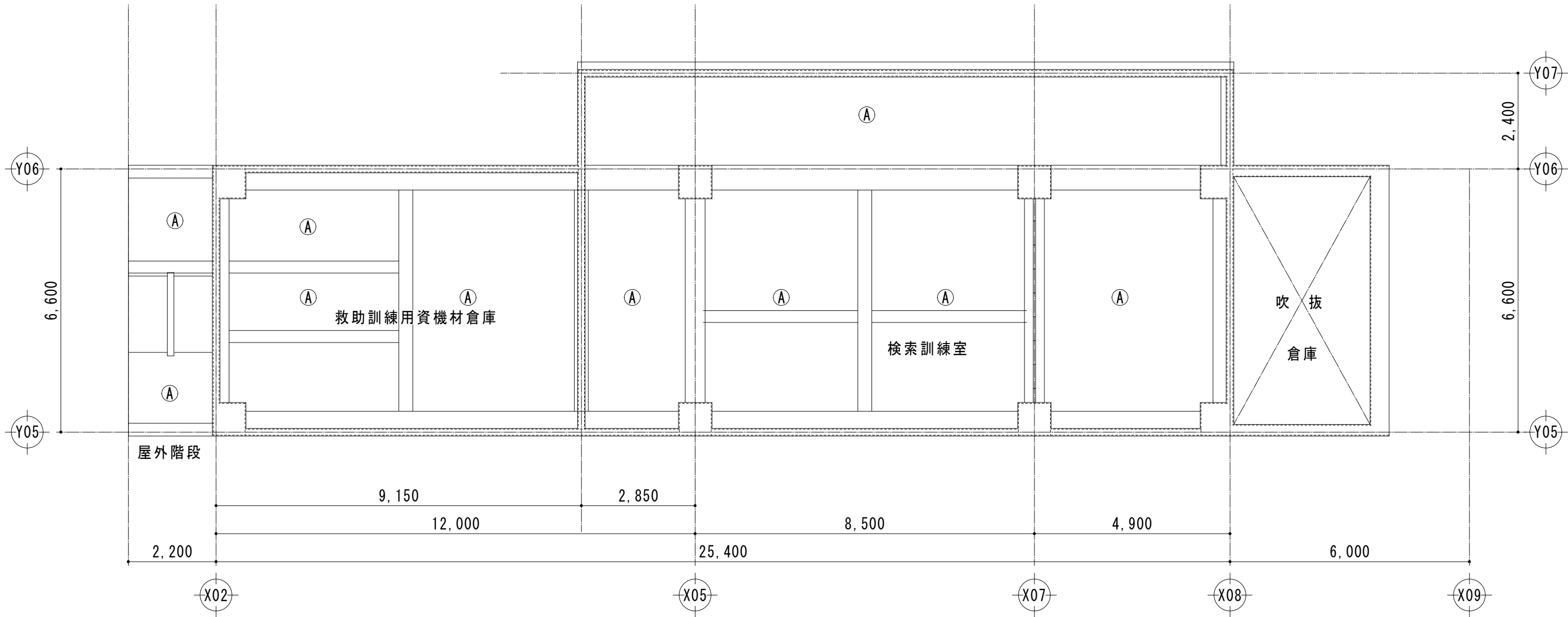


訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市 御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行	構造設計-一般建築士 第 号	 福山市建設局建築部営繕課	担当 -	設計年月 令和 7年12月	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事	区 分 建築 (A)
				設備設計-一般建築士 第 号		作図 変更年月	図面名称 訓練棟 B 屋根伏図	縮 尺 1:100	図面番号 A-205

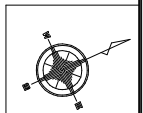


訂正 月 日			 原 設 計 株 式 有 限 公 司 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一般建築士事務所所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 TEL 084-922-3213 一級建築士 第 293830 号 甲斐 宣行 FAX 084-922-3214	構造設計-一般建築士 第 号 監理設計-一般建築士 第 号	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)	
			平 720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一級建築士事務所所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 TEL 084-922-3213 一級建築士 第 293830 号 甲斐 宣行 FAX 084-922-3214	担当 -	設計年月 令和 7年12月	図面名称 訓練棟B 立面図2		縮 尺 1:100	図面番号 A-207

□	凡 例
Ⓐ	コンクリート打放し仕上
Ⓑ	折板表し
Ⓒ	鉄部垂鉛めっき

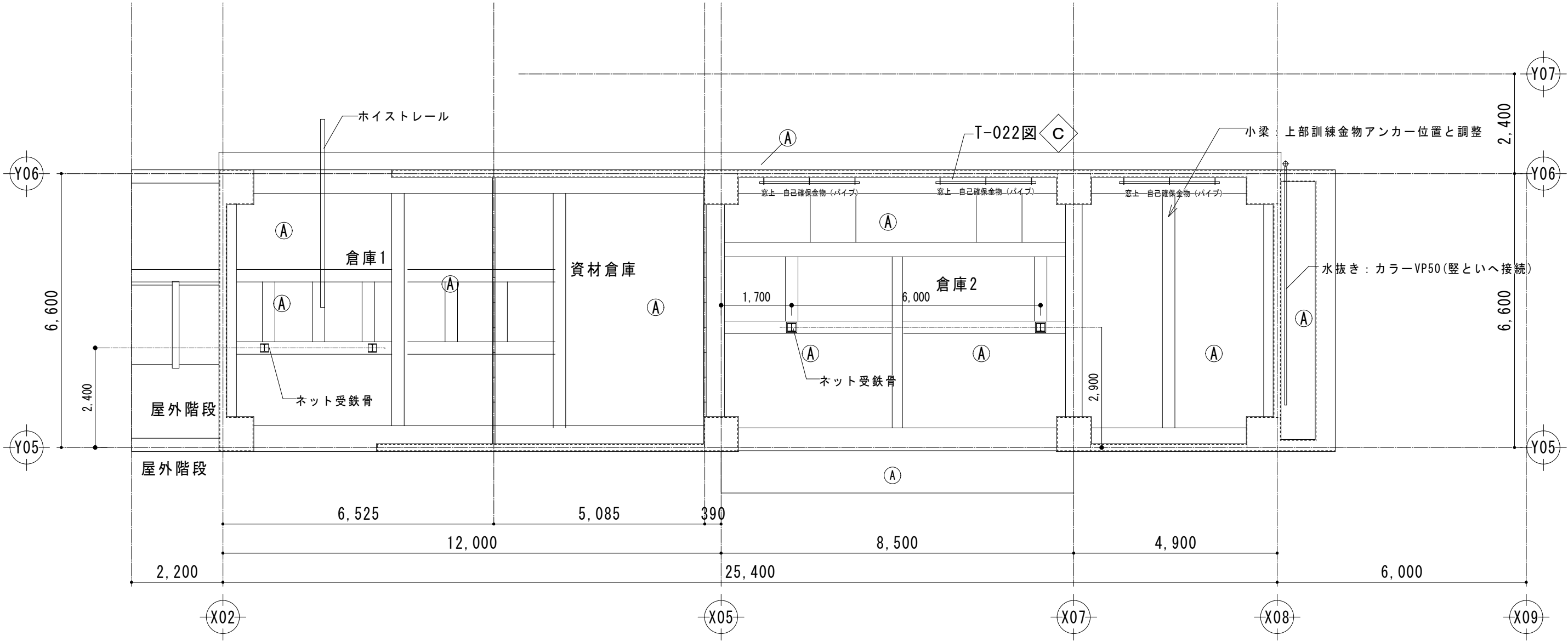


1階天井伏図 1:100

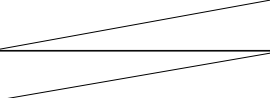


訂正	月 日		 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一般建築士事務所所長 甲斐 宣行	構造設計-一般建築士 第 号	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)	
				設計年月 令和 7年12月		図面名称 訓練棟B 1階天井伏図		縮 尺 1:100	図面番号 A-210
				作図		変更年月			

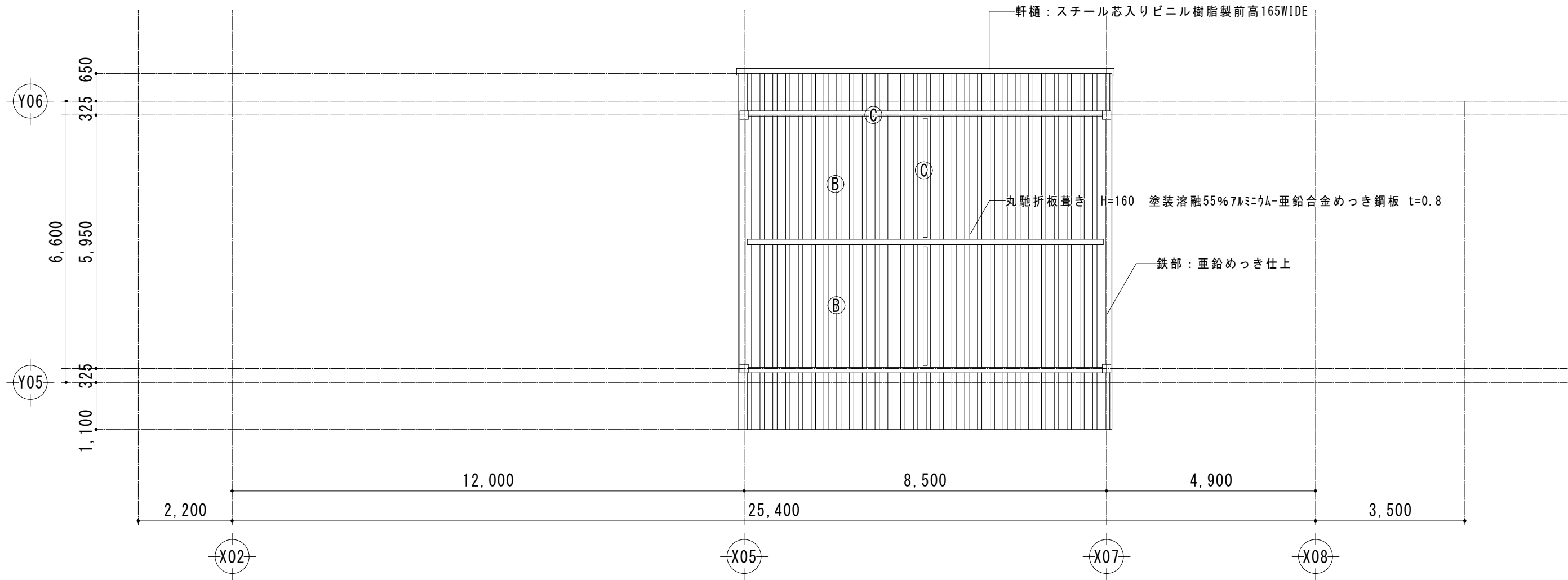
□ 凡 例	
Ⓐ	コンクリート打放し仕上
Ⓑ	折板表し
Ⓒ	鉄部垂鉛めっき



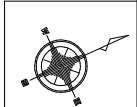
2階天井伏図1:100

訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一般建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号 設備設計一級建築士 第 号		担当 - 作図	設計年月 令和7年12月 変更年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築(A)
									図面名称 訓練棟B 2階天井伏図	縮 尺 1:100	図面番号 A-211

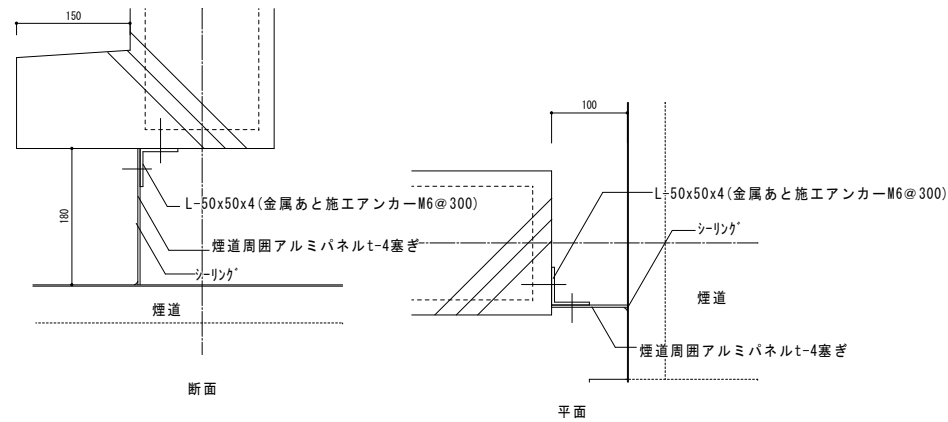
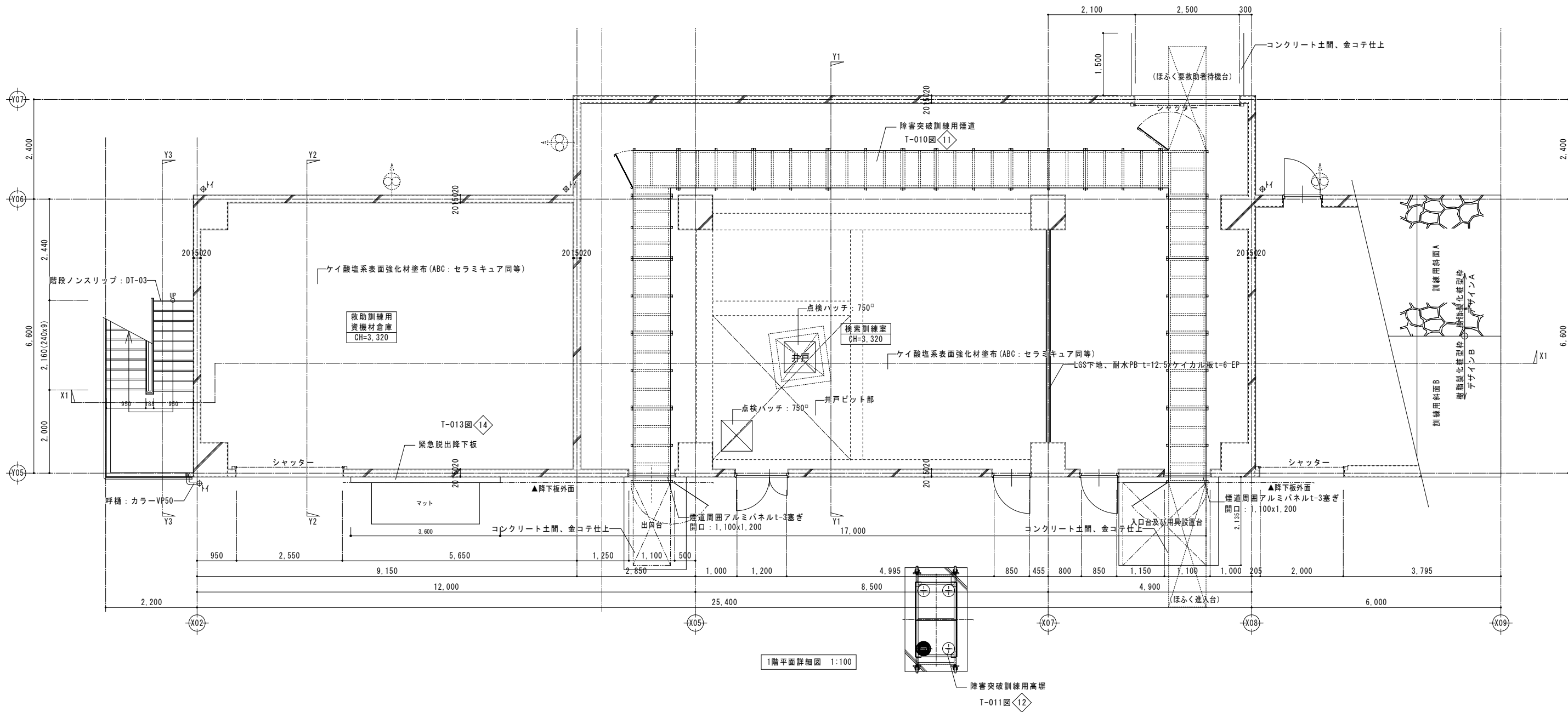
□ 凡 例	
Ⓐ	コンクリート打放し仕上
Ⓑ	折板表し
Ⓒ	鉄部垂鉛めっき



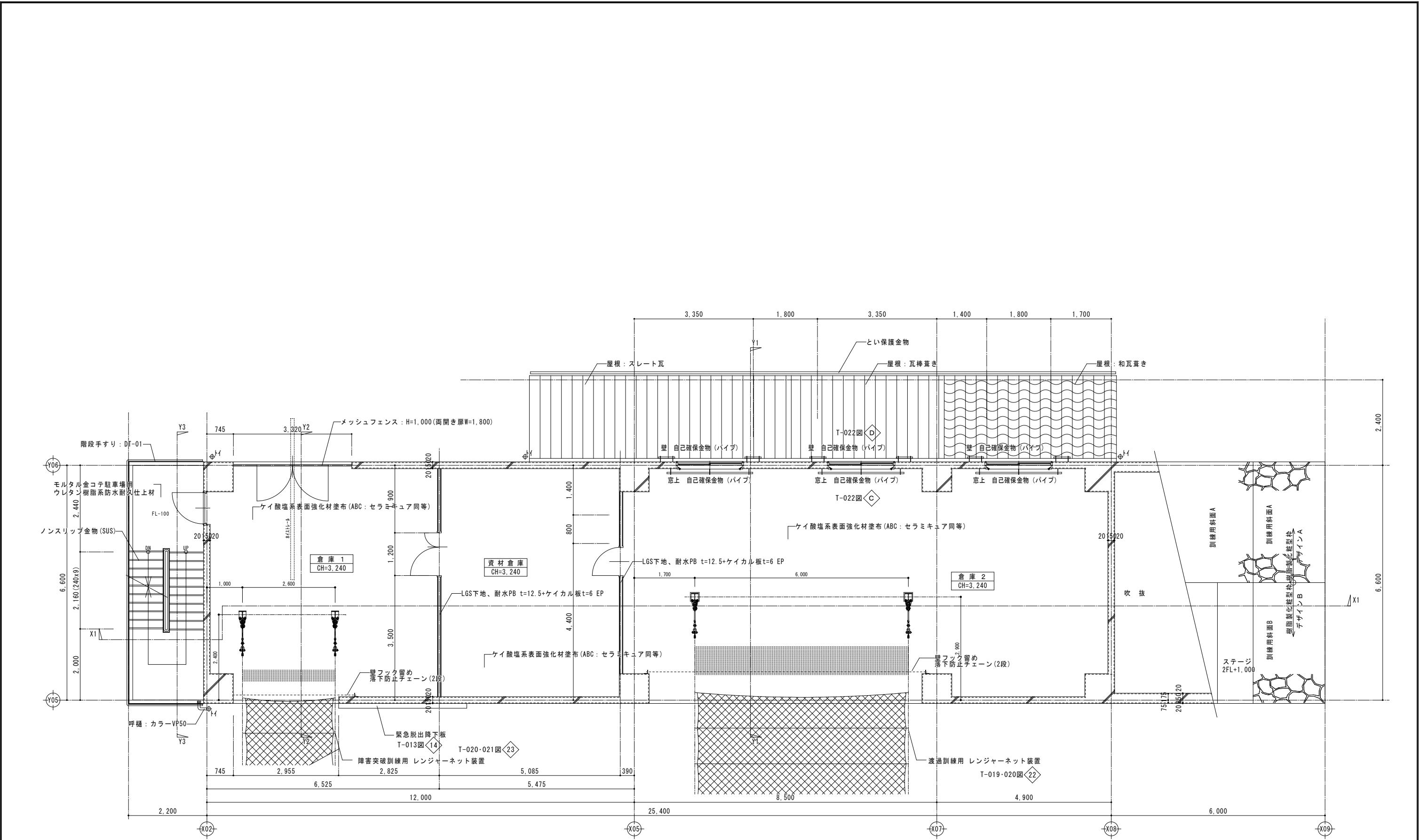
屋上訓練スペース (3F) 1:100



訂正	月	日	原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一級建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 TEL 084-922-3213 一級建築士 甲斐 宣行 FAX 084-922-3214 第293830号	構造設計一級建築士 第 号		担当	設計年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称		区 分
					-	令和7年12月	(仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		建築(A)		
				設備設計一級建築士 第 号		作図	変更年月		図面名称	縮 尺	図面番号
								訓練棟B 3階天井伏図	1:100	A-212	

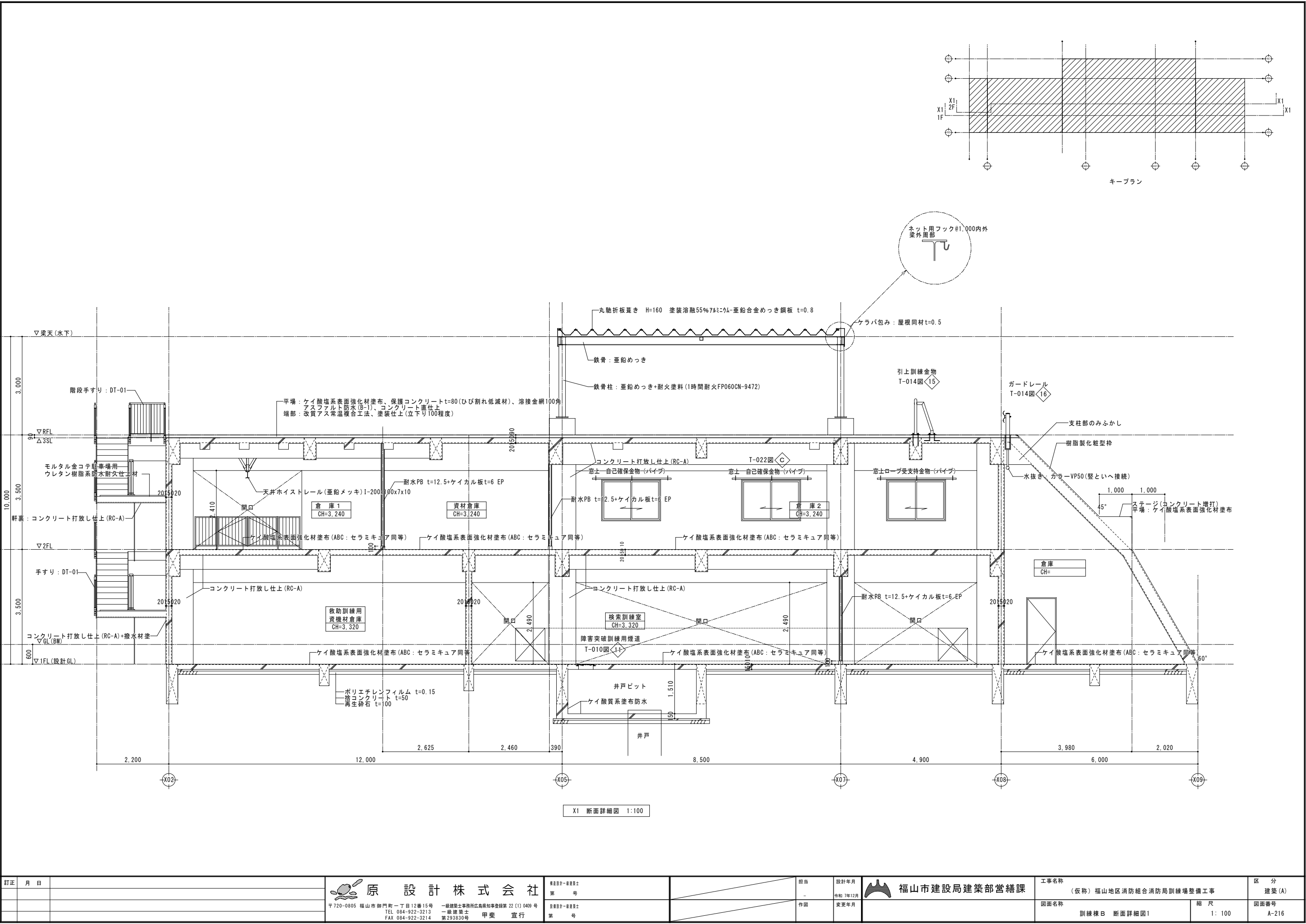


訂正	月	日	原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市 御 門 町 一 丁 目 12番 15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級 建 築 士 第 293830号 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
				監理設計一級建築士 第 号		作図 変更年月			図面名称 訓練棟 B 1階平面詳細図	縮 尺 1: 100	図面番号 A-213

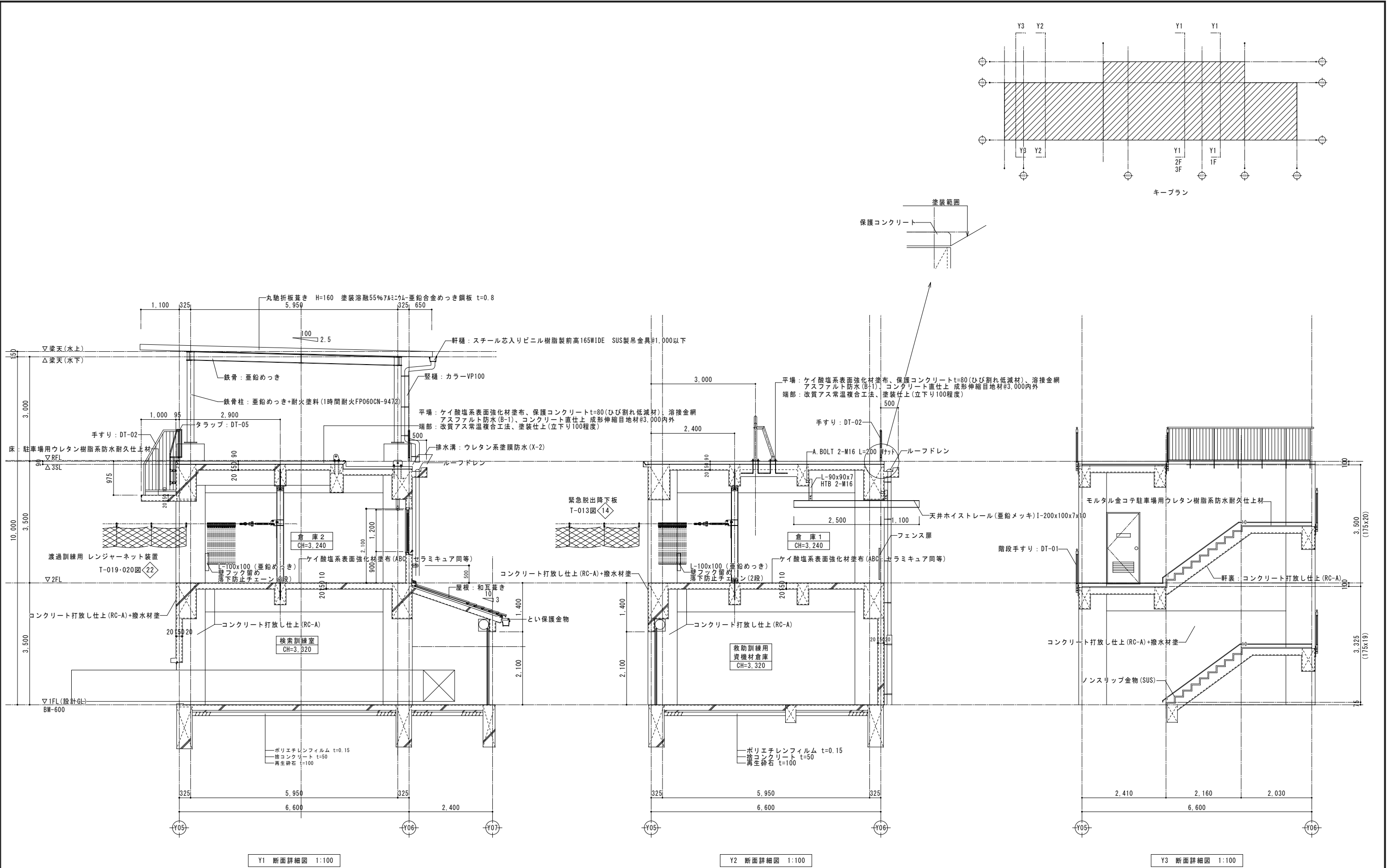


2階平面詳細図 1:100

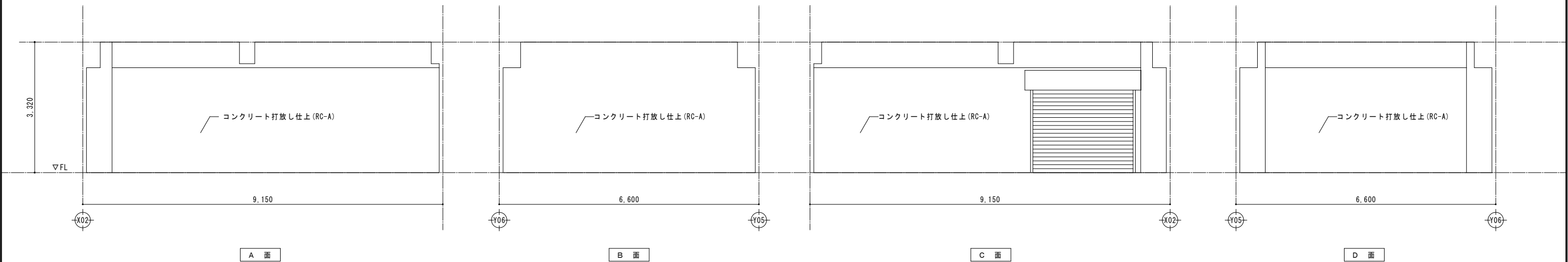
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 有 限 公 司 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一般建築士事務所所長 甲斐 宣行 一級建築士 第293830号	構造設計一級建築士 第 号		担当	設計年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称		区 分
				-		令和7年12月	(仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		建築 (A)		
				設備設計一級建築士 第 号		作図	変更年月		図面名称	縮 尺	図面番号
										訓練棟B 2階平面詳細図	1: 100



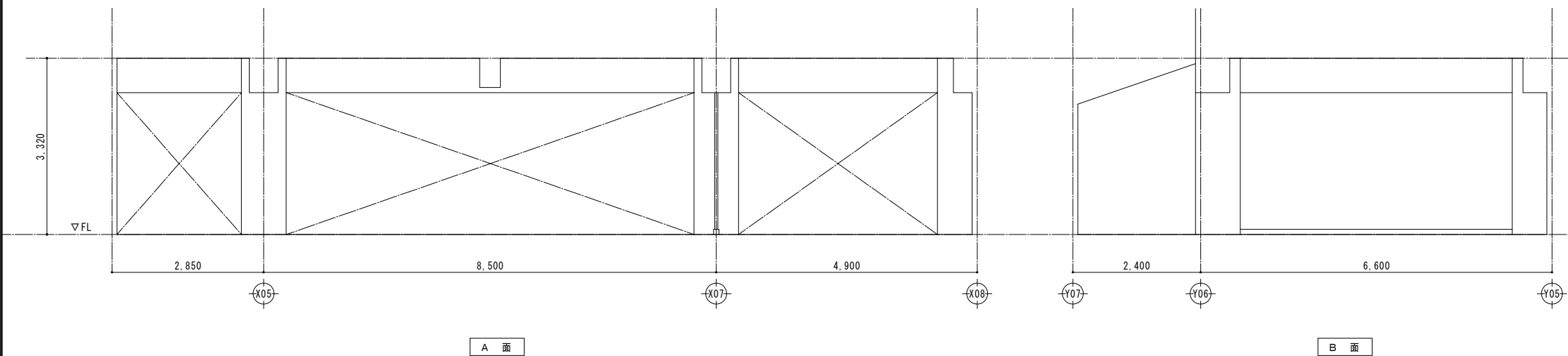
訂正 月 日			 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214	構造設計-建築士 第 号 建築設計-建築士 第 号	担当 - 作図	設計年月 令和7年12月 変更年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
								図面名称 訓練棟B 断面詳細図1	縮 尺 1: 100	
								図面番号 A-216		



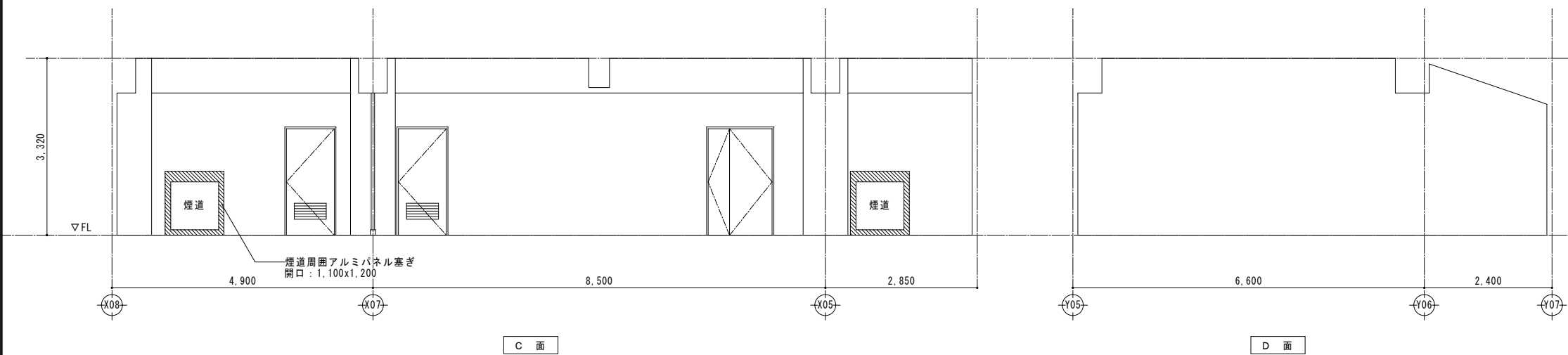
訂正	月	日	原 設 計 株 式 有 限 公 司 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一般建築士事務所所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第 293830 号 甲斐 宣行	構造設計-一般建築士 第 号	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事	区 分 建築 (A)	
				担当 -	設計年月 令和 7 年 12 月	図面名称 訓練棟 B 断面詳細図 2	縮 尺 1: 100	図面番号 A-217
				作図 -	変更年月 -			

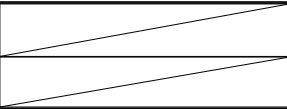


1F検査訓練室

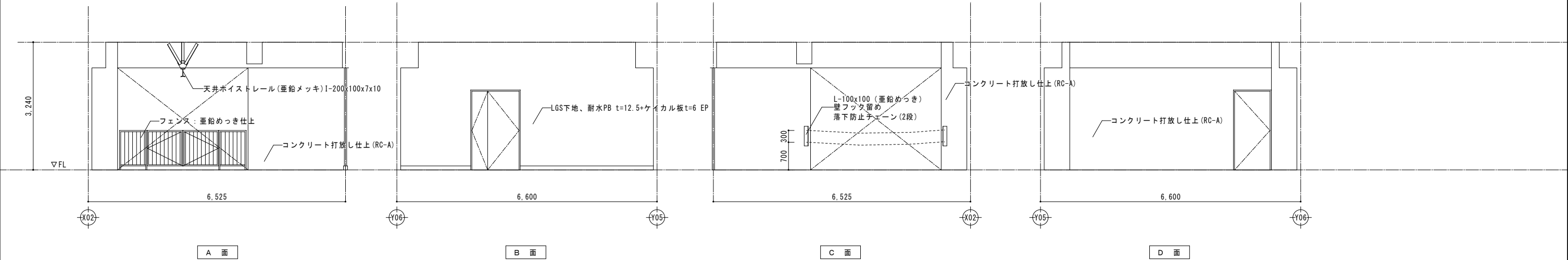


1F検査訓練室

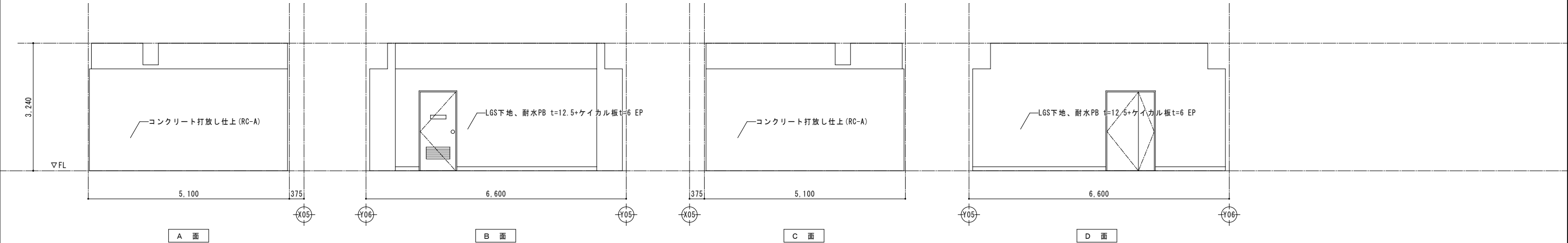


訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214	建築設計～建築士 第 号 建築設計～建築士 第 号		担当 - 作図	設計年月 令和7年12月 変更年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
									図面名称 訓練棟B 展開図1	縮 尺 1:100	
									図面番号 A-218		

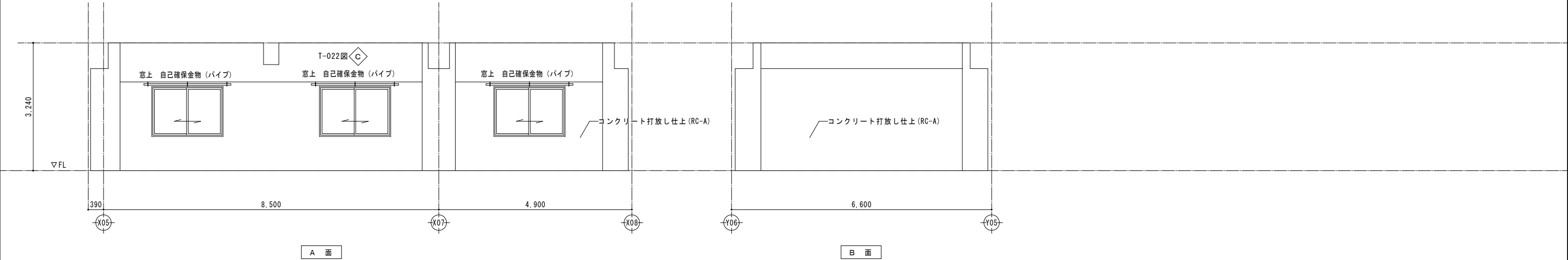
2F倉庫1



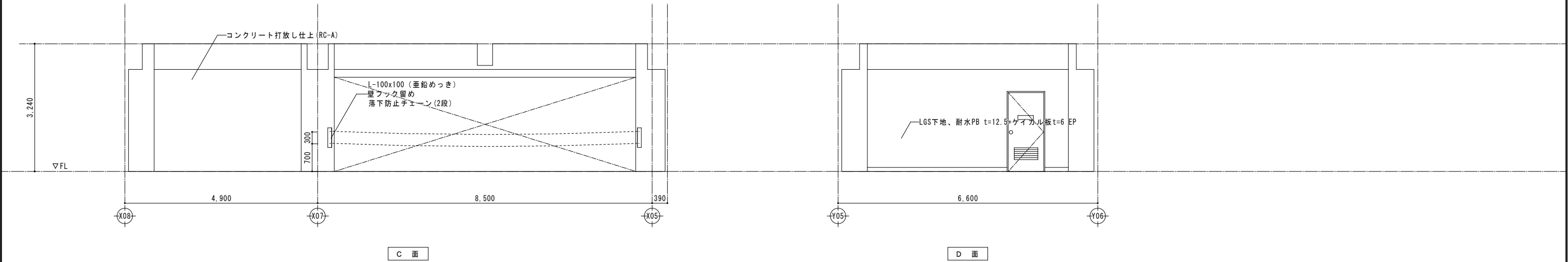
2F資材倉庫



2F倉庫2



訂正	月	日	 原 設 計 株 式 有 限 公 司 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一般建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 一級建築士 甲斐 宣行 第293830号	構造設計一級建築士 第 号		担当	設計年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称		区 分
				-	令和7年12月	(仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事			建築 (A)		
				作図	変更年月	図面名称	縮 尺		図面番号		
				第 号					訓練棟B 展開図2	1:100	A-219



訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市 御門町 一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一般建築士事務所所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
				監理設計一級建築士 第 号	作図	変更年月	図面名称 訓練棟 B 展開図3		縮 尺 1:100	図面番号 A-220	

記 号 ・ 数 量		1 AW × 03													
形 状		1,750 1,200 900 下 栓 : SUS													
▽FL															
場 所		2F倉庫													
形 式		引違い窓													
見 込		70													
原 仕 上		特 仕 上		アルミシルバー	アルミシルバー										
硝 子		ポリカーボネート板 t=4													
金 物		アルミ額縁 クレセントH-1500													
備 考		付属金物一式													
記 号 ・ 数 量		1 SD × 04		2 SD × 01	3 SD × 02										
形 状		900 2,000 300 300 600		900 2,000 300 300 600 室名シート切り文字 H=70	1,200 800 400 2,000										
▽FL															
場 所		1F倉庫・検査訓練室・ボンベ充填室 2F資材倉庫		2F資材倉庫	1F検査訓練室 2F倉庫										
形 式		片開き戸		片開き戸	親子扉										
見 込		扉：40 枠：		扉：40 枠：	扉：40 枠：										
原 仕 上		特 仕 上		鋼板t=1.6 DP塗	鋼製 DP塗	鋼板t=1.6 DP塗	鋼製 DP塗								
硝 子		-		-	-										
金 物		戸当り(床付) DC(ストップ付) シリンダー錠 SUS沓指り レバーハンドル 付属金物一式		戸当り(床付) DC(ストップ付) シリンダー錠 SUS沓指り レバーハンドル 付属金物一式	戸当り(床付) DC(ストップ付) シリンダー錠(2か所) SUS沓指り ハンドル 付属金物一式										
備 考		ガラリ(開口率30%)		ガラリ(開口率30%)											
記 号 ・ 数 量		1 SS × 02		2 SS × 01											
形 状		2,700 2,100		2,000 3,300											
▽FL															
場 所		救助訓練用資機材倉庫 倉庫		倉庫(がけ下)											
形 式		軽量バランスシャッター		軽量バランスシャッター											
見 込		-		-											
原 仕 上		特 仕 上		化粧鋼板t=0.5	化粧鋼板t=0.5										
硝 子		-		-											
金 物		付属金物一式		付属金物一式											
備 考															
■材料凡例 SS : 鋼製シャッター OS : オーバースライダー SD : 鋼製 SG : 鋼製ガラリ STD : ステンレス製扉 STW : ステンレス製窓 LSD : 軽量鋼製扉 LSW : 軽量鋼製窓 AD : アルミ製扉 ADW : アルミ製扉窓付 AG : アルミ製ガラリ WD : 木製扉 AW : アルミ製窓 AG : アルミ製ガラリ TB : トイレブース GB : ガラスブロック F : ふすま DC : ドアチェック(ストップ付) 電 : 電気錠 FL : フロートガラス FG : 型板ガラス PWG : 網入磨き板ガラス FWG : 網入型板ガラス HAG : 熱線吸収板ガラス HAPWG : 熱線吸収網入り板ガラス TG : 強化ガラス FTG : 型板強化ガラス ■法規制略号 ☒ 一般建具 ☒ 防火設備 ☒ 特定防火設備 アルミ製建具の防火設備認定番号:EB-9101～9108 ■共通事項 【シーリング】 ・建具廻り : MS-2 (変成シリコン系) ・ガラス突付 : SR-1 (シリコン系) 【鋼製防錆処理】 ・鉛丹カルシウムペイント 2回塗 【一般共通事項】 ・サッシのトロ詰めモルタルは、無塩砂を使用する。 ・建具類の補強金物は、施工図により決定する。 ・引手等の形状は図面による他、承認図にて決定する。 ・乾搾りはステンレス製とする。 ・建具金物は原則としステンレス製とする。 ・外部建具は全て結露受を設置する。 ・ハンガードアは全て指詰防止付とする。 ・レバーハンドル、握玉等の高さはFL+900程度とする。 ・衝突防止シールはSUS製30φﾊﾞｯｼｭ仕上@300両面H=1300とする。 ・アルミパネルはt=3.0以上とする ・網戸はガラス繊維入とする。 ・クレセント位置はFL+1,500以内とする。 ・排煙ハレター位置はFL+1,500以内とする。 ・木製引戸は指詰防止ゴム付とする ・アルミサッシ色はメーカー標準色とする。 ・鋼製建具枠、建具高2,400、有効開口幅950を超えるものは板厚2.5mmとする。															
					沓指の形状 外部建具 ステンレス φ2.0 枠見込と同等 ステンレス φ2.0 枠見込と同等 ステンレス φ2.0 建具厚と同等 ステンレス 枠見込と同等										
					枠の形状 壁仕上 25 15 壁厚 見込み 25 15 W 40 見込み W 25 15 壁仕上 壁厚 見込み 25 15 W 25 15 壁仕上 壁厚 見込み 25 15 W ネオプレン スポンジゴム 15X15										
訂正		月 日		原 設 計 株 式 会 社		担当		設計年月		福山市建設局建築部営繕課		工事名称		区 分	
				〒720-0805 福山市 御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214		-		令和 7年12月				(仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		建築(A)	
				一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行		作図		変更年月				図面名称		図面番号	
												訓練棟B 建具表		A-221	

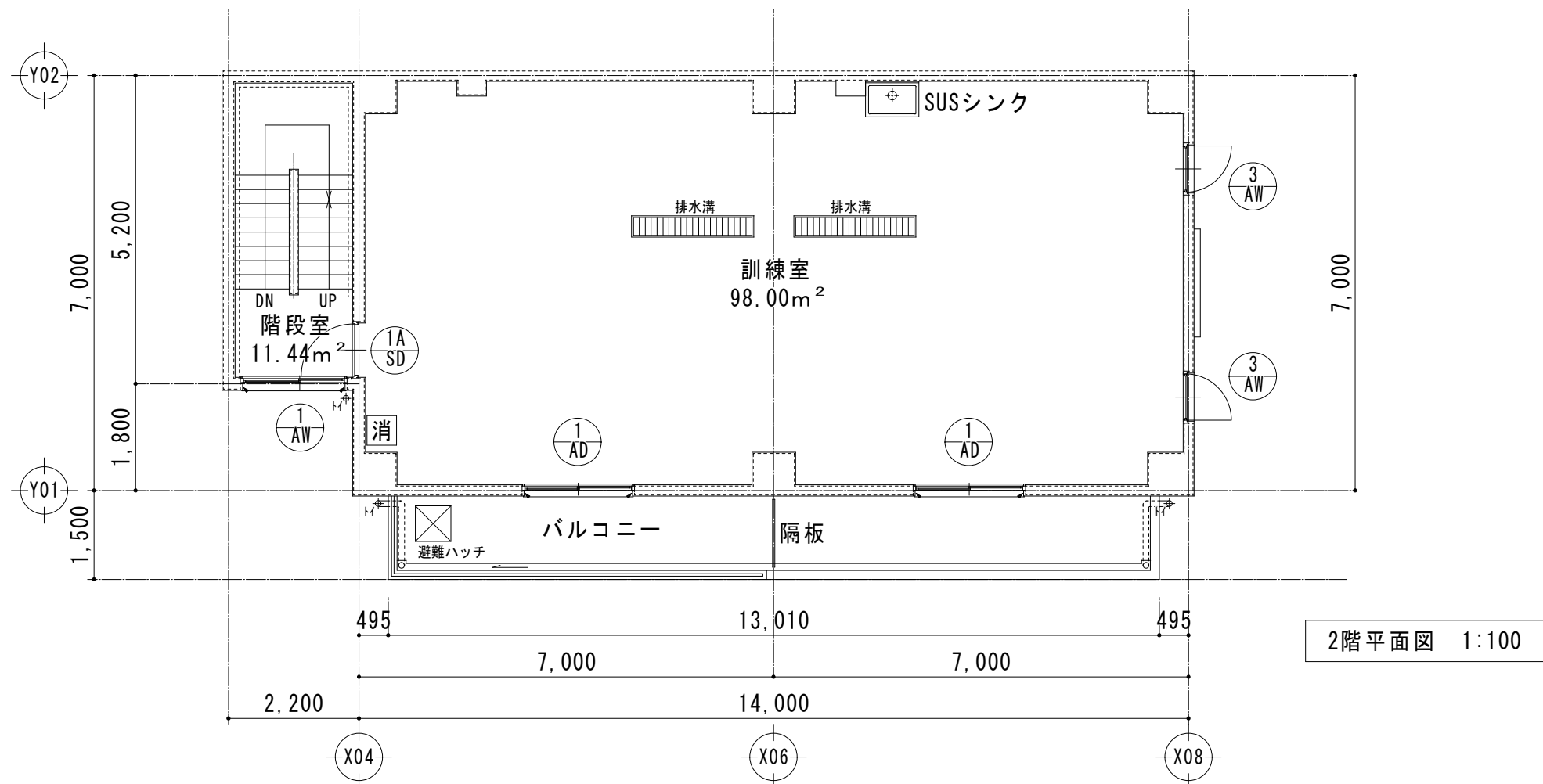
□外部 仕上表									
屋上訓練スペース (3F)	平場：ケイ酸塩系表面強化材塗布、保護コンクリートt=80(ひび割れ低減材)、溶接金網、成形伸縮目地材#3,000内外 アスファルト防水(B-1)、コンクリート直仕上 端部：改質アス常温複合法、塗装仕上(立下り100程度) ピット部(FL-150)：平場同仕上の上、脱着鋼製蓋(亜鉛めっき) 排水溝部：ウレタン系塗膜防水(X-2)	バルコニー	床：駐車場用ウレタン樹脂系防水耐久仕上材 手すり：鋼製手すり(DT-02) 一部コンクリート手すり壁(平面詳細図による) 避難ハッチ(SUS製) 隔板			消防訓練設備	・渡過訓練用レンジャーネット装置 ・引揚救助用やぐら+ロープ保護金物 ・緊急脱出降下板 ・各支点金物 ・ロープ保護金物 ・訓練塗装部分：2-UE		
		樋	堅 樋：カラーVP100・50 養生管：SGP管 SOP塗(養生管はトイの1サイズUP) SUS製支持金物 @1200内外 軒樋：スチール芯入りビニル樹脂製前高165WIDE SUS製吊金具#1,000以下						
		訓練用ステージ	床：駐車場用ウレタン樹脂系防水耐久仕上材 軒裏：コンクリート打放し仕上(RC-A) タラップ：DT-06						
屋根	丸馳折板葺き H=160 塗装溶融55%7#ミナミ亜鉛合金めっき鋼板 t=0.8 -					□防耐火認定番号			
階段屋根	ウレタン塗膜防水(X-2)立上り共 アルミ笠木 -					鉄骨柱	耐火塗料 1時間耐火FP060CN-9472(SK9イコト同等)	-	
外壁・巾木	コンクリート打放し仕上(RC-A)+撥水材塗 - -					外壁	-	-	

□建物概要		特記事項	※建築材料等は、全てF☆☆☆☆を使用する。 ※建築設備の耐震設計は「建築設備耐震設計指針」に従い施工する。
主要用途：消防署（訓練塔） 消防法：15項			
工事種別：新築			
構造種別：鉄筋コンクリート造3階建 その他の建築物			
その他：			
用途地域：準工業地域			
防火地域：指定無し			
その他地域：法22条区域、宅地造成規制区域、下水処理区域、景観計画区域			
浸水想定区域、立地適正化区域、住居誘導区域			

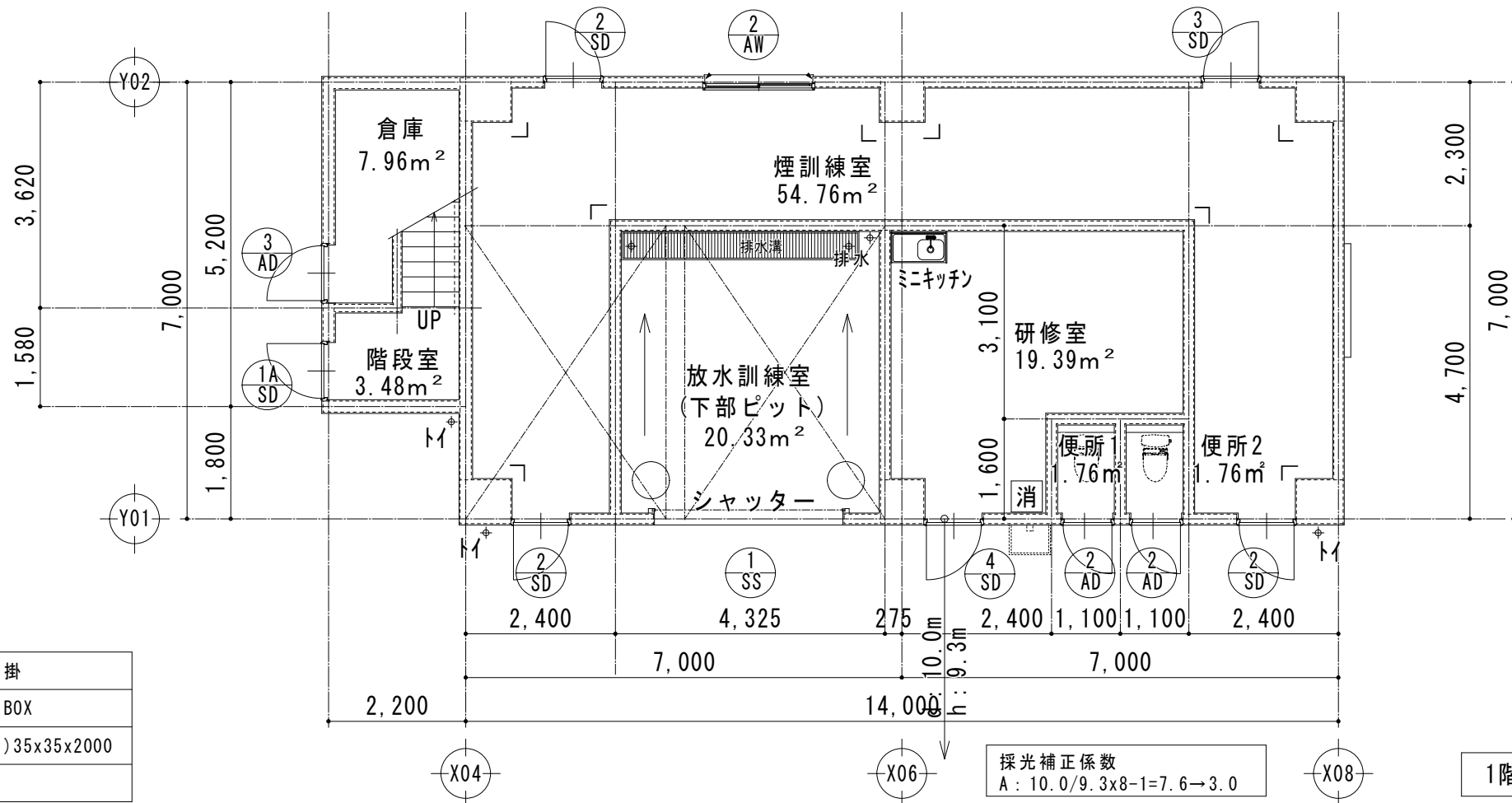
□内部 仕上表																						
特記無きは F L ± 0																						
階	室 名	内装制限	床 高	天井高	床		幅 木	腰壁 H=900		壁		天 井			付属物						備 考	室 名
			スラブ高		下 地	仕 上	仕 上	下 地	仕 上	下 地	仕 上	下 地	仕 上	廻 縁	天井 点検口	カーテン BOX	ガラス BOX	スカー BOX	ビ ド レ ール	室名札		
1	煙 訓 練 室	不燃 告示1436号-4-ハ(5)		2,600	RC直	ケイ酸塩系表面強化材塗布(ABC：セラミキュア同等)	-	-	-	RC-A	コンクリート素地	LGS	化粧PB t=9.5	塩ビ	○						-	煙体験室
	研修室	不燃 告示1436号-4-ハ(5)		3,320	RC直	モルタル金コテ仕上	-	-	-	RC-A	コンクリート素地	RC-A	コンクリート素地							○	ミニキッチンL-900(ハーフユニット) -	研修室
	放水訓練室	不燃 告示1436号-4-ハ(5)		3,320	RC直	駐車場用ウレタン樹脂系防水耐久仕上材 (ABC：カラートップSRB工法同等)	-	RC-A	床仕上巻上 H=500	RC-A	コンクリート素地	RC-A	コンクリート素地							排水溝(DT-01) マンホール(φ600)※転落防止装置付 カラーVP100(2F排水用)	放水訓練室	
	便所1・2	-	+30	2,400	M	磁器質100角タイル	-	-	磁器質100角タイル H=1200	RC-A	コンクリート素地	LGS	化粧PB t=9.5	塩ビ						○	面台 排水目皿φ50 -	便所1・2
	階段下倉庫	-		スラブ下	RC直	ケイ酸塩系表面強化材塗布(ABC：セラミキュア同等)	-			RC-A	コンクリート素地	RC-A	コンクリート素地								階段下倉庫	
	階段室	不燃		スラブ下	RC直	モルタル金コテ仕上 段鼻ノンスリップ(SUS)	-			RC-A	コンクリート素地	RC-A	コンクリート素地								片側ブラケット手すり	階段室
2	訓練室	不燃 告示1436号-4-ハ(5)		3,240	RC直	駐車場用ウレタン樹脂系防水耐久仕上材 (ABC：カラートップSRB工法同等) 水勾配	-	RC-A	床仕上巻上 H=200	RC-A	コンクリート素地	RC-A	コンクリート素地							○	SUS製一槽シンク(L900) 排水溝(DT-01)	訓練室
-	地下ピット	-	±0	-	RC-C	ケイ酸質系塗布防水 一部蒸場(300x300)	-	-	-	RC-C	ケイ酸質系塗布防水	RC-C	コンクリート素地								排水溝(DT-01) -	地下ピット

仕上材符号一覧表										塗装符号一覧表										※壁紙は全て不燃とし工事完了時に報告する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
床・壁・天井	RC直	コンクリート直均し(金こて)	LGS	軽量鉄骨下地				SOP	合成樹脂調合ペイント塗	WP	キシペーコー2回塗 同等品以上	不燃材料	防火材料一覧表		繊維強化セメント板(ケイカル板) タイプ2 t=5mm以上 化粧ケイカル板 t=6 せっこうボード t=12.5、15mm 化粧せっこうボード t=9.5mm 強化せっこうボードt=12.5mm以上 硬質せっこうボードt=9.5mm以上 RW吸音板 メラミン樹脂化粧板t=3		NW-8578 NW-8579 NW-8619 NW-1864 NW-8615 NW-1908 NW-8599 NW-2183		調湿機能付けい酸カルシウム板t=6 杉不燃羽目板t=15 杉不燃胴縁、杉ルーバー不燃材 グラスウール保温板 塗料塗装/不燃材料(下地法定不燃材) 仕上塗装/不燃材料(下地法定不燃材) 壁紙(下地・法定不燃材料) ※塗装用壁紙共 フェノールフォーム保温板		NM-8579 NM-0917 NM-1031 NM-8606 NM-8585 NM-8572 NM-**** NM-2829		化粧石膏ボード t=12.5mm(和風天井) 耐水せっこうボードt=12.5mm 可とう形外装薄付仕上塗材 化粧石膏ボード t=12.5mm(押入ボード) 塗料塗装/不燃材料(下地法定不燃材) 仕上塗装/不燃材料(下地法定不燃材) 壁紙(下地・法定不燃材料) ※塗装用壁紙共 フェノールフォーム保温板		QM-0127 NM-9639 NM-8572 NM-0128 QM-9828 QM-9824 QM-9826 QM-0172 QM-0255																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	RC-A	コンクリート打放しA種(化粧仕上)	VS	ビニル床シート	A防水	アスファルト防水		CL	クリヤラッカー塗	DP	耐候性塗料塗(3級)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	RC-B	コンクリート打放しB種(塗装仕上)	TC	タイルカーペット	化粧ケイカル板(木目)	加飾化粧ケイカル板(木目調)		VE	塩化ビニル樹脂エナメル塗	NP	自然塗料塗																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	RC-C	コンクリート打放しのまま C種	PB	せっこうボード				2-UE	2液形ポリウレタンエナメル塗																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	CB	コンクリートブロック	化粧PB	化粧せっこうボード				EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	M	モルタル塗	耐水PB	耐水せっこうボード				EP	合成樹脂エマルションペイント塗																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	W	木製	強化PB	強化せっこうボード				UC	ウレタン樹脂ワニス塗																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	ALC	ALCパネル	RW吸音板	ロックウール吸音板				OS	オイルステイン塗																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	ECP	押出成形セメント板	ケイカル板	繊維強化セメント板(けい酸カルシウム板)タイプ2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

□面積算定表																																																								
				面積計算式 <table><tr><td>①</td><td>14.000</td><td>×</td><td>7.000</td><td>=</td><td>98.000</td></tr><tr><td>②</td><td>2.200</td><td>×</td><td>5.200</td><td>=</td><td>11.440</td></tr><tr><td>③</td><td>7.900</td><td>×</td><td>0.500</td><td>=</td><td>3.950</td></tr><tr><td>A</td><td>13.010</td><td>×</td><td>0.500</td><td>=</td><td>6.505</td></tr><tr><td>B</td><td>15.000</td><td>×</td><td>0.100</td><td>=</td><td>1.500</td></tr><tr><td>C</td><td>7.000</td><td>×</td><td>1.000</td><td>=</td><td>7.000</td></tr><tr><td colspan="6"></td></tr></table>				①	14.000	×	7.000	=	98.000	②	2.200	×	5.200	=	11.440	③	7.900	×	0.500	=	3.950	A	13.010	×	0.500	=	6.505	B	15.000	×	0.100	=	1.500	C	7.000	×	1.000	=	7.000							建築面積計算式 <table><tr><td>①+②+A+B+C</td><td>=</td><td>124.445</td></tr></table>				①+②+A+B+C	=	124.445
①	14.000	×	7.000	=	98.000																																																			
②	2.200	×	5.200	=	11.440																																																			
③	7.900	×	0.500	=	3.950																																																			
A	13.010	×	0.500	=	6.505																																																			
B	15.000	×	0.100	=	1.500																																																			
C	7.000	×	1.000	=	7.000																																																			
①+②+A+B+C	=	124.445																																																						
				床面積計算式 <table><tr><td>1階</td><td>①+②</td><td>=</td><td>109.440</td></tr><tr><td>2階</td><td>①+②</td><td>=</td><td>109.440</td></tr><tr><td>3階</td><td>①+②+③</td><td>=</td><td>113.390</td></tr><tr><td colspan="4"></td></tr><tr><td>合計</td><td></td><td></td><td>332.270</td></tr></table>				1階	①+②	=	109.440	2階	①+②	=	109.440	3階	①+②+③	=	113.390					合計			332.270																													
1階	①+②	=	109.440																																																					
2階	①+②	=	109.440																																																					
3階	①+②+③	=	113.390																																																					
合計			332.270																																																					
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社			構造設計-一般建築士 第 号	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事	区 分 建築 (A)																																															
			〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214			建築設計-一般建築士 第 号		図面名称 訓練棟 C 仕上表・面積算定表	縮 尺 No scale	図面番号 A-301																																														
			一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行				変更年月																																																	



2階平面図 1:100

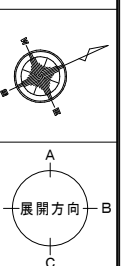
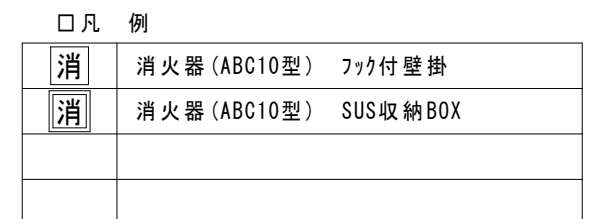


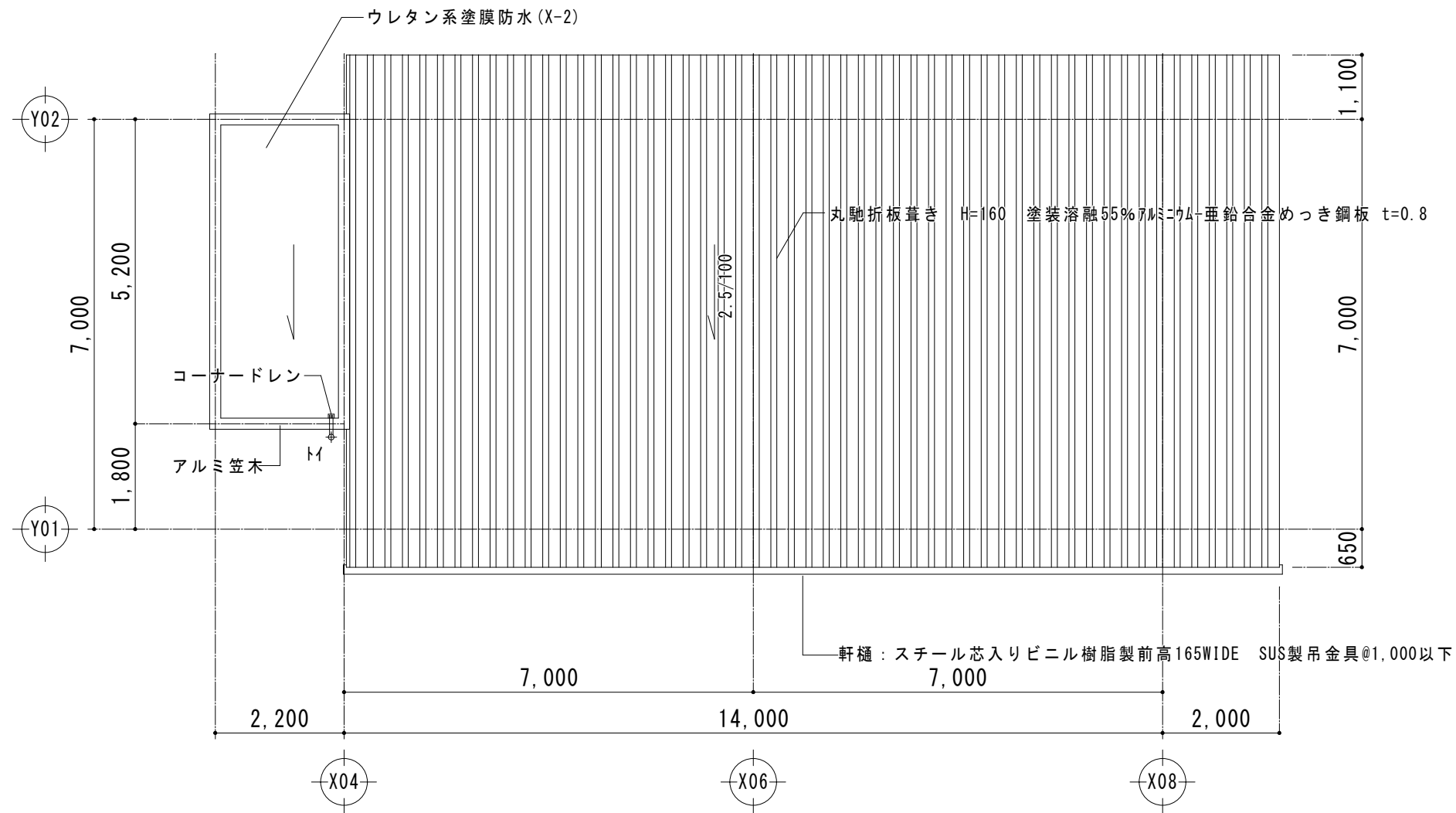
採光補正係数
A: 10.0/9.3x8-1=7.6→3.0

1階平面図 1:100

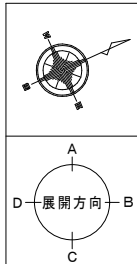
□凡 例	
消	消火器(ABC10型) フック付壁掛
消	消火器(ABC10型) SUS収納BOX
L	L型コーナガード(樹脂製)35x35x2000

訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市 御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級 建 築 士 第293830号 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
					図面名称 訓練棟 C 1・2階平面図	縮 尺 1:100	図面番号 A-302				
				設備設計一級建築士 第 号	作図 変更年月						

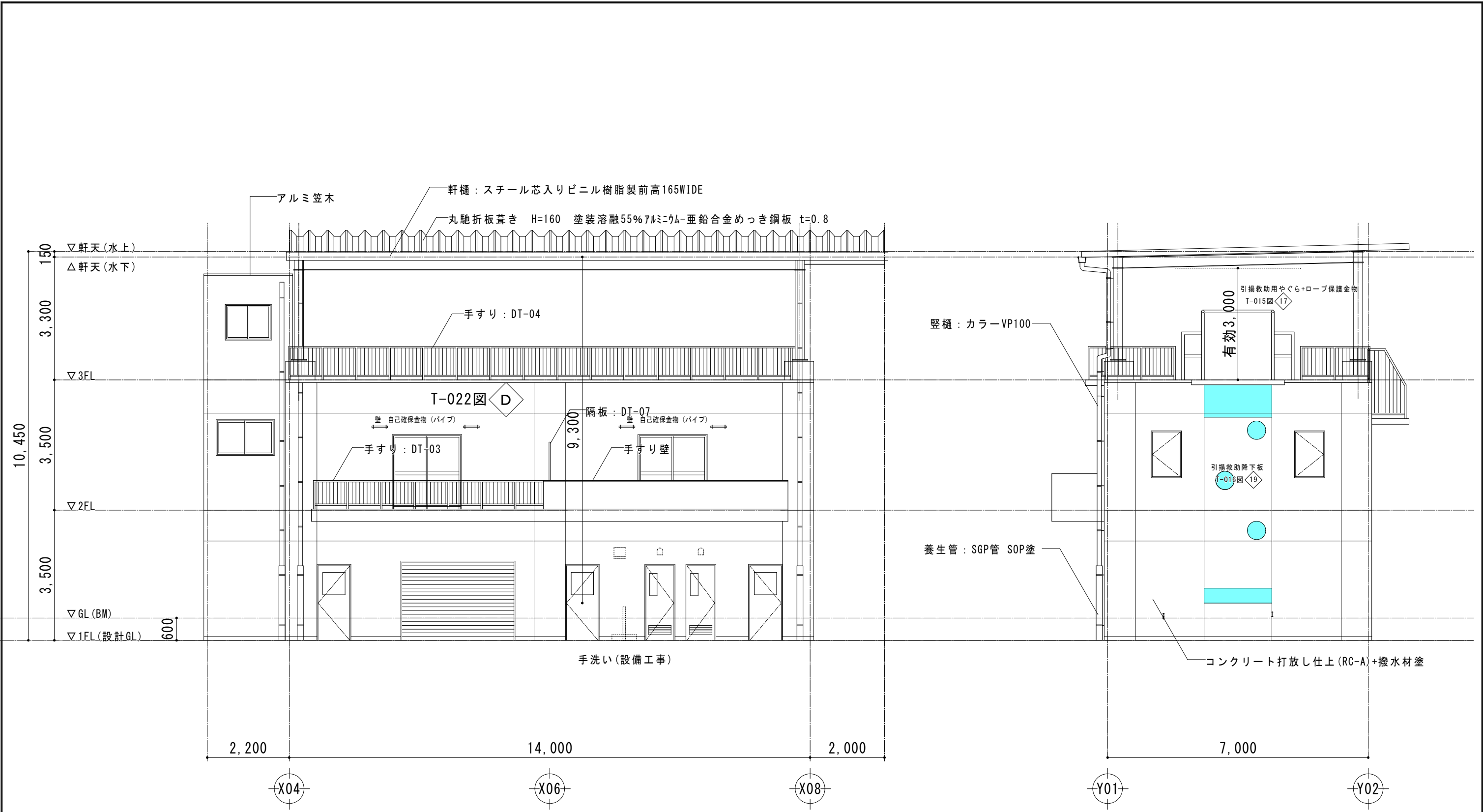




屋根伏図 1:100



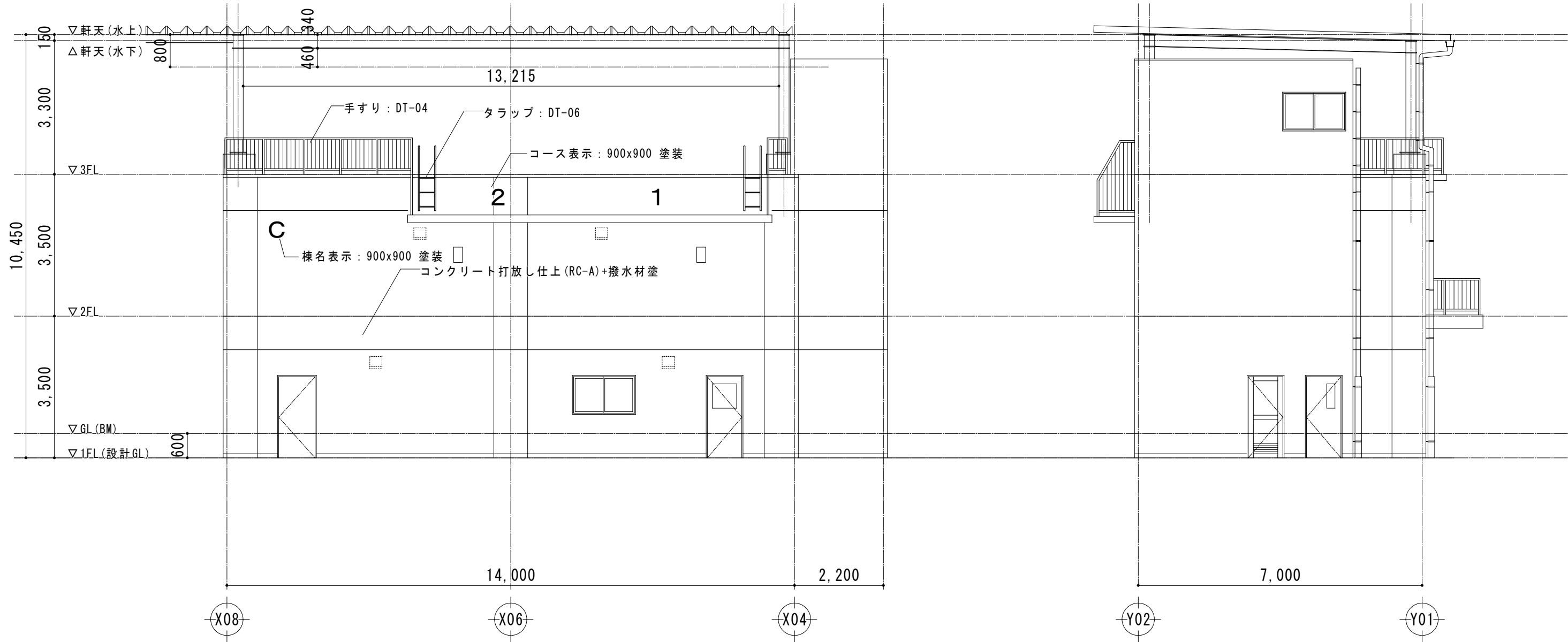
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市 御門町 一丁目12番15号 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 TEL 084-922-3213 一級 建 築 士 甲斐 宣行 FAX 084-922-3214 第 293830号	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
				監修設計一級建築士 第 号		作図	変更年月		図面名称 訓練棟 C 屋根伏図	縮 尺 1:100	図面番号 A-304



東 立 面 図 1:100

北 立 面 図 1:100

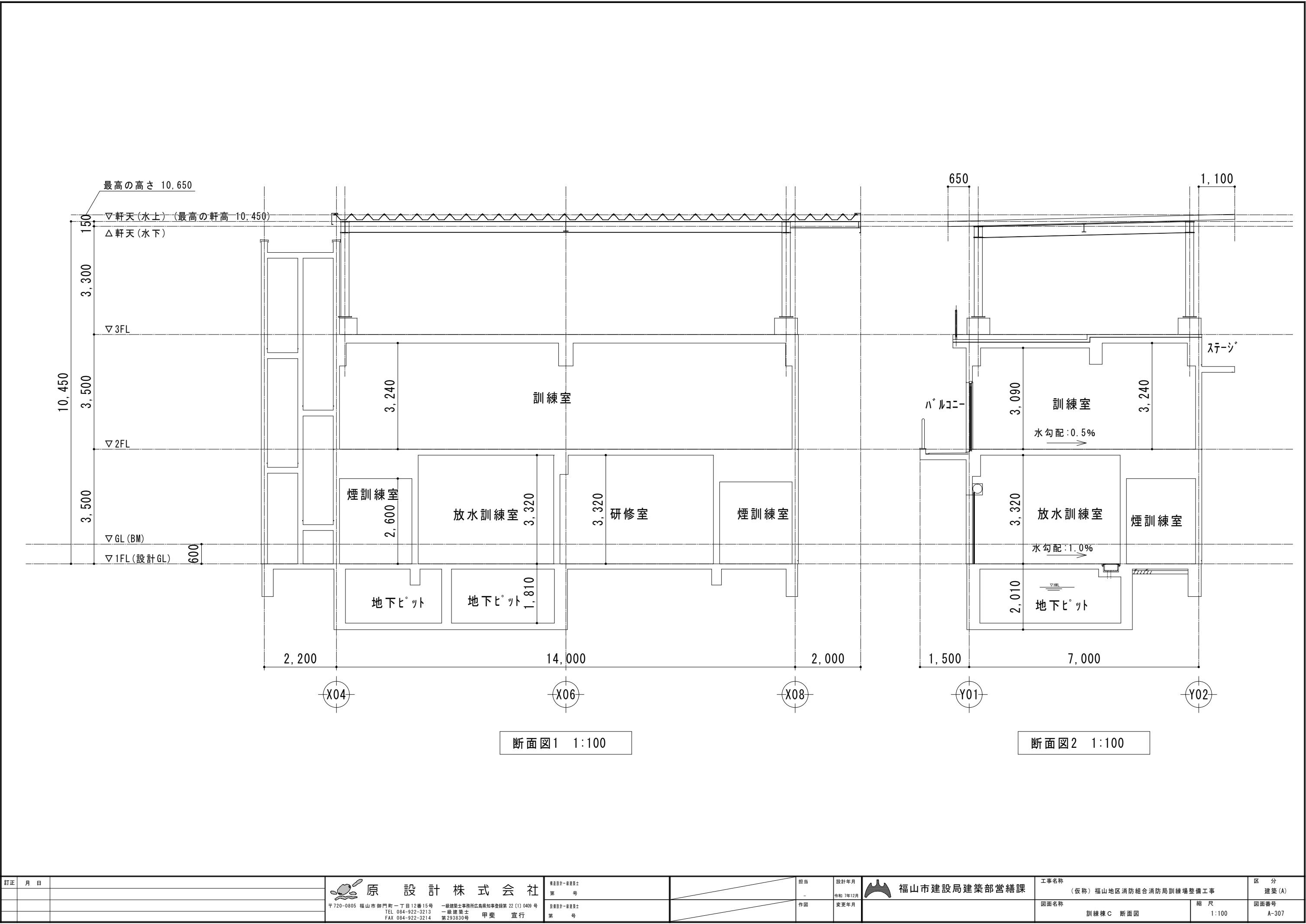
訂正	月	日	原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当	設計年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築(A)
				-		令和7年12月					
				設備設計一級建築士 第 号		作図	変更年月				
								図面名称	訓練棟C 立面図1	縮 尺 1:100	図面番号 A-305



西 立面図 1:100

南 立面図 1:100

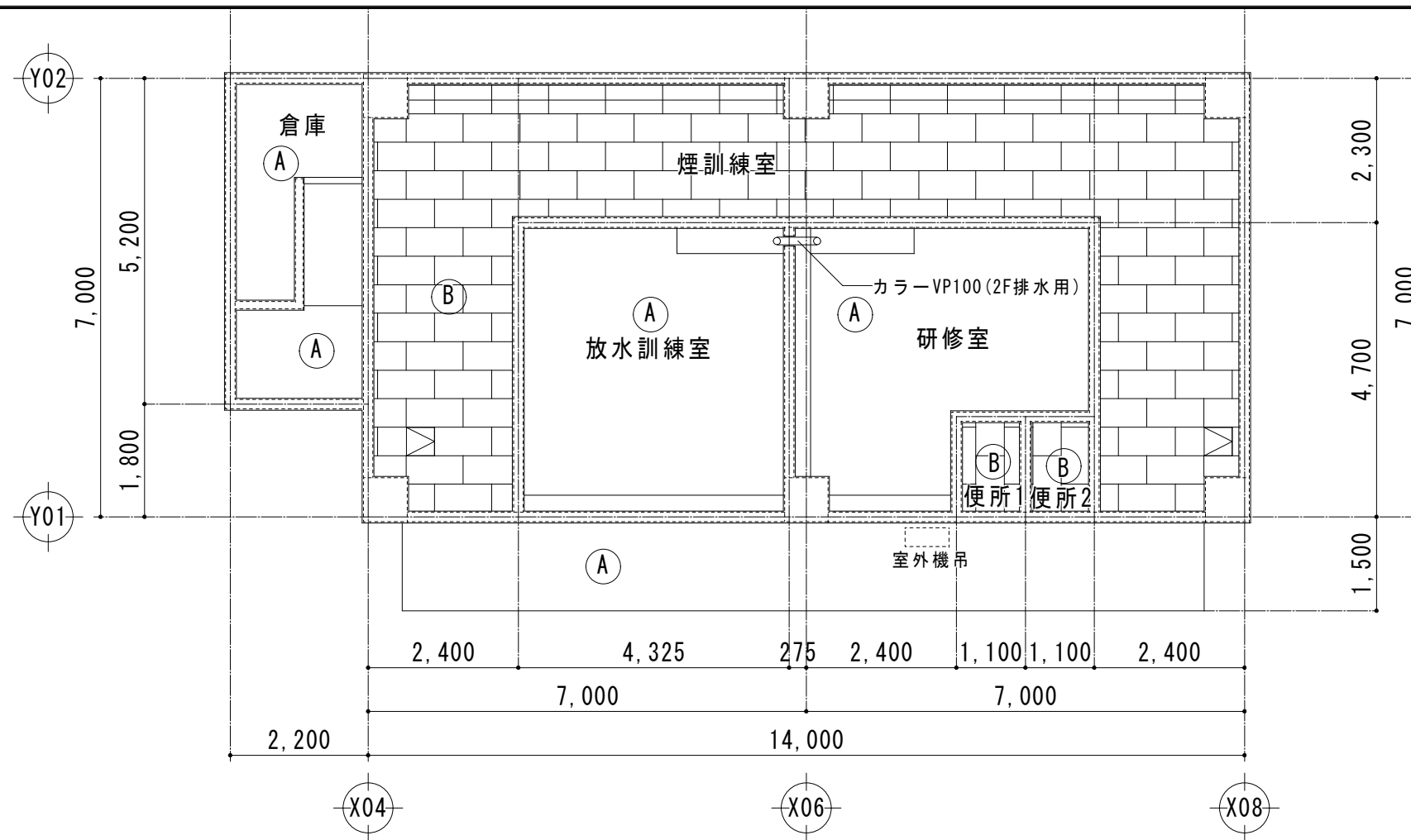
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市 御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所所長 甲斐 宣行 一級建築士 第293830号	構造設計-一級建築士 第 号		担当	設計年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称		区 分
				-	令和 7年12月	(仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事			建築 (A)		
				設備設計-一級建築士 第 号	作図	変更年月	図面名称		縮 尺	図面番号	
							訓練棟 C 立面図2		1:100	A-306	



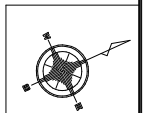
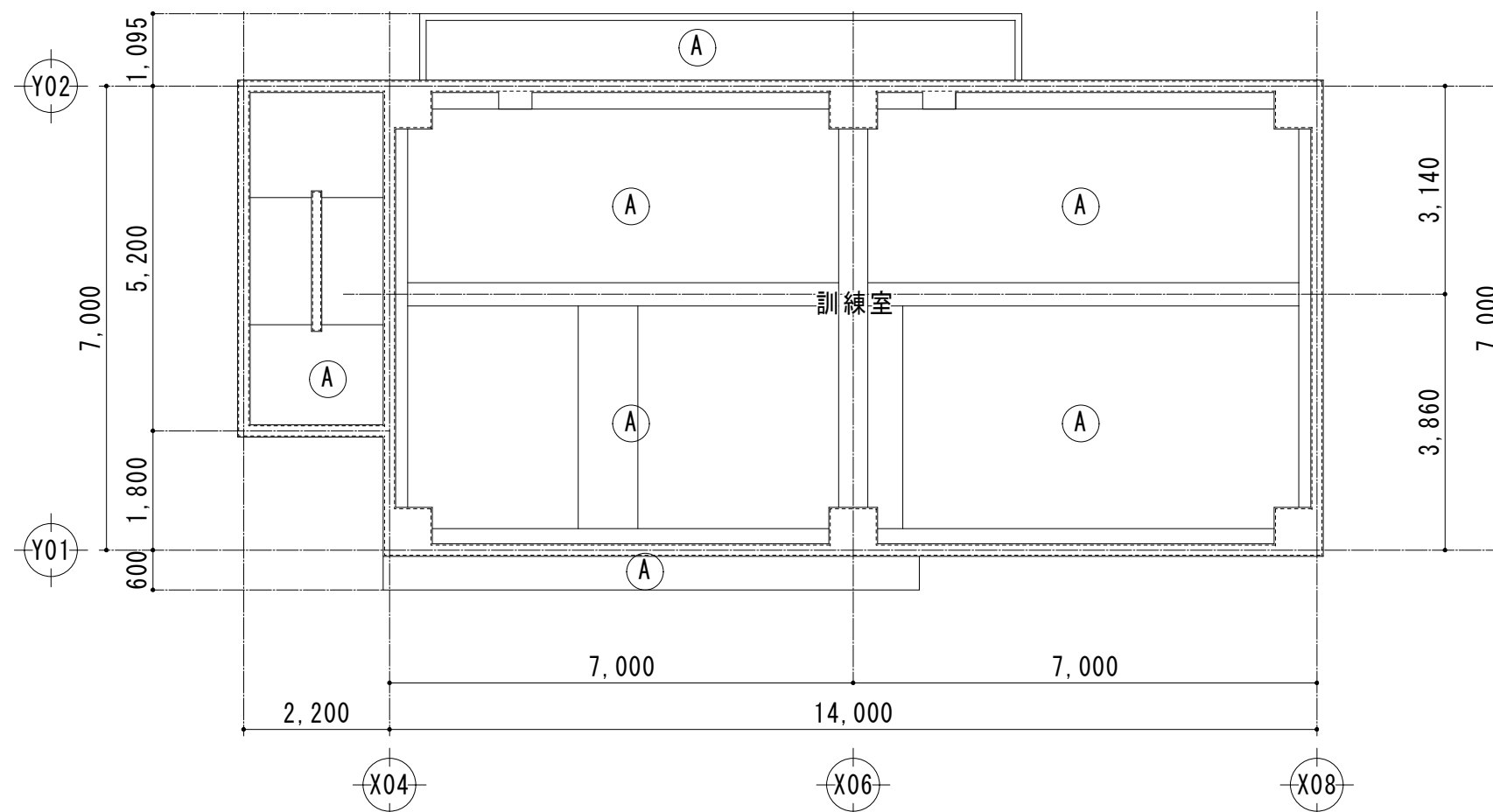
断面図1 1:100

断面図2 1:100

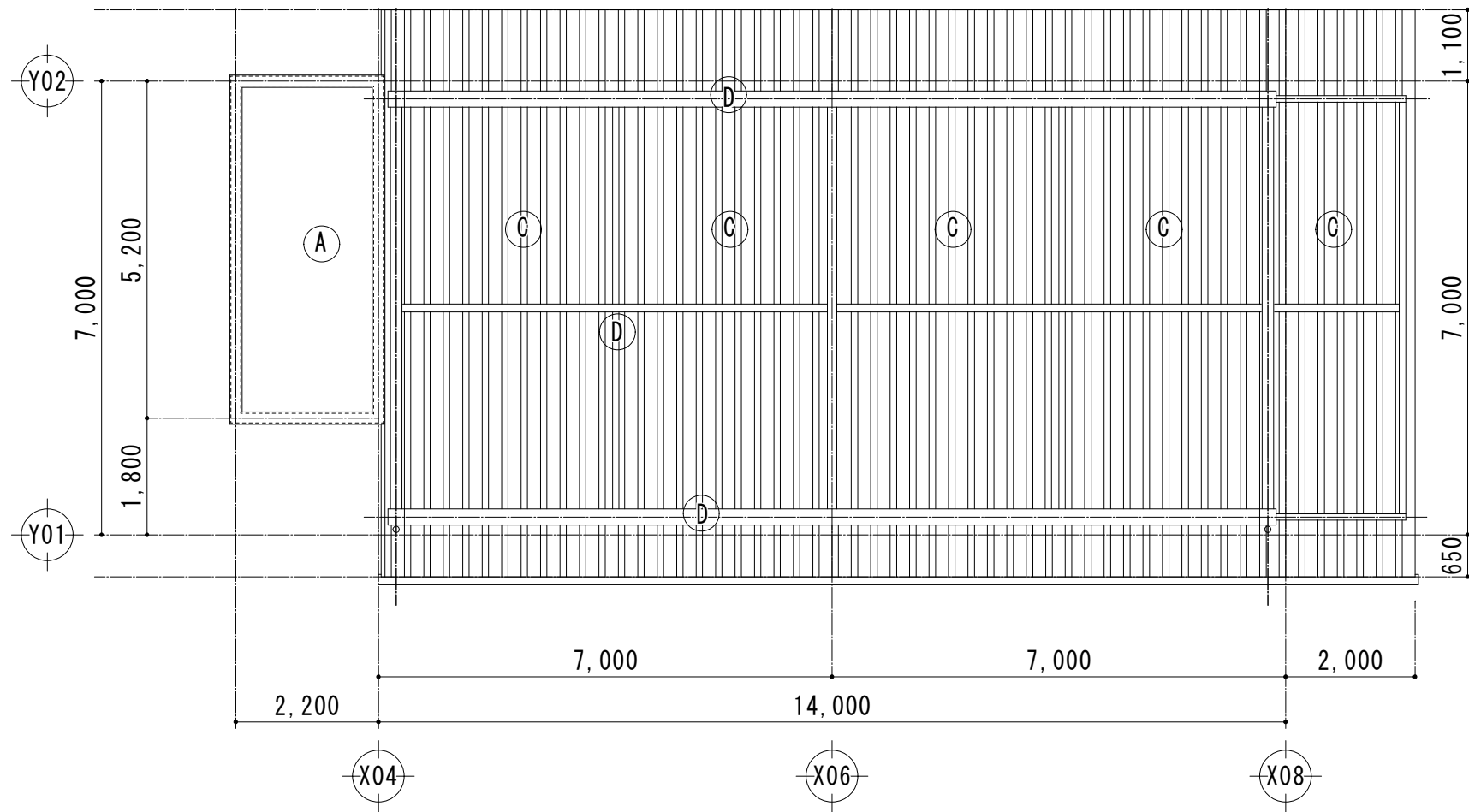
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行 第 293830 号	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
				設備設計一級建築士 第 号		作図	変更年月		図面名称 訓練棟 C 断面図	縮 尺 1:100	図面番号 A-307



□ 凡 例	
Ⓐ	コンクリート打放し仕上
Ⓑ	LGS下地、化粧PB t=9.5
Ⓒ	折板表し
Ⓓ	鉄部垂鉛めっき
⊠	天井点検口 (450角)

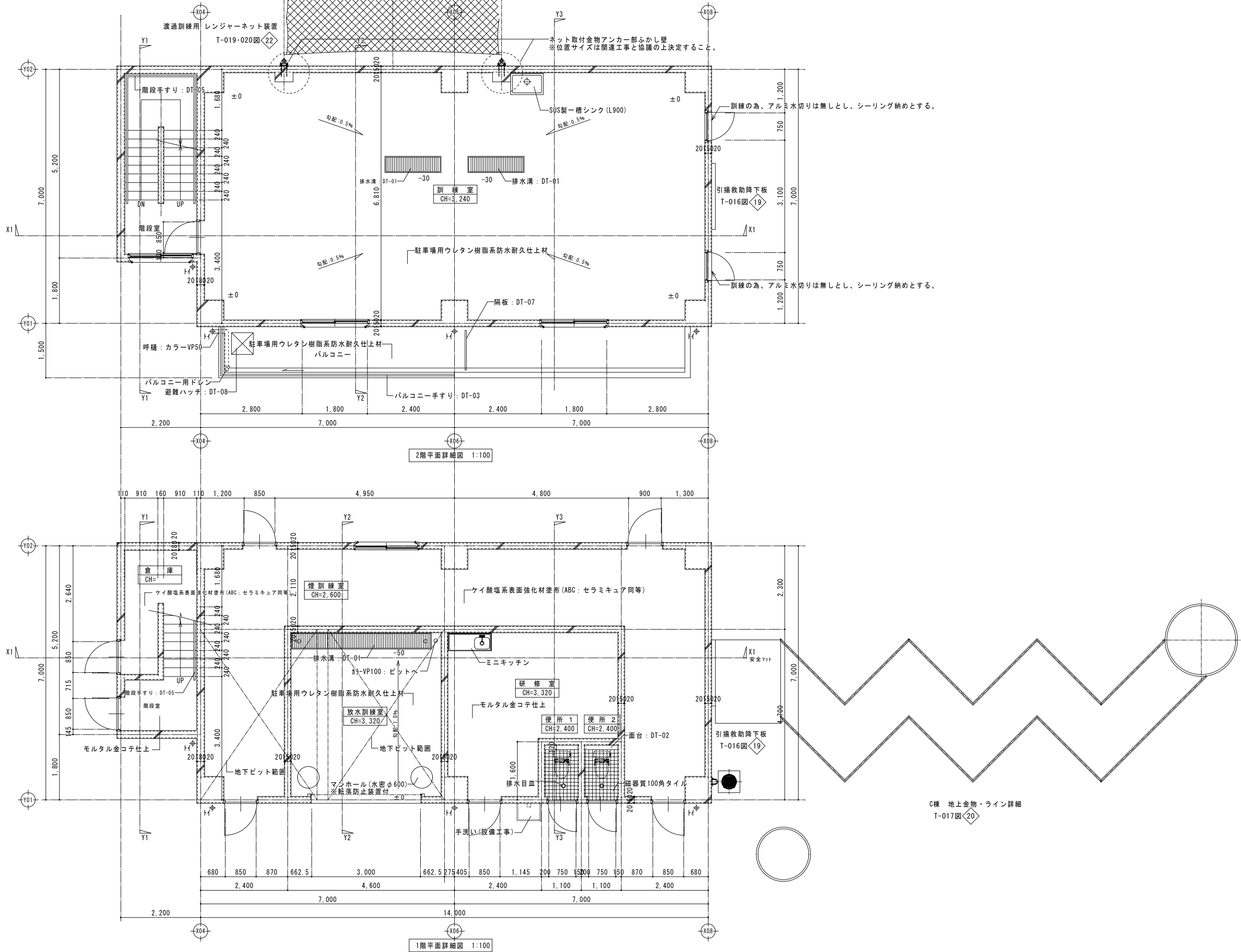


訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市 御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
				設備設計一級建築士 第 号		作図 変更年月			図面名称 訓練棟 C 1・2階天井伏図	縮 尺 1:100	図面番号 A-308

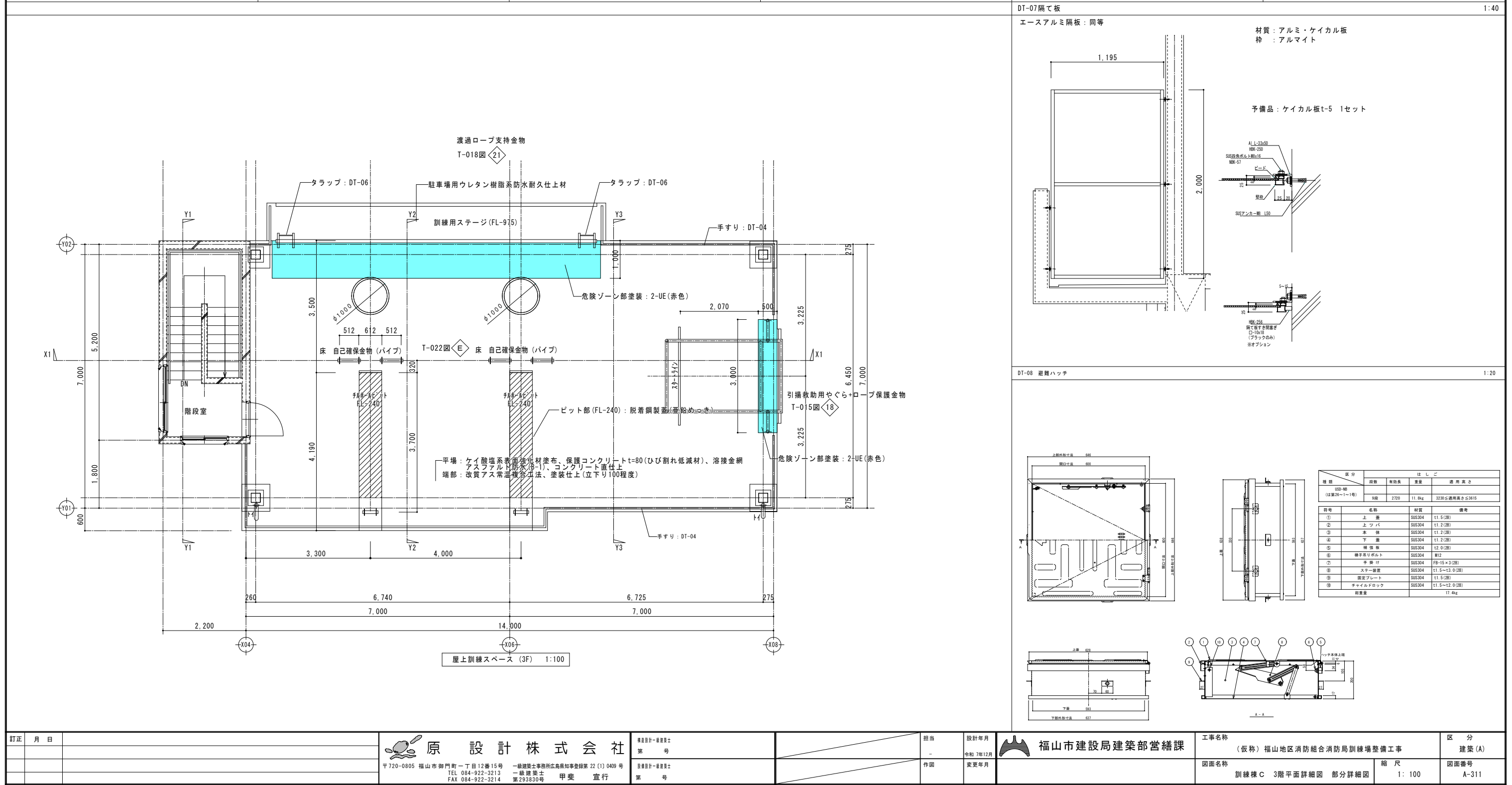


3階天井伏図 1:100

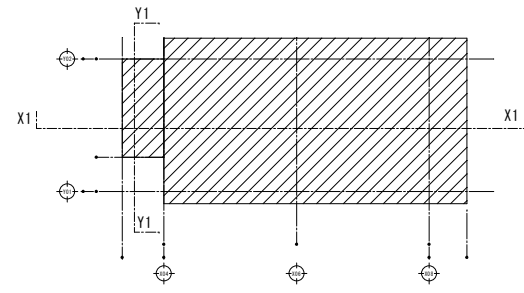
□ 凡 例	
Ⓐ	コンクリート打放し仕上
Ⓑ	LGS下地、化粧PB t=9.5
Ⓒ	折板表し
Ⓓ	鉄部亜鉛めっき
⊠	天井点検口 (450角)



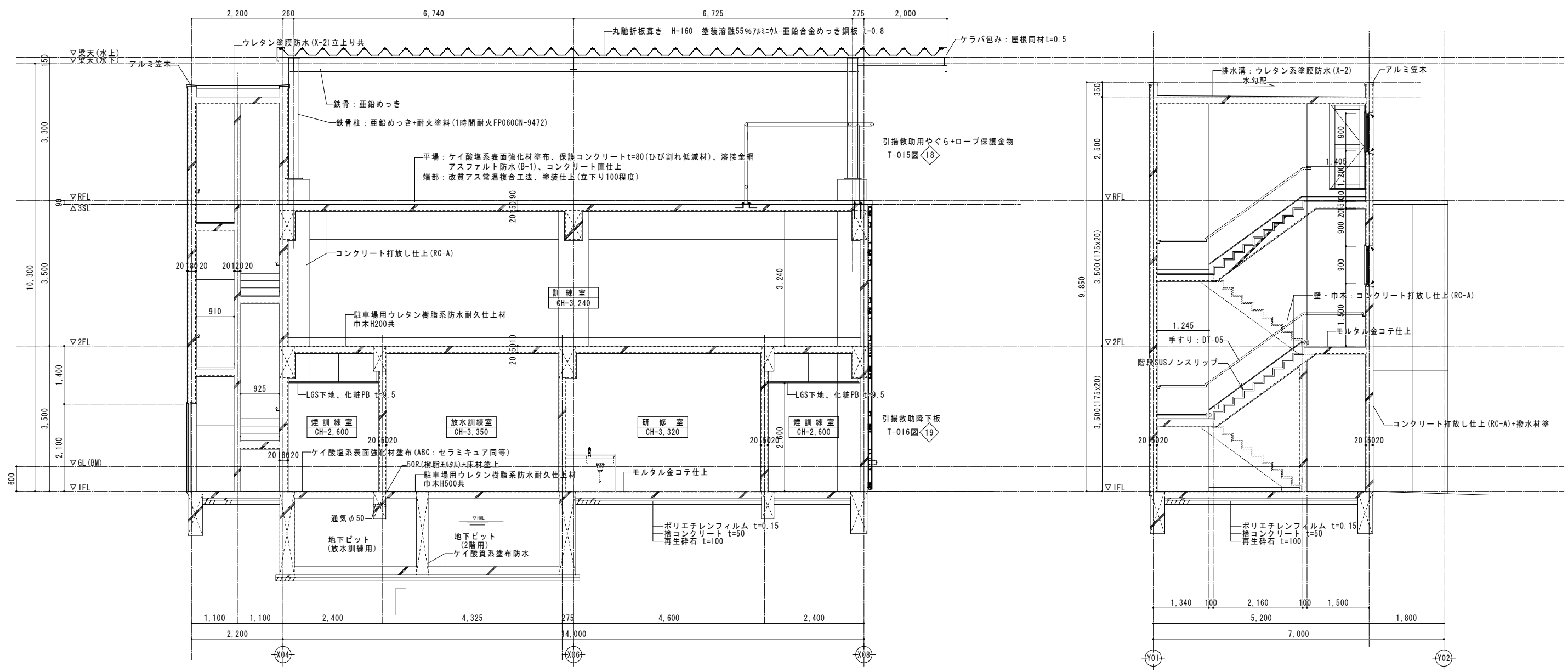
訂正	月 日	 原 設 計 株 式 有 限 公 司 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一級建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 TEL 084-922-3213 一級建築士 FAX 084-922-3214 第293830号 甲斐 宣行	構造設計 - 構造士 第 号		担当	設計年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称		区 分
				-	令和 7 年 12 月	(仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		建築 (A)		
				図面名称	縮 尺	図面番号				
			図面設計 - 構造士 第 号		作図	変更年月		訓練棟 C 1・2階平面詳細図	1: 100	A-310



訂正	月	日	原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市 御門町一丁目12番15号 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 TEL 084-922-3213 一級建築士 FAX 084-922-3214 第293830号 甲斐 宣行	構造設計-建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事	区 分 建築 (A)
				設備設計-建築士 第 号		作図 変更年月	図面名称 訓練棟 C 3階平面詳細図 部分詳細図		縮 尺 1: 100	図面番号 A-311



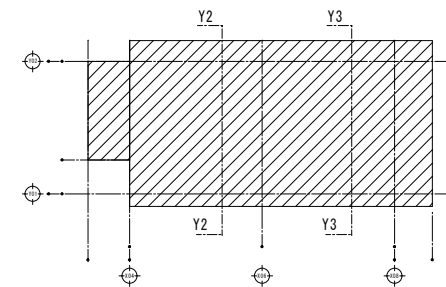
キープラン



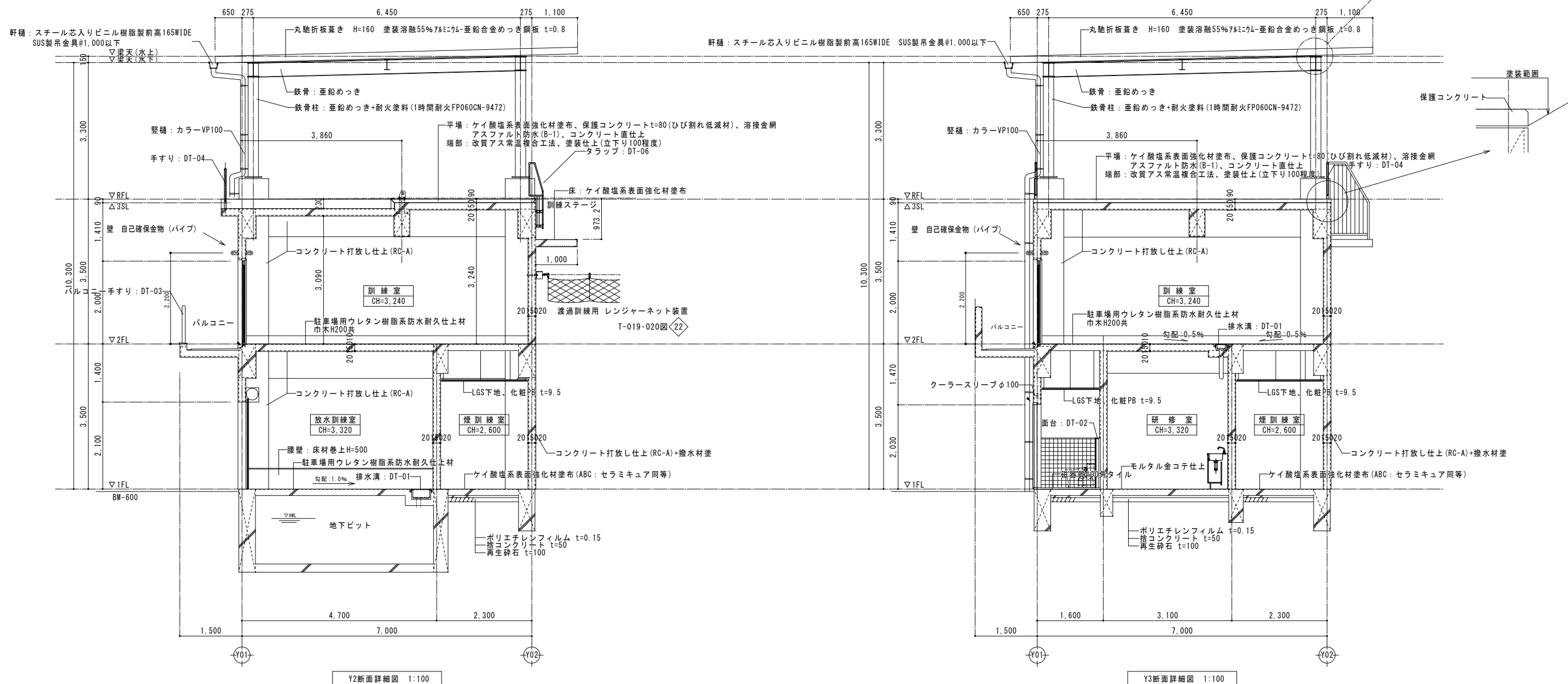
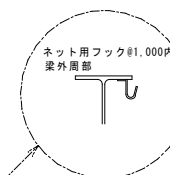
X1断面詳細図 1:100

Y1断面詳細図 1:100

訂正	月	日	 原 設 計 株 式 有 限 公 司 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一般建築士事務所所長島根知事登録第22(1)0409号 一級建築士 甲斐 宣行 第293830号	構造設計-一般建築士 第 号		担当	設計年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
				-		令和 7年12月					
									設備設計-一般建築士 第 号	作図	変更年月
								訓練棟 C 断面詳細図1	1: 100	A-312	

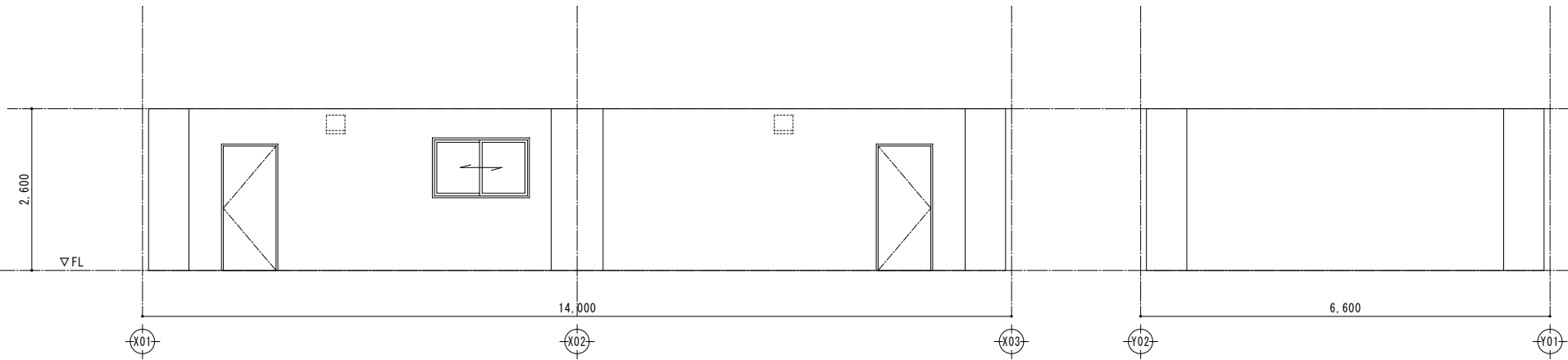


キープラン



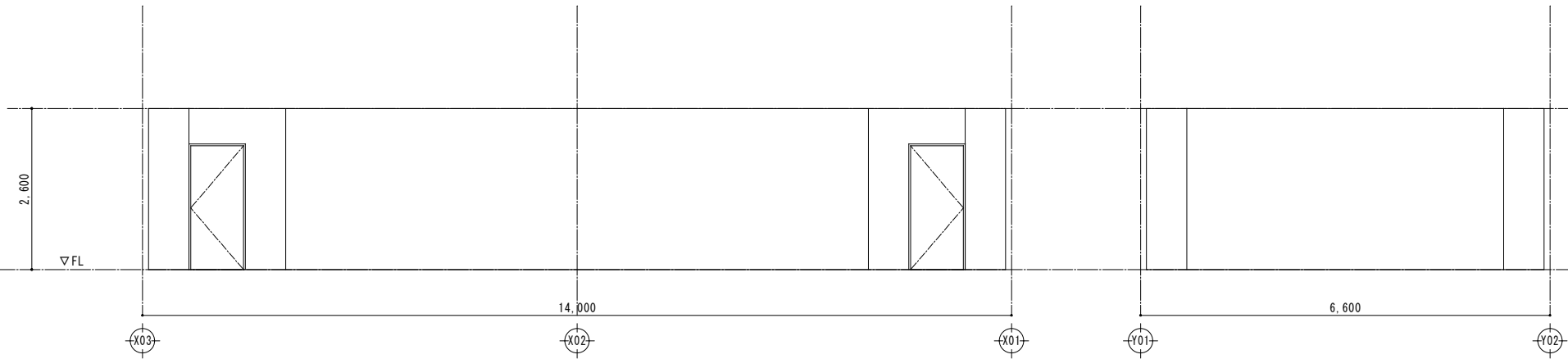
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一級建築士事務所所広島周知事登録第22(1)0409号 TEL 084-922-3213 一級建築士 FAX 084-922-3214 第293830号 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
				設備設計一級建築士 第 号		作図	変更年月		図面名称 訓練棟C 断面詳細図2	縮 尺 1: 100	図面番号 A-313

煙訓練室



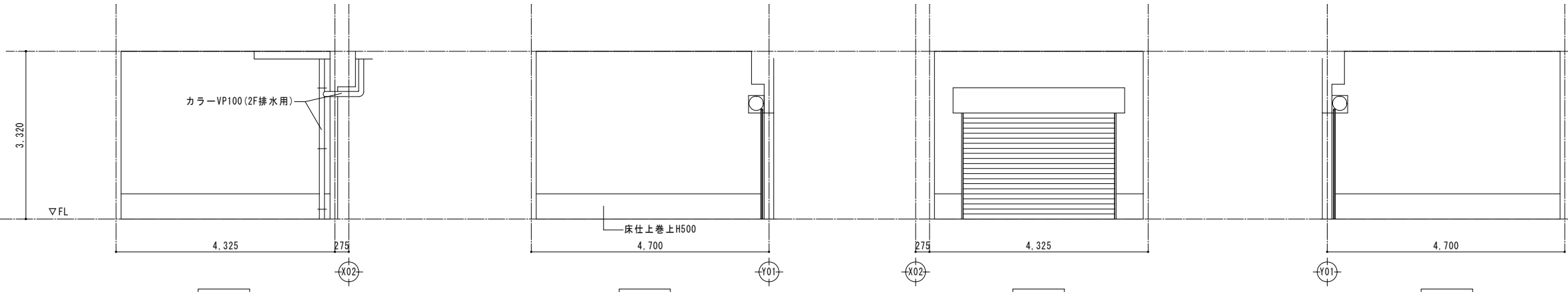
B 面

1F 檢索訓練室

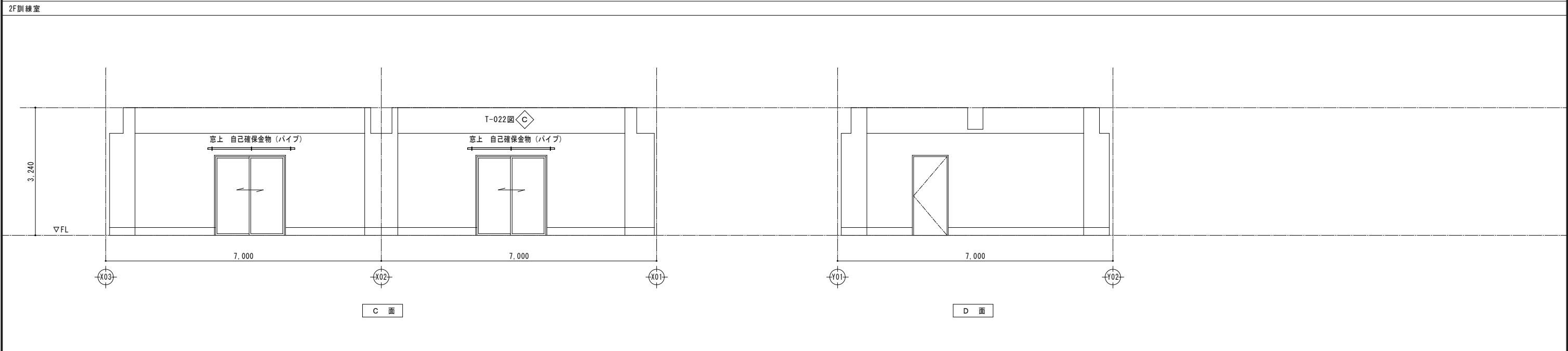
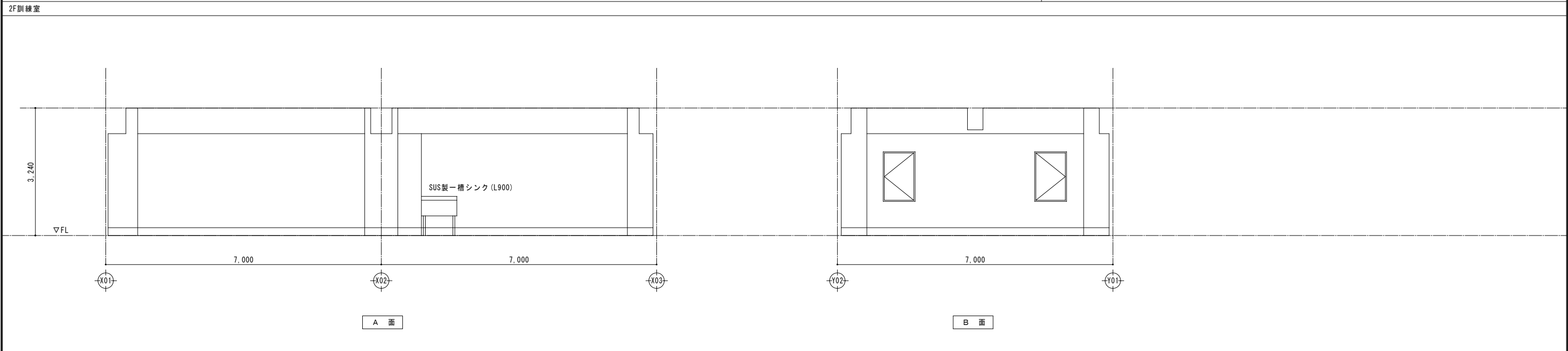
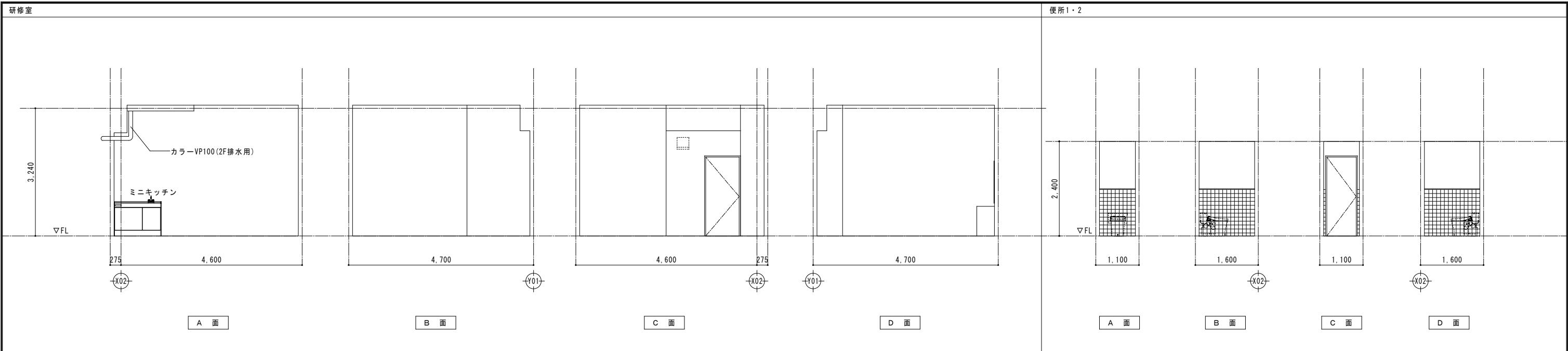


D 面

放水訓練室



訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
				設備設計一級建築士 第 号		作図 変更年月			図面名称 訓練棟 C 展開図1	縮 尺 1:100	図面番号 A-314



訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行 第 293830号	構造設計 - 一般建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
				図面設計 - 一般建築士 第 号	作図	変更年月	図面名称 訓練棟 C 展開図2		縮 尺 1:100	図面番号 A-315	

記 号 ・ 数 量	① AD	× 02	② AD	× 02	③ AD	× 01			
形 状									
場 所	訓練室(2F)		便所1・2		倉庫				
形 式	引違い窓		片開きフラッシュ戸		片開き戸				
見 込	70		70		70				
扉仕上	アルミシルバー		アルミシルバー		アルミシルバー				
硝 子	FWG6.8		FWG6.8		FWG6.8				
金 物	アルミ額縁 クレセントH-1500		アルミ額縁 DC		アルミ額縁 DC				
備 考	付属金物一式		付属金物一式 室名札共(カッティングシート)		付属金物一式				

記 号 ・ 数 量	① AW	× 01	② AW	× 02	②A AW	× 01	③ AW	× 02	①A SD	× 02	①B SD	× 01	② SD	× 03	③ SD	× 01
形 状																
場 所	階段室		階段室 煙訓練室(1F)		訓練室(2F)		階段室		階段室		煙訓練室		煙訓練室		煙訓練室	
形 式	引違い窓		引違い窓		引違い窓		片開き戸		片開き戸		片開き戸		片開き戸		片開き戸	
見 込	70		70		70		屏：40 枠：		屏：40 枠：		屏：40 枠：		屏：40 枠：		屏：40 枠：	
扉仕上	アルミシルバー		アルミシルバー		アルミシルバー		アルミシルバー		鋼板t=1.6 DP塗		鋼製 DP塗		鋼板t=1.6 DP塗		鋼製 DP塗	
硝 子	FWG6.8		FWG6.8		FWG6.8		ポリカーボネート板 t=4		FWG6.8		FWG6.8		FWG6.8		FWG6.8	
金 物	アルミ額縁 アルミ水切		アルミ額縁 アルミ水切		アルミ額縁		戸当り(床付) DC(ストップ付) シリンダー錠 SUS沓摺り		戸当り(床付) DC(ストップ付) シリンダー錠 SUS沓摺り		戸当り(床付) DC(ストップ付) シリンダー錠 SUS沓摺り		戸当り(床付) DC(ストップ付) シリンダー錠 SUS沓摺り		戸当り(床付) DC(ストップ付) シリンダー錠 SUS沓摺り	
備 考	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		レバーハンドル 付属金物一式		レバーハンドル 付属金物一式		水圧開放装置 レバーハンドル 付属金物一式		レバーハンドル 付属金物一式		レバーハンドル 付属金物一式	

記 号 ・ 数 量	④ SD	× 01			① SS	× 01						
形 状												
場 所	研修室				放水訓練室							
形 式	片開き戸				軽量バランスシャッター							
見 込	屏：40 枠：				-							
扉仕上	鋼板t=1.6 DP塗		鋼製 DP塗		化粧鋼板t=0.5		化粧鋼板t=0.5					
硝 子	FWG6.8				水圧開放装置(手動シャッター用)		-					
金 物	戸当り(床付) DC(ストップ付) シリンダー錠 SUS沓摺り				-							
備 考	レバーハンドル 付属金物一式				付属金物一式							
備 考	ドアガード 室名札共(カッティングシート)											

■材料凡例

SS：鋼製シャッター
OS：オーバースライダー
SD：鋼製ガラリ
SG：鋼製ガラリ
STD：ステンレス製扉
STW：ステンレス製窓
LSD：軽量鋼製扉
LSW：軽量鋼製窓
AD：アルミ製扉
ADW：アルミ製扉窓付
AG：アルミ製ガラリ
WD：木製扉
AW：アルミ製窓
AG：アルミ製ガラリ
TB：トイレブース
GB：ガラスブロック
F：ふすま
DC：ドアチェック(ストップ付)
電：電気錠

FL：フロートガラス
FG：型板ガラス
FWG：網入磨き板ガラス
HAG：網入型板ガラス
HAPWG：熱線吸収網入り板ガラス
TG：強化ガラス
FTG：型板強化ガラス

■法規制略号

☒ 一般建具
☒ 防火設備
☒ 特定防火設備

アルミ製建具の防火設備認定番号：EB-9101～9108

■共通事項

【シーリング】
・建具廻り：MS-2(変成シリコン系)
・ガラス突付：SR-1(シリコン系)

【鋼製防錆処理】
・鉛丹カルシウムペイント 2回塗

【一般共通事項】
・サッシのトロ詰めモルタルは、無塩砂を使用する。
・建具類の補強金物は、施工図により決定する。
・引手等の形状は図面による他、承認図にて決定する。
・乾摺りはステンレス製とする。
・建具金物は原則としステンレス製とする。
・外部建具は全て結露受を設置する。
・ハンガードアは全て指詰防止付とする。
・レバーハンドル、握玉等の高さはFL+900程度とする。
・衝突防止シールはSUS製30φA7仕上@300両面H=1300とする。
・アルミパネルはt=3.0以上とする
・網戸はガラス繊維入とする。
・クレセント位置はFL+1,500以内とする。
・接煙ハレター位置はFL+1,500以内とする。
・木製引戸は指詰防止ゴム付とする
・アルミサッシ色はメーカー標準色とする。
・鋼製建具枠、建具高2,400、有効開口幅950を超えるものは板厚2.3mmとする。

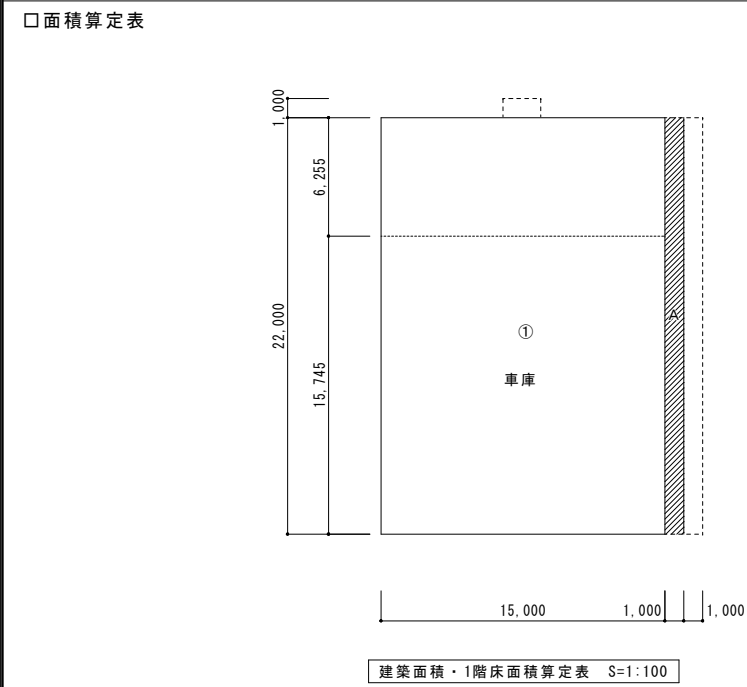
沓摺の形状			
外部建具		内部建具	
引戸建具			
枠の形状			

訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一般建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行	専任設計一般建築士 第 号	 福山市建設局建築部営繕課	担当	設計年月	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事 図面名称 訓練棟C 建具表 縮 尺 1: 100 図面番号 A-316	区 分 建築(A)
				-		令和7年12月			
				作図		変更年月			
				第 号					

□外部 仕上表					
屋根	折板葺き 塗装ガルバリウム鋼板t=0.8 山高166 山ピッチ500 ハゼタイプ ガラス繊維マットt=5裏貼 - -	樋	樋：カラーVP100 SUS製支持金物 @1200内外 足元カバー 軒樋：スチール芯入りビニル樹脂製前高165WIDE SUS製吊金具@1,000以下 -	消防訓練設備	・ ・ ・ ・ ・ ・
庇	車庫：アルミ庇(アルフィンAD-R同等)樋付、逆勾配仕様 倉庫前：アルミ庇(アルフィンAD-1同等) -	鉄部	鉄骨：SOP塗 - -		
外壁	金属サイディング縦張 塗装溶融55%7&ミニ&ム-亜鉛合金めっき鋼板 t=0.5 H=20 室内側素地仕上 -	その他	散水栓(2か所) - -		・ ・ ・ ・
巾木 (H=1,000)	コンクリート打放し仕上+撥水材塗 - -				
□建物概要 主要用途：車庫 消防法：13項イ 工事種別：新築 構造種別：鉄骨造平家建 準耐火建築物（ロ-2） その他：		用途地域：準工業地域 防火地域：指定無し その他地域：法22条区域、宅地造成規制区域、下水処理区域、景観計画区域 浸水想定区域、立地適正化区域、住居誘導区域	特記事項 ※建築材料等は、全てF☆☆☆☆を使用する。 ※建築設備の耐震設計は「建築設備耐震設計指針」に従い施工する。		

□ 内部 仕上表																						
特記無きは F.L. ±0																						
階	室 名	内装制限	床 高	天井高	床		幅 木	腰壁		壁		天 井			付 属 物						備 考	室 名
			スラブ高		下 地	仕 上	仕 上	下 地	仕 上	下 地	仕 上	下 地	仕 上	廻縁	天井 点検口	カーテン BOX	クローゼット BOX	スライド BOX	クローゼット レール	窓名札		
1	車庫	不燃	±0	-	RC直	鉱物骨材配合散布型床仕上材（防滑） （ABC：フェロコンハードS同等） 目地切@2500内外	-	-	C打放し仕上	胴縁 LGS100	外壁材表し 強化PB t=15+ケイカル板t=6 EP-G塗 間仕切（1時間耐火）FP060NP-Q241-1（1）	LGS	折板表し 鉄骨部：SOP塗								鋼製棚 -	
	倉庫	-	±0	-	RC直	鉱物骨材配合散布型床仕上材 （ABC：フェロコン同等） 目地切@2500内外	-	-	C打放し仕上	胴縁 LGS100	外壁材表し（スパンドレル部1時間耐火仕様） 強化PB t=15+ケイカル板t=6 EP-G塗 間仕切（1時間耐火）FP060NP-Q241-1（1）	LGS	折板表し 鉄骨部：SOP塗								鋼製棚 -	

仕上材符号一覧表										塗装符号一覧表										防火材料一覧表										※壁紙は全て不燃とし工事完了時に報告する。									
床・壁・天井	RC直	コンクリート直均し(金こて)	LGS	軽量鉄骨下地				SOP	合成樹脂調合ペイント塗	WP	キリデコ-22回塗 同等品以上	不燃材料	繊維強化セメント板(ケイカル板)		NW-8578	調湿機能付けい酸カルシウム板t=6		NW-8579	化粧石膏ボード t=12.5mm(和風天井)		NW-0127																		
	RC-A	コンクリート打放しA種(化粧仕上)	VS	ビニル床シート	A防水	アスファルト防水	CL	クリヤラッカー塗	DP	耐候性塗料塗(3級)	タイフ2 t=5mm以上		耐水せっこうボードt=12.5mm		NW-0917	杉不燃羽目板t=15		NW-9639	可とう形外装薄付仕上塗材		NW-8572																		
	RC-B	コンクリート打放しB種(塗装仕上)	TC	タイルカーベツト	化粧ケイカル板(木目)	加飾化粧ケイカル板(木目調)	VE	塩化ビニル樹脂エナメル塗	NP	自然塗料塗	化粧ケイカル板 t=6		NW-8579	杉不燃胴縁、杉ルーバー不燃材		NW-1031	グラスウール保温板		NW-8606	化粧石膏ボード t=12.5mm(押入ボード)		NW-0128																	
	RC-C	コンクリート打放しのままC種	PB	せっこうボード			2-UE	2液形ポリウレタンエナメル塗			せっこうボード t=12.5、15mm		NW-8619	化粧せっこうボード t=9.5mm		NW-1864	塗料塗装/不燃材料(下地法定不燃材)		NW-8585	準		せっこうボード t=9.5mm	QM-9828																
	CB	コンクリートブロック	化粧PB	化粧せっこうボード			EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗			強化せっこうボードt=12.5mm以上		NW-8615	仕上塗装/不燃材料(下地法定不燃材)		NW-8572	壁紙(下地・法定不燃材料)		NW-****	不燃材料		化粧せっこうボード t=9.5mm	QM-9824																
	M	モルタル塗	耐水PB	耐水せっこうボード			UC	ウレタン樹脂ワニス塗			硬質せっこうボードt=9.5mm以上		NW-1908	フェノールフォーム保温板		NW-2829																							
	W	木製	強化PB	強化せっこうボード			OS	オイルステイン塗			RW吸音板		NW-8599																										
	ALC	ALCパネル	RW吸音板	ロックウール吸音板							メラミン樹脂化粧板t=3		NW-2183																										
	ECP	押出成形セメント板	ケイカル板	繊維強化セメント板(けい酸カルシウム板)タイプ2																																			

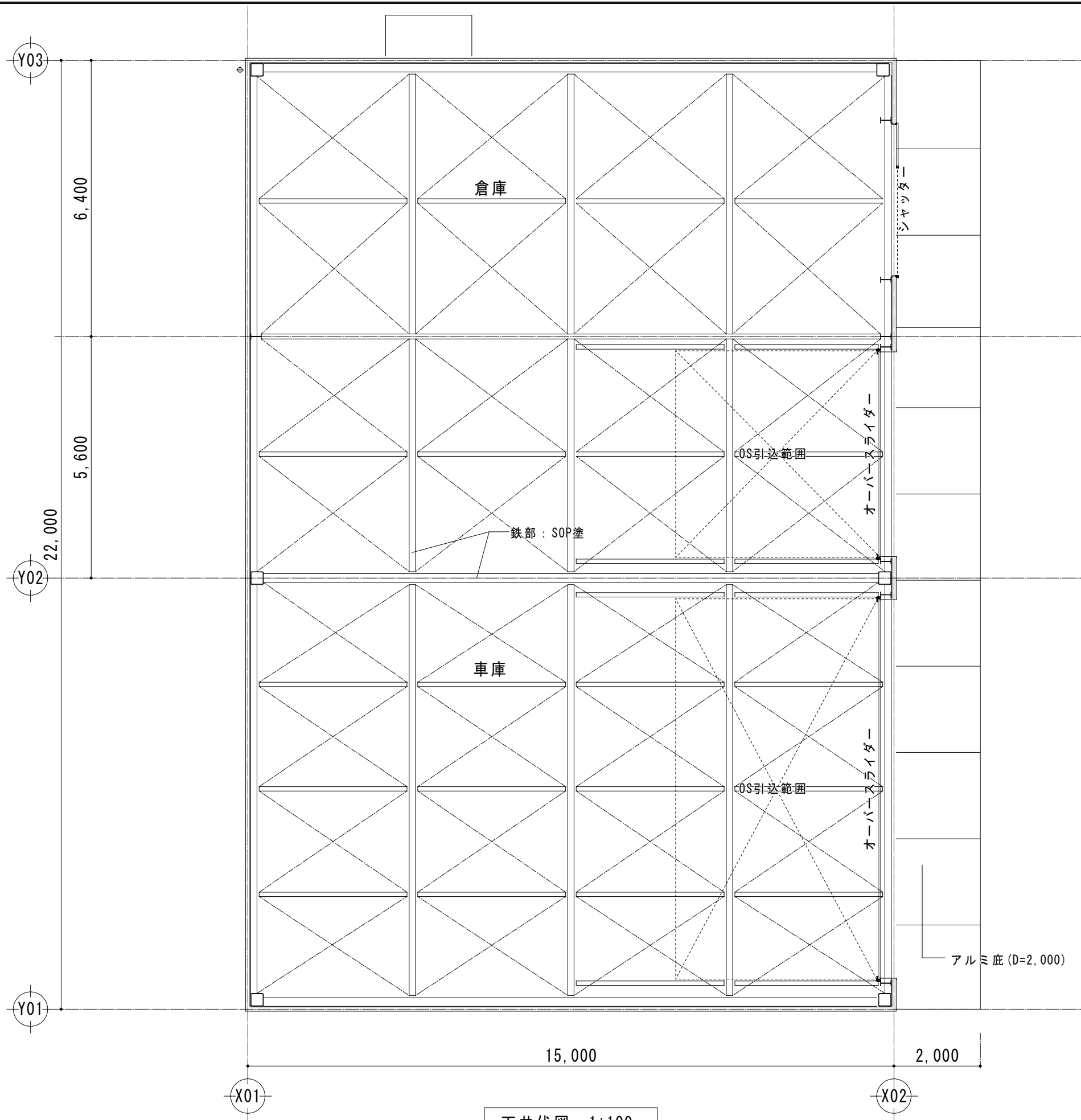


建築面積計算式				
①	15.000	×	22.000	= 330.000
A	1.000	×	22.000	= 22.000
計				352.000

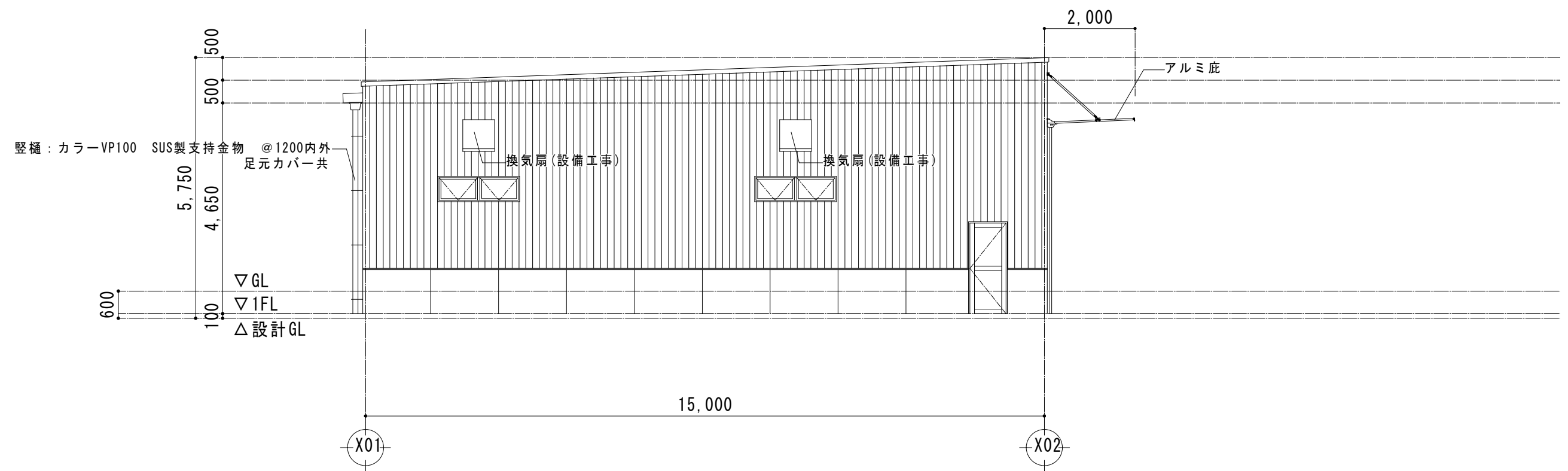
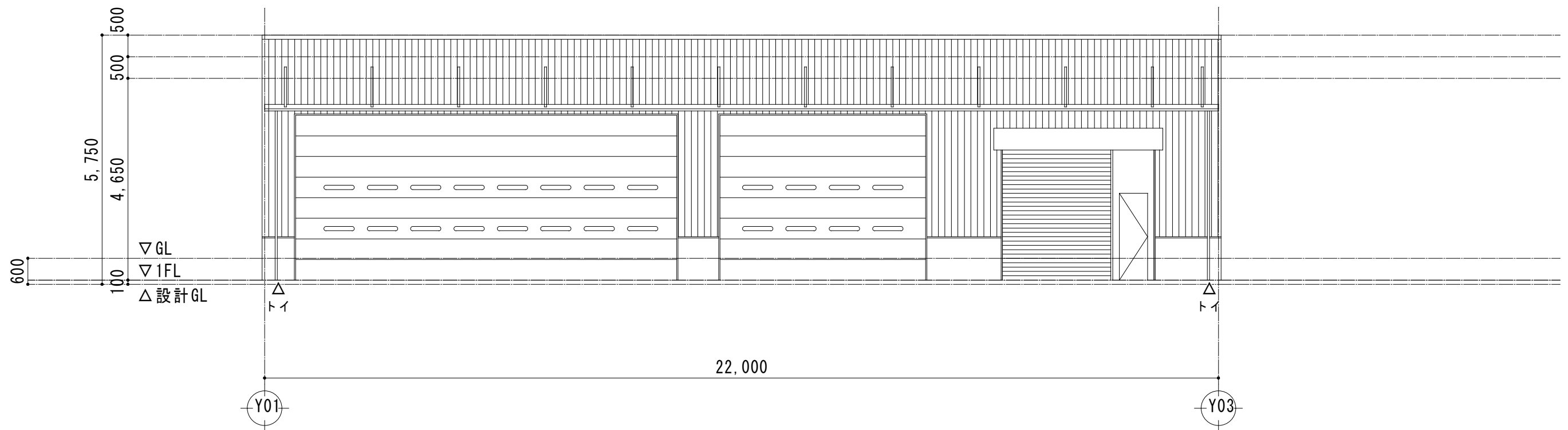
床面積計算式				
1階	15.000	×	22.000	= 330.000
計				330.000

車庫	15.000	×	15.745	= 236.175
計				236.175

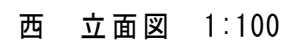
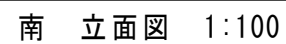
訂正	月	日	原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一般建築士事務所所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行 第293830号	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)	
				図面設計一級建築士 第 号		作図	変更年月			図面名称 車庫棟 仕上表・面積算定表	縮 尺 No scale	図面番号 A-401



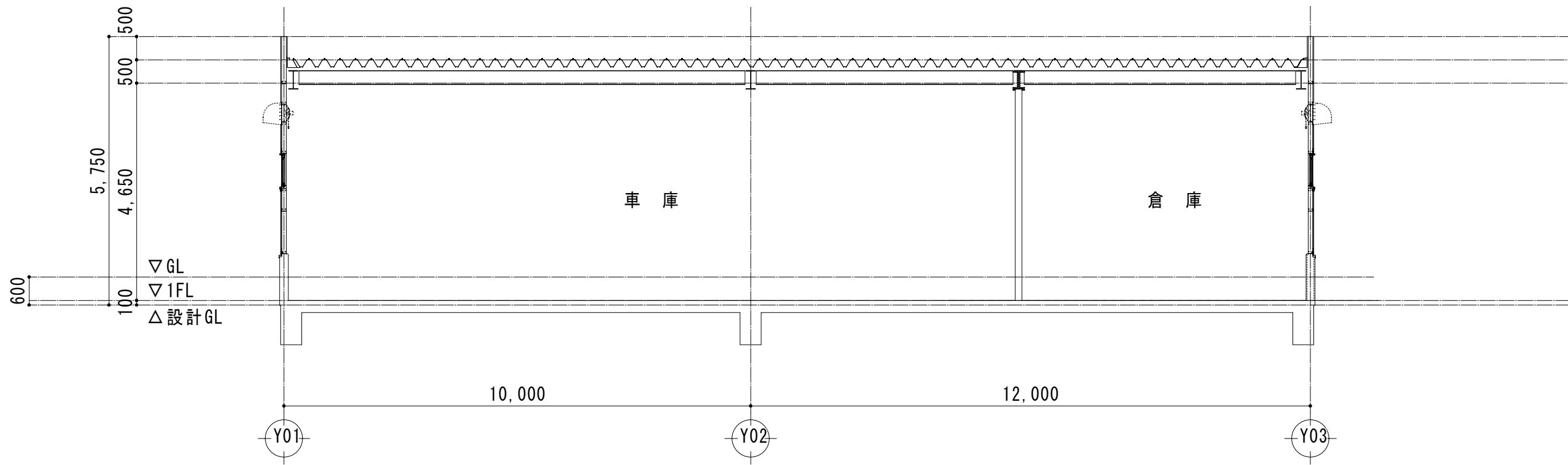
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 一級建築士 甲斐 宣行 第293830号	構造設計一級建築士 第 号		担当	設計年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称		区 分
	-	令和7年12月				(仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事			建築(A)		
	設備設計一級建築士 第 号	作図				変更年月	図面名称		縮 尺	図面番号	
車庫棟 天井伏図			1:100	A-404							



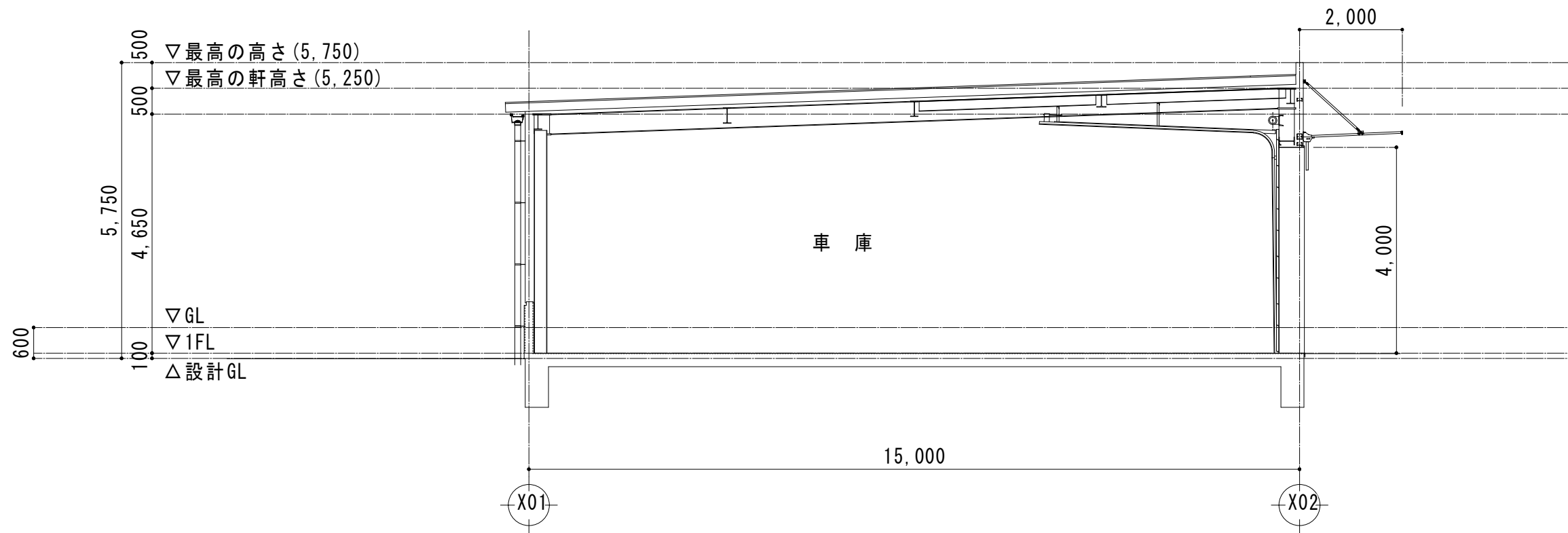
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市 御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第 293830 号 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
				図面設計一級建築士 第 号		作図	変更年月		図面名称 車庫棟 立面図1	縮 尺 1:100	図面番号 A-405



訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第22[1]0409号 一級建築士 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号	 福山市建設局建築部営繕課	設計年月 令和 7年12月	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事	区 分 建築 (A)
				担当 -		図面名称 車庫棟 立面図2	縮 尺 1:100	図面番号 A-406
				設備設計一級建築士 第 号		変更年月		

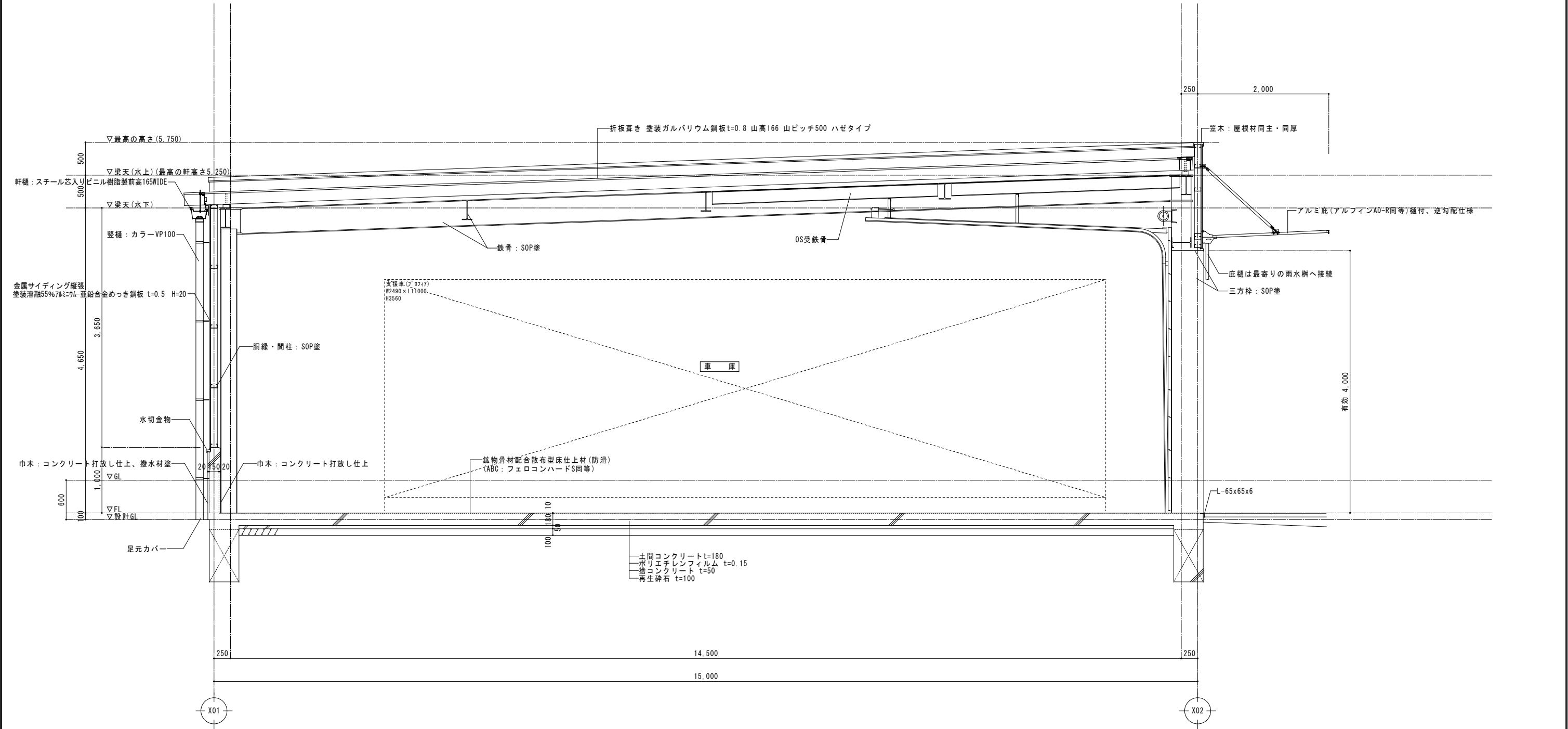


断面図 2 1:100

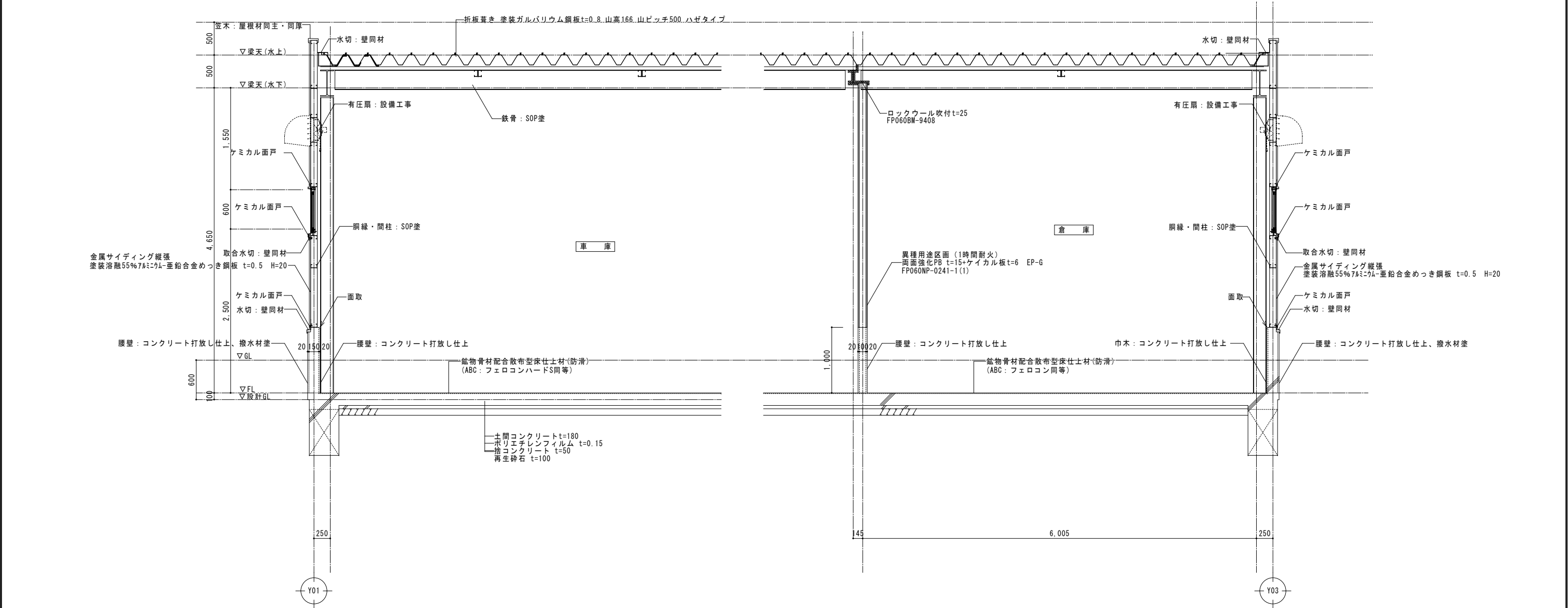


断面図 1 1:100

訂正	月	日	原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市 御 門 町 一 丁 目 12 番 15 号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級 建 築 士 第 293830 号 甲斐 宣 行	構造設計一級建築士 第 号 設備設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7 年 12 月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
			図面名称 車庫棟 断面図			縮 尺 1:100		図面番号 A-407			

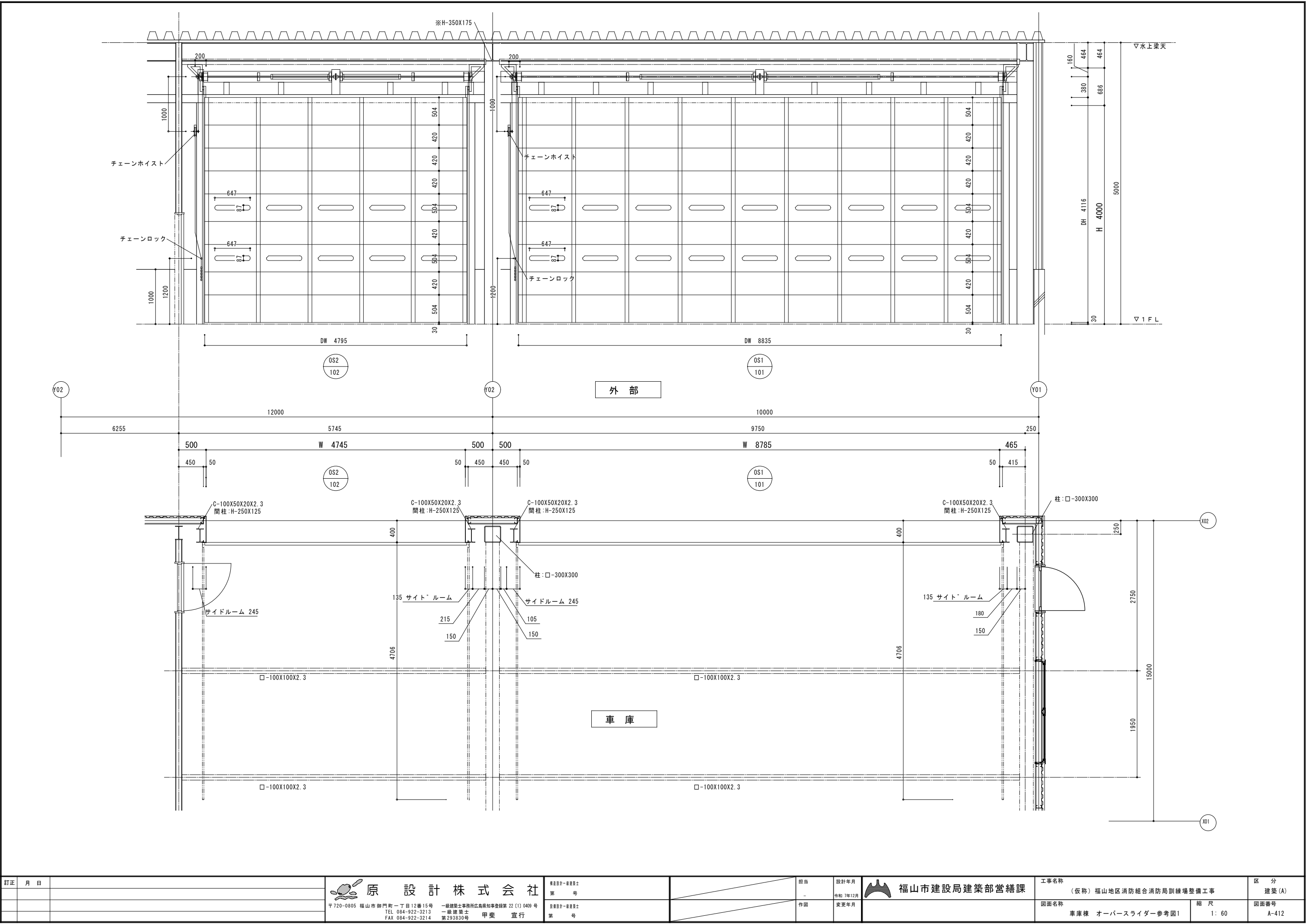


訂正	月	日	原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市 御門町 一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一般建築士事務所所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一 級 建 築 士 第 293830 号 甲斐 宣行	構造設計一般建築士 第 号 設備設計一般建築士 第 号		担当 - 作図	設計年月 令和 7年12月 変更年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
		図面名称 車庫棟 断面詳細図1							縮 尺 1: 60	図面番号 A-409	



訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一級建築士事務所所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 TEL 084-922-3213 一級建築士 甲斐 宣行 FAX 084-922-3214 第 293830 号	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
				図面設計一級建築士 第 号	作図	変更年月	図面名称 車庫棟 断面詳細図2		縮 尺 1: 60	図面番号 A-410	

記号・数量		1OS		× 01		1/100		2OS		× 01		1/100		1SS		× 01		1/100							
形状		8,835 4,000有効寸法 <																							



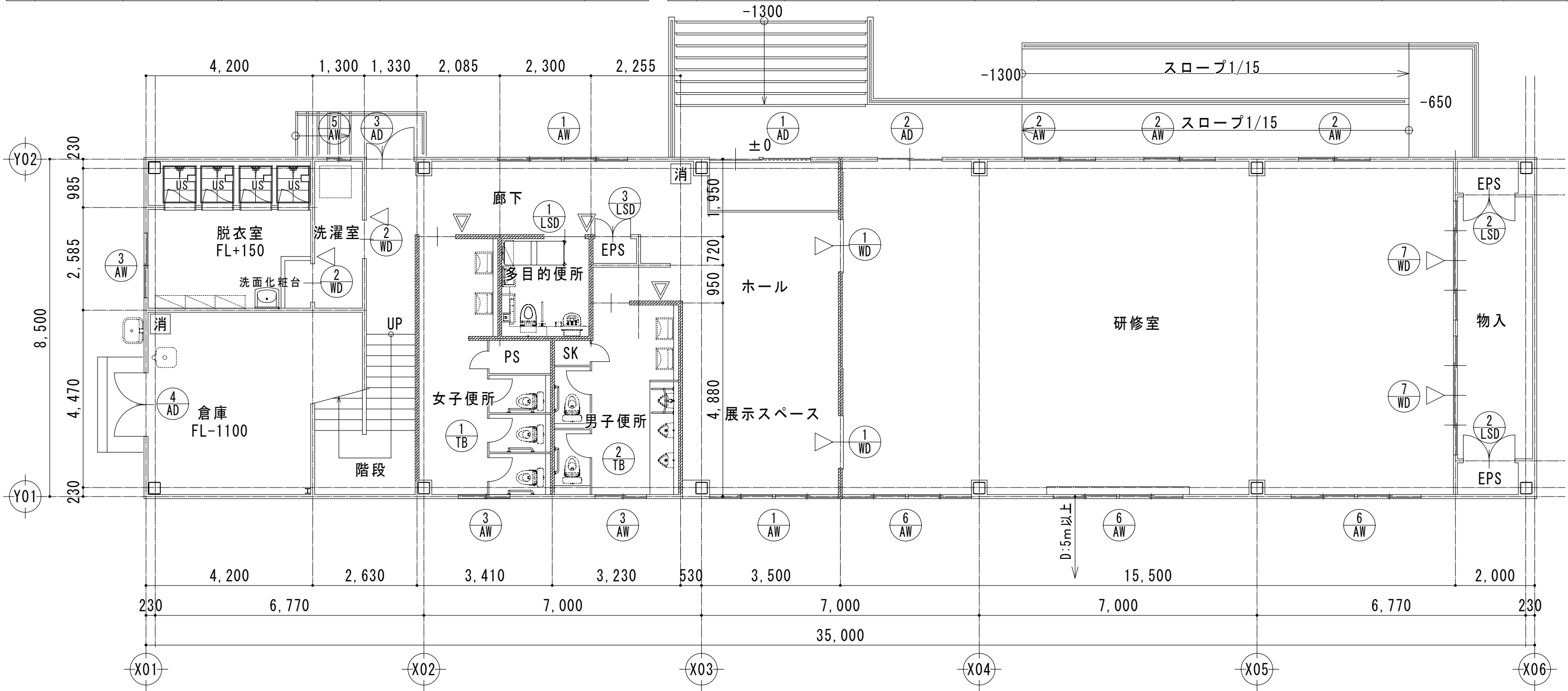
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 有 限 公 司 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一般建築士事務所所広島県知事登録第22(1)0409号 TEL 084-922-3213 一級建築士 甲斐 宣行 FAX 084-922-3214 第293830号	構造設計一級建築士 第 号			担当	設計年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
				-	令和7年12月							
				図面設計一級建築士 第 号	作図		変更年月	図面名称 車庫棟 オーパースライダー参考図1		縮 尺 1: 60	図面番号 A-412	

換気無窓の検討(法第28条第2項)

階	室名	床面積	換気			
			必要面積 1/20	建具符号	有効面積	判定
1	研修室	131.75m ²	6.58m ²	AW-6	(1.55+1.55) x (1.0+0.8) / 2 x 3 = 8.37	OK
2	事務室	46.80m ²	2.34m ²	AW-2	1.80 x 1.30 / 2 x 2 = 2.34	OK
	仮眠室1	6.90m ²	0.35m ²	AW-4	1.20 x 1.00 / 2 = 0.60	OK
	仮眠室2	9.40m ²	0.47m ²	AW-4	1.20 x 1.00 / 2 = 0.60	OK

採光無窓の検討(法第35条・法第35条の3)

階	室名	床面積	採光					
			必要面積 1/20	建具符号	開口面積 (W)	採光補正係数 (A)	有効採光面積	判定
1	研修室	131.75m ²	6.58m ²	AW-6	(1.55+1.55) x (1.0+0.8) x3=16.74	D:5m以上なのでA=1.0	16.74x1.0=16.74	OK
2	事務室	46.80m ²	2.34m ²	AW-2	1.80x1.30x2=4.68	D:5m以上なのでA=1.0	4.68x1.0=4.68	OK
	仮眠室1	6.90m ²	0.35m ²	AW-4	1.20x1.00=1.20	D:5m以上なのでA=1.0	1.20x1.0=1.20	OK
	仮眠室2	9.40m ²	0.47m ²	AW-4	1.20x1.00=1.20	D:5m以上なのでA=1.0	1.20x1.0=1.20	OK



管理棟 1階平面図

凡 例	
消	消火器(ABC10型) フック付壁掛
斜線	LGS壁スラブ下まで

階段	
幅員	1,225
踏面	270
蹴上	192
手摺	両側

※出幅80以下

訂正	月 日		 原 設 計 株 式 有 限 公 司 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一般建築士事務所所広島県知事登録第22(1)0409号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当	設計年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称	(仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事	区 分 建築(A)
				図面設計一級建築士 第 号		作図	令和7年12月 変更年月		図面名称		
									管理棟 1階平面図	縮 尺 1:100	図面番号 A-502

排煙無窓の検討(令第116条の2)

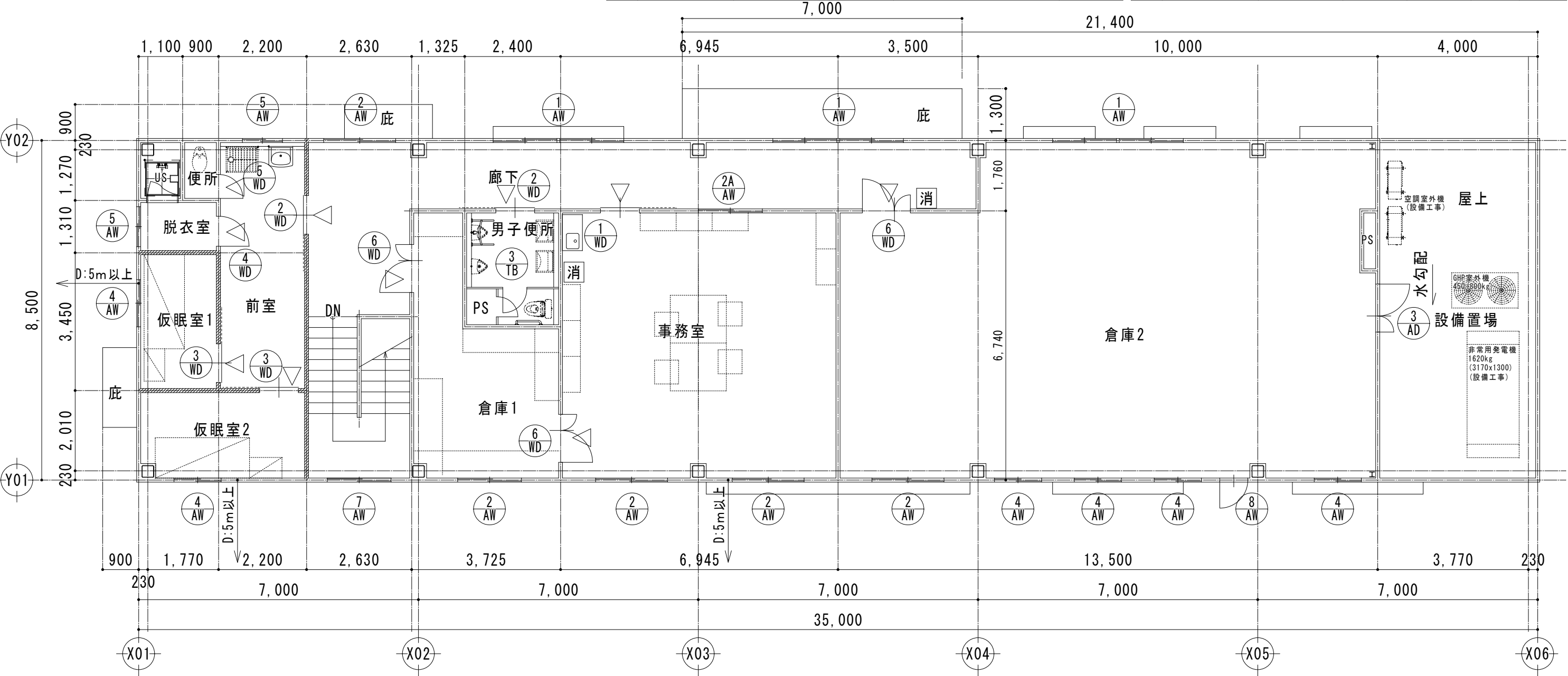
階	室名	床面積	排煙			
			必要面積 1/50	建具符号	有効面積	判定
1	研修室	131.75m ²	2.64m ²	AW-6	(1.55+1.55)x0.7x0.5x3=3.25	OK
2	事務室	46.80m ²	0.94m ²	AW-2	1.80x0.7/2x2=1.26	OK
	仮眠室1	6.90m ²	0.14m ²	AW-4	1.20x0.5/2=0.3	OK
	仮眠室2	9.40m ²	0.19m ²	AW-4	1.20x0.5/2=0.3	OK

消防上の無窓階の検討

階	床面積	必要面積 1/30			判定
1	297.50m ²	9.916m ²	AD-1	2.55×2.2×1=5.50	有窓階
			AD-2	1.63×2.0×1=3.26	
			AD-4	1.60×2.0×1=3.20	
			合計	11.96>9.92	
2	263.50m ²	8.783m ²	AD-3	1.20×2.0×1=2.40	有窓階
			AW-1	(1.55+1.55)×1.2×3=11.16	
			合計	13.56>8.78	

収容人員算定表

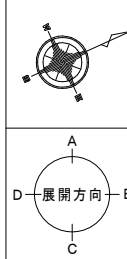
階	室名	床面積	算定人数 3.0m ² /人	実人数	計	合計
1	研修室	131.75m ²	44		44	44人
2	事務室	46.80 m ²		4	4	4人
	仮眠室1	6.90 m ²		(1)	(1)	
	仮眠室2	9.40 m ²		(1)	(1)	

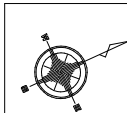
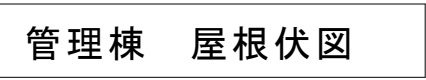


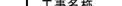
管理棟 2階平面図

□凡 例

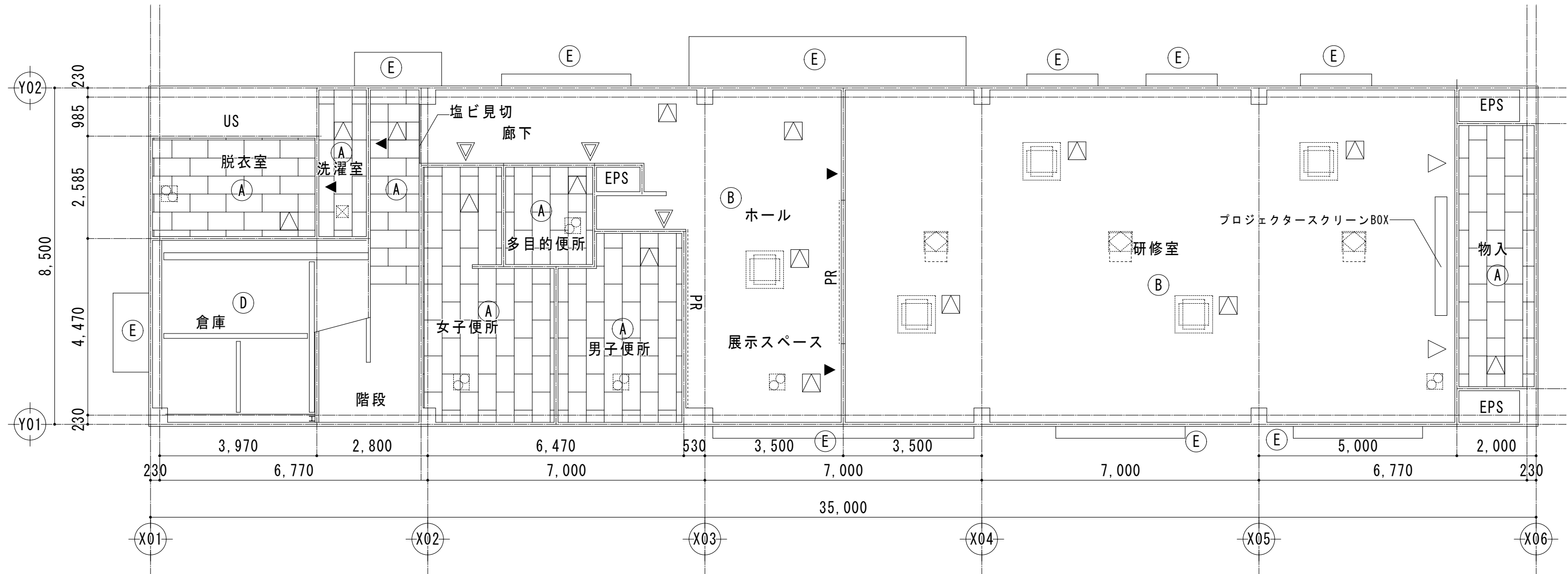
消	消火器(ABC10型) フック付壁掛
斜線	LGS壁スラブ下まで



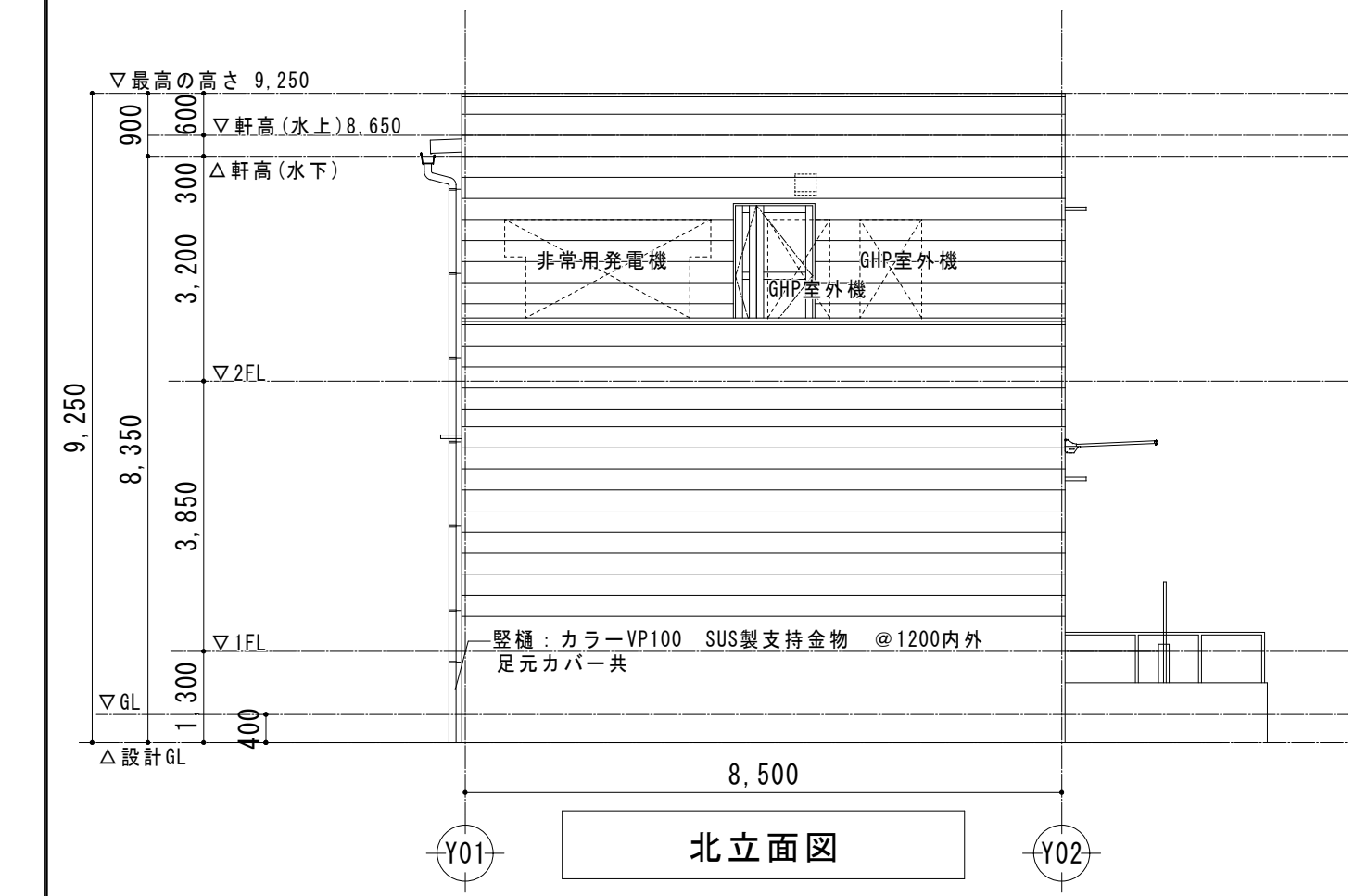
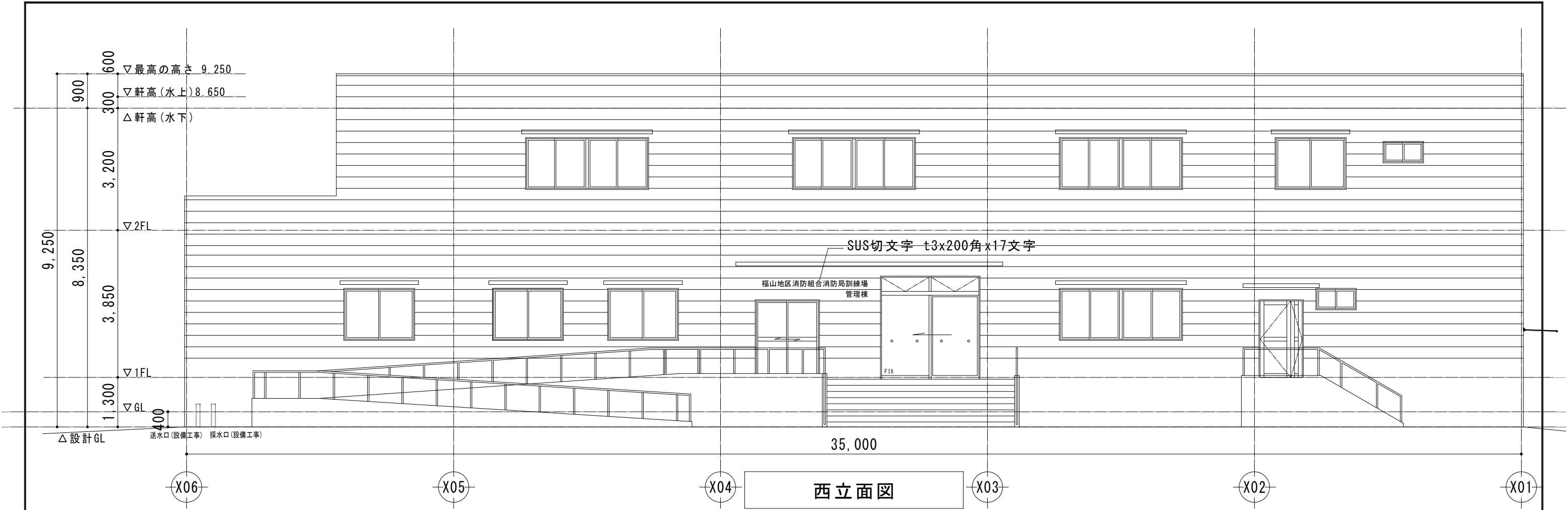


訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所所広島県知事登録第 22 (I) 0409 号 一級建築士 第 293830号 甲斐 宣行	構造設計-一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7 年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
				設備設計-一級建築士 第 号		作図 変更年月	図面名称 管理棟 屋根伏図		縮 尺 1:100	図面番号 A-504	

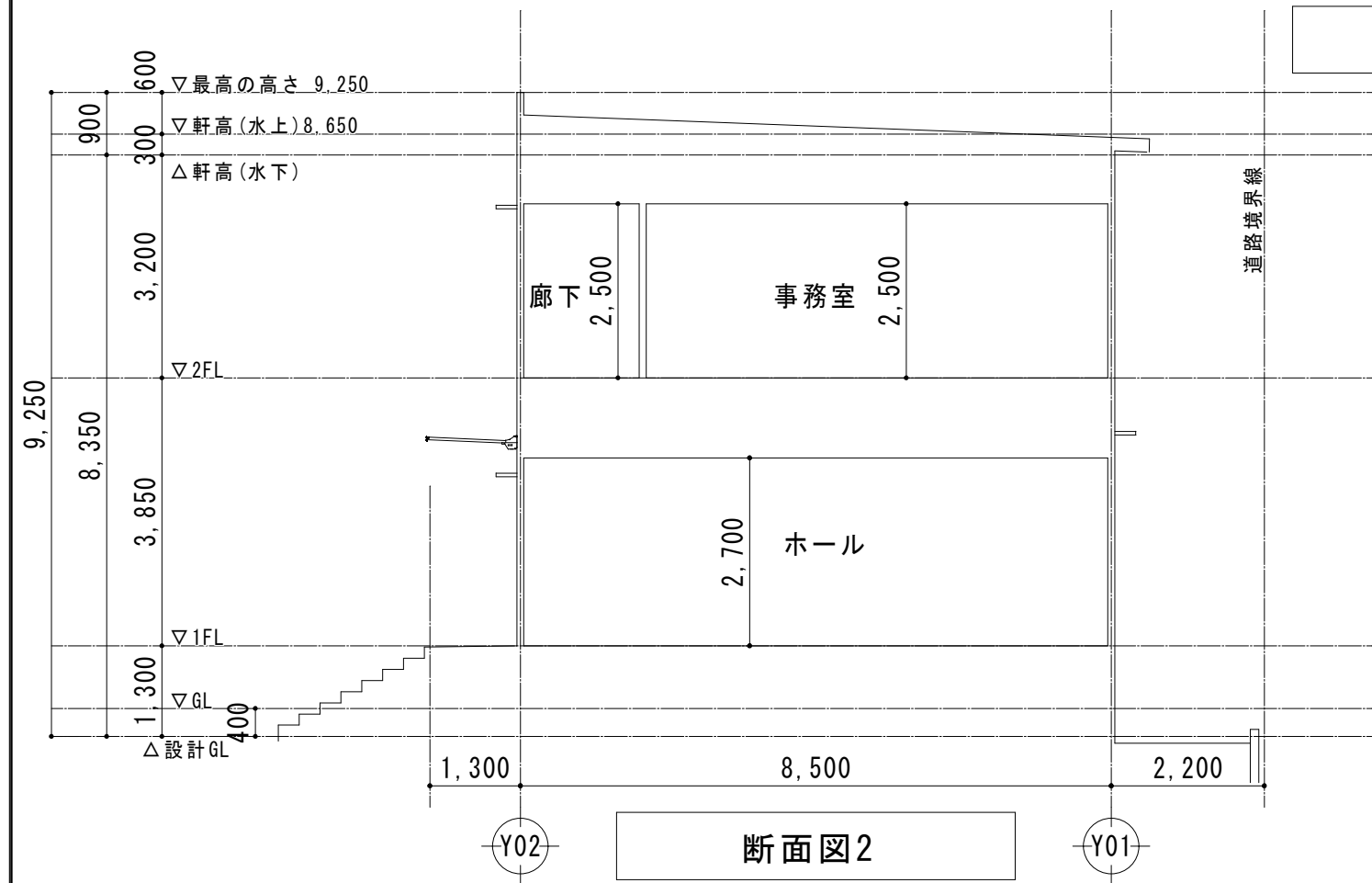
□ 凡 例			
Ⓐ	化粧PB t=9.5張		換気開口
Ⓑ	PB t=12.5+RW吸音板t=9 (GW 24kg品 t=100)		空調開口
Ⓒ	折板ガラス繊維マットt=5表し		天井点検口 (450角)
Ⓓ	発泡ウレタン吹付	PR	ピクチャーレール
Ⓔ	アルミ庇	▼	室名札 (正面付)
		▽	室名札 (持出し)



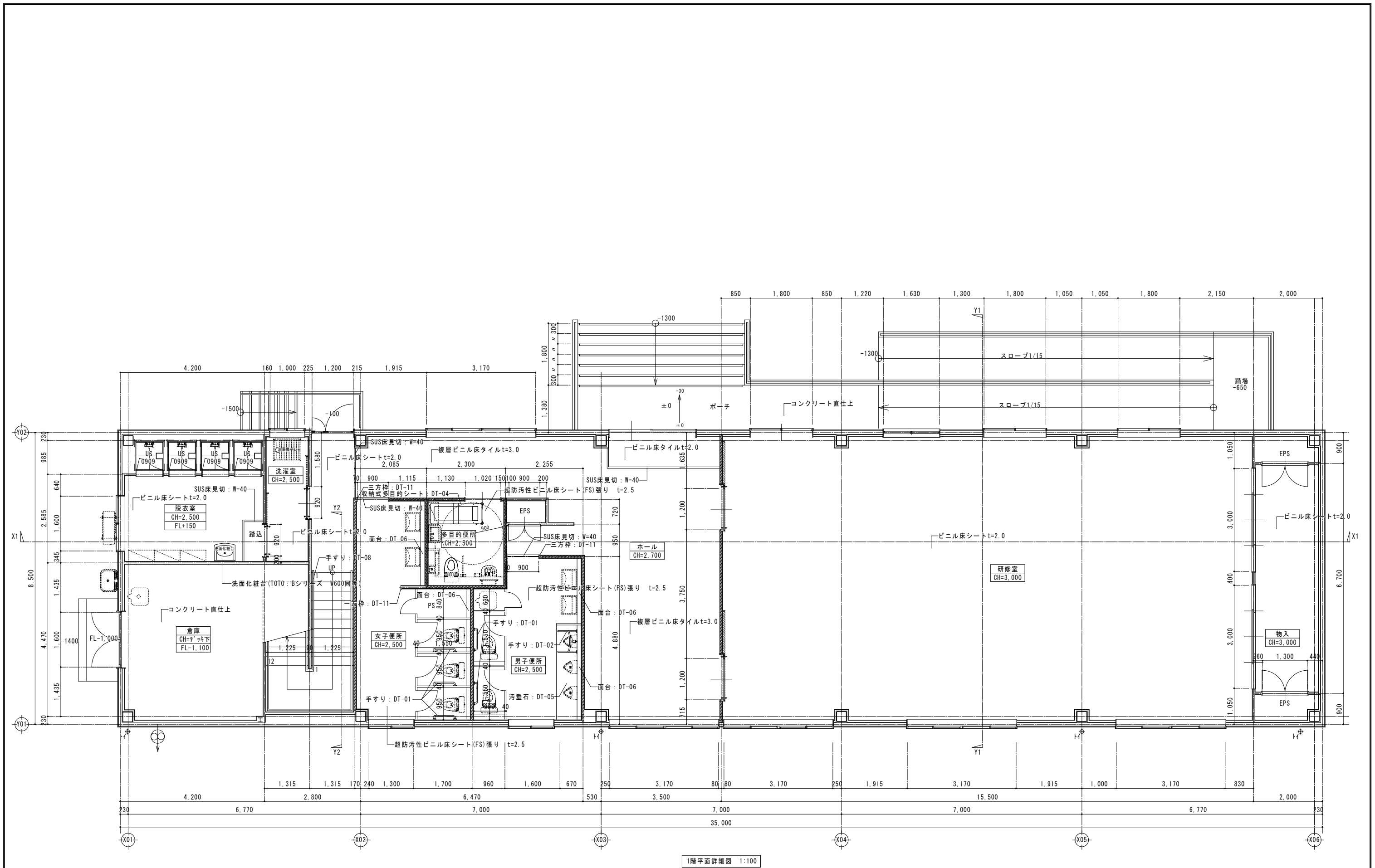
管理棟 1階天井伏図



訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一級建築士事務所所広島県知事登録第22(1)0409号 TEL 084-922-3213 一級建築士 甲斐 宣行 FAX 084-922-3214 第293830号	構造設計一級建築士 第 号 設備設計一級建築士 第 号	担当 - 作図	設計年月 令和7年12月 変更年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築(A)
		図面名称 管理棟 立面図2						縮 尺 1:100	図面番号 A-508	

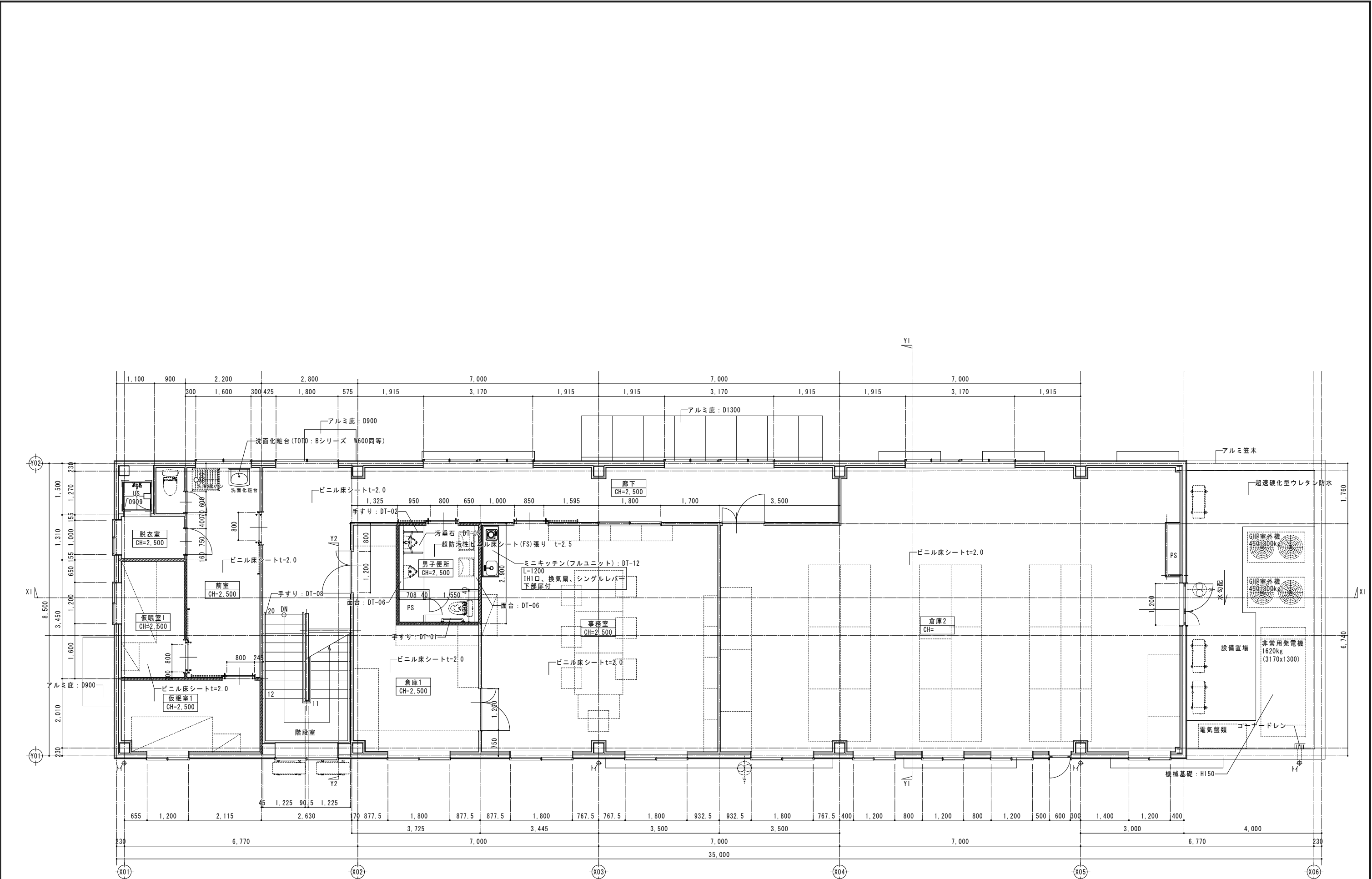


訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
				設備設計一級建築士 第 号		作図 変更年月			図面名称 管理棟 断面図	縮 尺 1:100	図面番号 A-509



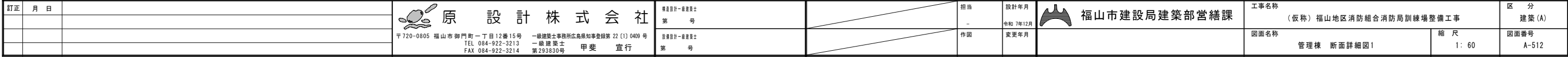
1階平面詳細図 1:100

訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一級建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 TEL 084-922-3213 一級建築士 甲斐 宣行 FAX 084-922-3214 第293830号	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
				設備設計一級建築士 第 号		作図 変更年月			図面名称 管理棟 1階平面詳細図	縮 尺 1:100	図面番号 A-510

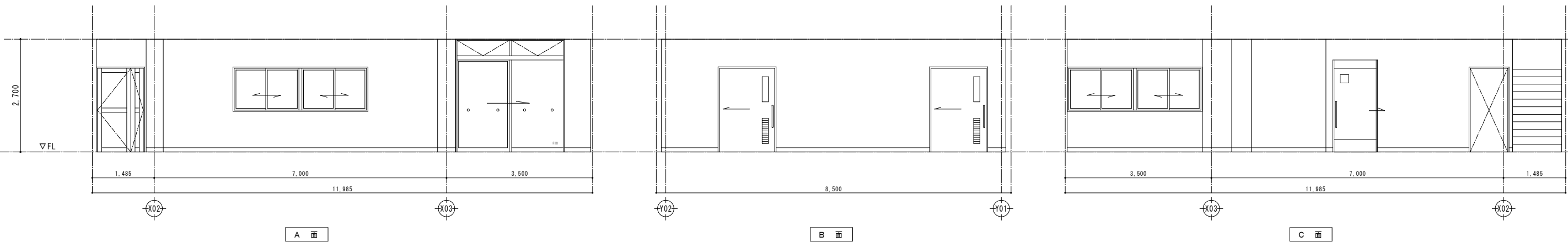


2階平面詳細図 1:100

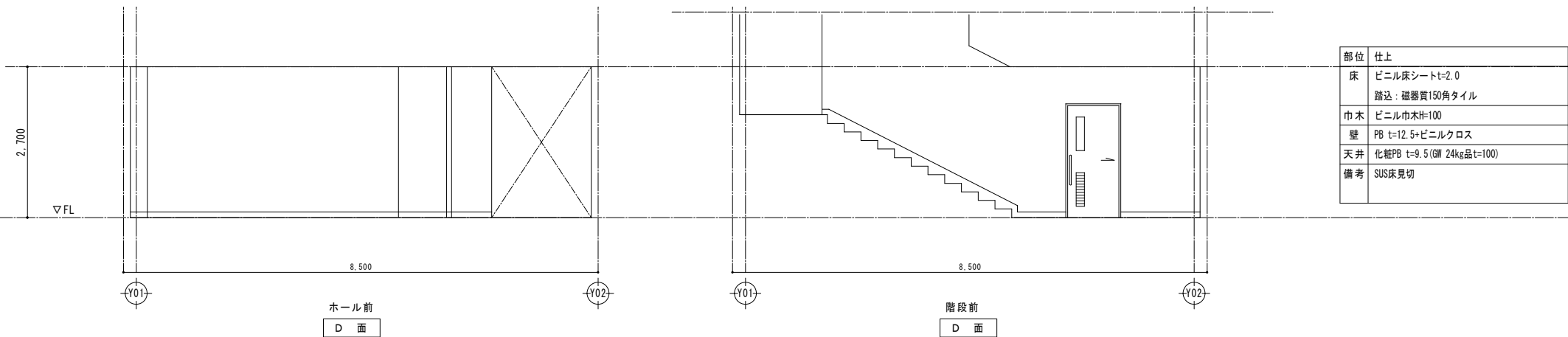
訂正 月 日			 原 設 計 株 式 有 限 公 司 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214	構造設計-建築士 第 号 設備設計-建築士 第 号	担当 - 作図	設計年月 令和7年12月 変更年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
								図面名称 管理棟 2階平面計画案	縮 尺 1:100	
								図面番号 A-511		



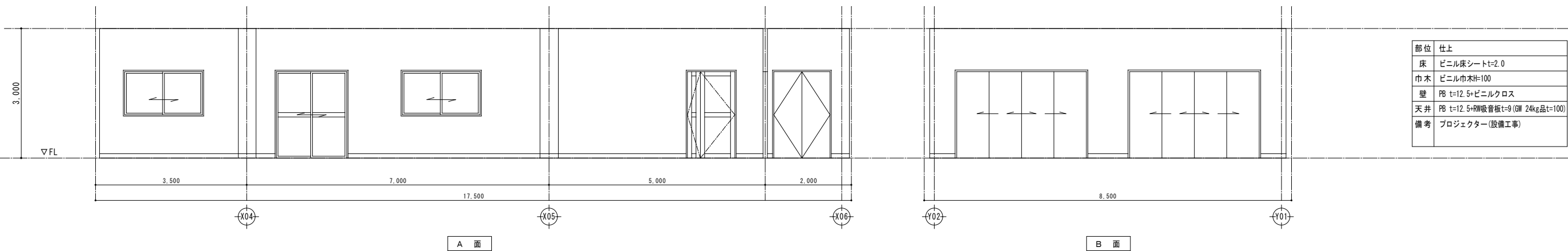
ホール・廊下



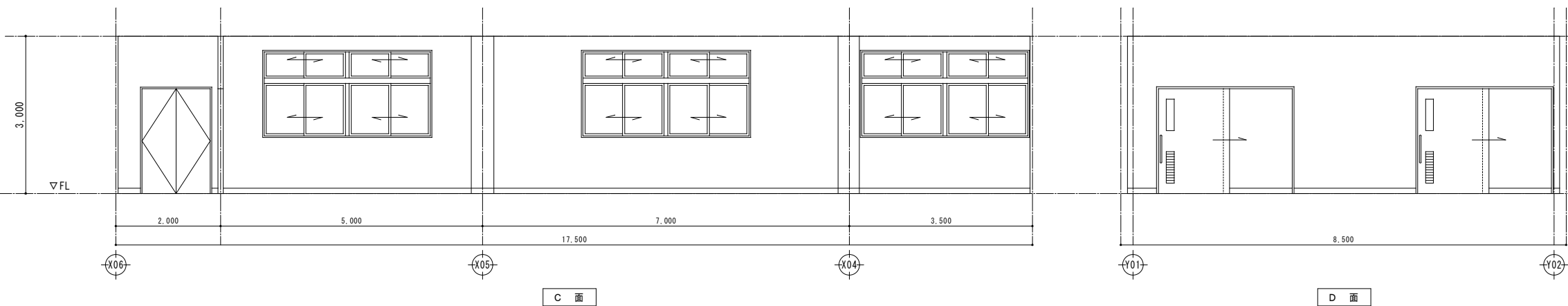
ホール・廊下



研修室・物入

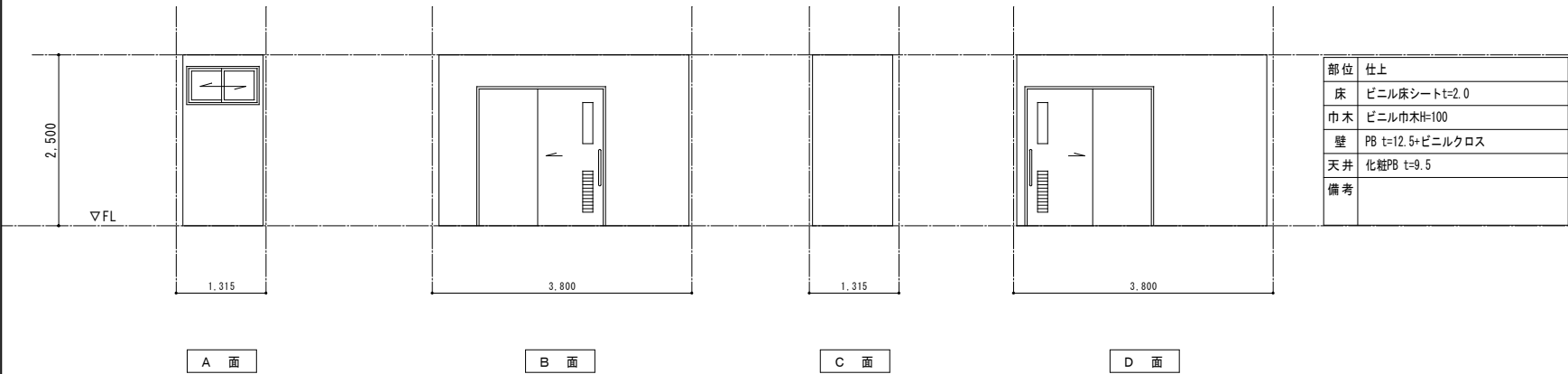


研修室・物入

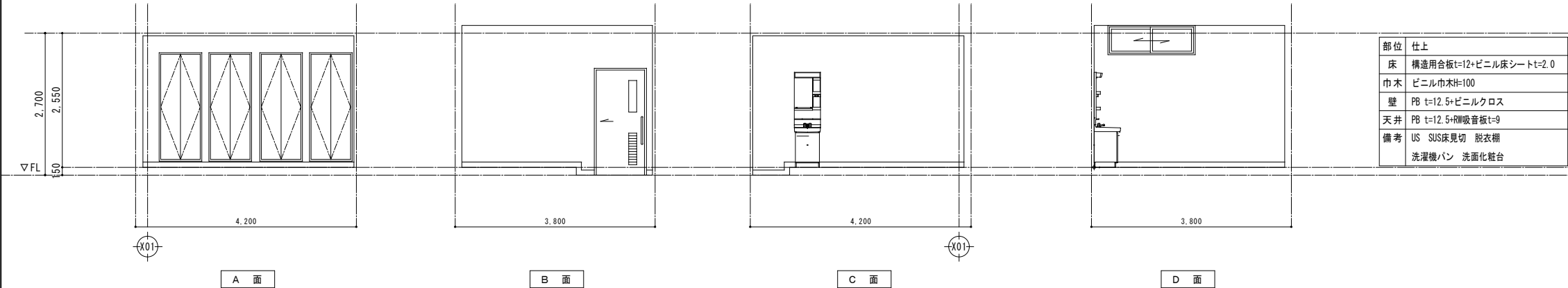


訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築(A)
				図面設計一級建築士 第 号		作図 変更年月			図面名称 管理棟 展開図1	縮 尺 1:100	図面番号 A-514

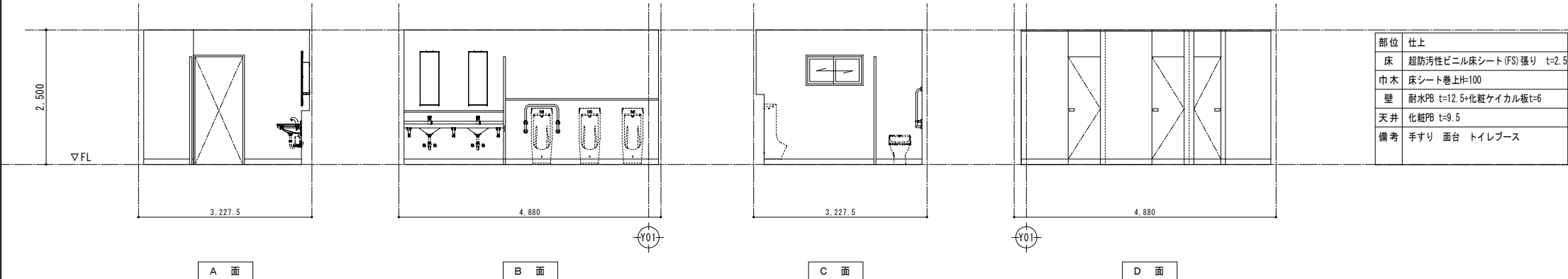
洗濯室



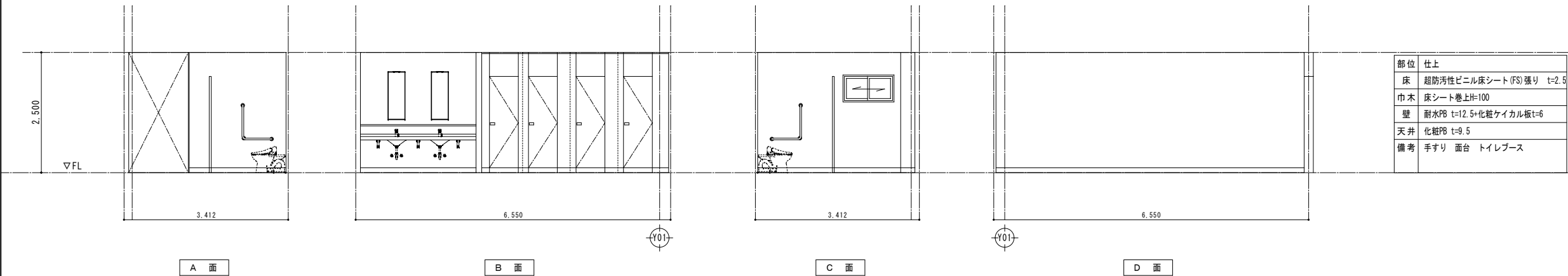
脱衣室



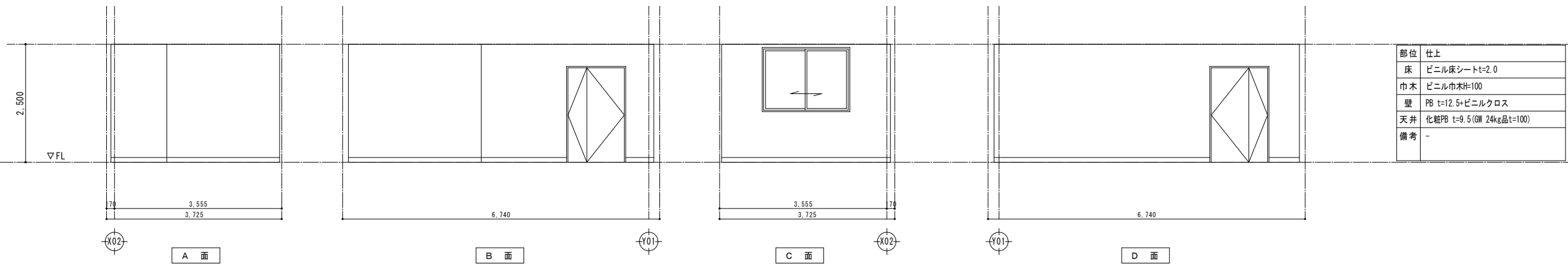
男子便所



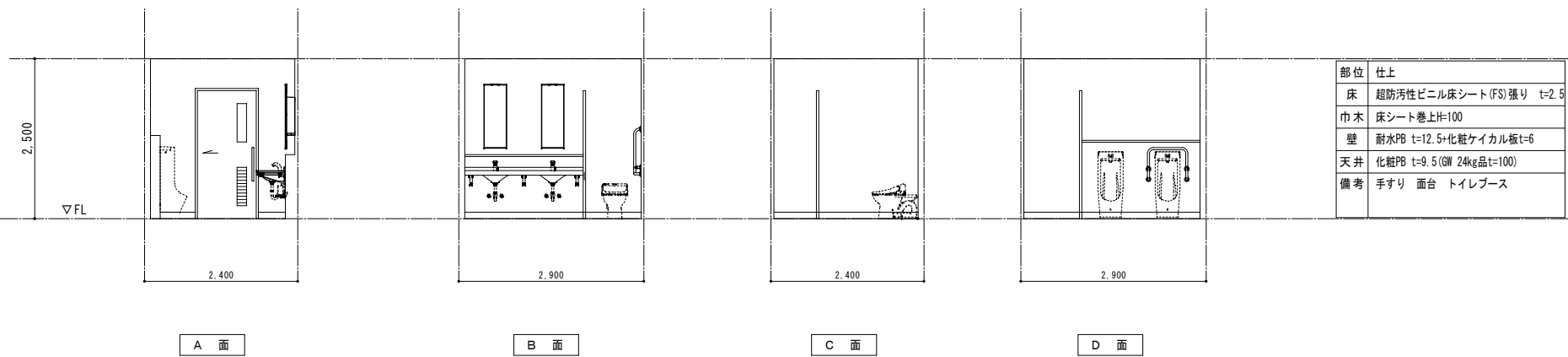
女子便所



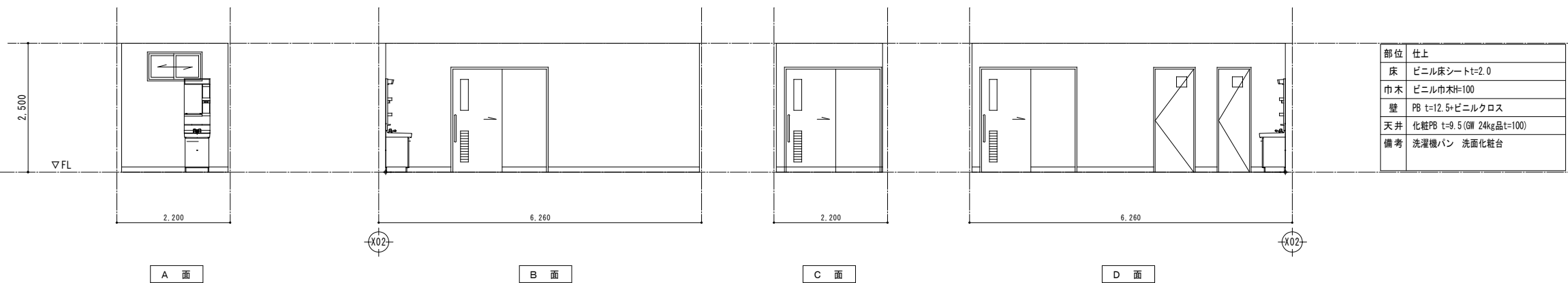
倉庫1



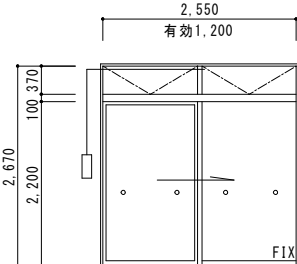
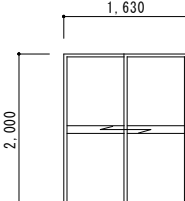
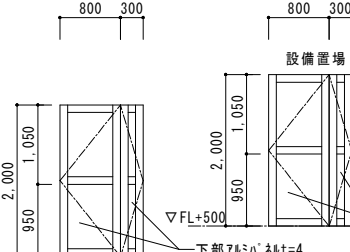
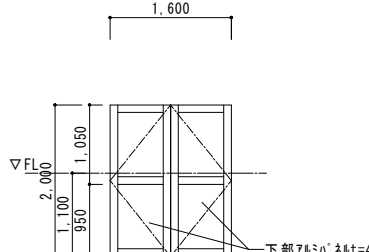
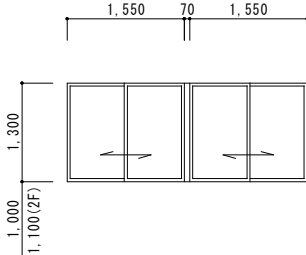
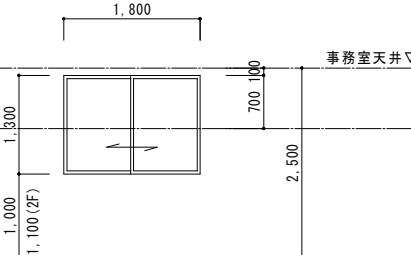
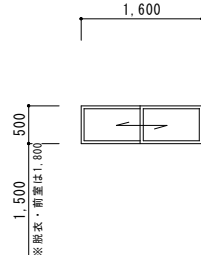
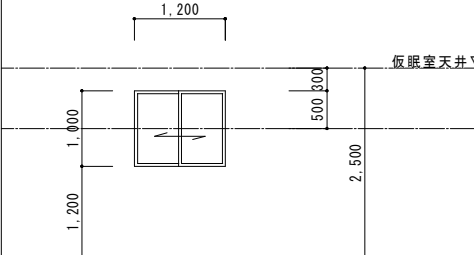
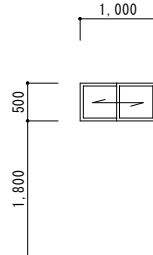
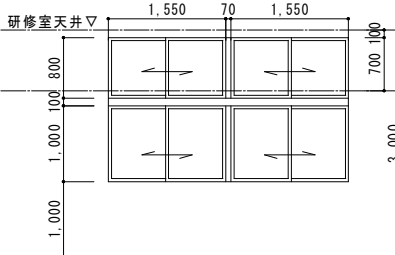
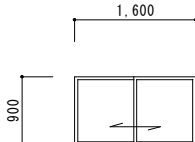
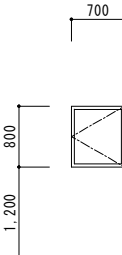
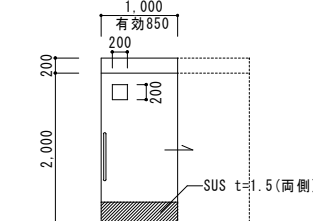
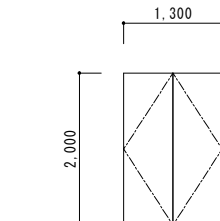
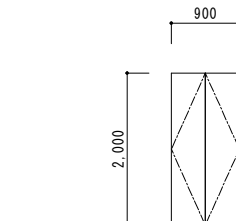
男子便所



前室

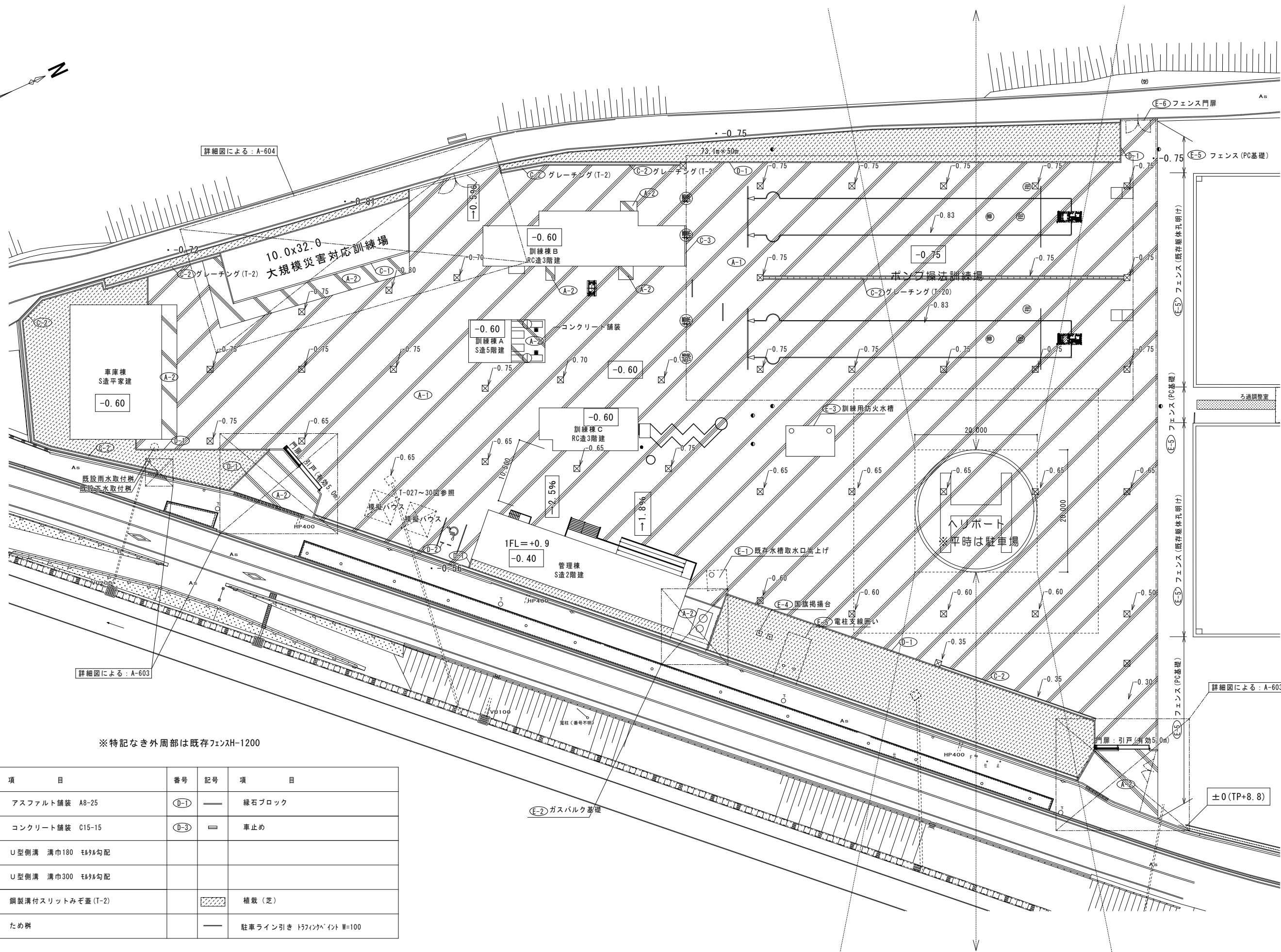
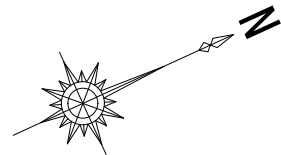


訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所所長島根知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第 293830 号 甲斐 宣行	構造設計 - 一級建築士 第 号	 福山市建設局建築部宮繕課	担当	設計年月	 福山市建設局建築部宮繕課 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事	区 分 建築 (A)	
				図面設計 - 一級建築士 第 号		作図	変更年月			図面名称
								管理棟 展開図4	1:100	A-517

記 号 ・ 数 量	(1 AD) × 01	(2 AD) × 01	(3 AD) × 02	(4 AD) × 01		
形 状						
場 所	ホール	研修室	廊下 倉庫2(2F)	倉庫		
形 式	排煙窓+片引き戸	引違い戸	片開き戸	両開き扉		
見 込	100	70	70	70		
扉仕上	アルミシルバー	アルミシルバー	アルミシルバー	アルミシルバー		
硝 子	強化ガラス T65	複層ガラス FL5+A6+FL5	複層ガラス FL5+A6+FL5 下部7&min' t=4	FWG6.8 下部7&min' t=4		
金 物	引棒 アルミ額縁 SUS下枠 シリンダー錠 衝突防止シール 付属金物一式	アルミ額縁 シリンダー錠 付属金物一式	アルミ額縁 DC シリンダー錠 レバーハンドル 付属金物一式	アルミ額縁 DC シリンダー錠 レバーハンドル 付属金物一式		
備 考	排煙オペレーター(H1500)		廊下部テンキー錠：キーレックス3100同等			
記 号 ・ 数 量	(1 AW) × 05	(2 AW) × 08 (2A AW) × 01	(3 AW) × 03	(4 AW) × 06	(5 AW) × 03	(6 AW) × 03
形 状						
場 所	ホール 廊下(2F) 倉庫2(2F)	研修室 廊下 事務室 倉庫1・2(2F)	脱衣室 男子便所 女子便所	仮眠室 倉庫2(2F)	洗濯室 脱衣室	研修室
形 式	引違い窓	引違い窓	引違い窓	引違い窓	引違い窓	ランマ付引違い窓
見 込	70	70	70	70	70	70
扉仕上	アルミシルバー	アルミシルバー	アルミシルバー	アルミシルバー	アルミシルバー	アルミシルバー
硝 子	複層ガラス FL5+A6+FL5	複層ガラス FL5+A6+FL5	複層ガラス FG4+A6+FL5	複層ガラス FL5+A6+FL5	複層ガラス FG4+A6+FL5	複層ガラス FL5+A6+FL5
金 物	アルミ額縁 網戸 水切 付属金物一式	アルミ額縁 網戸(2Aは除く) 水切 付属金物一式	アルミ額縁 網戸 水切 付属金物一式	アルミ額縁 網戸 水切 付属金物一式	アルミ額縁 網戸 水切 付属金物一式	アルミ額縁 網戸 水切 付属金物一式
備 考						
記 号 ・ 数 量	(7 AW) × 01	(8 AW) × 01				
形 状						
場 所	階段	倉庫2(2F)				
形 式	引違い窓	片開き窓				
見 込	70	70				
扉仕上	アルミシルバー	アルミシルバー				
硝 子	複層ガラス F4+A6+FL5	複層ガラス FL5+A6+FL5				
金 物	アルミ額縁 網戸 水切 付属金物一式	アルミ額縁 網戸 水切 付属金物一式				
備 考						
記 号 ・ 数 量	(1 LSD) × 01	(2 LSD) × 02	(3 LSD) × 01			
形 状						
場 所	多目的便所	EPS	EPS			
形 式	自動閉鎖式片引き戸（壁収納）（ストップ付）	両開き戸	両開き戸			
見 込	扉：40 枠：135	扉：40 枠：100	扉：40 枠：100			
扉仕上	化粧銅板 t=0.6(ペーバーコア) 鋼製 SOP塗	化粧銅板 t=0.6(ペーバーコア) 鋼製 SOP塗	化粧銅板 t=0.6(ペーバーコア) 鋼製 SOP塗			
硝 子	FG4	-	-			
金 物	引き棒 SUS省摺 大型表示錠(非常開錠装置付)	ケースハンドル シリンダー錠	ケースハンドル シリンダー錠			
備 考	自動閉鎖装置 標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式			
備 考	引棒：SUS L=450	-	-			

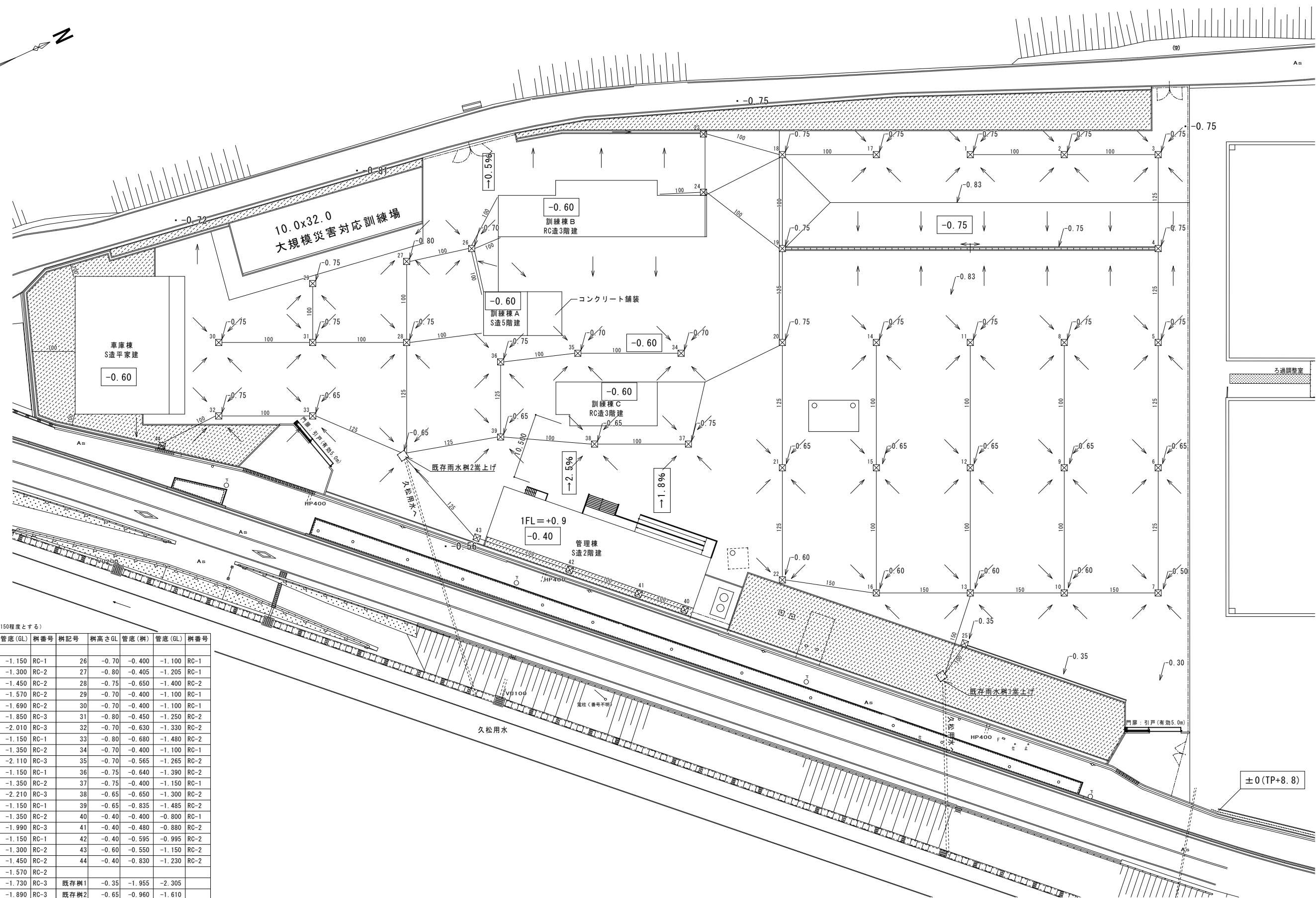
記 号 ・ 数 量		①WD × 03	②WD × 04	③WD × 02	④WD × 01	⑤WD × 01	⑥WD × 03	
形 状								
▽FL								
場 所		研修室 事務室	脱衣室(1F) 洗濯室 男子便所(2F) 前室	仮眠室	脱衣室(2F)	女子便所(2F)	倉庫1・2(2F)	
形 式		片引き戸	片引き戸	片引き戸	片開き戸	片開き戸	親子扉	
見 込		扉：40 枠：180	扉：40 枠：180	扉：40 枠：180	扉：40 枠：210	扉：40 枠：180	扉：40 枠：180	
扉仕上	枠仕上	基材MDF オレフィンシート張	基材MDF オレフィンシート張	基材MDF オレフィンシート張	基材MDF オレフィンシート張	基材MDF オレフィンシート張	基材MDF オレフィンシート張	
子		メーカー標準枠	メーカー標準枠	メーカー標準枠	メーカー標準枠	メーカー標準枠	メーカー標準枠	
金 物	備 考	TG4	FTG4	TG4	F64	-	-	
子		引き棒 上吊りレール ソフトクローザー シリンダー錠	引き棒 上吊りレール ソフトクローザー シリンダー大型表示錠	引き棒 上吊りレール ソフトクローザー シリンダー大型表示錠	レバーハンドル シリンダー錠	レバーハンドル シリンダー錠	レバーハンドル シリンダー錠	
金 物	備 考	標準金物一式	アルミガラリ(開口率30%) 標準金物一式	標準金物一式	D C(ストップ付) 標準金物一式	D C(ストップ付) 標準金物一式	D C(ストップ付) 標準金物一式	
子		DAIKEN:hapia public同等	DAIKEN:hapia public同等	DAIKEN:hapia public同等	DAIKEN:hapia public同等	DAIKEN:hapia public同等	DAIKEN:hapia public同等	
記 号 ・ 数 量		⑦WD × 02						
形 状								
▽FL								
場 所		研修室						
形 式		引分け戸(4枚)						
見 込		扉：40 枠：180						
扉仕上	枠仕上	基材MDF オレフィンシート張						
子		TG4						
金 物	備 考	据込引手 上吊りレール ソフトクローザー						
子		標準金物一式						
金 物	備 考	-						
記 号 ・ 数 量		①TB × 01	②TB × 01	③TB × 01				
形 状								
▽FL								
場 所		女子便所	男子便所	男子便所(2F)				
形 式		トイレブース						
見 込		40						
扉仕上	枠仕上	表面材:メラミン化粧板 芯材:ペーパーコア						
子		-						
金 物	備 考	SUSエッジ・笠木・ヒンジ・脚金物・戸当り・表示付ロック・取手・標準金物一式						
子		付属金物一式						
金 物	備 考	-						
子		-						
材 料 凡 例		■材料凡例						
SS		鋼製シャッター	FL	フロートガラス	■法規制略号			
OS		オーバースライダー	FG	型板ガラス	⊗	一般建具		
SD		鋼製磨き板ガラス	PWG	網入磨き板ガラス	⊗	防火設備		
SG		鋼製ガラリ	FWG	網入型板ガラス	⊗	特定防火設備		
STD		ステンレス製扉	HAG	熱線吸収板ガラス	⊗			
STW		ステンレス製窓	HAPWG	熱線吸収網入り板ガラス	⊗			
LSD		軽量鋼製扉	TG	強化ガラス	⊗			
LSW		軽量鋼製窓	FTG	型板強化ガラス	⊗			
AD		アルミ製扉						
ADW		アルミ製扉窓付						
AG		アルミ製ガラリ						
WD		木製扉						
AW		アルミ製窓						
AG		アルミ製ガラリ						
TB		トイレブース						
GB		ガラスブロック						
F		ふすま						
DC		ドアチェック(ストップ付)						
電		電気錠						
■共通事項		【シーリング】 ・建具廻り：MS-2(変成シリコン系) ・ガラス突付：SR-1(シリコン系) 【鋼製防錆処理】 ・鉛丹カルシウムペイント 2回塗						
【一般共通事項】		・サッシのトロ詰めモルタルは、無塩砂を使用する。 ・建具類の補強金物は、施工図により決定する。 ・引手等の形状は図面による他、承認図にて決定する。 ・乾留りはステンレス製とする。 ・建具金物は原則としステンレス製とする。 ・外部建具は全て結露受を設置する。 ・ハンガードアは全て指詰防止付とする。 ・レバーハンドル、握玉等の高さはFL+900程度とする。 ・衝突防止シールはSUS製30φハ7仕上@300両面H=1300とする。 ・アルミパネルはt=3.0以上とする ・網戸はガラス繊維入とする。 ・クレセント位置はFL+1,500以内とする。 ・排煙バレータ位置はFL+1,500以内とする。 ・木製引戸は指詰防止ゴム付とする ・アルミサッシ色はメーカー標準色とする。 ・鋼製建具枠、建具高2,400、有効開口幅950を超えるものは板厚2.3mmとする。						
窓摺の形状		外部建具 						
内部建具								
引戸建具								
枠の形状								
ネオプレン								
訂正		月 日						
原 設 計 株 式 会 社		〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一級建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 TEL 084-922-3213 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行 FAX 084-922-3214						
担当		-						
作図		-						
設計年月		令和7年12月						
変更年月		-						
福山市建設局建築部営繕課		工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事						
図面名称		管理棟 建具表2						
縮 尺		1: 100						
図面番号		A-519						

[illegible]

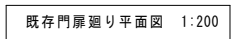
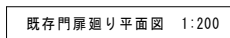


※特記なき外周部は既存フェンスH-1200

番号	記号	項 目	番号	記号	項 目
(A-1)		アスファルト舗装 A8-25	(D-1)		縁石ブロック
(A-2)		コンクリート舗装 C15-15	(D-3)		車止め
(C-1)		U型側溝 溝巾180 砂利勾配			
(C-2)		U型側溝 溝巾300 砂利勾配			
(C-3)		鋼製溝付スリットみぞ蓋 (T-2)			植栽 (芝)
(C-4)		ため樹			駐車ライン引き トライアンペイント W=100

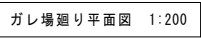


訂正	月 日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22〔1〕0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行	構造設計-般建築士 第 号 図面設計-般建築士 第 号	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称		区 分 建築 (A)			
					(仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事					
					担当	設計年月		図面名称	縮 尺	図面番号
					-	令和 7年12月				
				作図	変更年月	雨水排水図	1:600	A-602		

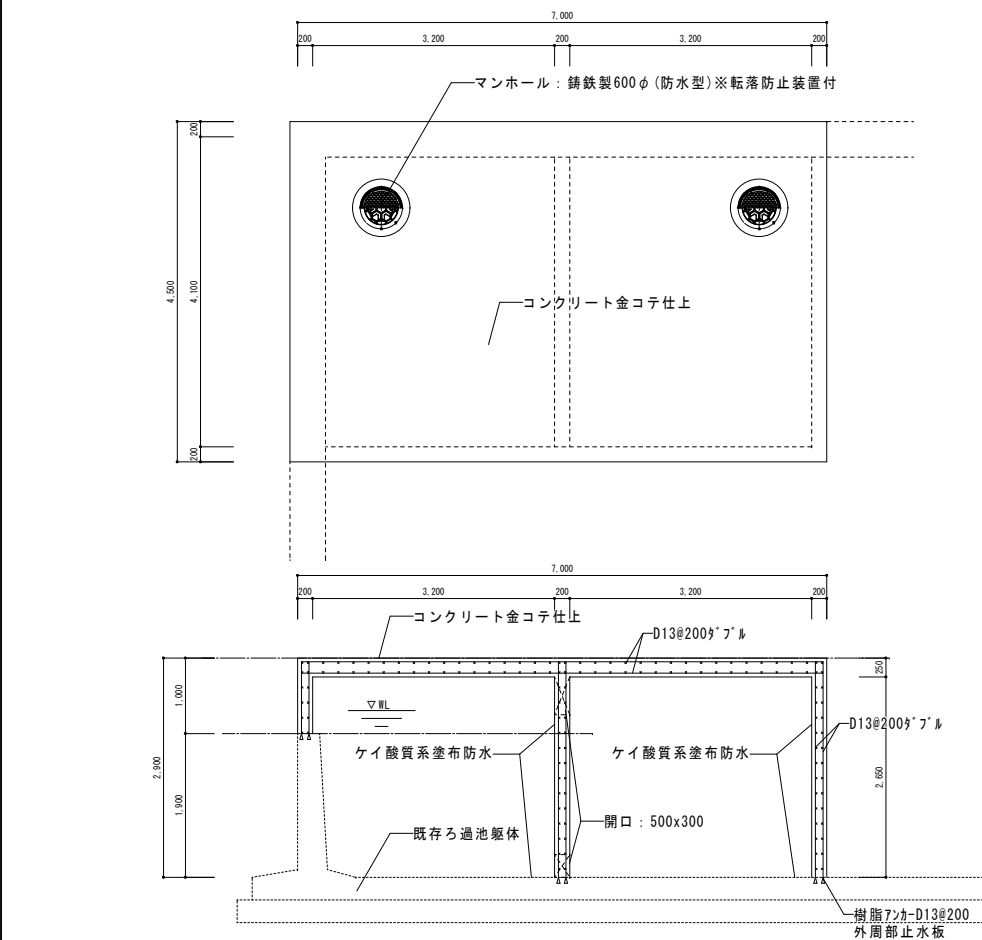
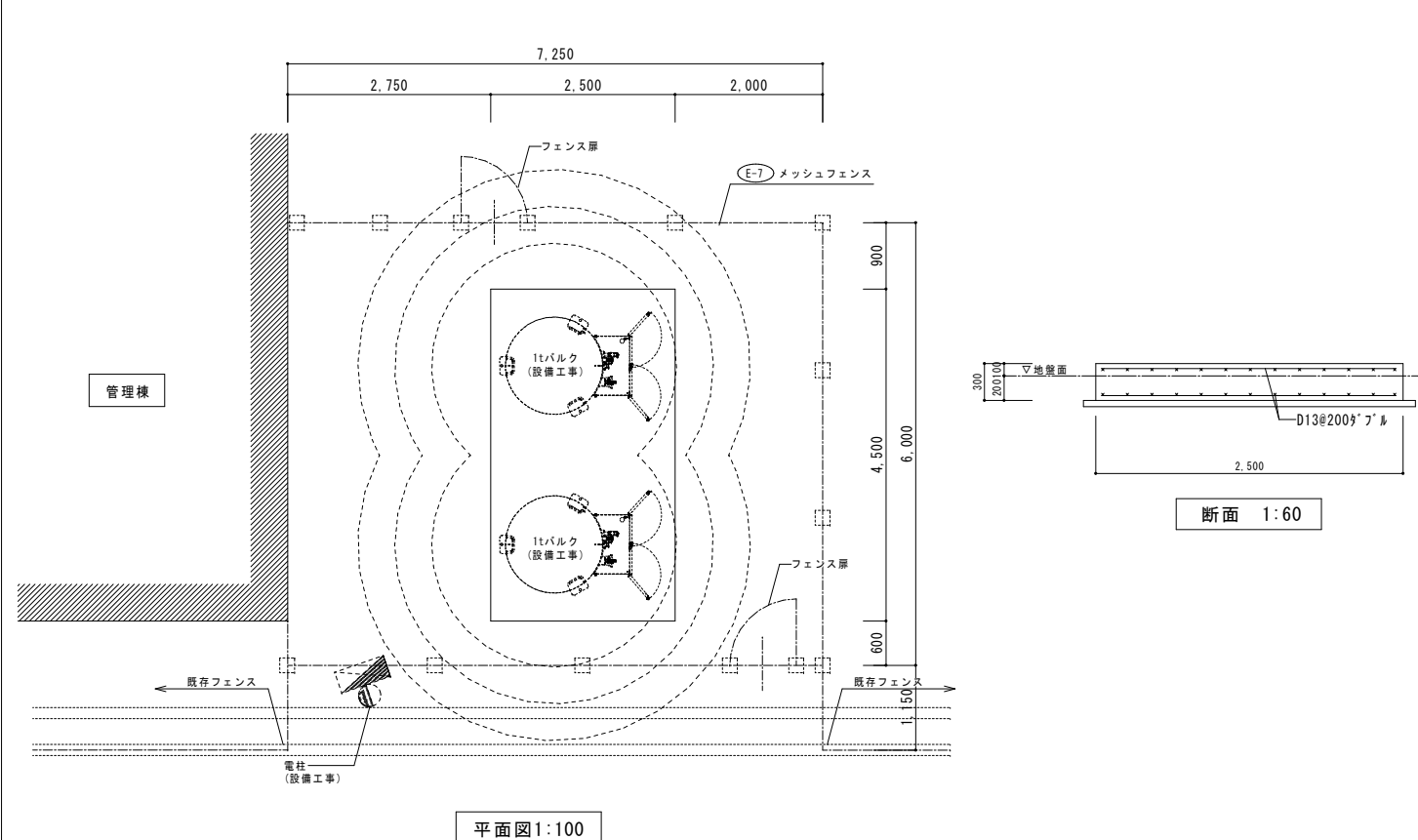
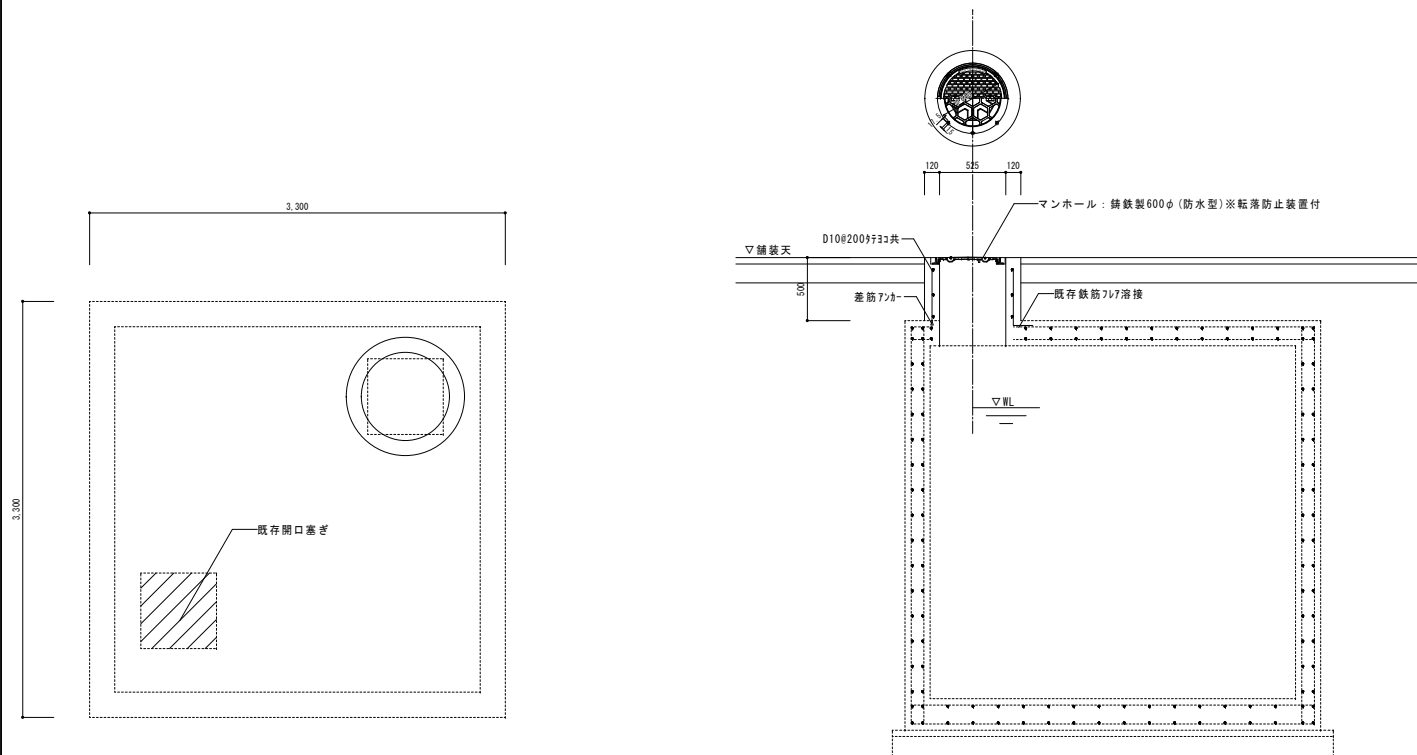


Technical drawing of a circular logo. The logo consists of a large outer circle with a diameter of 20,000 units. Inside this circle is a stylized letter 'H'. The 'H' is formed by two vertical bars and a horizontal bar. The vertical bars have a width of 1,500 units. The horizontal bar has a height of 1,500 units. The distance between the two vertical bars is 10,000 units. The total height of the logo, including the outer circle, is 20,000 units. The distance from the top of the outer circle to the top of the horizontal bar is 13,000 units. The distance from the bottom of the outer circle to the bottom of the horizontal bar is 13,000 units. The distance from the left side of the outer circle to the left side of the vertical bars is 1,500 units. The distance from the right side of the outer circle to the right side of the vertical bars is 1,500 units.

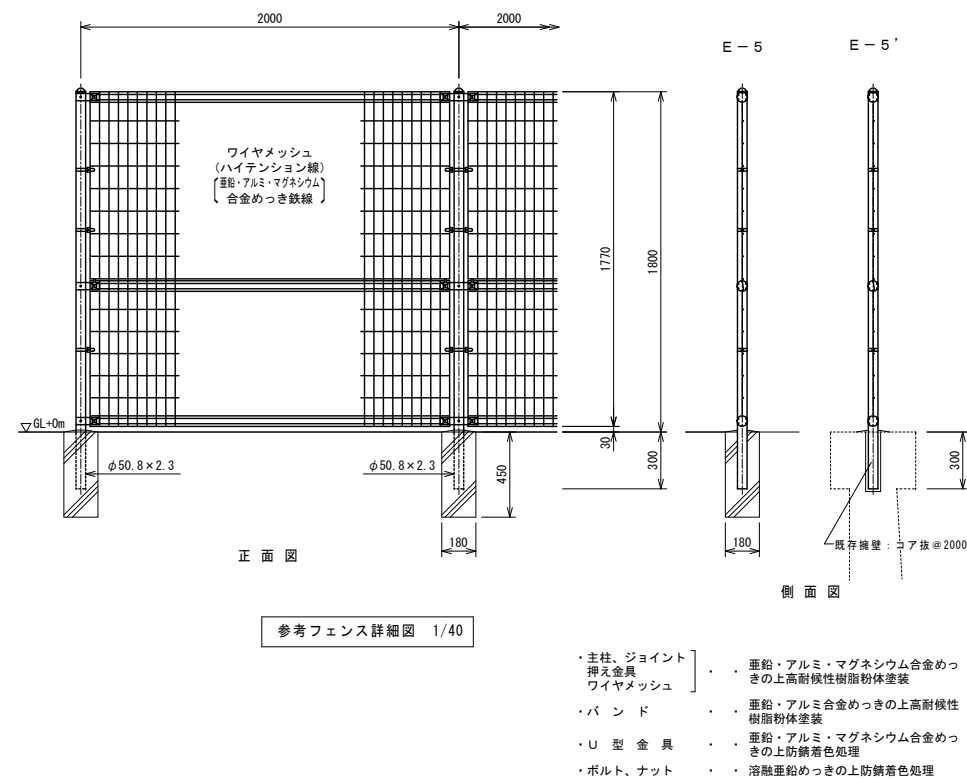
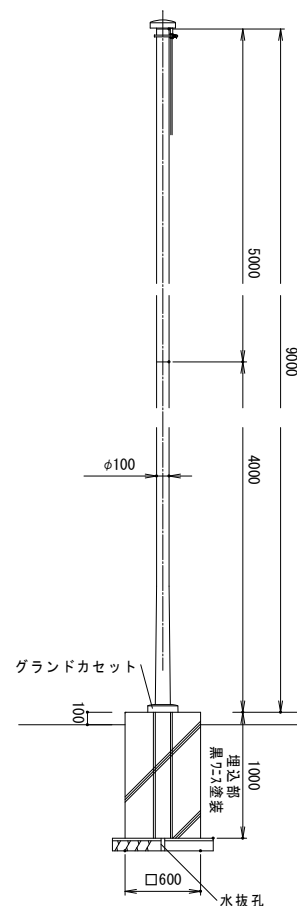
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 [1] 0409 号 一級建築士 第 293830 号 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当	設計年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称		区 分 建築 (A)
		-		令和 7 年 12 月		(仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事					
		作図		変更年月		図面名称	縮 尺		図面番号		
						外構平面詳細図 1	1:40 1:200 1:400		A-603		



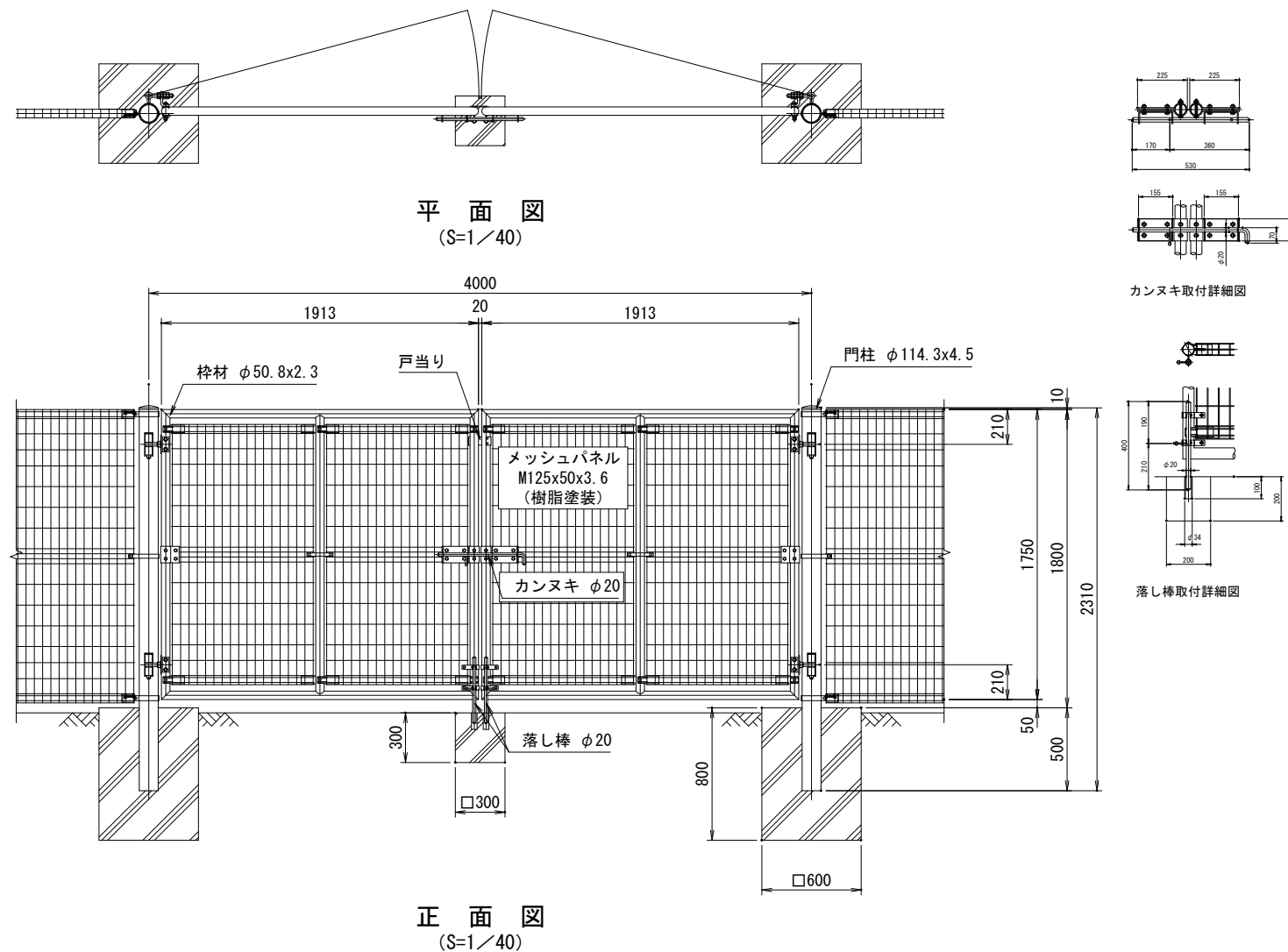
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第 293830号 甲斐 宣行	構造設計 - 一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
				設備設計 - 一級建築士 第 号	作図	変更年月	図面名称 外構平面詳細図2		縮 尺 1:60 1:200	図面番号 A-604	



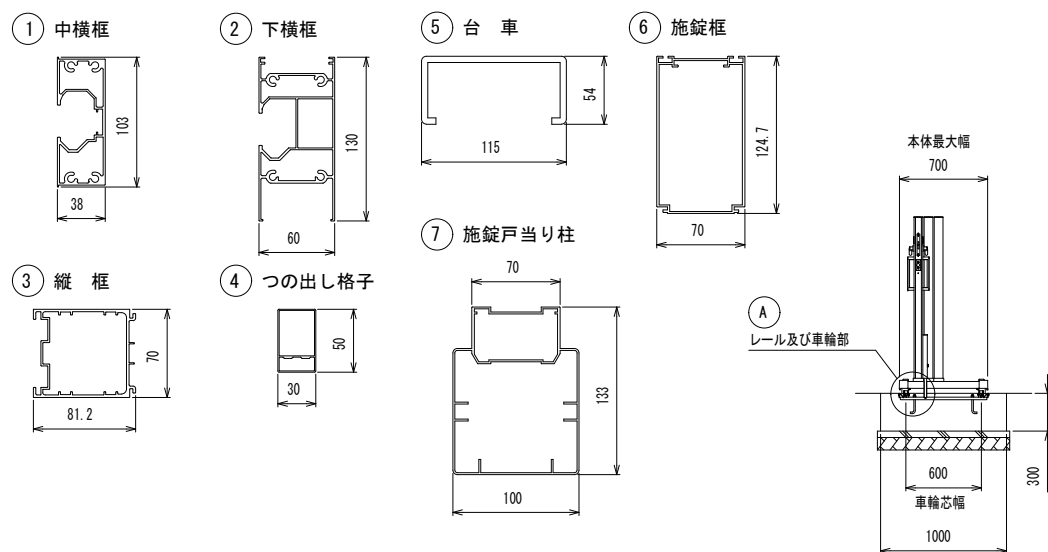
仕様
埋込式フラッグポール（手引き）
ポール高さ9.0m 2本
コンクリート基礎：600×600×1000（メーカー仕様による）
参考品番：サンポール FP9U同等



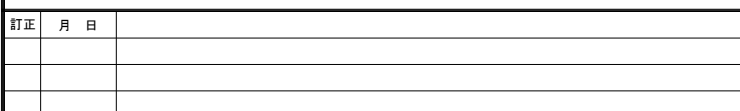
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行	構造設計 - 一般建築士 第 号	 福山市建設局建築部営繕課	担当 -	設計年月 令和 7年12月	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事	区 分 建築 (A)
				図面設計 - 一般建築士 第 号		作図 変更年月	図面名称 外構詳細図2	縮 尺 1:40 1:60 1:100	図面番号 A-606



主要部材断面図 (S=1/10)

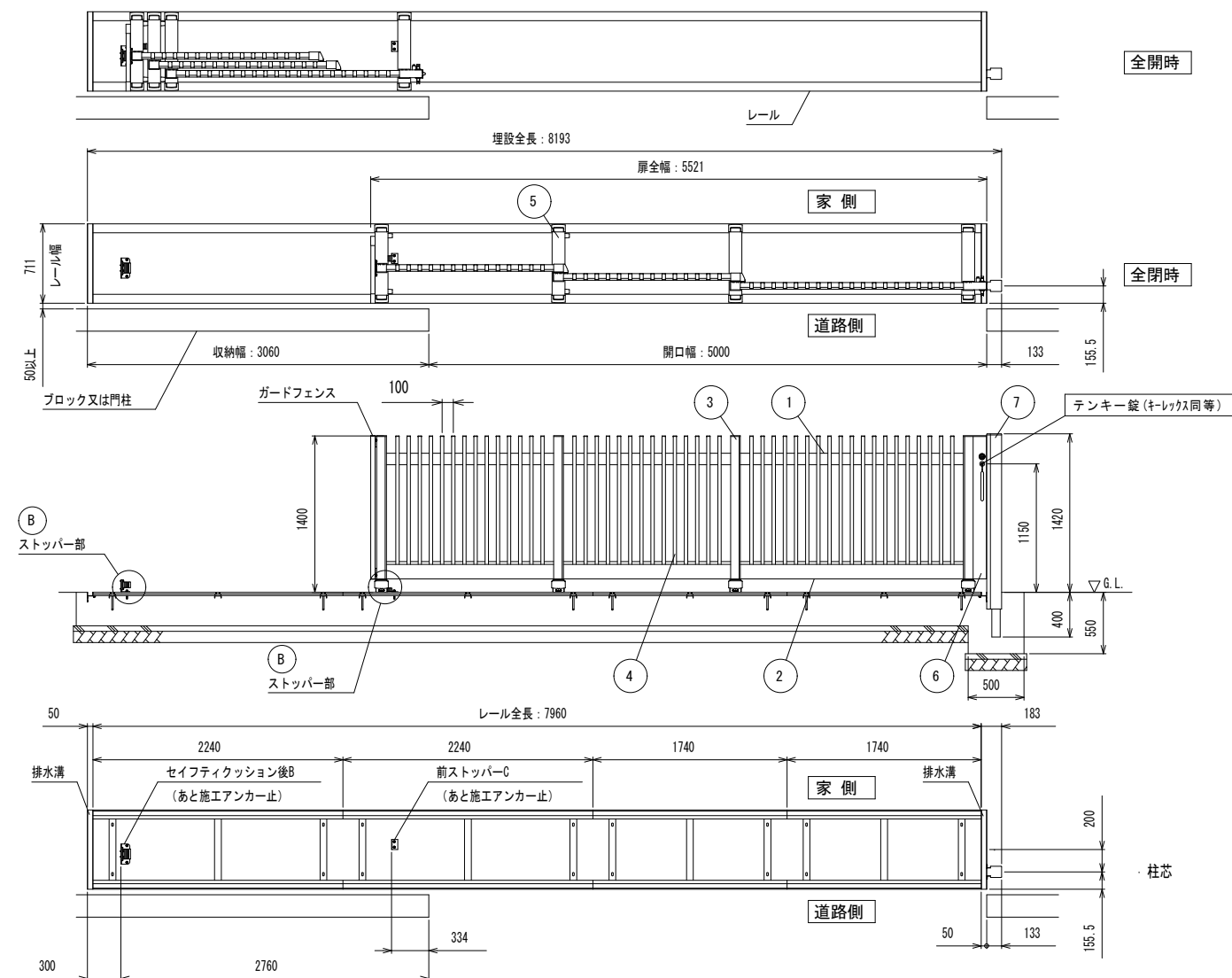


ねじ類	ステンレス
レール	ステンレス鋼
⑦ 施錠戸当り柱	アルミ押出型材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑥ 施錠框	アルミ押出型材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑤ 台 車	アルミ押出型材 陽極酸化・塗装複合皮膜
④ つの出し格子	アルミ押出型材 陽極酸化・塗装複合皮膜
③ 縦 框	アルミ押出型材 陽極酸化・塗装複合皮膜
② 下横框	アルミ押出型材 陽極酸化・塗装複合皮膜
① 中横框	アルミ押出型材 陽極酸化・塗装複合皮膜
錠 前	テンキー錠(キレックス同等)

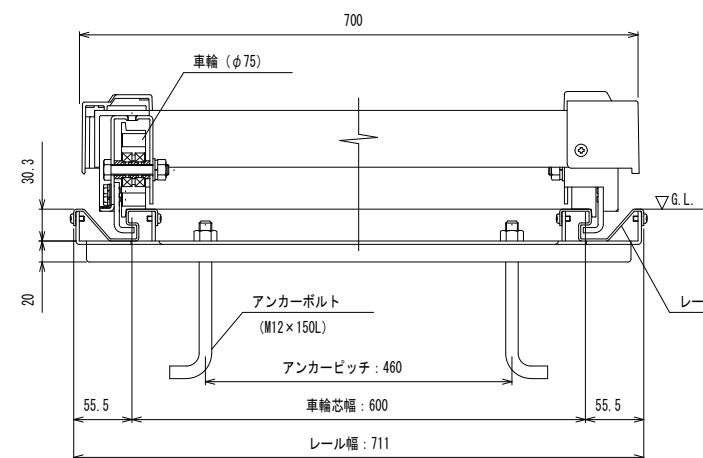


第 号

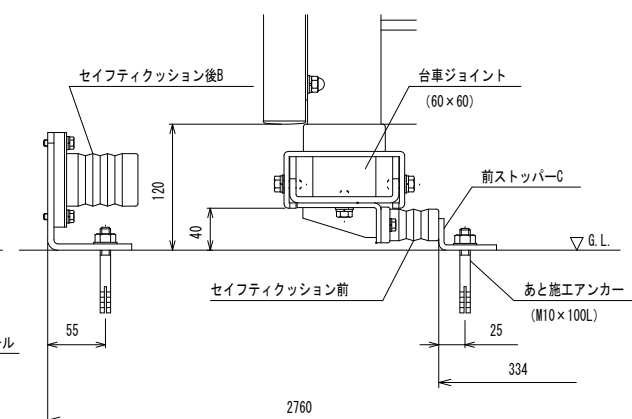
据付図 (S=1/100)



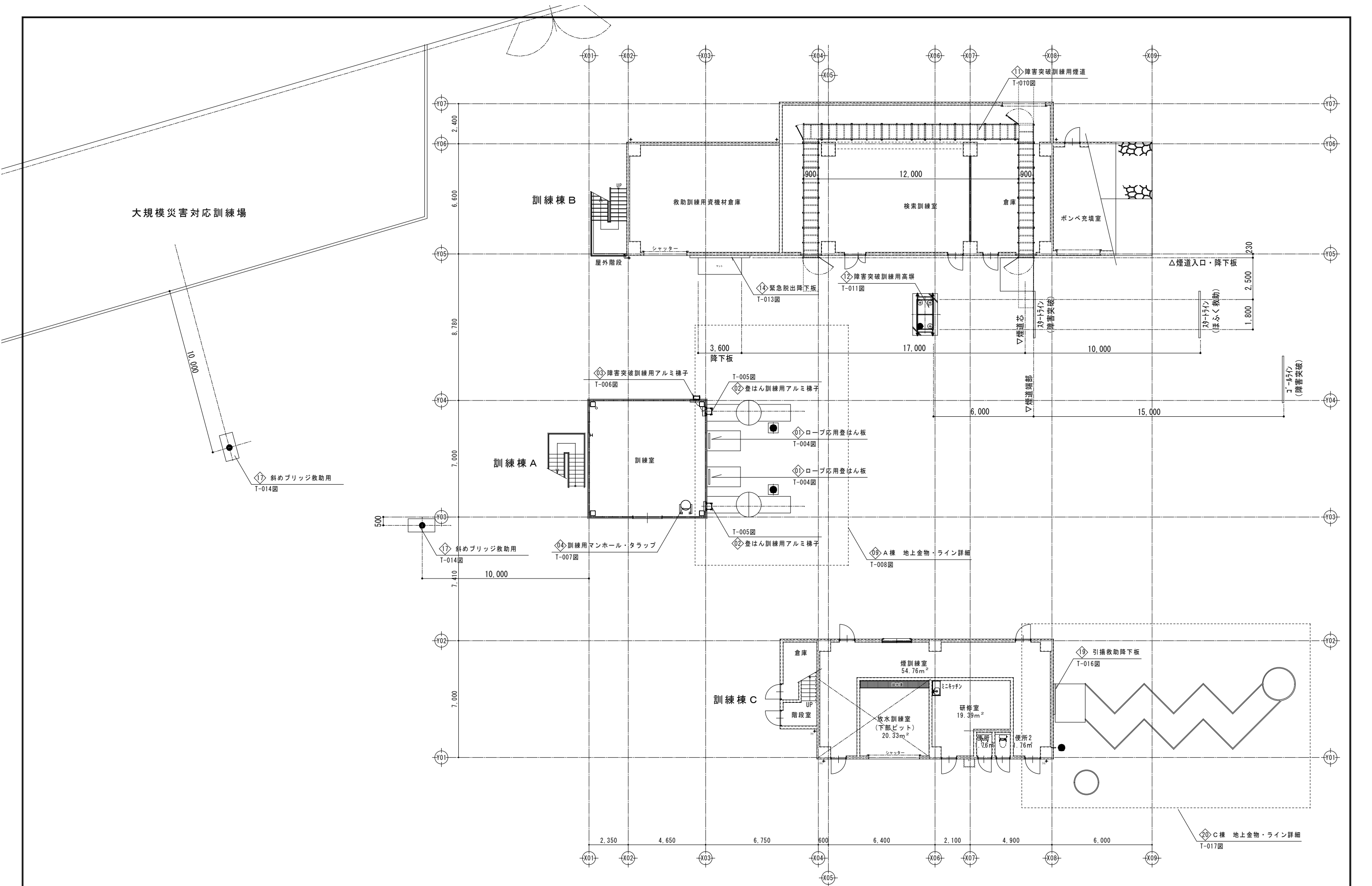
④ レール及び車輪部詳細図(S=1/12)



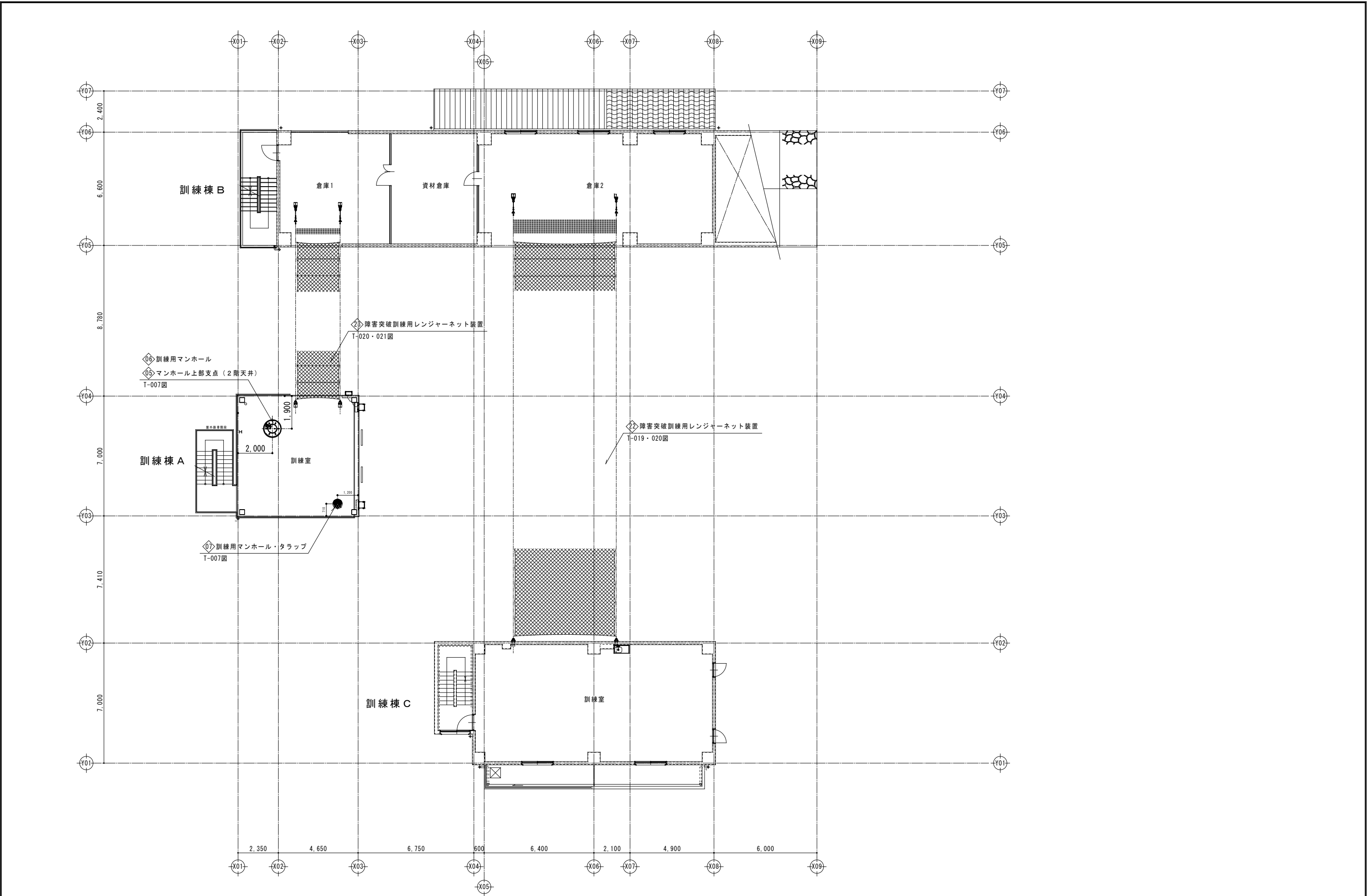
⑧ ストッパー部詳細図 (S=1/12)



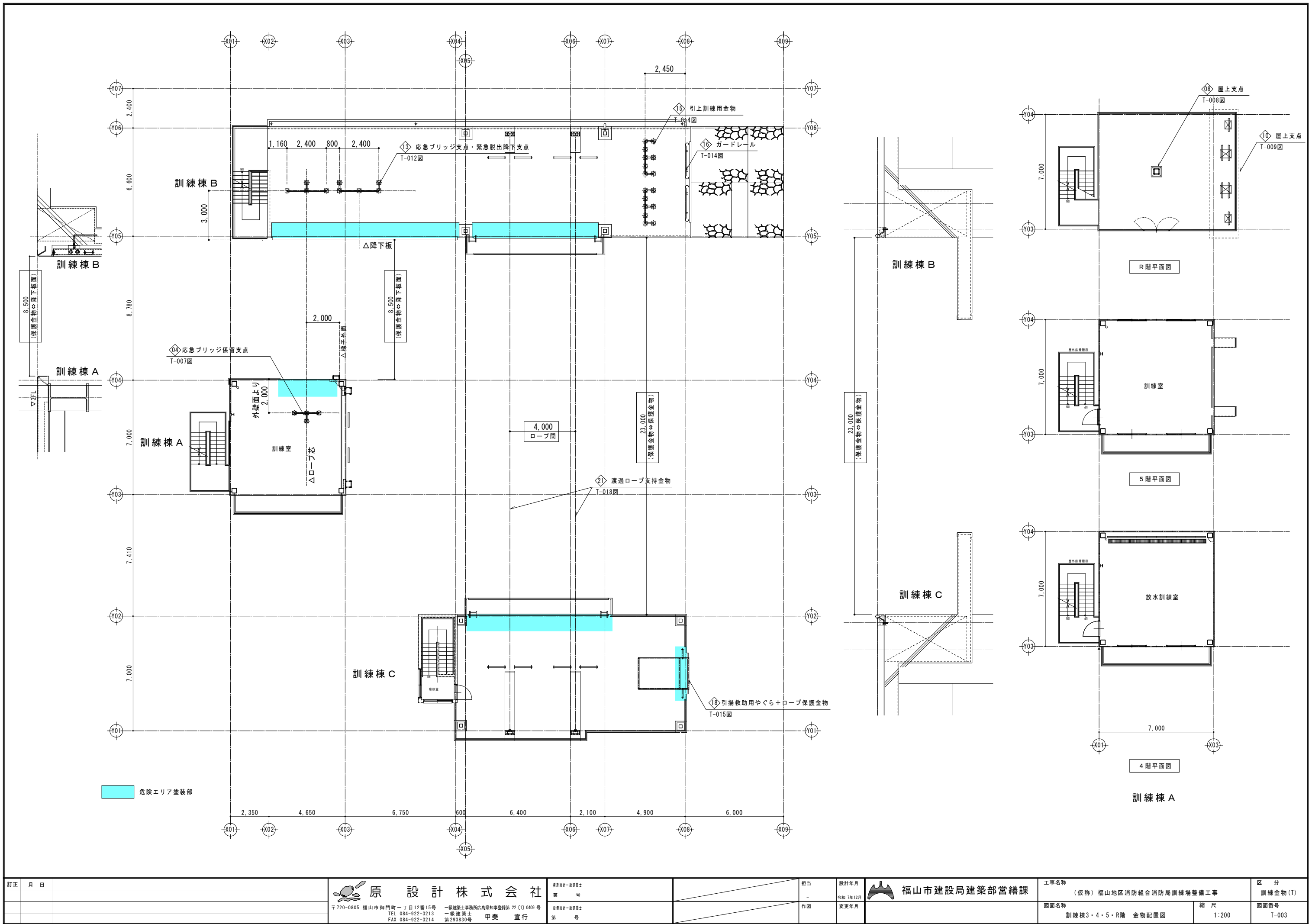
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第 293830 号 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 建築 (A)
				図面設計一級建築士 第 号		作図	変更年月		図面名称 外構詳細図3	縮 尺 1:10 1:12 1:40 1:100	図面番号 A-607



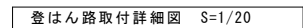
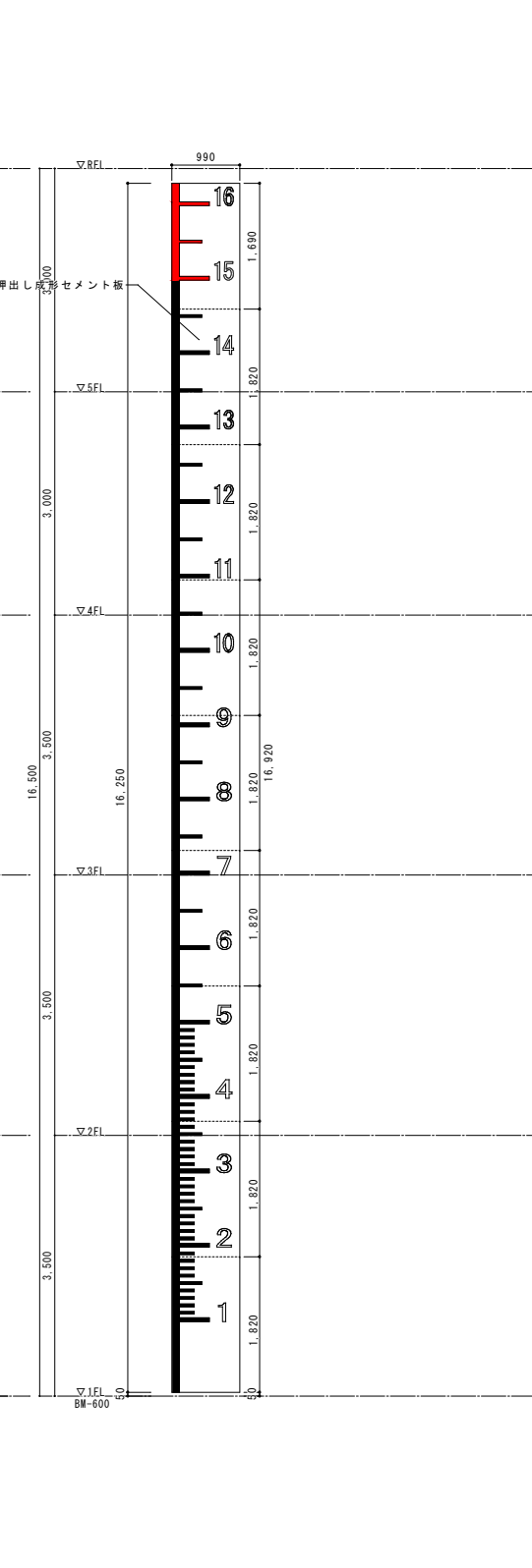
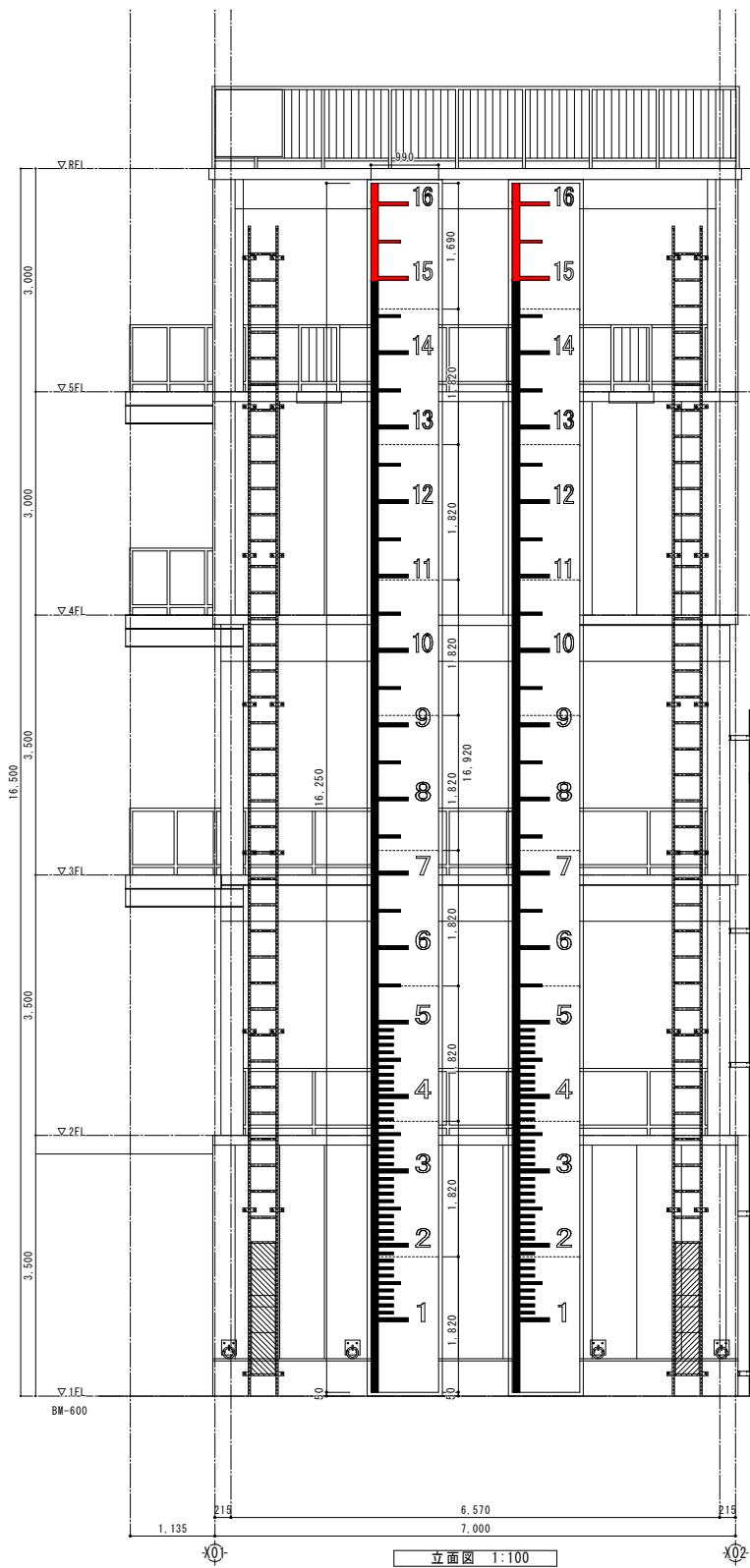
訂正	月	日	原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第 293830 号 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 訓練金物 (T)
				設備設計一級建築士 第 号	作図	変更年月	図面名称 訓練棟1階 金物配置図		縮 尺 1:200	図面番号 T-001	



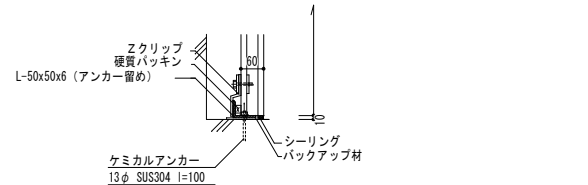
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一般建築士事務所所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一 般 建 築 士 第 293830 号 甲斐 宣行	構造設計一般建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 訓練金物 (T)
				設備設計一般建築士 第 号		作図	変更年月		図面名称 訓練棟2階 金物配置図	縮 尺 1:200	図面番号 T-002



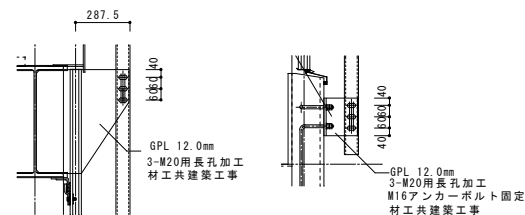
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一級建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 TEL 084-922-3213 一級建築士 甲斐 宣行 FAX 084-922-3214 第293830号	構造設計 - 一般建築士 第 号		担当	設計年月 令和 7 年 12 月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 訓練金物 (T)
				設備設計 - 一般建築士 第 号		作図	変更年月			図面名称 訓練棟3・4・5・R階 金物配置図	縮 尺 1:200



※垂鉛メッキは溶融垂鉛メッキ
厚1.6以上 HDZ 35
厚3.2以上 HDZ 45

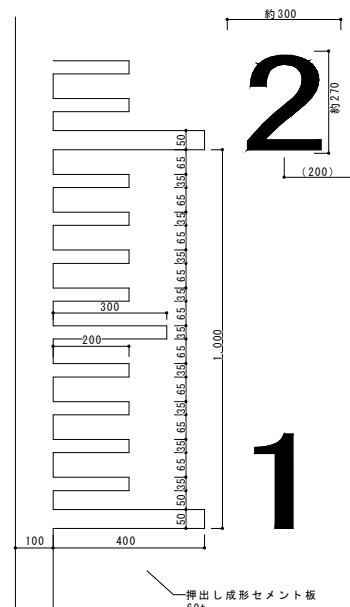


登はん路取付詳細図 S=1/20

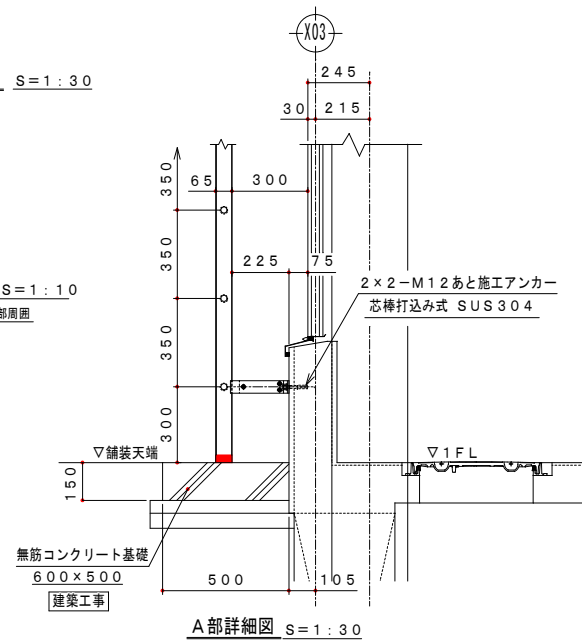
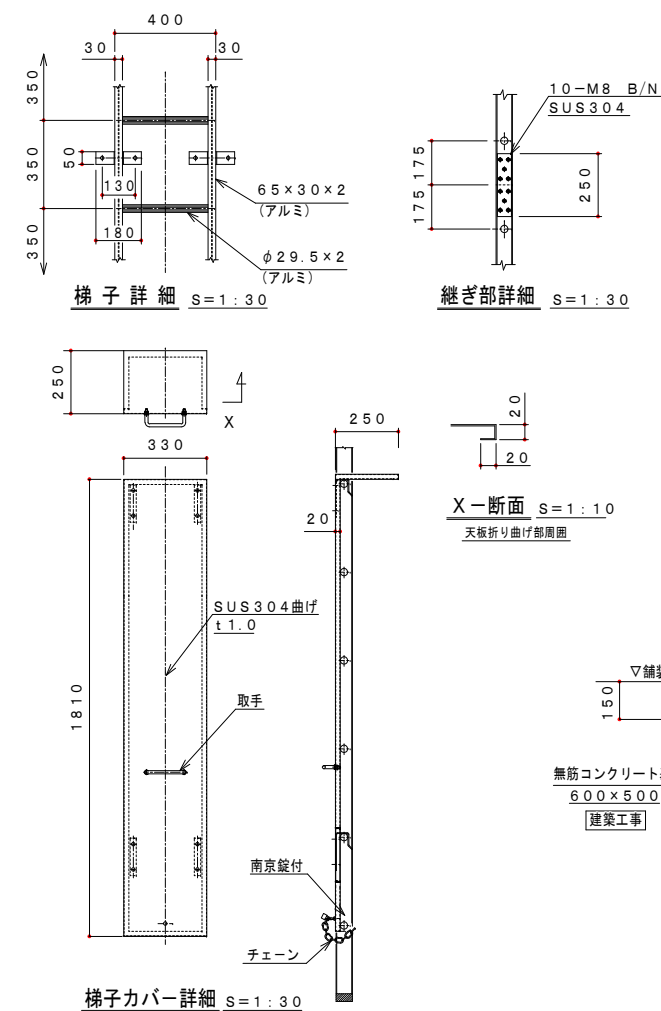
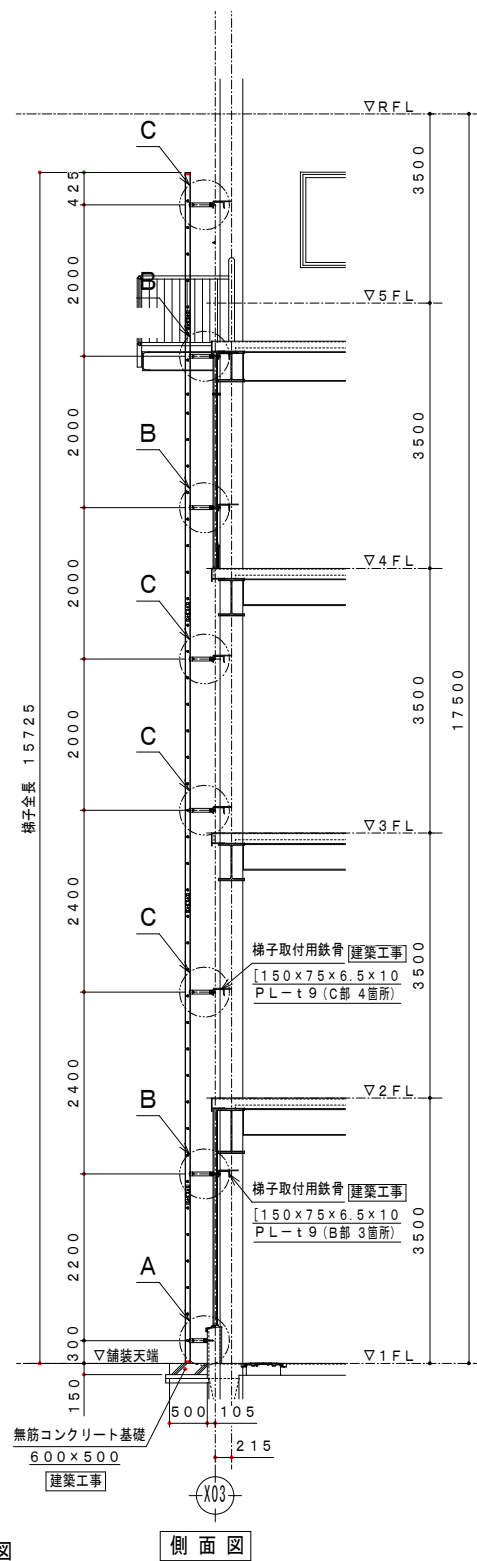
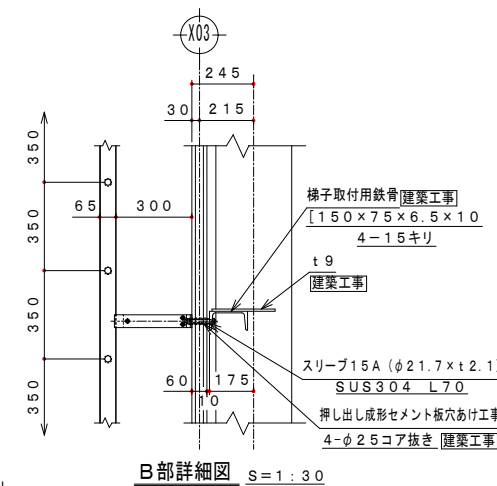
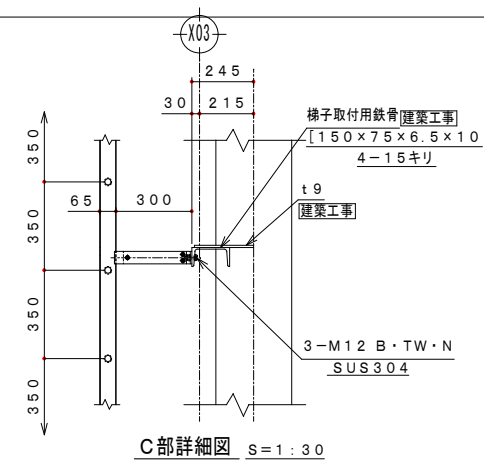


A 詳細図 S=1:40

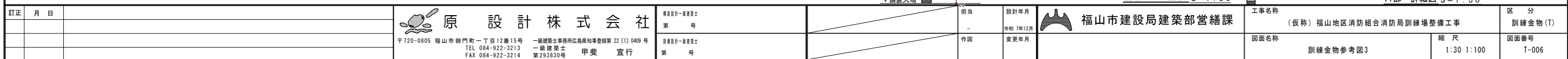
B 詳細図 S=1:40

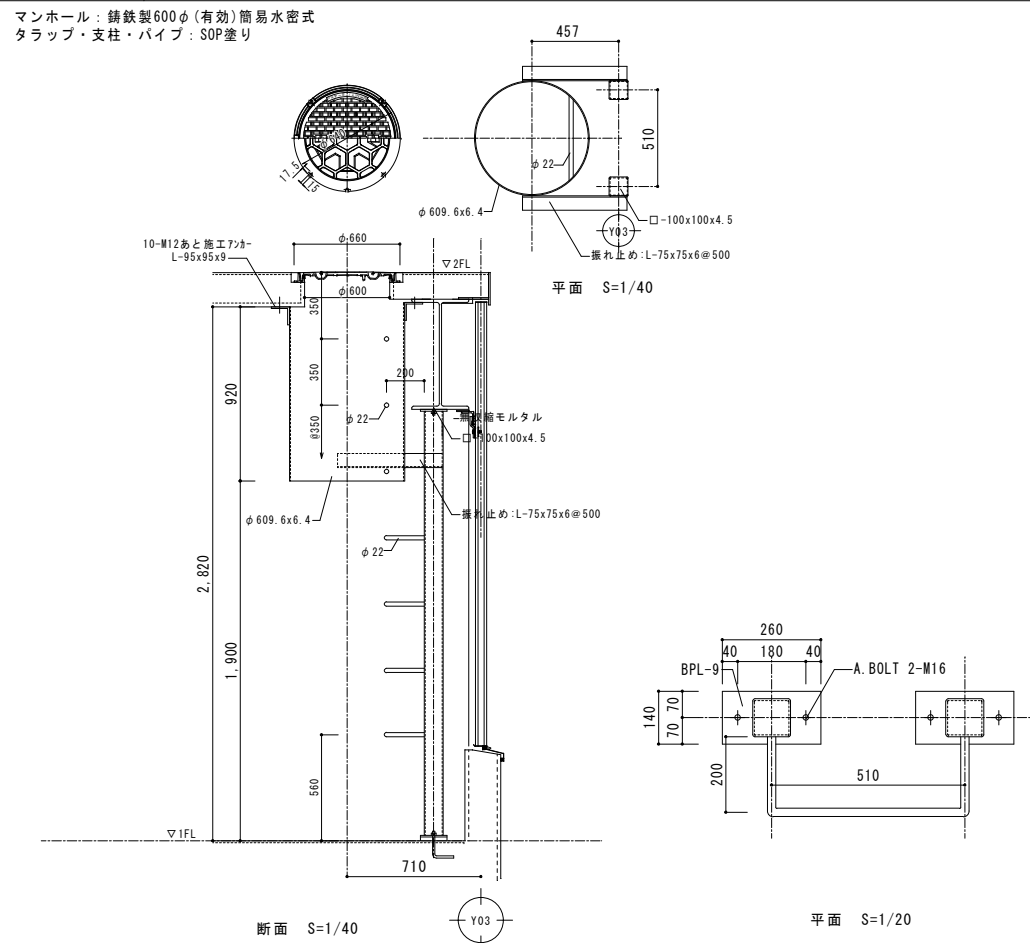
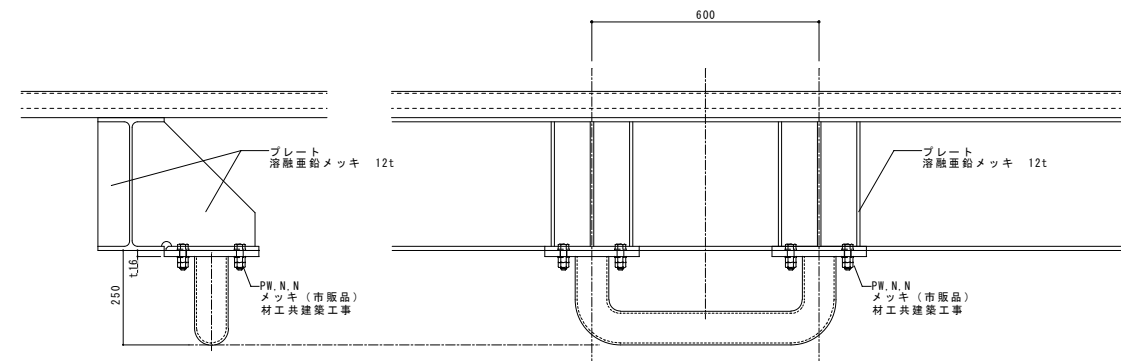


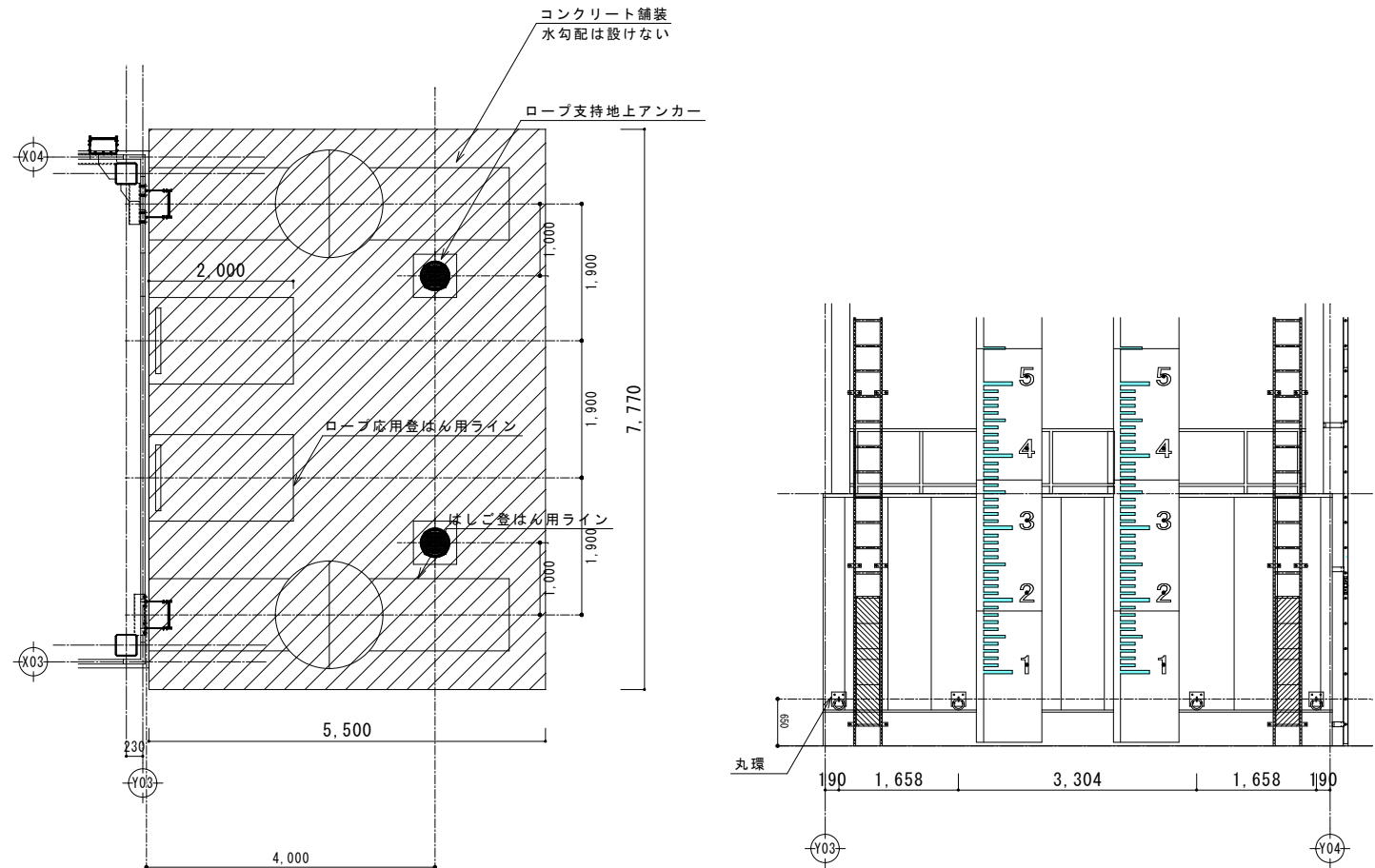
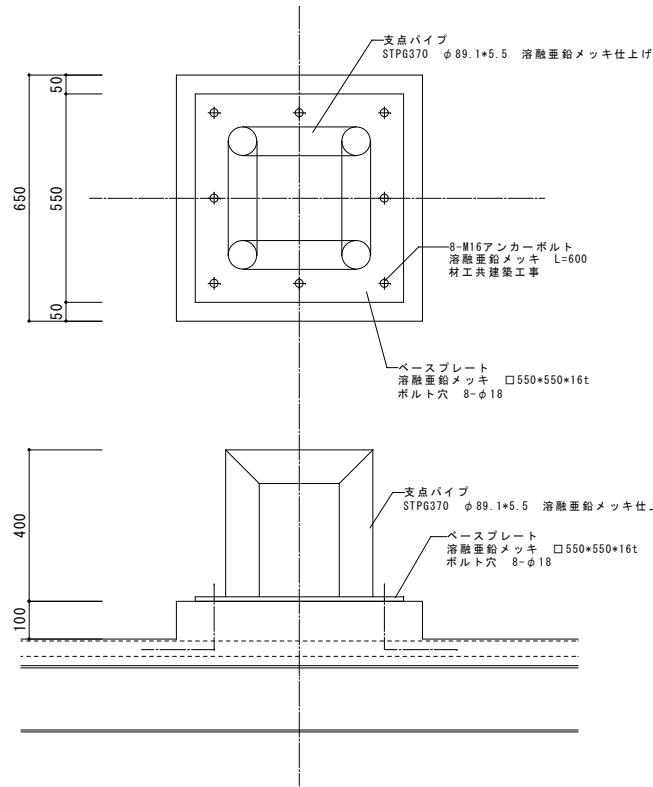
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市 御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号	 福山市建設局建築部営繕課	担当 -	設計年月 令和 7年12月	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事	区 分 訓練金物(T)
				設備設計一級建築士 第 号		作図 変更年月	図面名称 訓練金物参考図1	縮 尺 1: 100	図面番号 T-004



訂 正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 [1] 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行 第 293830 号	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 訓練金物 (T)
				設備設計一級建築士 第 号		作図 変更年月			図面名称 訓練金物参考図2	縮 尺 1:30 1:100	図面番号 T-005

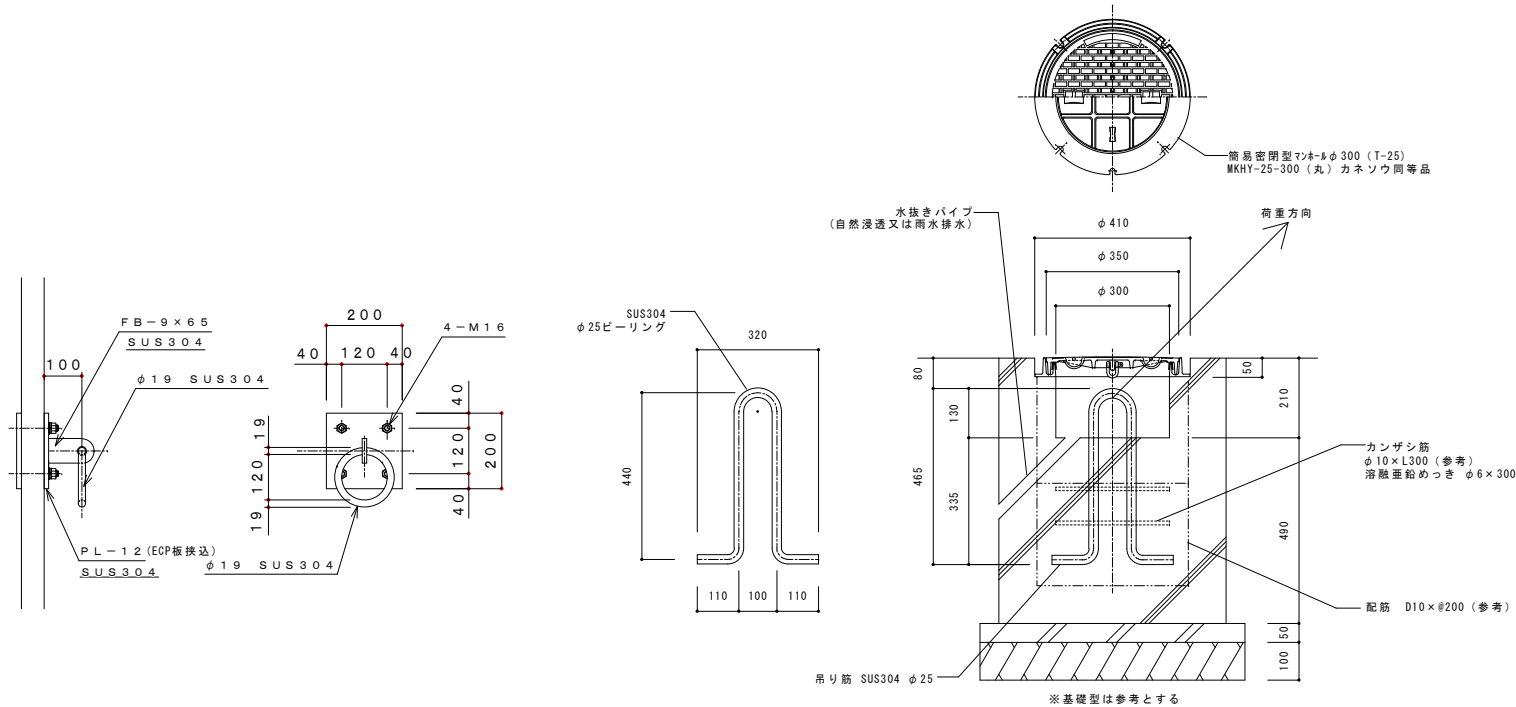






1階平面図 1:100

正面図 1:100

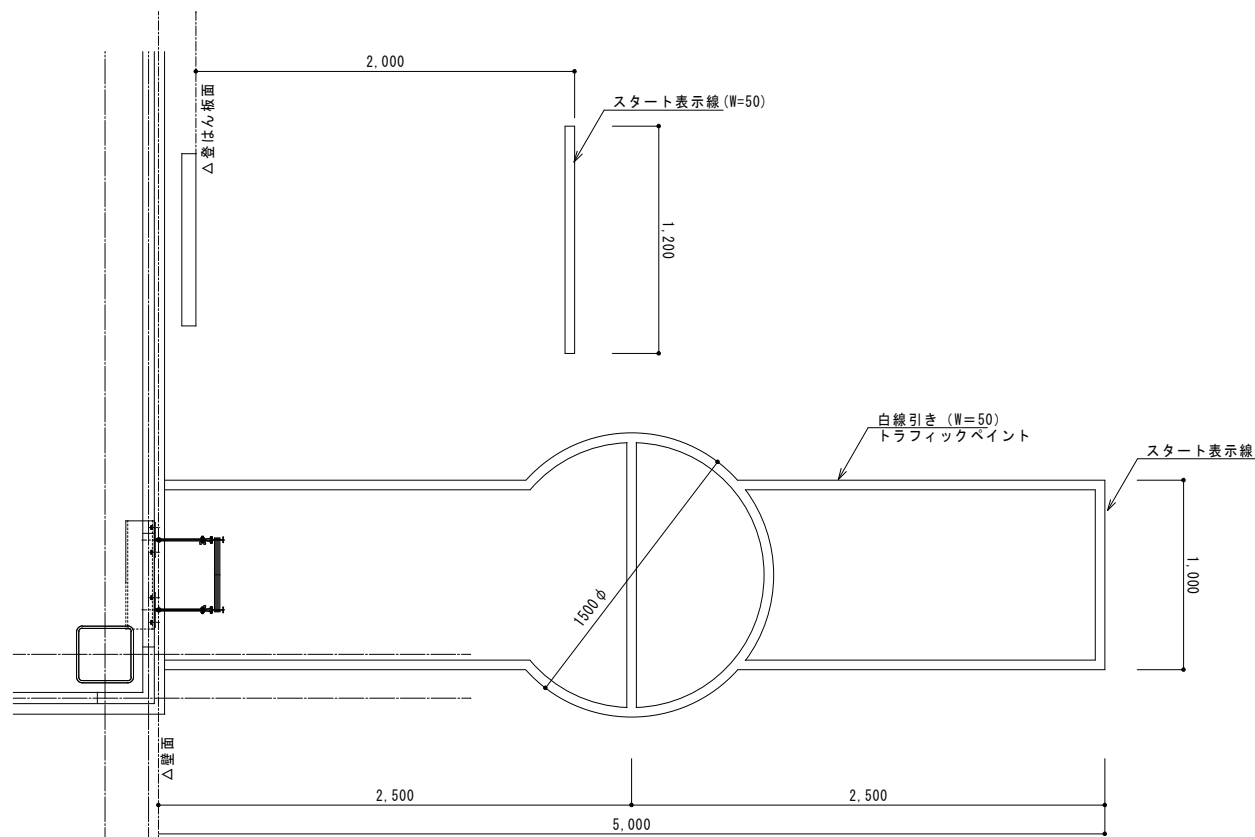


丸環 詳細図

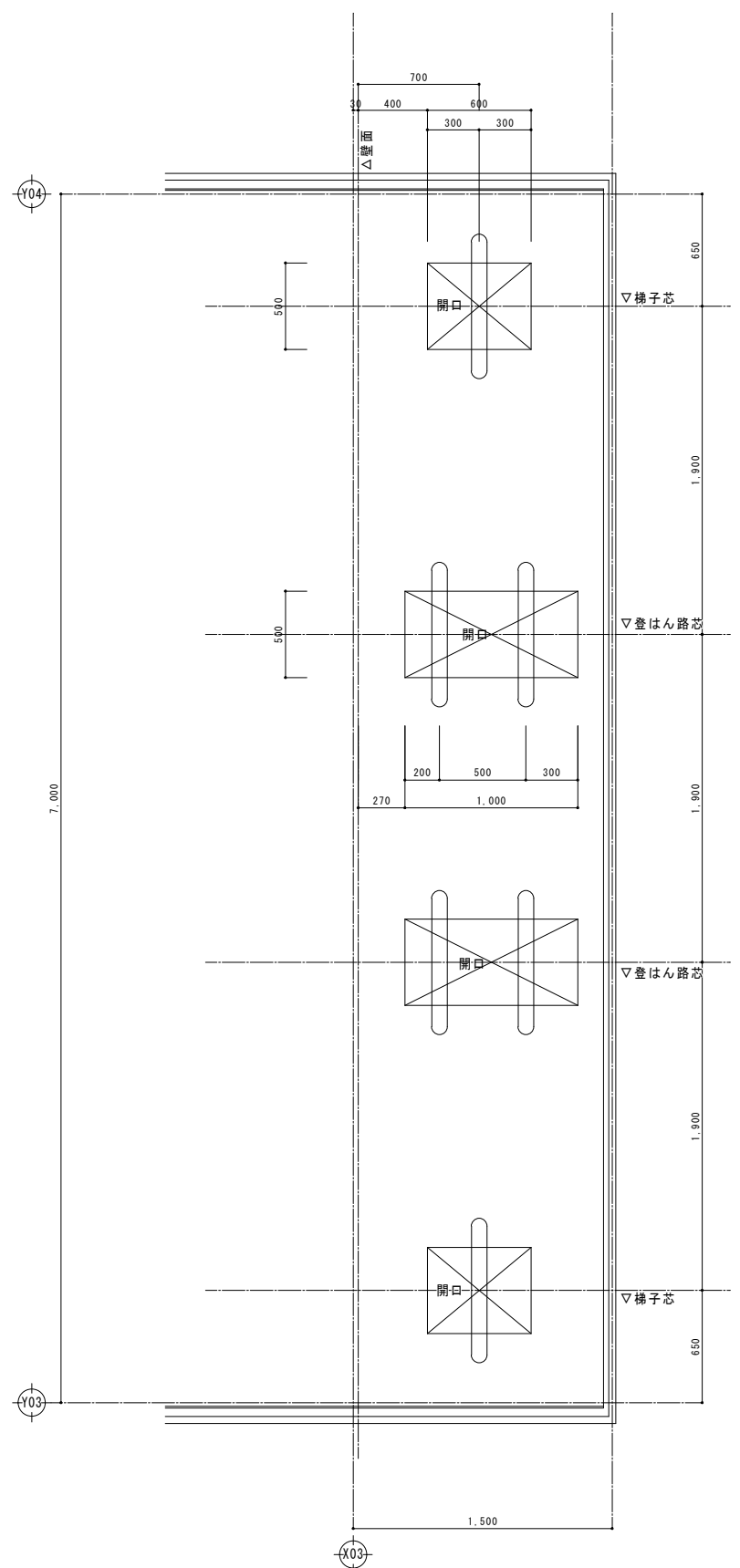
4か所

ロープ支持地上アンカー詳細図

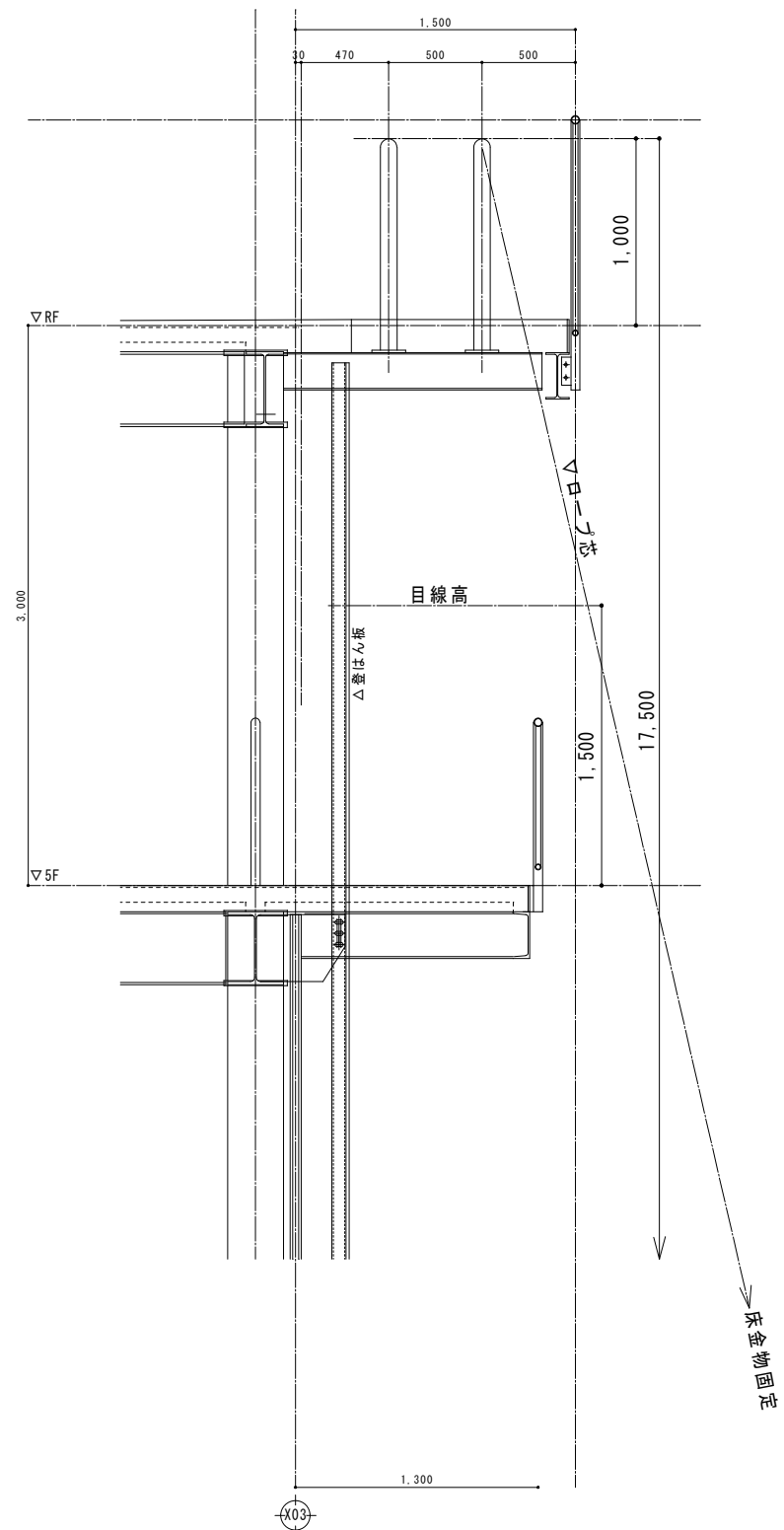
2か所



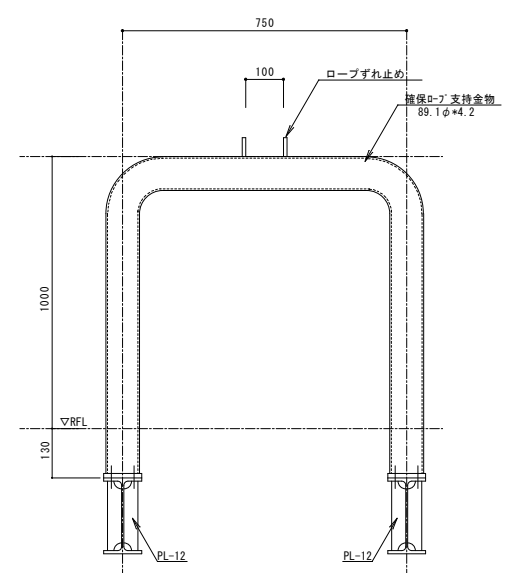
地上ライン詳細図 1/40



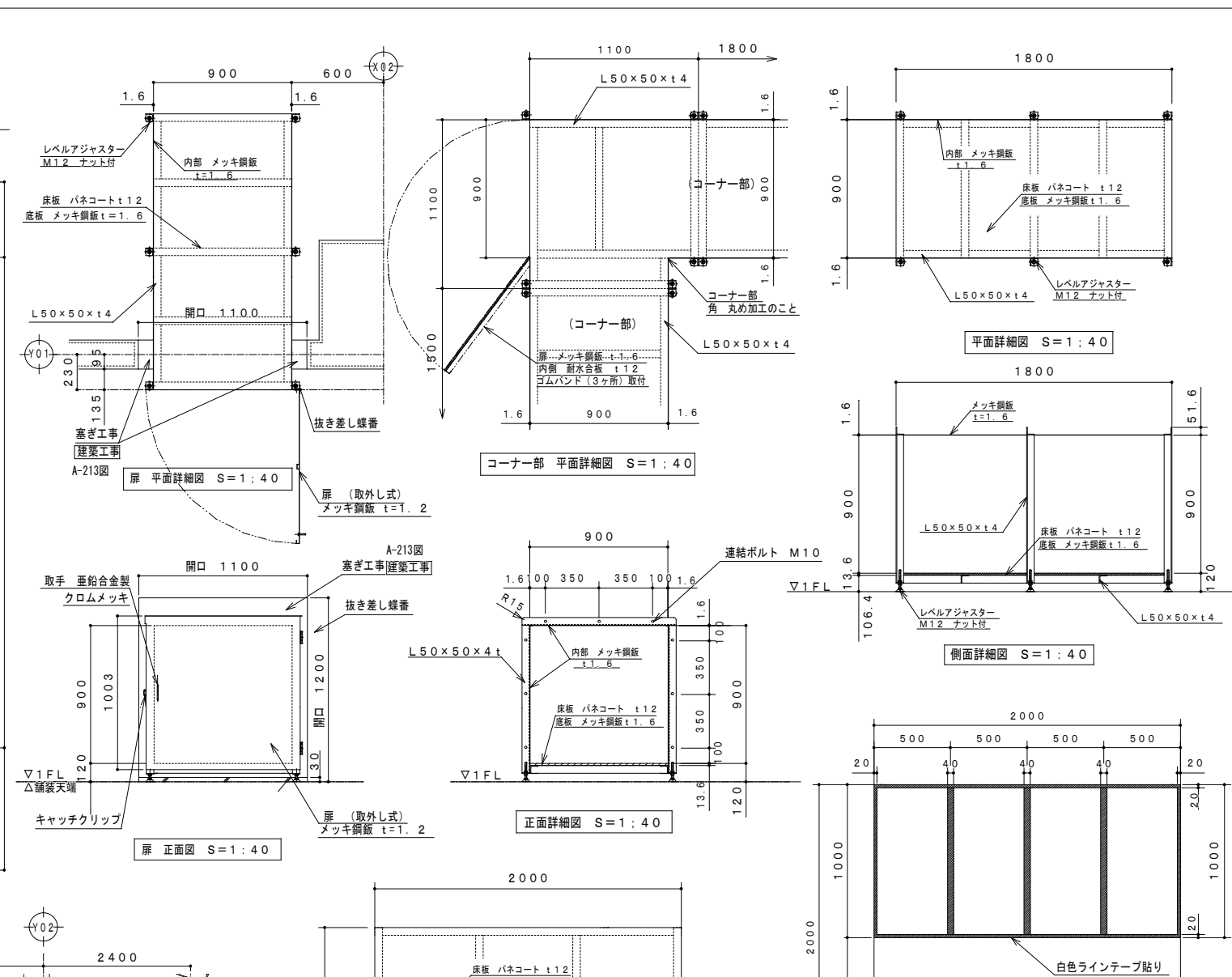
A 棟 屋上ステージ平面図 1:40



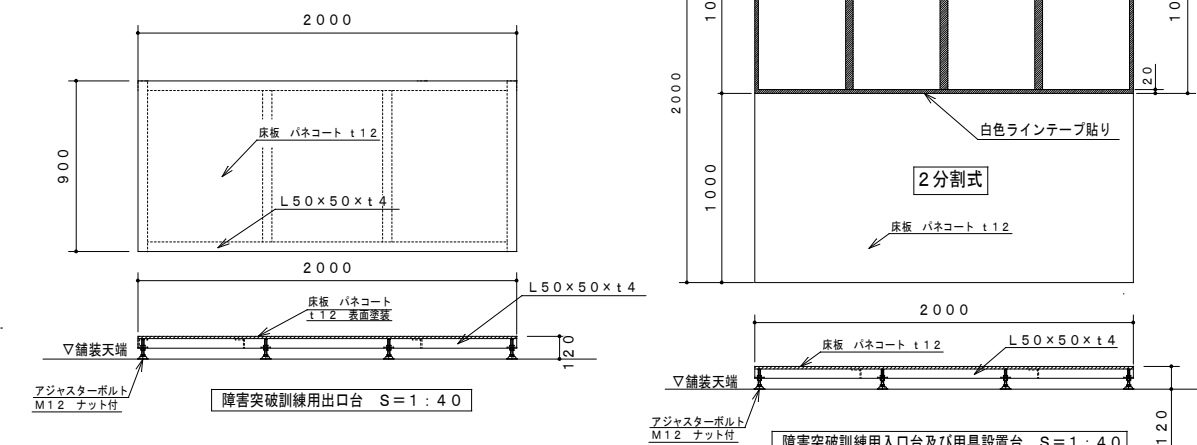
A 棟 屋上ステージ断面図 1:40



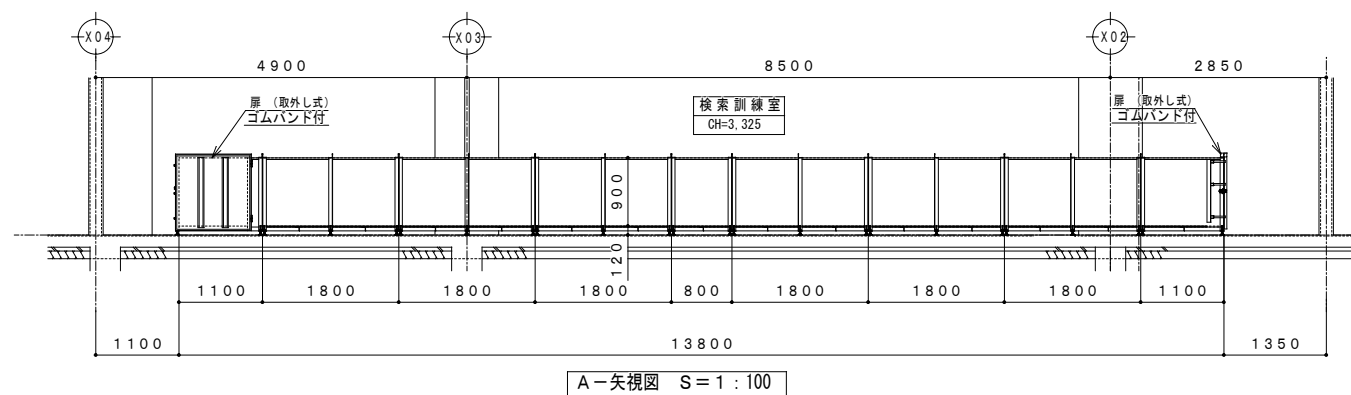
金物詳細図 1:20



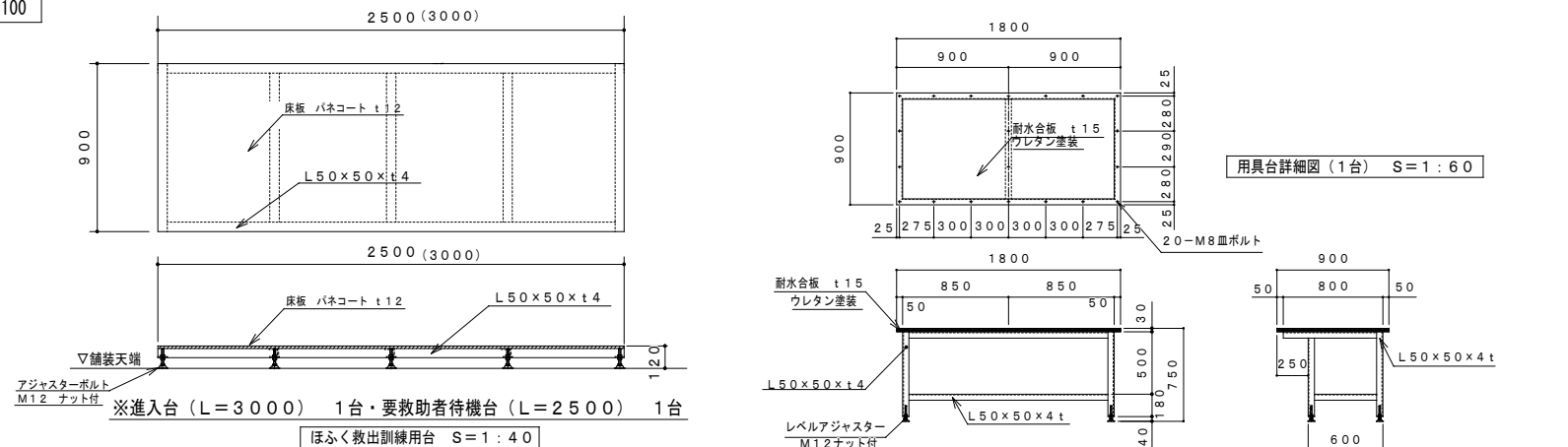
	材 質・材 料	仕 上
本体 骨格	L 50×50×t 4	粉体焼付塗装
本体 天板	メッキ鋼板 t 1.6	外部 粉体焼付塗装 内部 生地のまま
本体 側板	メッキ鋼板 t 1.6	外部 粉体焼付塗装 内部 生地のまま
本体 床	メッキ鋼板 t 1.6	外部 粉体焼付塗装
	パネコート t 12	内部 生地のまま
扉 (突き当たり部 扉)	メッキ鋼板 t 1.6 耐水合板 t 12	外部メッキ鋼板 粉体焼付塗装 ゴムバンド (3ヶ所) 付 内部耐水合板 生地のまま



B-矢视图 S = 1 : 100

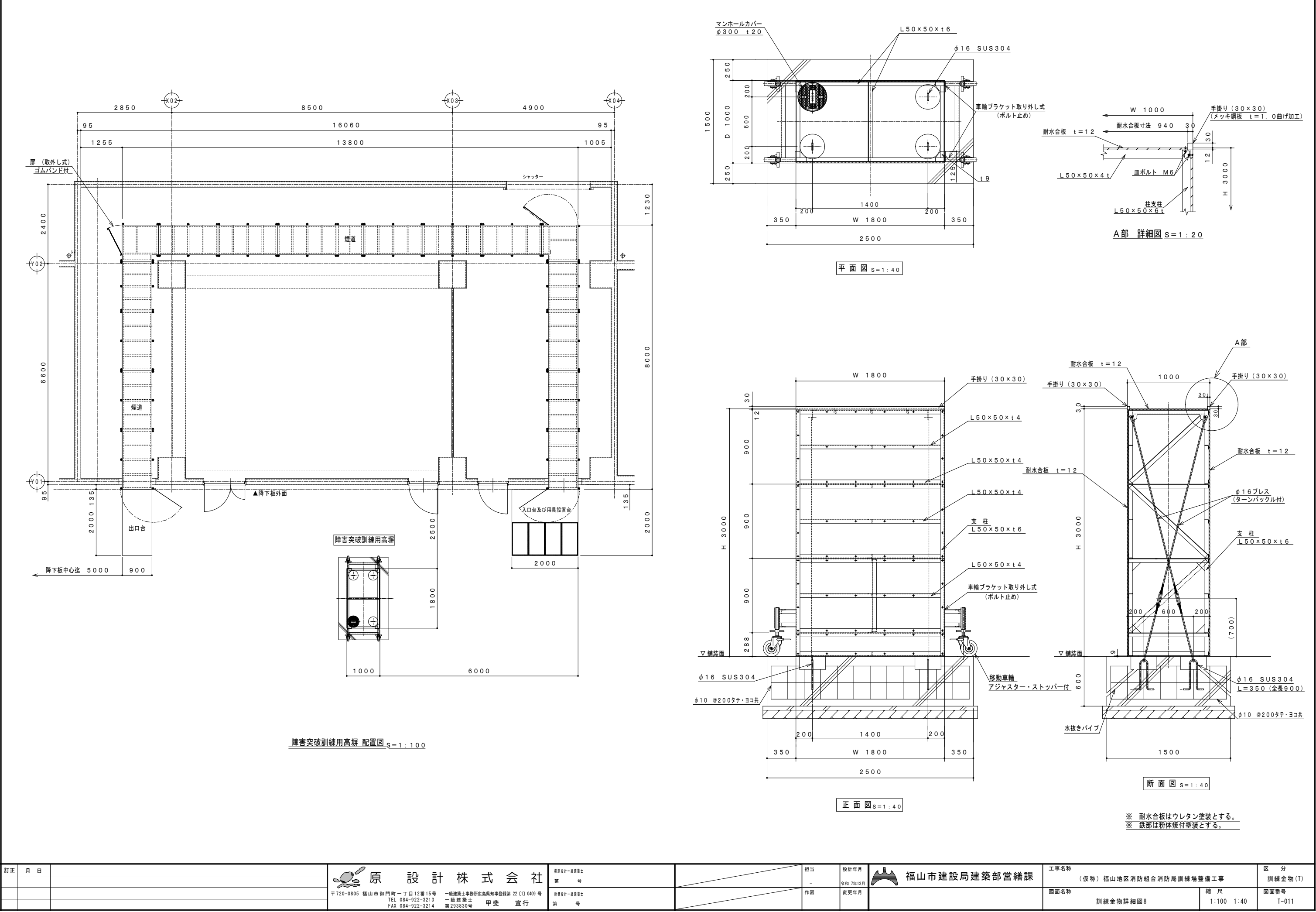


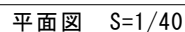
A—矢視図 S = 1 : 100



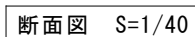
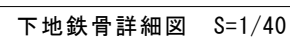
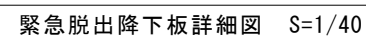
用具台詳細図 (1台) S=1:60

訂 正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (I) 0409 号 TEL 084-922-3213 一級建築士 甲斐 宣行 FAX 084-922-3214	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 訓練金物 (T)
				設備設計一級建築士 第 号		作図	変更年月		図面名称 訓練金物詳細図7	縮 尺 1:100 1:40	図面番号 T-010



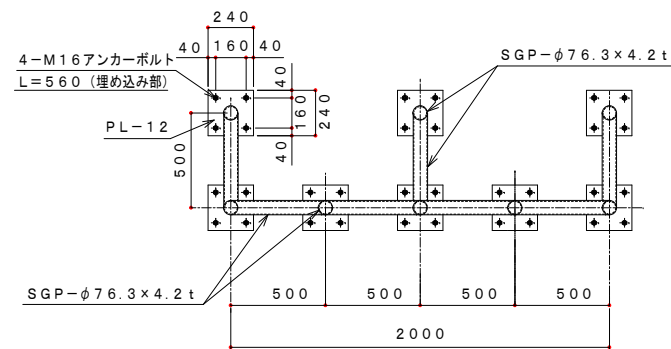


訂 月 日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 [1] 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当	設計年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称		区 分	
				-	令和 7年12月		(仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		訓練金物(T)	
			設備設計一級建築士 第 号		作図		変更年月	図面名称	縮 尺	図面番号
								訓練金物詳細図9	1: 40	T-012

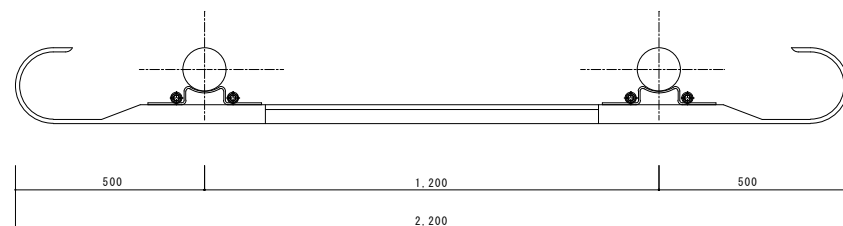
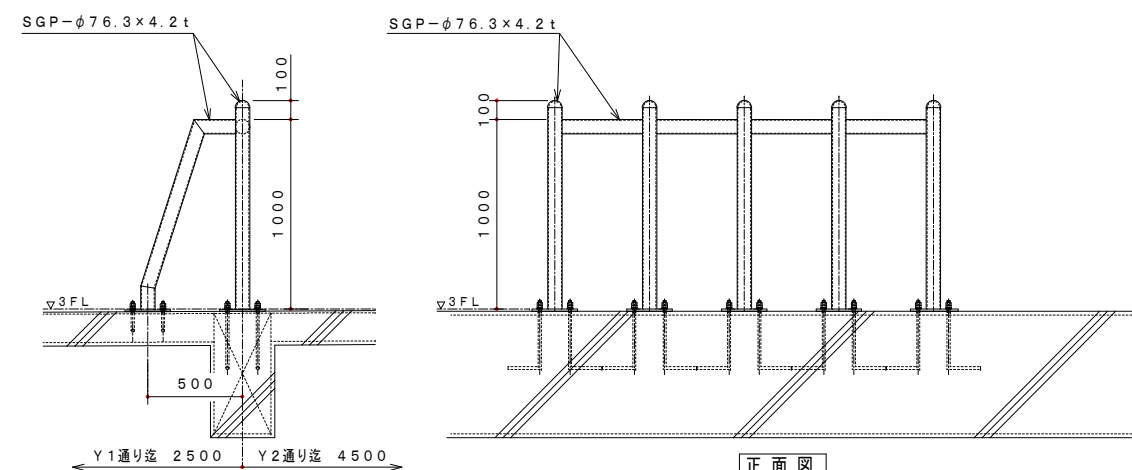


訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 [1] 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行 第 293830 号	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 訓練金物 (T)
				図面設計一級建築士 第 号		作図	変更年月		図面名称 訓練金物詳細図10	縮 尺 1: 40	図面番号 T-013

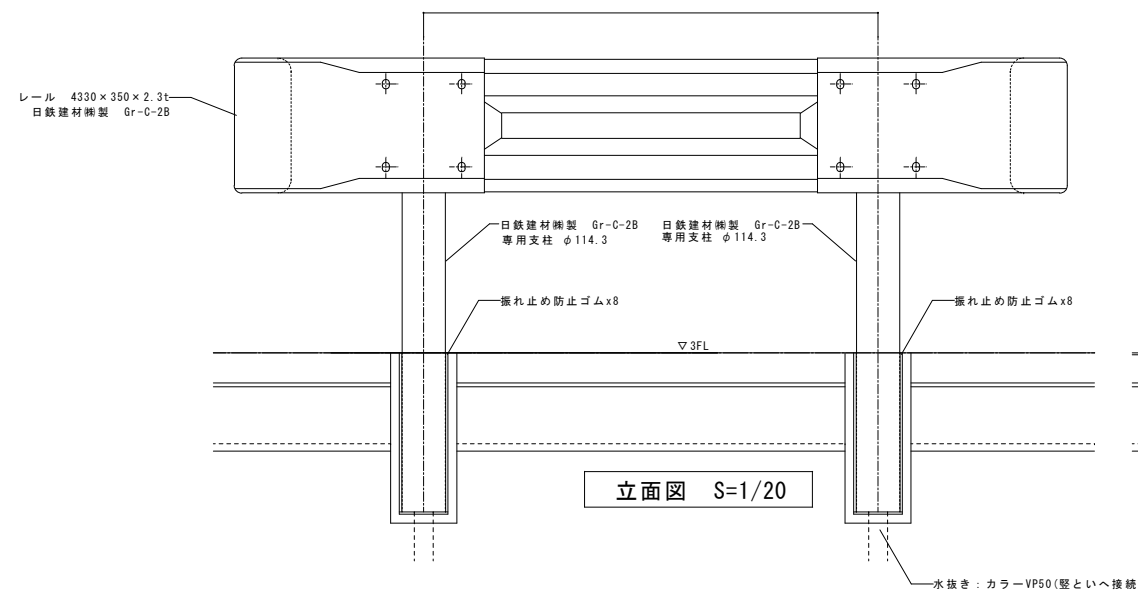
※設置箇所 訓練塔3階：1箇所
・耐荷重 1,000kg
・溶融亜鉛メッキ処理

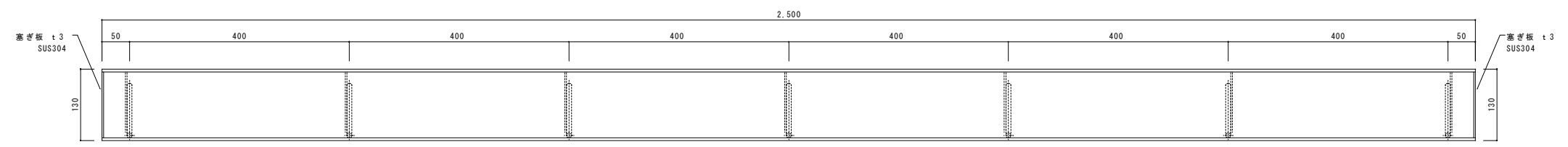
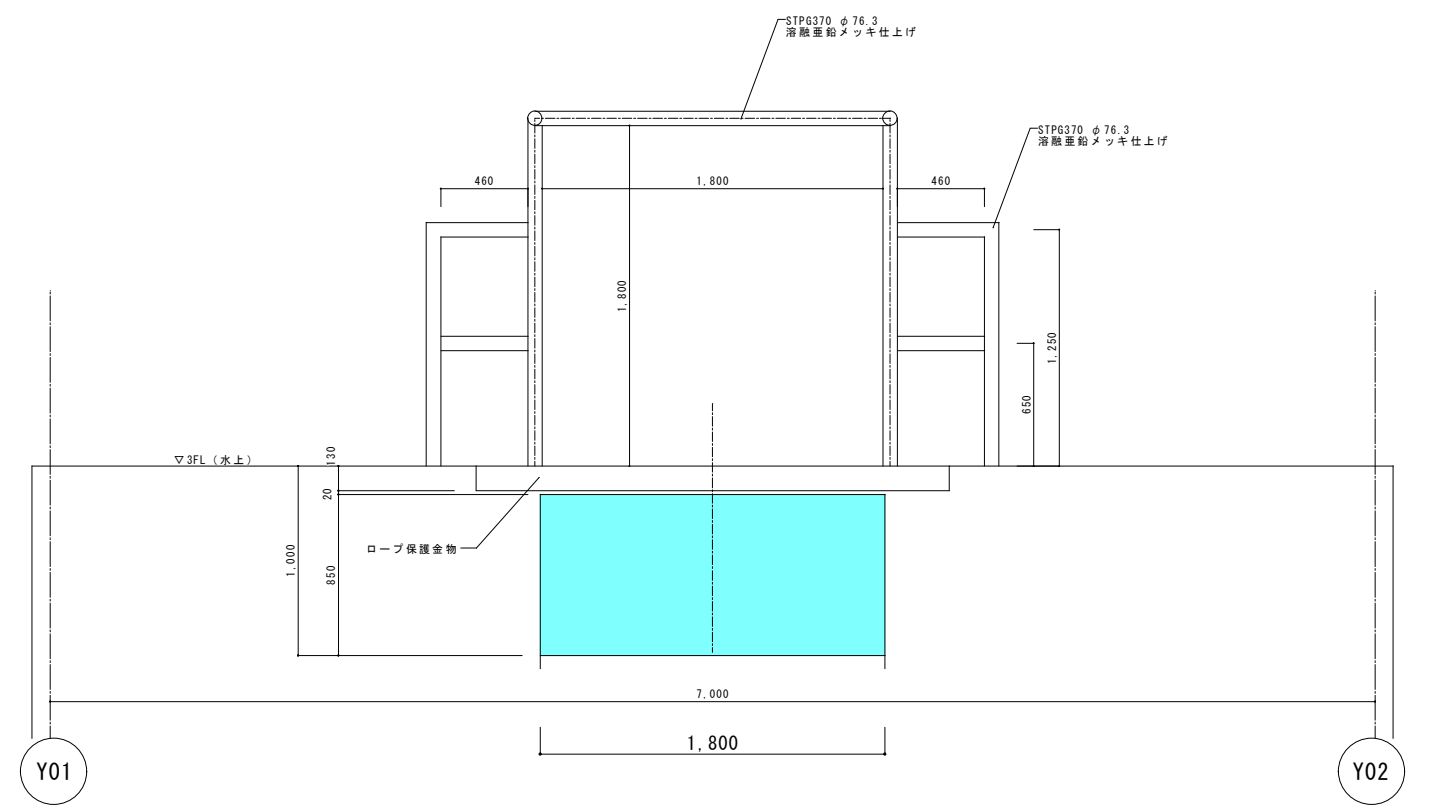
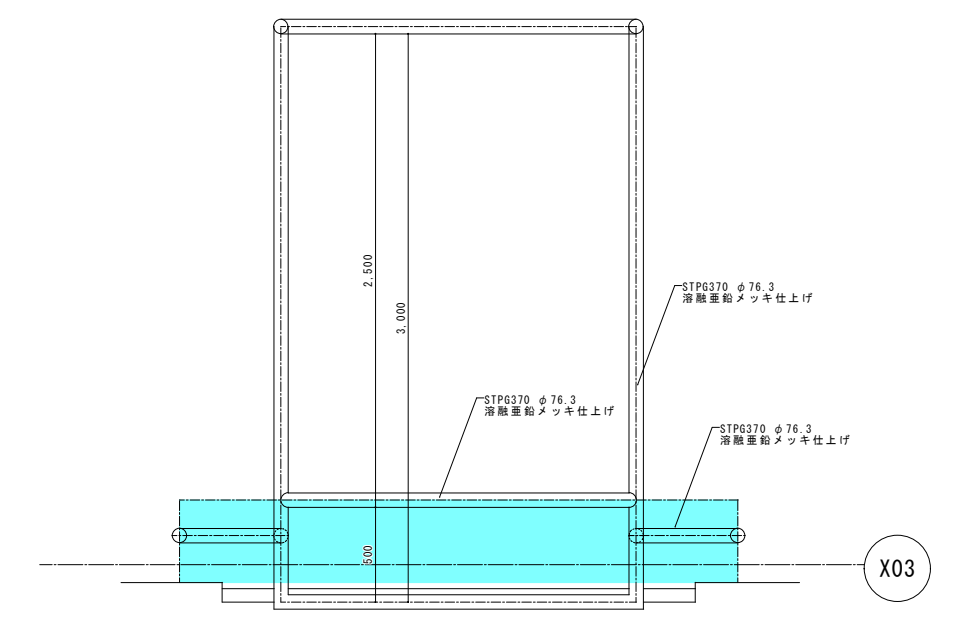
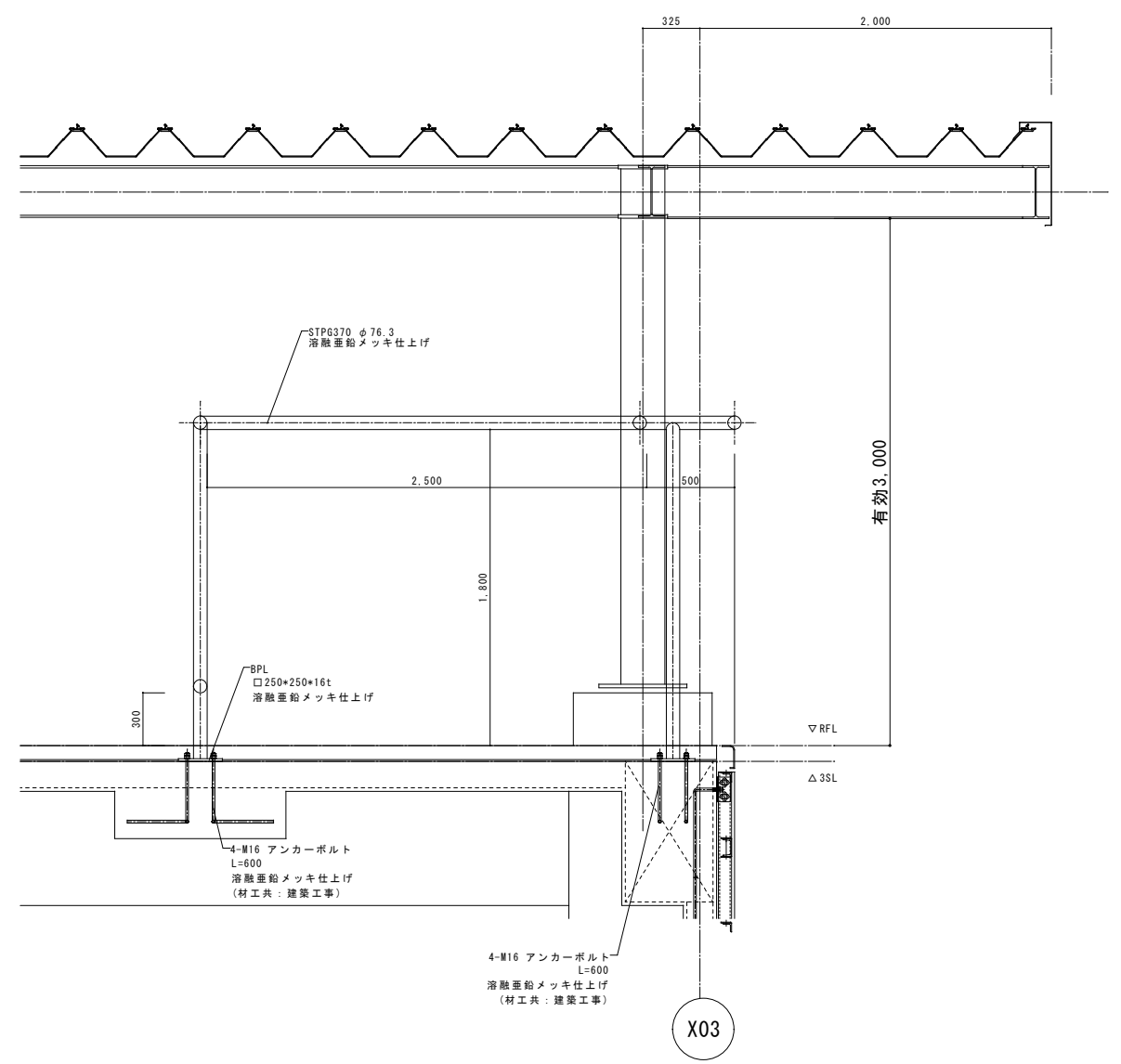


平面图

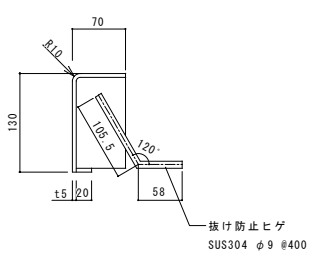


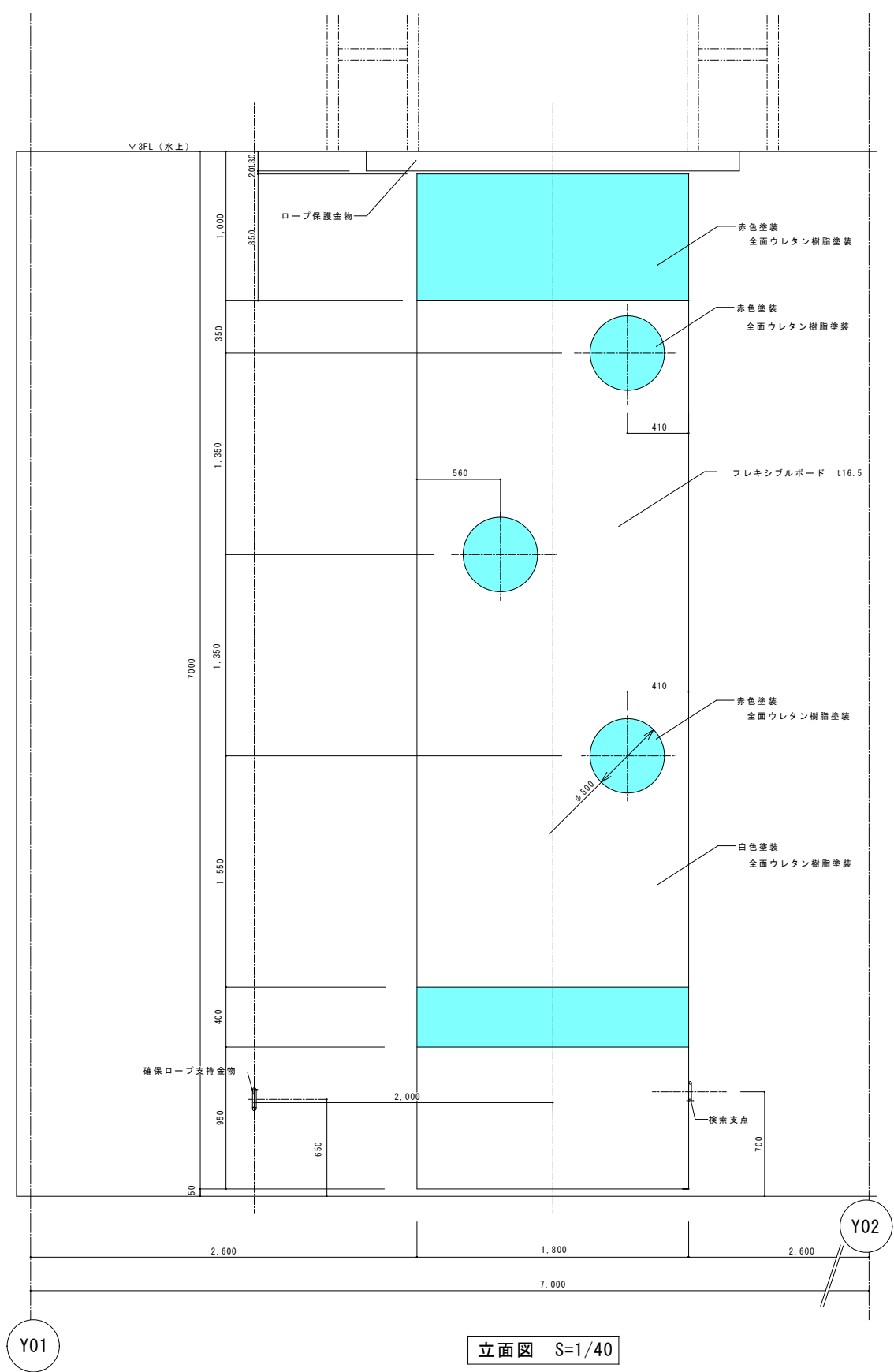
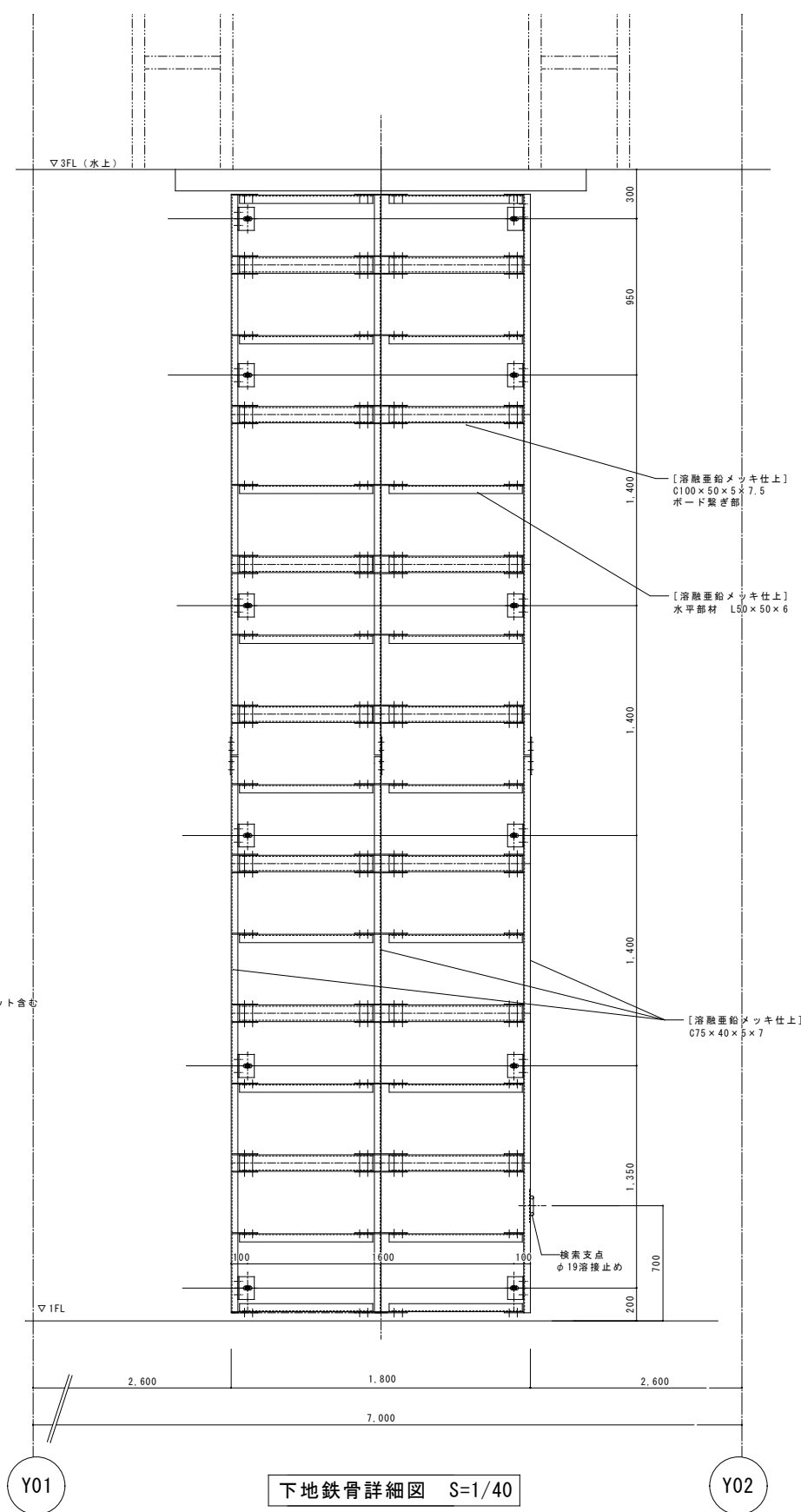
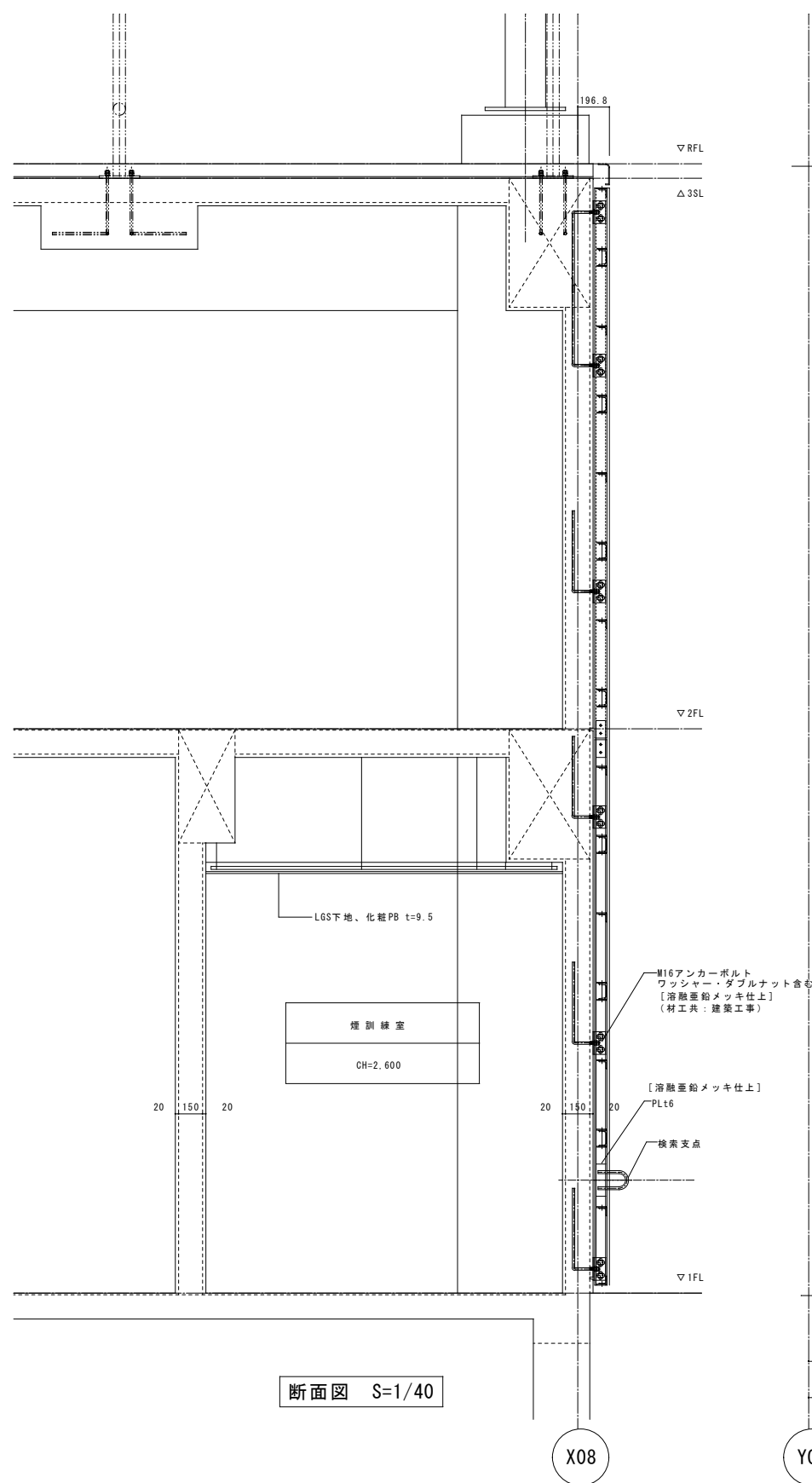
平面図 S=1/20



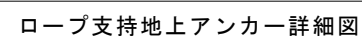
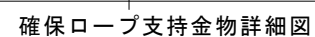
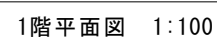


ロープ保護金物 S=1/10



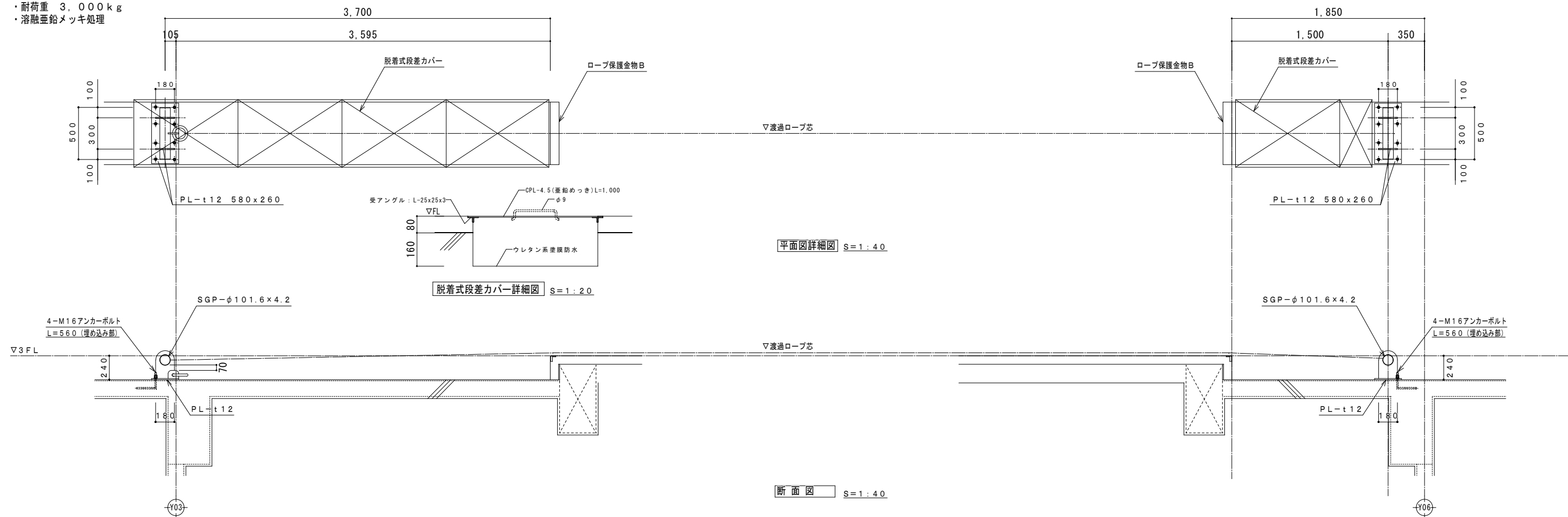


訂 月 日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行	構造設計-一般建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 訓練金物 (T)
		設備設計-一般建築士 第 号		作図 変更年月			図面名称 訓練金物参考図13	縮 尺 1: 40	図面番号 T-016

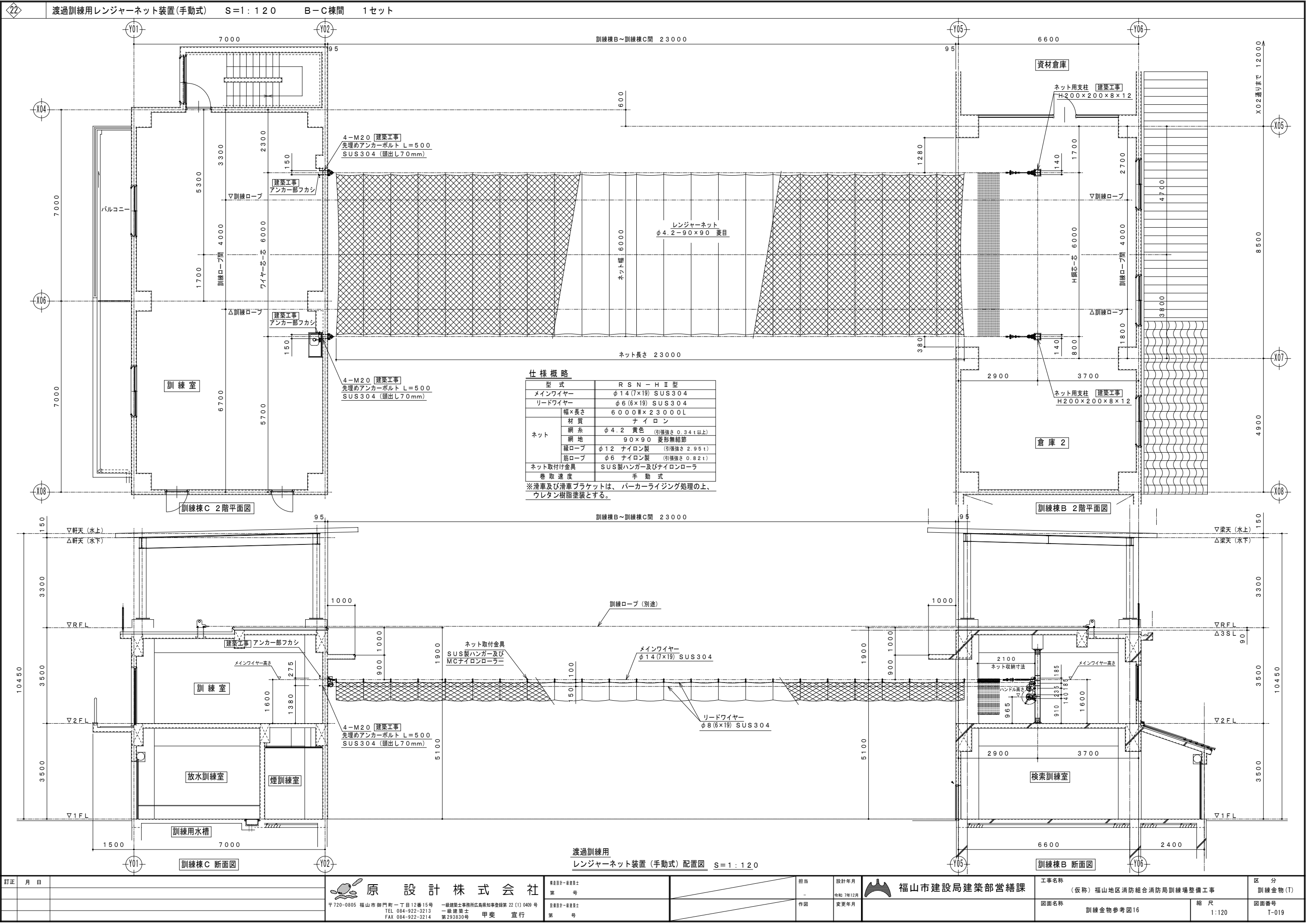


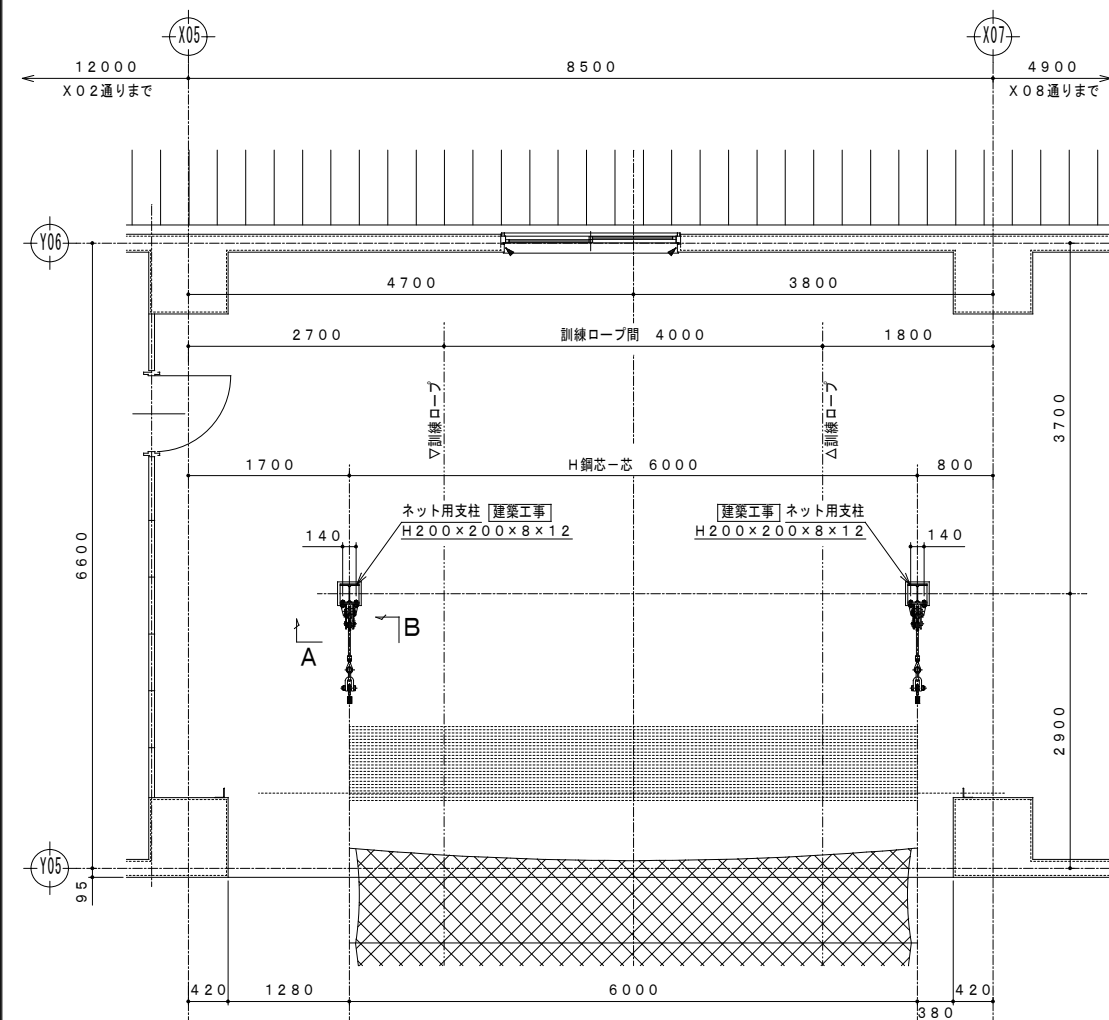
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島知事登録第22(1)0409号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行	構造設計 - 級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 訓練金物(T)
				図面設計 - 級建築士 第 号		作図 変更年月			図面名称 訓練金物参考図14	縮 尺 1:10 1:100	図面番号 T-017

- ・耐荷重 3,000 kg
- ・溶融亜鉛メッキ処理

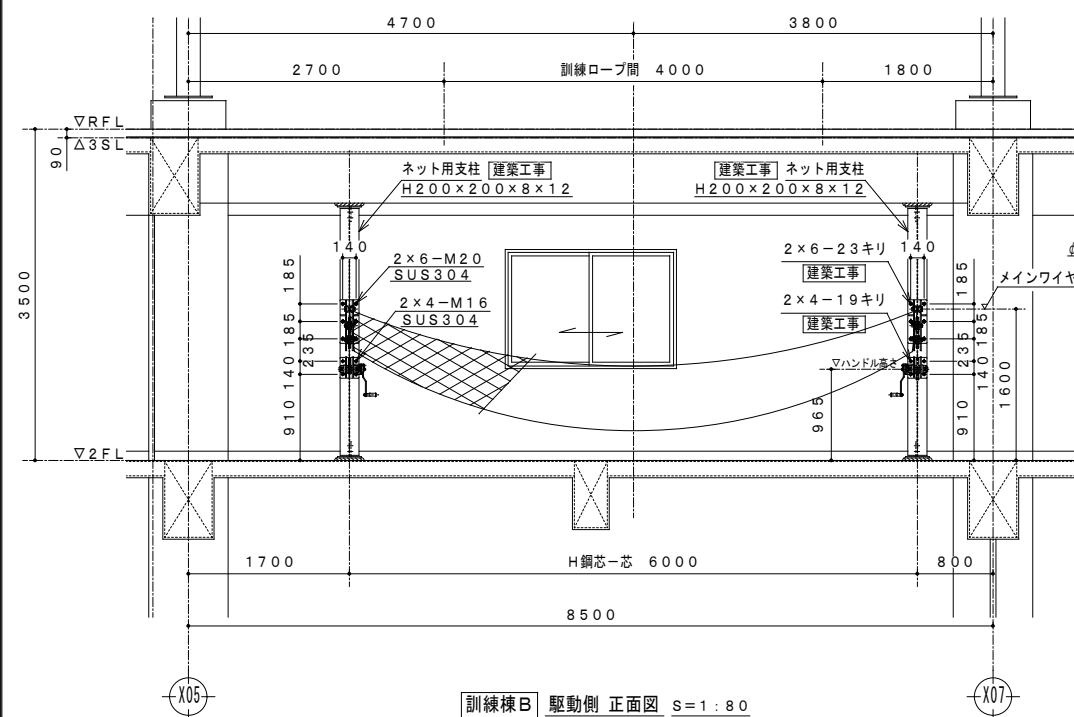


訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0408 号 一級建築士 甲斐 宣行	構造設計-一般建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 訓練金物(T)
				図構設計-一般建築士 第 号	作図	変更年月	図面名称 訓練金物参考図15		縮 尺 1:40 1:100	図面番号 T-018	

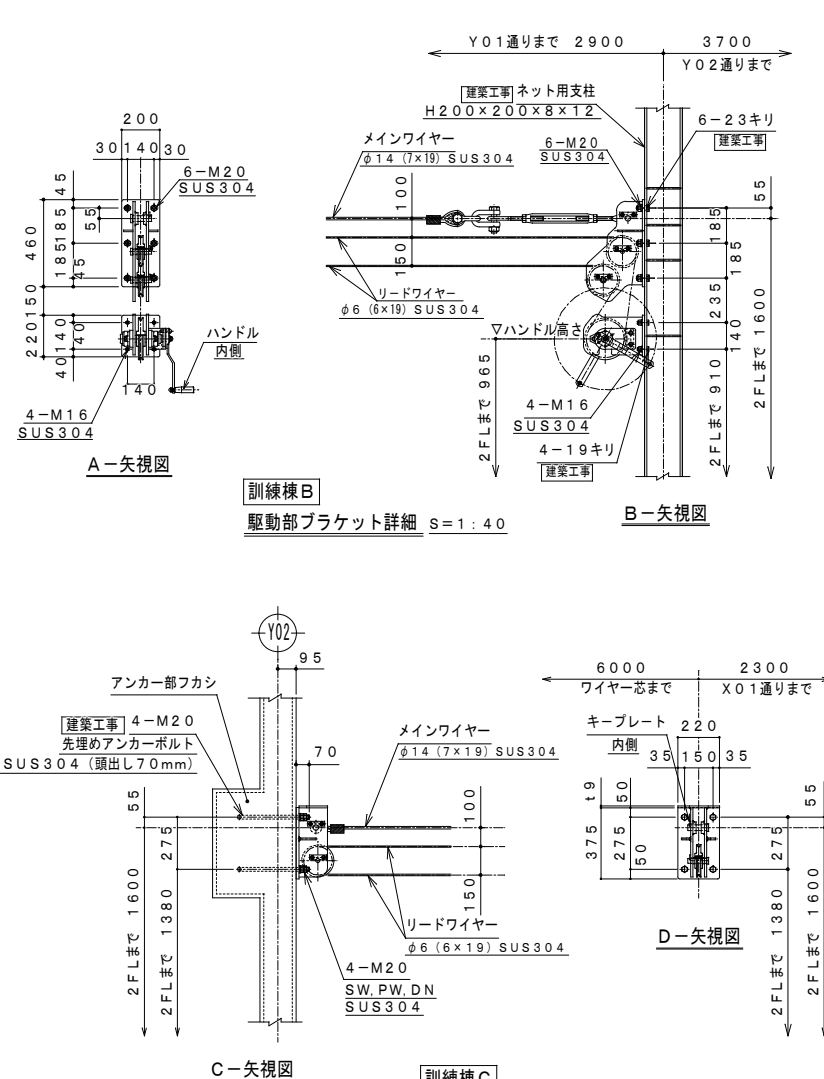




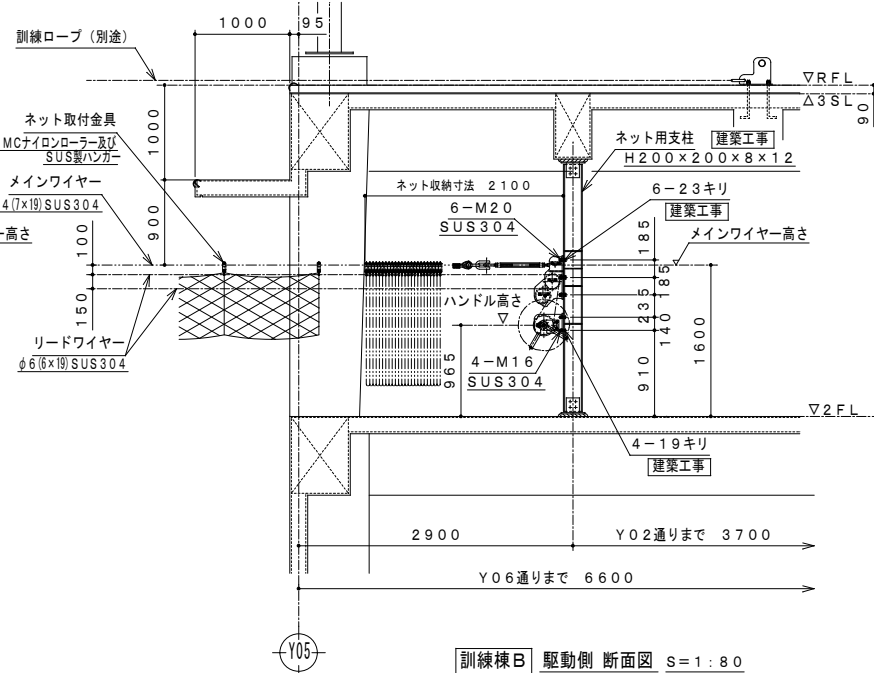
訓練棟B 駆動側 平面図 S=1:80



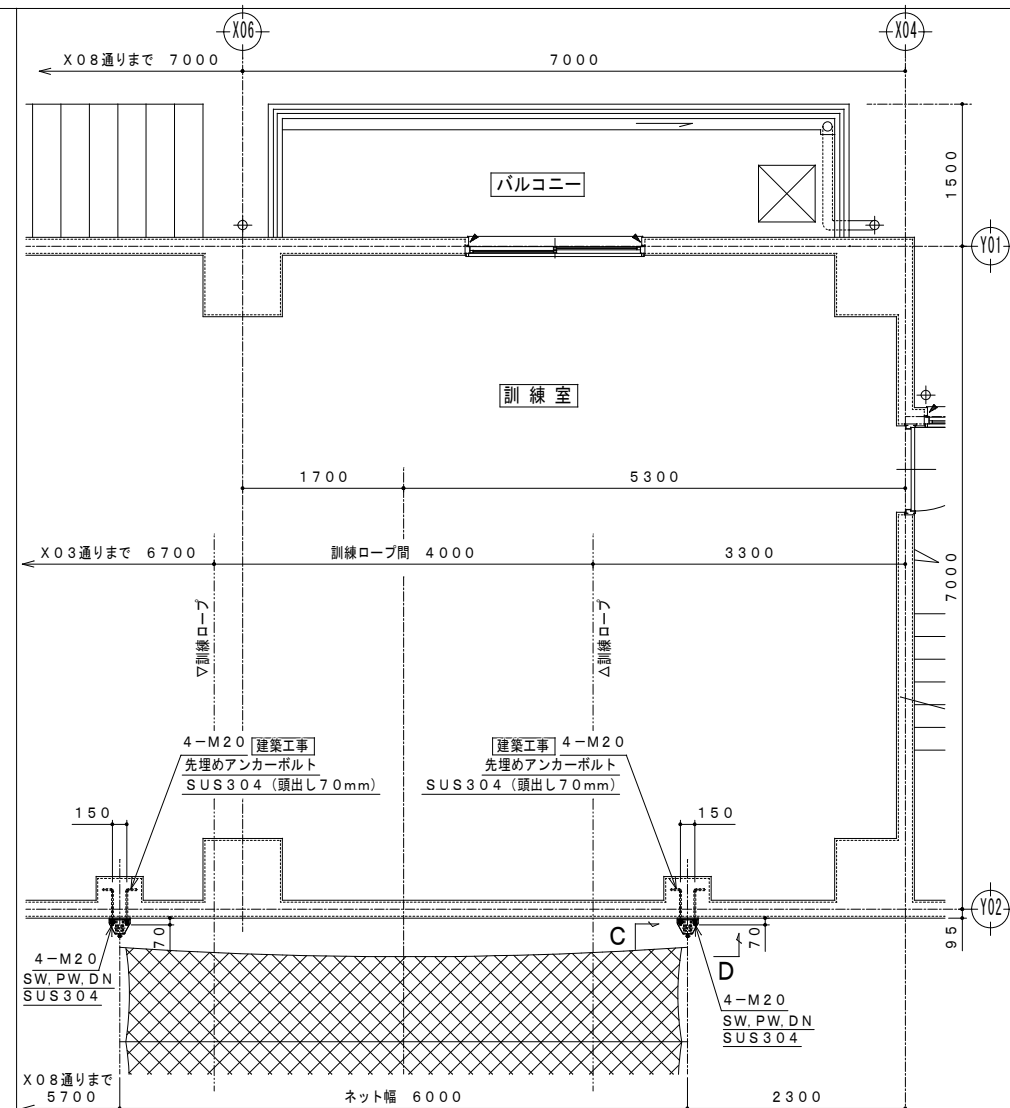
訓練棟B 駆動側 正面図 S=1:80



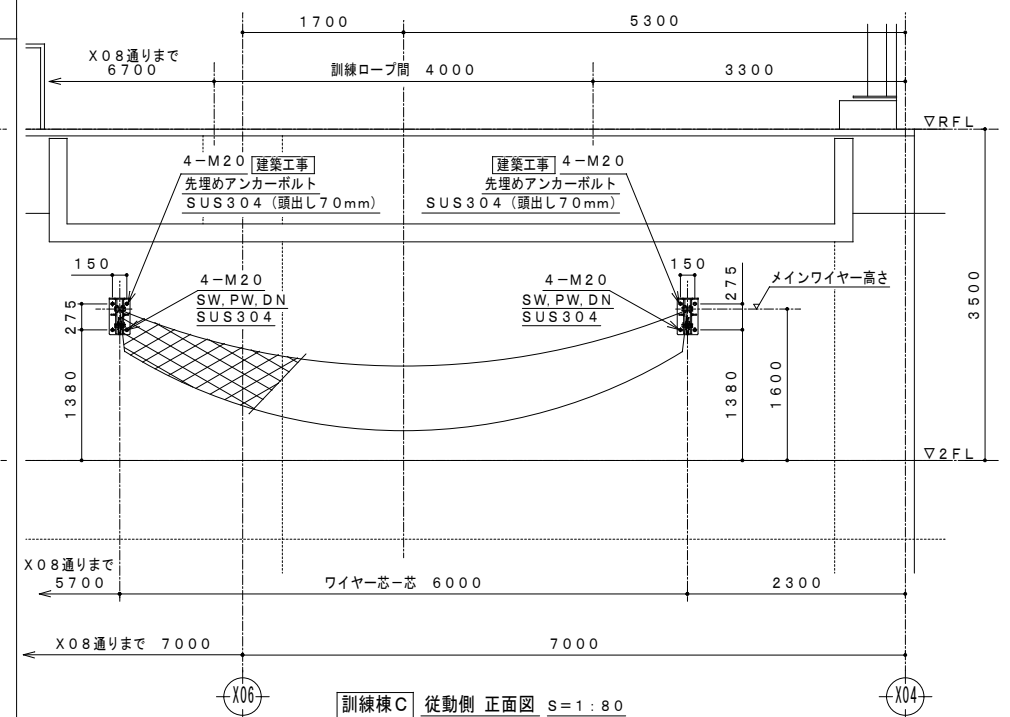
訓練棟C
滑車ブラケット詳細 S = 1 : 40



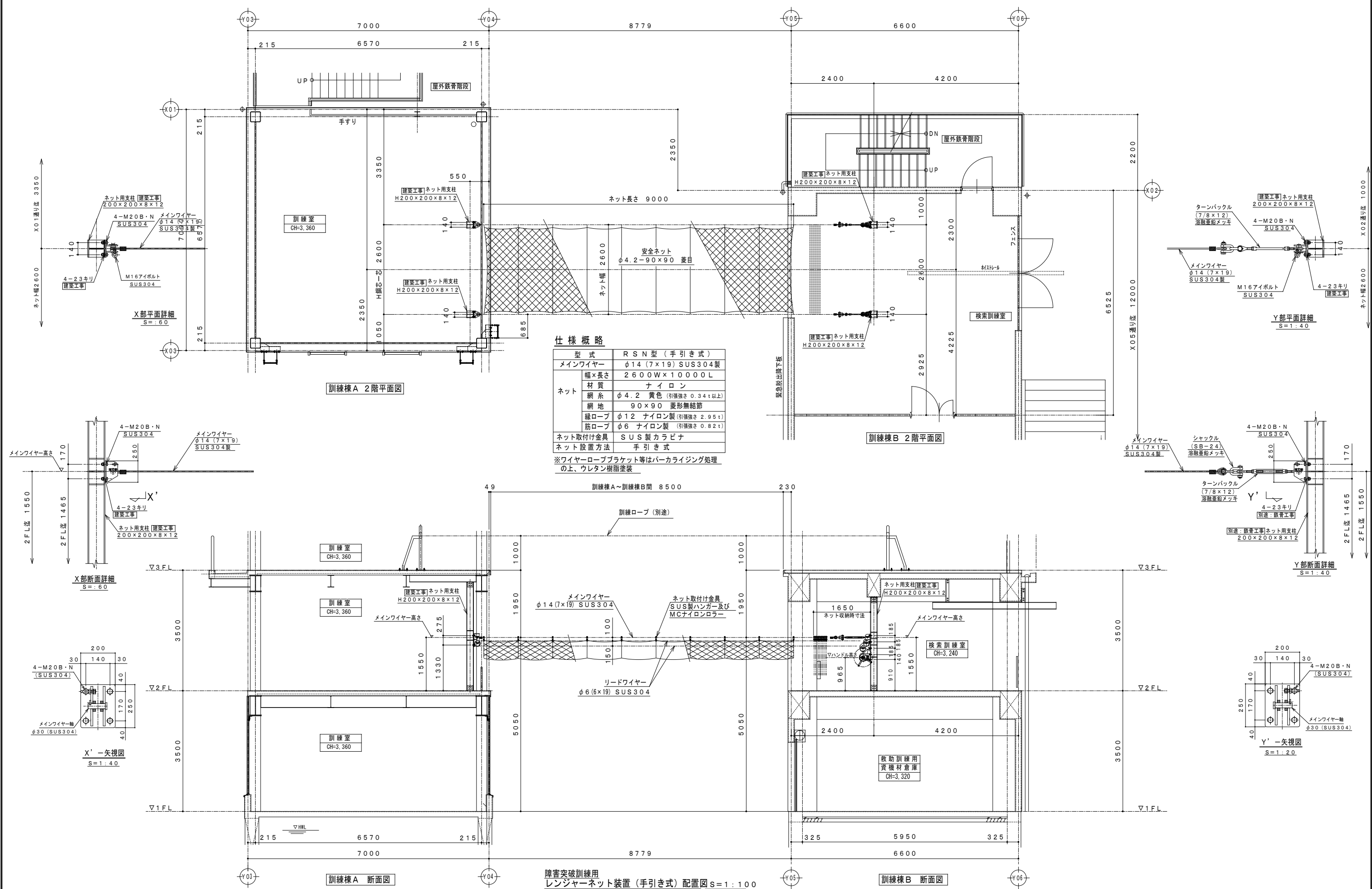
訓練棟B 駆動側 断面図 S=1:80



訓練棟C 從動側 平面図 $S=1:80$



訓練棟C 從動側 正面図 S=1:80



◇A◇

ロープ保護金物A S=1：10

棟番号	数量	備考
B		渡過ロープ部
C		渡過ロープ部

納まり図 S=1/10

◇B◇

ロープ保護金物B S=1：10

棟番号	数量	備考
A		3F
A		RF
B		屋上ステージ
B		がけ前
B		がけ部ステージ
C		屋上ステージ

SUS製 アングルモール

◇C◇

窓上 自己確保金物（パイプ） S=1：40

訓練棟A 4-M16貫通ボルト

※設置箇所
・耐荷重 1,000kg
・溶融亜鉛メッキ処理

訓練棟B・C

◇D◇

壁 自己確保金物（パイプ） S=1：40

※設置箇所
・耐荷重 1,000kg
・溶融亜鉛メッキ処理

棟番号	数量	備考
B	6	-
C	4	-

側面図 正面図

◇E◇

床 自己確保金物（パイプ） S=1：40

※設置箇所
・耐荷重 1,000kg
・溶融亜鉛メッキ処理

棟番号	数量	備考
B	4	渡過ロープ部
C	4	渡過ロープ部

平面図 断面図

◇F◇

自己確保ロープ受金物 S=1：40

※設置箇所
・耐荷重 1,000kg
・溶融亜鉛メッキ処理

棟番号	数量	備考
A	9	左右1セット

正面図 側面図

柱芯

訂正

月

日

原 設 計 株 式 会 社

〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号
TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214

一般建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号
一級建築士 甲斐 宣行 第293830号

構造設計一級建築士
第 号

設備設計一級建築士
第 号

担当

-

作図

設計年月

令和7年12月

変更年月

福山市建設局建築部営繕課

工事名称

(仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事

図面名称

A・B・C棟 共通訓練金物詳細図

縮 尺

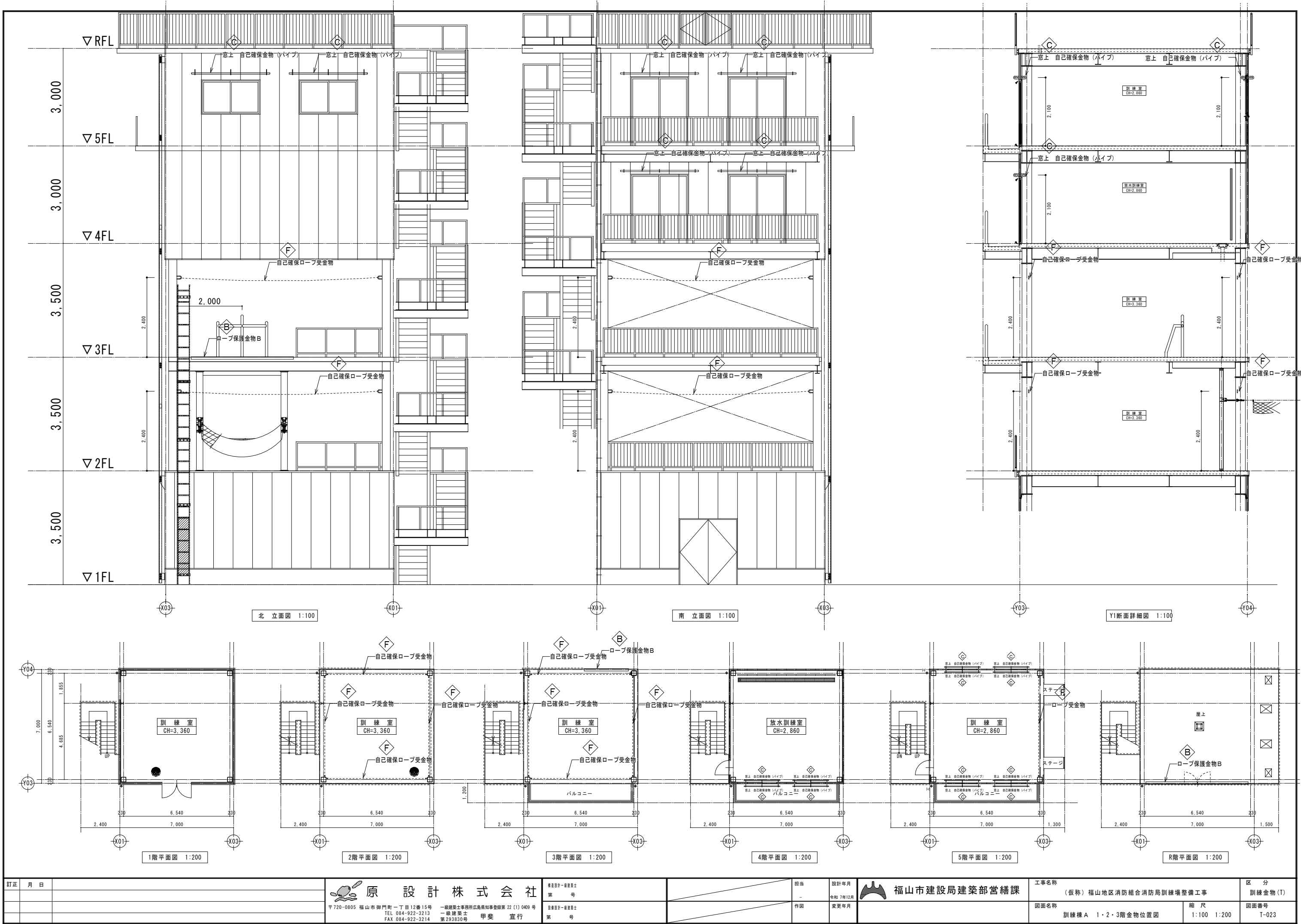
1:10 1:40

区 分

訓練金物 (T)

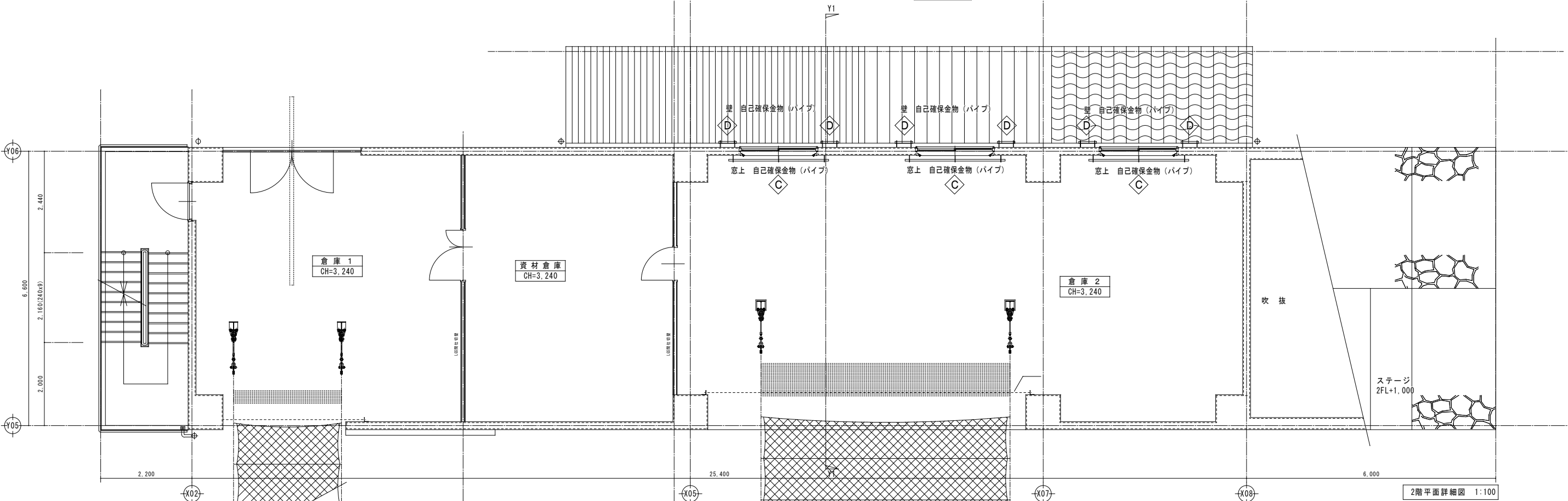
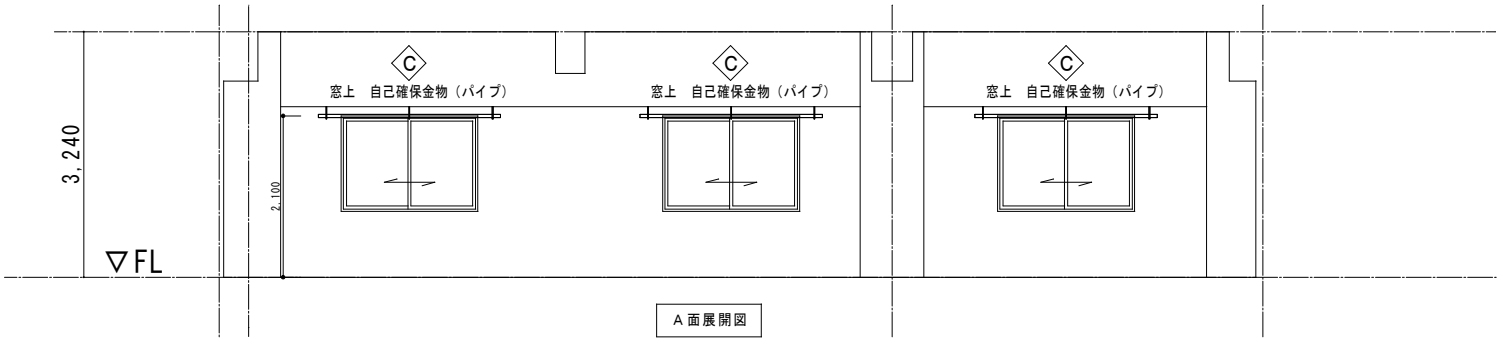
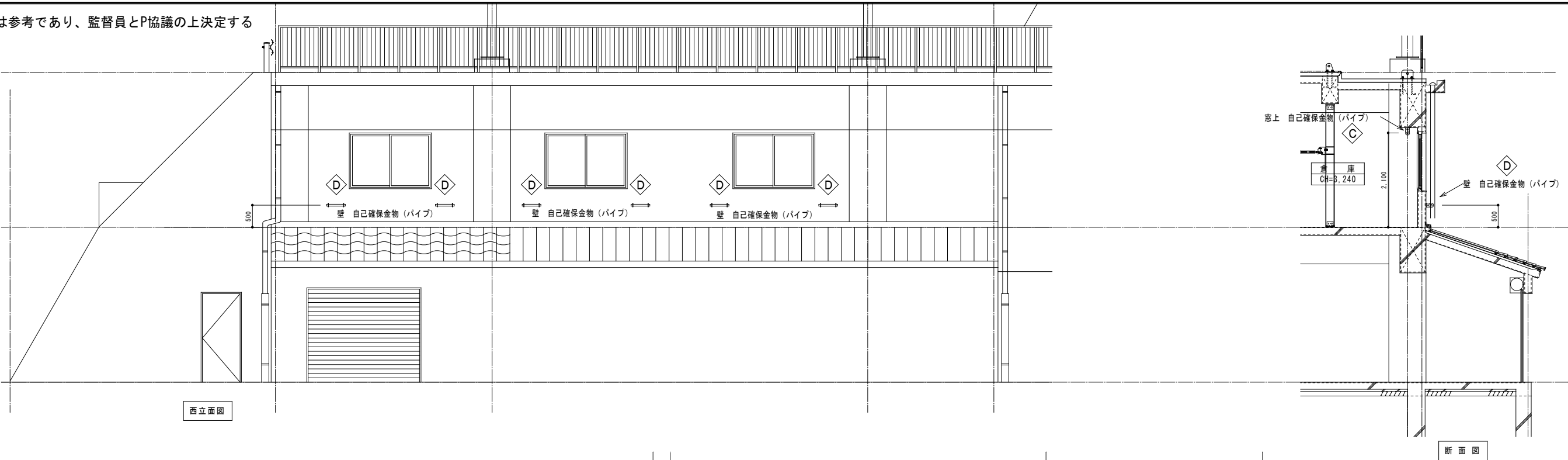
図面番号

T-022



訂正 月 日			 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市 御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所所長 甲斐 宣行 第 22 (1) 0409 号 第 293830 号	専任設計一級建築士 第 号	担当 -	設計年月 令和 7 年 12 月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称		区 分 訓練金物 (T)			
								(仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事					
			一級建築士事務所所長 甲斐 宣行 第 22 (1) 0409 号 第 293830 号	専任設計一級建築士 第 号	作図	変更年月		図面名称		縮 尺 1:100 1:200	図面番号 T-023		
								訓練棟 A 1・2・3階金物位置図					

※金物位置寸法は参考であり、監督員とP協議の上決定する



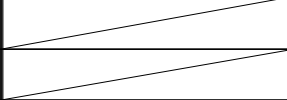
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一般建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 一般建築士 甲斐 宣行 第293830号	構造設計一般建築士 第 号		設計年月 令和7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事	区 分 訓練金物(T)		
				設備設計一般建築士 第 号		作図		変更年月	図面名称 訓練棟B 2階金物位置図	縮 尺 1:100	図面番号 T-024

※金物位置寸法は参考であり、監督員と協議の上決定する

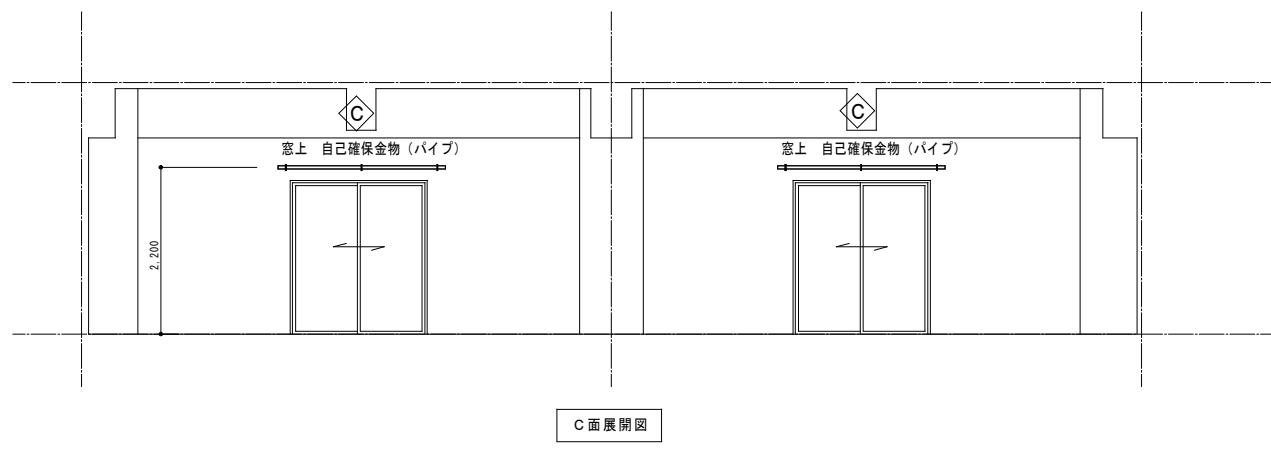
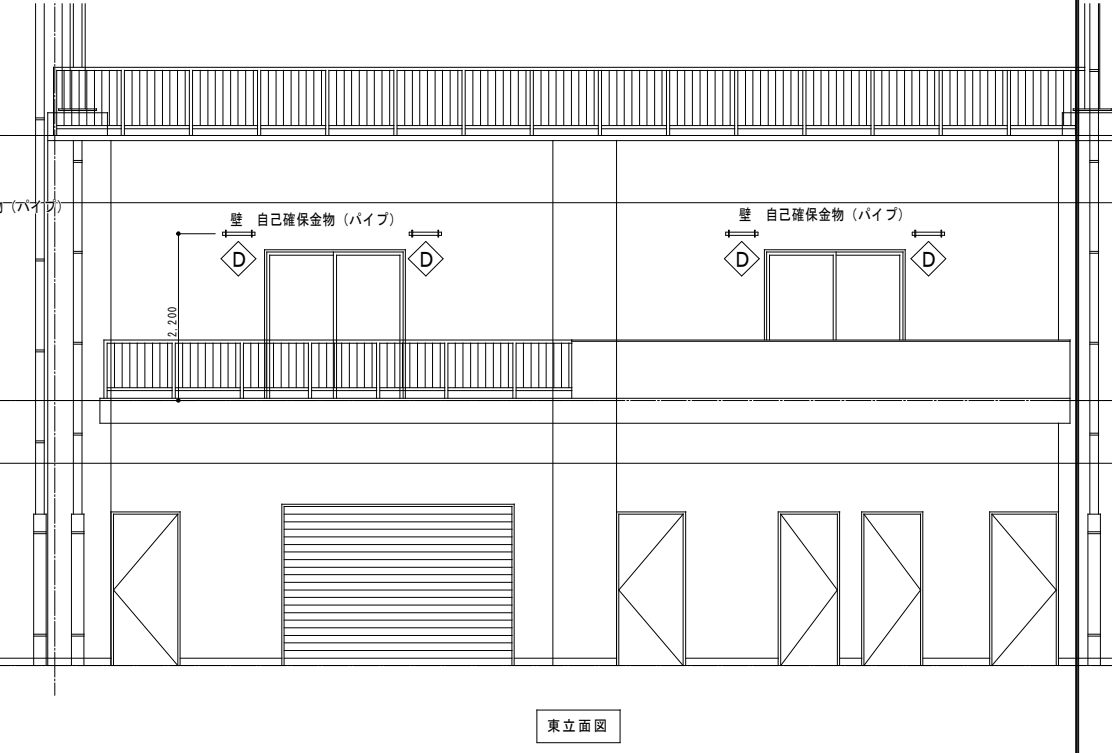
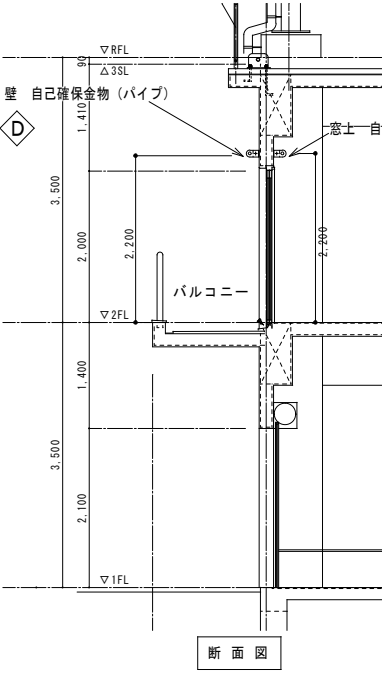
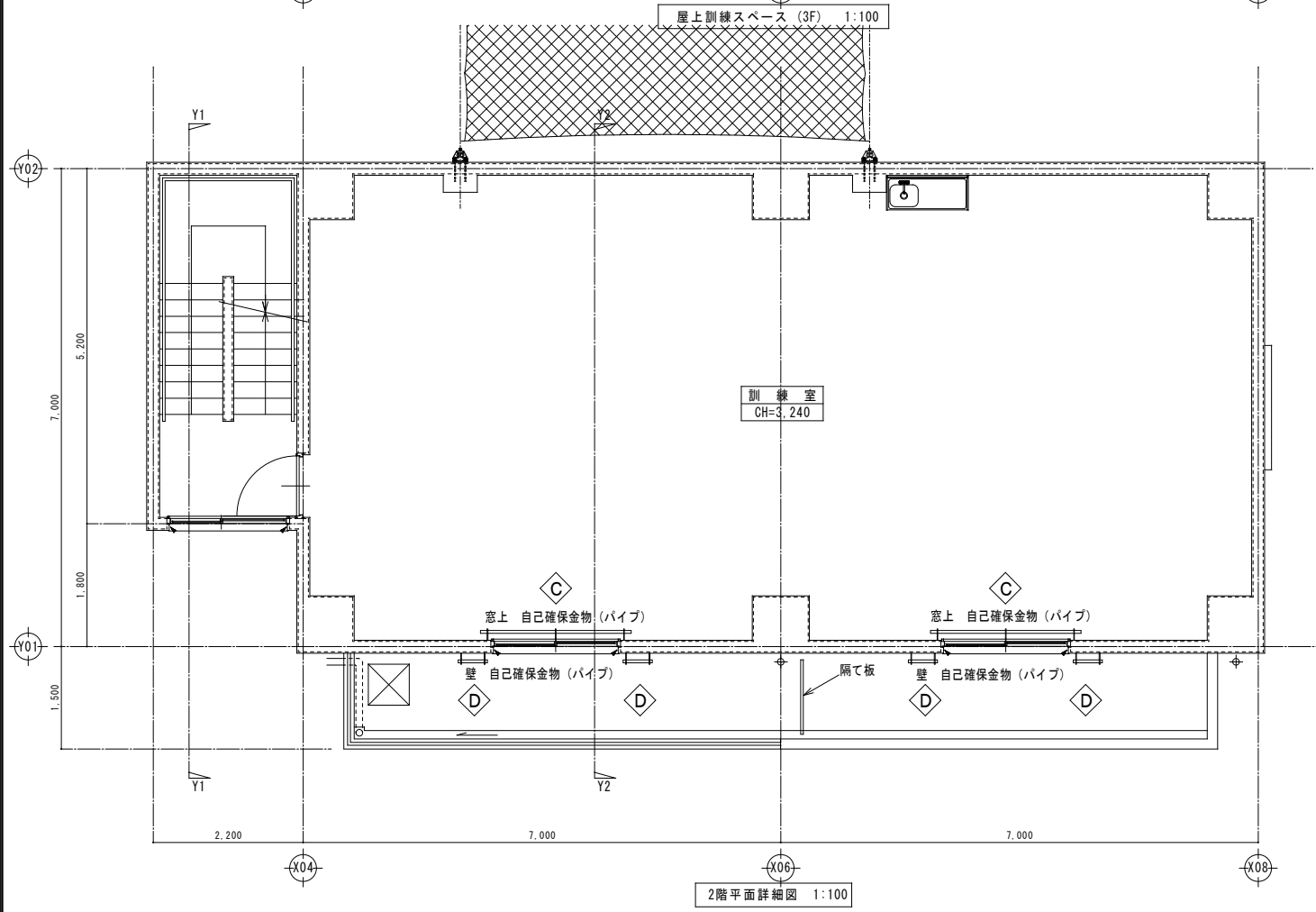
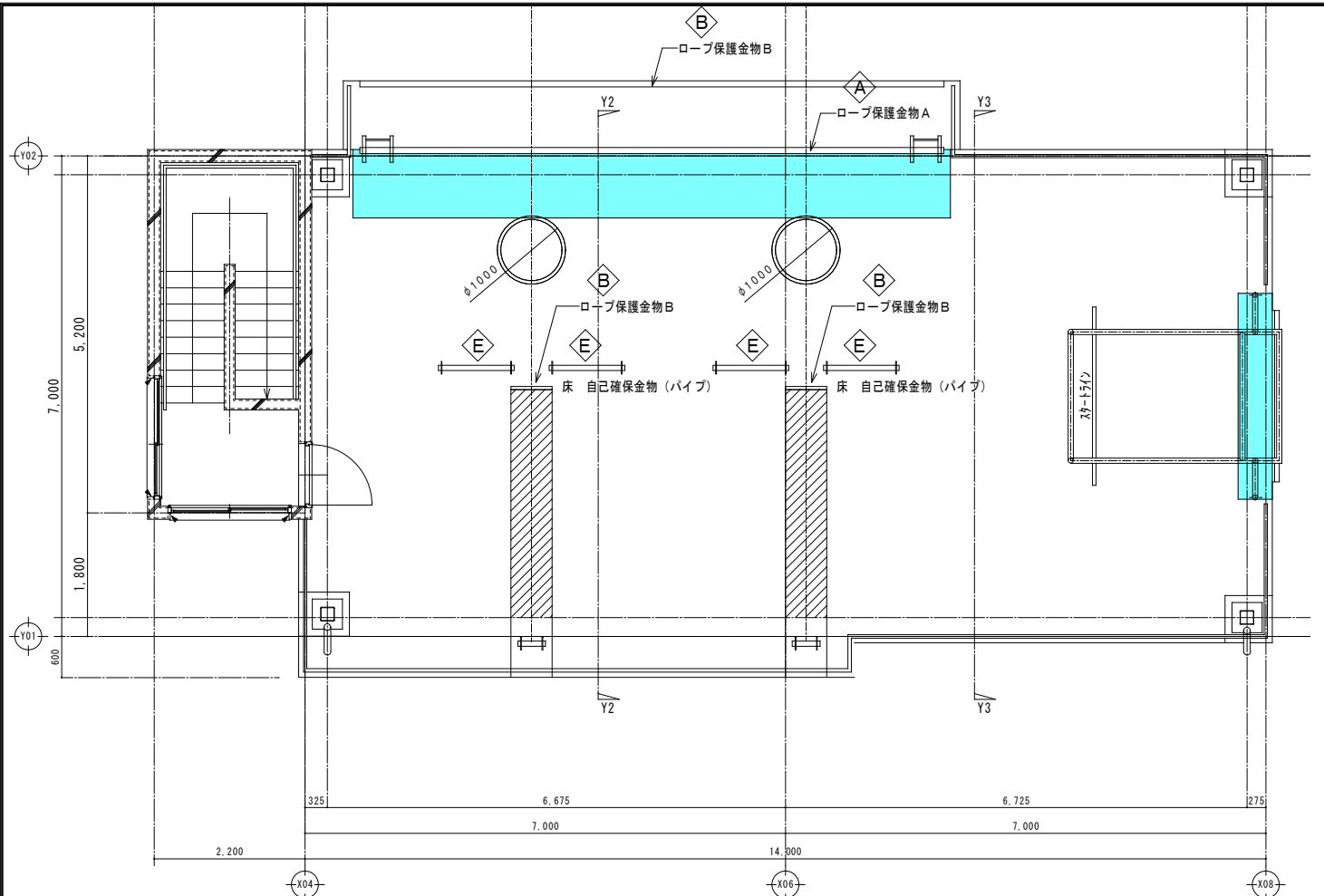
The drawing is a plan view of a roof training space on the 3rd floor. It shows a large rectangular area with various pieces of equipment and safety points. Key features include:

- Dimensions:** The overall width is 25.400 units. The length is divided into sections of 12.000, 8.500, 4.900, and 6.000 units. Vertical dimensions on the left indicate a total height of 6.600 units, with sub-sections of 2.160 (240x3), 2.440, and 2.000 units.
- Equipment:** Two large circular objects (possibly fans or lights) are positioned in the center. A long, light blue rectangular object is located along the bottom edge. Various smaller rectangular and circular components are scattered throughout the space.
- Safety Points:** Several points are marked with diamond shapes and labeled: "ロープ保護金物A" (Rope Protection Hardware A) and "ロープ保護金物B" (Rope Protection Hardware B). These are distributed along the perimeter and within the main area.
- Labels:** "床 自己確保金物 (パイプ)" (Floor Self-Protection Hardware (Pipe)) is labeled near the center. "屋上訓練スペース (3F)" (Roof Training Space (3F)) is labeled at the bottom right.
- Scale:** The scale is indicated as 1:100.

訂正	月	日

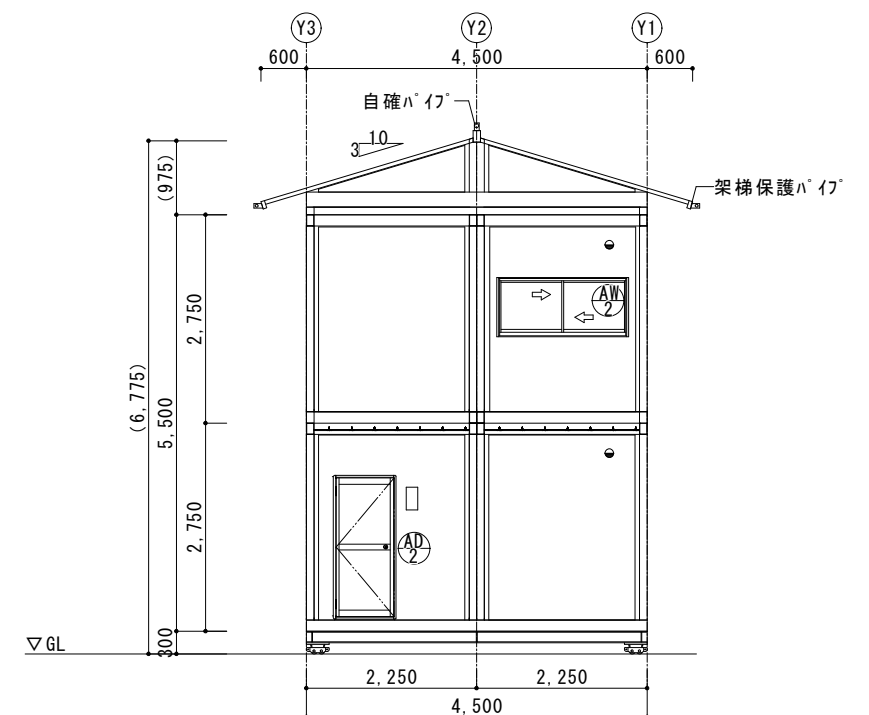
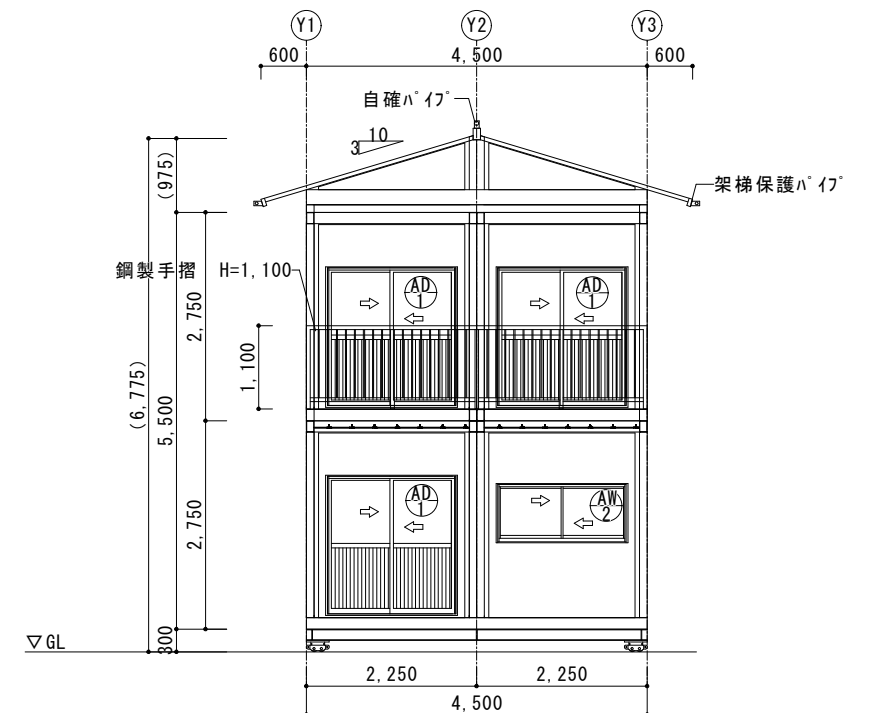
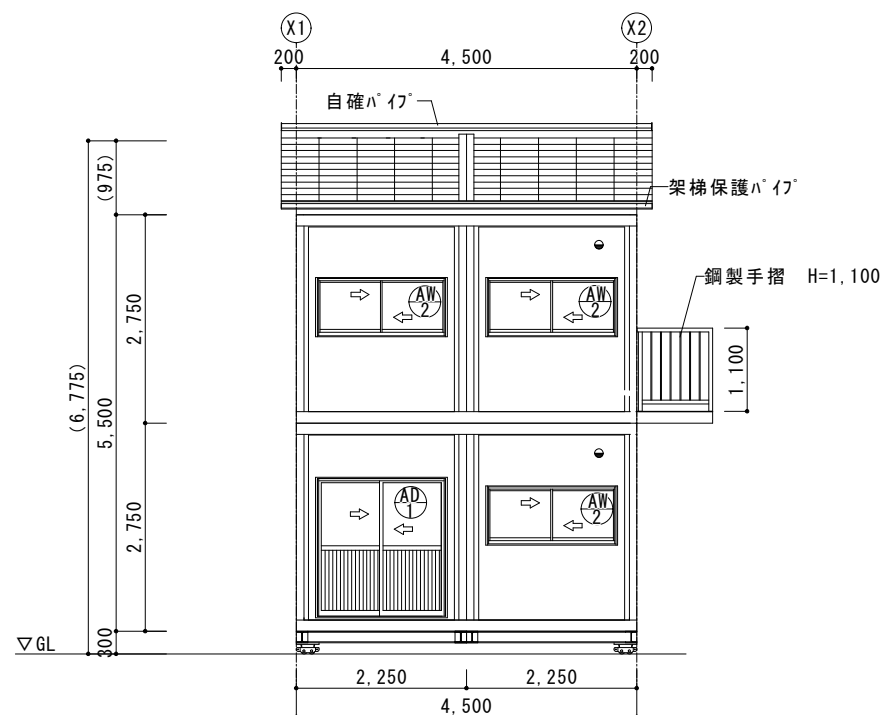
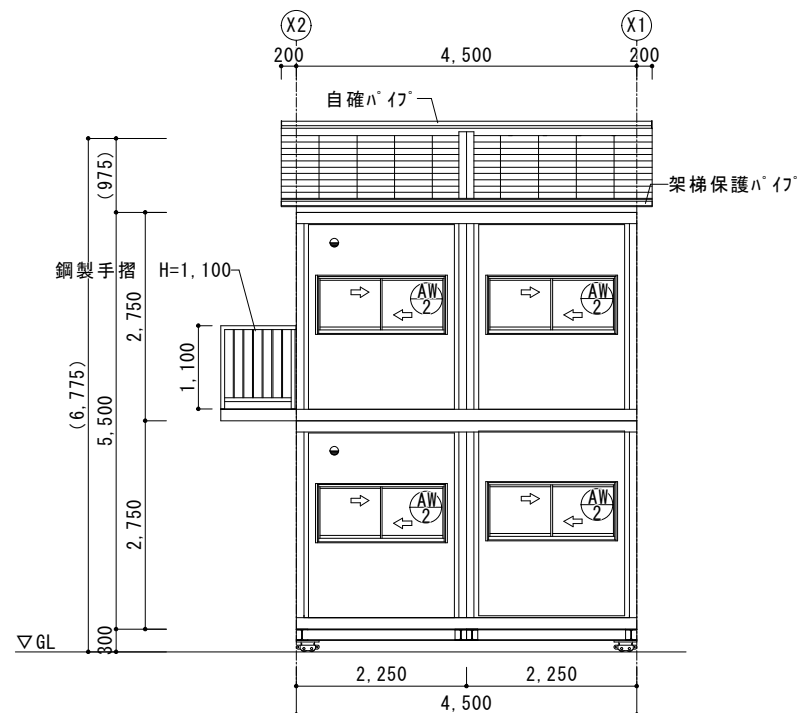
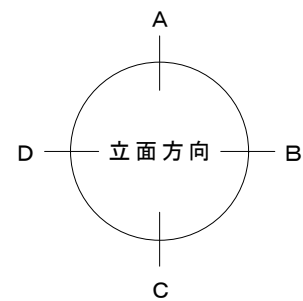
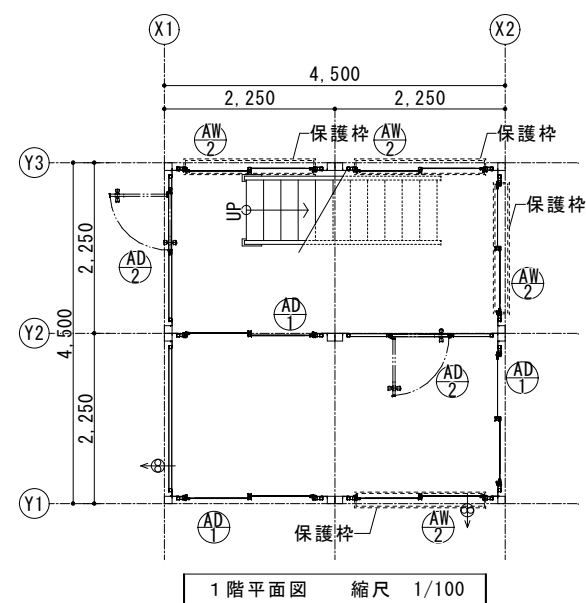
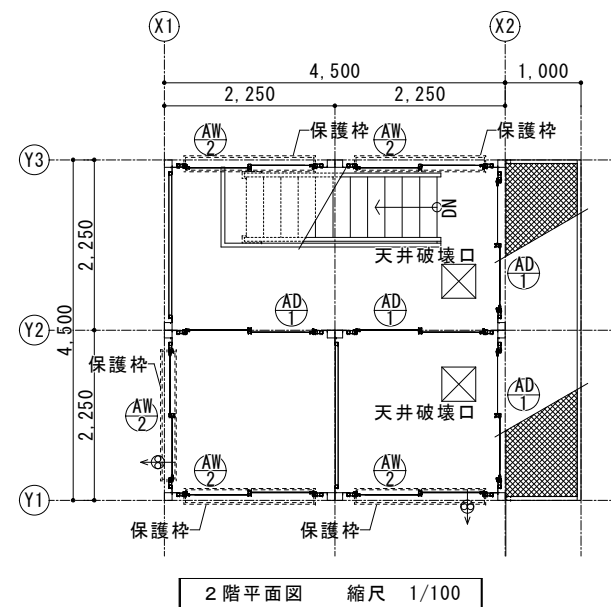
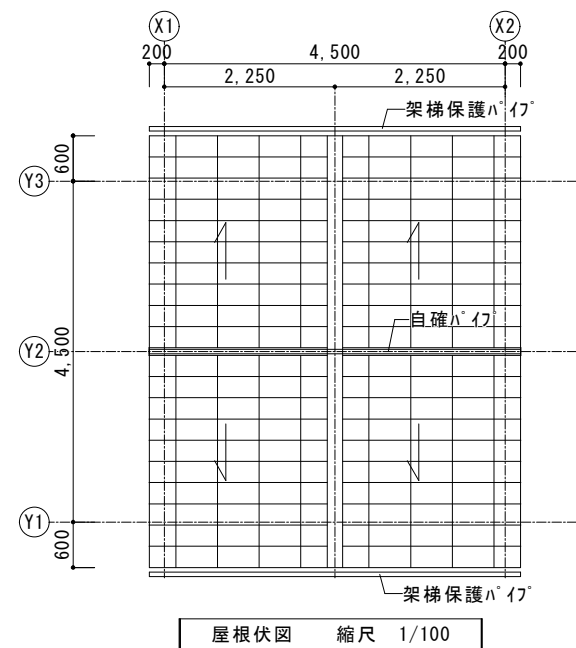
 原 設 計 株 式 会 社		構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事	区 分 訓練金物 (T)
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214		一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行 第293830号		図面設計一級建築士 第 号	作図		変更年月	図面名称 訓練棟 B 屋上金物位置図

訂正	月	日	原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所所広島県知事登録第22(1)0409号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 訓練金物(T)
				図面設計一級建築士 第 号		作図 変更年月	図面名称 訓練棟B 屋上金物位置図		縮 尺 1:100	図面番号 T-025	



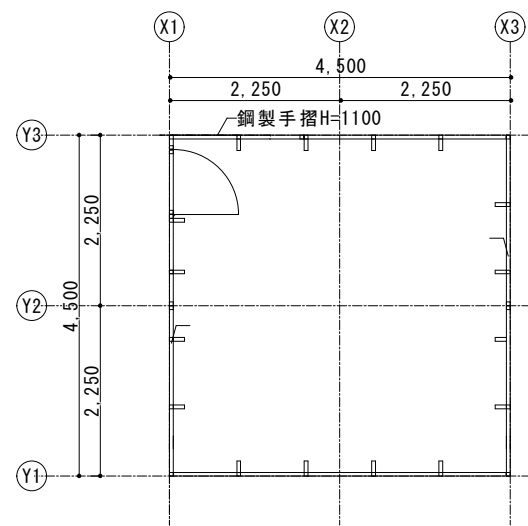
訂正 月 日			 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一般建築士事務所所広島県知事登録第22(1)0409号 TEL 084-922-3213 一級建築士 甲斐 宣行 FAX 084-922-3214 第293830号	構造設計一級建築士 第 号 設備設計一級建築士 第 号		 福山市建設局建築部営繕課	工事名称		区 分			
(仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事							訓練金物 (T)					
							図面名称	縮 尺	図面番号			
							訓練棟 C 2階金物位置図	1: 100	T-026			

模 擬 ハ ウ ス (専 用 住 宅 風 切 妻 タ イ プ) 仕 様 書 ※ 参 考 英 生 株 式 会 社 同 等 品	
屋 根	和風瓦葺き（R00GA雅程度）
	長尺カラー鉄板 t=0.35 (立平葺き)
外 壁 ・ 内 壁	鋼製パネル t=41mm
	外壁仕上；ガ`ルハ`リウム鋼板 t=0.5mm (ライトフ`ラウン色；5101)
	内壁仕上；ガ`ルハ`リウム鋼板 t=0.5mm (フ`ラックスルハ`-色；5104)
天 井	金属サイディング`張り（色；フ`ラック）
床	縞板鋼板亜鉛メッキ仕上 t=3.2mm
ベ ラ ン ダ	縞板鋼板亜鉛メッキ仕上 t=3.2mm
	鋼製手摺（□-50×50×2.3 H=1,100 亜鉛メッキ仕上げ）
	手摺子（丸鋼 13Φ @120 亜鉛メッキ仕上げ）
建 具	
	AD-1 引違戸 W1760×H1840 上：ポリカーボネート 下：アルミパネル
	AD-2 額入り片開き戸 W840×H1,840 上・下：アルミパネル
	AW-1 引違窓 W1760×H1840 上：ポリカーボネート 下：アルミパネル
	AW-2 引違窓 W1700×H770 ポリカーボネート
	※フル`ラ- 4ヶ所
	※仮設ジ`ヤッキ 8ヶ所
	※架台各面`ン引用フック取付
	※窓落下防止取付
	※暗幕用ハ`ル取付
	※架梯保護ハ`イフ`
	※自確ハ`イフ`
鉄 骨 階 段	ササラ桁；C-200×50×4.5 亜鉛メッキ仕上げ
	踏板；縞板鋼板 t=4.5mm 亜鉛メッキ仕上げ
	鋼製手摺（□-50×50×2.3 H=900 亜鉛メッキ仕上げ）
	手摺子（丸鋼 13Φ @120 亜鉛メッキ仕上げ）
そ の 他	換気口（通気口）
	各階スモーク配管
	住居表示（□150*300）はマグネット式とする
特 記 事 項	実践を想定し外部に面する壁パネルは、ポンプゲージ圧力0.75Mpa以上でストレート放水された
	耐圧試験に合格したものとする。放水圧力を示す写真が添付された耐圧試験報告書を提出し、監督員の承認を得ること
	外部に面するパネルは、任意の位置に移動できる構造とする
	バルコニーの支持に斜材を用いることは不可とする
	最先着隊及び指揮隊の訓練用として、軒下近傍から発煙できる構造とする

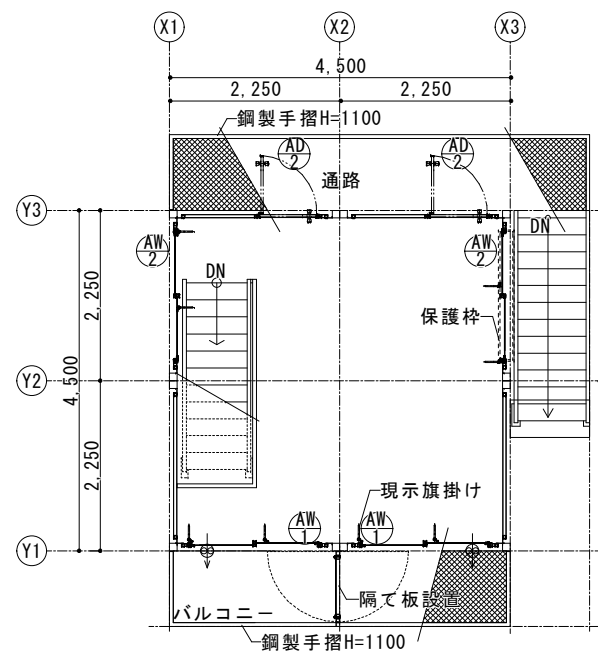


訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第 293830 号 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 訓練金物 (T)
				図面設計一級建築士 第 号		作図	変更年月		図面名称 模擬ハウス参考図 (専用住宅風切妻タイプ) 2	縮 尺 1: 100	図面番号 T-028

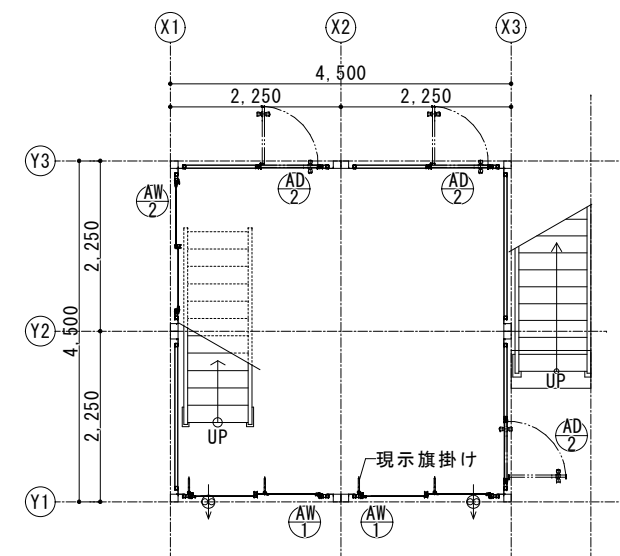
模 擬 ハ ウ ス (集 合 住 宅 風 屋 上 タ イ プ) 仕 様 書 ※ 参 考 英 生 株 式 会 社 同 等 品	
本 体	寸 法 ： W4500×D4500×H6750mm(架台高さ含まず)
	仕 様 ： 鉄 骨 製 仕 上 げ さ び 止 め 塗 装 仕 上 げ
架 台	H型鋼：150×150×7×10mm
	仕 上 げ ： 溶 融 亜 鉛 メ ッ キ 塗 装
	各 辺 に 牽 引 フ ッ ク を 2 か 所 設 置 す る
床	縞鋼板3.2mm
	仕 上 げ ： 溶 融 亜 鉛 メ ッ キ 塗 装
外 壁 ・ 内 壁	サンドイッチパネルt=41mm 着脱式
	両面ガルバリウム鋼板0.5mm貼り
	色：外 GL5101ウォールナット柄ライトブラウン 内 GL5104ウォールナット柄ブラックシルバー
屋 根	屋根形状：陸屋根
	屋根板：ガルバリウム鋼板 t=0.35
建 具	建具はアルミ製とすること
	AD-2 額入り片開き戸：W796×H1865mm 上下部アルミパネル3mm
	AW-1 引違戸：W1694×H1840mm 上部ポリカーボネート透明版5mm 下部アルミパネル3mm
	AW-2 引違窓：W1694×H903mm ポリカーボネート透明板5mm
	窓落下防止：架梯保護枠を兼ねる構造とする事
天 井	鉄骨アラワシ 2階 カラーコンパネ貼 t=12
	鉄骨製 仕 上 げ 溶 融 亜 鉛 メ ッ キ 塗 装
屋 内 階 段	踏 面 ・ 踊 り 場 ： 縞 鋼 板 3. 2 mm
屋 外 階 段	仕 上 げ ： 溶 融 亜 鉛 メ ッ キ 塗 装
	手すり：H1100mm 鋼製手摺（□-50×50×2.3 H=1100 溶融亜鉛メッキ仕上げ）
バルコニー 屋 上	鉄骨製 仕 上 げ ： 溶 融 亜 鉛 メ ッ キ 塗 装
	踏 面 ・ 踊 り 場 ： 縞 鋼 板 3. 2 mm
	仕 上 げ ： 溶 融 亜 鉛 メ ッ キ 塗 装
	手すり：H1100mm 鋼製手摺（□-50×50×2.3 H=1100 溶融亜鉛メッキ仕上げ）
そ の 他	内外装の鋭利な箇所は面取りを施す
	給排気のための換気口を各階の外壁面上部に設置する
	丸形ガラリ 防虫ネット（網目2mm以下）。数量は各階3個とすること
	開口部には外部から侵入できないよう施錠できるものとする
	重量物運搬用走行ローラー取付架台を4か所設置する
	固定金物を8か所設置する
	スモークマシン用穴を各階2か所設置すること
	各階入口には、プラスチック製住居表示板（幅 100mm 長さ 300mm程度）を設置すること
	現示旗掛けを6か所設置すること
特 記 事 項	実践を想定し外部に面する壁パネルは、ポンプゲージ圧力0.75Mpa以上でストレート放水された
	耐圧試験に合格したものとする。放水圧力を示す写真が添付された耐圧試験報告書を提出し、監督員の承認を得ること
	外部に面するパネルは、任意の位置に移動できる構造とする
	バルコニーの支持に斜材を用いることは不可とする



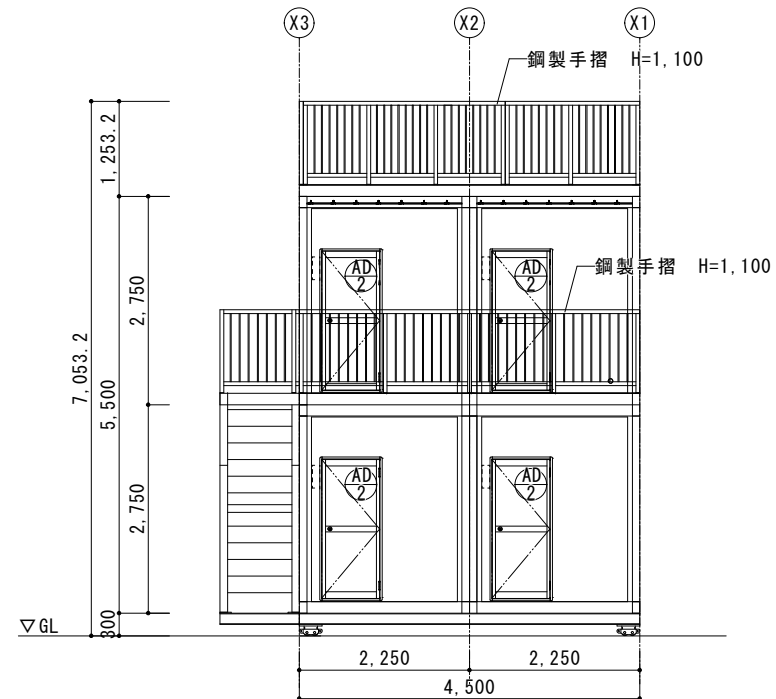
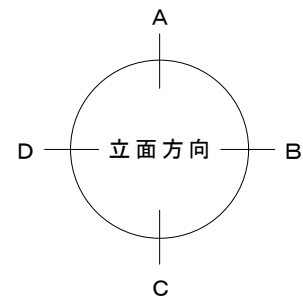
屋上平面図 縮尺 1/100



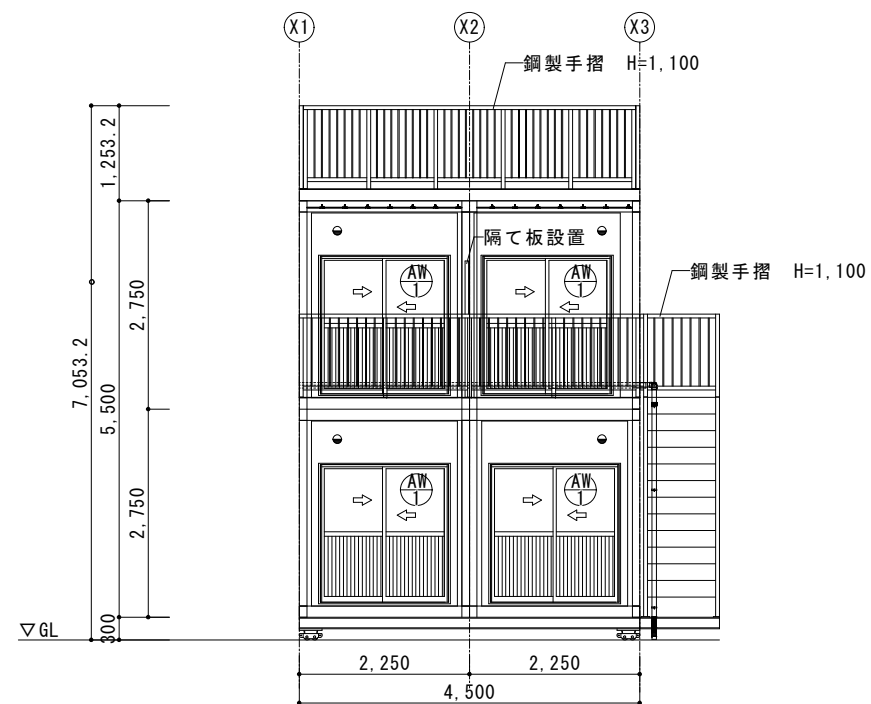
2 階平面図 縮尺 1/100



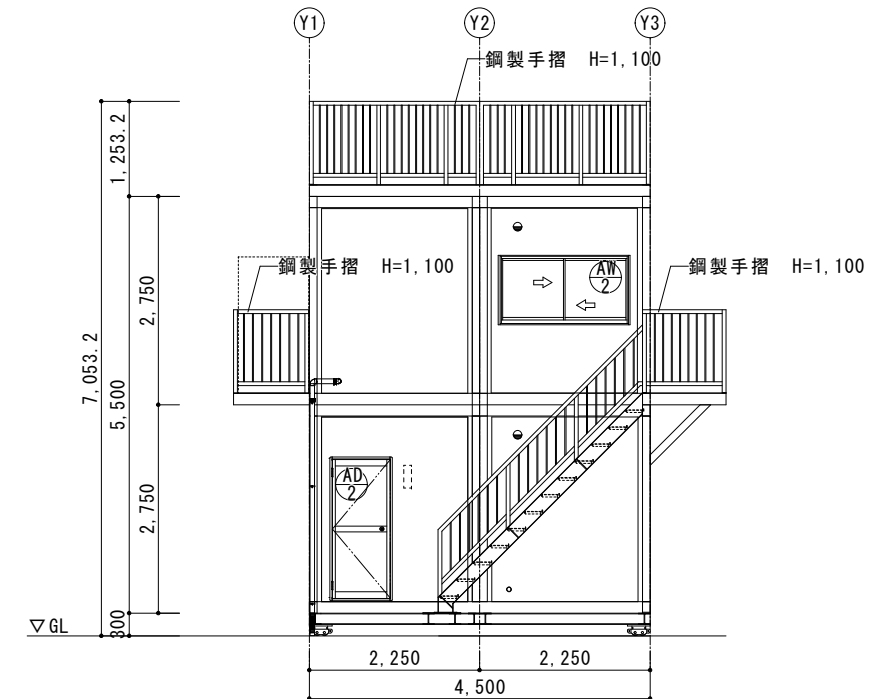
1 階平面図 縮尺 1/100



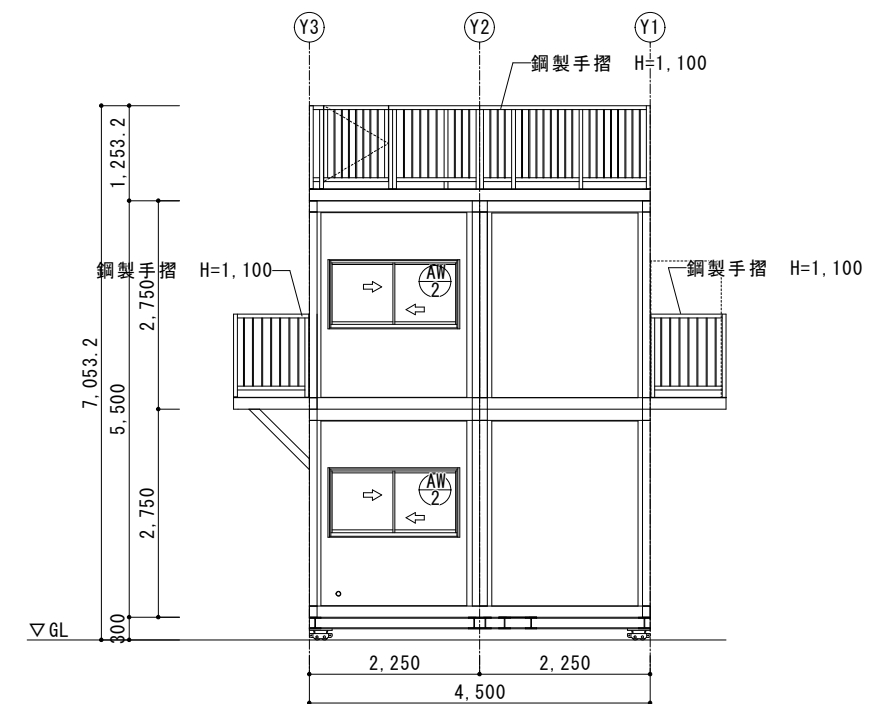
A 面立面図 縮尺 1/100



C 面立面図 縮尺 1/100



B 面立面図	縮尺	1/100



D 面立面图	縮尺	1/100

訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第 293830号 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 訓練金物 (T)
				図面設計一級建築士 第 号		作図 変更年月	図面名称 模擬ハウス参考図 (集合住宅風屋上タイプ) 2		縮 尺 1: 100	図面番号 T-030	

鉄筋工事仕様書

No. 1

この仕様書は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）5章鉄筋工事により作成する。この仕様書及び図面に明示なき場合は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）5章鉄筋工事による。

鉄筋の折曲げ基準

鉄筋の折曲げ形状及び寸法				
折曲げ角度	折 曲 げ 図	折曲げ内法直径（D）		
		SD295、SD345	SD390	
		D16以下	D19～D38	D19～D38
180°		3d以上	4d以上	5d以上
135°				
90°				
135°及び90°				

(注) 1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90° フック又は135° フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。

2. 90° 未満の折曲げの内法直径は、特記による。

異形鉄筋のフック

次の部分に使用する異形鉄筋の末端部には、フックを付ける。

1) 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合。
(下図 (a) の●印で示す鉄筋)

2) 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合。(基礎梁を除く)
(下図 (b) の●印で示す鉄筋)

3) 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む。）

4) 杭基礎のベース筋

5) 帯筋、あばら筋及び幅止め筋

鉄筋の継手及び定着

1. 鉄筋の継手

鉄筋の重ね継手は、次による。

なお、径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。

1) 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、特記による。特記がなければ、耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、40d（軽量コンクリートの場合は50d）又は下表の重ね継手長さのうち大きい値とする。

2) 1) 以外の鉄筋の重ね継手の長さは、下表による。

鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	L_{1h} (フックなし)	L_{1h} (フックあり)
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24、27	35d	25d
	30、33、36	35d	25d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24、27	40d	30d
	30、33、36	35d	25d
SD390	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24、27	45d	35d
	30、33、36	40d	30d

(注) 1. L_{1h} 、 L_{1h} ：重ね継手の長さ、フックありの重ね継手の長さ

2. L_{1h} は、下図に示すようにフック部分 L_1 を含まない。

3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

2. 鉄筋の定着

1) 鉄筋の定着の長さは、特記による。特記がなければ、下表による。

鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	直線定着の長さ			フックあり定着の長さ			
		L_{1h}	L_{1h}	L_{1h}	L_{1h}	L_{1h}	L_{1h}	L_{1h}
SD295	18	45d	40d	20d	小梁 スラブ	10d	35d	30d
	21	40d	35d			かつ	30d	25d
	24、27	35d	30d			150mm	25d	20d
	30、33、36	35d	30d			以上	35d	30d
SD345	18	50d	40d	(片持ち小梁の場合)	25d	10d	30d	25d
	21	45d	35d			小梁の	25d	20d
	24、27	40d	35d			場合	35d	30d
	30、33、36	35d	30d			は	35d	30d
SD390	18	50d	40d	(片持ち小梁の場合)	25d	10d	30d	25d
	21	45d	35d			小梁の	25d	20d
	24、27	45d	40d			場合	35d	30d
	30、33、36	40d	35d			は	30d	25d

(注) 1. L_{1h} 、 L_{1h} ：(注) 2. から4. まで以外の直線定着の長さ及びフックありの定着の長さ

2. L_{1h} 、 L_{1h} ：割取破線のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ

3. L_{1h} ：小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。

4. L_{1h} ：小梁の下端筋のフックありの定着の長さ。

5. フックありの定着の場合は、下図に示すようにフック部分 L_1 を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。

6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

直線定着の長さ

フックあり定着の長さ

直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ

3) 定着の方法 仕口内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さとし、フックありの定着の長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法は、特記による。特記がなければ、下記の(1)から(3)までを全て満足するものとする。 (1) 全長は、2) 1) の直線定着の長さ以上とする。 (2) 余長は、8d以上とする。 (3) 仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さ L_1 及び L_{1h} は、下図に示す長さとする。 ただし、梁主筋の柱内定着においては、柱せいの3/4以上とする。			
3. 鉄筋の投影定着長さ			
鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	L_1	L_{1h}
SD295	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24、27	15d	15d
	30、33、36	15d	15d
SD345	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24、27	20d	15d
	30、33、36	20d	15d
SD390	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24、27	20d	20d
	30、33、36	20d	15d
(注) 1. L_1 ：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ（基礎梁、片持梁及び片持ちスラブを含む。） 2. L_{1h} ：小梁及びスラブ上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ（片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。） 3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。			
4. 隣り合う継手の位置 隣り合う継手の位置は、下図による。ただし、スラブ筋でD16以下の場合は及び壁筋の場合は除く。なお、先組工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同一箇所に入れる場合は、特記による。			
5. 溶接金網の継手及び定着 L_1 は 1. 2.)、 L_1 及び L_{1h} は 2. 2) による。			
6. スパイラル筋の継手及び定着			
鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
1. 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ（mm） 柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。			
鉄筋及び溶接金網の最小のかぶり厚さ（単位：mm）			
構造部分	種別	最小かぶり厚さ（mm）	
		土に接しない部分	土に接する部分
スラブ、耐力壁以外の壁	仕上りあり	20	
	仕上りなし	30	
	仕上りあり	30	
	仕上りなし	30	
柱、梁、耐力壁	仕上りあり	30	
	仕上りなし	30	
	仕上りあり	30	
	仕上りなし	40	
擁壁、耐圧スラブ	仕上りあり	40	
	仕上りなし	40	
	仕上りあり	40	
	仕上りなし	40	
土に接する部分	柱、梁、スラブ、壁	40	
	基礎、擁壁、耐圧スラブ	60	
	煙突等熱を受ける部分	60	
	煙突等熱を受ける部分	60	
(注) 1. この表は、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートには適用しない。また、塩害を受けるおそれのある部分等耐久性上不利な箇所には適用しない。 2. 「仕上りあり」とは、モルタル塗り等の仕上りのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上り（仕上り材、塗装等）のものを除く。 3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。 4. 杭基礎の場合の基礎下端筋のかぶり厚さは、杭先端からとする。			
2. 鉄筋相互のあき 1) 次の値のうち最大のもの以上とする。 (1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍 (2) 25mm (3) 隣り合う鉄筋の平均径の1.5倍 2) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきも、同様とする。 3) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。 4. 鉄筋の表示記号			
丸 鋼 9φ 13φ 16φ 19φ 22φ 25φ 28φ 32φ 異形鉄筋 D10 D13 D16 D19 D22 D25 D28 D32			
記 号 ・ × ∅ ● ○ ○ ○ ○			

基礎の配筋			
1. 直接基礎の配筋 (a) 独立基礎 (b) 連続基礎			
2. 基礎接合部の補強配筋			
基礎梁の配筋			
1. 基礎梁主筋の継手、定着及び余長 1) 一般事項 (1) 梁筋は、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、下図による。 (2) 梁筋を柱内に定着する場合は、梁の配筋 1. 1) (2) による。			
2) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長 ただし、耐圧スラブがつく場合は4) による。			
3) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長 ただし、耐圧スラブがつく場合は4) による。			
4) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長			
柱の配筋			
1. 柱主筋の継手、定着及び余長			
2. 帯筋組立の形及び割付け ① H形 ② W-1形 ③ S P形（スパイラル筋） ④ 丸形			
① H形を標準とする。 ② フック及び継手の位置は、交互とする。 ③ 溶接する場合の溶接長さ L_1 は、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とする。 ④ S P形において、柱頭及び柱筋の端部は、1.5巻き以上の添巻きを行う。 ⑤ H形の135° 曲げのフックが困難な場合は、W-1形とする。			
2. 帯筋組立の形及び割付け ① H形 ② W-1形 ③ S P形（スパイラル筋） ④ 丸形			
① H形を標準とする。 ② フック及び継手の位置は、交互とする。 ③ 溶接する場合の溶接長さ L_1 は、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とする。 ④ S P形において、柱頭及び柱筋の端部は、1.5巻き以上の添巻きを行う。 ⑤ H形の135° 曲げのフックが困難な場合は、W-1形とする。			
4. 柱の打ち増し補強			
1. 柱の打ち増し補強配筋 (1) 柱の打ち増し幅（ a_1 、 a_2 ）が70mm以上の場合の補強を示す。 (2) 帯筋と同一方向の補強筋は、帯筋と同径、同材質、同間隔とし定着長さは L_1 とする。 (3) 軸方向の補強筋間隔は300mm以下とする。			
梁の配筋			
1. 大梁主筋の継手、定着及び余長 1) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項 (1) 梁主筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着することができる。 ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、下図による。			
2) ハンチのある場合の重ね継手、定着及び余長			
2) ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長			
2) 単独小梁の場合			

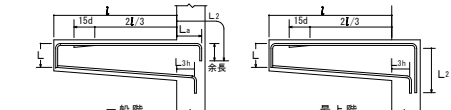
2. 帯筋組立の形及び割付け ① H形 ② W-1形 ③ S P形（スパイラル筋） ④ 丸形			
① H形を標準とする。 ② フック及び継手の位置は、交互とする。 ③ 溶接する場合の溶接長さ L_1 は、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とする。 ④ S P形において、柱頭及び柱筋の端部は、1.5巻き以上の添巻きを行う。 ⑤ H形の135° 曲げのフックが困難な場合は、W-1形とする。			
2. 帯筋組立の形及び割付け ① H形 ② W-1形 ③ S P形（スパイラル筋） ④ 丸形			
① H形を標準とする。 ② フック及び継手の位置は、交互とする。 ③ 溶接する場合の溶接長さ L_1 は、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とする。 ④ S P形において、柱頭及び柱筋の端部は、1.5巻き以上の添巻きを行う。 ⑤ H形の135° 曲げのフックが困難な場合は、W-1形とする。			
4. 柱の打ち増し補強			
1. 柱の打ち増し補強配筋 (1) 柱の打ち増し幅（ a_1 、 a_2 ）が70mm以上の場合の補強を示す。 (2) 帯筋と同一方向の補強筋は、帯筋と同径、同材質、同間隔とし定着長さは L_1 とする。 (3) 軸方向の補強筋間隔は300mm以下とする。			
梁の配筋			
1. 大梁主筋の継手、定着及び余長 1) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項 (1) 梁主筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着することができる。 ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、下図による。			
2) ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長			
2) 単独小梁の場合			

3) ハンチのある場合の定着及び余長			
2. あばら筋（小梁、片持ち梁、基礎梁含む）の組立の形及び割付け等 1) あばら筋組立の形及びフックの位置			
(1) (イ) 形を標準とする。ただし、L形梁の場合は、(ロ) 又は (ハ)、T形梁の場合は、(ロ) ～ (ニ) とすることができる。 (2) フックの位置は、(イ) の場合は交互とし、(ロ) の場合は、L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。なお、(ハ) の場合は床版の付く側を90° 折曲げとする。			
2) あばら筋の割付け (1) 間隔が一樣で、ハンチのない場合			
(2) 間隔が一樣で、ハンチのある場合			
(3) 梁の端部で間隔の異なる場合			
3) 腹筋及び幅止め筋 (1) 一般の梁			
1. 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。 2. 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1,000mm程度とする。			
2. 打ち増し補強			
1. 梁の打ち増し幅（ a_1 、 a_2 ）が70mm以上の場合の補強を示す。 2. あばら筋と同一方向の補強筋は、あばら筋と同径、同材質、同間隔とし、定着長さは L_1 とする。			
小梁及び片持ち梁			
1. 小梁主筋の継手、定着及び余長 1) 連続小梁の場合			
2) 単独小梁の場合			
工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事			
図面名称 鉄筋工事仕様書 No. 1			
原設計株式会社			
福山市			
S-001			

鉄筋工事仕様書 No. 2

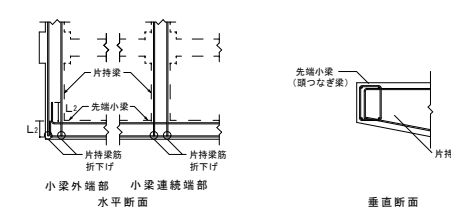
2. 片持梁主筋の継手、定着及び余長

1) 先端に小梁のない場合



- (注)
- 印は、余長位置を示す。
 - 先端の折曲げ長さは、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。
 - 図示のない事項は、大梁の項による。
 - L₁ の数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

2) 先端に小梁がある場合



- (注)
- 図示のない場合は、先端に小梁のない場合の項による。
 - 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
 - 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

壁及びその他の配筋

1. 壁の基準配筋

1) 壁の基準配筋は下図による。

壁の基準配筋		
種 別	縦筋及び横筋	断 面 図 (mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	150
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	180
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	200

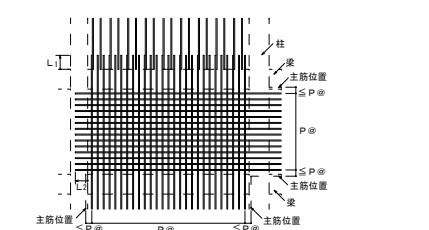
(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。 ※構造図による

2) 片持ちスラブ形階段を受ける壁の基準配筋は下図による。

片持ちスラブ形階段を受ける壁の基準配筋		
種 別	縦筋及び横筋	断 面 図 (mm)
KW1	縦 筋 D13-200@ タダ	180
KW2	縦 筋 D13-150@ タダ	200

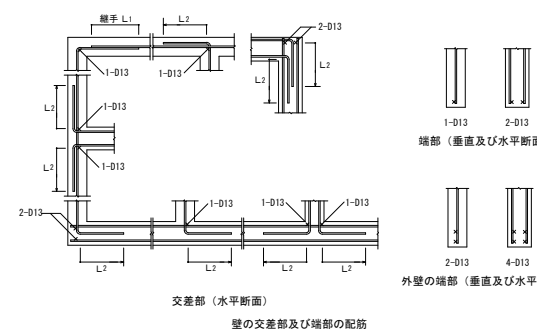
(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。 ※構造図による

2. 壁の継手及び定着



- (注)
- 図中のP@は、特記された壁筋の間隔を示す。
 - 壁配筋の重ね継手はL₁、定着長さはL₂とする。
 - 幅止め筋は、縦横ともD10～1,000@程度とする。
 - 原則として、柱及び梁内に、壁筋の継手を設けてはけない。

3. 壁の交差部及び端部の配筋は、下図による。



4. 壁開口部の補強

1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形又はB形とする。

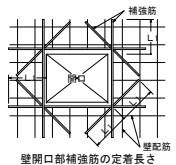
壁開口部補強筋 (A形)		
壁の種別	補 強 筋	
W12、W15	縦 横 1-D13	斜 め 1-D13
W18、W20	2-D13	2-D13

※構造図による

壁開口部補強筋 (B形)		
壁の種別	補 強 筋	
W12、W15	縦 横 2-D13	斜 め 1-D13
W18、W20	4-D13	2-D13

※構造図による

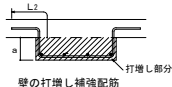
2) 壁開口部補強の定着長さは、下図による。



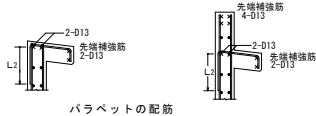
3) 開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げるにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

5. 壁の打増し補強配筋

壁の打増し厚さ (a) が50mm以上の場合の補強を示す。



6. バラベットの配筋



スラブの配筋

1. スラブの基準配筋

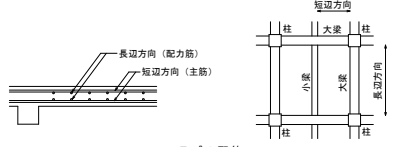
1) スラブの基準配筋

スラブの基準配筋									
配筋 種別	短辺方向 (主筋)		長辺方向 (配力筋)		配筋 種別	短辺方向 (主筋)		長辺方向 (配力筋)	
	全域		全域			全域		全域	
S 1	D13-100 [※]		D13-100 [※]		S 8	D10、D13-150 [※]		D10-150 [※]	
S 2	同上		D13-150 [※]		S 9	同上		D10-200 [※]	
S 3	同上		D10、D13-150 [※]		S 10	D10、D13-200 [※]		D10、D13-200 [※]	
S 4	D13-150 [※]		D13-150 [※]		S 11	同上		D10-200 [※]	
S 5	同上		D10、D13-150 [※]		S 12	同上		D10-250 [※]	
S 6	同上		D10-150 [※]		S 13	D10-200 [※]		D10-200 [※]	
S 7	D10、D13-150 [※]		D10、D13-150 [※]		S 14	同上		D10-250 [※]	

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。

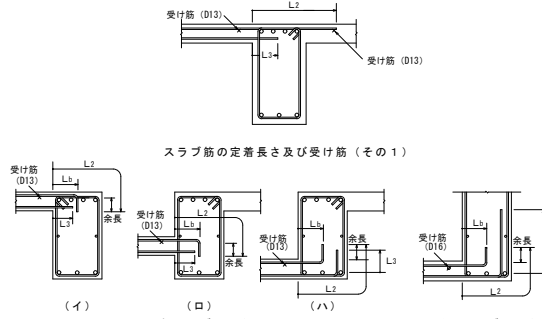
※ 構造面による

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。 ※構造図による



- 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
- 鉄筋の重ね継手長さは、L₁とする。

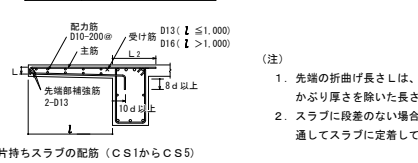
2. スラブ筋の定着及び受け筋



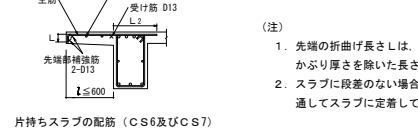
3. 片持ちスラブの基準配筋

1) 片持ちスラブの基準配筋

片持ちスラブの基準配筋					
配筋種別			主筋		
CS1	上	D13-100㊥	CS5	上	D10-200㊥
	下	D13-200㊥		下	D10-400㊥
CS2	上	D13-150㊥	CS6	上	D10、D13-200㊥
	下	D13-300㊥		下	—
CS3	上	D10、D13-150㊥	CS7	上	D10-200㊥
	下	D10、D13-300㊥		下	—
CS4	上	D10、D13-200㊥	※構造図による		
	下	D10-200㊥			

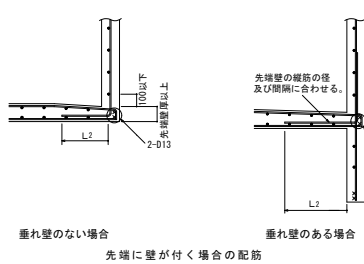


片持ちスラブの配筋 (CS1からCS5)



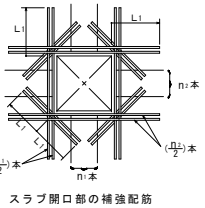
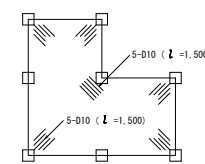
片持ちスラブの配筋 (CS6及びCS7)

4. 先端に壁が付く場合の配筋は、下図による。

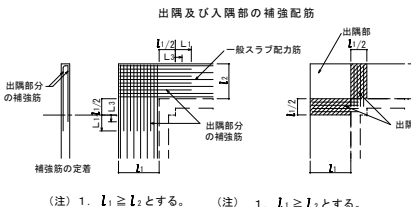


5. スラブ開口部の補強 (スラブ開口部の最大径が700mm以下の場合に限る。)

- スラブ開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 (L₁=2L₂) シングルを上下筋の内側に配筋する。
- スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げるにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

6. 屋根スラブの補強
屋根スラブの出隅部及び入隅部

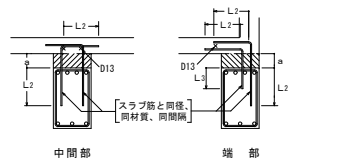
補強筋を上端筋の下側に配置する。



- L₁ ≥ L₂とする。
- L₁ ≥ L₂とする。

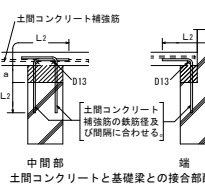
7. スラブの打継ぎ補強等

1) 土間スラブの打継ぎ補強



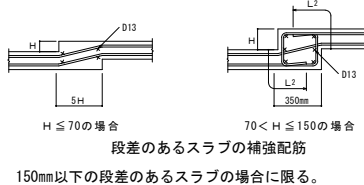
(注) 基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打継ぎを設ける場合の補強を示す。

2) 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋



- (注)
- 土間コンクリートとは、土に接するスラブのうち、床荷重を直接支持地盤へ伝達できるものをいい、それ以外は土間スラブとして、梁及び柱を介して基礎へ荷重を伝達するものとする。
 - a が300mm以下の場合に限る。

8. 段差のあるスラブの補強



段差のあるスラブの補強配筋

150mm以下の段差のあるスラブの場合に限る。

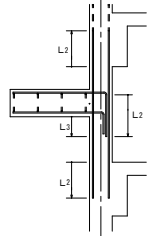
階段の配筋

1. 片持ちスラブ形階段

片持ちスラブ形階段の基準配筋は、下表及び下図により、寸法及び配筋種別は、特記による。

片持ちスラブラ形階段の基準配筋			
配筋種別	KA 1	KA 2	
配筋図			
配筋種別	KA 3	KA 4	
配筋図			

※構造図による



- (注)
- 壁配筋は、片持ちスラブ形階段を受ける壁の基準配筋による。
 - 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に下ろす。
 - スラブ配力筋の継手及び定着の長さは、〔鉄筋の定着長さ〕のL₁とする。

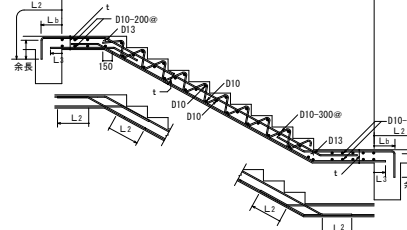
片持ちスラブ形階段配筋の定着

2. 二辺固定スラブ形階段

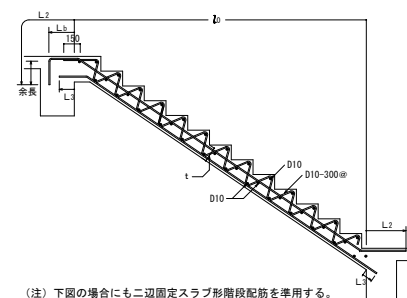
二辺固定スラブ形階段の基準配筋

配筋種別	上端筋、下端筋とも (全域)	配筋種別	上端筋、下端筋とも (全域)
KB 1	D13-200@	KB 5	D16-150@
KB 2	D13-150@	KB 6	D16-125@
KB 3	D13-100@	KB 7	D16-100@
KB 4	D13、D16-150@		

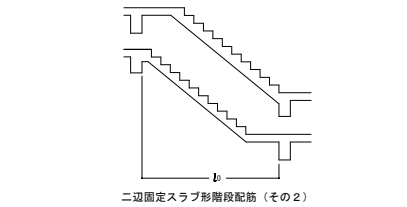
※構造図による



二辺固定スラブ形階段配筋 (その1)



(注) 下図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を準用する。

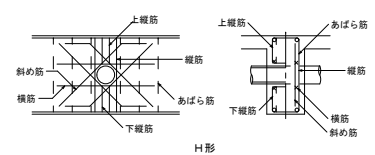


二辺固定スラブ形階段配筋 (その2)

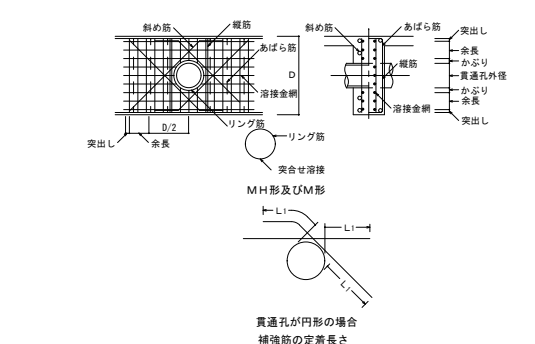
梁貫通孔及びその他の配筋

1. 梁貫通孔の配筋

- 梁貫通孔補強筋の名称等は、下図による。
- 孔の径は、梁せいの1/3以下とする。
- 孔の上下方向の位置は梁せいの中心付近とし、梁中央部においては梁下端よりD/3 (Dは梁せい) の範囲に設けてはならない。ただし、耐圧スラブ付きの基礎梁の梁中央部においては、梁上端よりD/3の範囲に孔を設けてはならない。
- 孔は、柱面から、原則として、1.5D (Dは梁せい) 以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。
- 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
- 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、下図による。
- 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
- 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。
- なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
- 溶接金網の割付け始点は、横筋であばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。



H形



2. 梁貫通孔の補強形式

配筋種別	斜め筋	縦 筋	横 筋	上下筋	配 筋 図
H 1	なし	なし	なし	なし	
H 2	2-2-D13	なし	なし	なし	
H 3	4-2-D13	なし	なし	なし	
H 4	4-2-D16	なし	なし	なし	
H 5	4-2-D16	なし	なし	なし	
H 6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H 7	4-2-D22	なし	なし	なし	

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

M形配筋

配筋種別	縦 筋	溶接金網	配 筋 図
M 1	2-2-D13	なし	
M 2	4-2-D13	なし	
M 3	4-2-D13	なし	
M 4	6-2-D13	なし	

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

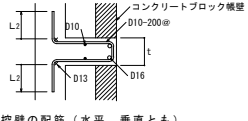
MH形配筋

配筋種別	斜め筋	縦 筋	溶接金網	配 筋 図
MH 1	なし	なし	なし	
MH 2	2-2-D13	なし	なし	
MH 3	2-2-D13	なし	なし	
MH 4	4-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100@	
MH 5	4-2-D16	なし	なし	
MH 6	4-2-D16	なし	なし	
MH 7	4-2-D19	4-2-D13	2-6φ-100@	

- (注)
- 大径認定による既製品を使用する場合は、適用条件はすべて認定内容による。

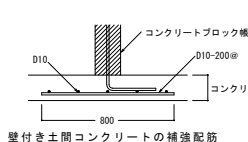
3. コンクリートブロック帳壁との取合い

1) 控壁の配筋



控壁の配筋 (水平、垂直とも)

2) 帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強



壁付土間コンクリートの補強配筋

工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事

図面名称 鉄筋工事仕様書 No. 2

原設計株式会社

一級建築士 第345405号
構造設計一級技士 第 9921号

2025年12月

図 面 N O .

福山市

S-002

鉄骨工事仕様書 No. 2

9. 溶接部の形状・寸法

項目	図	限界値
① ダイヤフラムとフランジのずれ		$t_1 \geq t_2$: $e \leq t_1/5$ かつ $e \leq 4\text{mm}$ $t_1 < t_2$: $e \leq t_1/4$ かつ $e \leq 5\text{mm}$
② 突合せ継手の食違い		$t \leq 15\text{mm}$: $e \leq 1.5\text{mm}$ $t > 15\text{mm}$: $e \leq t/10$ かつ $e \leq 3\text{mm}$ この場合において、通しダイヤフラムと梁フランジの溶接部は、梁フランジは通しダイヤフラムの厚み内で溶接しなければならない。
③ アンダーカット		$e \leq 0.3\text{mm}$ ただし、上記の数値を控え1mm以下の場合、アンダーカット部分の長さの総和が溶接長の1/10以下であり断面が鋭角的でないものは許容できる。

10. 工作及び組立

名称	図	管理許容差	限界許容差	測定器具
(1) T継手のすき間(隅肉溶接)		$e \leq 2\text{mm}$	$e \leq 3\text{mm}$	テーパーゲージ 金属製直尺
(2) 重ね継手のすき間		$e \leq 2\text{mm}$	$e \leq 3\text{mm}$	テーパーゲージ 金属製直尺
(3) 突合せ継手の食違い		$t \leq 15\text{mm}$: $e \leq 1\text{mm}$ $t > 15\text{mm}$: $e \leq t/15$ かつ $e \leq 2\text{mm}$	$t \leq 15\text{mm}$: $e \leq 1.5\text{mm}$ $t > 15\text{mm}$: $e \leq t/10$ かつ $e \leq 3\text{mm}$	金属製角度直尺 金属製直尺 テーパーゲージ 溶接ゲージ
(4) ルート間隔(裏はつり)		被覆アーク溶接 $0 \leq a \leq 2.5\text{mm}$ サブマージアーク溶接 $0 \leq a \leq 1\text{mm}$ ガスシールドアーク溶接、セルフシールドアーク溶接 $0 \leq a \leq 2\text{mm}$	被覆アーク溶接 $0 \leq a \leq 4\text{mm}$ サブマージアーク溶接 $0 \leq a \leq 2\text{mm}$ ガスシールドアーク溶接、セルフシールドアーク溶接 $0 \leq a \leq 3\text{mm}$	テーパーゲージ
(5) ルート間隔(裏当て金あり)		被覆アーク溶接 $\Delta a \geq -3\text{mm}$ ($\theta \geq 35^\circ$) ガスシールドアーク溶接、セルフシールドアーク溶接 $\Delta a \geq -2\text{mm}$ ($\theta \geq 35^\circ$) $\Delta a \geq -1\text{mm}$ ($\theta < 35^\circ$) サブマージアーク溶接 $-2\text{mm} \leq \Delta a \leq +2\text{mm}$	被覆アーク溶接 $\Delta a \geq -3\text{mm}$ ($\theta \geq 35^\circ$) ガスシールドアーク溶接、セルフシールドアーク溶接 $\Delta a \geq -3\text{mm}$ ($\theta \geq 35^\circ$) $\Delta a \geq -1\text{mm}$ ($\theta < 35^\circ$) サブマージアーク溶接 $-3\text{mm} \leq \Delta a \leq +3\text{mm}$	限界ゲージ テーパーゲージ
(6) ルート面		被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接、セルフシールドアーク溶接 裏当て金なし $\Delta a \leq 2\text{mm}$ 裏当て金あり $\Delta a \leq 1\text{mm}$ サブマージアーク溶接 $\Delta a \leq 2\text{mm}$	被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接、セルフシールドアーク溶接 裏当て金なし $\Delta a \leq 3\text{mm}$ 裏当て金あり $\Delta a \leq 2\text{mm}$ サブマージアーク溶接 $\Delta a \leq 3\text{mm}$	コンベックス ルール 金属製直尺
(7) ベベル角度		$\Delta \theta \geq -2.5^\circ$ ($\theta \geq 35^\circ$) $\Delta \theta \geq -1^\circ$ ($\theta < 35^\circ$)	$\Delta \theta \geq -5^\circ$ ($\theta \geq 35^\circ$) $\Delta \theta \geq -2^\circ$ ($\theta < 35^\circ$)	溶接ゲージ
(8) 開先角度		$\Delta \theta \geq -5^\circ$ $\Delta \theta \geq -2.5^\circ$ ($\theta \geq 35^\circ$) $\Delta \theta \geq -1^\circ$ ($\theta < 35^\circ$)	$\Delta \theta \geq -10^\circ$ $\Delta \theta \geq -5^\circ$ ($\theta \geq 35^\circ$) $\Delta \theta \geq -5^\circ$ ($\theta < 35^\circ$)	限界ゲージ
(9) 切断面のあらし		開先内 $100 \mu\text{mR}$ 以下 自由縁端 $100 \mu\text{mR}$ 以下	開先内 $100 \mu\text{mR}$ 以下 自由縁端 $100 \mu\text{mR}$ 以下	対比試験片
(10) 切断面のノッチ深さ		開先内 $d \leq 0.5\text{mm}$ 自由縁端 $d \leq 0.5\text{mm}$	開先内 $d \leq 1\text{mm}$ 自由縁端 $d \leq 1\text{mm}$	溶接ゲージ
(11) 切断線の直角度		$t \leq 40\text{mm}$: $e \leq 1\text{mm}$ $t > 40\text{mm}$: $e \leq t/40$ かつ $e \leq 1.5\text{mm}$	$t \leq 40\text{mm}$: $e \leq 1.5\text{mm}$ $t > 40\text{mm}$: $e \leq 1.5t/40$ かつ $e \leq 2\text{mm}$	金属製角度直尺 テーパーゲージ 溶接ゲージ 直角定規
(12) 仕口のずれ		$t \geq t_1$: $e \leq 2t_1/15$ かつ $e \leq 3\text{mm}$ $t < t_1$: $e \leq t_1/6$ かつ $e \leq 4\text{mm}$	$t \geq t_1$: $e \leq t_1/5$ かつ $e \leq 4\text{mm}$ $t < t_1$: $e \leq t_1/4$ かつ $e \leq 5\text{mm}$	コンベックス ルール テーパーゲージ 測定治具 金属製直尺
(13) 溶接組立て部材端部の不ぞろい		$e \leq 2\text{mm}$	$e \leq 3\text{mm}$	金属製角度直尺 直角定規 コンベックス ルール 金属製直尺

11. 高力ボルト

名称	図	管理許容差	限界許容差	測定器具
(1) 孔の心ずれ		$e \leq 1\text{mm}$	$e \leq 1.5\text{mm}$	コンベックス ルール 金属製直尺 検定用型板
(2) 孔相互の間隔		$-1\text{mm} \leq \Delta P \leq +1\text{mm}$	$-1.5\text{mm} \leq \Delta P \leq +1.5\text{mm}$	コンベックス ルール 金属製直尺
(3) 孔の食違い		$e \leq 1\text{mm}$	$e \leq 1.5\text{mm}$	コンベックス ルール 直角定規 貫通ゲージ
(4) 高力ボルト接合部の肌すき		$e \leq 1\text{mm}$	$e \leq 1\text{mm}$	テーパーゲージ
(5) 孔のはしあき・へりあき		$\Delta a_1 \geq -2\text{mm}$ $\Delta a_2 \geq -2\text{mm}$ かつ「鋼構造設計規程」「高力ボルト接合設計施工ガイドブック」の最小縁端距離を満足すること。	$\Delta a_1 \geq -3\text{mm}$ $\Delta a_2 \geq -3\text{mm}$ かつ「鋼構造設計規程」「高力ボルト接合設計施工ガイドブック」の最小縁端距離を満足すること。	コンベックス ルール 金属製直尺

12. 溶接

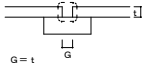
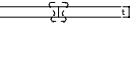
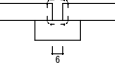
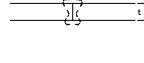
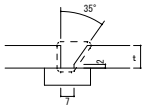
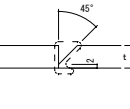
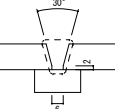
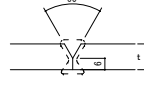
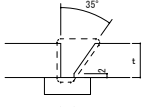
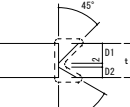
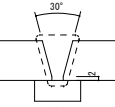
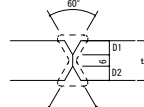
名称	図	管理許容差	限界許容差	測定器具
(1) 隅肉溶接のサイズ		$0 \leq \Delta S \leq 0.5\text{S}$ かつ $\Delta S \leq 5\text{mm}$	$0 \leq \Delta S \leq 0.8\text{S}$ かつ $\Delta S \leq 8\text{mm}$	溶接ゲージ 限界ゲージ

(2) 隅肉溶接の余座の高さ		$0 \leq \Delta a \leq 0.4\text{S}$ かつ $\Delta a \leq 4\text{mm}$	$0 \leq \Delta a \leq 0.6\text{S}$ かつ $\Delta a \leq 6\text{mm}$	溶接ゲージ
(3) 完全溶込み溶接突合せ継手の余座の高さ		$B < 15\text{mm}$ ($h=0\text{mm}$): $0 \leq \Delta h \leq 3\text{mm}$ $15\text{mm} \leq B < 25\text{mm}$ ($h=0\text{mm}$): $0 \leq \Delta h \leq 4\text{mm}$ $25\text{mm} \leq B$ ($h=0\text{mm}$): $0 \leq \Delta h \leq 4\text{mm}/25\text{mm}$	$B < 15\text{mm}$ ($h=0\text{mm}$): $0 \leq \Delta h \leq 5\text{mm}$ $15\text{mm} \leq B < 25\text{mm}$ ($h=0\text{mm}$): $0 \leq \Delta h \leq 6\text{mm}$ $25\text{mm} \leq B$ ($h=0\text{mm}$): $0 \leq \Delta h \leq 6\text{mm}/25\text{mm}$	溶接ゲージ 限界ゲージ
(4) 完全溶込み溶接角継手の余座の高さ		$B < 15\text{mm}$ ($h=0\text{mm}$): $0 \leq \Delta h \leq 3\text{mm}$ $15\text{mm} \leq B < 25\text{mm}$ ($h=0\text{mm}$): $0 \leq \Delta h \leq 4\text{mm}$ $25\text{mm} \leq B$ ($h=0\text{mm}$): $0 \leq \Delta h \leq 4\text{mm}/25\text{mm}$	$B < 15\text{mm}$ ($h=0\text{mm}$): $0 \leq \Delta h \leq 5\text{mm}$ $15\text{mm} \leq B < 25\text{mm}$ ($h=0\text{mm}$): $0 \leq \Delta h \leq 6\text{mm}$ $25\text{mm} \leq B$ ($h=0\text{mm}$): $0 \leq \Delta h \leq 6\text{mm}/25\text{mm}$	溶接ゲージ 限界ゲージ
(5) 完全溶込み溶接T継手(裏当て金あり)の余座の高さ		$t \leq 40\text{mm}$ ($h=t/4\text{mm}$): $0 \leq \Delta h \leq 7\text{mm}$ $t > 40\text{mm}$ ($h=10\text{mm}$): $0 \leq \Delta h \leq t/4 - 3\text{mm}$	$t \leq 40\text{mm}$ ($h=t/4\text{mm}$): $0 \leq \Delta h \leq 10\text{mm}$ $t > 40\text{mm}$ ($h=10\text{mm}$): $0 \leq \Delta h \leq t/4 - 4\text{mm}$	溶接ゲージ 限界ゲージ
(6) 完全溶込み溶接T継手(裏はつり)の余座の高さ		$t \leq 40\text{mm}$ ($h=t/8\text{mm}$): $0 \leq \Delta h \leq 7\text{mm}$ $t > 40\text{mm}$ ($h=5\text{mm}$): $0 \leq \Delta h \leq t/4 - 3\text{mm}$	$t \leq 40\text{mm}$ ($h=t/8\text{mm}$): $0 \leq \Delta h \leq 10\text{mm}$ $t > 40\text{mm}$ ($h=5\text{mm}$): $0 \leq \Delta h \leq t/4 - 4\text{mm}$	溶接ゲージ 限界ゲージ
(7) アンダーカット		完全溶込み溶接 $e \leq 0.3\text{mm}$ 前面隅肉溶接 $e \leq 0.3\text{mm}$ 側面隅肉溶接 $e \leq 0.5\text{mm}$ ただし、上記の数値を超え0.7mm以下の場合、溶接長300mm当り総長さが30mm以下かつ1箇所 の長さが3mm以下。	完全溶込み溶接 $e \leq 0.5\text{mm}$ 前面隅肉溶接 $e \leq 0.5\text{mm}$ 側面隅肉溶接 $e \leq 0.8\text{mm}$ ただし、上記の数値を超え1mm以下の場合、溶接長300mm当り総長さが30mm以下かつ1箇所 の長さが5mm以下。	アンダーカット ゲージ 対比試験片
(8) 突合せ継手の食違い		$t \leq 15\text{mm}$: $e \leq 1\text{mm}$ $t > 15\text{mm}$: $e \leq t/15$ かつ $e \leq 2\text{mm}$	$t \leq 15\text{mm}$: $e \leq 1.5\text{mm}$ $t > 15\text{mm}$: $e \leq t/10$ かつ $e \leq 3\text{mm}$	金属製角度直尺 テーパーゲージ 溶接ゲージ 測定治具
(9) 仕口のずれ		$t \geq t_1$: $e \leq 2t_1/15$ かつ $e \leq 3\text{mm}$ $t < t_1$: $e \leq t_1/6$ かつ $e \leq 4\text{mm}$	$t \geq t_1$: $e \leq t_1/5$ かつ $e \leq 4\text{mm}$ $t < t_1$: $e \leq t_1/4$ かつ $e \leq 5\text{mm}$	コンベックス ルール テーパーゲージ 測定治具 金属製直尺
(10) ビード表面の不整		ビード表面の凹凸の高低差 e_1 (ビード長さ方向)、 e_2 (ビード幅方向)は溶接の長さ、またはビード幅25mmの範囲で2.5mm以下。 ビード幅の不整 e_3 は溶接の長さ150mmの範囲で5mm以下。	ビード表面の凹凸の高低差 e_1 (ビード長さ方向)、 e_2 (ビード幅方向)は溶接の長さ、またはビード幅25mmの範囲で4mm以下。 ビード幅の不整 e_3 は溶接の長さ150mmの範囲で7mm以下。	溶接ゲージ 金属製直尺 コンベックス ルール テーパーゲージ
(11) ビット		溶接長300mm当り1個以下。ただし、ビットの大きさが1mm以下のものは3個を1個として計算する。	溶接長300mm当り2個以下。ただし、ビットの大きさが1mm以下のものは3個を1個として計算する。	ルーペ
(12) 割れ		溶接金属割れ クラック 割れ	あてはまらない。	-
(13) オーバーラップ		-	著しいものは認めない。	-
(14) スタッド溶接後の仕上がり高さ		$-1.5\text{mm} \leq \Delta L \leq +1.5\text{mm}$ $\theta \leq 3^\circ$	$-2\text{mm} \leq \Delta L \leq +2\text{mm}$ $\theta \leq 5^\circ$	金属製直尺 限界ゲージ コンベックス ルール

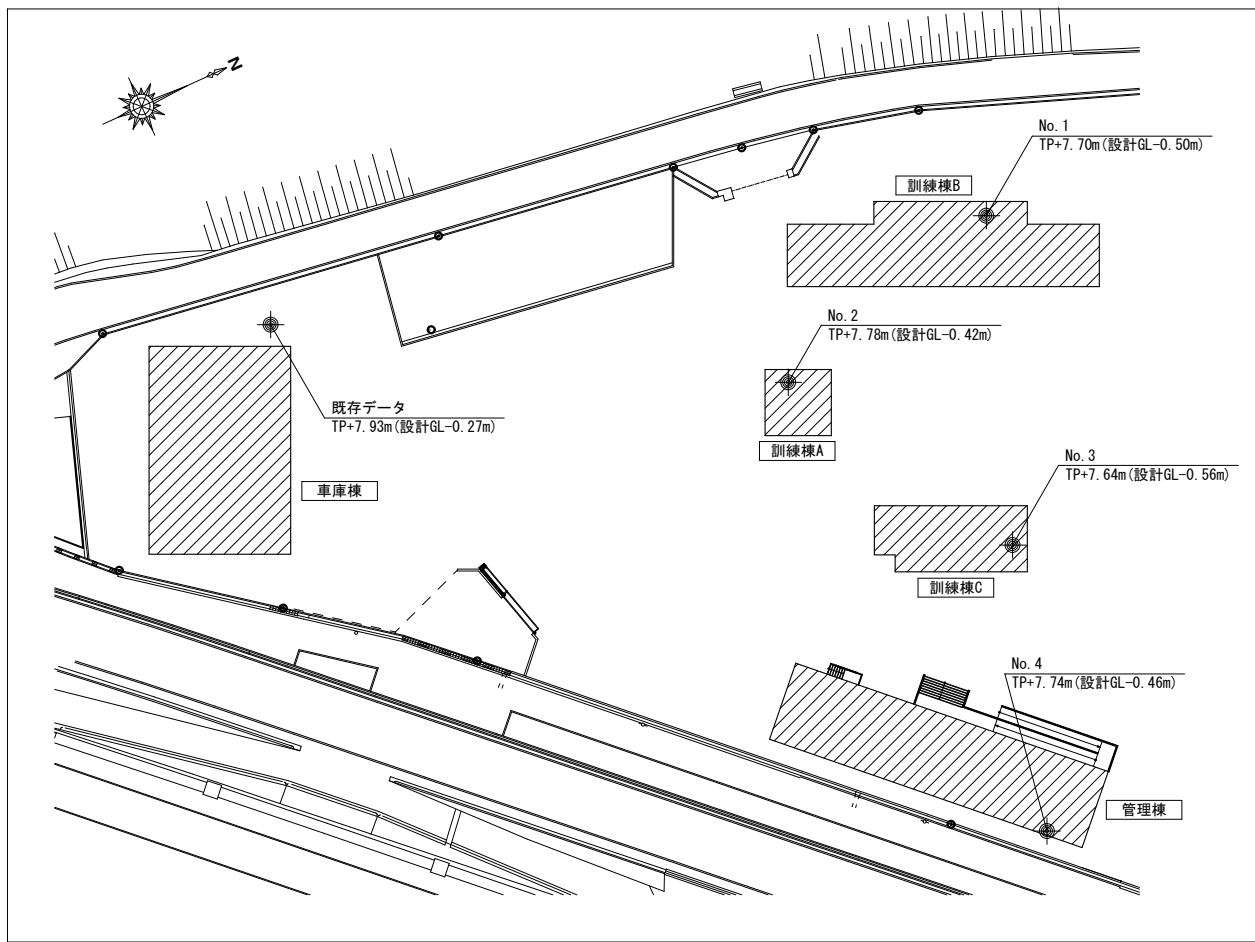
13. 溶接継手の種類別開先標準

1. 突合せ継手

(1) 突合せ継手(B)の開先標準

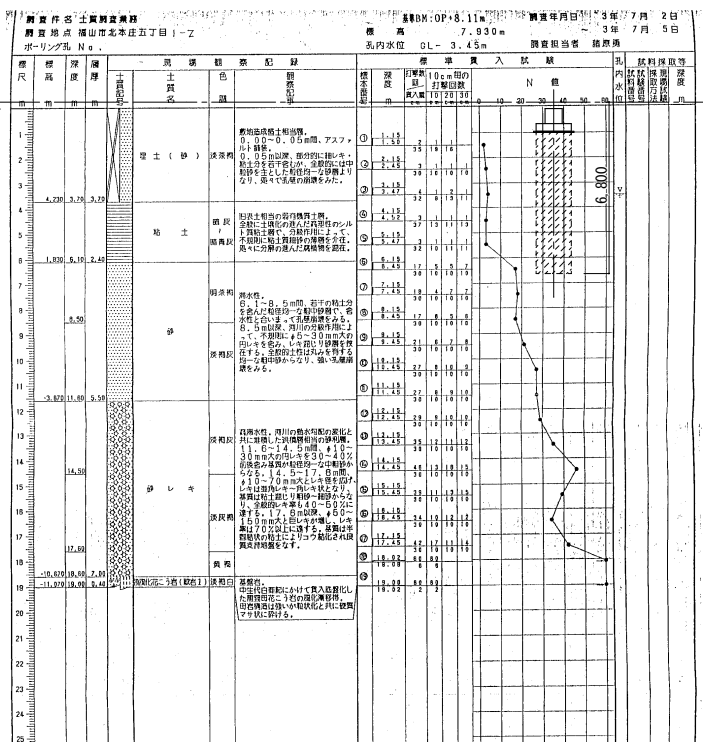
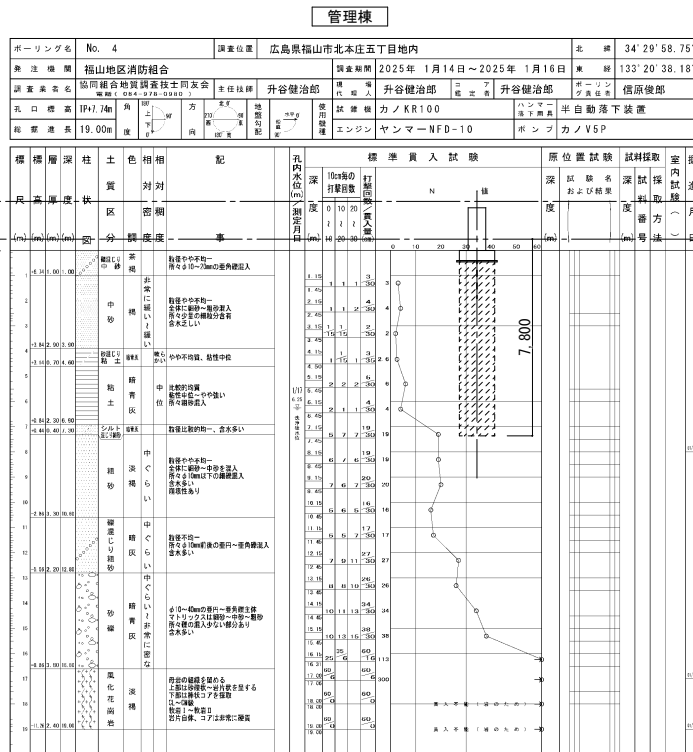
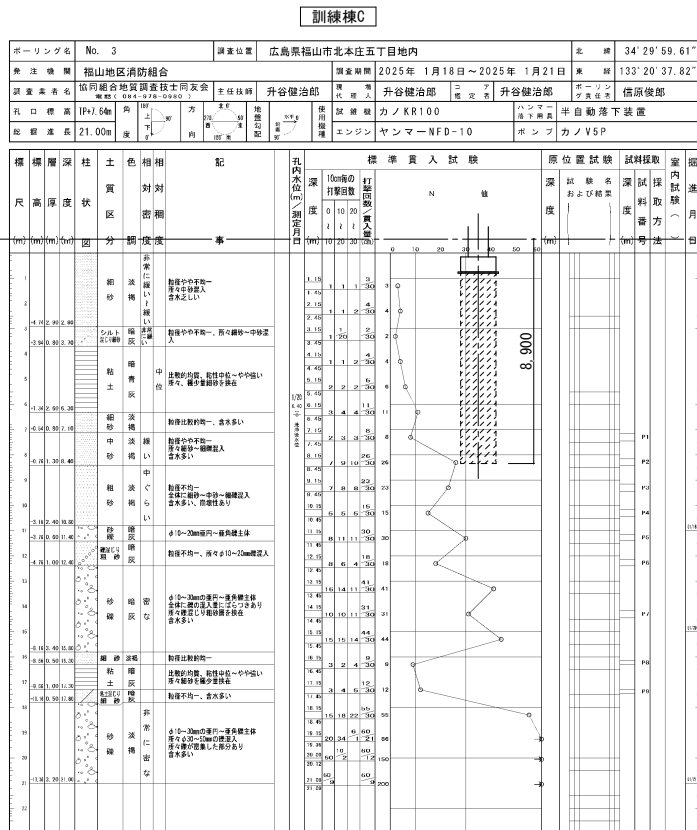
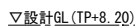
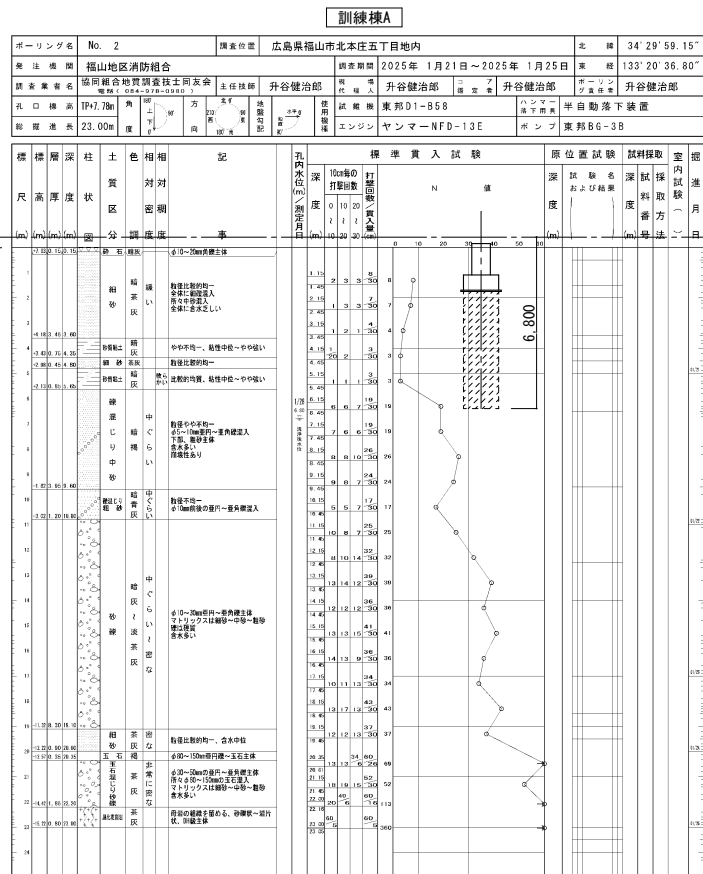
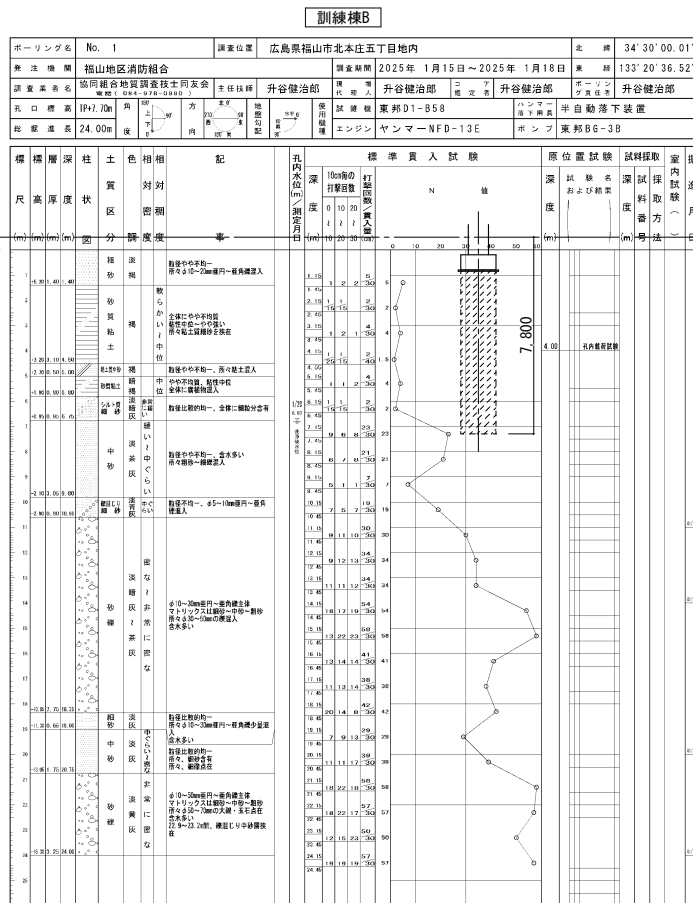
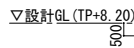
H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		A (サブマージアーク自動溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
$t \leq 6$		$t \leq 12$	
			
$6 < t \leq 19$		$12 < t \leq 22$	
			
$19 < t \leq 40$		$22 < t \leq 40$	
			
	$D1 = 2 (t - 2) / 3$ $D2 = (t - 2) / 3$		$D1 = (t - 6) / 2$ $D2 = (t - 6) / 2$

構造スリット要領		バルコニーなどの手摺壁 (H ≦1200)		ピット等の配筋要領		設備基礎配筋要領			



ボーリング位置図

※設計GL = TP+8.20



訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第 293830号 甲斐 宣行	一級建築士 第 345405号 廣井 克彦	 福山市建設局建築部営繕課	担当	設計年月	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事	区 分 構造 (S)			
				-		令和 7 年 12 月						
				監理設計-一級建築士		作図	変更年月			図面名称 地盤調査図	縮 尺 1:800	図面番号 S-006
				第 号								

テノコラム地業特記仕様書

1. 工事概要

本地業は、テノコラム工法による地盤改良地業である。テノコラム工法は、スラリー状のセメント系固化材（以下、固化材液と称す）を地盤に注入しながら、共回り防止翼を装着した攪拌装置を用いて、原位置土と機械的に攪拌混合し、固化材の固化反応により所要の強度を持つ改良柱体（以下、コラムと称す）を築造するものである。

2. 一般事項

本工事は、本特記仕様書によるほか「改訂版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針(平成16年 4月)」(日本建築センター)による。

3. 特記事項

- (1) コラムの径、掘削深度（設計コラム長＋空掘長）、本数配置等は設計図書による。ただし、コラムの径・長さ・本数・位置及び固化材液の配合等について土質や地盤状況により変更した方が適切だと判断される場合は、監督員の承認の下に変更することができる。
- (2) コラムの設計基準強度は $F_c = \underline{\hspace{1cm}}900\hspace{1cm}$ kN/m² ($\underline{\hspace{1cm}}0.90\hspace{1cm}$ N/mm²) とする。
- (3) 設計の要求する性能を確保するため、適切な配合管理および品質検査を実施する。
- (4) 本工事は、テノコラム工法（ 財団法人 先端建設技術センター先端建設技術・技術審査証明第2001号）とする。
- 又、品質確保の為、技術審査証明取得業者が常駐管理の元に施工を行う。

4. 施工計画

- (1) 本工事施工業者は、本工法の施工技術に精通したもので、テノコラム協会に所属する会員とする。
- (2) 施工計画書
- 工事に先立ち、施工計画書を監督員に提出する。施工計画書は、次の事項を明記する。
- | | |
|--|-----------------------|
| ① 工事件名及び工事場所 | ⑦ 固化材配合条件 |
| ② コラム仕様〔コラム径・掘削深度（設計コラム長＋空掘長）
・本数・設計基準強度〕 | ⑧ 施工管理（立会い、管理項目、施工記録） |
| ③ 工事期間及び工程 | ⑨ 品質検査 |
| ④ 工事の組織（建築請負業者の本工事責任者、コラム施工業者名
及び責任者、各種作業の主たる従事者） | ⑩ 安全衛生対策 |
| ⑤ 施工手順 | ⑪ 地盤概要（土質柱状図） |
| ⑥ 施工機器 | ⑫ コラム伏図 |
| | ⑬ 技術審査証明書（写） |

5. 施工

- (1) 作業地盤は、施工機械が傾斜・転倒しないよう養生する。
- (2) 基本的な施工手順を以下に示す。施工の障害になる事項が出現した場合は、別途検討する。
- a. 攪拌混合装置をコラム心に合せる。
- b. 固化材液を吐出せずに、空掘部を所定の深度まで掘進する。
- c. 固化材液を吐出しながら掘進・攪拌混合する。
- d. 注入掘進工程が終了したら、固化材液の吐出を停止し先端部の練り返しを行う。
- e. 先端部練り返し工程が終了したら、攪拌軸を逆回転し引き上げ攪拌混合する。
- (3) 実施コラム長は、設計図書で示された支持地盤に着底する長さとする。
- (4) 本工事により排出される発生残土は場内処分とする。

6. 施工機械

- (1) 共回り現象を防止する機構を有し、固化材液と原位置土を確実に攪拌混合できる攪拌装置を用いること。
- (2) 所定の施工管理項目を計測、記録できる管理装置を用いること。
- (3) 改良機本体は本工事の施工仕様を満足させる施工制御機器を装備したもので、自走式とする。
- (4) ミキシングプラントは、所定吐出量を十分供給できるものとする。

7. 配合管理

- (1) 固化材液に使用する材料は、セメント又はセメント系固化材とする。
- (2) 配合強度
- 変動係数を25%と想定し、9項に規定する採取ヶ所数N、合格確率80%とした下表を用いて設定する。
- | | | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| N | 1 | 2 | 3 | 4～6 | 7～8 | 9～ |
| α | 2.163 | 1.918 | 1.815 | 1.719 | 1.651 | 1.594 |
- $Xf = \alpha \times F_c$ 〔 α : 割り増し係数、Xf : 配合強度〕
- (3) 室内配合試験
- 固化材液の配合（W/C）と使用量（添加量）は、室内配合試験の結果に基づいて、現場室内強度比を考慮して、配合強度を満足するように決定する。
- あるいは正確に土質を把握し、かつその土質に対する既存データがある場合は、その結果を用いて添加量を決定する。

8. 施工管理

- (1) 施工の安定性を確保するため以下に示す項目について施工管理する。
- | | | | |
|---------|--|-------|----------------------------|
| ① 形状・寸法 | ：鉛直性 | _____ | 改良機本体のリーダー内に設置された傾斜計で管理する。 |
| | ：コラム心 | _____ | 事前にコラム心にマークを設ける |
| | ：掘削深度 | _____ | 深度計で計測し記録する |
| | ：コラム径 | _____ | 攪拌装置の形状・寸法を記録する |
| ② 固化材 | ：材料計量 | _____ | 水、固化材の重量 |
| | ：固化材液の密度 | _____ | マッドバランス（泥水比重計）等で計測する |
| | ：固化材液の添加量 | _____ | スーパーシステムにて施工管理を行い、記録する。 |
| ③ 攪拌混合度 | ：攪拌混合回数 | _____ | スーパーシステムにて施工管理を行い、記録する |
| ④ 支持地盤 | ：仕事量 | _____ | スーパーシステムにて施工管理を行い、記録する。 |
| | （施工管理装置は、施工時に管理基準値を満たさない場合、警報等にて修正負荷を促す装置とする。） | | |
- (2) コラムの芯ズレ
- コラムの芯ズレが許容値を超えた場合は、監督員（監理者）と協議し、設計検討により応力照査を行った上、安全であると判断した場合、合格とする。
- (3) 施工の立会い
- 建築工事の請負者は、本地業責任者（請負業者の中から選定）及び施工責任者を定め、両者は本地業の施工中は立合うものとする。

9. 品質検査

- (1) 検査対象群、検査対象層及び調査ヶ所数
- ① 検査対象群は概ねコラム300本を1単位とする。土層毎に検査対象層を決めるが、最小層厚を0.5mとする。
- ② 検査対象層は 埋土 , 砂質土 , 粘土 であり、設計対象層を 粘土 とする。
- 設計対象層の平均強度は他の検査対象層の平均強度を超えないこと。
- 超えている場合は、最も低い平均強度の層を設計対象層とする。
- ③ 調査ヶ所数
- 頭部コア調査100本に1ヶ所とする。
- 深度コア調査100本に1ヶ所とする。
- (2) コア採取率による調査
- 深度コア調査の内、検査対象群に1ヶ所の割合でボーリングによりオールコアサンプリングを行い、コア採取率を調査する。
- コア採取率が、全長に対して粘性土層90%、砂質土層95%以上、かつ深さ1m毎に粘性土層85%、砂質土層90%以上であることを確認する。
- (3) 合否の判定
- ① 設計対象層についての採取ヶ所数をNとする。1採取ヶ所当り3個のコア供試体を採取し、その平均強度をその採取ヶ所の強度とする。
- ② 一軸圧縮強度は公的機関あるいは検査員立会いの下に行うものとする。
- ③ 検査手法は検査手法A（品質のバラツキを想定する場合の検査手法）による。
- ④ 検査手法Aによる品質検査
- 合否の判定は検査対象層におけるNヶ所（採取ヶ所）の一軸圧縮試験結果が下式を満足すれば合格とする。
- $$\overline{X}N \geq \overline{X}L = F_c + k_a \cdot \sigma_d$$
- $\overline{X}N$: Nヶ所の一軸圧縮強度の平均値 (N/mm², kN/m²)
- $\overline{X}L$: 合格判定値 (N/mm², kN/m²)
- F_c : 設計基準強度 (N/mm², kN/m²)
- k_a : 合格判定係数
- σ_d : 想定したコア強度の標準偏差 (N/mm², kN/m²)であり、 $\sigma_d = \sqrt{d \cdot \overline{q}_{ud}}$ （ $\sqrt{d}$: 変動係数、品質確認書により想定する
 $\overline{q}_{ud}$: 想定した平均一軸圧縮強さ (N/mm², kN/m²)）

採取ヶ所数N	1	2	3	4～6	7～8	9～
合格判定係数k _a	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

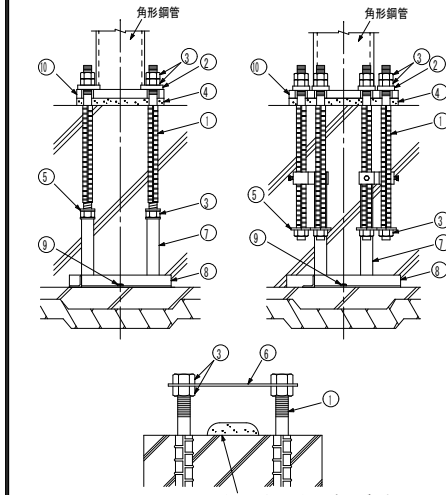
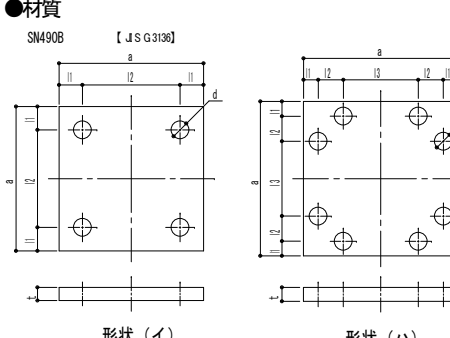
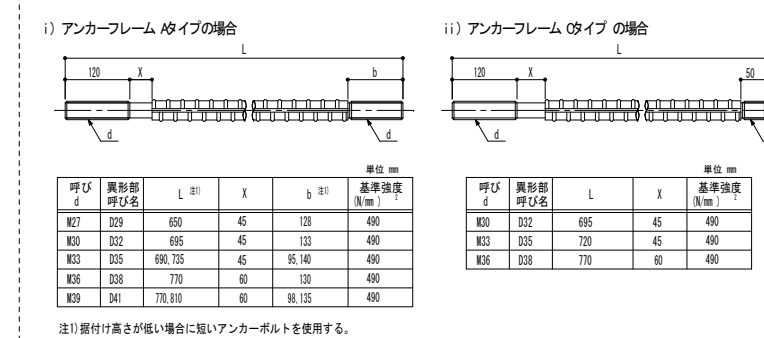
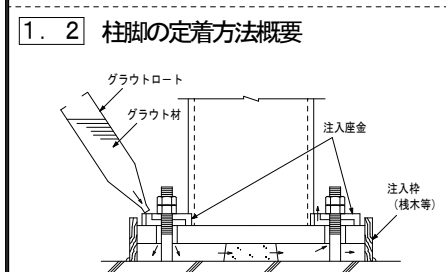
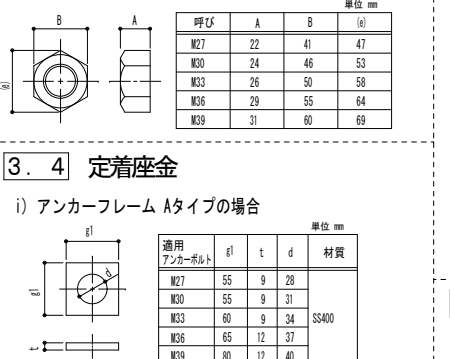
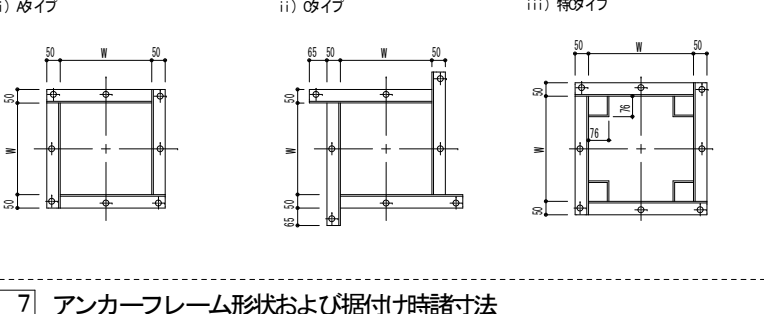
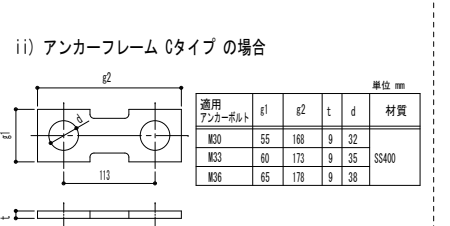
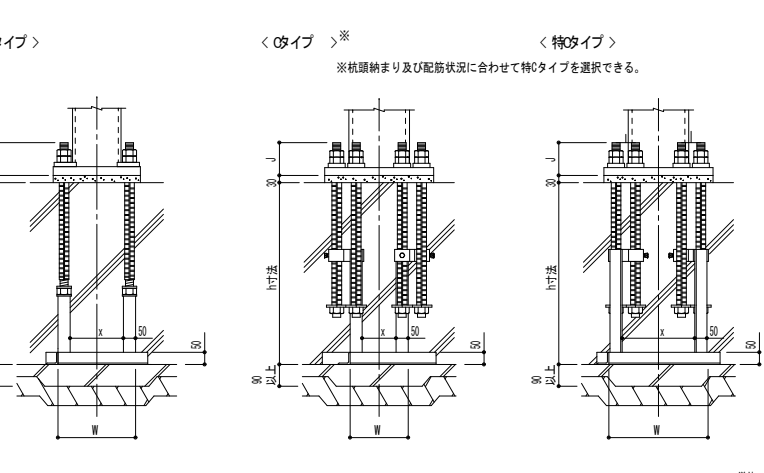
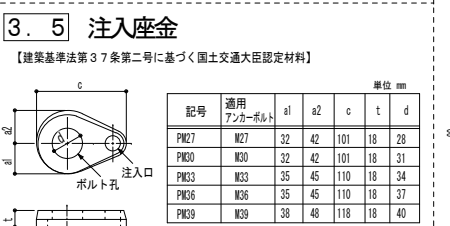
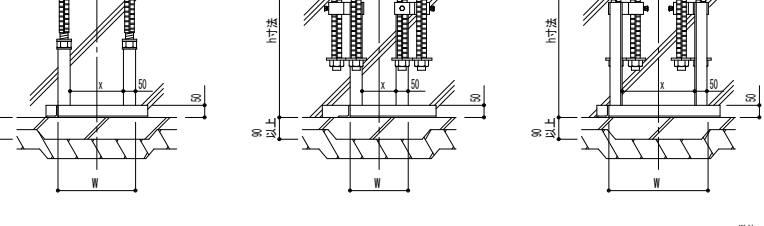
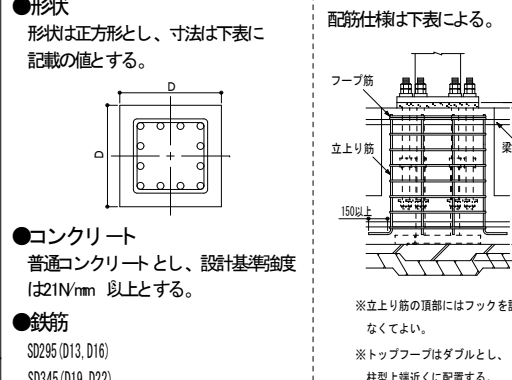
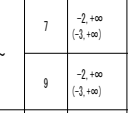
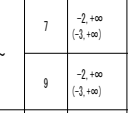
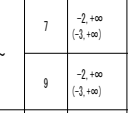
10. 報告

- 工事完了後、次の事項について施工報告書をまとめ、監督員に提出する。
- | | |
|------------------------|------------------------------------|
| ① コラムの伏図及び番号 | ⑥ 仕事量又は掘進速度及び電流値（又はトルク値） |
| ② コラムの施工日 | ⑦ 固化材液の配合と固化材の使用量 |
| ③ コラムの径及び実施コラム長 | ⑧ コア供試体の一軸圧縮強度試験結果及びボーリングコアを用いた採取率 |
| ④ 掘削深度（実施コラム長＋空掘長） | ⑨ 合否の判定結果 |
| ⑤ 攪拌混合回数又は掘進速度及び引き上げ速度 | |

11. その他

- 施工にあたっては、セメント系固化材等を使用した改良土の六価クロム溶出試験を実施し、環境庁告示46号の土壤環境基準値(検液1Lにつき0.05mg)以下であるかを確認する。
- 試験方法は、平成13年4月20日付国官技第16号国営建第1号「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領(案)の一部変更について」による。
- 試験方法及び試験の個数：配合設計の段階で実施する環境庁告示46号溶出試験、 1 検体

訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214	一級建築士 第345405号 廣井 克彦 構造設計一級建築士 第 9921号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 構造 (S)
				一級建築士事務所所長島根知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行	図面設計一級建築士 第 号	作図	変更年月		図面名称 テノコラム工法標準図	縮 尺	図面番号 S-007

ベースバックⅠ型		角形鋼管 F値295N/mm以下 ² □-150×150 ～ □-300×300 用		(一財)日本建築センターによる一般認定「BCJ認定-ST0093-19」(令和6年6月21日付)		設計 施工 標準図		●ベースバック柱脚工法の設計は「ベースバック柱脚工法設計ハンドブック」による。		2024年10月作成																																																															
1. 工法概要																																																																									
1. 1 構成部材				3. 1 ベースプレート				3. 2 アンカーボルト (Mアンカーボルト)																																																																	
 ①アンカーボルト ②注入座金 ③Mナット ④ベースバックグラウト (グラウト材) ⑤定着座金 ⑥テンプレート ⑦フレームポスト ⑧フレームベース ⑨ステコンアンカー (コンクリートアンカー) ⑩ベースプレート (注)上記 ①～⑩ 構成部材はベースバック構成部品として供給される。 (注)上記 ⑨は現場状況により仕様異なる場合がある。				 形状 (イ) 形状 (ハ)				 ①アンカーフレーム Aタイプの場合 ②アンカーフレーム Cタイプの場合 <table><tr><th>呼び d</th><th>異形部呼び名</th><th>L ①</th><th>X</th><th>b ②</th><th>基準強度 (N/mm²)</th></tr><tr><td>M27</td><td>D29</td><td>650</td><td>45</td><td>128</td><td>490</td></tr><tr><td>M30</td><td>D32</td><td>695</td><td>45</td><td>133</td><td>490</td></tr><tr><td>M33</td><td>D35</td><td>690, 735</td><td>45</td><td>95, 140</td><td>490</td></tr><tr><td>M36</td><td>D38</td><td>770</td><td>60</td><td>130</td><td>490</td></tr><tr><td>M39</td><td>D41</td><td>770, 810</td><td>60</td><td>98, 135</td><td>490</td></tr></table> 注1) 据付け高さが低い場合に短いアンカーボルトを使用する。				呼び d	異形部呼び名	L ①	X	b ②	基準強度 (N/mm ²)	M27	D29	650	45	128	490	M30	D32	695	45	133	490	M33	D35	690, 735	45	95, 140	490	M36	D38	770	60	130	490	M39	D41	770, 810	60	98, 135	490																										
呼び d	異形部呼び名	L ①	X	b ②	基準強度 (N/mm ²)																																																																				
M27	D29	650	45	128	490																																																																				
M30	D32	695	45	133	490																																																																				
M33	D35	690, 735	45	95, 140	490																																																																				
M36	D38	770	60	130	490																																																																				
M39	D41	770, 810	60	98, 135	490																																																																				
1. 2 柱脚の定着方法概要				3. 3 Mナット				3. 6 フレームベース																																																																	
				 【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】 <table><tr><th>呼び</th><th>A</th><th>B</th><th>①</th></tr><tr><td>M27</td><td>22</td><td>41</td><td>47</td></tr><tr><td>M30</td><td>24</td><td>46</td><td>53</td></tr><tr><td>M33</td><td>26</td><td>50</td><td>58</td></tr><tr><td>M36</td><td>29</td><td>55</td><td>64</td></tr><tr><td>M39</td><td>31</td><td>60</td><td>69</td></tr></table>				呼び	A	B	①	M27	22	41	47	M30	24	46	53	M33	26	50	58	M36	29	55	64	M39	31	60	69	 ①Aタイプ ②Cタイプ ③特Cタイプ ※鉄頭納まり及び配筋状況に合わせて特Cタイプを選択できる。																																									
呼び	A	B	①																																																																						
M27	22	41	47																																																																						
M30	24	46	53																																																																						
M33	26	50	58																																																																						
M36	29	55	64																																																																						
M39	31	60	69																																																																						
2. 柱				3. 4 定着座金				3. 7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法																																																																	
<table><tr><th>F値 (N/mm²)</th><th>鋼種</th><th>採用</th></tr><tr><td>235</td><td>BCP235</td><td></td></tr><tr><td></td><td>STK400</td><td></td></tr><tr><td>295</td><td>BCP295</td><td></td></tr><tr><td></td><td>TS295</td><td></td></tr></table>				F値 (N/mm ²)	鋼種	採用	235	BCP235			STK400		295	BCP295			TS295		 ①アンカーフレーム Aタイプの場合 ②アンカーフレーム Cタイプの場合																																																						
F値 (N/mm ²)	鋼種	採用																																																																							
235	BCP235																																																																								
	STK400																																																																								
295	BCP295																																																																								
	TS295																																																																								
3. 5 注入座金				3. 6 フレームベース				4. コンクリート 柱型																																																																	
 【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】 <table><tr><th>記号</th><th>適用アンカーボルト</th><th>a1</th><th>a2</th><th>c</th><th>t</th><th>d</th></tr><tr><td>PM27</td><td>M27</td><td>32</td><td>42</td><td>101</td><td>18</td><td>28</td></tr><tr><td>PM30</td><td>M30</td><td>32</td><td>42</td><td>101</td><td>18</td><td>31</td></tr><tr><td>PM33</td><td>M33</td><td>35</td><td>45</td><td>110</td><td>18</td><td>34</td></tr><tr><td>PM36</td><td>M36</td><td>35</td><td>45</td><td>110</td><td>18</td><td>37</td></tr><tr><td>PM39</td><td>M39</td><td>38</td><td>48</td><td>118</td><td>18</td><td>40</td></tr></table>				記号	適用アンカーボルト	a1	a2	c	t	d	PM27	M27	32	42	101	18	28	PM30	M30	32	42	101	18	31	PM33	M33	35	45	110	18	34	PM36	M36	35	45	110	18	37	PM39	M39	38	48	118	18	40					 ①形状 形状は正方形とし、寸法は下表に記載の値とする。 <table><tr><th>呼び d</th><th>異形部呼び名</th><th>L</th><th>X</th><th>基準強度 (N/mm²)</th></tr><tr><td>M30</td><td>D32</td><td>695</td><td>45</td><td>490</td></tr><tr><td>M33</td><td>D35</td><td>720</td><td>45</td><td>490</td></tr><tr><td>M36</td><td>D38</td><td>770</td><td>60</td><td>490</td></tr></table> ②配筋 配筋仕様は下表による。 ※立上り筋の頂部にはフックを設けなくてよい。 ※トップフープはダブルとし、柱壁上端近くに配置する。				呼び d	異形部呼び名	L	X	基準強度 (N/mm ²)	M30	D32	695	45	490	M33	D35	720	45	490	M36	D38	770	60	490
記号	適用アンカーボルト	a1	a2	c	t	d																																																																			
PM27	M27	32	42	101	18	28																																																																			
PM30	M30	32	42	101	18	31																																																																			
PM33	M33	35	45	110	18	34																																																																			
PM36	M36	35	45	110	18	37																																																																			
PM39	M39	38	48	118	18	40																																																																			
呼び d	異形部呼び名	L	X	基準強度 (N/mm ²)																																																																					
M30	D32	695	45	490																																																																					
M33	D35	720	45	490																																																																					
M36	D38	770	60	490																																																																					
5. 工場製作 (溶接)				6. 工事場施工																																																																					
■組立				6. 1 基礎工事																																																																					
●ベースプレートの中心線 (妨 線) に柱材軸心を合わせる。				●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。																																																																					
■溶接方法 (完全溶込み溶接)				6. 2 アンカーボルト据付け																																																																					
●完全溶込み溶接とする。 (JASS 6 鉄骨工事による)				●アンカーボルト (フレーム) の組立ては、4隅のアンカーボルト 4本で組立てを行う。																																																																					
完全溶込み溶接の関先標準 (JASS 6 鉄骨工事 2018年版より)				●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。																																																																					
<table><tr><th>図</th><th>溶接方法</th><th>適用板厚 T (mm)</th><th>ルート間隔 (mm)</th><th>ルート間隔 R (mm)</th><th>開先角度 α (°)</th><th>溶接姿勢</th></tr><tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">被覆アーク溶接</td><td rowspan="2">6～</td><td>7</td><td>-2,+40 (-2,+40)</td><td>2</td><td>-2,+1 (-2,+2)</td><td>α1: 45</td><td>-2.5,+10 (-5,+10)</td><td>下向き</td></tr><tr><td>9</td><td>-2,+40 (-3,+40)</td><td>2</td><td>-2,+1 (-2,+2)</td><td>α1: 35</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">ガスシールドアーク溶接</td><td rowspan="2">6～</td><td>6</td><td>-2,+40 (-3,+40)</td><td>2</td><td>-2,+1 (-2,+2)</td><td>α1: 45</td><td>-2.5,+10 (-5,+10)</td><td>下向き</td></tr><tr><td>7</td><td>-2,+40 (-2,+40)</td><td>2</td><td>-2,+1 (-2,+2)</td><td>α1: 35</td><td></td><td></td></tr></table> 許容差・記号+40は制限無しを示す。 ・2段書きは「鉄骨精度検査基準」に規定する許容差 (上段: 管理許容差、下段括弧内: 限界許容差) を示す。				図	溶接方法	適用板厚 T (mm)	ルート間隔 (mm)	ルート間隔 R (mm)	開先角度 α (°)	溶接姿勢		被覆アーク溶接	6～	7	-2,+40 (-2,+40)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1: 45	-2.5,+10 (-5,+10)	下向き	9	-2,+40 (-3,+40)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1: 35				ガスシールドアーク溶接	6～	6	-2,+40 (-3,+40)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1: 45	-2.5,+10 (-5,+10)	下向き	7	-2,+40 (-2,+40)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1: 35			●位置決めは、テンプレート の中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。																												
図	溶接方法	適用板厚 T (mm)	ルート間隔 (mm)	ルート間隔 R (mm)	開先角度 α (°)	溶接姿勢																																																																			
	被覆アーク溶接	6～	7	-2,+40 (-2,+40)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1: 45	-2.5,+10 (-5,+10)	下向き																																																																
			9	-2,+40 (-3,+40)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1: 35																																																																		
	ガスシールドアーク溶接	6～	6	-2,+40 (-3,+40)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1: 45	-2.5,+10 (-5,+10)	下向き																																																																
			7	-2,+40 (-2,+40)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1: 35																																																																		
■ベースプレートの予熱				6. 3 配筋およびコンクリート 打設																																																																					
●気温 (鋼材表面温度) が 5℃ 以上のベースプレートの予熱は欠くことす予熱温度標準より行う。その他必要に応じて適切な予熱をする。				●配筋はアンカーボルト (フレーム) との取り合いを考慮する。																																																																					
<table><tr><th>溶接方法</th><th>鋼種</th><th>板厚 (mm)</th><th>予熱なし</th><th>予熱なし</th></tr><tr><td rowspan="2">低水素系被覆アーク溶接</td><td>SN490B</td><td>t<32</td><td>予熱なし</td><td>50℃</td></tr><tr><td>SN490B</td><td>32≤t≤50</td><td>予熱なし</td><td></td></tr></table> ※フラックス入りワイヤによる 00 ガスシールドアーク溶接の予熱温度は、低水素被覆アーク溶接に準じる。				溶接方法	鋼種	板厚 (mm)	予熱なし	予熱なし	低水素系被覆アーク溶接	SN490B	t<32	予熱なし	50℃	SN490B	32≤t≤50	予熱なし		●コンクリート 打設前にテンプレート 位置精度を確認する。																																																							
溶接方法	鋼種	板厚 (mm)	予熱なし	予熱なし																																																																					
低水素系被覆アーク溶接	SN490B	t<32	予熱なし	50℃																																																																					
	SN490B	32≤t≤50	予熱なし																																																																						
■検査方法: 溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。				6. 4 建方																																																																					
■施工管理: 7. 本工法の施工及び施工管理参照。				●レベルモルタルはベースバックグラウト (グラウト材) を使用し、大きさは右図による。																																																																					
7. 本工法の施工及び施工管理				6. 5 アンカーボルト の本締め (弛み止め)																																																																					
●本工法は、管理者又は施工者 (元請) の管理のもとで実施するものとする。				●本締めはグラウト 材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。																																																																					
●本工法のうち 6. 2 アンカーボルト 据付け及び 6. 6 ベースバックグラウト の注入は、ベースバック・セレクトベース施工技術委員会によって認定された有資格者 (ベースバック施工管理技術者・施工技能者) が施工を実施し、チェックシート 等により施工管理を行うものとする。				6. 6 ベースバックグラウト (グラウト 材) の注入																																																																					
●ベースプレート 溶接部の施工管理は、鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者等による。				●グラウト 材の注入は、グラウト ロート を注入座金にセットし、グラウト 材の自重により他の注入座金からグラウト 材が噴き出るまで行う。																																																																					
訂正 月 日																																																																									
原 設 計 株 式 会 社																																																																									
一級建築士 第 345405 号 廣 井 克 彦																																																																									
建築設計一級建築士 第 9921 号																																																																									
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214																																																																									
一級建築士事務所所長島根知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第 293830 号 甲斐 宣行																																																																									
建築設計一級建築士 第 号																																																																									
担当																																																																									
設計年月 令和 7 年 12 月																																																																									
変更年月																																																																									
福山市建設局建築部営繕課																																																																									
工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事																																																																									
区分 構造 (S)																																																																									
図面名称 ベースバック柱脚工法標準図																																																																									
縮 尺																																																																									
図面番号 S-008																																																																									

QLデッキ合成スラブ設計・施工標準

合成スラブ工業会仕様

耐火仕様①

〔耐火認定FP60FL-9095, 9101, FP120FL-9107, 9113用〕

QLデッキ合成スラブの設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工事技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事」、(一社)日本鋼構造協会「デッキプレート床構造設計・施工標準 2018」、合成スラブ工業会「合成スラブの設計・施工マニュアル」、QLデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設計

材料/デッキプレート [ISO 9001認証取得]

デッキプレート種類	板厚(mm)	表面処理
■QL99-50 □QL99-75	端部加工 □エンボス有り □無し	■裏面防錆処理(一次塗装) QLプライマー ^(P) □垂れめっき [□Z12 □Z27] □JFEエカ [®] (高耐食溶融めっき鋼板) [□Y18 □Y27] □その他 () □無し
材 質	JIS G 3352に定めるSDP1T、SDP2、SDP2G	

*1 現場搬入までの一次防錆 (JIS K 5621 2種または3種相当)

材料/コンクリート

種 類	■普通コンクリート	□軽量コンクリート [□1種 □2種]
設計基準強度	□18 □21	■24 □ () N/mm ²
厚さ(QLデッキ山上)	□60 □70	■80 □85 □90 □95 □100 □ () mm

材料/溶接金網・異形鉄筋

■溶接金網	JIS G 3551	□φ6-75×75 □φ6-100×100	■φ6-150×150 □ ()	) ^{※2}
□異形鉄筋	JIS G 3112、3117	□D10-150×150 □D10-200×200	□ ()	
耐火補強筋	JIS G 3112、3117	D13-@300		

*2 線径6mm以上を用いたもの

接 合

梁との接合	■頭付きスタッド ■焼抜き栓溶接 □打込み紙 □その他	JIS B 1198 □φ13 ■φ16 □φ19 □φ22 (各長さ・ピッチは特記による ^{※3}) 下記焼抜き栓溶接の項による 接合箇所は特記による

*3 最小長さはデッキ高さ+30mm以上とする

耐 火

デッキプレート	耐火区分	支持条件	コクリート種別	耐火補強筋	認定番号
QL99-50 QL99-75	床1時間 床2時間	単純 連続	普通/軽量	要 不要 要 不要	□FP060FL-9101 □FP060FL-9095 □FP120FL-9113 □FP120FL-9107

注) 床2時間は床1時間耐火を含む

その他	□指定なし	□ () □ ()

特 記

支保工有無	□無 □有	その他: () □ ()

上欄内の採用項目に□を記して下さい。

焼抜き栓溶接

デッキプレート幅方向

QL99-50

大梁上

小梁上(リップ部分はメスリップ側を溶接)

QL99-75

大梁上

小梁上(リップ部分はメスリップ側を溶接)

デッキプレートスパン方向

「QLデッキ設計マニュアル」に基づいて決定する。

$$A_w = \frac{1.5 Q_a}{Q_d} \times 1000 \text{ mm かつ } 600 \text{ mm 以下}$$

Q_a: 焼抜き栓溶接1個当たりの長期許容せん断力(N)

Q_d: 設計最大せん断力(N/mm)

A_w: 焼抜き栓溶接ピッチ

1.2	4,900

$$A_w = (300) \text{ mm}$$

(注) 接合に頭付きスタッドを用いる場合、焼抜き栓溶接は不要

アクセサリ

フラッシング

(QLデッキ割付の幅調整に用いる)

W (100~250)

25

ハンガ一金具

(QLデッキ下溝を利用する天井インサート用金具)

185

2.8

施工時許容スパン表 (デッキプレートの検計)

注1: 普通コンクリート (単位体積重量24.0kN/m³)、表面処理が垂れめっきの場合

注2: () 数値は表面処理がめっきなしまたは塗装品の許容スパンを示す。

注3: 表を超える場合は、別途支保工が必要。

QL99-50	コンクリート厚(mm)	60	70	80	90	100
単純 (内法)	板厚(mm)	1.2 1.6	1.2 1.6	1.2 1.6	1.2 1.6	1.2 1.6
2 連続	1.2 1.6	2.52	2.75	2.47	2.69	2.42
3 連続	1.2 1.6	3.38	3.67	3.31	3.61	3.24
支持条件	1.2 1.6	3.38	3.67	3.31	3.61	3.24
2 連続	1.2 1.6	3.38	3.67	3.31	3.61	3.24
3 連続	1.2 1.6	3.12	3.40	3.05	3.33	2.99

QL99-75	コンクリート厚(mm)	60	70	80	90	100
単純 (内法)	板厚(mm)	1.2 1.6	1.2 1.6	1.2 1.6	1.2 1.6	1.2 1.6
2 連続	1.2 1.6	3.31	3.61	3.24	3.55	3.18
3 連続	1.2 1.6	4.02	4.30	3.96	4.24	3.91
支持条件	1.2 1.6	3.31	3.61	3.24	3.55	3.18
2 連続	1.2 1.6	3.31	3.61	3.24	3.55	3.18
3 連続	1.2 1.6	3.78	4.05	3.73	3.99	3.63

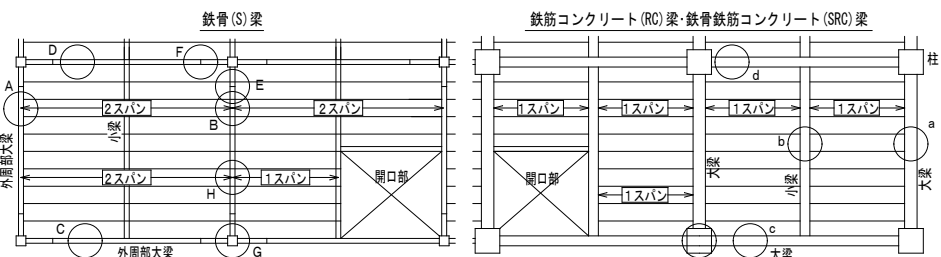
S造・施工時のスパンの取り方

【単純支持】

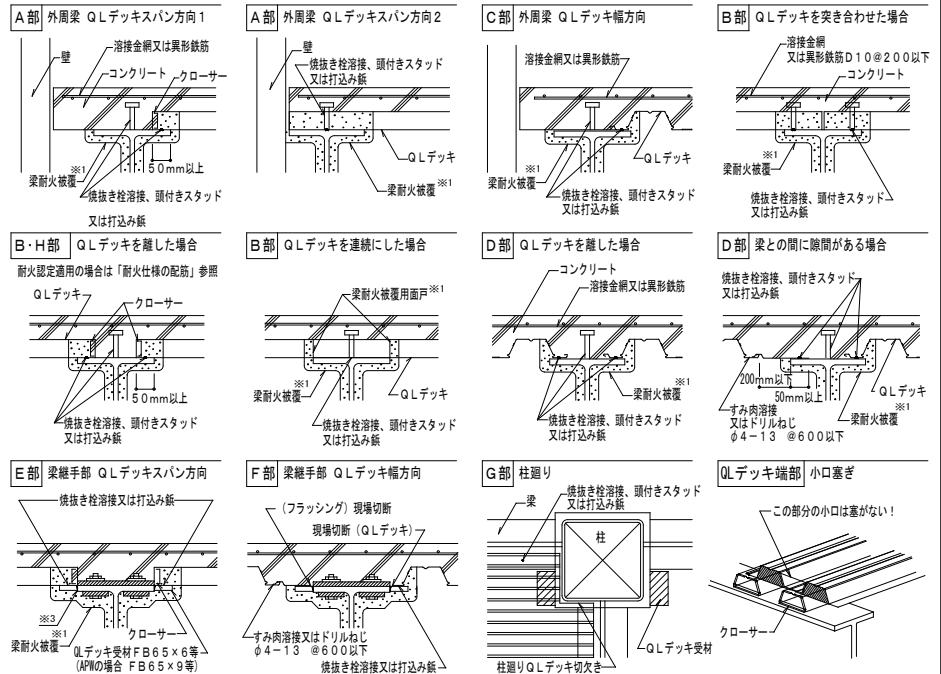
【連続支持】

標準納まり

図中※1は、梁に1、2または3時間の耐火性能が要求される場合のみ適用。 ※2はQLデッキ耐火認定を適用する場合に必要な。 ※3 溶接方法等は別途検討が必要。(合成スラブ工業会Q&A参照)

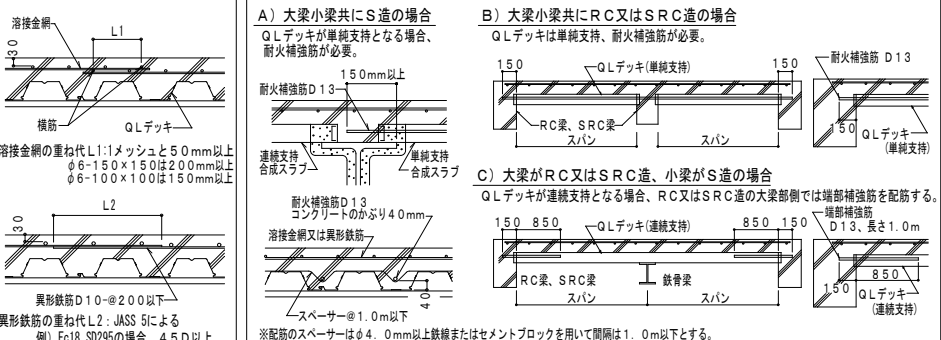


デッキプレートと梁の納まり [S梁]



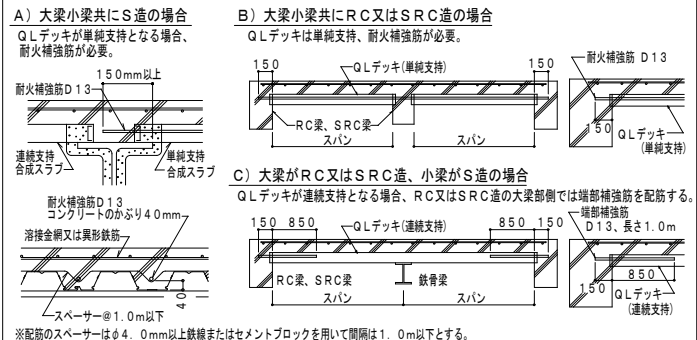
スラブの配筋

コンクリート表面よりのかぶり厚さが30mmになるようレベル保持し、全面に配筋する。

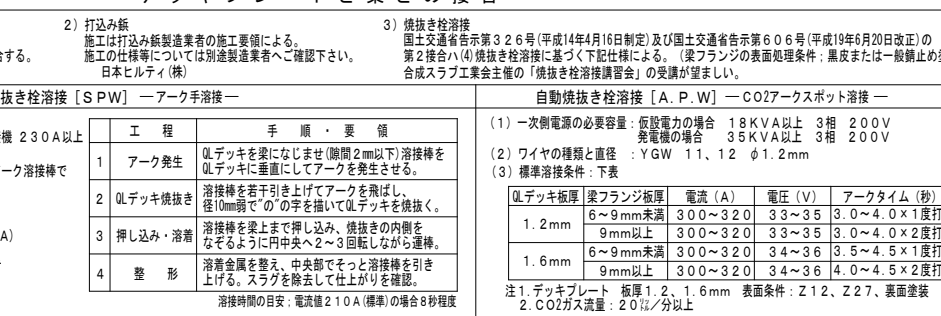


耐火仕様の配筋

・QLデッキが単純支持となる場合、耐火補強筋を配筋する。配筋はJASS5鉄筋コンクリート工事による。
・耐火補強筋: 端部補強筋が必要な場合、QLデッキの各溝中央部にかぶり40mmで配筋する。
・耐火補強筋: 端部補強筋、梁へ150mm以上定着させる。梁上で定着が150mmとれない場合は、L型に曲げて150mm以上を確保する。



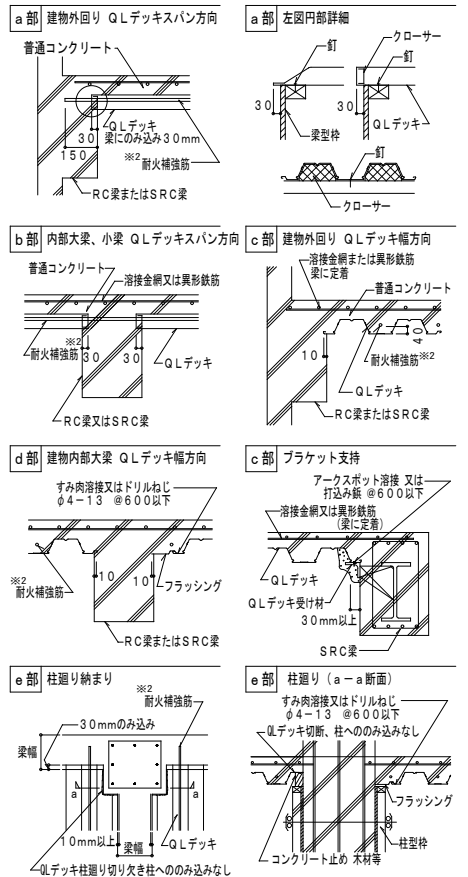
デッキプレートと梁との接合



工 程	手 順 ・ 要 領
1 アーク発生	QLデッキを梁になじませ(隙間2mm以下)溶接棒をQLデッキに垂直にアークを発生させる。
2 QLデッキ焼付け	溶接棒を若干き上げてアークを飛ばし、径10mm程度のノズルを描いてQLデッキを焼く。
3 押し込み・溶着	溶接棒を梁上で押し込み、焼付けの内側をなぞるように内中央へ2~3回押しながら溶着させる。溶着金属を整え、中央部で溶接棒を引き上げる。スラグを除去して仕上がりを確認。
4 整 形	溶着時間の目安: 電流値210A (標準)の場合8秒程度

その他の納まり・参考例等については、QLデッキ施工マニュアルまたは別途『納まり図』(技術資料CADデータ収録)を参照下さい。

デッキプレートと梁の納まり [RC・SRC梁]



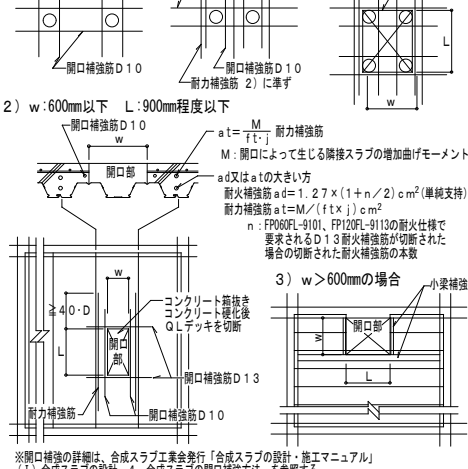
開口部補強案

1) 開口がφ150程度の場合

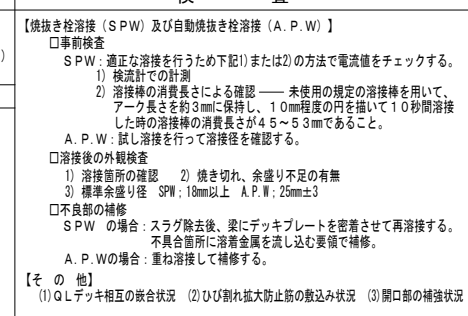
A) 開口間隔≧3×開口径 B) 開口間隔<3×開口径

2) w:600mm以下 L:900mm程度以下

3) w>600mmの場合



検 査



工 事 名 称	区 分
福山市建設局建築部営繕課	福山地区消防組合消防局訓練場整備工事
図 面 名 称	縮 尺
QLデッキ標準図	1/20
図 面 番 号	S-009

原 設 計 株 式 会 社

〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号

TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214

一級建築士 第345405号 廣井 克彦

建築士 第9921号

建築士 第293830号

担当

設計年月

令和7年12月

変更年月

作図

その他の納まり・参考例等については、QLデッキ施工マニュアルまたは別途『納まり図』(技術資料CADデータ収録)を参照下さい。

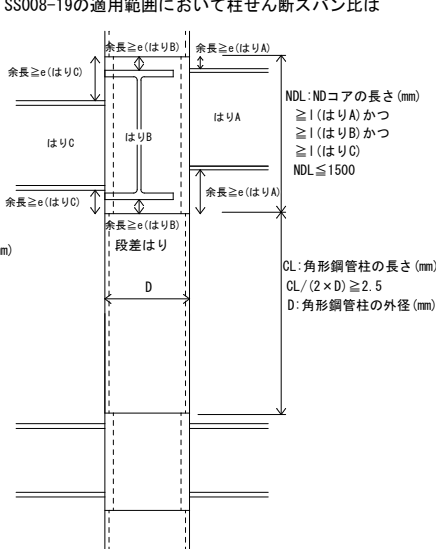
2021/7/01

部材記号	長さ (mm)	設計記号 ^{※1}	数量 (個)	斜め切断 (勾配)
☐ ND150 ☐ ND175 ☐ ND200 ☐ ND250 ☒ ND300 ☐ ND350 ☐ ND400	532		4	☐ 斜め切断 () 度, 寸
☐ ND150 ☐ ND175 ☐ ND200 ☐ ND250 ☒ ND300 ☐ ND350 ☐ ND400	500		2	☐ 斜め切断 () 度, 寸
☐ ND150 ☐ ND175 ☐ ND200 ☐ ND250 ☐ ND300 ☐ ND350 ☐ ND400				☐ 斜め切断 () 度, 寸
☐ ND150 ☐ ND175 ☐ ND200 ☐ ND250 ☐ ND300 ☐ ND350 ☐ ND400				☐ 斜め切断 () 度, 寸
☐ ND150 ☐ ND175 ☐ ND200 ☐ ND250 ☐ ND300 ☐ ND350 ☐ ND400				☐ 斜め切断 () 度, 寸
☐ ND150 ☐ ND175 ☐ ND200 ☐ ND250 ☐ ND300 ☐ ND350 ☐ ND400				☐ 斜め切断 () 度, 寸
☐ ND150 ☐ ND175 ☐ ND200 ☐ ND250 ☐ ND300 ☐ ND350 ☐ ND400				☐ 斜め切断 () 度, 寸
☐ ND150 ☐ ND175 ☐ ND200 ☐ ND250 ☐ ND300 ☐ ND350 ☐ ND400				☐ 斜め切断 () 度, 寸
☐ ND150 ☐ ND175 ☐ ND200 ☐ ND250 ☐ ND300 ☐ ND350 ☐ ND400				☐ 斜め切断 () 度, 寸

外径B ※2		板厚t	単位質量	長さ範囲 ※3	材質	断面形状 ※4※5
部材記号	(mm)	(mm)	(kg/m)	(mm)		
ND150	152	16.5	69.8	150~	SN490B-ND ※6	 ND150~ND200
ND175	177	17.0	85.1			
ND200	202	22.0	124			
ND250	252	24.0	184			
ND300	302	29.0	265			
ND350	352	33.8	360			
ND400 ※8	402	38.6	470			

- ・建築構造用冷間成形角形鋼管 BCR295
- ・一般構造用角形鋼管(JIS G 3466) STKR400

傾斜はり・斜め切断

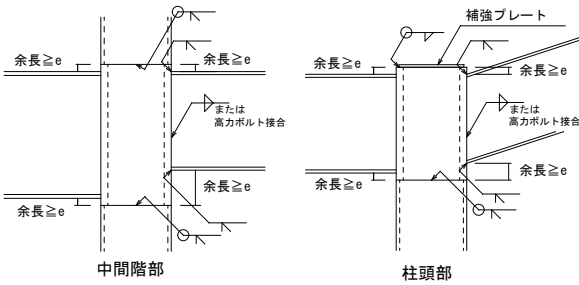


ND コア 部材記号	斜め切断無し		斜め切断有り	
	寸法 (mm)	板厚 (mm)	寸法 (mm)	板厚 (mm)
ND150	130 × 130	≥ 6	130 × PL	≥ 6
ND175	155 × 155		155 × PL	
ND200	170 × 170	≥ 9	170 × PL	≥ 9
ND250	220 × 220		220 × PL	
ND300	270 × 270	≥ 12	270 × PL	≥ 12
ND350	310 × 310		310 × PL	
ND400	360 × 360	≥ 16	360 × PL	≥ 16

【NDコア長さLの採り方例】

段違い形式はり	柱頭部	傾斜はり	斜め切斷

ルート1-1	通しダイアフラム形式のBCR295と同様にフレーム設計が可能。
ルート1-2	
ルート2	
ルート3	通しダイアフラム形式のBCR295と同様にフレーム設計が可能。 ただし、NDコア使用部においてパネル崩壊が生じないため、柱・はり耐力から崩壊形を判定して、フレーム設計を行う。 崩壊形の判定に影響しない、柱頭部については、特別な検討は不要である。



補強プレート取り付け仕様

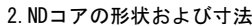
ノコ 部材記号	斜め切断無し		斜め切断有り		隅内溶接仕様
	寸法 (mm)	板厚※ (mm)	寸法 (mm)	板厚※ (mm)	
ND150	130 × 130	≧ 6	130 × PL	≧ 6	≧ 6
ND175	155 × 155		155 × PL		
ND200	170 × 170	≧ 9	170 × PL	≧ 9	≧ 9
ND250	220 × 220		220 × PL		
ND300	270 × 270	≧ 12	270 × PL	≧ 12	≧ 12
ND350	310 × 310		310 × PL		
ND400	360 × 360	≧ 16	360 × PL	≧ 16	≧ 16

※ 角落ち防止のため、板厚は1サイズアップを推奨する。

(1) はり取り付け位置				(6) デッキプレート納まり	
隅柱・側柱	中柱	中柱 (柱径=はり幅)	はり芯が斜めの場合	デッキ受け材 (板厚6mm以上) ・通しダイアフラムが無い場合、デッキ受けを取付けて対応する。 ・受け材の板厚は6mm以上とする。 ・デッキプレートの乗せ代は、デッキの規基準等に従う。	
(2) 一般部		(3) 段違い形式はり		(4) スロープ	
一般部	はり下端の段差	バルコニー部の段差	スロープ部	かさ上げ材切欠き 余長大 補強プレート厚肉化 かさ上げ材切欠き 余長を大きく取る 補強プレートを厚くする場合	
(5) 柱頭部				(8) 補強プレートどぶ付けめっき用開口	
陸屋根	棟部	桁部	※) 柱頭上部の斜め切断の勾配は45°以下とすること 桁部 (斜め切断)	中央大+4隅小 4隅大 ※開口位置・大きさについては、どぶ付けめっきメーカーと相談して決めることが望ましい。 ※開口を設ける場合は、断面欠損を考慮し、板厚を増増することが望ましい。	

4-1. ND150~ND200

※表中のNG範囲は適用不可。



※2 コラムとの食い違い防止のため、NDコアの外径Bを基準寸法としている。

※3 NDコアの長さは1.0mmピッチで対応。

※4 NDコア側面には溶接ビードの盛り上がりがあるため、はり取付時はグラインダで仕上げをするか、もしくははりウェブを切り欠きなど適切に処置すること。

※5 NDコアの角部と突起が生じてはりが干渉する場合は、はり取付時にグラインダで仕上げをするなど適切に処置すること。

※6 SN490B-ND 日本製規格JIS G 3136 (建築構造物用延縮鋼材) 2012の9形状、寸法、質量およびその許容差には適合しないが当該JISに示されるSN490Bの4化学成分、6炭素当量及び溶接割れ感受性組成、7機械的性質 10外観、11試験、12検査、13再検査の各規定に適合している。

- ・組合せ表の最小長さ l 、最小余長 e は、はりの短期降伏耐力をはり全断面を有効として設定している。
- ・NDコアの標準的な納まり等は、「NDコア設計・施工標準仕様書【基本仕様編】」に記載している。
- ・NDコアの表面に錆が発生していることがあります。はりとの溶接時に支障となる錆は除去して下さい。

細幅
はり

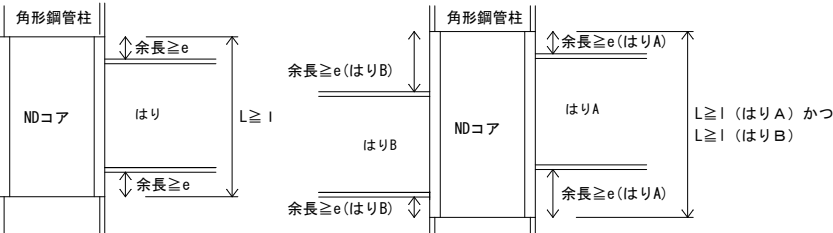
[illegible]

4-2. ND250~ND350

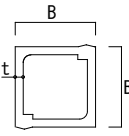
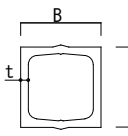
[illegible]

1. 表の見方 使用する柱(横軸)、はり(縦軸)を選択し、NDコアの必要最小長さlと余長の必要最小寸法e※1を確認する
※1 記載の無い場合は25mmとする。記載がある場合、数値以上の余長を確保する。

- ・柱材:BCR295およびSTKR400の冷間ロール成形角形鋼管
- ・はり材:400N級(SS400、SM400、SN400B・C等)のJIS G 3192記載のH形鋼
- ・NDコア長さL:NDコアの長さ
- ・最小長さl:柱はり組合せで決まるNDコアの最小長さ
- ・余長e:NDコア小口面から はりフランジ端面までの距離
- ・最小余長e:確保する余長の最小値



2. NDコアの形状および寸法

部材記号	外径B※2		板厚t	単位質量		長さ範囲※3		材質	断面形状※4※5	
	(mm)	公差	(mm)	(kg/m)		(mm)	公差			
ND150	152	+2.0 -2.0	16.5	69.8	150~	+3.0 -0	SN490B-ND※6			
ND175	177		17.0	85.1						
ND200	202		22.0	124						
ND250	252		24.0	184						
ND300	302		29.0	265						
ND350	352		33.8	360						
ND400	402		38.6	470						

- ※2 コラムとの食い違い防止のため、NDコアの外径Bを基準寸法としている。
- ※3 NDコアの長さは1.0mmピッチで対応。
- ※4 NDコア側面には溶接ビードの盛り上がりがあるため、はり取付時はグラインダで仕上げをするか、もしくははりウェブを切り欠くなど適切に処置すること。
- ※5 NDコアの角部に突起が生じてはりと干渉する場合、はり取付時にグラインダで仕上げをするなど適切に処置すること。
- ※6 SN490B-ND 日本産業規格JIS G 3136(建築構造用圧延鋼材)2012の9形状、寸法、質量およびその許容差には適合していないが当該JISに示されるSN490Bの4化学成分、6炭素当量及び溶接割れ感受性組成、7機械的性質10外觀、11試験、12検査、13再検査の各規定に適合している。
3. 注意点
- ・組合せ表の最小長さl、最小余長eは、はりの短期降伏耐力をはり全断面を有効として設定している。
 - ・NDコアの標準的な納まり等は、「NDコア設計・施工標準仕様書【基本仕様編】」に記載している。
 - ・NDコアの表面に錆が発生していることがあります。はりとの溶接時に支障となる錆は除去して下さい。

4. NDコア最小長さlと余長e

※最小余長eに記載の無い場合は25mmとする。記載がある場合は、数値以上の余長を確保する。

※表中のNG範囲は適用不可。斜線部分は個別に検討が必要なので問い合わせ下さい。

4-1. ND150～ND200

柱	NDコア		ND150												ND175												ND200														
	径(材質)	板厚	□150 (BCR295)						□150 (STKR400)						□175 (BCR295)						□175 (STKR400)						□200 (BCR295)						□200 (STKR400)								
			6	9	12	6	9	12	6	9	12	6	9	12	6	9	12	6	9	12	6	9	12	6	9	12	6	9	12												
最小長さl 最小余長e			l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e											
中幅 はり	H-148×100×6×9		212		198		198		217		198		198		243	35	217		198		250	30	230		198		198		198		198		H-148×100×6×9								
	H-194×150×6×9																								244		244		244		244		H-194×150×6×9								
	H-244×175×7×11														294		294						294		294		304		294		336		305		294		294		320		H-244×175×7×11
	H-294×200×8×12																								344		344		344		344		344		344		344		344		H-294×200×8×12
	H-340×250×9×14																																						H-340×250×9×14		
	H-390×300×10×16																																						H-390×300×10×16		
	H-440×300×11×18																																					H-440×300×11×18			
	H-482×300×11×15																																					H-482×300×11×15			
	H-488×300×11×18																																					H-488×300×11×18			
	H-588×300×12×20																																					H-588×300×12×20			
	H-594×302×14×23																																					H-594×302×14×23			
	H-692×300×13×20																																					H-692×300×13×20			
	H-700×300×13×24																																					H-700×300×13×24			
	H-792×300×14×22																																					H-792×300×14×22			
	H-800×300×14×26																																					H-800×300×14×26			
H-890×299×15×23																																					H-890×299×15×23				
H-900×300×16×28																																					H-900×300×16×28				
H-912×302×18×34																																					H-912×302×18×34				
広幅 はり	H-100×100×6×8		150		150		150		150		150		150		150		150		150		155		150		150		150		150		150		150		150		150		H-100×100×6×8		
	H-125×125×6.5×9		213	35	190		175		220	35	198		175		265	70	235	45	180		270	70	245	55	205		175		175		175		175		175		175		H-125×125×6.5×9		
	H-150×150×7×10																									210		200		200		215		200		200		210		H-150×150×7×10	
	H-175×175×7.5×11																									290	35	280		250		225		285	30	265		290		H-175×175×7.5×11	
	H-200×200×8×12																									250		350	70	330	60	250		255		345	65	250		H-200×200×8×12	
	H-250×250×9×14																																					H-250×250×9×14			
	H-300×300×10×15																																					H-300×300×10×15			
H-350×350×12×19																																					H-350×350×12×19				

4-2. ND250～ND350

NDコア			ND250												ND300												ND350																							
柱	径(材質)	□250 (BCR295)						□250 (STKR400)						□300 (BCR295)						□300 (STKR400)						□350 (BCR295)						□350 (STKR400)																		
	板厚	6		9		12		16		6		9		12		16		19		6		9		12		16		19		9		12		16		19		22		9		12		16		19		22		
最小長さl 最小余長e			l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e						
中幅 はり	H-148×100×6×9	198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		H-148×100×6×9				
	H-194×150×6×9	244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		H-194×150×6×9				
	H-244×175×7×11	335		310		294		294		294		320		300		294		294		294		294		294		294		294		294		294		294		294		294		294		294		294		H-244×175×7×11				
	H-294×200×8×12	344		400		380		344		344		344		394		354																												H-294×200×8×12						
	H-340×250×9×14	390		390		390		492		75		390		390		390		390		390		390		470		35		455		422		430		407		390		390		435		420		390		390		390		H-340×250×9×14
	H-390×300×10×16																																												H-390×300×10×16					
	H-440×300×11×18																																												H-440×300×11×18					
	H-482×300×11×15																																												H-482×300×11×15					
	H-488×300×11×18																																												H-488×300×11×18					
	H-582×300×12×17																																												H-582×300×12×17					
	H-588×300×12×20																																												H-588×300×12×20					
	H-594×302×14×23																																												H-594×302×14×23					
	H-692×300×13×20																																												H-692×300×13×20					
	H-700×300×13×24																																												H-700×300×13×24					
H-792×300×14×22																																												H-792×300×14×22						
H-800×300×14×26																																												H-800×300×14×26						
H-890×299×15×23																																												H-890×299×15×23						
H-900×300×16×28																																												H-900×300×16×28						
H-912×302×18×34																																												H-912×302×18×34						
広幅 はり	H-100×100×6×8	150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		H-100×100×6×8				
	H-125×125×6.5×9	175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		H-125×125×6.5×9				
	H-150×150×7×10	200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		H-150×150×7×10				
	H-175×175×7.5×11	275		250		225		225		275		260		235		225		225		225		225		225		225		225		225		225		225		225		225		225		225		225		H-175×175×7.5×11				
	H-200×200×8×12	326	45	316	35	302		250		310		325	40	315	30	275		280		262		250		250		283		268		250		250		250		250		250		250		250		250		H-200×200×8×12				
	H-250×250×9×14																																												H-250×250×9×14					
	H-300×300×10×15																																												H-300×300×10×15					
	H-350×350×12×19																																												H-350×350×12×19					

MAXウェブレン標準仕様書（参考図）

1. 一般事項

（１）本仕様書は、（財）日本建築センターの一般評定「BCJ評定-RC0097-05」に適合するように標準仕様を定めるものであり、各設計における特記仕様は、本仕様書に優先して適用する。

（２）本仕様書に定めなき事項は、日本建築学会「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」及び「建築工事標準仕様書・同解説（JASS5）鉄筋コンクリート工事」による。

2. 適用範囲

（１）使用材料

a) コンクリート設計基準強度

$21 \leq f_c \leq 80 \text{ N/mm}^2$

b) 主筋

普通鉄筋のうち以下の種類

SD295A, SD295B, SD345, SD390, SD490

高強度鉄筋のうち以下の種類

SD590, SD685 ただし、建築基準法第37条第二号の規定に基づく国土交通大臣認定品

c) あばら筋

普通鉄筋のうち以下の種類

SD295A, SD295B, SD345, SD390

高強度鉄筋のうち以下の種類

685 N/mm^2 , 785 N/mm^2 級または 1275 N/mm^2 級高強度鉄筋のうち、建築基準法第37条第二号の規定に基づく国土交通大臣認定品

d) 開孔補強筋

ストロングフープ用棒鋼（MSRB-0005）KSS785

（２）開孔径および位置

a) 開孔径 H

あばら筋に普通強度鉄筋を用いる梁 $100\text{mm} \leq H \leq 750\text{mm}$

あばら筋に高強度鉄筋を用いる梁 $100\text{mm} \leq H \leq 450\text{mm}$

開孔の形状は円形または多角形とし、梁成の1/3以下とする。

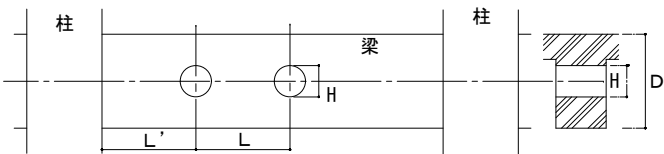
（多角形の場合は外接する円形とみなす。）

b) 開孔中心間距離 L

開孔中心間距離は、開孔径の3倍以上とする。また、隣り合う開孔径が異なる場合には、双方の開孔径の平均値の3倍以上とする。

c) 柱際から開孔中心までの距離 L'

柱面から梁せい以上離すこととする。



d) ヘリあきの最小寸法

梁せい $450\text{mm} \leq D < 700\text{mm}$ ヘリあき 175mm

梁せい $700\text{mm} \leq D < 900\text{mm}$ ヘリあき 200mm

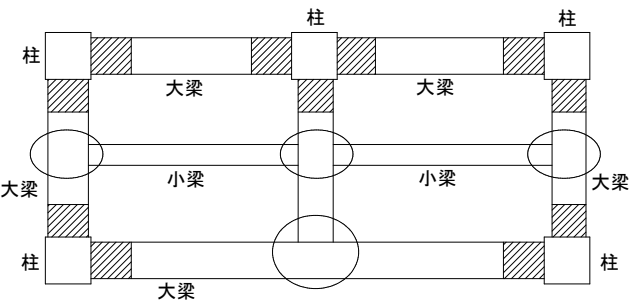
梁せい $900\text{mm} \leq D$ ヘリあき 250mm

e) 梁が交差する場合の梁面から開孔中心までの距離

開孔補強筋が直交する梁の配筋と干渉しない範囲で開孔を設けることができる。

（斜線）：柱面から梁せい以上離す。

（○）：大梁、小梁とも開孔補強筋が直交する梁の配筋に干渉しない範囲で開孔可。



3. 標準配筋図

（１）MAXウェブレンの取り付け位置

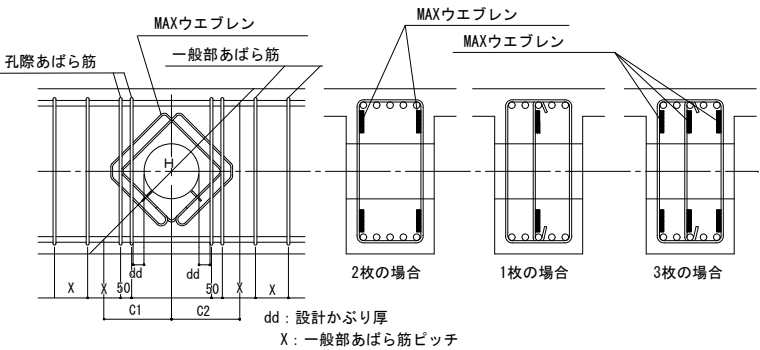
MAXウェブレンはあばら筋の内側に取り付ける。

3枚以上施工する場合は中子筋へ取り付けるか、

開孔補強筋を連続固定できるJ筋（ジョイント金具）により施工する。

（２）孔際あばら筋

孔際あばら筋は、原則として一般部あばら筋と同種、同径、同本数とし、開孔部の両側に1組以上配筋する。位置は開孔縁から設計かぶり厚さを確保した位置に1組目を配筋し、複数組配筋する場合は、その間隔を50mmとする。



4. 大開孔時の補強方法

開孔径が400mm以上で主筋とMAXウェブレンの最外位置との間隔が梁せいの1/3以上となる場合は右図に示す補強を行う。なお、この補強が必要となる条件は（財）日本建築センターの評定時に指導された最低基準であるので、開孔位置等の状況によっては図に示す数値以下であっても補強が必要となる場合がある。従って開孔部の上下補強については設計担当者と協議検討のうえ決定する。

5. 施工要領

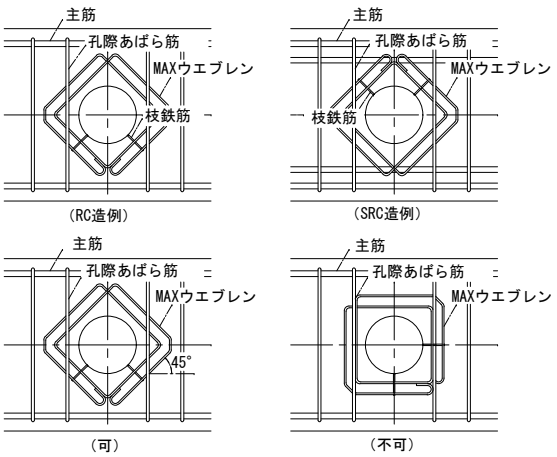
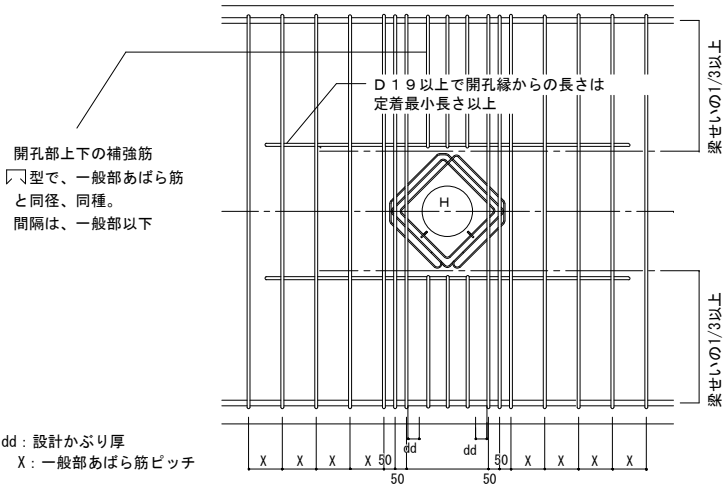
（１）標準的な施工順序

a) RC造 1) 開孔位置の芯出しを行う。
（例） 2) MAXウェブレンをあばら筋内に挿入し、枝鉄筋を下側または上側に向け所定の位置に固定する。

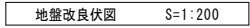
b) SRC造 1) あばら筋の配筋前に、鋼管スリーブにMAXウェブレンを掛け、仮置きする。
（例） 2) あばら筋を配筋後、枝鉄筋を下側または上側に向け所定の位置に固定する。

（２）MAXウェブレンの取り付け方向

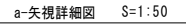
MAXウェブレンはあばら筋に対して環状鉄筋が45° になるように取り付ける。



訓練棟 A

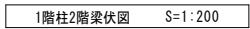
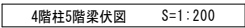
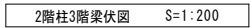
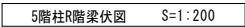
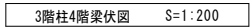


基礎梁リスト 1/100

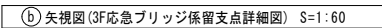
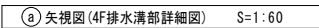
スラブリスト基礎リスト 1/100

訂 月 日		 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行	一級建築士 第345405号 廣井 克彦		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 構造 (S)
			平 720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行	建築設計一級建築士 第 9921号		作図 第 号		変更年月	図面名称 訓練棟 A 基礎伏図、基礎関係リスト	縮 尺 1:100 1:200

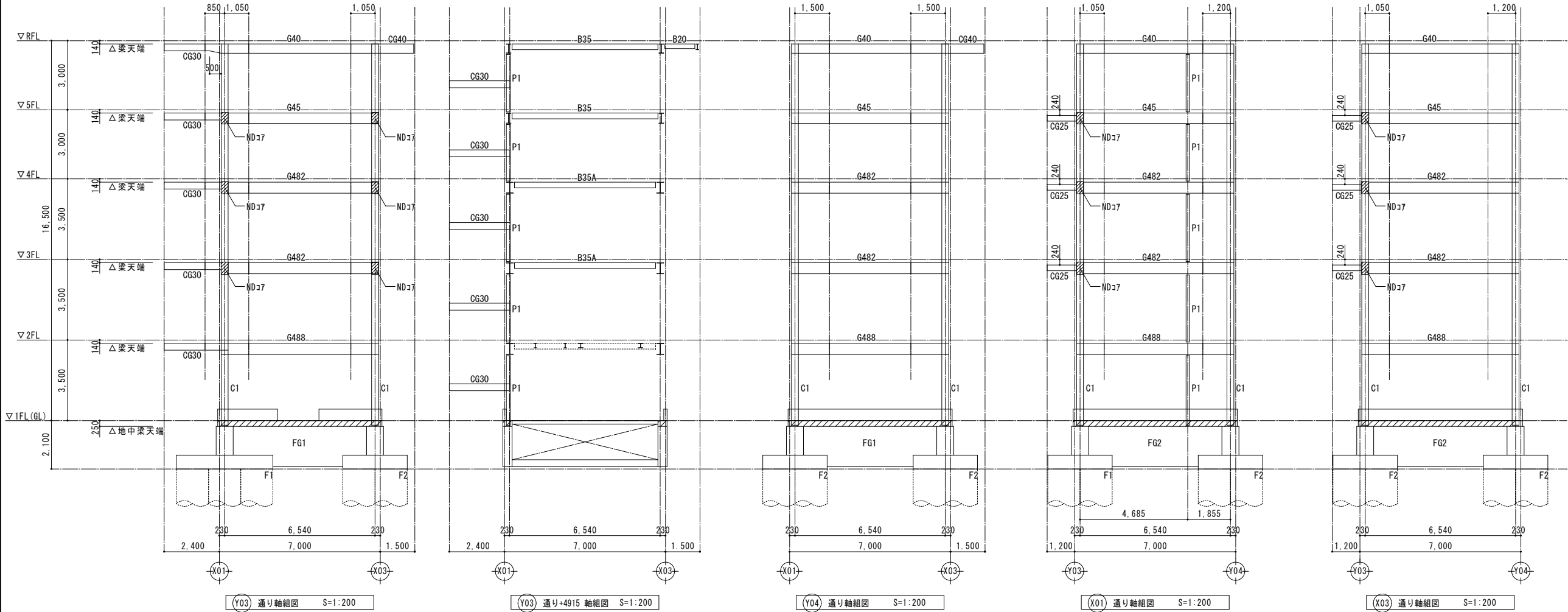
訓練棟 A



- 特記外は下記に依る(伏図共通)
- ・ DS1 デッキ方向を示す。
 - ・ 梁天端レベル等は軸組図および意匠図による
 - ・ 寸法の※表記部分は意匠図等により確認を行うこと
 - ・ 特記なき寸法、レベルは意匠図による



訂 日	日 月	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第 293830 号 甲斐 宣行	一級建築士 第 345405 号 廣井 克彦 構造設計一級建築士 第 9921 号		担当 -	設計年月 令和 7 年 12 月	 福山市建設局建築部営繕課 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事	工事名称		区 分 構造 (S)
				図案設計一級建築士 第 号	作図	変更年月		図面名称 訓練棟 A 伏図	縮 尺 1:60 1:100	図面番号 S-102



特記外は下記に依る（軸組図共通）

- ・柱符号は下階に倣う
- ・斜線は増打ちを示す
- ・特記なき寸法、レベルは意匠図による

訓練棟 A

・鋼材	BCR295
・ダイアフラム	SN490C
・柱脚工法	ベースパック同等品以上

階	符号	C1	
5		□-300×300×9 (BCR295)	
4		□-300×300×9 (BCR295)	
3		□-300×300×12 (BCR295)	
2		□-300×300×12 (BCR295)	
1		□-300×300×16 (BCR295)	
柱脚			
柱脚工法		30-16V同等品(標準図参照)	
B. PL		BPL-40×520×520	
A. BOLT		8-M36 (BPM-SD490)	
R i b. P L			

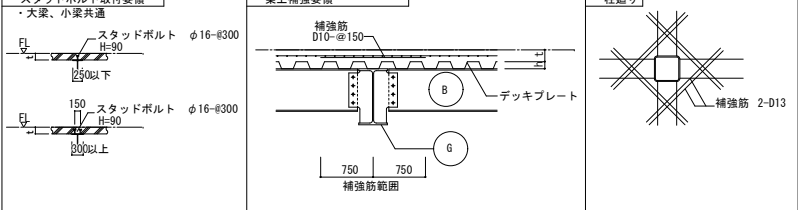
床リスト

・詳細は標準仕様書を参照

符 号	スラブ厚	位 置	短辺(主筋)方向		長辺方向		備 考
			端 部	中 央	端 部	中 央	
DS1	山上80	上端筋	φ6×@150 溶接金網		φ6×@150 溶接金網		2F～RF床 QLデッキ(QL99-50-12) 梁との接合方法:頭付きスタッド
		下端筋					

※デッキスラブの仕様は標準図による

梁上補強要領	



・鋼材	SS400
・ボルト	HTB F8T、S8T(メッキ処理ボルト)
	(メッキ処理部分)

符 号	主 材	仕 口 ・ 柱 脚	備 考
G488	H - 488×300× 11×18	フランジ 外) PL-12×300 10-M20 (ネト'リ) 内) 2PL-16×105 ウエブ 2PL-9 4-M20 @90	
G482	H - 482×300× 11×15	フランジ 外) PL-12×300 8-M20 (ネト'リ) 内) 2PL-12×105 ウエブ 2PL-9 4-M20 @90	
G45	H - 450×200× 9×14	フランジ 外) PL-12×200 6-M20 内) 2PL-12×70 ウエブ 2PL-6 4-M20 @90	
G40	H - 400×200× 8×13	フランジ 外) PL-9×200 6-M20 内) 2PL-12×70 ウエブ 2PL-9 3-M20 @90	
CG40	H - 400×200× 8×13		
CG30	H - 300×150× 6.5× 9	フランジ 外) PL-9×150 4-M20 内) 2PL-9×55 ウエブ 2PL-6 3-M20 @60	
CG25	H - 250×125× 6× 9		
CG20	H - 200×100× 5.5× 8		

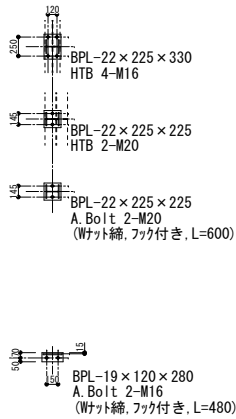
符号

主 材

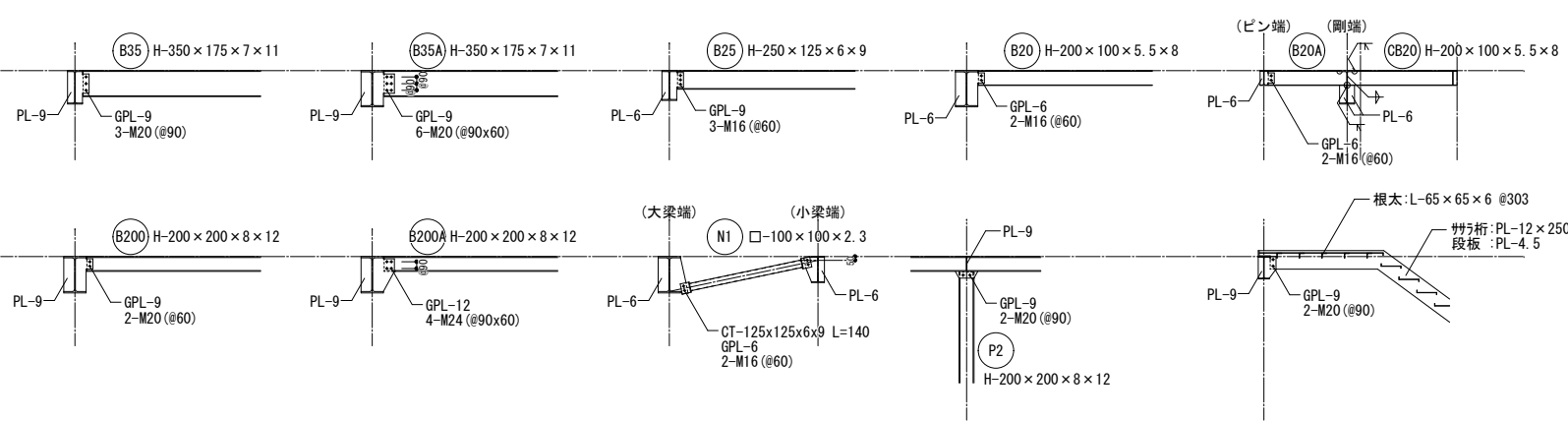
仕 日 ・ 柱 脚

備 考

符 号	主 材	仕 口 ・ 柱 脚	備 考
B35	H - 350×175× 7×11	エ'ン端) GPL- 9 3-M20 @90	
B35A		エ'ン端) GPL- 9 6-M20 (2列) @90	
B25	H - 250×125× 6× 9	エ'ン端) GPL- 9 3-M16 @60	
B20	H - 200×100× 5.5× 8	エ'ン端) GPL- 6 2-M16 @60	
B20A		エ'ン端) GPL- 6 2-M16 @60	
		剛端) 端部剛接合	
B200	H - 200×200× 8×12	エ'ン端) GPL- 9 2-M20 @60	
B200A		エ'ン端) GPL-12 4-M24 (2列) @90	
N1	□ - 100× 100× 2.3	エ'ン端) CT-125×125×6×9 L=140 GPL- 6 2-M16 @60	
P1	H - 175×175× 7.5×11	エ'ン端) BPL-22×225×330 HTB 4-M16	G40, G45端
		エ'ン端) BPL-22×225×225 HTB 2-M20	G488, G482端
		柱脚) BPL-22×225×225 A.Bolt 2-M20 (ワット締, フック付き, L=600)	
P2	H - 200×200× 8×12	エ'ン端) GPL- 9 2-M20 @90	
鉄骨階段	サ'析 PL-12×250	PL-9 2-M20 @90	
	段板 PL-4.5	(柱脚) BPL-19×120×280 A.Bolt 2-M16 (ワット締, フック付き, L=480)	
	根太 L-65×65×6 @303		



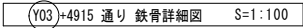
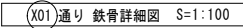
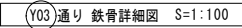
鉄骨部材部分詳細図 1/100



特記仕様 コンクリートの施工方法：告示1102号、110号による基準
コンクリート設計強度 躯体： $FC=24N/mm^2$ （基礎、基礎梁）
： $FC=24N/mm^2$ （2~8階床）
土間： $FC=21N/mm^2$
鉄筋 SD295 D10~D16
SD345 D19~D25

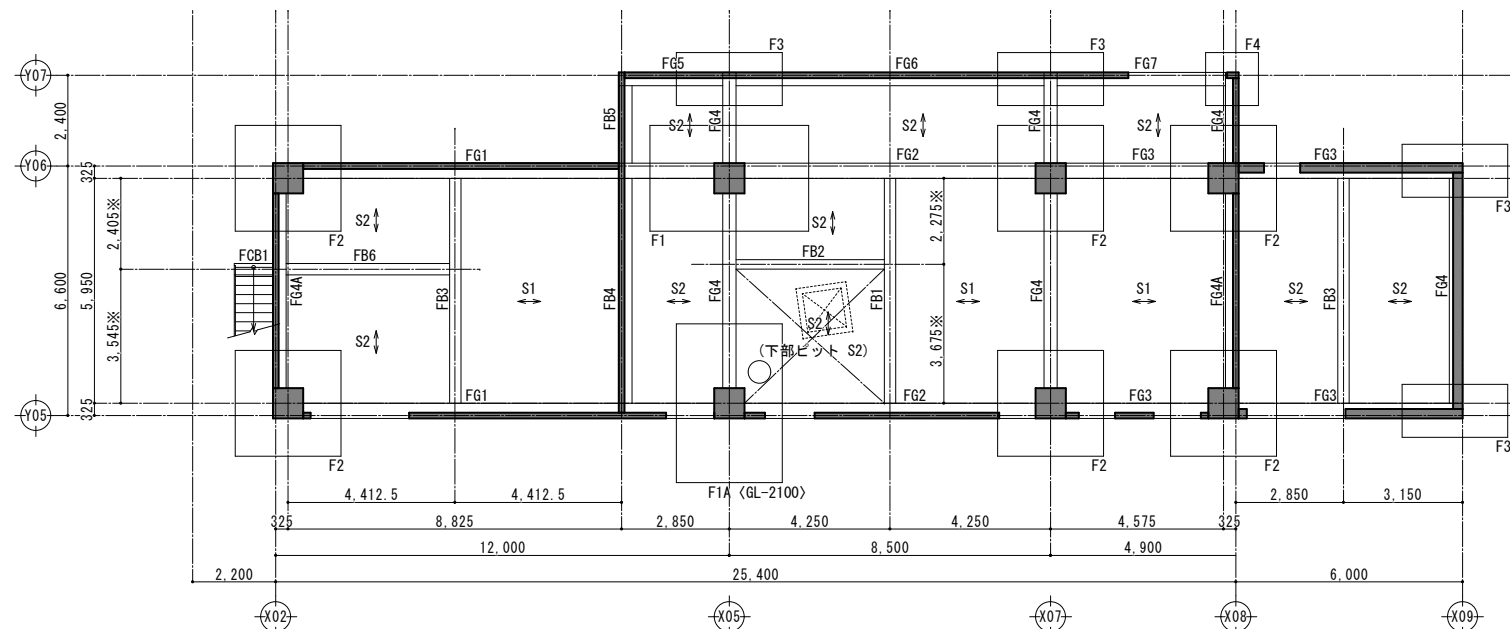
訂 月 日		 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行	一級建築士 第345405号 廣井 克彦		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 構造 (S)
			建築設計一級建築士 第 9921号 建築設計一級建築士 第 号		作図 変更年月			図面名称 訓練棟 A 鉄骨部材リスト	縮 尺 1:100, 60	図面番号 S-104

訓練棟 A



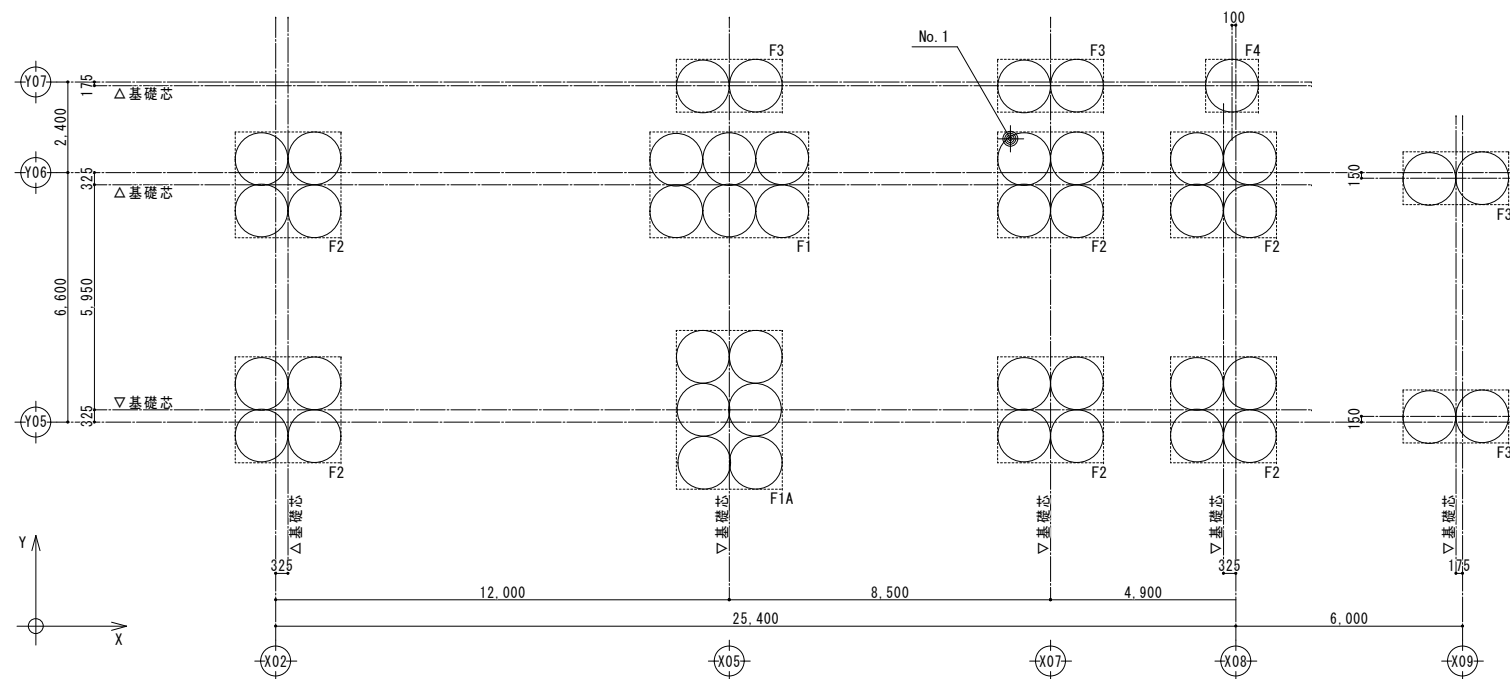
訂 月 日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行	一級建築士 第345405号 廣井 克彦 構造設計一級建築士 第 9921号		担当	設計年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称		区 分
		-		令和 7年12月	(仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		構造 (S)		
		建築設計一級建築士 第 号		作図	変更年月		図面名称	縮 尺	図面番号
							訓練棟 A 鉄骨詳細図	1:100	S-105

訓練棟 B



基礎伏図	S=1:200

- 特記外は下記に依る
- ・ ≪→ スラブの主筋方向を示す
 - ・ 基礎フーチング下端レベル 設計GL-1,300
 - ・ (****) 基礎フーチング下端レベルを示す
 - ・ 地中梁、スラブ天端レベルは輪組図および意匠図による
 - ・ 寸法の※表記部分は意匠図等により確認を行うこと
 - ・ 特記なき寸法、レベルは意匠図による



地盤改良伏図 S=1:200

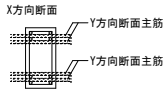
- 特記外は下記に依る
- ・[]内は想定支持層レベルを示す※
- | | |
|---------|---------------------------|
| 改良径 | φ1400 |
| 改良長 | ・L:6.45m、5.65m(F1A) |
| 改良天端レベル | ・GL-1.350、-2.150 (F1A) |
| 改良先端レベル | ・GL-7.800※ |
| 本数 | ・45本 |
| 設計基準強度 | ・Fc=900kg/cm ² |
| 長期設計地耐力 | ・Lf=200kN/m ² |
- ※改良長は支持力等の確認を行い、最終決定すること

特記仕様 コンクリートの施工方法：告示1102号、110号による基準
コンクリート設計強度 躯体： $\text{FC}=24\text{N/mm}^2$ (基礎、基礎梁)
 $\text{FC}=24\text{N/mm}^2$ (上部躯体)
土間： $\text{FC}=21\text{N/mm}^2$
鉄筋 SD295 D10~D16
SD345 D19~D25
SD390 D29~

訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第 293830号 甲斐 宣行	一級建築士 第 345405号 廣井 克彦		担当 -	設計年月 令和 7 年 12 月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 構造 (S)
					一級建築士 第 号	作図	変更年月		図面名称 訓練棟 B 基礎伏図	縮 尺 1: 200	図面番号 S-201

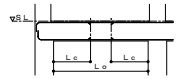
特記外は下記に依る

- ・幅止め筋 D10-▽▽@1000
- ・主筋配筋組立ては右図参照として組立てる。



大梁主筋端部余長Lc 配筋要領図

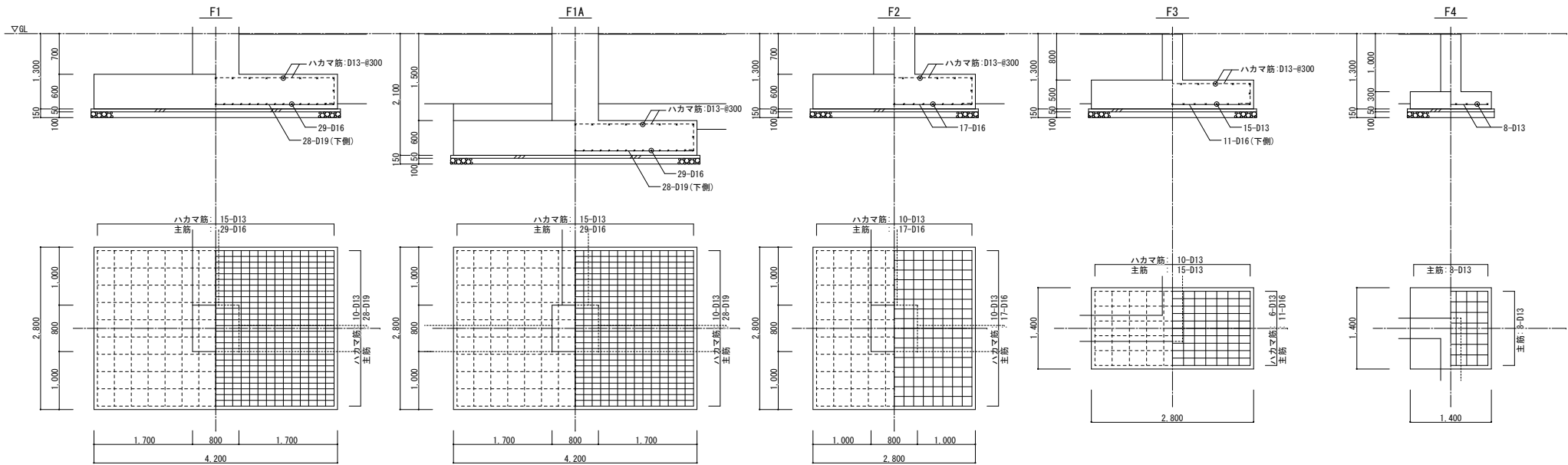
- ・特記なき限り $Lc = L_o / 4 + 15d$ とする。



基礎梁リスト 1/100

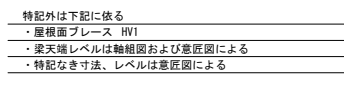
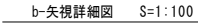
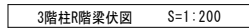
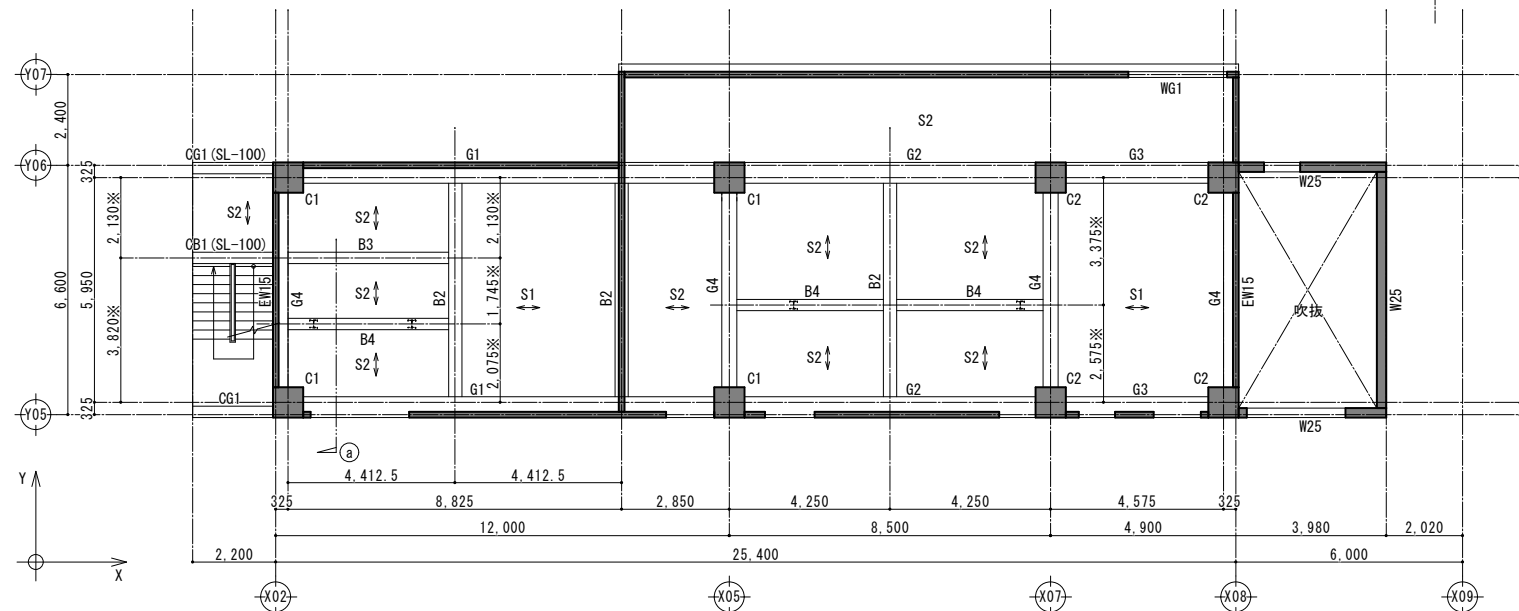
	FG1			FG2		FG3	FG4	FG4A	FG5	FG6		FG7
	左端 (X02軸)	中央	右端 (X05軸)	左端 (X05軸)	中央・右端	全断面	全断面	全断面	全断面	左端 (X05軸)	中央・右端	全断面
断面												
上端筋	6 (4/2) -D29	4-D29	7 (4/3) -D29	7 (4/3) -D29	4-D29	4-D29	3-D25	5 (3/2) -D25	5 (3/2) -D22	5 (3/2) -D22	3-D22	3-D22
下端筋	4-D29	4-D29	4-D29	4-D29	4-D29	4-D29	3-D25	3-D25	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22
肋筋	D13-□-@200			D13-□-@200		D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D10-□-@200	D10-□-@200		D10-□-@200
腹筋	3×2-D10			3×2-D10		3×2-D10	3×2-D10	3×2-D10	3×2-D10	3×2-D10		3×2-D10
	FB1		FB2	FB3		FB4			FB5	FB6, FCB1		
	両端	中央	全断面	両端	中央	Y01端	中央	Y02端	全断面	全断面		
断面												
上端筋	2-D19	2-D19	2-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	5 (3/2) -D19	5 (3/2) -D19	3-D19		
下端筋	2-D19	4 (2/2) -D19	2-D19	3-D19	6 (3/3) -D19	3-D19	5 (3/2) -D19	5 (3/2) -D19	5 (3/2) -D19	3-D19		
肋筋	D10-□-@200		D10-□-@200	D10-□-@200		D10-□-@200			D10-□-@200	D10-□-@200		
腹筋	3×2-D10		3×2-D10	1×2-D10		1×2-D10			1×2-D10	-		

基礎梁リスト 1/100



特記仕様 コンクリートの施工方法：告示1102号、110号による基準
コンクリート設計強度 躯体：FC-24N/mm² (基礎、基礎梁)
土間：FC-21N/mm²
鉄筋 SD295 D10~D16
SD345 D19~D25
SD390 D29~

訓練棟 B



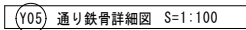
特記外は下記に依る	
・鋼材	BCR295
・ダイヤフラム	SN490C

鉄骨部材リスト	・鋼材	SS400
	・ボルト	HTB F8T, S8T(メッキ処理ボルト)
	(メッキ処理部分)	

符 号	主 材	仕 口 ・ 柱 脚	備 考
SG25	H - 250 × 125 × 6 × 9	フランジ 外) PL-9 × 125 4-M16 内) 2PL-9 × 45 ウェブ 2PL-6 2-M16 @90	
SB25	H - 250 × 125 × 6 × 9	ビョン端) GPL- 9 3-M16 @60	
SN1	□ - 100 × 100 × 2.3	ビョン端) CT-125x125x6x9 L=140 GPL- 6 2-M16 @60	
SP1	H - 200 × 200 × 8 × 12		
HV1	M16 (JISターンバ' ッル付き筋違)	GPL- 9 × 75 1-M16	

Figure 1 illustrates the reinforcement details of the beam-column joint. The diagram shows a cross-section of the joint with reinforcement bars and stirrups. Key components and labels include:

- SB25 H-250 x 125 x 6 x 9**: Reinforcement bar for the top of the joint.
- PL-6**: Reinforcement bar for the bottom of the joint.
- GPL-9**: Reinforcement bar for the bottom of the joint.
- 3-M16 (ø60)**: Reinforcement bar for the bottom of the joint.
- (大梁端)** (Big Beam End): Label for the left side of the joint.
- (小梁端)** (Small Beam End): Label for the right side of the joint.
- SN1**: Reinforcement bar for the top of the joint.
- CT-125x125x6x9**: Reinforcement bar for the top of the joint.
- GPL-6**: Reinforcement bar for the bottom of the joint.
- 2-M16 (ø60)**: Reinforcement bar for the bottom of the joint.
- L=140**: Dimension for the length of the reinforcement bar.
- 100 x 100 x 2.3**: Dimension for the width and height of the joint.



(X05) 通り鉄骨詳細図 S=1:100

訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行	一級建築士 第345405号 廣井 克彦		担当	設計年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 構造 (S)
					-	令和 7年12月					
					図面設計一級建築士 第 号		作図		変更年月	図面名称 訓練棟B 伏図、筋骨部材リスト	縮 尺 1:200, 100, 60

訓練棟 B

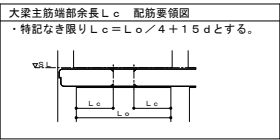
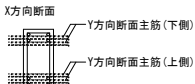
柱リスト	1/100

特記外は下記に依る
・柱コアは金層 Δn 4層とする。
（仕口部は工場溶接型とする。ただしF6仕口内 Δ は Δ 型でも可とする。）

	C1	C2		
仕口内H00P	D13-□-@100	D13-□-@100		
2 階				
主 筋	18-D25	16-D25		
帯 筋	D13-□-@100	D13-□-@100		
仕口内H00P	D13-□-@100	D13-□-@100		
1 階				
主 筋	18-D25	16-D25		
帯 筋	D13-□-@100	D13-□-@100		

大梁リスト	1/100

特記外は下記に依る
・幅止め筋 D10-▽▽-@1000
・主筋配筋組立ては右図参照として組立てる。



	G1			G2		G2A		G3	G4	
	左端 (X02軸)	中央	右端 (X05軸) L=3500	左端 (X05軸) L=3500	中央・右端	左端 (X05軸) L=3500	中央・右端	全断面	全断面	
3 階										
上端筋	7 (5/2)-D29	5-D29	8 (5/3)-D29	8 (5/3)-D29	5-D29	8 (5/3)-D29	5-D29	5-D29	4-D25	
下端筋	5-D29	5-D29	5-D29	5-D29	5-D29	5-D29	5-D29	5-D29	4-D25	
肋 筋	D13-□-@200			D13-□-@200		D13-□-@200		D13-□-@200	D13-□-@200	
腹 筋	2×2-D10			2×2-D10		1×2-D10		2×2-D10	1×2-D10	
	左端 (X02軸)	中央	右端 (X05軸) L=3500	左端 (X05軸) L=3500	中央・右端			全断面	全断面	
2 階										
上端筋	7 (5/2)-D29	5-D29	9 (5/4)-D29	9 (5/4)-D29	5-D29			5-D29	4-D25	
下端筋	5-D29	5-D29	5-D29	5-D29	5-D29			5-D29	4-D25	
肋 筋	D13-□-@200			D13-□-@200				D13-□-@200	D13-□-@200	
腹 筋	2×2-D10			2×2-D10		2×2-D10	1×2-D10			

スラブリスト

符 号	スラブ厚	位 置	短辺 (主筋) 方向		長辺方向		備 考
			端 部	中 央	端 部	中 央	
S1	150	上端筋	D10, D13-@150	D10, D13-@150	D10, D13-@200	D10, D13-@200	
		下端筋	D10-@150	D10-@150	D10-@200	D10-@200	
S2	150	上端筋	D10, D13-@200	D10, D13-@200	D10-@200	D10-@200	
		下端筋	D10-@200	D10-@200	D10-@200	D10-@200	
GS1	150	上端筋	D10, D13-@200	D10, D13-@200	D10-@200	D10-@200	
		下端筋	D10-@200	D10-@200	D10-@200	D10-@200	
GS2	150	上端筋	D10-@200	D10-@200	D10-@200	D10-@200	
		下端筋	-	-	-	-	
		上端筋					
		下端筋					

小梁リスト	1/100

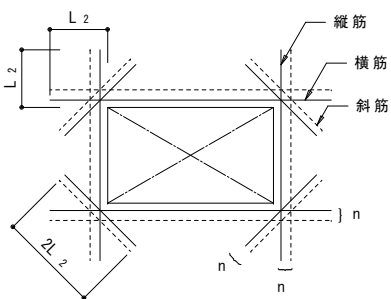
特記外は下記に依る
・幅止め筋 D10-▽▽-@1000

	B1		B2		B3		B4	B5	B6		CG1	CB1	WG1
	両端	中央	両端	中央	左端 (X02端)	中央・右端	全断面	全断面	両端	中央	全断面	全断面	全断面
断 面													
上端筋	4-D22	4-D22	3-D22	3-D22	6 (3/3)-D19	3-D19	3-D19	2-D16	3-D19	3-D19	5 (3/2)-D19	6 (3/3)-D19	2-D13
下端筋	4-D22	8 (4/4)-D22	3-D22	6 (4/2)-D22	3-D19	3-D19	3-D19	2-D16	3-D19	5 (3/2)-D19	3-D19	3-D19	2-D13
肋 筋	D10-□-@200		D10-□-@200		D10-□-@200		D10-□-@200	D10-□-@200	D10-□-@200		D10-□-@200	D10-□-@200	D10-□-@200
腹 筋	1×2-D10		1×2-D10		1×2-D10		1×2-D10	-	1×2-D10		1×2-D10	1×2-D10	-

壁リスト

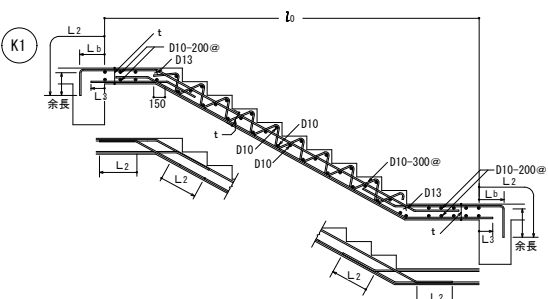
符 号	W15	W25		EW15	
壁 厚	150	250		150	
断 面					
タテ筋	D10-@250	D13-@200		D10-@250	
ヨコ筋	D10-@250	D13-@200		D10-@250	
開口部 補強筋	タテ	2-D13	2-D16	6-D13	
	ヨコ	2-D13	2-D16	6-D13	
	ナナメ	1-D13	1-D16	3-D13	

開口補強筋要領



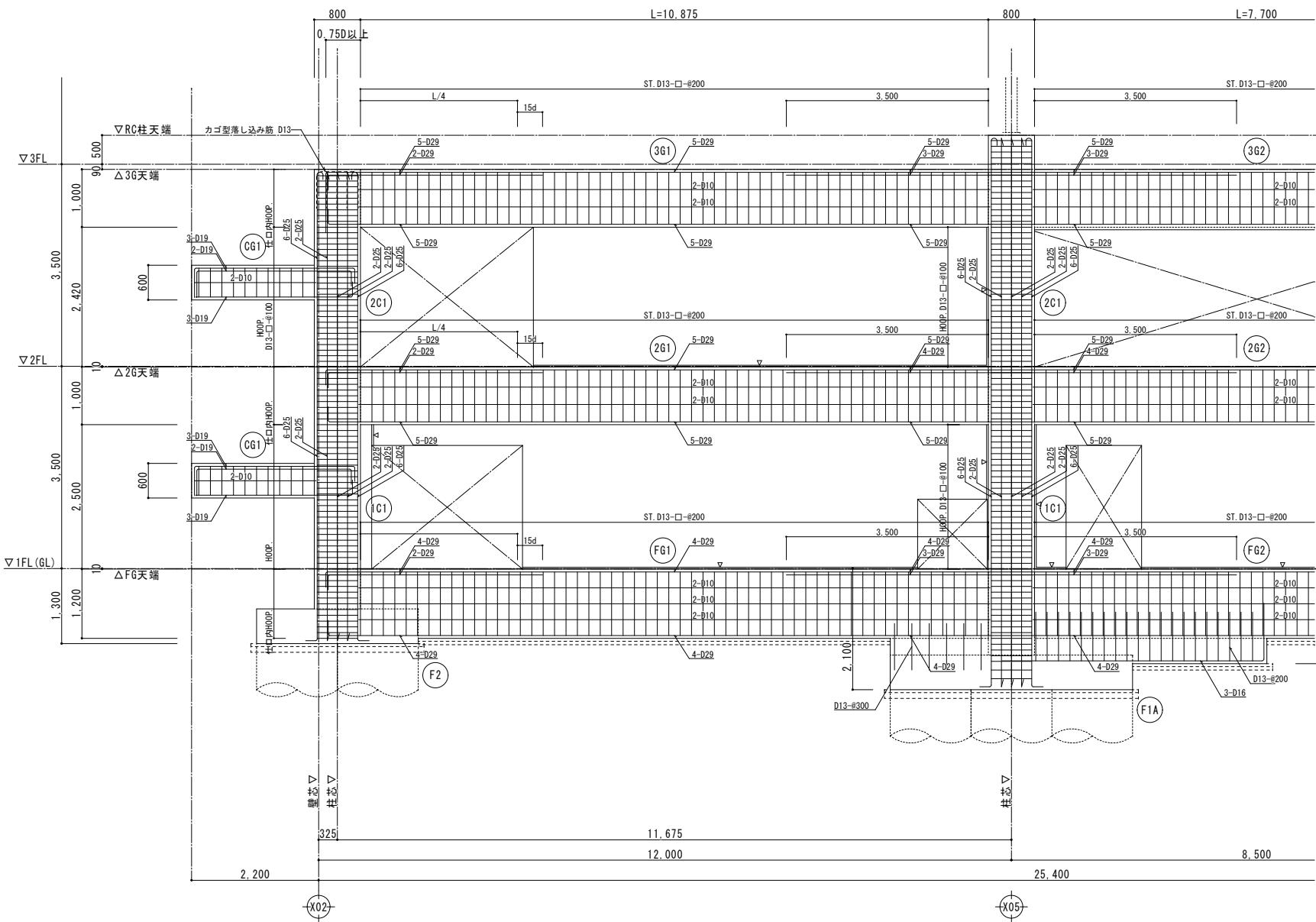
開口補強はトータル本数 n 本で示す。

二辺固定スラブ形階段配筋要領

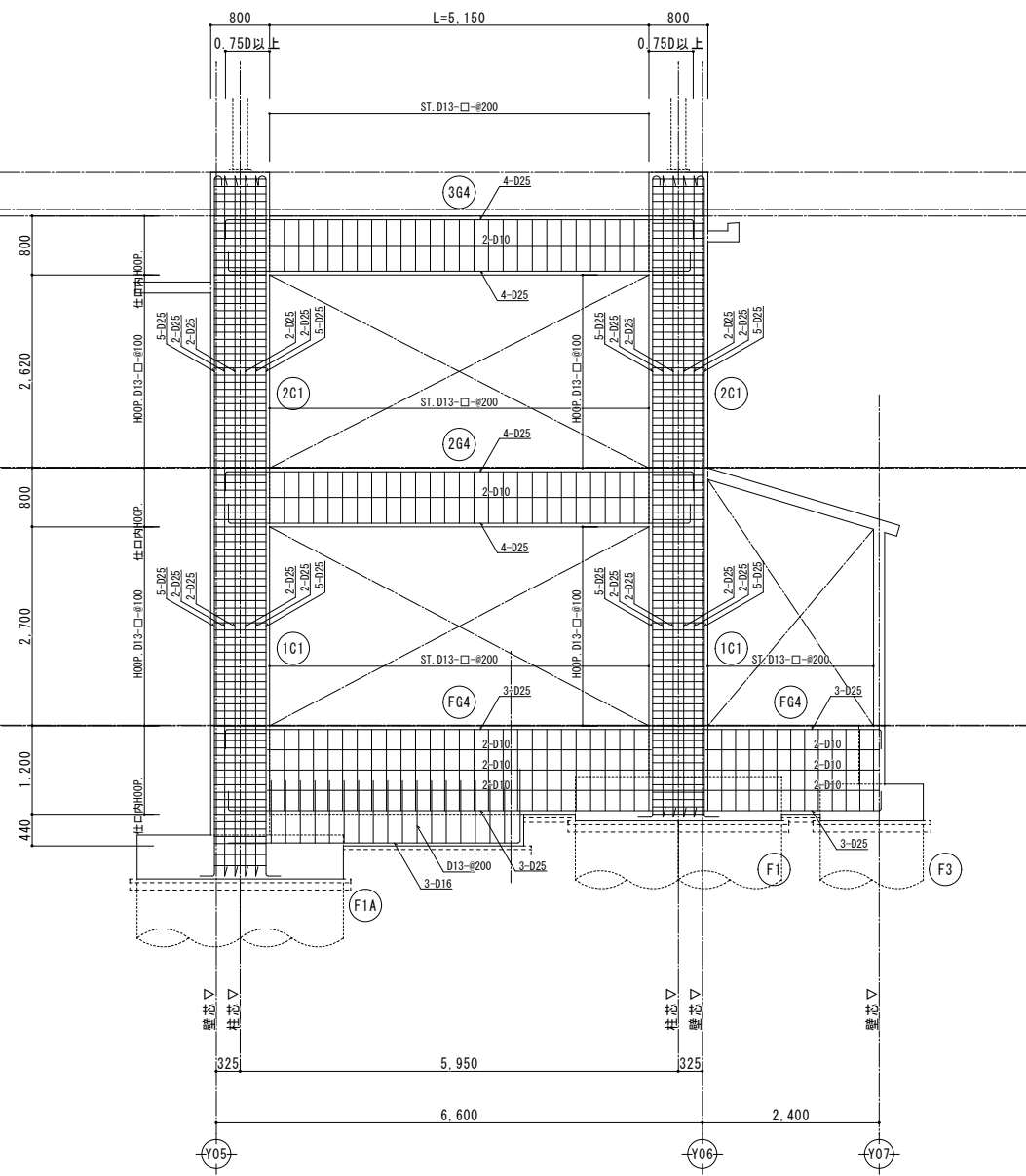


階段 符号	L_0	床板厚 t (mm)	全 域 上 端 筋 下 端 筋 D13-@150
K1	$3500 < L_0 \leq 4500$	180	

特記仕様 コンクリートの施工方法：告示1102号、1110号による基準
コンクリート設計強度 躯体：FC-24N/mm² (基礎、基礎梁)
土間：FC-21N/mm²
鉄筋 SD295 D10~D16
SD345 D19~D25
SD390 D29~

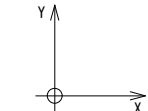


(Y05) 通り架構配筋図 S=1:100



(X05) 通り架構配筋図 S=1:100

訓練棟 C



地盤改良伏図	S=1:200

・〔 〕内は想定支持層レベルを示す※

改良長 : $L=7.75\text{m}$ 、 6.75m (F1)

改良先端レベル : GL-8, 900※

設計基準強度 : $F_c = 900 \text{ kN/m}^2$

※改良長は支持力等の確認を

基礎伏図	S=1:200

- ・ $\longleftrightarrow$ スラブの主筋方向を示

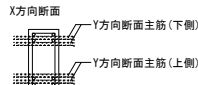
F2, F3 : 設計 GL-1, 10

・寸法の※表記部分は意匠図等により確認を行うこと

© 2006 The Authors
Journal compilation © 2006 Blackwell Publishing Ltd

• 蝦止め筋 $D10 = \frac{1}{2} = 61000$

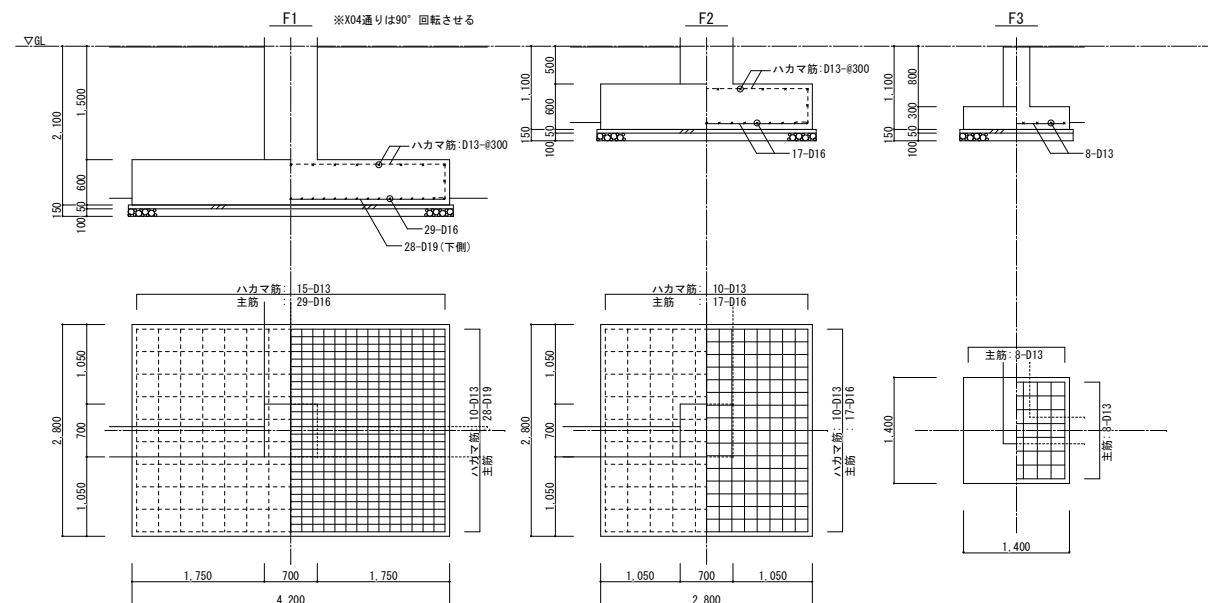
主筋比筋組立とは右図参照として組立する。



基礎梁リスト 1/100

	FG1	FG1A	FG2	FG3	FG3A	FG4	FG5	
	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	両端	中央
断面								
上端筋	4-D25	4-D25	4-D25	3-D25	5(3/2)-D25	3-D25	3-D25	3-D25
下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	5(3/2)-D25
肋筋	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D10-□-@200	D10-□-@200	
腹筋	2×2-D10	5×2-D10	5×2-D10	2×2-D10	5×2-D10	2×2-D10	2×2-D10	
	FB1		FB2		FB3	FB4		
	左端・中央	右端(X06軸)	左端(X06軸)	中央・右端	全断面	両端	中央	
断面								
上端筋	4-D22	6(4/2)-D22	6(4/2)-D22	4-D22	3-D19	3-D19	3-D19	
下端筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	3-D19	3-D19	5(3/2)-D19	
肋筋	D10-□-@200		D10-□-@200		D10-□-@200	D10-□-@200		
腹筋	5×2-D10		1×2-D10		5×2-D10	1×2-D10		

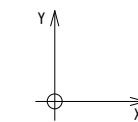
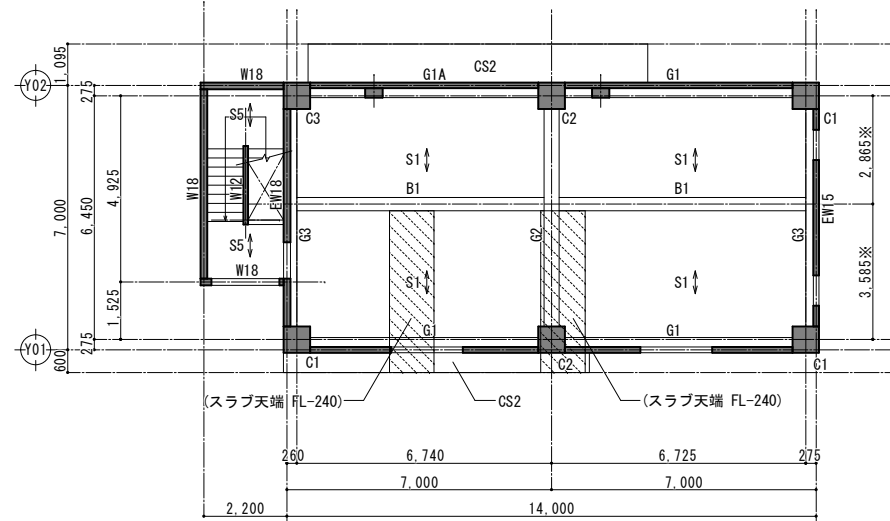
基礎リスト 1/100



特記仕様 コンクリートの施工方法：告示1102号、110号による基準
コンクリート設計強度 躯体： $\text{FC-}24\text{N}/\text{mm}^2$ (基礎、基礎梁)
 $\text{FC-}24\text{N}/\text{mm}^2$ (上部躯体)
土間： $\text{FC-}21\text{N}/\text{mm}^2$
鉄筋 SD295 D10~D16
SD345 D19~D25

訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行	一級建築士 第345405号 廣井 克彦 構造設計-一級建築士 第 9921号	 福山市建設局建築部営繕課	担当 -	設計年月 令和 7年12月	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事	区 分 構造 (S)
				図面設計-一級建築士 第 号		作図 変更年月	図面名称 訓練棟C 基礎伏図、基礎関係リスト	縮 尺 1:200, 100	図面番号 S-301

訓練棟 C



特記外は下記に依る

- ・壁 W15
- ・ $\longleftrightarrow$ スラブの主筋方向を示す
- ・壁スリット位置は軸組図による
- ・梁、スラブ天端レベルは軸組図および意匠図による
- ・寸法の※表記部分は意匠図等により確認を行うこと
- ・特記なき寸法、レベルは意匠図による

特記外は下記に依る

- ・壁 W15
- ・ $\longleftrightarrow$ スラブの主筋方向を示す
- ・壁スリット位置は軸組図による
- ・梁、スラブ天端レベルは軸組図および意匠図による
- ・特記なき寸法、レベルは意匠図による

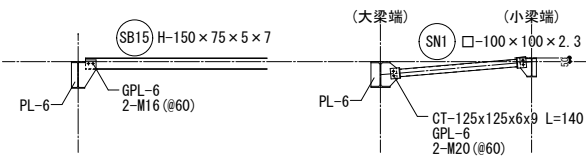
鉄骨柱リスト 1/60

符号	SC1	
階		
3	□-250×250× 9 (BCR295)	
柱脚		
柱脚工法	在来工法	
B. PL	BPL-28×410×410(SN490B)	
A. BOLT	4-M22 (ABR400) L=440 (ワット締, 定着版付) 座金 t=6, φ44 座金をB. PLに溶接すること	
Rib. PL		

鉄骨部材リスト

符 号	主 材	仕 口 ・ 柱 脚	備 考
SG340	H - 340×250× 9×14	フランジ 外) PL-9×250 6-M20 内) 2PL-12×95 ウェブ 2PL-9 3-M20 @60	
SG35	H - 350×175× 7×11	フランジ 外) PL-9×175 6-M20 内) 2PL-9×65 ウェブ 2PL-9 3-M20 @60	
SCG20	H - 200×100× 5.5× 8	※継手を設ける場合 フランジ 外) PL-16×100 4-M16 ウェブ 2PL-6 2-M16 @60	
SB30	H - 300×150× 6.5× 9	トング端) GPL- 9 3-M20 @60	
SB25	H - 250×125× 6× 9	トング端) GPL- 9 3-M20 @60	
SB20	H - 200×100× 5.5× 8	トング端) GPL- 6 2-M16 @60	
SB15	H - 150× 75× 5× 7	トング端) GPL- 6 2-M16 @60	
SN1	□ - 100× 100× 2.3	トング端) CT-125x125x6x9 L=140 GPL- 6 2-M20 @60	
HV1	M16 (JISタンバール付き筋違)	GPL- 9×75 1-M16	

鉄骨部材部分詳細図 1/100

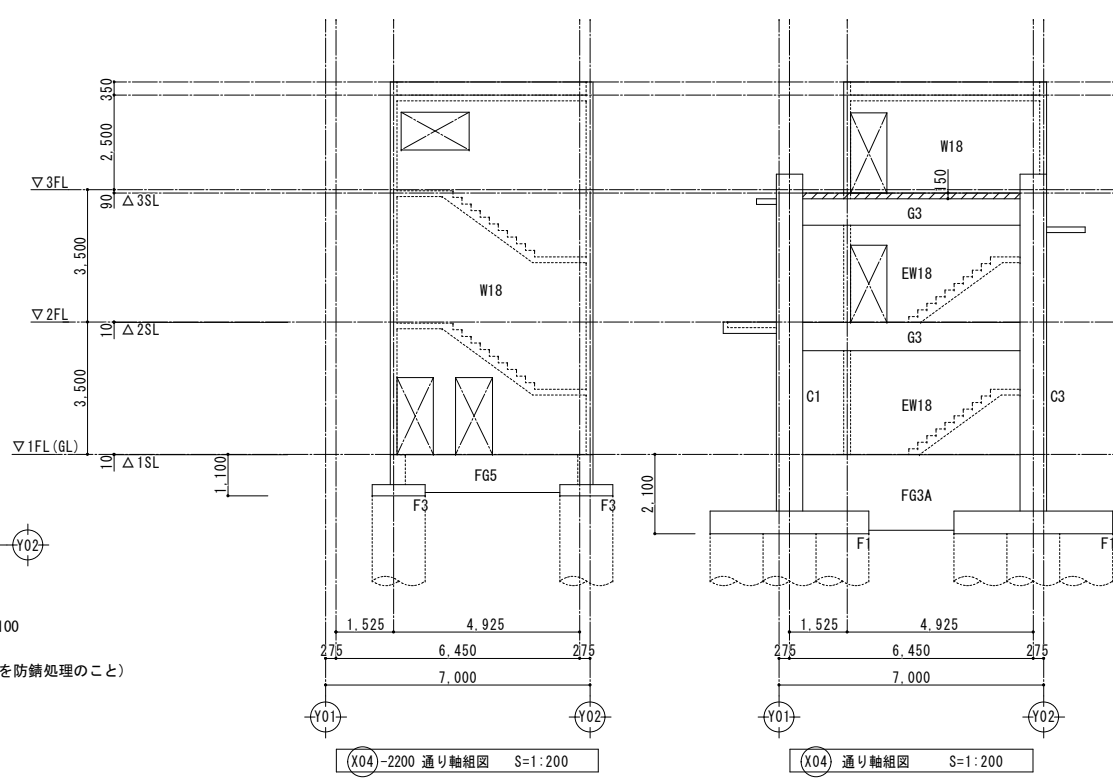


Y01 通り鉄骨詳細図 S=1:100

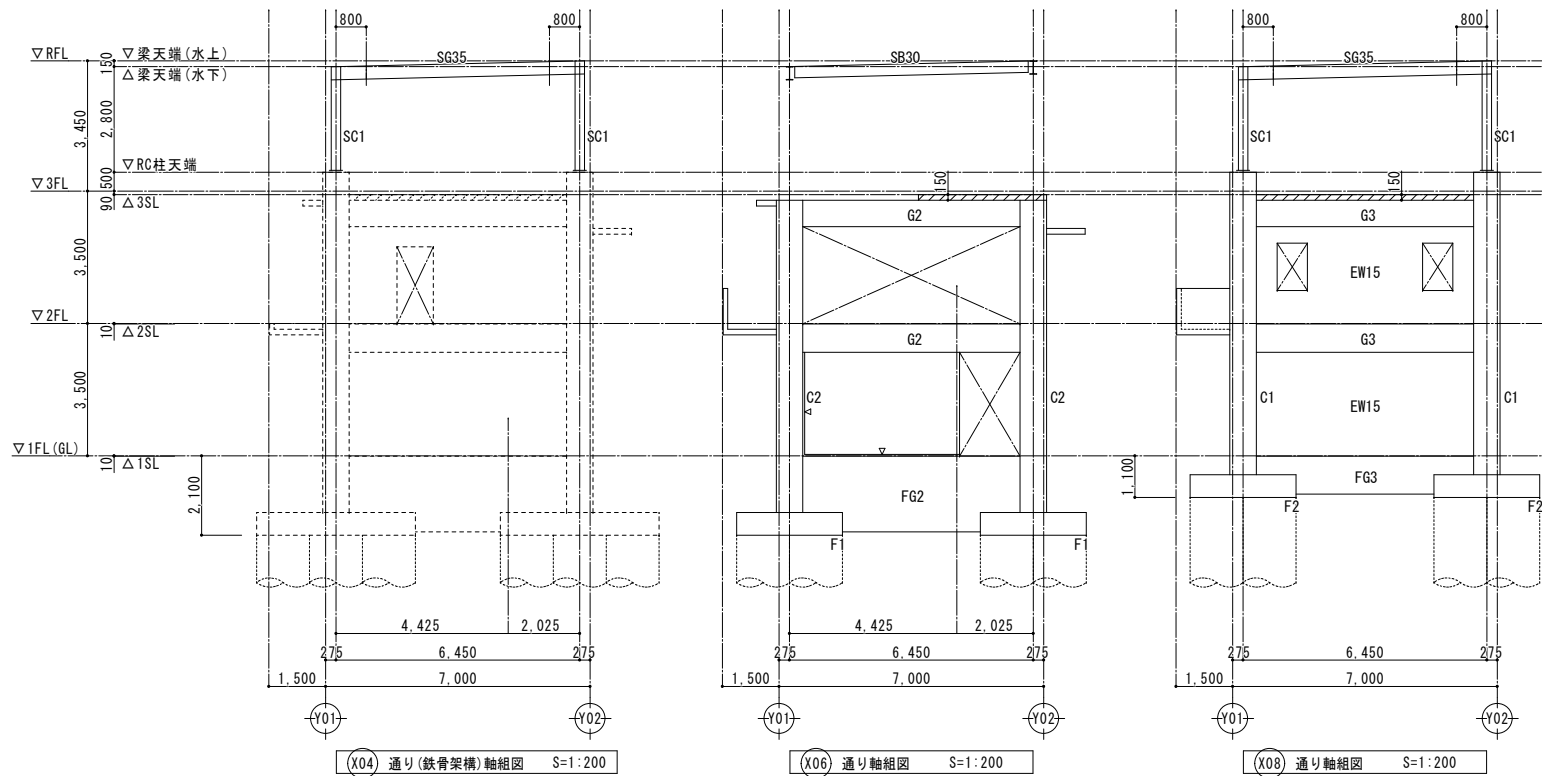
(X08) 通り鉄骨詳細図 S=1:100

訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目2番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 一級建築士 甲斐 宣行	一級建築士 第345405号 廣井 克彦	 福山市建設局建築部営繕課	担当	設計年月	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事 区分 構造(S)
				構造設計一級建築士 第 9921号		-	令和 7年12月	
				図面設計一級建築士 第 号		作図	変更年月	図面名称 訓練棟C 伏図、鉄骨部材リスト 縮尺 1:200, 100, 60 図面番号 S-302

訓練棟 C



-
- Architectural drawing of a building section (Y01) showing a three-story structure with a basement. The drawing includes floor levels (▽RFL, ▽3FL, ▽2FL, ▽1FL(6L)), column locations (X04, X06, X08), and various structural components like beams (SG340, SG620), walls (SC1), and foundations (F1, F2). Dimensions are provided for heights and widths.



訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行	一級建築士 第345405号 廣井 克彦 構造設計一級建築士 第9921号	 福山市建設局建築部営繕課	担当 - 令和7年12月	設計年月 令和7年12月	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事	区 分 構造(S)
				図面番号 訓練棟C 軸組図		縮 尺 1:200	図面番号 S-303		

訓練棟 C

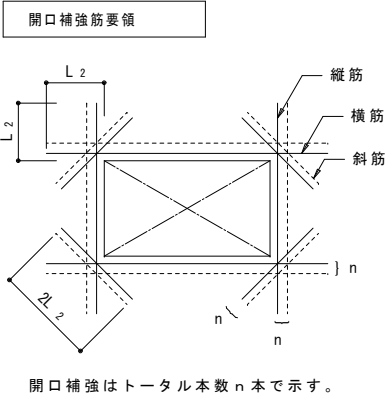
柱リスト 1/100			
特記外は下記に依る ・柱 γ - β は全層が γ 種とする。 （仕口部は工場溶接型とする。ただしF6仕口内 γ - β は β 型でも可とする。）			
	C1	C2	C3
2 階			
主 筋	8-D25	12-D25	12-D25
帯 筋	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100
1 階			
主 筋	8-D25	12-D25	12-D25
帯 筋	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100

大梁リスト 1/100									
特記外は下記に依る ・幅止め筋 D10-▽-@1000 ・主筋配筋組立ては右図参照として組立てる。									
	G1			G1A			G2		G3
	外端 (X04, X08軸)	中央	内端 (X06軸)	外端 (X04軸)	中央	内端 (X06軸)	両端	中央	全断面
3 階									
上端筋	4-D25	4-D25	6 (4/2)-D25	8 (4/4)-D25	6 (4/2)-D25	6 (4/2)-D25	6 (4/2)-D25	4-D25	3-D25
下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	6 (4/2)-D25	6 (4/2)-D25	4-D25	4-D25	6 (4/2)-D25	3-D25
肋 筋	D13-□-@200			D13-□-@200			D13-□-@200		D13-□-@200
腹 筋	1×2-D10			1×2-D10			1×2-D10		1×2-D10
	外端 (X04, X08軸)	中央	内端 (X06軸)				両端	中央	全断面
2 階									
上端筋	6 (4/2)-D25	4-D25	7 (4/3)-D25				6 (4/2)-D25	4-D25	3-D25
下端筋	4-D25	4-D25	4-D25				6 (4/2)-D25	6 (4/2)-D25	3-D25
肋 筋	D13-□-@200						D13-□-@200		D13-□-@200
腹 筋	1×2-D10						1×2-D10		1×2-D10

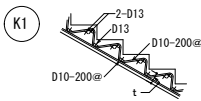
小梁リスト 1/100			
特記外は下記に依る ・幅止め筋 D10- γ - β @1000			
	B1	B2	
	外端・中央	内端 (X06軸)	全断面
断面			
上端筋	4-D22	6 (4/2)-D22	3-D19
下端筋	4-D22	4-D22	3-D19
肋 筋	D10-□-@200		D10-□-@200
腹 筋	1×2-D10		1×2-D10

スラブリスト						
符 号	スラブ厚	位 置	短辺 (主筋) 方向		長辺方向	
			端 部	中 央	端 部	中 央
S1	150	上端筋	D10, D13-@150	D10, D13-@150	D10-@200	D10-@200
		下端筋	D10-@150	D10-@150	D10-@200	D10-@200
S2	150	上端筋	D10, D13-@200	D10, D13-@200	D10, D13-@200	D10, D13-@200
		下端筋	D10-@200	D10-@200	D10-@200	D10-@200
S3	150	上端筋	D10, D13-@200	D10, D13-@200	D10-@200	D10-@200
		下端筋	D10-@200	D10-@200	D10-@200	D10-@200
S4	200	上端筋	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200
		下端筋	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200
S5	150	上端筋	D10-@200	D10-@200	D10-@200	D10-@200
		下端筋	D10-@200	D10-@200	D10-@200	D10-@200
CS1	150	上端筋	D13-@100	D13-@100	D10-@200	D10-@200
		下端筋	D10-@100	D10-@100	D10-@200	D10-@200
CS2	150	上端筋	D10, D13-@200	D10, D13-@200	D10-@200	D10-@200
		下端筋	D10-@200	D10-@200	D10-@200	D10-@200
		上端筋				
		下端筋				

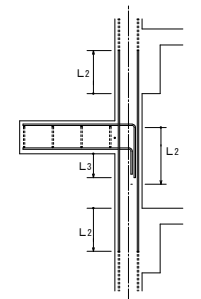
壁リスト						
符 号	W15	W18	W12		EW15	EW18
壁 厚	150	180	120		150	180
断 面						
タテ筋	D10-@250	D13-@200	D10-@200		D10-@250	D13-@200
ヨコ筋	D10-@250	D10-@200	D10-@200		D10-@250	D10-@200
開口部補強筋	タテ ヨコ ナナメ	2-D13 2-D16 2-D13	- - -		4-D13 4-D13 2-D13	4-D16 4-D16 2-D13



片持ちスラブ階段配筋要領



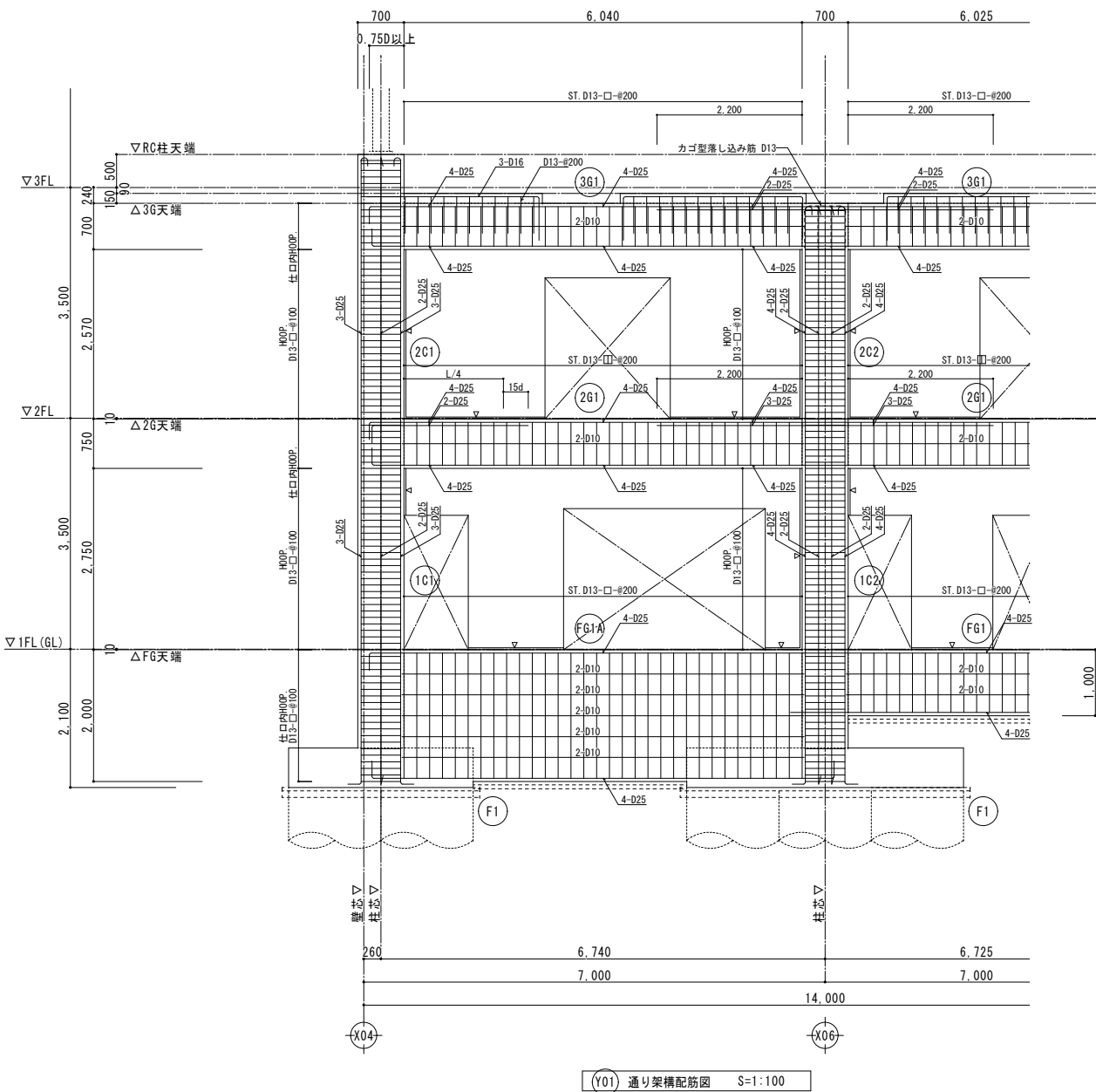
階段 符号	床板厚 t (mm)
K1	150



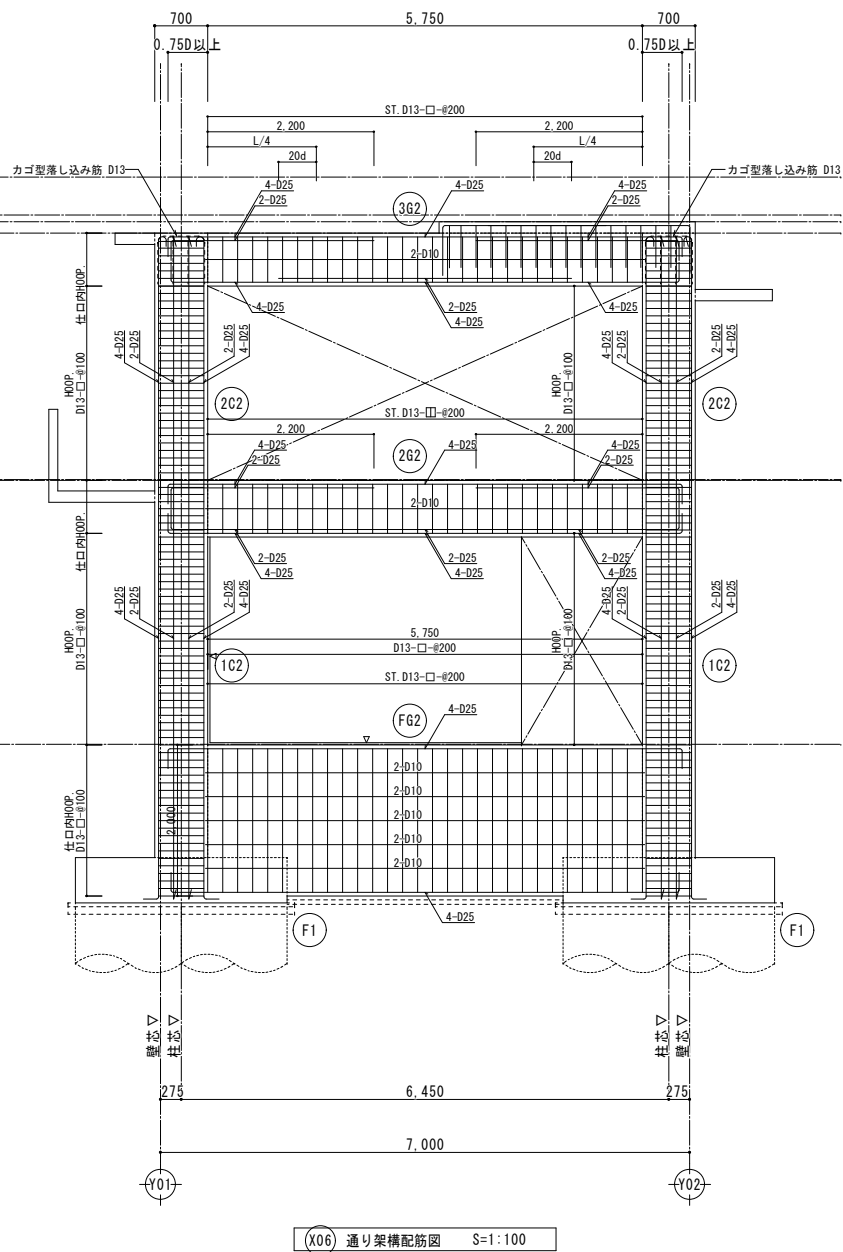
片持ちスラブ形階段配筋の定着

- (注)
- 壁配筋は、片持ちスラブ形階段を受ける壁の基準配筋による。
 - 階段主筋は、壁の中心線を越えてから壁におろす。
 - スラブ配力筋の継手及び定着の長さは、〔鉄筋の定着長さ〕の L_3 とする。

特記仕様 コンクリートの施工方法：告示1102号、110号による基準
コンクリート設計強度 躯体：FC-24N/mm² (基礎、基礎梁)
：FC-24N/mm² (上部躯体)
土間：FC-21N/mm²
鉄筋 SD295 D10~D16
SD345 D19~D25



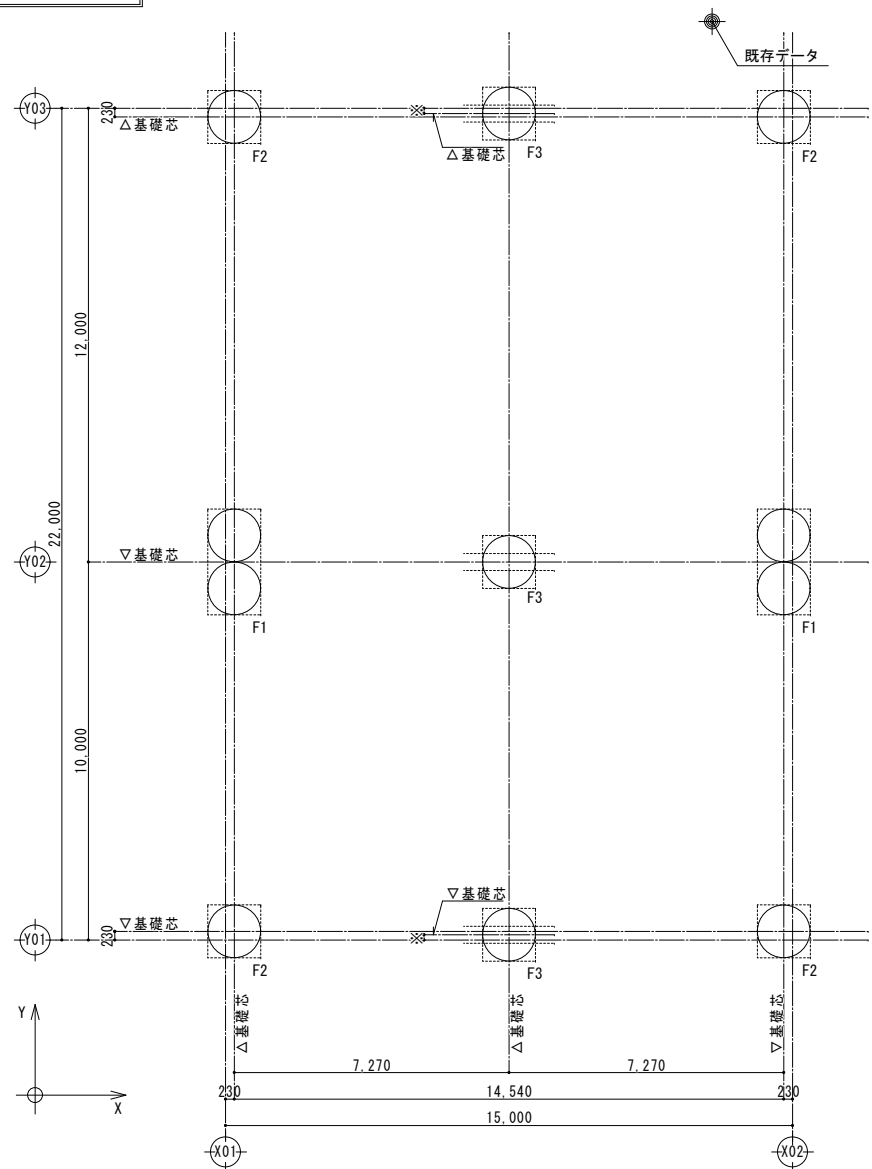
(Y01) 通り架構配筋図 S=1:100



(X06) 通り架構配筋図 S=1:100

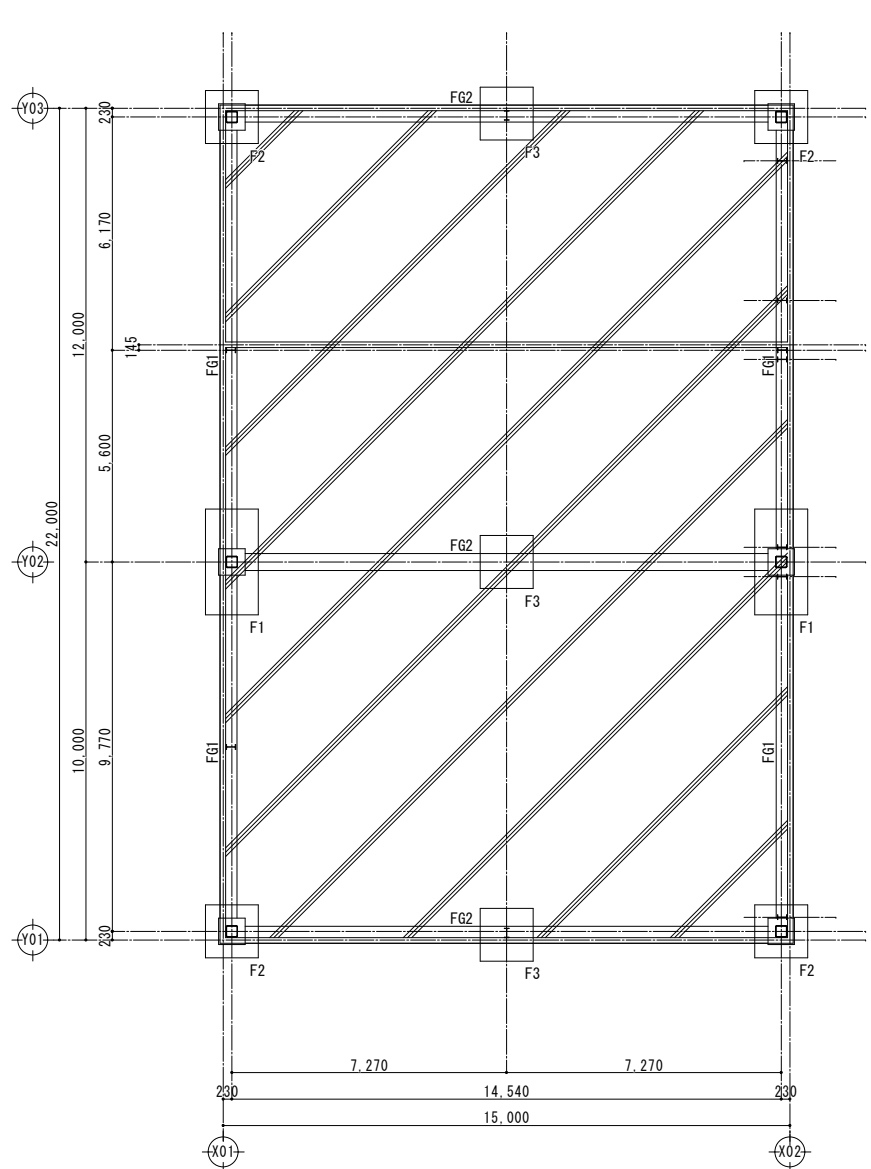
訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行	一級建築士 第345405号 廣井 克彦 構造設計一級建築士 第 9921号		担当	設計年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称		区 分
				-		令和 7年12月	(仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		構造 (S)		
				作図		変更年月	図面名称		縮 尺	図面番号	
				第 号		訓練棟 C 架構配筋詳細図	1:100	S-305			

車庫棟



地盤改良伏図 S=1:200

特記外は下記に依る	
・[]内は想定支持層レベルを示す※	
改良径	φ1400
改良長	L=5.70m
改良天端レベル	GL-1.100
改良先端レベル	GL-6.900※
本数	11本
設計基準強度	Fc=900N/m ²
長期設計地耐力	Lf=200N/m ²
※改良長は支持力等の確認を行い、最終決定すること。	



基礎伏図 S=1:200

特記外は下記に依る	
・[]内は想定支持層レベルを示す※	
・土間コンクリート部分を示す	
(t=180 配筋:縦、横共 D13-#250 グラフ)	
・土間コンクリート下は十分に転圧、締固めを行うこと	
・基礎フーチング下端レベル 設計GL-1.050	
・地中更天端レベルは軸組図および意匠図による	
・特記なき寸法、レベルは意匠図による	

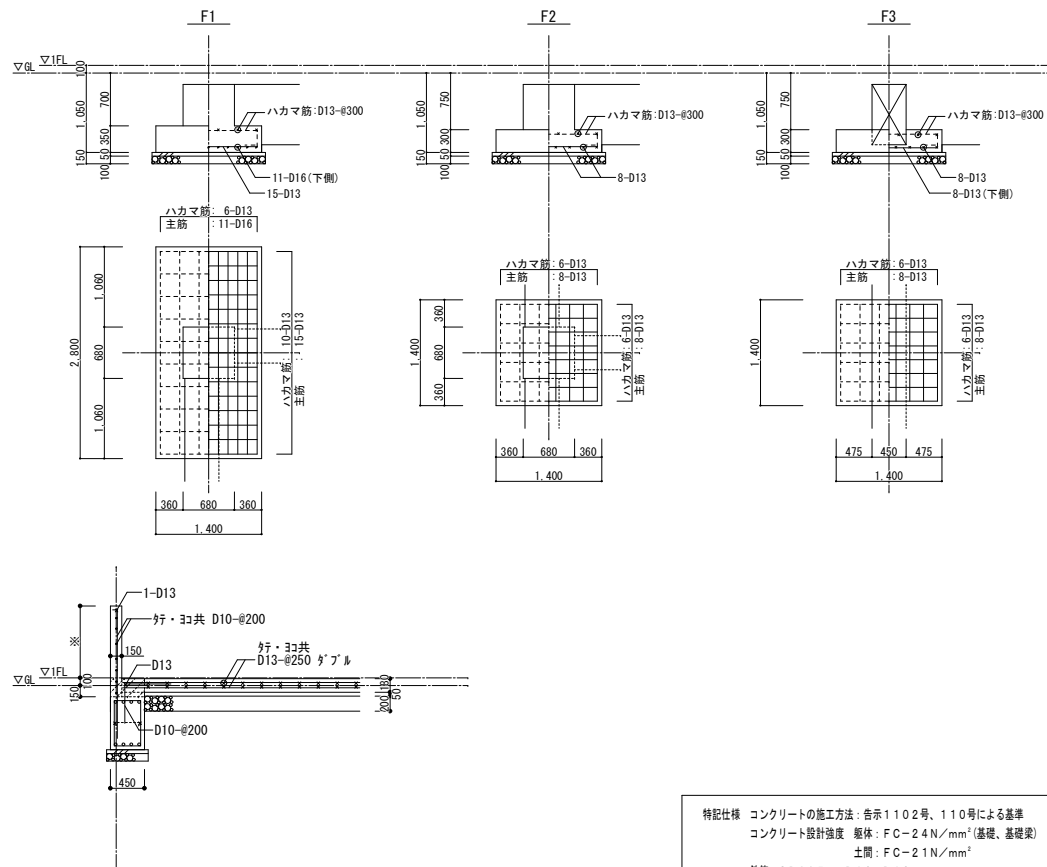
基礎柱リスト 1/100

断面	FC1 (C1)	
	主筋 12-D22	
帯筋	D13-□-@100	

基礎梁リスト 1/100

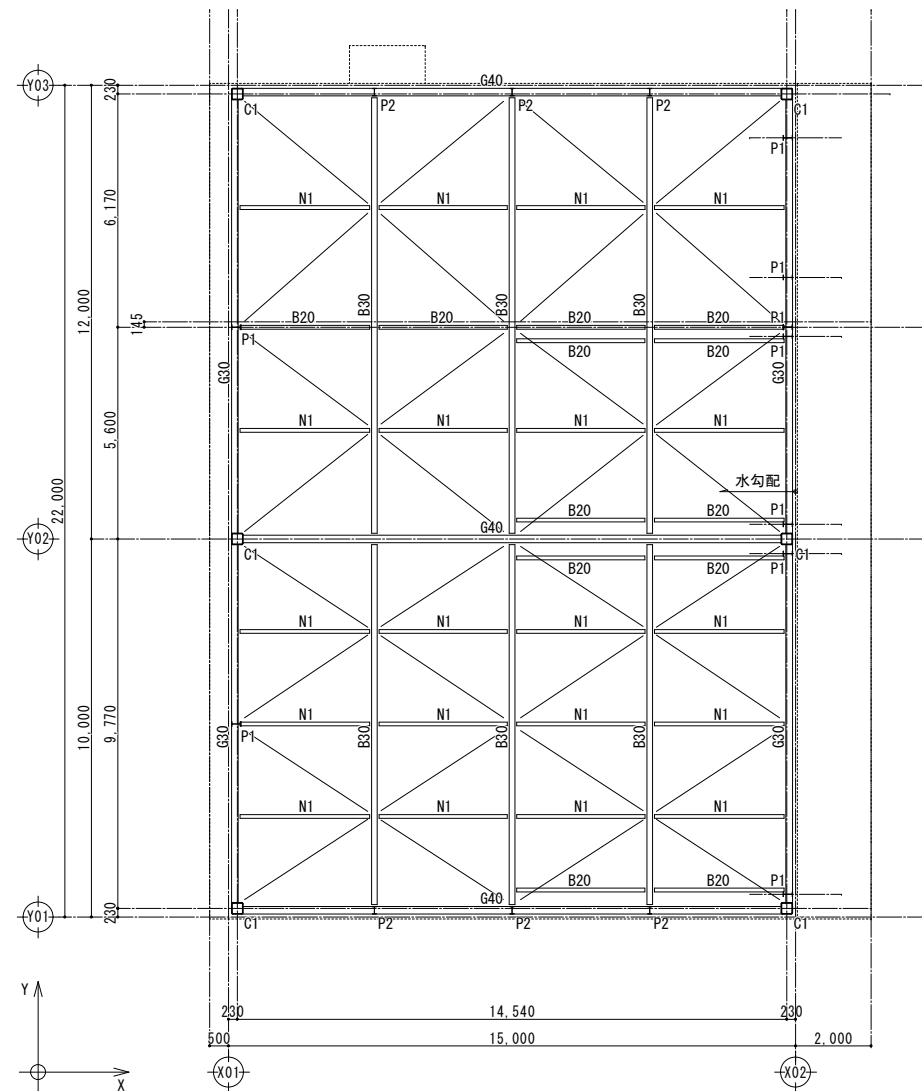
断面	FG1		FG2	
	外端・中央	内端 (X02)	全断面	
上端筋	4-D25	6 (4/2)-D25	4-D22	
下端筋	4-D25	4-D25	4-D22	
肋筋	D13-□-@200		D13-□-@200	
腹筋	1×2-D13		1×2-D13	

基礎リスト 1/100



特記仕様 コンクリートの施工方法: 告示1102号、110号による基準
コンクリート設計強度 躯体: FC=24N/mm² (基礎、基礎梁)
土間: FC=21N/mm²
鉄筋 SD295 D10~D16
SD345 D19~D25

車庫棟



1階柱R階梁伏図 S=1:200

特記外は下記に依る

- ・屋根面ブレース HVI
- ・梁天端レベルは軸組図および意匠図による
- ・特記なき寸法、レベルは意匠図による

鉄骨柱リスト 1/60

符号 階	C1	
1	□-300 × 300 × 9 (BCR295)	
柱脚		
柱脚工法	30-09V同等品(標準図参照)	
B. PL	BPL-36 × 480 × 480	
A. BOLT	4-M39 (BPM-SD490)	
R ib. P L		

特記外は下記に依る	
・鋼材	BCR295
・ダイアフラム	SN490C
・柱脚工法	ベースバック同等品以上

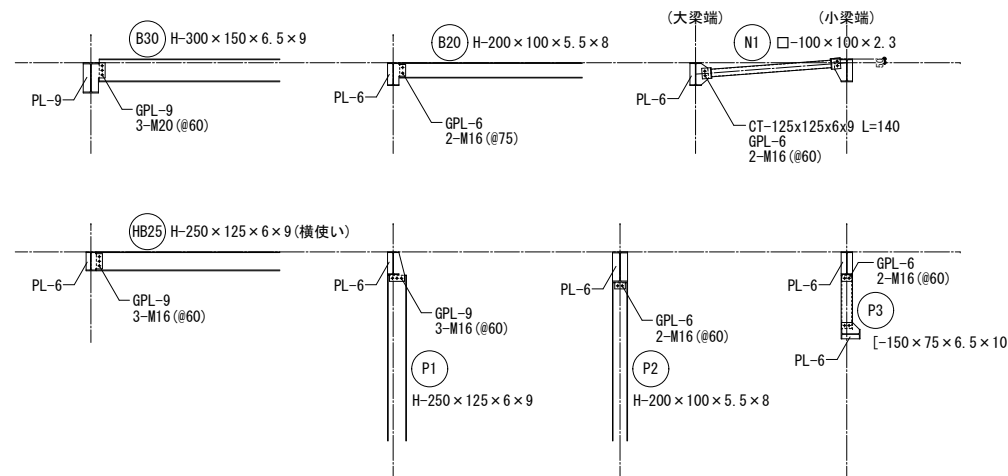
鉄骨部材リスト

符 号	主 材	仕 口 ・ 柱 脚	備 考
G40	H - 400×200× 8×13	フランジ 外) PL-9×200 6-M20 内) 2PL-12×70 ウェブ 2PL-9 3-M20 @90	
G30	H - 300×150× 6.5×9	フランジ 外) PL-9×150 4-M20 内) 2PL-9×55 ウェブ 2PL-6 3-M20 @60	
B30	H - 300×150× 6.5× 9	ピン端) GPL- 9 3-M20 @60	
B20	H - 200×100× 5.5× 8	ピン端) GPL- 6 2-M16 @75	
N1	□ - 100× 100× 2.3	ピン端) CT-125x125x6x9 L=140 GPL- 6 2-M16 @60	
HB25	H - 250×125× 6× 9(コ使い)	ピン端) GPL- 9 3-M16 @60	
P1	H - 250×125× 6× 9	ピン端) GPL- 9 3-M16 @60 柱脚) BPL-22×280×180 A. Bolt 2-M16 (ワナット締, フック付き, L=480)	
P2	H - 200×100× 5.5× 8	ピン端) GPL- 6 2-M16 @60 柱脚) BPL-22×230×180 A. Bolt 2-M16 (ワナット締, フック付き, L=480)	
P3	[- 150× 75× 6.5× 10	ピン端) GPL- 6 2-M16 @60	
HV1	M16 (JISターンバ` ックル付き筋違)	GPL- 9×75 1-M16	
胴縁	C - 100×50× 20× 2.3 @606	GPL- 6 中` ルト 2-M12	
(開口補強)	2C - 100×50× 20× 2.3	GPL- 6 中` ルト 2-M12	

特記外は下記に依る

・鋼材	SS400
・ボルト	HTB F10T , S10T

鉄骨部材部分詳細図 1/100

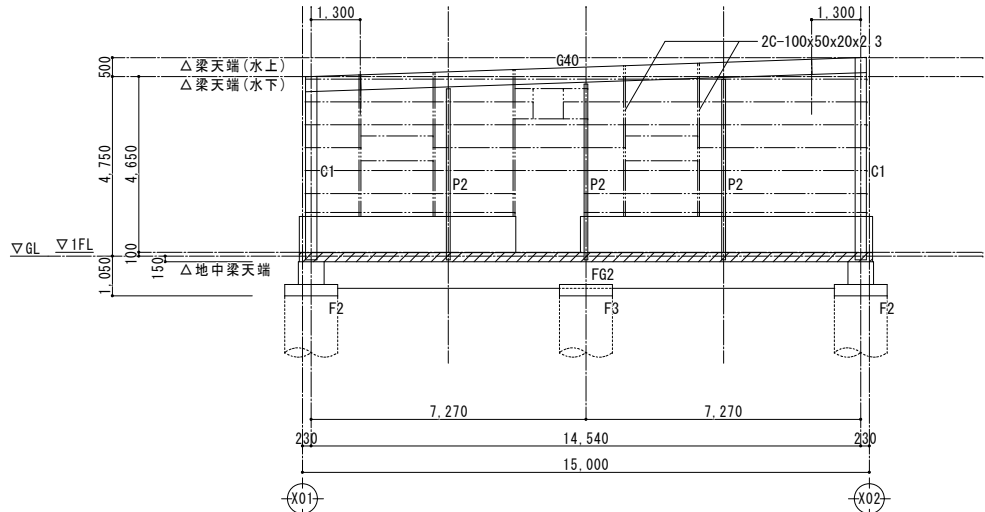


BPL-22×280×180
A. Bolt 2-M16
(ワット締, フック付き, L=480)

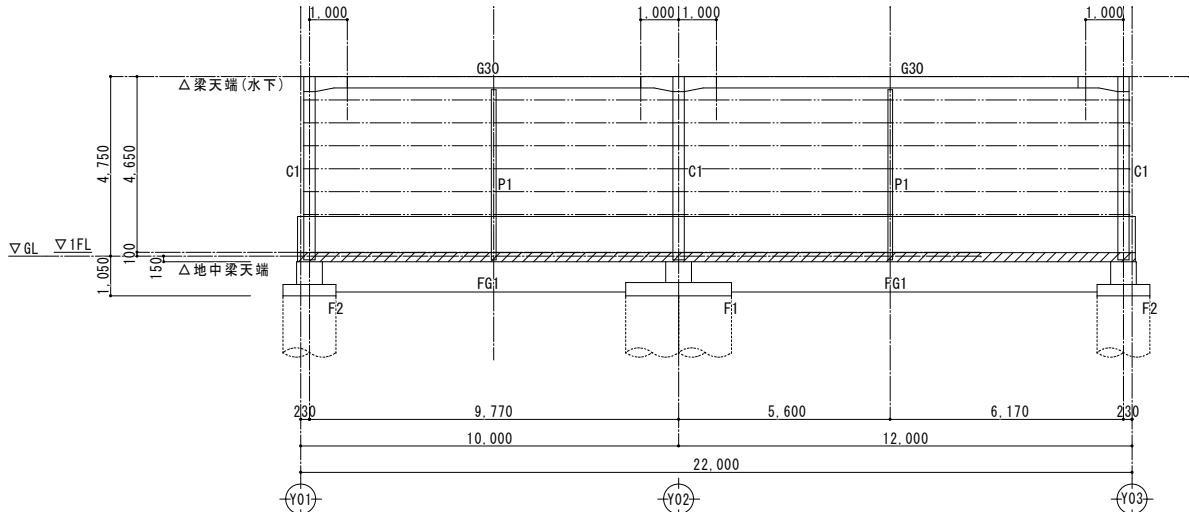
BPL-22×230×180
A. Bolt 2-M16
(ワット締、フック付き、L=480)

訂正	月 日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第 293830 号 甲斐 宣行	一級建築士 第 345405 号 廣井 克彦 構造設計-一級建築士 第 9921 号	 福山市建設局建築部営繕課	担当 -	設計年月 令和 7年12月	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事	区 分 構造 (S)
			図面設計-一級建築士 第 号		作図 変更年月	図面名称 車庫棟 伏図、鉄骨部材リスト	縮 尺 1:200, 60	図面番号 S-402

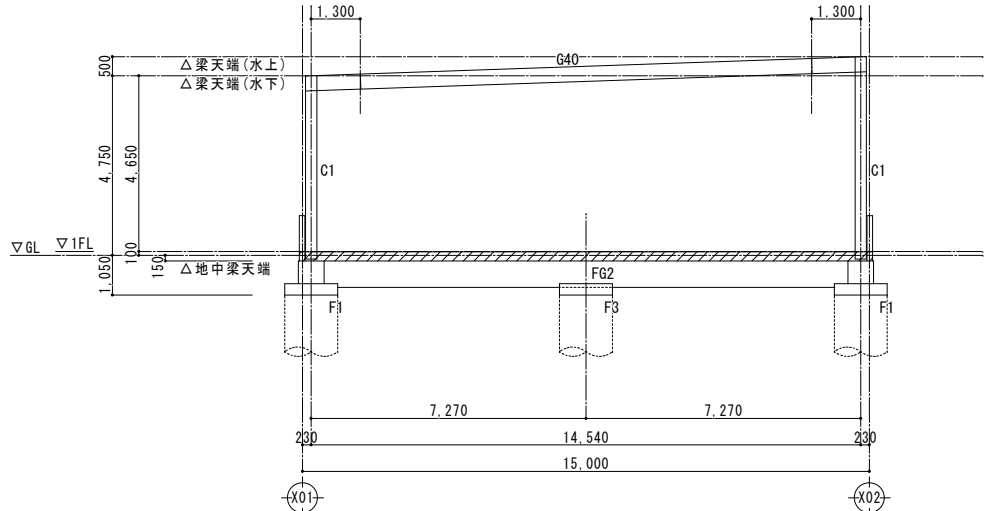
車庫棟



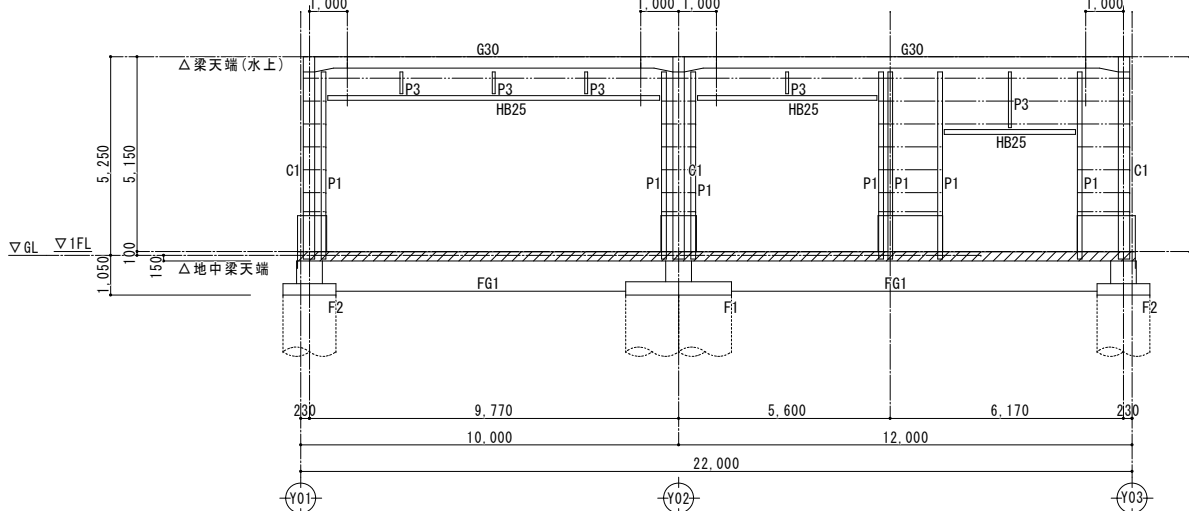
(Y03) 通り軸組図 S=1:200



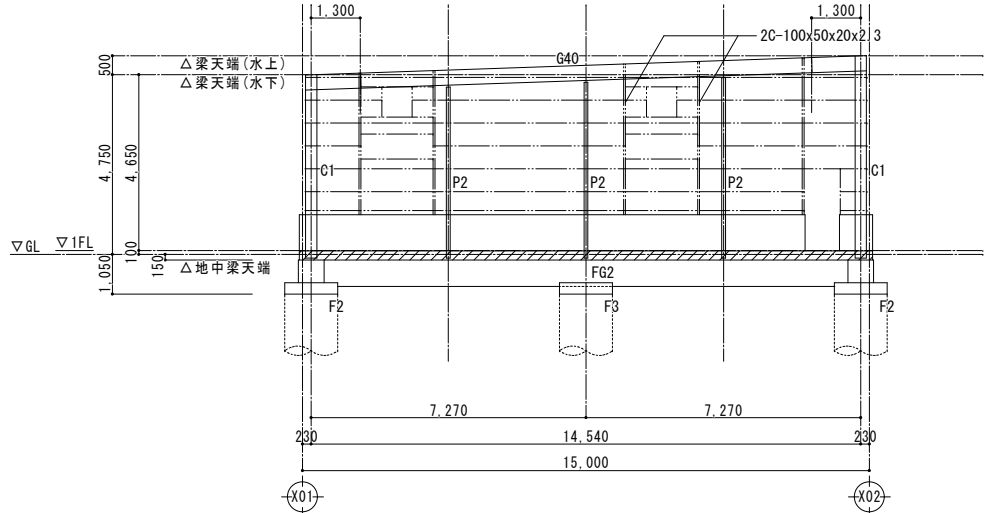
(X01) 通り軸組図 S=1:200



(Y02) 通り軸組図 S=1:200



(X02) 通り軸組図 S=1:200

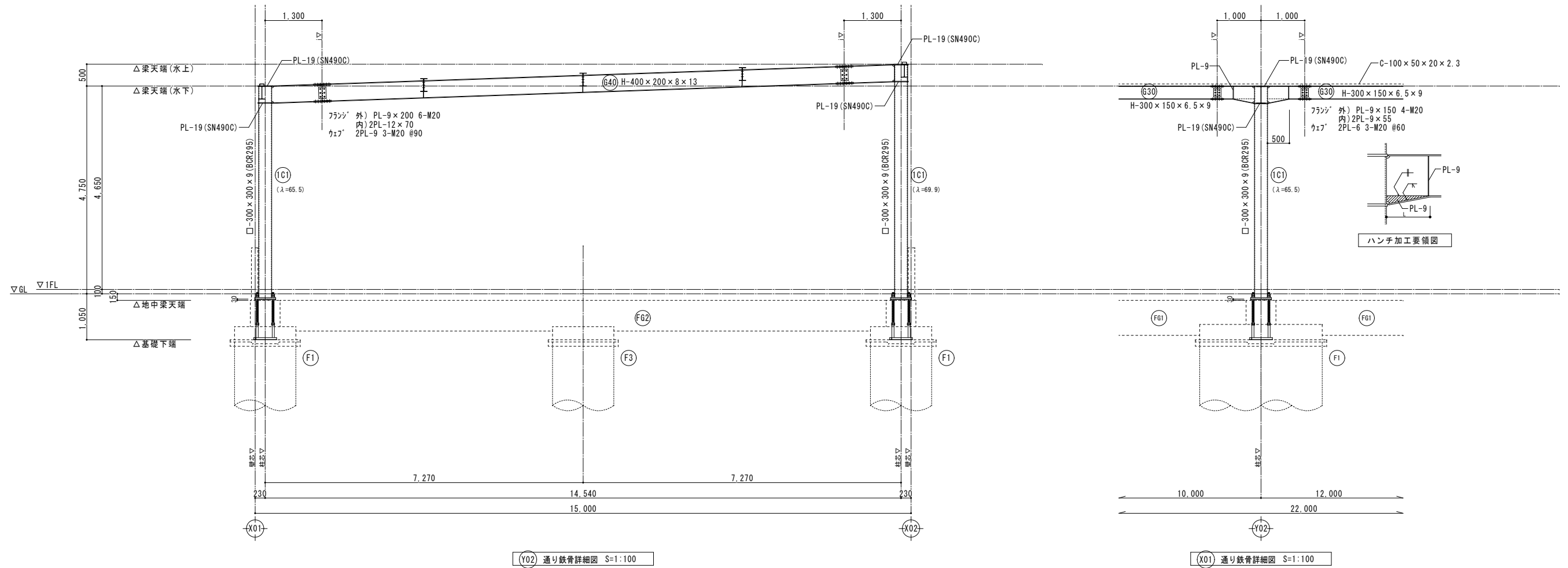


Y01 通り軸組図 S=1:200

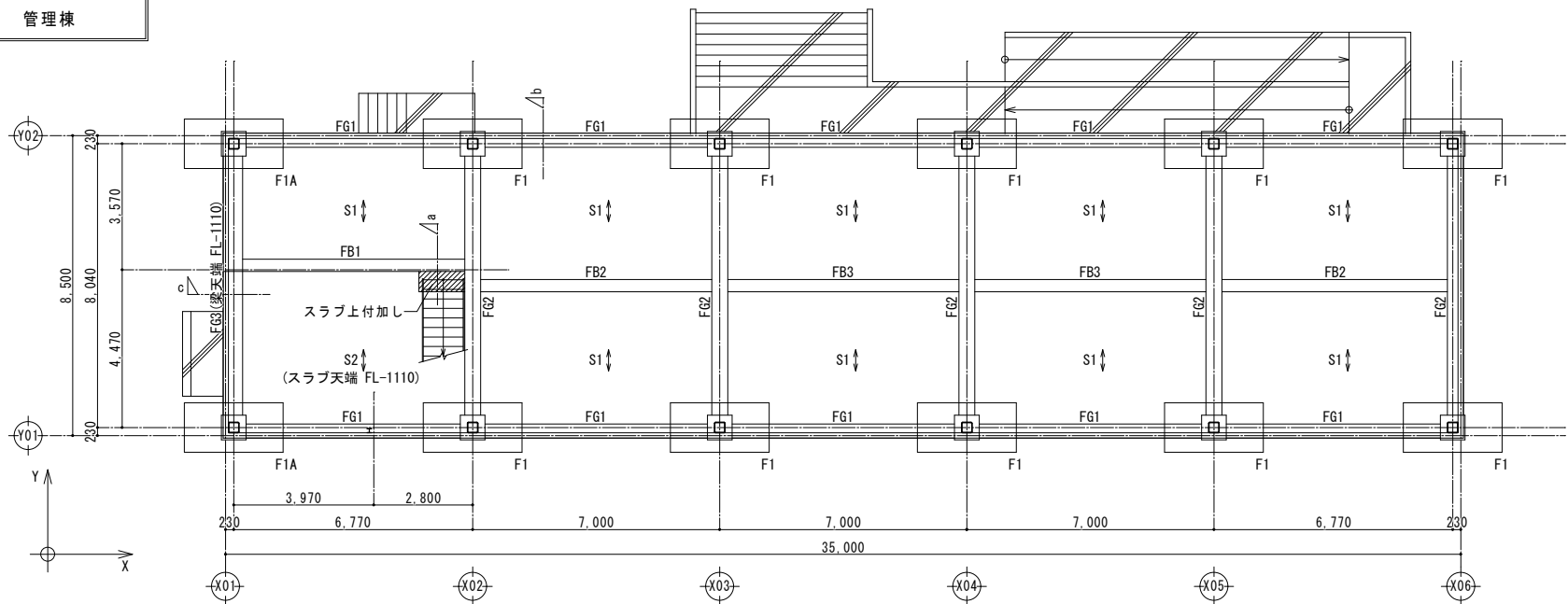
特記外は下記に依る（軸組図共通）

- ・  梁増打ちを示す
- ・ 特記なき寸法、レベルは意匠図による

訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第 293830 号 甲斐 宣行	一級建築士 第 345405 号 廣井 克彦 構造設計一級建築士 第 9921 号	 福山市建設局建築部営繕課	担当 -	設計年月 令和 7 年 12 月	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事	区 分 構造 (S)
				図面設計一級建築士 第 号		作図 変更年月	図面名称 車庫棟 構造図 1	縮 尺 1:200	図面番号 S-403

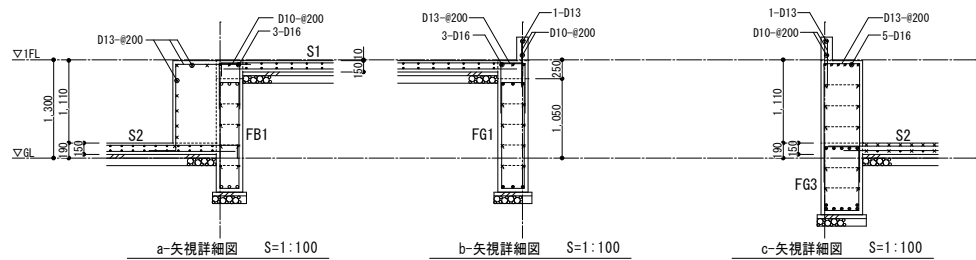


訂 月 日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第 293830 号 甲斐 宣行	一級建築士 第 345405 号 廣井 克彦		担当	設計年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称		区 分	
		構造設計一級建築士 第 9921 号		-	令和 7 年 12 月		(仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事			構造 (S)
		構造設計一級建築士 第 号		作図	変更年月		図面名称		縮 尺	図面番号
							車庫棟 鉄骨詳細図		1:100	S-404



基礎伏図 S=1:200

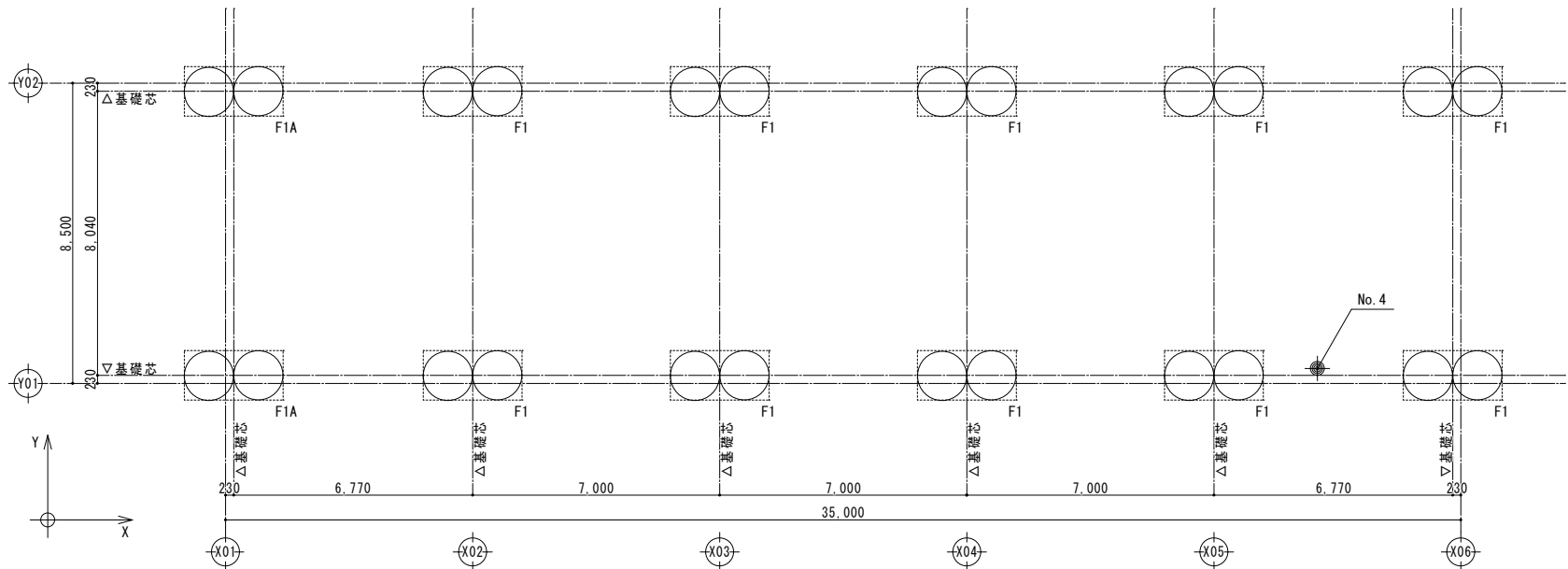
特記外は下記に依る
・スラブの主筋方向を示す
・基礎ワーチング下地レベル F1 設計GL-650 F1A 設計GL-850
・地中梁、スラブ天端レベルは軸組図および意匠図による
・土間コンクリート部分を示す (t=150 配筋:縦、横共 D10-#200 シingle)
・特記なき寸法、レベルは意匠図による



a-矢視詳細図 S=1:100

b-矢視詳細図 S=1:100

c-矢視詳細図 S=1:100



地盤改良伏図 S=1:200

特記外は下記に依る
・[]内は想定支持層レベルを示す※
改良径 :φ1400
改良長 :L=7.10m、6.90m(F1A)
改良天端レベル :GL-700、900(F1A)
改良先端レベル :GL-7,800※
本数 :24本
設計基準強度 :Fc=900kN/m²
長期設計地耐力 :Lfe=200kN/m²
※改良長は支持力等の確認を行い、最終決定すること。

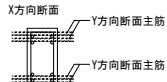
基礎柱リスト 1/100

		FC1(C1)
断面		
主筋		12-D22
帯筋		D13-□-@100

スラブリスト

符 号	スラブ厚	位 置	短辺(主筋)方向		長辺方向		備 考
			端 部	中 央	端 部	中 央	
S1	150	上端筋	D13-#200	D13-#200	D10-#200	D10-#200	1F床
		下端筋	D10, D13-#200	D10, D13-#200	D10-#200	D10-#200	
S2	150	上端筋	D13-#150	D13-#150	D10-#150	D10-#150	1F床(倉庫)
		下端筋	D10, D13-#150	D10, D13-#150	D10-#150	D10-#150	
		上端筋					
		下端筋					

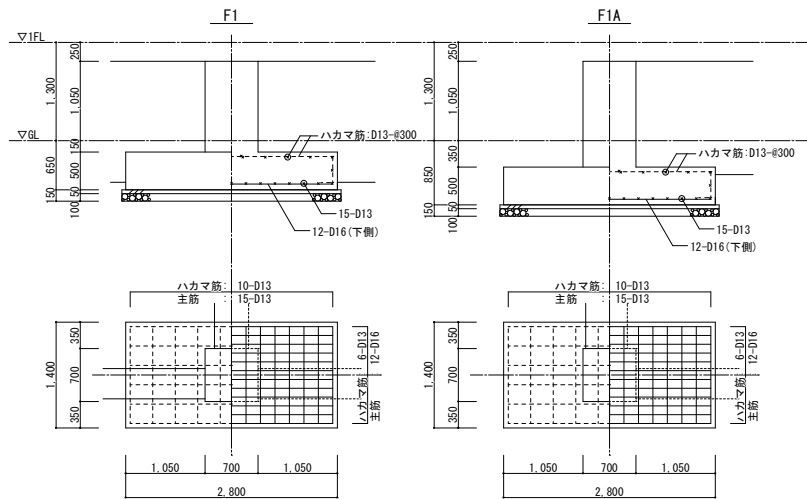
特記外は下記に依る
・幅止め筋 D10-マツ#1000
・主筋配筋組立ては右図参照として組立てる。
・基礎梁上端については土間による打ち増し等により土に接しないようにする。



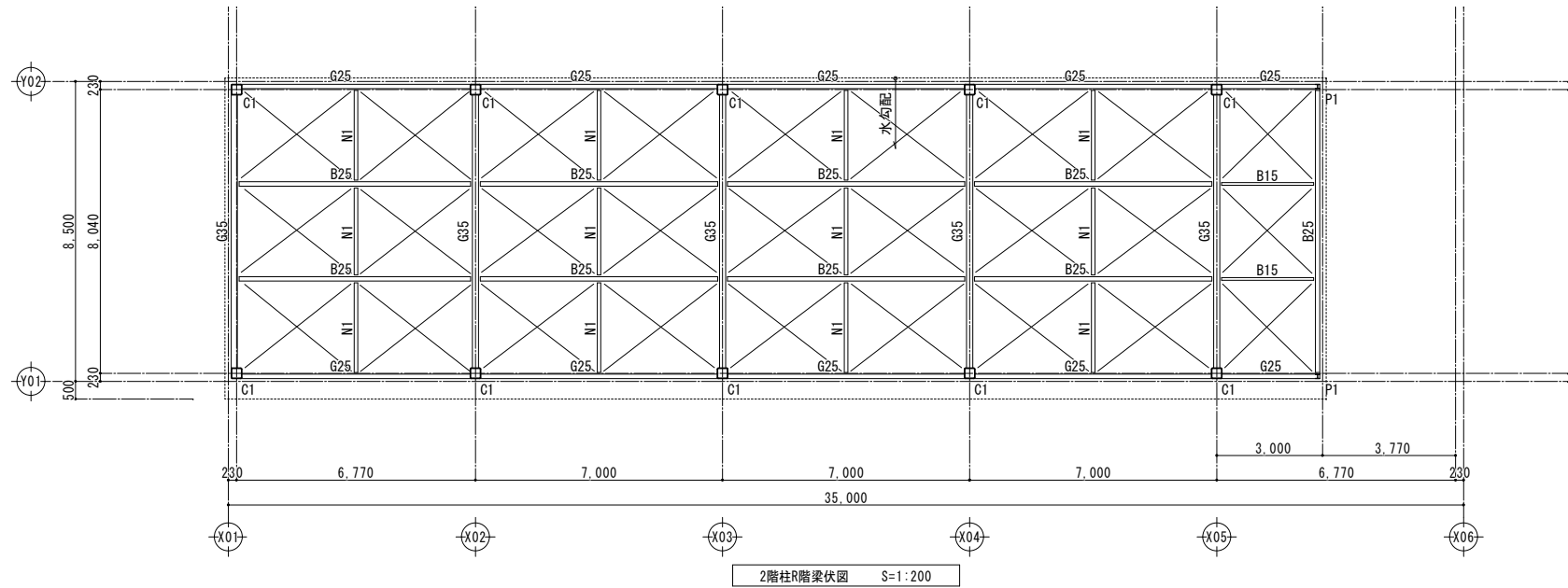
基礎梁リスト 1/100

		FG1		FG2		FG3									
		全断面		両端		中央		両端		中央					
断面															
		上端筋		3-D25		4-D25		4-D25		5-D25		5-D25			
		下端筋		3-D25		4-D25		6 (4/2) -D25		5-D25		7 (5/2) -D25			
		肋筋		D13-□-@200		D13-□-@200		D13-□-@200		D13-□-@200					
		腹筋		4×2-D13		4×2-D13				2×2-D13					
		FB1		FB2				FB3							
		全断面		外端 (X02, X06)		中央		内端		両端		中央			
断面															
		上端筋		3-D22		3-D22		3-D22		6 (4/2) -D22		6 (4/2) -D22		4-D22	
		下端筋		3-D22		3-D22		4-D22		4-D22		4-D22		4-D22	
		肋筋		D10-□-@200		D10-□-@200		D10-□-@200		D10-□-@200		D10-□-@200			
		腹筋		5×2-D10		1×2-D10		1×2-D10		1×2-D10		1×2-D10			

基礎リスト 1/100

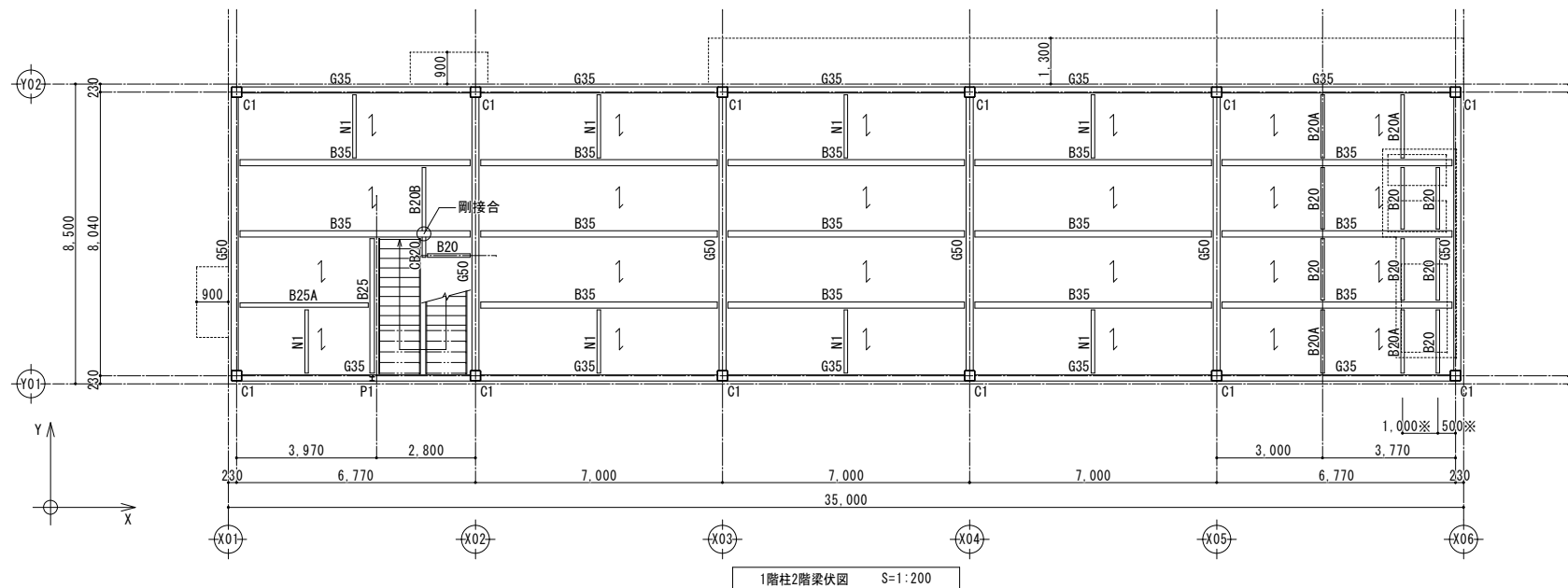


特記仕様 コンクリートの施工方法:告示1102号、1110号による基準
コンクリート設計強度 躯体:FC=24N/mm²(基礎、基礎梁)
:FC=24N/mm²(2階床)
土間:FC=21N/mm²
鉄筋 SD295 D10~D16
SD345 D19~D25



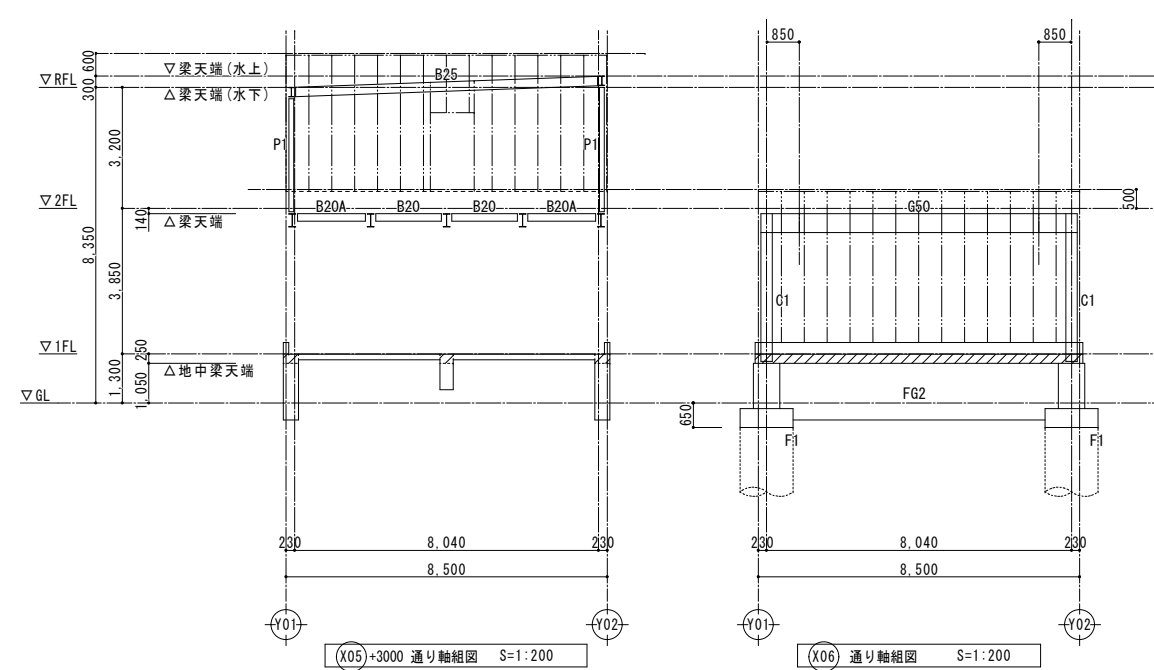
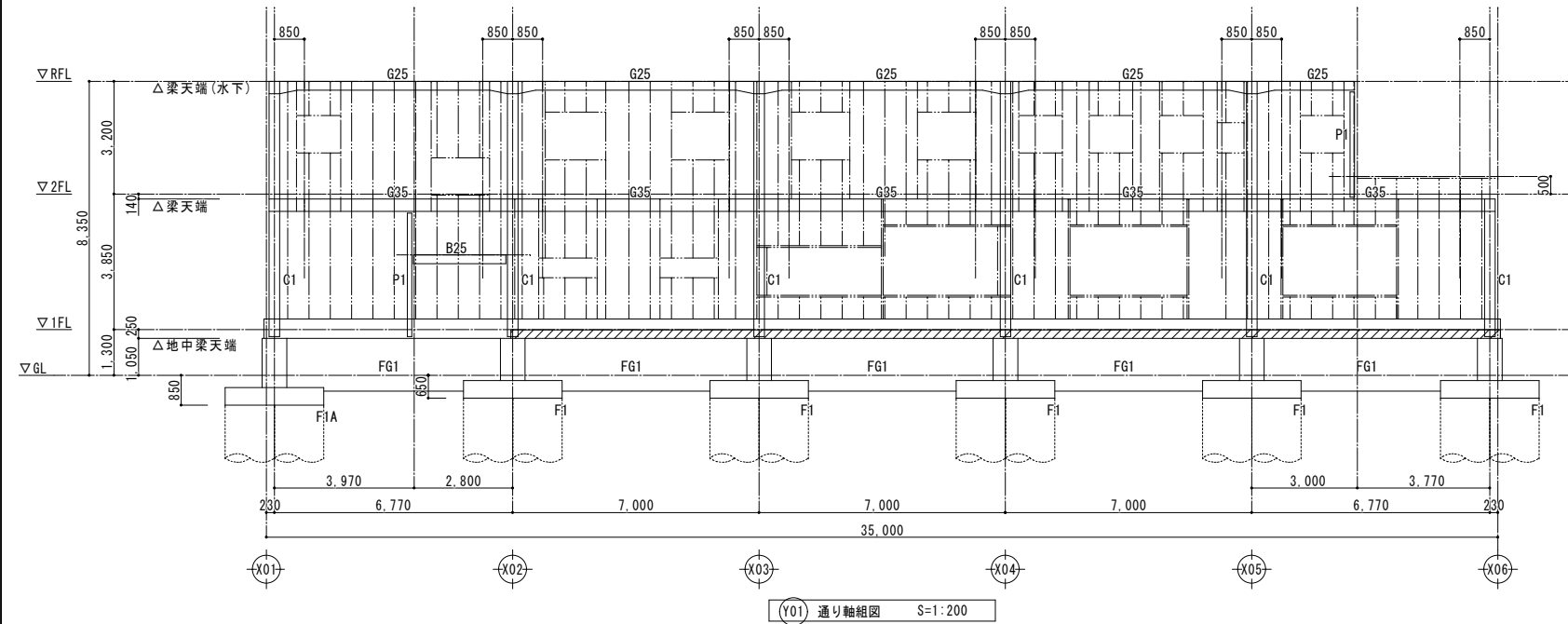
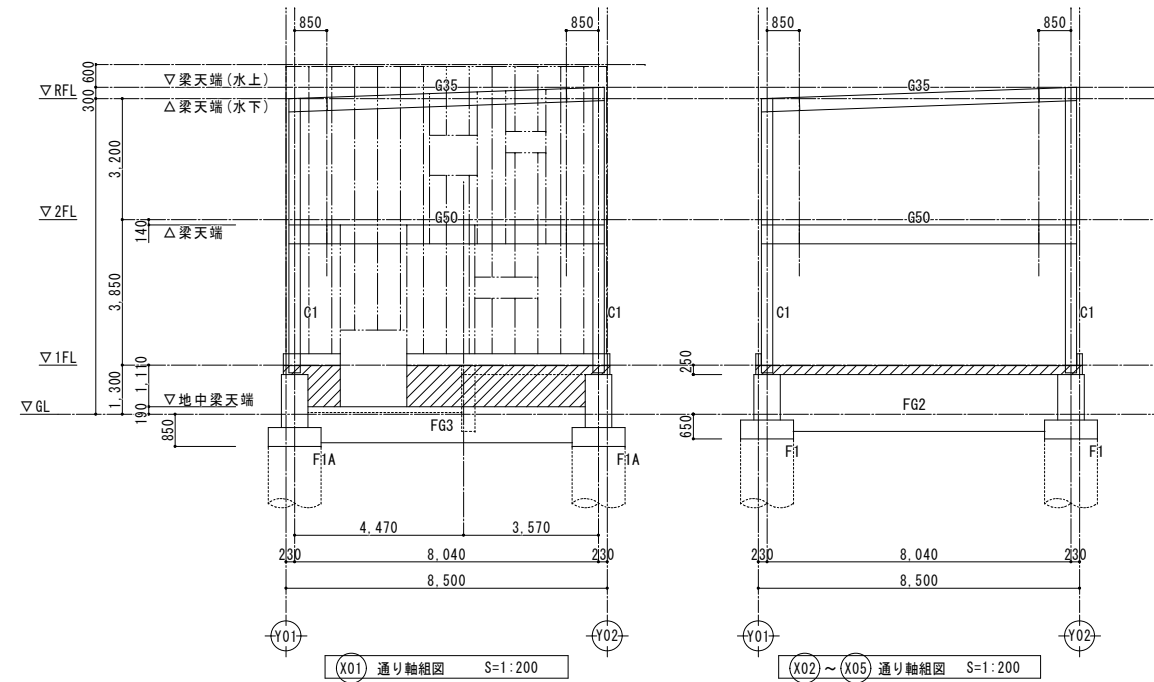
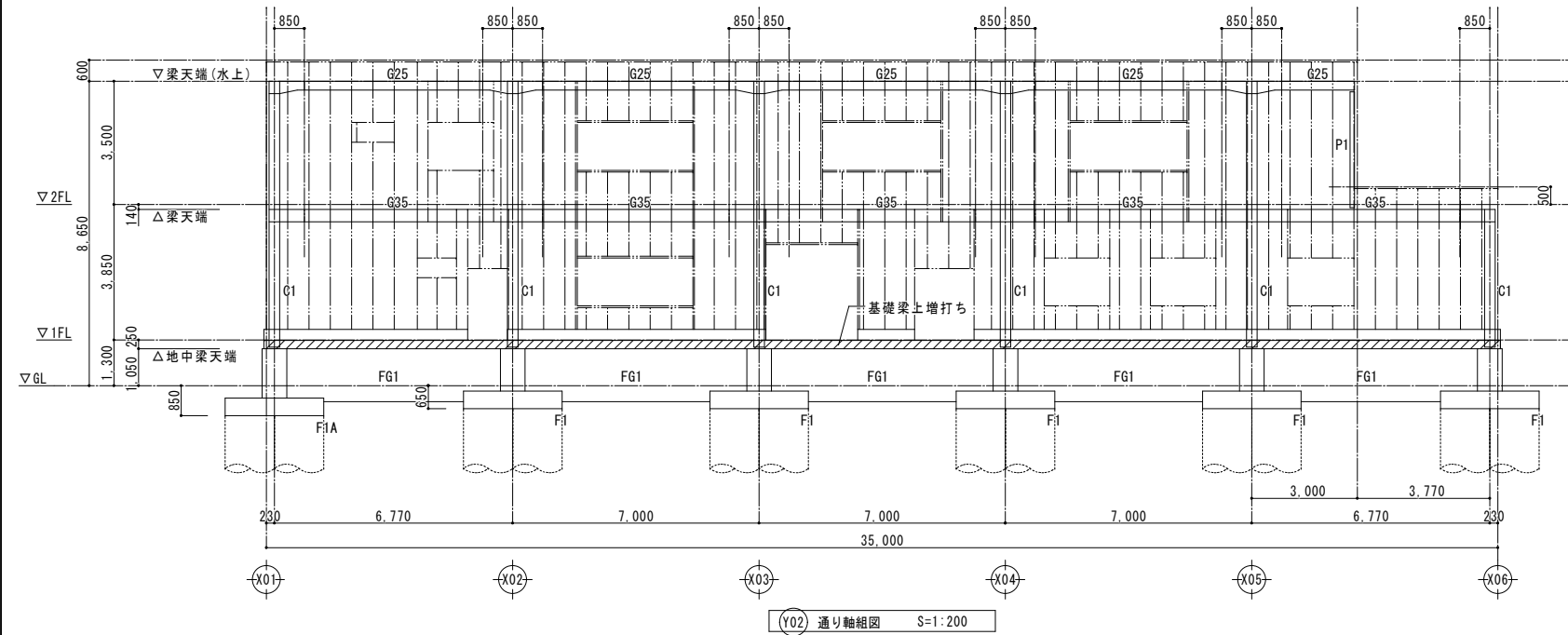
2階柱R階梁伏図 S=1:200

特記外は下記に依る
・屋根面ブレース HW1
・梁天端レベルは軸組図および意匠図による
・特記なき寸法、レベルは意匠図による



1階柱2階梁伏図 S=1:200

特記外は下記に依る
・DS1 デッキ方向を示す
・梁天端レベル等は軸組図および意匠図による
・特記なき寸法、レベルは意匠図による



特記外は下記に依る（軸組図共通）
・柱符号は下欄に依る
・梁増打ちを示す
・特記なき寸法、レベルは意匠図による

訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214	一級建築士 第345405号 構造設計一級建築士 第 9921号 一級建築士事務所所長島根知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行		担当	設計年月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称		区 分
				-		令和 7年12月	(仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		構造 (S)		
						作図	変更年月		図面名称	縮 尺	図面番号
									管理棟 軸組図	1:200	S-503

管理棟

鉄骨柱リスト 1/60

・鋼材	BCR295
・ダイアフラム	SN490C
・柱脚工法	ベースバック同等品以上

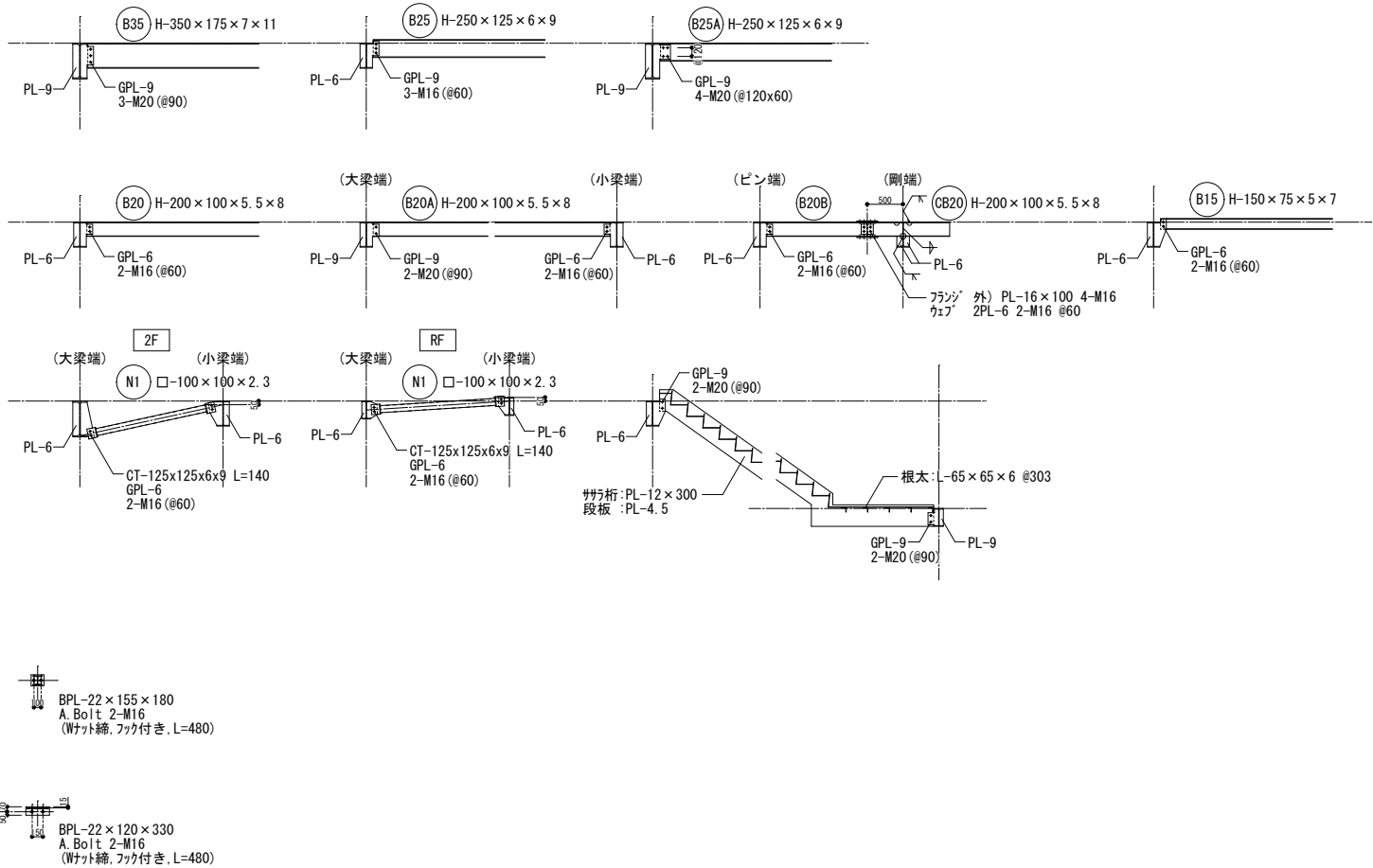
符号 階	C1	
2	□-300×300×6 (BCR295)	
1	□-300×300×12 (BCR295)	
柱脚		
柱脚工法	30-12V同等品 (標準図参照)	
B. PL	BPL-32×520×520	
A. BOLT	8-M30 (BPM-SD490)	
R i b. P L		

鉄骨部材リスト

・鋼材	SS400
・ボルト	HTB F10T, S10T

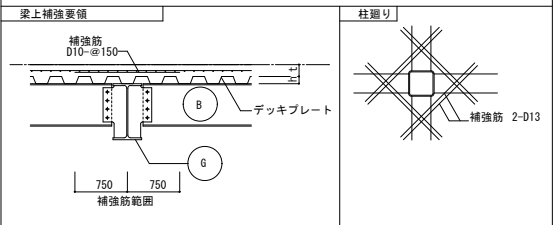
符 号	主 材	仕 口 ・ 柱 脚	備 考
G50	H - 500×200× 10×16	フランジ 外) PL-12×200 6-M20 内) 2PL-16×70 ウェブ 2PL-9 4-M20 @90	
G35	H - 350×175× 7×11	フランジ 外) PL-9×175 6-M20 内) 2PL-9×65 ウェブ 2PL-9 3-M20 @60	
G25	H - 250×125× 6×9	フランジ 外) PL-9×125 4-M16 内) 2PL-9×45 ウェブ 2PL-6 2-M16 @90	
B35	H - 350×175× 7×11	ピン端) GPL- 9 3-M20 @90	
B25	H - 250×125× 6×9	ピン端) GPL- 9 3-M16 @60	
B25A		ピン端) GPL- 9 4-M20(2列) @120	
B20	H - 200×100× 5.5×8	ピン端) GPL- 6 2-M16 @60	
B20A		ピン端) 大梁端: GPL- 9 2-M20 @90 小梁端: GPL- 6 2-M16 @60	
B20B		ピン端) GPL- 6 2-M16 @60 剛端) フランジ 外) PL-16×100 4-M16 ウェブ 2PL-6 2-M16 @60	
CB20	H - 200×100× 5.5×8	端部剛接合	
B15	H - 150×75× 5×7	ピン端) GPL- 6 2-M16 @60	
N1	□ - 100×100× 2.3	ピン端) CT-125×125×6×9 L=140 GPL- 6 2-M16 @60	
P1	H - 125×125× 6.5×9	ピン端) GPL- 9 2-M20 @60 柱脚) BPL-22×155×180 A Bolt 2-M16 (ワット締, フック付き, L=480)	
鉄骨階段	ササ析 PL-12×300	PL-9 2-M20 @90	
	段板 PL-4.5	(柱脚) BPL-22×120×330 A Bolt 2-M16 (ワット締, フック付き, L=480)	
	根太 L-65×65×6 @303		
HV1	M16 (JISサ-ンゲル付き筋違)	GPL- 9×75 1-M16	
胴縁	C - 100×50× 20× 2.3 @606	GPL- 6 中サルト 2-M12	タテ胴縁
(開口補強)	2C - 100×50× 20× 2.3	GPL- 6 中サルト 2-M12	開口幅2.0m以上

鉄骨部材部分詳細図 1/100



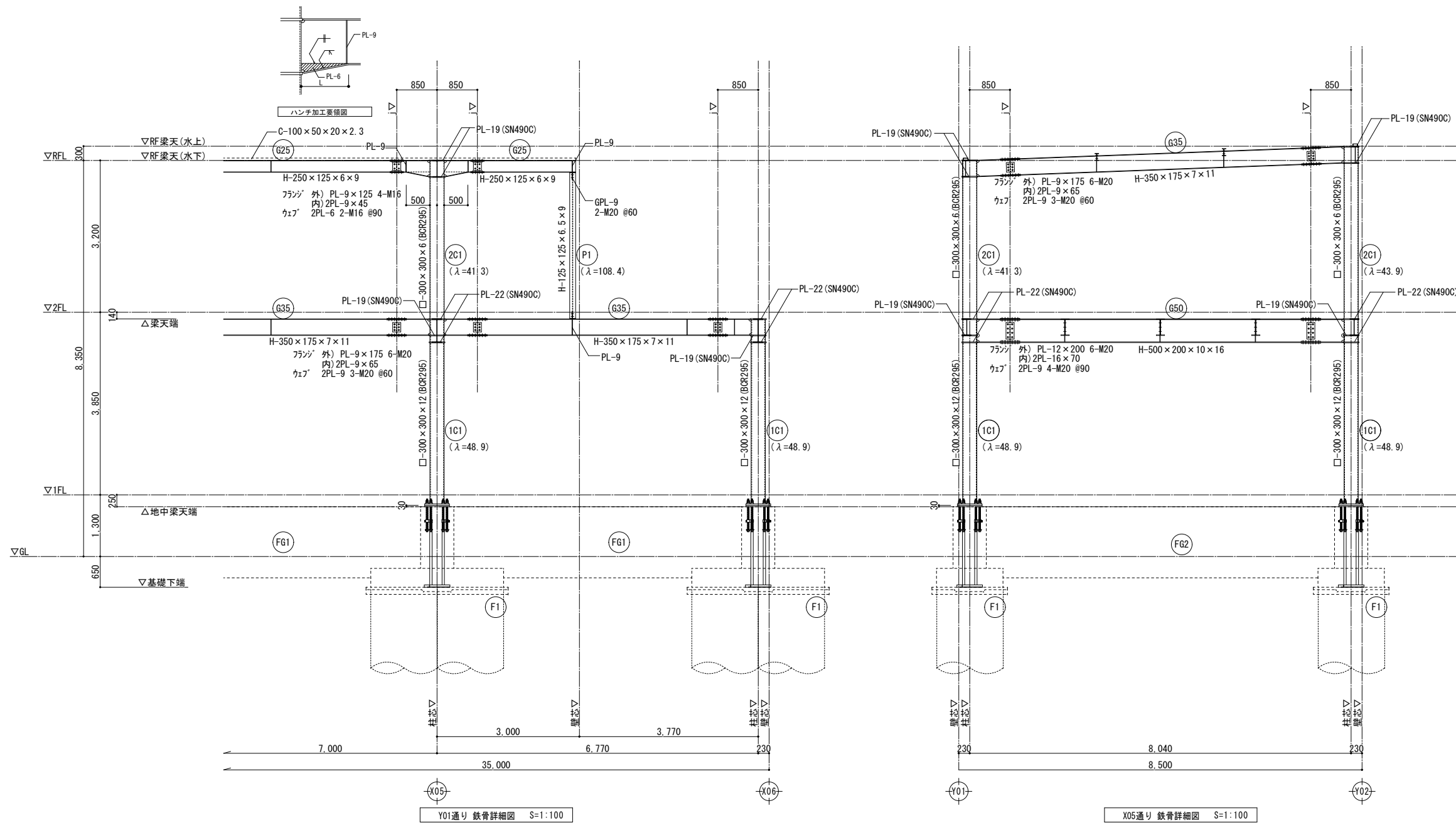
スラブリスト

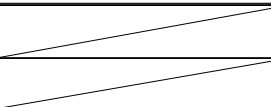
符 号	スラブ厚	位 置	短辺(主筋)方向		長辺方向		備 考
			端 部	中 央	端 部	中 央	
DS1	山上80	上端筋	φ6×@150		φ6×@150		2F床 QLデッキ(QL99-50-12) 梁との接合方法:焼抜き栓溶接 Aw=300
		下端筋	溶接金網		溶接金網		
		上端筋					
		下端筋					



特記仕様 コンクリートの施工方法：告示1102号、110号による基準
コンクリート設計強度 躯体： $\text{FC}-24\text{N}/\text{mm}^2$ （基礎、基礎梁）
： $\text{FC}-24\text{N}/\text{mm}^2$ （2階床）
土間： $\text{FC}-21\text{N}/\text{mm}^2$
鉄筋 SD295 D10～D16
SD345 D19～D25

訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目2番15号 一級建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 TEL 084-922-3213 一級建築士 FAX 084-922-3214 第293830号 甲斐 宣行	一級建築士 第345405号 廣井 克彦 構造設計一級建築士 第 9921号		担当 -	設計年月 令和7年12月		福山市建設局建築部営繕課		工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 構造(S)
				図樣設計一級建築士 第 号		作図	変更年月			図面名称 管理棟 鉄骨部材リスト	縮 尺 1:100, 60	図面番号 S-504	



訂正	月	日	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所所長島根知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行	一級建築士 第345405号 廣井 克彦 構造設計一級建築士 第 9921号		担当 -	設計年月 令和 7年12月	 福山市建設局建築部営繕課	工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事		区 分 構造 (S)
				図面設計一級建築士 第 号		作図	変更年月		図面名称 管理棟 鉄骨詳細図	縮 尺 1:100	図面番号 S-505

参考数量書

§ 工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事

§ 工事場所 福山市北本庄五丁目地内

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 (仮称) 福山地区消防組合消防局訓練場整備工事
工事場所 福山市北本庄五丁目地内

【工事概要】
訓練場整備工事

A棟	鉄骨造	5階建	245.00	m ²
B棟	鉄筋コンクリート造	3階建	469.98	m ²
C棟	鉄筋コンクリート造	3階建	332.27	m ²
車庫棟	鉄骨造	平家建	330.00	m ²
管理棟	鉄骨造	2階建	561.00	m ²

延べ面積 1,938.25 m²

附属工作物 移動式模擬ハウス 2棟
大規模災害対応訓練場

【別途工事】
電気設備工事
給排水衛生設備工事
空調設備工事
ガス設備工事
植栽工事
カーテン取付工事

名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

訓練棟A						
名	称	数	量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1		式		
土工		1		式		
地業		1		式		
鉄筋		1		式		
コンクリート		1		式		
型枠		1		式		
既製コンクリート		1		式		
鉄骨		1		式		
防水		1		式		
屋根及びとい		1		式		
左官		1		式		
金属		1		式		
建具		1		式		
塗装		1		式		
計						

訓練棟B						
名	称	数	量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1		式		
土工		1		式		
地業		1		式		
鉄筋		1		式		
コンクリート		1		式		
型枠		1		式		
鉄骨		1		式		
防水		1		式		
屋根及びとい		1		式		
金属		1		式		
左官		1		式		
建具		1		式		
塗装		1		式		
内装		1		式		
計						

訓練棟C						
名	称	数	量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1		式		
土工		1		式		
地業		1		式		
鉄筋		1		式		
コンクリート		1		式		
型枠		1		式		
既製コンクリート		1		式		
鉄骨		1		式		
防水		1		式		
タイル		1		式		
屋根及びとい		1		式		
金属		1		式		
左官		1		式		
建具		1		式		
塗装		1		式		
内装		1		式		
計						

車庫棟					
名 称		数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
土工		1	式		
地業		1	式		
鉄筋		1	式		
コンクリート		1	式		
型枠		1	式		
鉄骨		1	式		
防水		1	式		
屋根及びとい		1	式		
金属		1	式		
左官		1	式		
建具		1	式		
塗装		1	式		
内装		1	式		
計					

管理棟					
名 称		数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
土工		1	式		
地業		1	式		
鉄筋		1	式		
コンクリート		1	式		
型枠		1	式		
鉄骨		1	式		
防水		1	式		
タイル		1	式		
屋根及びとい		1	式		
金属		1	式		
左官		1	式		
塗装		1	式		
建具		1	式		
内装		1	式		
ユニット及びその他		1	式		
計					

訓練棟A					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
地業	地業	1	式		
地業	地盤改良	1	式		
計					
鉄筋		1	式		
計					
コンクリート		1	式		
計					
型枠		1	式		
計					
既製コンクリート	外部	1	式		
既製コンクリート	登はん路	1	式		
既製コンクリート	内部	1	式		
計					
鉄骨		1	式		
計					
防水		1	式		

訓練棟A					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
計					
屋根及びとい		1	式		
計					
左官		1	式		
計					
金属		1	式		
金属	訓練用金物類	1	式		
計					
建具	アルミニウム製建具	1	式		
建具	銅製建具	1	式		
建具	ガラス	1	式		
計					
塗装		1	式		
計					

訓練棟B					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
地業	地業	1	式		
地業	地盤改良	1	式		
計					
鉄筋		1	式		
計					
コンクリート	躯体	1	式		
計					
型枠	躯体	1	式		
計					
鉄骨		1	式		
計					
防水	外部	1	式		
計					
屋根及びとい	外部	1	式		
計					
金属		1	式		

訓練棟B					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
金属	訓練用金物類	1	式		
計					
左官		1	式		
計					
建具	アルミニウム製建具	1	式		
建具	銅製建具	1	式		
建具	シャッター	1	式		
建具	ガラス	1	式		
計					
塗装		1	式		
計					
内装		1	式		
計					

訓練棟C					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
地業	地業	1	式		
地業	地盤改良	1	式		
計					
鉄筋		1	式		
計					
コンクリート	躯体	1	式		
計					
型枠	躯体	1	式		
計					
既製コンクリート		1	式		
計					
鉄骨		1	式		
計					
防水	外部	1	式		
計					
タイル		1	式		

訓練棟C					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
計					
屋根及びとい	外部	1	式		
計					
金属		1	式		
金属	訓練用金物類	1	式		
計					
左官		1	式		
計					
建具	アルミニウム製建具	1	式		
建具	銅製建具	1	式		
建具	シャッター	1	式		
建具	ガラス	1	式		
計					
塗装		1	式		
計					
内装		1	式		
計					

車庫棟					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
地業	地業	1	式		
地業	地盤改良	1	式		
計					
鉄筋		1	式		
計					
コンクリート	躯体	1	式		
計					
型枠	躯体	1	式		
計					
鉄骨	躯体	1	式		
計					
防水	外部	1	式		
計					
屋根及びとい	屋根	1	式		
屋根及びとい	外壁	1	式		
計					

車庫棟					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
金属		1	式		
計					
左官		1	式		
計					
建具	アルミニウム製建具	1	式		
建具	銅製建具	1	式		
建具	オーバースライダー	1	式		
建具	シャッター	1	式		
建具	ガラス	1	式		
計					
塗装		1	式		
計					
内装		1	式		
計					

管理棟					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
地業	地業	1	式		
地業	地盤改良	1	式		
計					
鉄筋		1	式		
計					
コンクリート	躯体	1	式		
計					
型枠	躯体	1	式		
計					
鉄骨		1	式		
計					
防水	外部	1	式		
計					
タイル		1	式		
計					
屋根及びとい	屋根	1	式		

管理棟					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
屋根及びとい	外壁	1	式		
計					
金属	外部	1	式		
金属	内部	1	式		
計					
左官	外部	1	式		
左官	内部	1	式		
計					
塗装	外部	1	式		
塗装	内部	1	式		
計					
建具	アルミニウム製建具	1	式		
建具	トイレブース	1	式		
建具	銅製軽量建具	1	式		
建具	木製建具	1	式		
建具	ガラス	1	式		
計					
内装		1	式		
計					
ユニット及びその他		1	式		

管理棟

[illegible]

福 山 市

福 山 市

福 山 市

[illegible]

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

訓練棟A 鉄骨						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(本体工事)						
鋼材費		1	式			別紙 00-0005
購入材費		1	式			別紙 00-0006
加工図費		39.5	t			
工場加工費	溶接・機械器具損料含む	39.5	t			
ショットブラスト		39.5	t			
溶融亜鉛めっき費		39.5	t			
運搬費		39.5	t			
建方手間	アンカーセット、小運搬共	39.5	t			
頭付スット溶接		1	式			
建方重機費		39.5	t			
柱現場溶接費		1	式			
検査費		39.5	t			
(付帯工事-1)	外部階段					
鋼材費		1	式			別紙 00-0007
工場加工	運搬・建方・めっき	11.2	t			
(付帯工事-2)	床デッキ					
床デッキ材	QL-99-50-12	2	t			
敷手間		254	m ²			
流れ止め	H=130	105	m			

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

訓練棟A		金属		訓練用金物類		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
採水用マンホールふた	簡易密閉形(パッキン式) 5KN(T-2) 内径600	1	か所			
訓練用マンホールふた (金物No. 06)	簡易密閉形(パッキン式) 5KN(T-2) 内径600、900異形 材工共	1	か所			
訓練用マンホールタラップ (金物No. 06)	材工共	1	か所			
訓練用マンホールふた (金物No. 07)	簡易密閉形(パッキン式) 5KN(T-2) 内径600 材工共	1	か所			
訓練用マンホールタラップ (金物No. 07)	材工共	1	か所			
支点金物 (金物No. 05)	マンホール上部 材工共	1	か所			
支点金物 (金物No. 04)	応急フリッジ 材工共	1	か所			
屋上支点金物 (金物No. 08)	材工共	1	か所			
支点金物 (金物No. 10)	材工共	6	か所			
ななめフリッジ地上 アンカー (金物No. 15-2)		2	か所			
支点金物 (金物No. C)	材工共	12	か所			
支点金物 (金物No. F)	2個組	9	組			
ホース吊り金物		10	か所			
梯子登はん訓練用 梯子(金物No. 02)	アルミ W400xH15725	2	組			
障害突破訓練用 梯子(金物No. 03)	アルミ W400xH9925	1	式			
支点金物 (金物No. 09)	丸環	4	か所			
地上アンカー (金物No. 09)		2	か所			
ライン引 (金物No. 09)		1	式			
ロープ保護金物 (金物No. B)	アングルモール SUS HL 25x25xt1.2 材工共	9	m			
計						

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

訓練棟B		地業		地盤改良		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
施工費(空堀部)	深層混合処理工法	67.3	m			
施工費(施工費)	深層混合処理工法	288	m			
材料費	固化材	375	t			
機械運搬費		1	式			
機械組立解体費		1	式			
室内配合試験費		1	式			
一軸圧縮試験費	頭部φ：2 深部φ：11	13	set			
六価クロム溶出試験費	配合試験時	1	検体			
頭部φ採取費		2	か所			
全長φボーリング費		1	か所			
深度φボーリング費		1	か所			
残土処理	積込、運搬、処分	293	m3			
計						

福 山 市

福 山 市

福 山 市

訓練棟B		鉄骨				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(本体工事)						
鋼材費		1	式			別紙 00-0015
購入材費		1	式			別紙 00-0016
加工図費		1.9	t			
工場加工費	溶接・機械器具損料含む	1.9	t			
ショットブラスト		1.9	t			
溶融亜鉛めっき費		1.9	t			
運搬費		1.9	t			
建方手間	アンカーセット、小運搬共	1.9	t			
建方重機費		1.9	t			
検査費		1	式			
(付帯工事-1)	ネット受け					
鋼材費		1	式			別紙 00-0017
工場加工	運搬・建方・めっき	0.62	t			
計						

福 山 市

福 山 市

訓練棟B 金属						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	64	m ²			
鋼製手すり 階段	亜鉛めっき	35	m			
鋼製手すり 屋上	亜鉛めっき	37.8	m			
タラップ	材工共	2	か所			
階段ノスリッパ	SUS	36	m			
2F倉庫手摺	亜鉛めっき ホイス部 扉共	1	式			
転落防止チェーン	アングル止 チェーン2段 L=3.0m	1	か所			
転落防止チェーン	アングル止 チェーン2段 L=7.6m	1	か所			
ホイス	0.25t 手動チェーンブック レール共	1	か所			
点検ハッチ	750角	2	か所			
鋳鉄製ルーフトレ	横縦 SGP 100A 張掛け幅 100	5	個			
屋上ビッド部カバー	CPL-4.5(亜鉛めっき) SUS受アングル L=1.0m	2	か所			
煙道周囲アルミパネ	周囲シーリング 共	2	か所			
消火器	ABC10型 蓄圧式 表示板、フック共	2	本			
消火器	ABC10型 蓄圧式 SUS製ボックス共	1	か所			
計						

訓練棟B		金属		訓練用金物類		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
レンジャーネット装置 (金物No. 24)	ロープブリッジ 訓練用 W6000xL23000	1	式			
レンジャーネット装置 (金物No. 25)	障害突破訓練用 W2600xL9000	1	式			
障害突破訓練用煙 道 (金物No. 11)		1	式			
障害突破用高塀 (金物No. 12)		1	式			
緊急脱出降下板 (金物No. 14)	鉄骨下地共	1	式			
支点金物 (金物No. 13)	応急ブリッジ 垂鉛めつき 材工共	1	か所			
支点金物 (金物No. 13)	緊急脱出降下 垂鉛めつき 材工共	1	か所			
支点金物 (金物No. 15)	引上訓練用 SUS 材工共	2	か所			
支点金物 (金物No. 16)	ガードレール 垂鉛めつき 材工共	2	か所			
緊急脱出降下部 ロープ保護金物 (金物No. 13)	緊急脱出降下部 ロープ保護金物 (金物No. 13)材工共	1	か所			
ロープ保護金物 (金物No. A)	φ89.1×3t SUS304 HL 材工共	9.3	m			
ロープ保護金物 (金物No. B)	アングルモール SUS HL 25x25xt1.2 材工共	17	m			
支点金物 (金物No. C)	材工共	3	か所			
支点金物 (金物No. D)	ロープ 支点 材工共	6	か所			
支点金物 (金物No. E)	材工共	4	か所			
万能携帯ウインチ チルホール	専用ワイヤーロープ 20mm×2本含む	1	式			
計						

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

訓練棟C		コンクリート		躯体		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
コンクリート		1	式			別紙 00-0022
コンクリート打設手間	捨てコンクリート ポンプ 打設 30m3/回程度 S15～S18 － 圧送費、基本料別途	6.4	m3			
コンクリート打設手間	基礎部 ポンプ 打設 50～100m3/回 S15～S18 － 圧送費、基本料別途	99.8	m3			
コンクリート打設手間	躯体 ポンプ 打設 100m3/回以上 S15～S18 標準階高 圧送費、基本料別途	85.5	m3			
コンクリート打設手間	躯体 ポンプ 打設 100m3/回以上 S15～S18 標準階高 圧送費、基本料別途	68.6	m3			
コンクリート打設手間	躯体 ポンプ 打設 100m3/回以上 S15～S18 標準階高 圧送費、基本料別途	10.9	m3			
コンクリート打設手間	防水保護コンクリート ポンプ 打設 50m3/回程度 S15～S18 － 圧送費、基本料別途	7.8	m3			
コンクリートポンプ 圧送	50m3以上100m3/回未満 基本料金別途加算	254	m3			
コンクリートポンプ 圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	25.1	m3			
コンクリートポンプ 圧送 基本料金	50m3以上100m3/回未満	3	回			
コンクリートポンプ 圧送 基本料金	30m3以上 50m3/回未満	3	回			
計						

福 山 市

福 山 市

訓練棟C 鉄骨						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(本体工事)						
鋼材費		1	式			別紙 00-0023
購入材費		1	式			別紙 00-0024
加工図費		5.2	t			
工場加工費	溶接・機械器具損料含む	5.2	t			
ショットブラスト		5.2	t			
溶融亜鉛めっき費		5.2	t			
運搬費		5.2	t			
建方手間	アンカーセット、小運搬共	5.2	t			
建方重機費		5.2	t			
アンカーセット費		24	本			
検査費		5.2	t			
(付帯工事-1)	降下板下地					
鋼材費		1	式			別紙 00-0025
購入材費		1	式			別紙 00-0026
(付帯工事-2)	ネット受け					
鋼材費		1	式			別紙 00-0049
工場加工	運搬・建方・めっき	0.8	t			
計						

福 山 市

福 山 市

[illegible]

訓練棟C		金属				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 インサート含む	51.2	m ²			
鋼製手すり 階段	ブラケット	27.6	m			
鋼製手すり 屋上	亜鉛めっき	28.6	m			
鋼製手すり バルコニー	亜鉛めっき	7	m			
タラップ	材工共	2	か所			
階段ノズリップ	SUS	36	m			
床マンホール	φ 600	2	か所			
鋳鉄製ルーフドレン	バルコニー用 塗膜防水用 VP50 (差込み式) 張掛け幅 100	2	個			
鋳鉄製ルーフドレン	横縦 SGP 100A 張掛け幅 100	1	個			
面台	SUS HL L-900	2	か所			
排水目皿	SUS φ 50	2	か所			
排水溝	SUS HL 樹脂グレーチング	8	m			
避難ハッチ	SUS 600角 材工共	1	か所			
隔て板	材工共	1	か所			
1槽シンク	SUS L=900 材工共	1	か所			
ミニキッチン	L=900 ハーフユニット 材工共	1	か所			
屋上ヒート部カバー	CPL-4.5(亜鉛めっき) SUS受アングル L=3.3m	2	か所			
アルミ笠木	W=225	14.8	m			
コーナークラート	樹脂製 65×65 L=2,000 エンドキャップ付	8	か所			
訓練用ベンチ固定枠	アルミ C-1.5×15×24	28	m			

訓練棟C		金属		訓練用金物類		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
支点金物 (金物No. 17)	引揚救助用やぐら 亜鉛めっき 材工共	1	か所			
ロープ保護金物 (金物No. 17)	降下板 材工共	1	か所			
検索訓練用ポール (金物No. 19)	専用埋金物共	20	か所			
引揚救助降下板 (金物No. 18)	鉄骨下地共	1	式			
支持金物 (金物No. 19)		1	か所			
地上アンカー (金物No. 19)		1	か所			
ライン引 (金物No. 19)		1	式			
渡過ロープ金物 (金物No. 20)	B棟共 材工共	2	組			
ロープ保護金物 (金物No. A)	φ89.1×3t SUS304 HL 材工共	8.7	m			
ロープ保護金物 (金物No. B)	アングルモール SUS HL 25x25xt1.2 材工共	10.7	m			
支点金物 (金物No. C)	材工共	2	か所			
支点金物 (金物No. D)	ロープ支点 材工共	4	か所			
支点金物 (金物No. E)	材工共	4	か所			
計						

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

[illegible]

福 山 市

福 山 市

福 山 市

車庫棟		鉄骨		躯体		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(本体鉄骨)						
鋼材費		1	式			別紙 00-0032
購入材費		1	式			別紙 00-0033
加工図費		20.1	t			
工場加工費	溶接・機械器具損料含む	20.1	t			
錆止め		20.1	t			
運搬費		20.1	t			
建方手間	アンカーセット、小運搬共	20.1	t			
建方重機費		20.1	t			
検査費		20.1	t			
(付帯鉄骨等)	胴縁					
鋼材費		1	式			別紙 00-0034
工場加工	運搬・建方・めっき	2.07	t			
(耐火被覆)						
半乾式吹付 ロックウール	梁 1時間 25mm	22.7	m ²			
計						

福 山 市

車庫棟		屋根及びとい		屋根		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
丸馳折板葺き	H=160 カラーGL t=0.8	338	m ²			
折板裏貼	ガラス繊維t=5	338	m ²			
タイフレーム	亜鉛めっき	110	m			
妻側タイフレーム	亜鉛めっき	34	か所			
軒先見切面戸	屋根材同種・同厚	21.9	m			
止面戸	屋根材同種・同厚	21.9	m			
エブロン面戸	屋根材同種・同厚	21.9	m			
軒先水切	屋根材同種・同厚 W=254	21.9	m			
水上水切	屋根材同種・同厚 W=762	21.9	m			
けらば取合水切	屋根材同種・同厚 W=762	30.9	m			
笠木	屋根材同種・同厚	62	m			
軒樋	ビニル樹脂製前高165WIDE SUS製吊 金具@1,000以下	22	m			
竪樋	カラーVP100 継手、支持金物、保護カバー共	14.4	m			
竪樋	カラーVP50 継手、支持金物共	8	m			
計						

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

管理棟		コンクリート		躯体		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
コンクリート		1	式			別紙 00-0039
コンクリート打設手間	捨てコンクリート ポンプ打設 30m3/回程度 S15～S18 － 圧送費、基本料別途	10	m3			
コンクリート打設手間	基礎部 ポンプ打設 50m3/回未満 S15～S18 － 圧送費、基本料別途	23.5	m3			
コンクリート打設手間	基礎部 ポンプ打設 50～100m3/回 S15～S18 － 圧送費、基本料別途	89.7	m3			
コンクリート打設手間	S造スラブ ポンプ打設 50m3/回程度 S15～S18 － 圧送費、基本料別途	71.6	m3			
コンクリート打設手間	雑 ポンプ打設 30m3/回程度 S15～S18 － 圧送費、基本料別途	12.9	m3			
コンクリートポンプ 圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	23.5	m3			
コンクリートポンプ 圧送	50m3以上100m3/回未満 基本料金別途加算	89.7	m3			
コンクリートポンプ 圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	108	m3			
コンクリートポンプ圧送 基本料金	50m3以上100m3/回未満	1	回			
コンクリートポンプ圧送 基本料金	30m3以上 50m3/回未満	4	回			
計						

福 山 市

管理棟 鉄骨						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(本体鉄骨)						
鋼材費		1	式			別紙 00-0040
購入材費		1	式			別紙 00-0041
加工図費		36.5	t			
工場加工費	溶接・機械器具損料含む	36.5	t			
錆止め		36.5	t			
運搬費		36.5	t			
建方手間	アンカーセット、小運搬共	36.5	t			
建方重機費		36.5	t			
検査費		36.5	t			
(付帯鉄骨-1)	胴縁					
鋼材費		1	式			別紙 00-0042
工場加工	運搬・建方・めっき	12.5	t			
(付帯鉄骨-2)	内部階段					
鋼材費		1	式			別紙 00-0043
工場加工	運搬・建方・めっき	1.05	t			
(付帯鉄骨-3)	2階床					
床デッキ	QL-99-50-12	2.2	t			
デッキ敷込手間		287	m ²			
流れ止め	H=130	87	m			

福 山 市

福 山 市

管理棟		屋根及びとい		屋根		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
丸馳折板葺き	H=160 カラ-GL t=0.8	278	m ²			
折板裏貼	ガラス繊維t-5	278	m ²			
タイフレーム	亜鉛めっき	124	m			
妻側タイフレーム	亜鉛めっき	20	か所			
軒先見切面戸	屋根材同種・同厚	31.1	m			
止面戸	屋根材同種・同厚	31.1	m			
エブロン面戸	屋根材同種・同厚	31.1	m			
軒先水切	屋根材同種・同厚 W-254	31.1	m			
水上水切	屋根材同種・同厚 W-762	31.1	m			
けらば取合水切	屋根材同種・同厚 W-762	17.9	m			
材料運搬費	荷揚げ重機費共	1	式			
軒樋	ビニル樹脂製前高165WIDE SUS製吊 金具@1,000以下	36	m			
竪樋	カラ-VP100 継手、支持金物、保護カバー共	22.5	m			
計						

福 山 市

福 山 市

管理棟		金属		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
軽量鉄骨下地						
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	461	m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	163	m ²			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 900×2000mm程度	4	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1200×2000mm程度	9	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1800×2000mm程度	38	か所			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 インサート含む	266	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360 インサート含む	129	m ²			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 300× 300mm程度 ボート等切込み共	13	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450× 450mm程度 ボート等切込み共	25	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 900× 900mm程度 ボート等切込み共	6	か所			
階段滑り止め	ステンレス製 エント無し 幅35	24	m			
室名札	正面付	14	か所			
室名札	持出 ビックサイン	4	か所			
床見切り	SUS W=40	11.8	m			
天井見切り	塩化ビニル製	1.5	m			
三方枠	t1.6	12.3	m			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	25	か所			
面台	ボーストフォーム 材工共	16.2	m			
消火器	ABC10型 蓄圧式 表示板、フック共	4	本			

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

管理棟		建具		アルミニウム製建具		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
AD1	片引戸+排煙窓	1	か所			
AD2	引違い戸	1	か所			
AD3	親子開き框ドア 腰アルミパネル共	2	か所			
AD4	両開き框ドア	1	か所			
AW1	引違い連窓	5	か所			
AW2	引違い窓	8	か所			
AW2A	引違い窓	1	か所			
AW3	引違い窓	3	か所			
AW4	引違い窓	6	か所			
AW5	引違い窓	3	か所			
AW6	引違い連窓+欄間	3	か所			
AW7	引違い窓	1	か所			
AW8	片開き窓	1	か所			
運送費		1	式			
取付費		1	式			
法定福利費		1	式			
計						

福 山 市

福 山 市

福 山 市

[illegible]

管理棟		内装				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(床)						
階段 ビニル幅木 張り	ささら 高さ330	17.3	m			
複層ビニル床タイル	厚さ3.0 一般床 -	47	m ²			
ビニル床シート	マーブル 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法 -	394	m ²			
ビニル床シート 階段	マーブル 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法 -	15.2	m ²			
複層ビニル床シート	t=2.5 耐汚染消臭	46.9	m ²			
ころばし床組		9.5	m ²			
構造用合板下地張	t12	9.5	m ²			
ビニル幅木	高さ100	296	m			
ビニル床シート	巻上300	9.3	m			
ビニル床シート	巻上100	40	m			
(壁)						
壁せつこうボード 張り	t12.5	739	m ²			
壁グラスカール	t50	352	m ²			
壁ボード張り	耐水PB t12.5	136	m ²			
壁ボード張り	化粧ケイカルt6 アルミジョイナー共	136	m ²			
壁ボード張り	ケイカルt6	82.3	m ²			
ビニル壁紙	壁AA	648	m ²			
(天井)						
天井 不燃積層 せつこうボード 張り (GB-NC)	厚 9.5 不燃 化粧有り (トラハーション) 突付け	218	m ²			

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

外構		構内設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
門扉	アルミ製	2	か所			
南東門壁	コンクリート H=1500 施設標示SUS箱文字共	1	か所			
北東門壁	コンクリート H=1500 施設標示SUS箱文字共	1	か所			
国旗掲揚台	ロープ 型 9m 基礎共	2	本			
メッシュフェンス (両開き)	H=2.0 W=4.0 コンクリート基礎	2	か所			
メッシュフェンス	H=2.0 コンクリート基礎	79.9	m			
メッシュフェンス	H=2.0 既存躯体コア共	112	m			
防火水槽改修	既存改修 マンホール共 内部防水共	1	か所			
既存水槽改修	既存嵩上 マンホール共 内部防水共	1	か所			
パルク基礎	4.5x2.5x0.3	1	か所			
大規模災害訓練場	表層改良 50kg/m ³ t=50cm程度	1	式			
訓練用がれき類 場内移設		1	式			
移動式模擬ハウス	陸屋根タイプ	1	式			
移動式模擬ハウス	切妻屋根タイプ	1	式			
計						

福 山 市

福 山 市

訓練棟A 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
外部足場		1	式			別紙 00-0001
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠1200×1700 布枠500×2枚 掛払い手間 12m未満 - -	759	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠1200×1700 布枠500×2枚 供用4.5か月賃料 修理費含む 12m未満 - -	759	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠1200×1700 布枠500×2枚 基本料 修理費含む 12m未満 - -	759	m ²			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅1200	759	m ²			
安全手すり	掛払い手間 -	40.8	m			
安全手すり	単管本足場用 供用4.5か月賃料 修理費含む -	40.8	m			
安全手すり	基本料 修理費含む -	40.8	m			
仮設材運搬 (安全てすり)		40.8	m			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 II類 掛払い手間 - -	759	m ²			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 II類 供用4.5か月賃料 修理費含む - -	759	m ²			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 II類 基本料 修理費含む - -	759	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		759	m ²			
計						
内部足場		1	式			別紙 00-0002
内部仕上足場	脚立足場 掛払い手間、運搬費、維持管理費共 階高4.0m以下 標準賃料	245	m ²			
計						

[illegible]

福 山 市

訓練棟A 鉄骨						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鋼材費		1	式			別紙 00-0005
□-300x300x16	BCR295	2.02	t			
□-300x300x12	BCR295	2.6	t			
□-300x300x9	BCR295	1.97	t			
NDコア	BCR295 300x300x532	4	か所			
NDコア	BCR295 300x300x500	2	か所			
H-488x300x11x18	SS400	3.21	t			
H-482x300x12x17	SS400	5.71	t			
H-450x200x9x14	SS400	1.93	t			
H-400x200x8x13	SS400	1.69	t			
H-300x150x6.5x9	SS400	1.59	t			
H-250x125x6x9	SS400	0.27	t			
H-350x175x7x11	SS400	11.39	t			
H-200x200x8x12	SS400	0.77	t			
H-200x100x5.5x8	SS400	1.14	t			
H-175x175x7.5x11	STKR	0.59	t			
□-100x100x2.3	STKR	0.14	t			
PL-22x225x225		0.08	t			
PL類		4.65	t			
計						

訓練棟A 鉄骨						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
購入材費		1	式			別紙 00-0006
HTB	3%	2,587	組			
ベースパック	30-19V	4	組			
計						
鋼材費		1	式			別紙 00-0007
FB-9x250	SS400	3.53	t			
L-65X65X6	SS400	0.46	t			
CPL-6		4.15	t			
手すり	手摺子FB9x25	1.75	t			
計						
鋼材費		1	式			別紙 00-0008
H-200x200x8x12	SS400	0.35	t			
PL-9	SS400	0.03	t			
計						

訓練棟B 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
外部足場		1	式			別紙 00-0010
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠1200×1700 布枠500×2枚 掛払い手間 12m未満 - -	739	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠1200×1700 布枠500×2枚 供用5.0か月賃料 修理費含む 12m未満 - -	739	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠1200×1700 布枠500×2枚 基本料 修理費含む 12m未満 - -	739	m ²			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅1200	739	m ²			
安全手すり	掛払い手間 -	76.4	m			
安全手すり	供用5.0か月賃料 修理費含む -	76.4	m			
安全手すり	基本料 修理費含む -	76.4	m			
仮設材運搬 (安全てすり)		76.4	m			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 II類 掛払い手間 - -	739	m ²			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 II類 供用5.0か月賃料 修理費含む - -	739	m ²			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 II類 基本料 修理費含む - -	739	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		739	m ²			
計						
内部足場		1	式			別紙 00-0011
内部仕上足場	脚立足場 掛払い手間、運搬費、維持管理費共 階高4.0m以下 標準賃料	453	m ²			
計						

訓練棟B 鉄筋						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鉄筋		1	式			別紙 00-0012
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	12.2	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13	11.3	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D16	1.4	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD345 D19	2.8	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD345 D22	0.9	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD390 D25	7.7	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD390 D29	10	t			
角型スパイラルフープ	D13 SD295	1.3	t			
スクラップ 控除	H2	1.2	t			
溶接金網	D10×100x100 SD295	1.7	t			
計						
ガス圧接費		1	式			別紙 00-0013
鉄筋ガス圧接	D19 -D19	31	か所			
鉄筋ガス圧接	D22 -D22	20	か所			
鉄筋ガス圧接	D25 -D25	358	か所			
鉄筋ガス圧接	D29 -D29	214	か所			
計						

福 山 市

訓練棟B 鉄骨						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鋼材費		1	式			別紙 00-0015
□-200x200x6	BCR295	0.38	t			
H-250x125x6x9	SS400	1.1	t			
□-100x100x2.3	STKR400	0.31	t			
PL-25		0.11	t			
PL-12		0.05	t			
PL-6～9		0.12	t			
計						
購入材費		1	式			別紙 00-0016
HTB	M16 L=55	48	組			
HTB	M16 L=50	32	組			
HTB	M16 L=40	24	組			
A. Bolt	ABR400 M20 L=400	16	本			
計						
鋼材費		1	式			別紙 00-0017
H-200x200x8x12	SS400	0.35	t			
PL-9	SS400	0.03	t			
計						

[illegible]

訓練棟C 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
外部足場		1	式			別紙 00-0018
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠1200×1700 布枠500×2枚 掛払い手間 12m未満 - -	558	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠1200×1700 布枠500×2枚 供用5.0か月賃料 修理費含む 12m未満 - -	558	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠1200×1700 布枠500×2枚 基本料 修理費含む 12m未満 - -	558	m ²			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅1200	558	m ²			
安全手すり	掛払い手間 -	50	m			
安全手すり	供用5.0か月賃料 修理費含む -	50	m			
安全手すり	基本料 修理費含む -	50	m			
仮設材運搬 (安全てすり)		50	m			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 II類 掛払い手間 - -	558	m ²			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 II類 供用5.0か月賃料 修理費含む - -	558	m ²			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 II類 基本料 修理費含む - -	558	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		558	m ²			
計						
内部足場		1	式			別紙 00-0019
内部仕上足場	脚立足場 掛払い手間、運搬費、維持管理費共 階高4.0m以下 標準賃料	196	m ²			
計						

訓練棟C 鉄筋						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鉄筋		1	式			別紙 00-0020
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	10	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13	6.8	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D16	1.1	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD345 D19	1.6	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD345 D22	1.2	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD390 D25	7.9	t			
角型スパイラルフープ	D13 SD295	1	t			
スクラップ 控除	H2	0.8	t			
溶接金網	D10×100x100 SD295	1	t			
計						
カス圧接費		1	式			別紙 00-0021
鉄筋カス圧接	D19 -D19	21	か所			
鉄筋カス圧接	D22 -D22	40	か所			
鉄筋カス圧接	D25 -D25	276	か所			
計						

訓練棟C 鉄骨						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鋼材費		1	式			別紙 00-0023
□-250x250x9	BCR295	0.7	t			
H-340x250x9x14	SS400	2.2	t			
H-350x175x7x11	SS400	0.63	t			
H-200x100x5.5x8	SS400	0.24	t			
H-300x150x6.5x9	SS400	0.24	t			
H-250x125x6x9	SS400	0.4	t			
H-150x100x6x9	SS400	0.05	t			
□-100x100x2.3	DTKR	0.11	t			
PL-25		0.14	t			
PL-9～		0.62	t			
計						
購入材費		1	式			別紙 00-0024
HTB	M16 L=55	48	組			
A. Bolt	ABR400 M20 L=400	24	本			
フレース	M16 TB L=4.5m	8	本			
フレース	M16 TB L=3.5m	2	本			
計						

訓練棟C		鉄骨				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鋼材費		1	式			別紙 00-0025
コ-75x40x5x7	SS400	0.24	t			
コ-100x50x5x7.5	SS400	0.24	t			
コ-50x50x6	SS400	0.15	t			
躯体取付用PL-9	SS400	0.02	t			
PL-6～	SS400	0.08	t			
計						
購入材費		1	式			別紙 00-0026
HTB	M16	19	kg			
A. Bolt	ABR400 M20 L=400	12	本			
計						
鋼材費		1	式			別紙 00-0049
H-200x200x8x12	SS400	0.56	t			
PL-9	SS400	0.05	t			
計						

車庫棟 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
外部足場		1	式			別紙 00-0027
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠1200×1700 布枠500×2枚 掛払い手間 12m未満 - -	545	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠1200×1700 布枠500×2枚 供用2.0か月賃料 修理費含む 12m未満 - -	545	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠1200×1700 布枠500×2枚 基本料 修理費含む 12m未満 - -	545	m ²			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅1200	545	m ²			
安全手すり	掛払い手間 -	82	m			
安全手すり	単管本足場用 供用2.0か月賃料 修理費含む -	82	m			
安全手すり	基本料 修理費含む -	82	m			
仮設材運搬 (安全てすり)		82	m			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 II類 掛払い手間 - -	545	m ²			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 II類 供用2.0か月賃料 修理費含む - -	545	m ²			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 II類 基本料 修理費含む - -	545	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		545	m ²			
計						
内部足場		1	式			別紙 00-0028
内部仕上足場	脚立足場 掛払い手間、運搬費、維持管理費共 階高4.0m以下 標準賃料	330	m ²			
計						

車庫棟		鉄筋				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鉄筋		1	式			別紙 00-0029
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	0.7	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13	7.2	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D16	0.1	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD345 D22	1.5	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD390 D25	1.6	t			
スクラップ 控除	H2	0.3	t			
計						
ガス圧接費		1	式			別紙 00-0030
鉄筋ガス圧接	D22 -D22	48	か所			
鉄筋ガス圧接	D25 -D25	48	か所			
計						

福 山 市

車庫棟		鉄骨		躯体		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鋼材費		1	式			別紙 00-0032
□-300x300x9	BCR295	3.03	t			
H-400x200x8x13	SS400	2.88	t			
H-300x150x6.5x9	SS400	7.59	t			
H-250x125x6x9	SS400	1.88	t			
H-200x100x5.5x8	SS400	1.44	t			
□-100x100x2.3	STKR	0.83	t			
コ-150x75x6.5x10	SS400	0.08	t			
PL	SN400C	2.53	t			
計						
購入材費		1	式			別紙 00-0033
HTB		1,358	組			
ブレース	JIS M16 ターンバックル	32	組			
既成柱脚	ベースパッド 30-09V	6	基			
計						

[illegible]

管理棟		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
外部足場		1	式			別紙 00-0035
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠1200×1700 布枠500×2枚 掛払い手間 12m未満 - -	903	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠1200×1700 布枠500×2枚 供用6.0か月賃料 修理費含む 12m未満 - -	903	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠1200×1700 布枠500×2枚 基本料 修理費含む 12m未満 - -	903	m ²			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅1200	903	m ²			
安全手すり	掛払い手間 -	95	m			
安全手すり	供用6.0か月賃料 修理費含む -	95	m			
安全手すり	基本料 修理費含む -	95	m			
仮設材運搬 (安全てすり)		95	m			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 II類 掛払い手間 - -	903	m ²			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 II類 供用6.0か月賃料 修理費含む - -	903	m ²			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 II類 基本料 修理費含む - -	903	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		903	m ²			
計						
内部足場		1	式			別紙 00-0036
内部階段仕上足場	掛払い手間、運搬費、維持管理費共 標準賃料	12	m ²			
内部仕上足場	脚立足場 掛払い手間、運搬費、維持管理費共 階高4.0m以下 標準賃料	560	m ²			
計						

管理棟		鉄筋				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鉄筋		1	式			別紙 00-0037
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	4.8	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13	11	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D16	0.9	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD345 D22	1.6	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD390 D25	4.1	t			
スクラップ 控除	H2	0.2	t			
溶接金網	径 6.0 ピッチ 150×150	286	m ²			
計						
ガス圧接費		1	式			別紙 00-0038
鉄筋ガス圧接	D22 -D22	34	か所			
鉄筋ガス圧接	D25 -D25	110	か所			
計						

福 山 市

管理棟		鉄骨				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鋼材費		1	式			別紙 00-0040
□-300x300x12	BCR295	5.14	t			
□-300x300x6	BCR295	1.96	t			
H-500x200x10x16	SS400	4.22	t			
H-350x175x7x11	SS400	9.95	t			
H-250x125x6x9	SS400	7.77	t			
H-200x100x5.5x8	SS400	0.56	t			
H-150x100x5.5x8	SS400	0.09	t			
H-125x125x6.5x9	SS400	0.09	t			
□-100x100x2.3	STKR	0.99	t			
PL	SS400	4.43	t			
PL	SN400C	1.93	t			
計						
購入材費		1	式			別紙 00-0041
HTB		912	組			
フレース	JIS M16 ターンパネツクル	27	組			
既成柱脚	ベースパネツクル 30-12V	12	基			
計						

管理棟		鉄骨				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鋼材費		1	式			別紙 00-0042
C-100x50x20x2.3	SS400	11.4	t			
L-65x65x6	SS400	0.45	t			
PL-6	SS400	1.1	t			
中ボルト		1,520	組			
計						
鋼材費		1	式			別紙 00-0043
PL-22x155x180	SS400	0.1	t			
PL-4.5～12	SS400	1.08	t			
計						

福 山 市

福 山 市

福 山 市

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
仮囲い	H=3.0m t=1.2mm w=500	1	式			別紙 00-0047
仮囲い	設置費 仮囲鉄板 H=3.0m - -	25	m			
仮囲い	撤去費 仮囲鉄板 H=3.0m - -	25	m			
仮囲い	供用15か月賃料 修理費含む 仮囲鉄板 H=3.0m t=1.2mm w=500	25	m			
仮囲い	基本料 修理費含む 仮囲鉄板 H=3.0m t=1.2mm w=500 -	25	m			
仮囲い	H=3.0m	25	m			
計						
仮囲い	H=2.0m t=1.2mm w=500	1	式			別紙 00-0048
仮囲い	設置費 仮囲鉄板 H=2.0m - -	7	m			
仮囲い	撤去費 仮囲鉄板 H=2.0m - -	7	m			
仮囲い	供用15か月賃料 修理費含む 仮囲鉄板 H=2.0m t=1.2mm w=500	7	m			
仮囲い	基本料 修理費含む 仮囲鉄板 H=2.0m t=1.2mm w=500 -	7	m			
仮囲い	H=2.0m	7	m			
計						

